取扱説明書

FOMA® N902i

'06.4

おサイフケータイ
iモード FeliCa

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「FOMA N902i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA N902iはあなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はTLS／SSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるTLS／SSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しTLS／SSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。本FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（P.45）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（P.50）
3. 本体のボタンなど役割を確認しましょう（P.28）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（P.31）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（P.36）
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（P.53）

- この『FOMA N902i取扱説明書』の本文中においては、『FOMA N902i』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードについて→P.372
-
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

● 本書の引きかたについて

本書では次のような検索方法で、お客様の用途に応じた機能やサービスの説明ページを探すことができます。

次ページで詳しく説明しています

本書の見かた／引きかた　（つづき）

「画面表示設定」機能の引きかたを例として説明します。

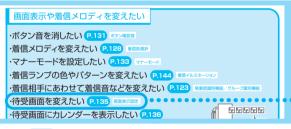
索引から

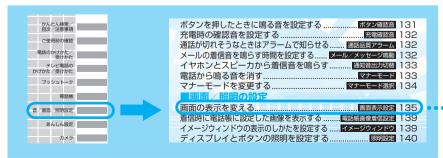
FOMA 端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、あらかじめ機能の名称やサービスの名称がわかっている場合はここから探します。

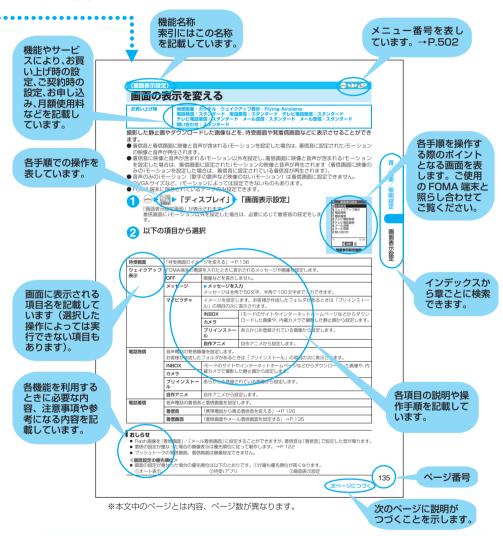
→「画面表示設定」をひく

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

→「待受画面を変えたい」をひく

表紙インデックスから

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に、設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

本書では FOMA 端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

※本文中のページとは内容、ページ数が異なります。

・本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
・本書は、主にお買い上げのときの設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によって FOMA 端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
・本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
・本書では、「IC カード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。

かんたん検索

● 知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話に対応したい

画面表示や着信メロディを変えたい

メールを使いこなしたい

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

その他の操作の引き方については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P.1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P.541

目　次

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→372

FOMA N902iの特徴

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードはiモード端末のディスプレイを利用して、iモードメニューサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

● iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。
- iモード →P.206
- iモードメール →P.246
- iモーション →P.240
- iモーションメール →P.277
- iアプリ →P.314
- iショット →P.249
- 着モーション／着うた®→P.207

P.205

プッシュトーク

プッシュトーク電話帳から相手を選んでプッシュトークボタンを押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通話することができます。グループ内での連絡や、用件を伝える短い通話などで便利にご利用いただけます。

P.97

トルカ

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などとして便利にご利用いただけます。トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、外部メモリを使って簡単に交換できます。

P.331

おサイフケータイ対応

おサイフケータイ サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残金や利用履歴を確認したりできるようになります。その他にも飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。

P.330

PDF対応ビューア

PDFファイルの閲覧ができるので、紙を持ち歩くように地図やカタログ、時刻表などの便利な情報がiモード端末で手軽に確認できます。

P.388

テレビ電話・キャラ電

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。外側カメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることもできたり、自分の画像の代わりにキャラクタを表示させることも可能なキャラ電にも対応しています。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。お買い上げ時の設定では相手の声がスピーカから聞こえるようになっているので、すぐに会話をはじめることができます。

P.81

iチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタンを押すことでみられるチャネル一覧を表示できます。
さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。またiチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。
※お申し込みが必要な有料サービスです。

P.325

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス
- キャッチホン
- 転送でんわサービス
- 迷惑電話ストップサービス
- 番号通知お願いサービス
- デュアルネットワークサービス
- 英語ガイダンス
- マルチナンバー

P.431

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。また、テンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。

P.257

大容量iアプリ、iアプリDX

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、より豊かな表現でゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。また、3D×3D対応コンテンツでは、3Dグラフィックと3Dサウンドの相乗効果によって、カーレースゲームなどのiアプリを臨場感いっぱいで体感することもできます。さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどiモード端末内の情報と連動することで、よりiアプリの楽しみ方が広がります。

P.313

カメラ機能

デジタル手ブレ補正機能搭載で、外側のカメラで、静止画、動画もしっかり撮影できます。暗い場所での静止画撮影も自動で手ブレ補正をします。手ブレしやすい動画撮影もデジタル手ブレ補正機能で安心して楽しめます。 記録画素数400万画素（有効画素数200万画素）のオートフォーカス機能を備えたスーパーCCDハニカムカメラ（外側）で、2,304×1,728 ドットの大画像も撮影できます。撮影した静止画や動画は、大画面高画質液晶でキレイに再現します。また、撮影した静止画や動画をiモードメールに添付して送信できます。

P.171

フルブラウザ表示

フルブラウザに切り替えることでパソコン向けインターネットホームページも表示できるようになり、より多くの情報を得ることができます。

P.335

2.5型の大画面

26万色の「モバイルシャインビューーEX液晶」を搭載し、色調を美しく表現します。2.5型大画面で文字や画像をくっきりと見ることができます。 ゲームなどのiアプリも画面が大きいのでより楽しくご利用できます。

バーコードリーダー

カメラ機能を利用してバーコードおよびQRコードを読み取り、読み取った情報によって電話帳登録、iモードメール作成などができます。また、画像データやメロディデータのQRコードを読み取ることもできます。

P.196

赤外線通信／赤外線リモコン

赤外線を利用してほかのFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、赤外線リモコンに対応した機器に利用することもできます。

P.382、387

マルチアクセス

音声通話、パケット通信、SMSを同時に利用できるマルチアクセスによって、iモード中に通話をしたり、通話中にメールの送受信を行ったりすることができます。

P.402

miniSDメモリーカード対応

miniSDメモリーカードを使って、 電話帳やブックマーク、メール、画像などのデータをパソコンや他のFOMA端末とやりとりできます。外部機器で作成した動画や音楽データをminiSDメモリーカードに保存することでFOMA端末で再生することができます。（一部条件下では再生できない場合があります。）

P.372、396

あんしん設定

暗証番号やパスワードを利用してプライバシーを保護したり、紛失時に離れた場所からロックをかけて不正使用を防止するロック／セキュリティ機能などのあんしん設定をご利用いただけます。

P.151

着信音

FM+WaveTable音源を採用した67和音ADPCM対応の着信音や声（効果音）などの着信音に対応しています。

P.128

FOMA N902iを使いこなす!

仲間どうし複数人での会話を楽しめる「プッシュトーク」

●プッシュトーク→P.97

プッシュトークボタン（Ⓟ）を押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んでプッシュトークボタン（Ⓟ）を押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通話することができます。

※プッシュトークは､ドコモのプッシュトーク対応機種のみご利用できます。

おサイフケータイで読み取った情報を利用する「トルカ」

●トルカ→P.331

トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、外部メモリを使って簡単に交換できます。取得したトルカは「生活ツール」メニューの「トルカ」内に保存されます。

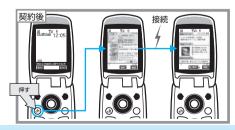
おサイフケータイを読み取り装置にかざしてトルカを取得。

トルカ一覧から取得したトルカを選択。「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

最新情報が配信されると待受画面にテロップで表示される「iチャネル」

●iチャネル→P.325

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、iチャネル対応ボタン（ch）を押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

階層メニューで使いたい機能がすぐに見つかる
「スライディングメニュー」(ランチャ)

●スライディングメニュー（ランチャ）→P.40

メインメニュー表示中に ◯ [ランチャ]を押して表示切り替え。１つ下の階層にどんな項目が入っているか確認しながらメニューをたどれるので、ときどきしか使わない機能もすぐに見つかります。

簡単なボタン操作でメールやアラーム内容を音声読み上げ
「アシストキー」

●アシストキー→P.404

「アシストキー」を使うと、FOMA端末を閉じているときに受信メールの本文を読み上げたり、アラーム通知中（めざまし時計、スケジュール、To Doリスト）にそのアラーム内容や現在時刻を音声でお知らせできます。
また、ミュージックプレーヤー (P.396) でも利用できます。

お気に入りの音楽をFOMA端末で聞く
「ミュージックプレーヤー」

●ミュージックプレーヤー→P.396

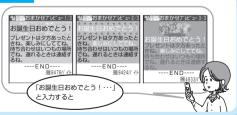
パソコンで取り込んだ音楽データを miniSD メモリーカードにコピーして、FOMA 端末で再生できます。プレイリストの利用やランダム再生にも対応しています。

FOMA 端末を閉じた状態で平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続すれば、携帯オーディオプレイヤー感覚で利用できます。

※パソコンで音楽データ (AAC ファイル) を取り込んだり作成するには、変換用ソフトウェアが必要です。

作成中のメールの内容を読み取ってデコメールに一発変換
「おまかせデコメール」

●おまかせデコメール→P.261

i モードメール作成中に「おまかせ」を指定すると、本文の内容にあわせて文字色や背景、イラストなどが自動的に選ばれて設定された「デコメール」に変換。
3 通り示される候補の中から好きなものを選べます。

安全上のご注意 必ずお守りください。

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック N11　卓上ホルダ N07　FOMA ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01　データ通信アダプタ N01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、iモード、アプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節をしてください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因になります。

2.FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。
なお、歩きながら使用するときは、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

miniSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

miniSDメモリーカードを取り付け、取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

禁止

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

禁止

ライトを目に近づけた状態で点灯しないでください。また、ライト点灯時は、照明部分に目を近づけて直接見ないようにしてください。
視力低下など、目に影響を与える場合があります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

ライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。
約30秒間操作しないとライトは消灯しますので、カメラ撮影以外の用途（懐中電灯など）に使用すると、急に暗くなり事故の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。
※使用箇所：材質
〈各色共通〉
マルチファンクションボタン、ニューロポインターボタン
：アルミ合金にアルマイト処理

指示

FOMA端末を開くときに、ヒンジ部（可動部）の周辺に指を挟まないようにご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

3.電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

4.アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ 01を使用してください。
ACアダプタ：AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ：
AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：
DC12V・24V（マイナスアース車専用）

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、ふろ場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。
感電の原因となります。

プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

5.FOMAカードの取扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMAカードを火の中に投下しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

6.医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
・病棟内では、FOMA 端末の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
・自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

取扱い上の注意について

共通のお願い

水をかけないでください。

・FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。ふろ場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

・端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

・急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

・多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

極端な高温、低温は避けてください。

・温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

使用中や充電中にFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

・万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

・故障の原因となります。

ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。

・故障、破損の原因となります。

通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。

・ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

・素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

本体裏面は、塗料の性質上汚れが目立つ場合がありますが、性能、品質等には影響ありません。

ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。

・FOMA端末を閉じたときにキーが押されるなどして誤動作したり、FOMA端末が損傷する恐れがあります。

ストラップに手を通してお持ちください。

・落下し、故障の原因となることがあります

ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

・傷つくことがあります。

次ページにつづく

取扱い上の注意について（つづき）

電池パックについてのお願い

電池パックは消耗品です。
・使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが若干膨れる場合がありますが問題ありません。

電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。

電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。
・長時間放置される場合は FOMA 端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。

電池パックは、長期間使用しない場合でも6ヶ月に一度は充電してください。
・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
・長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

次のような場所では、充電しないでください。
・周囲が適正な周囲温度（5℃～35℃）外になるところ
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
・車のバッテリーを消耗させる原因となります。

抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。
・故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

使用中、充電中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
・万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

極端な高温・低温（5℃未満または35℃を超える温度）は避けてください。

ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
・データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
・故障の原因となります。

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
・故障の原因となります。

FOMA カードの取外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

miniSDメモリーカードについてのお願い

miniSDメモリーカードの使用中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
・データの消失、故障の原因となります。

車内ホルダについてのお願い

車内ホルダを利用する場合は、アームレストなどに確実に取り付けてください。また、車内ホルダにFOMA端末をしっかりと固定してください。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「iモード」「iチャネル」「iアプリ」「iアプリDX」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「iメロディ」「iエリア」「クイックキャスト」「iモーション」「mopera」「mopera U」「iモーションメール」「着モーション」「デコメール」「キャラ電」「iアニメ」「iアプリサーチ」「iショット」「sigmarion」「musea」「DoPa」「パケ・ホーダイ」「ショートメール」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「Vライブ」「ビジュアルネット」「セキュリティスキャン」「おサイフケータイ」「トルカ」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「eビリング」「メッセージF」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」「マルチナンバー」および「FOMA」「i-mode」「i-αppli」「おサイフケータイ」「プッシュトーク」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- miniSD™はSDアソシエーションの商標です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- LCフォント/LC FONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- T9 Text Input®およびT9ロゴマークはTegic Communications社の登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Handset 3D、Game 3Dおよびロゴマークは、英国Sonaptic Ltd.の登録商標または商標です。
- フェイススタンプは、N-VisionのVirtual Accessoryエンジンを利用しています。
- Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- NetFrontおよび NetFront は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- IrFront®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  Copyright© 1996-2005 ACCESS CO., LTD.
- 『Gガイドモバイル』およびそのロゴ、『Gガイド』およびそのロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- Apple、AppleロゴおよびQuickTimeは、米国およびその他の国々で登録されたApple Computer Inc.の商標です。
- QuickTime ロゴは、Apple Computer Inc.の商標です。
- 「スーパーCCDハニカム」は富士写真フイルム株式会社の登録商標です。
- ©1987-2005 ARMOR PROJECT／BIRD STUDIO／CHUNSOFT／SQUARE ENIX All Rights Reserved.
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2005 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
  Powered by JBlend™ Technology.
  JBlendおよびJBlendロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- ©2005 ParityBit
- ©BANDAI NETWORKS・Primeworks
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

その他

- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash® テクノロジーを搭載しています。

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。

  Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
  AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501
  5,506,865 5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239
  5,267,261 5,544,196 5,267,262 5,568,483 5,337,338
  5,600,754 5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能としてIrFront®を搭載しています。
  IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 本製品は抗菌加工を施しております。
  SIAAマークはJIS Z 2801に適合し、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

  抗菌対象箇所：携帯電話ボディー（ディスプレイ、各種ボタン、端子部を除く）

Windowsの表記について

- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略です。
- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 98とWindows® 98SEをWindows 98と記載しています。
- 本書では、Windows® Millennium EditionをWindows Meと記載しています。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

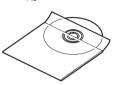
本体付属品および主なオプション品について

＜本体付属品＞

FOMA N902i
（保証書、リアカバー N09含む）

FOMA N902i取扱説明書
（本書）

※P.541にクイックマニュアルを記載しております。

FOMA N902i用CD-ROM

＜主なオプション品＞

FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ N07
（取扱説明書付き）

電池パック N11
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.512

ご使用前の確認

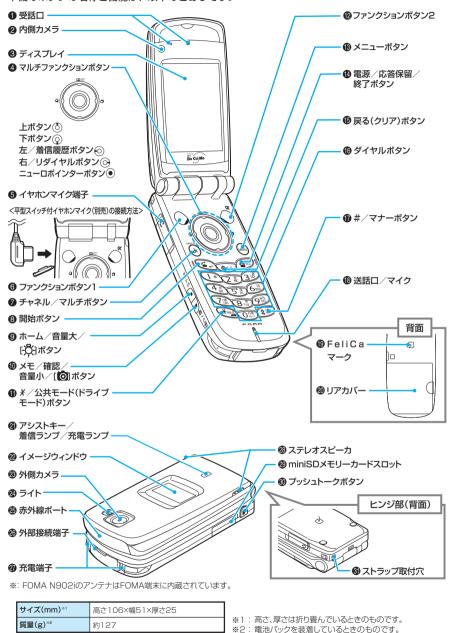
各部の名称と機能

本機のボタンの名称と機能は、以下のとおりです。

※：FOMA N902iのアンテナはFOMA端末に内蔵されています。

サイズ(mm)※1	高さ106×幅51×厚さ25
質量(g)※2	約127

※1：高さ、厚さは折り畳んでいるときのものです。
※2：電池パックを装着しているときのものです。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

■機能について

❶ 受話口
・相手の声がここから聞こえます。

❷ 内側カメラ
・静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手側に自分の映像を送信するときに使用します。

❸ ディスプレイ

❹ マルチファンクションボタン

上ボタン
・カーソルまたは反転表示を上方向へ移動させます。
・表示内容を上方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
・電話帳一覧画面を表示します。
・入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。

下ボタン
・カーソルまたは反転表示を下方向へ移動させます。
・表示内容を下方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
・電話帳検索メニュー画面を表示します。
・入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。

左／着信履歴ボタン
・カーソルを左方向へ移動させます。
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。
・着信履歴を表示します。→P.69

右／リダイヤルボタン
・カーソルを右方向へ移動させます。
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。
・リダイヤルを表示します。→P.57

ニューロポインターボタン
・ニューロポインターの使いかた→P.30

❺ イヤホンマイク端子
・別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクなどを差し込むと、ハンズフリーでご利用になれます。イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使用すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイクなどもご利用になれます。

❻ ファンクションボタン1
・画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.30

❼ チャネル／マルチボタン
・待受画面でチャネル一覧を表示します。→P.327
・タスクエリアを表示します。→P.403

❽ 開始ボタン
・音声電話をかけます。→P.54
・音声電話に出ます。→P.66
・テレビ電話に出ます。→P.87
・入力した文字を小文字／大文字に切り替えます。→P.492

❾ ホーム／音量大／[☼]ボタン
・FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信、新着メールの内容を確認します。→P.35
・「ホームURL」（P.231）で設定したサイトへiモードで簡単に接続できます。
・FOMA端末を折り畳んだまま押すと、イメージウィンドウのバックライトが点灯します。
・通話中に受話音量を上げます。→P.71
・文字を入力中に同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻します。→P.486
・カメラ撮影のときにライトを点灯します。
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。

❿ メモ／確認／音量小／[📷]ボタン
・着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.79
・伝言メモを再生します。→P.79
・通話中に受話音量を下げます。→P.71
・FOMA端末を折り畳んだまま、静止画を撮影します。→P.183
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。

⓫ ✗／公共モード（ドライブモード）ボタン
・「✗」や「http://」などの文字列を入力します。→P.487
・ポーズ（p）を入力します。→P.60

⓬ ファンクションボタン2
・画面右下のソフトキーに表示された内容を実行します。→P.30

⓭ メニューボタン
・メインメニューを表示します。→P.38

⓮ 電源／応答保留／終了ボタン
・1秒以上押して電源を入れます。→P.50
・2秒以上押して電源を切ります。→P.50
・通話を終了します。→P.54
・応答を保留します。→P.72

⓯ 戻る（クリア）ボタン
・操作を1つ前の状態に戻します。
・通話を保留します。→P.56
・入力した電話番号や文字を削除します。→P.55

⓰ ダイヤルボタン 0～9
・電話番号を入力します。→P.54
・文字や数字を入力します。→P.492

⓱ #／マナーボタン
・「#」や記号を入力します。→P.487
・着信中に押すと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.79

⓲ 送話口／マイク
・自分の声をここから伝えます。通話中に送話口をふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえにくくなります。
・カメラで動画を撮影するときや、「ピクチャボイス」で音声を録音するときにマイクになります。

⓳ FeliCaマーク
・ICカードが搭載されています。このFeliCaマークを読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外すことができません。

⓴ リアカバー

㉑ アシストキー／着信ランプ／充電ランプ
・FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メールがあるかどうかを確認します。→P.76
・受信したメールや「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム内容を読み上げます。→P.404
・ミュージックプレーヤーの操作をします。→P.398
・音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、メールやメッセージR、メッセージFを受信したときに点滅します。充電中は赤色に点灯します。

（本書では、、を合わせて外部ボタンと呼びます。）

㉒ イメージウィンドウ
・FOMA端末の状態をメッセージやアイコン、アニメーションで表示します。

㉓ 外側カメラ
・静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信するときに使用します。

㉔ ライト
・カメラ撮影するときに使用します。

㉕ 赤外線ポート
・赤外線を送受信する窓です。→P.382

㉖ 外部接続端子
・各種オプション類を接続するときに使用する端子です。

㉗ 充電端子

㉘ ステレオスピーカ
・着信音や、ハンズフリー中の相手の声などがここから聞こえます。

㉙ miniSDメモリーカードスロット
・miniSDメモリーカードを差し込みます。→P.372

㉚ プッシュトークボタン
・プッシュトークを利用します。→P.100
・待受画面表示中にプッシュトーク電話帳を表示します。

㉛ ストラップ取付穴

ボタンの長押し操作について

ボタンを1秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ	ボタン	機能	参照ページ
	受信アドレス一覧の表示	P.294		受話音量の調節 （待受画面表示中、通話中）	P.71
	送信アドレス一覧の表示	P.294	[メモ/確認]	音声メモの録音 （通話中）	P.416
3 DEF	PIMロックを設定 （「シンプルロック」が有効かつ待受画面表示中）	P.162	[メモ/確認]	静止画を撮影する画面の表示 （待受画面表示中）	P.179
5 JKL	バックライトの点灯／消灯の切替	P.140	[ホーム]	マイクをミュート（消音） （テレビ電話中）	P.82
0	「＋」の入力 （待受画面、電話番号を入力する画面）	P.62			
#	マナーモードの設定 （待受画面表示中、通話中）	P.133		iモード問い合わせ （待受画面表示中）	P.235、273
[MULTI]	タスク切替画面の表示 （タスクが起動しているとき）	P.404		iアプリのソフト一覧表示 （待受画面表示中）	P.316
MENU	待受画面の表示 （マルチタスク中）	P.403		親画面の表示切替 （テレビ電話中）	P.82、84
* http://	外部ボタンの設定 （メインメニュー表示中）	P.162	[アシストキー]	ミュージックプレーヤーの起動／終了 （待受画面表示中など）	P.398
	公共モード（ドライブモード）の設定 （待受画面表示中）	P.73			

ソフトキーの使いかた

画面にはファンクションボタン（、、）に対応するソフトキーとマルチファンクションボタン（）に対応するアイコンが表示されます。

■❶のソフトキーを実行する場合

を押すと、❶に表示されたソフトキーを実行します。

❶には［文字］、［編集］、［登録］、［完了］、［デモ］、［］などが表示されます。

■❷のソフトキーを実行する場合

を押すと、❷に表示されたソフトキーを実行します。

❷には［選択］、［確定］、［再生］、［切替］などが表示されます。

■❸のソフトキーを実行する場合

を押すと、❸に表示されたソフトキーを実行します。

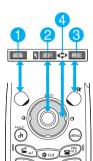
❸には［機能］、［閉］などが表示されます。［機能］が表示されているときにを押すと、機能メニューが表示されます。→P.41

■❹のアイコンの方向に移動、スクロールする場合

を押すと、❹に表示されたアイコンの方向に移動またはスクロールします。
アイコンは移動またはスクロールできる方向のみ表示されます。

ニューロポインターの使いかた

待受画面または、ディスプレイの最下段にが表示されているときにニューロポインターをスライドすると、ポインター（）が表示されます。ニューロポインターをスライドしてポインターを移動させると、アイコンや項目をすばやく選択することができます。また一覧画面や機能メニューなど、表示している画面が複数のページにまたがる場合は、ニューロポインターを使って前後のページを切り替えることができます。

● （青色）のときは、ポインターを移動すると画面内のカーソルが追従して自動選択されます。（白色）のときは、ポインターを移動してもカーソルは追従せず自動選択されません。
ニューロポインターの設定について→P.144

●ニューロポインターで前後の画面を切り替える

1 **◉をスライドし、を表示させる▶ポインターの移動範囲の一番下に移動**

ポインターが に変わります。

■一番上に移動させた場合

ポインターが に変わります。

2 **◉を押す**

次のページが表示されます。

➡

■前のページを表示させる場合

▶◉を左方向にスライドし、 を に変える▶◉を押す

●スクロールモードで画面をスクロールする

iモードやフルブラウザでサイト表示中にスクロールモードに切り替えると、が に変わり、 などが表示され、スライドさせた方向（8方向）にスクロールができるようになります。→P.215、338

おしらせ

- ニューロポインターで一部のFlash画像のメニュー画面を選択できない場合があります。

ディスプレイの見かた

ディスプレイおよびイメージウィンドウに表示されるマーク（ 、 、 など）をアイコンといいます。

● ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.138

■ディスプレイ

アイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
	電池残量表示→P.49		ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中→P.161、162
	オールロック中→P.155	（青色）	未読メールあり→P.270
	シークレットモード中、シークレット専用モード中→P.157	（赤色）	受信BOX満杯→P.270
	PIMロック中→P.161		FOMAカードのSMS満杯→P.311
	ダイヤル発信制限中→P.162	（青色）	未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.311
	ダイヤル発信制限とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.157、162	（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.270、311

次ページにつづく

アイコン	アイコンの内容
（緑色）	未読メッセージRあり→P.232
（赤色）	メッセージR満杯→P.232
（紫色）	未読メッセージFあり→P.232
（赤色）	メッセージF満杯→P.232
（青色）	iモードセンターにメールあり→P.273
（赤色）	iモードセンターのメール満杯→P.273
	「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときにiモードセンターにメールあり→P.272
（緑色）	iモードセンターにメッセージRあり→P.235
（赤色）	iモードセンターのメッセージR満杯→P.235
（紫色）	iモードセンターにメッセージFあり→P.235
（赤色）	iモードセンターのメッセージF満杯→P.235
	電波の受信レベル→P.50
	サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示→P.50
	セルフモード中→P.168
	iモード中→P.211
	iモード通信中→P.211
	パケット通信中→P.458
	パケット通信中（発信）→P.458
	パケット通信中（着信）→P.458
	パケット通信中（データ送信中）→P.458
	パケット通信中（データ受信中）→P.458
	プッシュトーク通信中→P.100
	SSL対応ページを表示中→P.214
	通信モード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	通信モード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380、448
	通信モード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	通信モード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	プリントモード中、プリンタ非認識時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	プリントモード中、プリンタ認識時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	プリントモード中、プリンタ認識時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	プリントモード中、プリンタ非認識時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	赤外線通信中→P.382
	赤外線リモコン操作中→P.387
	miniSDメモリーカード取り付け時→P.372
	miniSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.372
	miniSDリーダライタ使用中→P.379
	音声通話中→P.54
	64Kデータ通信中→P.458
／	テレビ電話中の通信速度を表示→P.83
	音声電話・テレビ電話切替中→P.56、87
	ICカードロック中→P.334 （オールロック中も表示）
	バイブレータ設定中→P.130
	着信音量を「消去」に設定中→P.71 メール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中→P.132
	マナーモード設定中→P.133
	遠隔監視設定中→P.94
	公共モード（ドライブモード）設定中→P.73
／	アラーム通知機能を設定中→P.406
～	伝言メモ設定中→P.77
～	伝言メモ（テレビ電話伝言メモ）設定中→P.80
～	留守番電話の伝言メッセージあり→P.434
	バックライトを「OFF」に設定中→P.140
	外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定中→P.162

デスクトップアイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	情報を通知するデスクトップアイコン→P.148
など	貼り付けたデスクトップアイコン→P.147

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

タスクアイコン／iチャネルテロップ／時計表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	タスクアイコン→P.403
iチャネル テロップ	待受画面のテロップ表示→P.327
時計表示	待受画面の時計表示→P.146 （待受画面以外の場合は時計表示の設定に関係なく時刻を表示）

■ イメージウィンドウ

アイコン	アイコンの内容
	電池残量表示→P.49
（青色）	未読メールあり→P.270
（赤色）	受信BOX満杯→P.270
	FOMAカードのSMS満杯→P.311
（青色）	未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.311
（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.270、311
（青色）	iモードセンターにメールあり→P.273
（赤色）	iモードセンターのメール満杯→P.274
	「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているときにiモードセンターにメールあり→P.272
（緑色）	iモードセンターにメッセージRあり→P.235
（赤色）	iモードセンターのメッセージR満杯→P.235
（紫色）	iモードセンターにメッセージFあり→P.235
（赤色）	iモードセンターのメッセージF満杯→P.235
	電波の受信レベル→P.50
圏外	サービスエリア外や電波が届かないところにいるときに表示→P.50
self	セルフモード中→P.168
	iモード中→P.211
	iモード通信中→P.211
	パケット通信中→P.458

アイコン	アイコンの内容
	パケット通信中（発信）→P.458
	パケット通信中（着信）→P.458
	パケット通信中（データ送信中）→P.458
	パケット通信中（データ受信中）→P.458
	プッシュトーク通信中→P.100
	通信モード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	通信モード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380、448
	通信モード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	通信モード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	プリントモード中、プリンタ非認識時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	プリントモード中、プリンタ認識時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.380
	プリントモード中、プリンタ認識時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	プリントモード中、プリンタ非認識時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、380
	音声通話中→P.54
	64Kデータ通信中→P.458

次ページにつづく

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
64／32	テレビ電話中の通信速度を表示→P.83	IC	ICカードロック中→P.334
	音声電話・テレビ電話切替中→P.56、87	S	シークレットモード中、シークレット専用モード中→P.157
SD	miniSDメモリーカード取り付け時→P.372	P	PIMロック中→P.161
	miniSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.372	D	ダイヤル発信制限中→P.162
	miniSDリーダライタ使用中→P.379	D/S	ダイヤル発信制限とシークレットモードまたはシークレット専用モードを同時に設定中→P.157、162
	マナーモード設定中→P.133	D/P	ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中→P.161、162
	公共モード（ドライブモード）設定中→P.73	KEY	外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定中→P.162

おしらせ
- 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 表示アイコンの名称は、MENU 3 6 を押して確認できます。

イメージウィンドウ（背面ディスプレイ）の見かた

イメージウィンドウには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージや画像、アニメーションで表示されるので、FOMA端末の状況をすぐに確認できます。

- 「イメージウィンドウの表示のしかたを設定する」→P.139
- iチャネルの情報は「iチャネル設定」（P.328）で、イメージウィンドウに表示することができます。

表示例

時計表示（アナログ）

時計表示（デジタル）

めざまし時計の
アラーム通知中

着信表示

カメラ（クローズ撮影（フレームを設定））

感情お知らせメール

通話料金通知

音声電話・テレビ電話切替中

新しいiチャネルの情報のテロップ表示(2回)

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

電話やメールの相手を確認するとき

[ホーム]を押すと内容を確認できます。

● ツールグループの機能（P.403）を操作している場合は、イメージウィンドウで不在着信を確認できません。

■ 不在着信表示

最新の1件のみ内容を確認することができます。

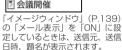
すべて確認すると時計表示に戻ります。

■ 新着メール表示

複数のメールを同時に受信した場合は、最新の1件のみ確認することができます。

「イメージウィンドウ」（P.139）の「メール表示」を「ON」に設定しているときは、送信元、送信日時、題名が表示されます。

時計表示に戻ります。

おしらせ

● FOMA端末を閉じた状態で[ホーム]を押すと、バックライトが点灯します。暗い場所で時刻を確認するときなどに便利です。

● 省電力モードに入ると、イメージウィンドウの表示が消えます。[ホーム]を押すと、再びイメージウィンドウが表示されます。

メニュー機能について

FOMA端末でいろいろな機能を設定したり確認したりするには、各機能をメインメニューから呼び出して表示します。メインメニューは(MENU)を押すと表示できます。メニューは次のような構成になっています。

● スライディングメニュー（ランチャ）を使うと、選択した項目の下の階層にどのような項目があるか確認することができます。

メールグループ
iモードグループ
iアプリグループ
MAIN MENU データBOX 画像や音楽などを楽しめます
メール iモード iアプリ
各種設定 データBOX 生活ツール
サービス 電話帳 ユーザデータ
12:05
ランチャ 選択
設定グループ
ツールグループ

<メールグループ>

●メール
送受信メールの閲覧や新規作成、送信ができます。

メール
受信BOX
送信BOX
保存BOX
新規メール作成
チャットメール
SMS作成
iモード問い合わせ
メール選択受信
SMS問い合わせ
テンプレート
メール設定

<iモードグループ>

●iモード
サイト接続などのiモードサービスが利用できます。

iモードメニュー
iMenu
Bookmark
画面メモ
ラストURL
Internet
iチャネル
メッセージ
iモード問い合わせ
ユーザ証明書操作
iモード設定
Internet(フルブラウザ)

<iアプリグループ>

●iアプリ
いろいろなソフトを呼び出して楽しめます。

iアプリ
ソフト一覧
自動起動設定
iアプリ実行情報

<ツールグループ>

●データBOX
画像や音楽などを楽しめます。

データBOX
マイピクチャ
iモーション
メロディ
キャラ電
マイドキュメント
ミュージック

●電話帳
電話帳の登録、検索や設定などを行います。

電話帳
電話帳
プッシュトーク電話帳

●ユーザデータ
個人データや履歴の管理、確認を行います。

ユーザデータ
自局番号
着信履歴
発信履歴
メールメンバー
チャットグループ
定型文
ユーザ辞書
ダウンロード辞書

●生活ツール
カメラ、アラームやデータ交換など便利な機能を利用できます。

生活ツール
バーコードリーダー
赤外線受信
トルカ
ICカード一覧
SD-PIM
カメラ
スケジュール
めざまし時計
To Doリスト
テキストメモ
電卓
メモの再生／消去
動画メモの再生／消去
待受中音声メモ
おしゃべり機能
FOMAカード(UIM)操作
電話帳画像転送
アクセスリーダー
辞典

＜設定グループ＞

●各種設定

携帯電話に関する各機能の設定を行います。

各種設定
着信
通話
発信
テレビ電話
ディスプレイ
時間／料金
時計
ロック／セキュリティ
アプリケーション通信設定
アプリ設定
トルカ設定
外部接続
ネットワーク設定
その他

着信
着信音量
着信音選択
サウンド効果
バイブレータ
着信イルミネーション
マナーモード選択
電話帳画像着信設定
着信アンサー設定
メール／メッセージ鳴動
呼出時間表示設定
確認機能設定
伝言メモ

通話
ノイズキャンセラ
通話品質アラーム
再接続機能
通話中イルミネーション
保留音設定
クローズ動作設定

発信
ポーズダイヤル
サブアドレス設定
プレフィックス設定
自動発信設定
国際ダイヤル設定

テレビ電話
送信画質設定
画像選択
音声自動再発信
遠隔監視設定
テレビ電話画面設定
テレビ電話切替通知
ハンズフリー切替

ディスプレイ
画面表示設定
照明設定
画面デザイン
イメージウィンドウ
フォント設定
デスクトップ
バイリンガル
オリジナルメニュー
メニュー画面設定
ピクチャ表示設定
オート表示
表示アイコン説明
表示アイコン設定

時間／料金
通話時間／料金
通話料金通知
積算リセット
積算料金自動リセット
通話中時間表示

時計
時計設定
待受時計表示
世界時計設定
アラーム通知設定

ロック／セキュリティ
オールロック
遠隔オールロック
PIMロック
シンプルロック
ICカードロック
セルフモード
ダイヤル発信制限
登録外着信拒否
非通知着信設定
履歴表示設定
端末暗証番号変更
PIN設定
シークレットモード
シークレット専用モード
スキャン機能

アプリケーション通信設定
接続待ち時間設定
iモード問い合わせ設定
接続先選択
SMS center設定
証明書
証明書センター接続設定

アプリ設定
ソフト情報表示設定
待受画面終了
アプリ音量

トルカ設定
外部R／Wからの取得
スクロール設定

外部接続
USBモード設定
通知音出力切替
イヤホン接続時マイク切替
オート着信

ネットワーク設定
ネットワーク接続モード選択

その他
ボタン確認音
充電確認音
電池残量
外部ボタン操作
文字入力方式
ニューロポインター設定
設定リセット
端末初期化
ソフトウェア更新

●サービス

ネットワークサービスの設定や確認を行います。

サービス
発信者番号通知
留守番電話
キャッチホン
転送でんわ
迷惑電話ストップ
番号通知お願いサービス
着信動作選択
通話中着信設定
遠隔操作設定
デュアルネットワーク
英語ガイダンス
追加サービス
サービスダイヤル
マルチナンバー
規制※

※：本端末ではご利用になれません。

「マルチタスクについて」→P.403
FOMA端末はメインメニューの各グループから最大3つの機能を同時に使うことができる「マルチタスク」に対応しています。マルチタスク中は、使用中のメニューのグループが枠囲みされます。

使用中のグループは枠囲みされます。

メニューの選択方法

メインメニュー、オリジナルメニューから、各機能を設定および確認するための画面を表示できます。

- MENUを押して各種機能を実行、設定、確認する方法は、メインメニューから機能を選択する方法と、メニュー番号（P.502）を押して機能を呼び出す方法があります。この「取扱説明書」ではメインメニューから機能を選択する方法を中心にして操作の説明をしています。
- メニュー操作を途中でやめる場合は を押します。設定中の内容を破棄して待受画面や元の画面に戻ります。ただし、メニューによっては設定中の内容を破棄するかの確認メッセージが表示される場合があります。そのような場合は、CLRを押すと操作をメッセージが表示される前の状態に戻すことができます。
- よく使うメールメニュー（P.250）やiモードメニュー（P.211）は待受画面から簡単に表示できます。メールメニューは待受画面で［MAIL］を押すと表示でき、iモードメニューは［mode］を押すと表示できます。

メインメニューから機能を選択する

＜例：「通話中イルミネーション」機能の点滅色を設定する場合＞

1 MENU▶で（各種設定）を反転表示し、●▶で「通話」を反転表示し、●を押す

➡

➡

■ 連続移動させる場合
▶を押し続ける

■ ニューロポインターを利用する場合
「ニューロポインターの使いかた」→P.30

■ メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合
メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

2 で「通話中イルミネーション」を反転表示し、●を押す

➡

おしらせ

- 「メニュー画面設定」でメインメニューのガイダンスを表示しないように設定できます。→P.141

● 選択する項目が複数ページにわたる場合

1 で設定したい項目を選択する

ページ単位でスクロールさせる場合は、（または［ホーム］）を押すと前のページに、（または［メモ／確認］）を押すと次のページに切り替わります。

2 ◉を押す

選択した項目が設定されます。

3 操作が終わったら☎を押す

メニュー操作を終了して待受画面に戻ります。ただしマルチタスク中は、起動中の他の画面が表示されます。

●ダイヤルボタンで項目を選択する

1 0～9を押し、項目を選択する

ダイヤルボタンに対応している番号

●「YES／NO」や「ON／OFF」を選択する場合

1 ◎で「YES」（または「ON」）または「NO」（または「OFF」）を選択し、◉を押す

選択した項目が設定されます。

●端末暗証番号の入力

機能によっては詳細画面が表示される前に、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。機能の詳細画面を表示するには、端末暗証番号を入力してください。→P.152

1 4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

●数値を入力する場合

1 0～9を押して数値を入力

3桁の数値入力画面で1桁または2桁の数値を入力する場合は最初に0を2回または1回押します。

■「3」を入力する場合

▶0、0、3

■「12」を入力する場合

▶0、1、2

● チェックマークを付ける場合（複数選択）

1 〇で□（チェックボックス）を選び、◉を押す

チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。◉を押すたびに、□と☑が切り替わります。

ソフトキーに「完了」が表示されている場合は、〇［完了］を押すと選択した項目が決定されます。

ソフトキーに「機能」が表示されている場合は、〇［機能］を押すと「全選択」や「全選択解除」などの機能を選択することができます。

メインメニューのランチャ表示について

メインメニューをランチャ表示に切り替えると、選択しているメニュー項目の下の項目を見ることができます。

1 MENU▶〇［ランチャ］

CLRを押すとメインメニューに戻ります。

2 メニュー項目を選択

〇を押して項目を選択し、◉を押します。右側には選択した項目の下の項目が表示されます。

第一階層

第二階層

第三階層

選択した項目が起動

● メニュー項目を検索する

1 MENU▶〇［ランチャ］▶〇［検索］▶検索語を入力▶◉

該当する項目を選択した状態で検索結果が表示されます。
〇［解除］を押すと検索を終了します。

■ 検索結果が複数ある場合

〇［次へ］を押すと次の検索結果を表示することができます。

「着信」を検索した場合

おしらせ

● スライディングメニュー（ランチャ）から待受画面に戻った場合でも、次にMENUを押したときはメインメニューが表示されます。

オリジナルメニューから機能を選択する

- 「<未登録>」を反転表示させて ◯［編集］を押すと内容を編集することができます。
- オリジナルメニューは「一覧表示」で表示されます。
- オリジナルメニュー登録→P.143

MENU ▶ MENU を押す

MENU を押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

おしらせ

- オリジナルメニューから待受画面に戻ったり、機能を呼び出した場合でも、次に MENU を押すとメインメニューが表示されます。
- オリジナルメニューに機能が 1 件も登録されていない場合は、オリジナルメニューを登録するかどうかのメッセージが表示されます。

機能メニューについて

登録や編集、削除などができる機能を操作している場合、ソフトキーに「機能」が表示されます。◯［機能］を押すと機能メニューが表示されます。◯を押して実行したい機能メニューを反転表示させ ◉ を押して選択してください。

- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニューの右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。機能メニューの一番上の項目を選択しているときに ◯ を押すと前のページを、一番下の項目を選択しているときに ◯ を押すと次のページを表示します。ページ単位でスクロールさせる場合は、◯（または ▯［ホーム］）を押すと前のページに、◯（または ▯［メモ／確認］）を押すと次のページに切り替わります。
- 表示されている機能メニューの下にメニューがある場合は右側に「▤」が表示されます。
- 操作中の機能や設定状態などによって、表示される機能メニューの内容は異なります。
- 設定状態などにより、機能メニューの項目を選択できない場合があります。選択できない機能メニューの項目はグレーで表示されます。

次ページにつづく

メニュー操作の表記について

この「取扱説明書」では、メニューからの操作方法を次のように表記しています。
ここでは「各種設定」の「テレビ電話」から「遠隔監視設定」を設定する操作（抜粋）を例にして説明します。

この「取扱説明書」での表記は

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「テレビ電話」▶「遠隔監視設定」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「対局番号登録」

2「〈未登録〉」の項目を選択

:

実際の操作は

1 待受画面表示中に MENU を押す
2 メインメニューで ◎ を押して 各種設定 を反転表示させて ● を押す
3 「各種設定」のメニューで ◎ を押して「テレビ電話」を反転表示させて ● を押す
4 「テレビ電話」のメニューで ◎ を押して「遠隔監視設定」を反転表示させて ● を押す
5 端末暗証番号を入力して ● を押す
6 「遠隔監視設定」のメニューで「対局番号登録」を反転表示させて ● を押す

（1〜6：❶での操作）

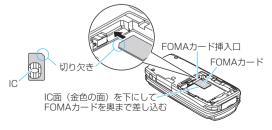
7 「対局番号登録」のメニューで ◎ を押して「<未登録>」の項目を反転表示させて ● を押す

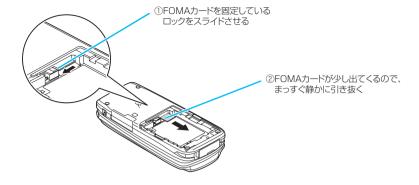
（7：❷での操作）

:

FOMAカードを使う

FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。また、FOMA端末を閉じた状態で手に持ったまま行ってください。

● FOMAカードの取り付けかた

FOMAカードが固定されるとロックの金属部分が左端に固定されます

●FOMAカードの取り外しかた

おしらせ

- 無理に取り付けようとしたり、無理に取り外そうとするとFOMAカードがこわれることがありますのでご注意ください。
- ロックのスライド時にFOMAカードに指などが触れると、FOMAカードの飛び出し量が少なくなり、FOMAカードが取り出しにくくなる場合があります。このような場合は、奥まで差し込んで再度ロックをスライドさせてください。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合はエラーメッセージ（P.519）が表示されます。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには2つの暗証番号を設定できます。→P.153
PIN1コードとは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたびに入力させる4〜8桁の暗証番号です。
PIN2コードとは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービス、積算通話料金リセットなどで個人認証が必要なときに入力する4〜8桁の暗証番号です。

- PIN1コードおよびPIN2コードは、ご契約時は「0000」に設定されています。
- PIN1コードおよびPIN2コードは変更できます。→P.153
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。

FOMAカード動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能とは、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能です。iモードのサイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、iモードメールに添付されているデータやファイルを取得すると、FOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。
別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルには「　」が表示されます。

- FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
  - ・iモードのサイトやインターネットホームページからダウンロードしたiアプリ／メロディ／画像／キャラ電／ドキュメント（PDFデータ）／ダウンロード辞書／画像が含まれているテンプレート
  - ・iモードのサイトやインターネットホームページから取得したiモーション
  - ・メロディ／画像／iモーション／キャラ電／ダウンロード辞書／テンプレートが含まれている画面メモ
  - ・受信BOX内のiモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル（メロディ／画像）
  - ・送信BOX／保存BOX内のiモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／iモーション。ただし、本FOMA端末で作成または撮影したデータは除く）
  - ・ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージR、メッセージF
  - ・デコメール本文中に挿入されている画像
  - ・テレビ電話伝言メモ
  - ・トルカ（詳細）の画像

次ページにつづく

● iチャネルサービスで受信したニュースなどの情報は、別のFOMAカードに差し替えると消去されます。
● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、別のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
● 赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能、miniSDメモリーカード、バーコードリーダーを使って登録したデータ、編集された画像、内蔵カメラで撮影した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。

おしらせ
● FOMAカード動作制限機能が設定されると、ほかの人のFOMAカードに差し替えたときは、「画面表示設定」や「着信音選択」などで本機能が設定されたデータやファイルを設定することができません。
● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの設定で動作します。
● あらかじめ登録されているiアプリでも、一度削除して再度サイトからダウンロードしたりバージョンアップすると、本機能の対象になります。
● FOMAカード動作制限機能が設定されていると、iモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、iアプリを起動することはできません。
● 他のiチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、その端末のテロップは表示されなくなります。また、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信するには、iチャネル対応ボタンを押してチャネル一覧を表示してください。その場合は、テロップも自動的に表示されるようになります。

FOMAカード差し替え時の設定について

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替え前の設定から変更されます。

設定	別のFOMAカードに差し替えた場合
「バイリンガル」（P.146）	差し替えたFOMAカードの設定となります。
「SMS center設定」（P.310）	
「SMS有効期間設定」（P.296）	
「PIN設定」（P.153）	
「アプリケーション通信設定」の「接続先選択」（P.231）	
プッシュトークの「番号通知設定」（P.106）	差し替え前の設定にかかわらず、「通知しない」に設定されます。
iチャネルの「テロップ表示設定」（P.328）	差し替え前の設定にかかわらず、「表示する」に設定されます。
フルブラウザの「アクセス設定」（P.340）	差し替え前の設定にかかわらず、「利用しない」に設定されます。
フルブラウザの「Cookie設定」（P.341）	差し替え前の設定にかかわらず、「無効」に設定されます（Cookieの情報は残ります）。

おしらせ
● FOMAカードを差し替えた場合、FOMA端末へ登録していたマルチナンバーの設定（名前・番号・着信音など）が消去されることがあります。このようなときは再度登録を行ってください。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMA端末でFOMAカードをご使用になる場合、以下のような機能差分があります。

機能	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色)
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

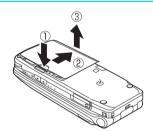
WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用いただけます。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。

※一部ご利用になれない料金プランがあります。

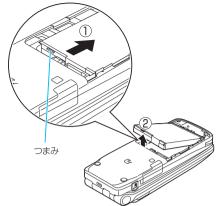
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

● 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

●取り付けかた

リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外します。

電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末(本体)の金属端子が合うように④の方向に取り付けてから、⑤の方向へはめ込みます。

リアカバーを約3mmあけた状態でFOMA端末(本体)の溝に合わせ、⑥の方向へ押し付けながら⑦の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

●取り外しかた

リアカバーを外します。
電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げます。

おしらせ
- 無理に付けようとするとFOMA端末側の電池パックとつながる充電端子がこわれることがありますのでご注意ください。
- 詳しくは電池パック N11の取扱説明書をご覧ください。

電池の上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、FOMA端末専用の電池パック N11をご利用ください。

■電池の寿命
・電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
・1回で使うことのできる時間が、使いはじめたときに比べ半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
・電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について
・詳しくはFOMA ACアダプタ 01(別売)、FOMA DCアダプタ 01(別売)の取扱説明書をご覧ください。
・ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に付けた状態でないと充電できません。
・充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
・コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください
充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度取り付けし直してください。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

電池の使用時間の目安

（電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります）

連続通話時間	連続待受時間
音声電話　：約140分 テレビ電話：約90分	静止時：約520時間 移動時：約390時間

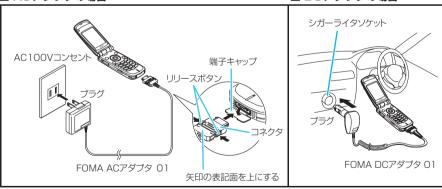
・連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
・連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。iモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やiモード通信をしなくても、iモードメールを作成したり、ダウンロードしたiアプリ、iアプリ待受画面を起動したり、音楽を再生したりすると、通話（通信）・待受時間は短くなります。
・静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
・移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
・miniSD メモリーカードを取り付けているとき、データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラやライトを使用したときも、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

おしらせ
● 電池残量がなくなったときや電池パックを外したときは、静止画や動画の保存などはできません。

携帯電話を充電する

● 別売りの AC アダプタ、DC アダプタで充電できます。また、別売りの AC アダプタと卓上ホルダを組み合わせて充電できます。充電の際は、ACアダプタ／DC アダプタに添付されている取扱説明書もあわせてご覧ください。

AC アダプタ／DCアダプタで充電する

■ ACアダプタの場合　　■ DCアダプタの場合

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

次ページにつづく

3 ACアダプタのプラグをコンセントに／DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

充電がはじまります。

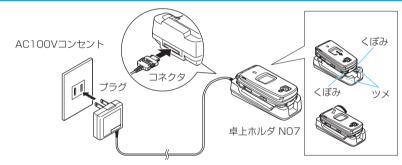
充電時間の目安
約120分

4 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタを FOMA端末から水平に引き抜く▶ACアダプタのプラグをコンセントから／DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く

5 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA端末（本体）の充電ランプおよびディスプレイの「▯」が消灯し、「充電器異常　充電を中止してください」などと表示された場合は、FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。
- ACアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。

卓上ホルダで充電する

1 ACアダプタのコネクタを卓上ホルダ背面の端子に差し込む

2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

3 上図のようにFOMA端末を卓上ホルダにしっかりと取り付ける

FOMA端末のくぼみに卓上ホルダのツメが固定されていることを確認してください。
充電がはじまります。

充電時間の目安
約120分

4 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の両側を持って矢印の方向へ持ち上げ、FOMA端末を卓上ホルダから外す

おしらせ

- FOMA端末は卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です。電源が入っている場合、充電中は「　」が点滅し、充電が終了すると、「　」が点灯します。
- 電源を入れておくと、充電中でも電話を受けることができます（充電時間は目安より長くなります）。
- 電源を入れておくと、充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。ただし、「マナーモード」（P.133）に設定中の場合や、「公共モード（ドライブモード）」（P.73）に設定中の場合、または「充電確認音」（P.132）を「OFF」に設定している場合、「充電確認音」は鳴りません。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- 電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- 電池が切れた状態や、電話帳などのデータがいっぱいで電源を切っている場合、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。
- DCアダプタはDC12Vまたは24Vのマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。
- DCアダプタのヒューズは、2A を使っています。万一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

残量の確認は目安としてご利用ください。

電池残量表示で確認する

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。

（緑色）：十分残っています
（緑色）：まだ大丈夫です
（赤色）：そろそろ充電です

12/20(火) 12:05

音と表示で確認する

MENU 7 1

電池残量を音と表示でお知らせします。

▶「その他」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒たつと電池残量のグラフィックは消えます。

「ピッピッピッ」　：十分残っているとき
「ピッピッ」　　　：少なくなっているとき
「ピッ」　　　　　：ほとんど残っていないとき

おしらせ

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は音が鳴りません。

電池が切れたときは？

電池切れアラームとともに右のような画面を点滅表示します。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームをとめる場合は[ホーム]、[メモ／確認]、[アシストキー]、以外のいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

- 通話中の場合は、電池切れ画面と「ピッピッピッ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。
- 「マナーモード」（P.133）に設定中で、マナーモード設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合や、「公共モード（ドライブモード）」（P.73）に設定中の場合、または「低電圧アラーム」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」の場合、電池切れアラームは鳴りません。

電源を入れる／切る

● お買い上げ後はじめてお使いになる場合（または長時間お使いにならなかった場合）は、必ず充電してからお使いください。また、充電には必ず専用のACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）をお使いください。
● お買い上げのときは、日付・時刻は設定されていません。「時計設定」で設定してください。→ P.51
ただし、FOMAカードを取り付けた状態で「時計設定」を「自動時刻補正する」に設定した場合は、自動で日付・時刻が設定されます。

電源を入れる

● 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。
● お買い上げ後はじめて電源を入れたときは、画面右上に「」が表示されます。

1 （1秒以上）

待受画面または初期設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「Wait a minute」と画面に表示される場合があります。

■「圏外」の表示が出ている場合
サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

→ →

■ PIN1コード入力を「ON」に設定している場合
PIN1コード入力画面が表示されます。

■ 積算料金自動リセットを「ON」に設定している場合
PIN2コード入力画面が表示されます。

■ 初期設定画面が表示された場合
初期設定を行います。→ P.50

12/20(火) 12:05
MAIL imode
待受画面

電源を切る

1 （2秒以上）

終了画面が表示され、電源が切れます。

おしらせ
● 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が切れることがあります。できるだけ「」が表示されている状態で使用することをおすすめします。
● 電源を切った後は、しばらくたってから電源を入れてください。

〈初期設定〉

初期設定を行う

電源を入れた後に初期設定として「時計設定」、「端末暗証番号の変更」、「ボタン確認音」、「ニューロポインター設定」（簡易設定のみ）、「プッシュトーク番号通知設定」を設定することができます。
● それぞれの機能をすでに設定しているときは、その機能の設定画面は表示されません。
● 操作1～6を行うと、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されません。また、初期設定の画面が表示されない状態で「設定リセット」を行っても、初期設定の画面は表示されません。
● PIN1コード入力を「ON」に設定している場合は、電源を入れた後、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると初期設定の画面が表示されます。→P.153

1 「初期設定画面」▶「YES」

初期設定画面

2 時計を設定

時計設定について→P.51

3 端末暗証番号を変更

端末暗証番号はお買い上げのときは「0000」に設定されています。「端末暗証番号を変更する」→P.153

4 ボタン確認音を設定

ボタン確認音について→P.131

5 ニューロポインターの速度を設定

ニューロポインター設定の簡易設定のみを行います。ニューロポインター設定について→P.144

6 プッシュトーク番号通知の設定

プッシュトーク番号通知について→P.106

7 ソフトウェアの更新

ソフトウェアを更新するかどうかの確認画面が表示されます。ソフトウェアの更新について→P.526

おしらせ

- 設定中に電話がかかってきたり、(電源)または(CLR)を押すなどして初期設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- それぞれの機能を個別に設定することもできます。
- 初期設定を中止した場合もソフトウェアの更新をするかどうかの確認画面が表示されます。
- プッシュトーク番号通知を「通知する」に設定した場合、プッシュトーク発信したときに、すべての参加メンバーの電話番号が参加メンバー全員に通知されます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

〈時計設定〉 MENU 3 1

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。日付と時刻は自動で補正するように設定できます。

- 日付・時刻を設定すると、待受画面やイメージウィンドウなどに表示されるようになり、「めざまし時計」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。
- 「初期設定」(P.50)から設定する場合は操作2から行ってください。
- 設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。日付・時刻の表示は2037年12月31日23時59分以降進みません。

1 MENU ▶ ▶「時計」▶「時計設定」

2 以下の項目から選択

自動時刻補正する (お買い上げ時)	日付・時刻を自動で設定します。 「自動時刻補正する」を選択したときに時刻情報を取得して自動的に日付と時刻を設定します。
自動時刻補正しない	日付・時刻を手動で設定します。時刻をずらして設定したいときなどに設定します。

■「自動時刻補正しない」を選択した場合

年(西暦)、月、日、時刻(24時間表示)を入力します。
<例:2005年12月20日、12時05分に設定する場合>
(マルチ)を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。
ここでは2、0、0、5、1、2、2、0、1、2、0、5と押します。

時計設定
(西暦) 2005
(月日) 12/20
(時刻) 12:05

おしらせ

- 手動で日付・時刻を設定する場合は正しく入力してください。
- 設定した日付・時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外していると保持されない場合があります。そのような場合で、「自動補正しない」に設定するときは、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、バックアップ電池は電池パックを充電すると、同時に充電されます。

<自動時刻補正>

- 時刻情報をネットワークから取得しており、次の場合に補正されます。ただし、状況によっては自動補正を行わない場合もあります。
  - ・電源を入れたとき
  - ・待受画面表示中で、他の機能が起動していないときに充電を開始したとき
  - ・「自動時刻補正する」を設定したとき
- FOMAカードが取り付けられていない場合や「圏外」が表示されているところでは補正が行われません。
- 「iアプリ待受画面」を設定している場合、設定したiアプリによっては補正が行えないことがあります。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈世界時計設定〉

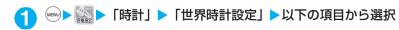
世界時計を設定する

お買い上げ時	タイムゾーン:GMT+00(都市名:ロンドン) サマータイム:OFF

「時計設定」で設定した日本国内の日付・時刻とは別に、世界各国の都市の時刻を表示することができます。必要に応じてサマータイムも設定できます。

- 世界時計を待受画面に表示するには→P.146

次ページにつづく

1 MENU▶ ▶「時計」▶「世界時計設定」▶以下の項目から選択

タイムゾーン	▶タイムゾーンを選択 ◯［変更］を押すと、タイムゾーンに表示されている都市名を変更することができます(タイムゾーンによっては都市名は変更できません)。
サマータイム	▶「ON」または「OFF」 「ON」に設定すると世界時計に1時間加算して時刻を表示します。

〈発信者番号通知〉

相手に自分の電話番号を通知する

ご契約時：通知しない	お申し込み：不要	月額使用料：無料

FOMA端末は電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

- 「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
- 発信者番号通知は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、電話を切って発信者番号を「通知する」に設定してかけ直せば相手に電話がかかります。

1 MENU▶ ▶「発信者番号通知」▶以下の項目から選択

発信者番号通知設定	ネットワーク暗証番号について→P.152	
	通知する	▶ネットワーク暗証番号を入力
	通知しない	▶ネットワーク暗証番号を入力
発信者番号通知設定確認	▶発信者番号の通知設定を確認して◉	

おしらせ

- 電話番号をダイヤルしたときや、「電話帳」、「リダイヤル」または「着信履歴」で電話番号を表示させたときに、発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.55
- プッシュトーク発信する場合は、本設定は機能しません。プッシュトーク設定の「番号通知設定」に従います。→P.106

〈自局番号〉

自分の電話番号を確認する

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認できます。

1 MENU▶ ▶「自局番号」

おしらせ

- お買い上げ時は自局番号のみ表示されます。
- お客様の個人データ（名前、自宅などの電話番号や住所、メールアドレスなど）を登録することもできます。登録、表示のしかた→P.415
- iモードのメールアドレスは、iモードメニュー▶「Menu」▶「オプション設定」▶「メール設定」▶「アドレス確認」の順に操作すると確認できます。

●電話のかけかた／受けかた

■電話のかけかた

■電話の受けかた

■電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

電話番号をダイヤルして音声電話をかけます。

1 相手の市外局番からダイヤル

「電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 − 市内局番 − 電話番号

26桁を超えて入力すると、先頭の番号から入力画面に表示されなくなりますが、最大80桁まで入力して発信できます。

電話番号入力画面

機能メニュー ➡P.55

■携帯電話にかける場合
090−××××−××××
または
080−××××−××××

■PHSにかける場合
070−××××−××××

2 [発信キー]

電話番号が一度消えた後、右端から表示されて電話がかかります。
発信中は「[アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。
「通話中画面」が表示されます。

通話中画面

機能メニュー ➡P.55

■通話中にテレビ電話での通話に切り替える場合
「音声電話からテレビ電話へ切り替える」→P.56

■「ツーツー」という話中音が聞こえる場合
相手が話し中です。[PWR HLD]を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合
相手の携帯電話またはPHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。[PWR HLD]を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合
相手が番号通知お願いサービスを「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直しください。

3 通話が終了したら[PWR HLD]

おしらせ

- iモード中またはメールの送受信中でも電話をかけることができます。
- 64Kデータ通信中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中には電話をかけられません。ただし、相手側が切り替え可能なFOMA端末の場合、テレビ電話中に機能メニューから「音声電話切替」を選択して音声電話に切り替えることはできます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。→P.87
- 通話中に通話中画面以外の画面を表示させた場合、[CLR]を押すと通話中画面に戻ります。
- 通話中の相手に内蔵カメラで撮影した静止画を送信すること（スピードフォトメール）もできます。→P.255
- 電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、発信中の相手の名前と電話帳登録時に選択したアイコンも表示されます。ただし、電話帳に静止画が登録されていても、静止画は表示されません。
- ハンズフリーを利用して通話することができます→P.65
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることができます。→P.423

電話番号入力画面の機能メニュー

発番号設定	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.52）で設定した内容になります。
プレフィックス	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.61
国際電話発信	**■「+」がついている（国番号がついている）場合** 「国際ダイヤル設定」→「自動付加設定」（P.63）の設定内容によって異なります。 ・「自動付加」に設定している場合 「+」が、「自動付加設定」で設定しておいた国際アクセス番号に置き換わります。 ・「付加なし」に設定している場合 **▶国際アクセス番号を選択** 「+」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「+」がついていない（国番号がついていない）場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。市外局番が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.63
マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.442
電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.251
通信速度設定	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.90 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。

通話中画面の機能メニュー

スピードフォトメール	「通話中に撮影した静止画を送信する」→P.255
スピードフォトメール表示	受信したスピードフォトメールを表示します。
iモード問い合わせ	iモード問い合わせをします。→P.235、273

電話番号の入力を間違えたとき

■ 番号を挿入する場合

⊕を押して挿入したい位置の1つ左の番号にカーソルを移動して番号を入力します。

■ 番号を削除する場合

⊕を押して削除したい番号にカーソルを合わせてCLRを押します。
CLRを1秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■ 入力し直す場合

カーソルを番号の先頭または最後に合わせてCLRを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

通話中に保留にする〈通話中保留〉

通話中の電話を保留にできます。

通話中▶CLR

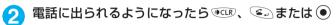
相手に保留音が流れます。

■保留中に電話を切る場合

▶PWR HLD

■保留中に相手が電話を切った場合

通話が切れます。

2 電話に出られるようになったらCLR、または●

おしらせ

- 通話を保留にしている間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留にしている間に流れる保留音は「保留音設定」で設定できます。
- 保留中は、自分のFOMA端末も保留音が鳴ります。ただし、「着信音量」の「電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、保留音は鳴りません（「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「電話着信音量」を「消去」以外にしている場合は音が鳴ります）。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

音声通話中に発信側からテレビ電話に切り替えることができます。

- 相手側が切り替え可能なFOMA端末の場合、音声通話中は「テレビ電話」が表示され、音声電話とテレビ電話の切り替えができます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。
- 切り替え操作は、音声電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません。
- 切り替え操作を行うには、あらかじめ相手がテレビ電話切替通知を通知するように設定しておく必要があります。→P.93
- 音声電話とテレビ電話の切り替えは、繰り返し行うことができます。

1 「通話中画面」▶●［テレビ電話］▶「YES」

音声電話からテレビ電話に切り替えている間は、切り替え中であることを示すインジケータが表示され、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話切替通知画面で「NO」を選択すると音声通話中画面に戻ります。

この画面からデジタル通信料がかかります。

おしらせ

- テレビ電話中にも音声電話へ切り替えることができます。→P.87
- 切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- 以下の場合は、通話中にテレビ電話と音声電話を切り替えることができません。
  - ・自分が着信を受けた側であるとき
  - ・自分が発信した場合に、通話相手がテレビ電話切替通知を停止に設定しているとき→P.93
  - ・「キャッチホン」が動作しているとき
  - ・相手側が通話を保留にしていたり、伝言メモを起動したとき
- 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話が終了した場合、通話終了後に表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。
- 切り替え操作を行うと、テレビ電話中に送信する画像についてのメッセージが相手側のテレビ電話画面に表示されて、相手側でカメラ映像を送信するか代替画像を送信するかを選択できます。→P.67
- 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴には、最初に発信した電話の履歴が記憶されます。また、着信履歴には最初に着信した電話の履歴が記憶されます。
- 発信側がパケット通信中（iモード含む）の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中（iモード含む）の場合は、「切替できません」というメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声通話を継続します。
- 相手側の利用状態や電波の状態などにより、音声電話からテレビ電話に切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
- 「切替中」であることを示すインジケータが表示されている間は通話料はかかりません。
- 切り替えを行った際に、「通話時間／料金」（P.417）に表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 切り替え前のハンズフリーの状態にかかわらず、切り替えたときのハンズフリーのON／OFFは、「ハンズフリー切替」の設定に従います。→P.92

〈リダイヤル／発信履歴〉

前にかけた相手にかけ直す

かけた相手の電話番号や日付・時刻などの情報はリダイヤルや発信履歴として記憶されます。

リダイヤル／発信履歴を利用する

- リダイヤルは音声電話、テレビ電話、プッシュトークの電話番号を30件まで記憶できます。発信履歴は音声電話、テレビ電話、プッシュトークの履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 同じ電話番号に繰り返し発信した場合、リダイヤルには常に最新の１件だけが記憶されます。
- リダイヤル／発信履歴は最大件数を超えた場合、古いものから順に上書きされます。
- テレビ電話中は、リダイヤル／発信履歴を表示できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたときは、リダイヤル／発信履歴には記憶されません。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、最初に発信した電話の履歴が記憶されます。
- プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴について→P.101

1 待受画面表示中▶

「リダイヤル画面（一覧）」が表示されます。

■ 発信履歴を表示する場合

▶待受画面表示中▶MENU▶ ▶「発信履歴」

「発信履歴画面（一覧）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（一覧）

機能メニュー ➡P.58

次ページにつづく

2 確認したいリダイヤル／発信履歴を選択

「リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）」が表示されます。
画面右上には「現在の番号／全体の件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かけた電話番号となります。

■ 前後のリダイヤル／発信履歴を確認する場合
を押すと前（新しい）の番号に、を押すと次（古い）の番号に切り替わります。

■ 電話帳に登録した電話番号の場合
名前が登録されていると、その名前も一緒に表示されます。

例：リダイヤル画面（詳細）

機能メニュー ➡P.58

3 または

■ テレビ電話をかける場合
▶

■ プッシュトークを発信する場合
▶

4 通話が終了したら

おしらせ

- 電源を切っても、リダイヤル／発信履歴は削除されません。発信した電話番号をほかの人に見られたくない場合は、リダイヤル／発信履歴を削除するか、「履歴表示設定」の「リダイヤル／発信履歴」を「OFF」に設定してください。
- 待受画面でを押してを押すと、最新のリダイヤルに音声電話をかけることができます。
- 機能メニューから「マルチナンバー」を選択して発信した場合、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）には、発信した際に選択した項目（「基本契約番号」、付加番号１または付加番号２の登録名）が表示されます。
- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル／発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話はリダイヤル／発信履歴に記憶されます。
- 前にかけた電話番号は「発信履歴」にも記憶されます。同じ番号にかけた場合でも「発信履歴」では別の１件として、電話をかけたときの情報が記憶されます。
- プッシュトーク（複数で通話）のリダイヤルは、リダイヤル／発信履歴から同じ相手を指定して再発信したときにのみ更新され、１人でも相手が異なる場合は別のリダイヤルとして記憶されます。

リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニュー

● リダイヤル画面／発信履歴画面の機能メニューの表示は、一覧表示のときと詳細表示のときで同じです。

発番号設定※	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.52）で設定した内容になります。
プレフィックス※	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.61
国際電話発信※	**■「＋」がついている（国番号がついている）場合** 「国際ダイヤル設定」→「自動付加設定」（P.63）の設定内容によって異なります。 ・「自動付加」に設定している場合 「＋」が、「自動付加設定」で設定しておいた国際アクセス番号に置き換わります。 ・「付加なし」に設定している場合 **▶国際アクセス番号を選択** 「＋」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「＋」がついていない（国番号がついていない）場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。市外局番が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.63
マルチナンバー※	「マルチナンバー」→P.442
プッシュトーク選択発信	プッシュトーク（複数で通話）のリダイヤルや発信履歴からメンバーを選択してプッシュトークを発信します。→P.101
電話帳登録	「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.114
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.251
SMS作成	「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.306

送信アドレス一覧	送信アドレス一覧を表示します。
1件削除	反転表示したリダイヤル、または発信履歴を削除します。
選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のリダイヤルまたは発信履歴を削除できます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 リダイヤルと発信履歴をすべて削除します。
通信速度設定※	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.90 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。

※： 詳細表示のときにのみ利用可能な機能です。

おしらせ

- 「iモードメール作成」は電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、メールアドレスを宛先としたメールを作成します。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
- 「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。発信履歴を削除するときは、発信履歴画面の機能メニューから削除してください。

■ 表示されるリダイヤル／発信履歴のアイコンについて

アイコン	説明	アイコン	説明
電話	音声電話の発信	INT'L 電話	国際テレビ電話の発信
INT'L 電話	国際電話の発信	パケット	パケット通信の発信
電話	テレビ電話の発信	64k	64Kデータ通信の発信
	プッシュトーク（1対1通話）の発信		プッシュトーク（複数人通話）の発信

〈186／184〉

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話機が発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

● プッシュトークの発信時の通知／非通知は、「プッシュトーク設定」で設定します。→P.106

機能名	機能内容	参照ページ
発信者番号通知	電話をかけたときに、お客様の電話番号を通知するかどうかを一括して設定します。	P.52
「186」／「184」ダイヤル	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを「186」／「184」をダイヤルして設定します。	P.59
発番号設定	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを機能メニューから設定します。	P.55

相手の電話番号の前に「186」／「184」をつけてダイヤルする

電話をかけるたびに、電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。

■ 電話番号を通知する場合

音声電話　：186－［相手先の電話番号］－
テレビ電話：186－［相手先の電話番号］－［TV電話］

■ 電話番号を通知しない場合

音声電話　：184－［相手先の電話番号］－
テレビ電話：184－［相手先の電話番号］－［TV電話］

おしらせ

- 電話番号の通知をお願いするガイダンスが流れた場合は、「186」をつけてダイヤルし直すと通話できます。
- 「186」または「184」をつけて電話をかけたときは、リダイヤルや発信履歴に「186」または「184」をつけた電話番号で記憶されます。

〈ポーズダイヤル〉 MENU 8 4

プッシュ信号を手早く送り出す

FOMA端末からプッシュ信号を送って、ポケットベル*へのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ（p）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

- 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、*、ポーズ（p）です。
- ポーズ(p)をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「発信」▶「ポーズダイヤル」

「ポーズダイヤル画面」が表示されます。

■ **すでにダイヤルデータが登録されている場合**

登録されているダイヤルデータが表示されます。

2 [編集] ▶ダイヤルデータを入力

0～9、#、*を押してダイヤルデータを入力してください。

■ **ポーズ（p）を入力する場合**

▶*（1秒以上）

ポーズダイヤル画面

機能メニュー ➡P.60

ポーズダイヤル画面の機能メニュー

編集	▶ダイヤルデータを編集
ポーズダイヤル送信	▶送信先の電話番号を入力▶◉ ◉を押すたびに、ポーズ（p）までのダイヤルデータが送出されます。
削除	登録されているダイヤルデータを削除します。

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信する

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「発信」▶「ポーズダイヤル」

2 ◉▶送信先の電話番号をダイヤル

■ **電話番号の一部から電話帳を検索して入力する場合**

▶電話番号の一部をダイヤル▶◎を押して検索

■ **電話番号以外から電話帳を検索して入力する場合**

▶◎▶電話帳検索画面から検索方法を選択して検索

■ **着信履歴やリダイヤルから検索して入力する場合**

▶◎▶着信履歴または◎を押してリダイヤルから検索

3 発信キーまたは◉

入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のポーズ（p）までのダイヤルデータが表示されます。ポーズ（p）は表示されません。

4 または◉

（発信キー）または◉を押すたびに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

■ **ダイヤルデータをまとめて送出する場合**

▶（1秒以上）▶「一括送出」

相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- 音声通話中にポーズダイヤル画面を表示すると、通話中の相手にダイヤルデータを送信できます。
- テレビ電話中は、ポーズダイヤルを送信できません。

〈プレフィックス設定〉

プレフィックスを設定する

お買い上げ時
WORLD CALL（009130010）

よく使用する特定の番号（プレフィックス）をあらかじめ設定します。設定した番号は「ダイヤル入力」、「電話帳」、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話をかけるときに電話番号の前につけてダイヤルできます。「発信者番号通知」などの番号を設定しておくと便利です。

- プレフィックスは7件まで登録できます。
- 番号に登録できる文字は0～9、#、＊、＋です。

プレフィックス設定画面

機能メニュー ➡P.61

1 MENU▶

「プレフィックス設定画面」が表示されます。

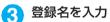
2 「＜未登録＞」を反転表示して◯［編集］

■ **すでに登録されているプレフィックスの内容を変更する場合**

▶変更したい項目を反転表示して◯［編集］

■ **すでに登録されているプレフィックスの内容を確認する場合**

▶確認したい項目を選択

3 登録名を入力

登録名は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。

4 番号（プレフィックス）を入力

番号は10桁まで入力できます。

プレフィックス設定画面の機能メニュー

編集	プレフィックスを編集します。
1件削除	反転表示したプレフィックスを削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

〈WORLD CALL〉
国際電話を利用する

お申し込み：不要
月額使用料：無料

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様はご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
※一部ご利用になれない料金プランがあります。

- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 国際電話をかけるには電話番号を直接ダイヤルしてかける方法以外に、「+」を利用してかけたり、電話番号入力画面、リダイヤル／発信履歴画面、着信履歴画面、電話帳詳細画面の各機能メニューから「国際電話発信」や「プレフィックス」を選択してかけることができます。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後に◯［TV電話］で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 009130→010→国番号→市外局番→相手先電話番号の順にダイヤル

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 ［発信］

国際電話がかかります。

3 通話が終了したら［PWR/HLD］

「+」を利用して国際電話をかける

「+」を利用すれば、009130-010などの国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。

- お買い上げのときには「国際ダイヤル設定」（P.63）の「自動付加設定」が「自動付加」に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1 待受画面表示中に、+（［0］（1秒以上））→国番号→市外局番→相手先電話番号の順にダイヤル

市外局番が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

2 ［発信］▶「発信」

国際電話がかかります。

■「+」を国際アクセス番号に変換しないでかける場合
▶「元の番号で発信」
※ 本端末ではご利用になれません。

■ 電話をかけるのをやめる場合
▶「中止」

国際電話の発信を簡単な操作でできるようにする〈国際ダイヤル設定〉

お買い上げ時	自動付加設定：自動付加　国際電話設定：「WORLD CALL」（009130010） 国番号設定：「アメリカ」（国番号：1）

国際電話を発信するときの設定内容を変更したり、新しく国番号を登録することができます。設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目	内容
自動付加設定	国内から国際電話をかけるときには、入力した「+」を、本機能で設定した国際アクセス番号に自動的に置き換えます。
国際電話設定	国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。
国番号設定	国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を登録します。

● 自動付加について設定する

国際電話をかけるときの「+」の自動付加について設定します。

1 MENU▶（各種設定）▶「発信」▶「国際ダイヤル設定」

2 「自動付加設定」▶「自動付加」

■ 付加しない場合
▶「付加なし」

3 国名を選択

4 国際アクセス名を選択

● 国際アクセス番号を登録する

10桁までの国際アクセス番号を3件まで登録できます。

1 MENU▶（各種設定）▶「発信」▶「国際ダイヤル設定」

2 「国際電話設定」

「国際電話設定画面」が表示されます。

国際電話設定画面

機能メニュー ➡P.63

3 「<未登録>」を反転表示して◯［編集］

■ すでに登録されている項目を変更する場合
▶変更したい項目を反転表示して◯［編集］

4 国際アクセス名を入力

5 国際アクセス番号を入力

国際電話設定画面の機能メニュー

編集	国際アクセス番号を編集します。
1件削除	国際電話設定で登録した情報のうち、反転表示している情報を削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 国際電話設定で登録した情報をすべて削除します。

おしらせ

● 「自動付加設定」で設定されている国際アクセス番号は削除できません。また、「自動付加設定」が「自動付加」に設定されている場合は、全削除も行えません。

●国番号を登録する

5桁までの国番号を3件まで登録できます。

1 MENU▶［各種設定］▶「発信」▶「国際ダイヤル設定」

2 「国番号設定」

「国番号設定画面」が表示されます。

国番号設定画面

機能メニュー ➡P.64

3 「<未登録>」を反転表示して◯［編集］

■ すでに登録されている項目を変更する場合

▶変更したい項目を反転表示して◯［編集］

4 国名称を入力

5 国番号を入力

国番号についてはドコモのホームページをご覧ください。

国番号設定画面の機能メニュー

編集	国番号を編集します。
1件削除	反転表示した国番号設定を削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されている国番号設定をすべて削除します。

おしらせ

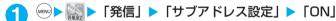
● 「自動付加設定」で設定されている国番号は削除できません。また、「自動付加設定」が「自動付加」に設定されている場合は、全削除も行えません。

〈サブアドレス設定〉

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時 ON

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識するように設定できます。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 MENU▶［各種設定］▶「発信」▶「サブアドレス設定」▶「ON」

■ サブアドレス設定を無効にする場合

▶「OFF」

おしらせ

● 以下のような場合、「＊」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「＊」も含めて普通の電話番号として認識されます。
- ・電話番号の先頭に「＊」がある場合
- ・電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「＊」がある場合
- ・「プレフィックス」で入力した番号の直後に「＊」がある場合

〈再接続機能〉 MENU 7 7

再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時 アラームなし

FOMA端末は音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定できます。

● ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。
● 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 ▶「通話」▶「再接続機能」▶「アラームなし」、「アラーム高音」または「アラーム低音」

おしらせ

- 再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。
- 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

〈ノイズキャンセラ〉

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

MENU 7 6

お買い上げ時 ON

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、音声通話やテレビ電話、プッシュトークにおいての声を相手に聞きやすくすることができます。

1 ▶「通話」▶「ノイズキャンセラ」▶「ON」

■ ノイズキャンセラを使わない場合

▶「OFF」

〈ハンズフリー〉

ハンズフリーを利用する

通話中にハンズフリーに切り替える

通話中にハンズフリーに切り替えて、通話中の相手の音声をスピーカから流して通話できます。

1 「通話中画面」（P.54）▶ [ ]

音声電話、プッシュトークの場合は、呼出中に [ ] を押してもハンズフリーに切り替えることができます。

ハンズフリー通話中は「 」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます 。

■ ハンズフリーを解除する場合

▶ハンズフリー通話中に [ ]

ハンズフリーはOFFになり、音声電話、プッシュトークの場合は「 」が消えます。テレビ電話の場合は「 」が「 」に変わります 。

例：音声電話

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づきすぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声の聞こえ方が変わることがあります。

おしらせ

- ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。
- 通話が終了すると、ハンズフリーの設定は解除されます。

〈車載ハンズフリー〉

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

- ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。→P.380
- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。

次ページにつづく

- ハンズフリー対応機器を接続し、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、音声電話／テレビ電話／プッシュトークやメールなどの着信時にはハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、通信速度はハンズフリー対応機器の設定に従います。設定されていない場合、通信速度は「64K」になります。
- ハンズフリー対応機器を接続し、FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら または ◉

電話がかかってくると着信音が鳴り、着信ランプが点滅し、「着信中画面」が表示されます。
「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、振動でもお知らせします。
また、イメージウィンドウでも相手の名前などを表示してお知らせします。→P.34

2 通話が終了したら

着信中画面

機能メニュー ➡P.66

着信中画面の機能メニュー

着信拒否	電話を受けないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	電話を転送します。 「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。 「転送でんわサービス」→P.436
留守番電話	電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」→P.432
表示切替	付加番号1または付加番号2から転送元番号に表示を切り替えます。 マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。 「マルチナンバー」→P.442

おしらせ

- 、◉以外に～、、、、、[ホーム]、[アシストキー]のいずれかのボタンを押しても電話を受けるように設定できます（エニーキーアンサー）。ただし、FOMA端末を閉じた状態で[ホーム]、[アシストキー]を押したときには、通話中保留の状態になります。その際「クローズ動作設定」を「保留」に設定していると保留音が流れますが、「ミュート」または「終話」に設定していると保留音は流れません。
また、ボタンを押すと着信音だけがとまるように設定することもできます（クイックサイレント）。
- 着信中にまたは[メモ／確認]を押すと、「マナーモード」になり、同時に「伝言メモ」へ移り、相手の用件を録音できます。→P.79
- 電話帳に登録されている相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、電話番号と相手の名前が表示されます。また、電話帳に画像が登録されている場合は、その画像が表示されます。ただし、シークレットデータとして登録されている場合は名前や画像は表示されず、電話番号のみが表示されます。また、電話番号を通知してこない相手の場合は、その理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。
- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、電話がかかってきたときは、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.116
- 電話の着信は「着信履歴」に30件まで記憶されます。相手が電話番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、電話番号を通知してきた相手が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が表示されます。
- 「通話中着信設定」を有効にし、「着信動作選択」を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴り、以下の動作が可能です。
  - ・「留守番電話サービス」をご契約されている場合は、留守番電話サービスセンターへ転送できます。
  - ・「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、転送先へ転送できます。

  さらに、「キャッチホン」をご契約いただき、「着信動作選択」を「通常着信」に、「キャッチホン」を「開始」に設定すると、通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答することもできます。詳しくはP.435を参照してください。

- 「プッシュトーク通信中着信設定」（P.107）を「通常着信」に設定している場合、プッシュトーク通信中でも音声電話を受けることができます。
- 「公共モード（ドライブモード）」に設定中は、着信音は鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。
- 電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。→P.167
- 電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、着信があった時点から呼出動作を開始する（着信を知らせる）までの時間を設定できます。→P.167
- 電話帳の電話番号に「指定着信拒否」を設定した場合、その電話番号からの着信は受けることはできません。また、電話帳の電話番号に「指定着信許可」を設定した場合、その電話番号以外の着信は受けることはできません。→P.164
- ハンズフリーを利用して通話することができます。→P.65

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

相手からかかってきた音声通話中、相手が操作を行うことによりテレビ電話に切り替わります。

- 切り替え操作は、音声電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。
- 発信側が切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を「切替機能通知開始」に設定しておく必要があります。→P.93

1 「通話中画面」（P.54）▶相手側がテレビ電話切替操作を行う▶「YES」

音声電話からテレビ電話に切り替えている間は、切り替え中であることを示すインジケータが表示され、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話に切り替わり、自画像が相手側に送信されます。

■ 相手側に代替画像を送信する場合

▶「NO」
設定している代替画像が送信されます。

→
→
→
おしらせ

- 切り替え前のハンズフリーの状態にかかわらず、切り替えたときのハンズフリーのON／OFFは、「ハンズフリー切替」の設定に従います。→P.92

〈着信アンサー設定〉 MENU 5 8

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時 エニーキーアンサー

音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があったとき、すぐに着信音をとめたり、着信に応答するように設定します。周囲に迷惑がかかるような場所で着信があった場合などに便利です。

 1 MENU▶▶「着信」▶「着信アンサー設定」▶以下の項目から選択

エニーキーアンサー	音声電話がかかってきたとき、[通話]、[決定]以外にも[0]～[9]、[*]、[CLR]、[方向]、[終話]、[ホーム]、[アシストキー]のいずれかのボタンを押すと、すぐに電話に出ることができます。FOMA端末を閉じた状態で[ホーム]、[アシストキー]を押すと通話中保留になります。※ テレビ電話の場合は無効になります。 プッシュトークの着信があったとき、[プッシュトーク]、[通話]、[決定]以外にも、[0]～[9]、[*]、[CLR]、[終話]、[ホーム]、[アシストキー]のいずれかのボタンを押すと、すぐにプッシュトークに応答できます。

次ページにつづく

クイックサイレント	音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、0～9、＊、CLR、、[ホーム]、[アシストキー]のいずれかのボタンを押すかFOMA端末を開くと、着信音およびバイブレータがとまります。着信音をとめても相手には呼び出し音が鳴ったままです。音声電話のときにを押しても、着信音およびバイブレータがとまります。音声電話の場合は、または●を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は、［カメラ］またはを押すとカメラ映像で、●を押すと代替画像で電話に出ることができます。 プッシュトークの着信があったとき、0～9、＊、CLR、、、[ホーム]、[アシストキー]のいずれかのボタンを押すかFOMA端末を開くと、着信音およびバイブレータがとまります。着信音をとめても相手には呼び出し音が鳴ったままです。、、●のいずれかのボタンを押すとプッシュトークに応答できます。
OFF	音声電話がかかってきた場合は、または●を押したときのみ電話に出ることができます。テレビ電話がかかってきた場合は、［カメラ］、、●のいずれかのボタンを押したときのみ電話に出ることができます（●を押したときは代替画像でテレビ電話に出ます）。 プッシュトークの着信があった場合は、、、●のいずれかのボタンを押したときのみプッシュトークに応答できます。

※：「クローズ動作設定」を「保留」に設定していると保留音が流れますが、「ミュート」または「終話」に設定していると保留音は流れません。

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、「マナーモード」設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
- 「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」に設定中でも、5を1秒以上押すとバックライトのON／OFF切り替えとなり、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は働きません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」にかかわらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても音声電話、テレビ電話（自画像応答）、プッシュトークに応答することができます。
- 「外部ボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じている状態では[ホーム]、[アシストキー]を押しても、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は働きません。
- 着信中に[メモ／確認]、#を押すと伝言メモを起動して用件を録音することができます。→P.79

〈クローズ動作設定〉

FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する

お買い上げ時　終話

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定できます。

1 ▶ ▶「通話」▶「クローズ動作設定」▶以下の項目から選択

<table>
<tr><td>ミュート</td><td colspan="2">音声電話の場合、音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、音声をミュートして相手側に「代替画像」を送信します。保留音は流れません。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。※</td></tr>
<tr><td rowspan="3">保留</td><td colspan="2">通話を保留（通話中保留）にします。また、自分のFOMA端末のスピーカからも保留音を流す／流さないを設定できます。音声電話の場合、折り畳んでいる間相手に「保留音設定」で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合、「保留音設定」で設定した保留音が流れ、相手側に通話中保留画像を送信します。→P.72
FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。※</td></tr>
<tr><td>スピーカ鳴動する</td><td>相手に保留音が流れ、スピーカからも保留音が流れます。</td></tr>
<tr><td>スピーカ鳴動しない</td><td>相手にのみ保留音が流れます。</td></tr>
<tr><td>終話</td><td colspan="2">通話を終了します。を押す操作と同じです。</td></tr>
</table>

※：通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合は、音声電話のときは通話中の状態になり、テレビ電話のときは保留の状態を保持します。

おしらせ

- マナーモード設定中は「スピーカ鳴動する」を選択していてもスピーカから音は鳴りません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。
- 「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。

着信履歴を利用する

かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は着信履歴として記憶されます。

- 着信履歴は音声電話、テレビ電話、プッシュトークの履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- テレビ電話中は、着信履歴を表示できません。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、最初に着信した電話の履歴が記憶されます。
- プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴について→P.101

1 MENU ▶ ▶「着信履歴」▶以下の項目から選択

全着信 （件数を表示）	すべての着信履歴を表示します。
不在着信 （件数を表示）	不在着信履歴だけを表示します。

未確認件数：確認していない不在着信の件数を表示します。

2 着信履歴の一覧を確認

「着信履歴画面（一覧）」が表示されます。

着信履歴画面（一覧）

機能メニュー ➡P.70

3 詳細を確認したい着信履歴を選択

「着信履歴画面（詳細）」が表示されます。
画面右上には「現在の履歴番号／全体の履歴の件数」が表示されます。番号が若いほど、最近かかってきた電話番号となります。

■ 前後の着信履歴を確認する場合

を押すと前(新しい)の履歴に、を押すと次(古い)の履歴に切り替わります。

■ 電話帳に登録した電話番号の場合

名前が登録されていると、その名前も一緒に表示されます。

着信履歴画面（詳細）

機能メニュー ➡P.70

4 または

■ テレビ電話をかける場合

▶ ［テレビ電話］

■ プッシュトークを発信する場合

▶

5 通話が終了したら

おしらせ

- 電源を切っても、着信履歴は削除されません。着信した電話番号をほかの人に見られたくないときは、着信履歴を削除するか、「履歴表示設定」の「着信履歴」を「OFF」に設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で呼出動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示しないように設定した場合、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信は、着信履歴に表示されません。→P.167
- 着信履歴は待受画面でを押しても呼び出すことができます。
- 待受画面でを押してを押すと最新の着信履歴に音声電話をかけることができます。
- マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信の場合、着信履歴画面（詳細）に、付加番号1または付加番号2の登録名が表示されます。
- 「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの着信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後に受けた電話は着信履歴に記憶されます。
- 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。

次ページにつづく

- 電話番号を通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は電話番号と名前が、電話番号を通知してこなかった場合は非通知理由（P.166）が着信履歴に表示されます。ただし、電話帳に登録されている電話番号を通知してきても、「指定発信制限」設定中の場合は「指定発信制限」に設定されている電話番号のときのみ電話番号と名前を表示します。設定されていない電話番号の場合は電話番号のみが表示されます。
- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、着信履歴には、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.116

■ 表示される着信履歴／不在着信履歴のアイコンについて

電話／不在／不在	音声電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	遠隔	遠隔監視の着信
INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際音声電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際テレビ電話の着信／不在着信／未確認の不在着信
電話／不在／不在	テレビ電話の着信／不在着信／未確認の不在着信	パケット／不在／不在	パケット通信の着信／不在着信／未確認の不在着信
／不在／不在	プッシュトーク（1対1通話）の着信／不在着信／未確認の不在着信	64k／不在／不在	64Kデータ通信の着信／不在着信／未確認の不在着信
／不在／不在	プッシュトーク（複数で通話）の着信／不在着信／未確認の不在着信	接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けたパケット通信や64Kデータ通信の着信
伝言／伝言	音声伝言メモ／テレビ電話伝言メモに用件が録音／録画されている		

着信履歴画面の機能メニュー

- 着信履歴画面の機能メニュー表示は、一覧表示のときと詳細表示のときで同じです。

発番号設定※	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.52）で設定した内容になります。
プレフィックス※	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.61
国際電話発信※	**■「+」がついている（国番号がついている）場合** 「国際ダイヤル設定」→「自動付加設定」（P.63）の設定内容によって異なります。 ・「自動付加」に設定している場合 「+」が、「自動付加設定」で設定しておいた国際アクセス番号に置き換わります。 ・「付加なし」に設定している場合 **▶国際アクセス番号を選択** 「+」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「+」がついていない（国番号がついていない）場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。市外局番が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.63
マルチナンバー※	「マルチナンバー」→P.442
プッシュトーク選択発信	プッシュトーク（複数人通話）の履歴からメンバーを選択してプッシュトークを発信します。→P.101
呼出時間表示	不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。着信履歴画面（一覧）表示中のみ有効です。
電話帳登録	「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.114
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.251
SMS作成	「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.306
受信アドレス一覧	受信アドレス一覧を表示します。
1件削除	反転表示した着信履歴を削除します。
選択削除	**▶Ⓒで□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」** 複数の着信履歴を削除できます。

全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 着信履歴をすべて削除します。
通信速度設定※	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.90 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。

※：詳細表示のときにのみ利用可能な機能です。

おしらせ
- パケット通信および64Kデータ通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールを作成することはできません。

〈受話音量〉
相手の声の音量を調節する

お買い上げ時 レベル4

通話中の相手の声の大きさを「レベル1」（最小）～「レベル6」（最大）の6段階で調節できます。
- 通話中や待受中に調節した音量は調節、通話が終わっても設定は保持されます。

通話中に相手の声の音量を調節する

＜例：音声通話中の場合＞

1 通話中▶[ホーム]または[メモ／確認]で音量を調節

またはを1秒以上押しても同じように調節できます。受話音量調節中に[ホーム]または[メモ／確認]を1秒以上押すと音量を連続で調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、通話中の画面に戻ります。

おしらせ
- テレビ電話中やプッシュトーク通信中、ハンズフリーのときも調節できます。
- テレビ電話中は、またはを押して調節します。受話音量調節中に[ホーム]または[メモ／確認]を1秒以上押しても音量を連続的に調節できません。
- プッシュトーク通信中は、[ホーム]または[メモ／確認]を押して調節します。またはを押しても音量を調節できません。

待受中に相手の声の音量を調節する

1 待受画面表示中▶または（1秒以上）▶またはで音量を調節

またはを1秒以上押すと音量を連続的に調節できます。
受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、調節を終了し、待受画面に戻ります。

〈着信音量〉 MENU 5 0
着信音の音量を調節する

お買い上げ時 すべてレベル4

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があったときや、メールやチャットメール、メッセージR、メッセージFを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節できます。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくする（ステップトーン）こともできます。
- 本機能で設定した「電話」の着信音量は、「メロディ」、音声電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「To Doリスト」のアラーム音、サイトからダウンロードしたメロディの再生音量、読み上げ音量などに反映されます。
- 本機能で調節した音量は調節が終わっても設定は保持されます。

1 MENU▶各種設定▶「着信」▶「着信音量」▶以下の項目から選択

電話	音声電話、64Kデータ通信などの着信音量を調節します。
テレビ電話	テレビ電話の着信音量を調節します。
プッシュトーク	プッシュトークの着信音量を調節します。
メール	iモードメールやSMS、パケット通信の着信音量を調節します。

次ページにつづく

チャットメール	チャットメールの着信音量を調節します。
メッセージR	メッセージRの着信音量を調節します。
メッセージF	メッセージFの着信音量を調節します。

2 ◎または◎

■ステップトーン（次第に音を大きくする）に設定する場合

▶「レベル6」のときに◎

「ステップ」に設定しているときに着信すると、3秒ごとに無音、「レベル1」～「レベル6」の順で着信音量が大きくなります。

■着信音を消すように設定する場合

▶「レベル1」のときに◎

消去に設定すると、着信音が鳴らなくなります。
待受画面のアイコンで、「消去」に設定されている項目が確認できます。

S♪：「電話」、「テレビ電話」、「プッシュトーク」を1つ以上「消去」に設定したことを示します。

S✉：「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」を1つ以上「消去」に設定したことを示します。

S♪✉：「S♪」と「S✉」の両方に「消去」を設定したことを示します。

〈応答保留〉

すぐに電話に出られないときに保留にする

音声電話やテレビ電話の着信中、すぐに電話に出られないときは、応答保留にして相手にしばらく待ってもらうことができます。

● 応答保留中でも、相手に通話料金がかかります。

1 着信中▶PWR HLD

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。
応答保留中に流れるガイダンスは「保留音設定」で設定できます。

■応答保留中に電話を切る場合

▶PWR HLD

■応答保留中に相手が電話を切った場合

通話が切れます。

2 電話に出られるようになったら◎または◉

「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合はさらに0～9、*、CLR、◎、◎、[ホーム]、[アシストキー]を押しても電話に出ることができます。また、[メモ／確認]、#、◎を押しても電話に出ることができます。

テレビ電話の場合→P.87

おしらせ

- 「着信音量」の「電話」、「テレビ電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、応答保留にしたときの「ピッピッピッ」という音は鳴りません。ただし、「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「電話着信音量」を「消去」以外にしている場合は音が鳴ります。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、着信中に機能メニューから「留守番電話」または「転送でんわ」を選択すると、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます。
- 応答保留の状態でFOMA端末を閉じると、応答保留中はイメージウィンドウに応答保留中であることを表示します。

〈保留音設定〉

保留音を設定する

お買い上げ時	応答保留音：応答保留音1　通話中保留音：エリーゼのために

音声電話やテレビ電話の応答を保留にしたときや、通話中の電話を保留したときに流れるガイダンスを設定できます。

1 MENU▶▶「通話」▶「保留音設定」▶以下の項目から選択

応答保留音	応答を保留にするときのガイダンスを設定します。	
	応答保留音1	以下のガイダンスが流れます。 「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」
	応答保留音2	以下のガイダンスが流れます。 「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください」
	おしゃべり1※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音/再生する」→P.417
	おしゃべり2※	
通話中保留音	通話中の保留音を設定します。	
	エリーゼのために	「エリーゼのために」が流れます。
	おしゃべり1※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音/再生する」→P.417
	おしゃべり2※	

※: おしゃべりが録音されていないときは表示されません。

おしらせ

- ガイダンスの選択画面で［デモ］を押すと、選択しているガイダンスを確認することができます。
- 「バイリンガル」の設定を「English」に変更しても、「応答保留音1」または「応答保留音2」のガイダンスは日本語になります。

〈公共モード(ドライブモード)〉

公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館等)にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定/解除は、待受画面表示中のみできます(画面に「圏外」が表示されているときも可能です)。
- 公共モードを設定中でも電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます(公共モードのガイダンスは流れません)。

1 待受画面表示中▶(1秒以上)

公共モードに設定され、「」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ **公共モード(ドライブモード)を解除する場合**

公共モードが設定されている状態で、待受画面表示中に(1秒以上)を押します。
公共モードが解除され、「」の表示が消えます。

おしらせ

- 「伝言メモ」を「ON」に設定していても公共モードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。
- マナーモード設定中の着信動作は、公共モードが優先されます。
- 公共モード設定中に緊急通報番号(110番、119番、118番)へ音声電話をかけると、公共モードが解除されます。
- 公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。
  - ・音声電話/テレビ電話/プッシュトーク着信音
  - ・メッセージR、メッセージF着信音
  - ・めざまし時計のアラーム音
  - ・To Doリストのアラーム音
  - ・電池切れアラーム音
  - ・iアプリのソフトの鳴動
  - ・メール着信音
  - ・チャットメール着信音
  - ・スケジュールのアラーム音
  - ・通話料金通知のアラーム音
  - ・充電確認音
  - ・パケット通信/64Kデータ通信着信音
- 公共モード設定時に、遠隔オールロックを設定した場合、登録した許可番号から設定した回数だけ電話をかけると、公共モードガイダンスは流れずに、遠隔オールロックがかかったことを通知するガイダンスが流れます。

●公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があっても着信音は鳴りません。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- プッシュトークを着信した場合は、応答を行わずに、複数で通話のときは参加メンバーに対して、運転中であることが伝わります。

おしらせ

- 公共モード設定中でも、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、公共モードの通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。ただし、プッシュトークの場合は、メンバーに「不参加」として伝わります。
- メールを受信したときや64Kデータ通信を着信したときも着信音は鳴りません。メールを受信したときは「新着メールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

●各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作

公共モードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターへ接続します。※1	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。留守番電話サービスセンターに接続されず、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※2	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。※3
キャッチホン	相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	公共モードを設定している場合、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※1 ：留守番電話サービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れません。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
※2 ：転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れません。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。
※3 ：転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

〈公共モード（電源OFF）〉

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

待受画面表示中▶*25251▶

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■公共モード（電源OFF）を解除する場合

▶待受画面表示中▶*25250▶

公共モード（電源OFF）が解除されます。

■公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

▶待受画面表示中▶*25259▶

公共モード（電源OFF）の設定状況を確認できます。

●公共モード（電源OFF）を設定すると

「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- ●音声電話をかけてきた相手には、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
- ●テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- ●プッシュトークを着信した場合は、応答を行わずに、複数で通話のときは参加メンバーに対して、不参加であることが伝わります。

●各ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）設定中の着信動作

公共モード（電源OFF）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターへ接続します。	テレビ電話では留守番電話サービスを利用できません。留守番電話サービスセンターに接続されず、通話を終了します。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、転送先に転送します。	相手には公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。※
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※：転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。

〈確認機能設定〉 MENU 6 5

不在着信を確認する

お買い上げ時
ボイス（名前通知：OFF）

FOMA端末を折り畳んだままで、不在着信や新着メールがあるかどうかを、音や振動、着信ランプの点灯／点滅で確認できます。

● 本機能は待受画面に「不在着信あり」や「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」のデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。→P.148

● 以下のような場合、本機能で不在着信や新着メールを確認できません。
・外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合
・確認機能設定を「OFF」に設定している場合

確認結果のお知らせのしかたを設定する

1 ▶ ▶「着信」▶「確認機能設定」▶以下の項目から選択

電子音	「ピピ、ピピ」などの電子音でお知らせします。	
ボイス	声でお知らせします。また、電話帳に登録済みの相手から新着メール／新着チャットメール／音声電話／テレビ電話／プッシュトークを着信した場合または伝言メモが録音された場合に、発信者の名前を読み上げる／読み上げないを設定できます。	
	ON	名前を読み上げます。
	OFF	名前は読み上げません。
OFF	お知らせしません。	

おしらせ

● 「ボイス」に設定し、名前通知を「ON」に設定した場合でも、電話帳のフリガナが未登録の相手のときや、電話帳に登録した名前が表示されないときは発信者の名前を読み上げません。

不在着信または新着メールや新着チャットメールがあるか確認する

FOMA端末を折り畳んだ状態で[アシストキー]を押すと、不在着信または新着メールや新着チャットメールを確認できます。
確認動作は以下のとおりです。

確認機能設定	不在着信または新着メールや新着チャットメールがある場合		不在着信または新着メールや新着チャットメールがない場合	
	音と振動	着信ランプの色	音と振動	着信ランプの色
電子音	「ピピ、ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動します。※1	「着信イルミネーション」の「電話」、「メール」、「チャットメール」でそれぞれ設定されている色が約5秒間点灯します。不在着信、新着メール、新着チャットメールがあるときは、それぞれの色※2が1秒ずつ点滅します。	「ピピピ」という音が鳴り、約0.2秒間振動します。※1	着信ランプが「色12」で約5秒間点滅します。
ボイス	「ピピ」という音が鳴り、約1秒間振動し※1、「新着チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の順に声で知らせます。			

※1 ：「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合、振動でもお知らせします。
※2 ：「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」、新着チャットメールは「色3」で点滅します。

おしらせ

● 「確認機能設定」を「電子音」または「ボイス」に設定した場合、新着メール、新着チャットメールをお知らせ中またはお知らせ終了後に再度[アシストキー]を押すと、メール本文を読み上げます。ただし、読み上げるのは「メール読み上げ設定」の「受信時読み上げ設定」が「有効」に設定されている場合のみです。→P.296
また、メール本文を読み上げる際の「○○さんからのメール」という音声通知は、「確認機能設定」を「ボイス」に設定し、名前通知を「OFF」に設定した場合でも行います。→P.405
● ミュージックプレーヤーで音楽再生中は、本機能で不在着信などを確認できません。
● 「ボイス」の音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。
● マナーモード設定中は音が鳴らず、振動でお知らせします。ただし、「マナーモード選択」で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「電話着信音量」を「消去」以外にしている場合は音が鳴り、「バイブレータ」を「OFF」に設定している場合は振動しません。

- iモードセンターに保管されている新着メールを本機能で確認することはできません。
- お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。

現在の時刻を読み上げる〈ボイスクロック〉

- 「確認機能設定」を「ボイス」に設定した場合、FOMA端末を折り畳んだ状態で[メモ／確認]を押すと、現在の時刻を読み上げます。

〈伝言メモ〉 MENU 5 5

電話に出られないときに用件を録音／録画する

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答メッセージ：標準　呼出時間：8秒

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音しておくことができます。テレビ電話伝言メモの場合は、相手のカメラ映像も録画されます。

- 音声電話の着信時は音声伝言メモとして、テレビ電話の着信時はテレビ電話伝言メモとして録音／録画されます。
- 音声伝言メモとして録音できる件数は5件、録音時間は1件につき約20秒間です。
- テレビ電話伝言メモとして録画できる件数は2件、録画時間は1件につき約20秒間です。
- 本機能と留守番電話サービスとの違いは以下のとおりです。

項目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音／録画時間と件数	・音声電話：最大20秒、5件まで ・テレビ電話：最大20秒、2件まで	・音声電話：最大3分、20件まで ・テレビ電話：保存不可
保存期間	制限なし	最大72時間
保存場所	FOMA端末内	留守番電話サービスセンター
再生可能な条件	制限なく再生可	圏内のみで再生可
録音／録画可能な条件	・電話を受ける側が、圏内で電源が入っている場合に録音／録画可 ・伝言メモを「ON」に設定	・電話を受ける側が、圏内または圏外で、電源を切っていても録音可 ・留守番電話サービス開始を設定（P.433）

伝言メモを設定する

▶「着信」▶「伝言メモ」▶以下の項目から選択

ON	応答メッセージの種類を選択します。	
	標準	「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。」と流れます。
	プライベート	「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。」と流れます。
	英語	「I can't take your call now. Please leave the message. Thank you.」と流れます。
	おしゃべり1※	「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.417
	おしゃべり2※	
OFF	伝言メモの設定を解除します。	

※：おしゃべりが録音されていないときは表示されません。

2 呼出時間を000～120秒の範囲で入力

3桁の時間を入力すると、自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「」と「」が表示されます。

■表示されている時間をそのまま設定する場合

▶時間を入力しないで◉

おしらせ

- 音声伝言メモ、テレビ電話伝言メモが共に記録できる件数に達しているときは、伝言メモを「ON」に設定できません。
- 応答メッセージの選択画面で［デモ］を押すと、選択している応答メッセージを確認することができます。
- 応答メッセージを「おしゃべり1」「おしゃべり2」に設定しているときに、「おしゃべり1」「おしゃべり2」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定している場合、伝言メモを優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- 応答メッセージは、「発着信識別機能」で電話番号ごと、「グループ識別機能」でグループごとに設定することもできます。→P.123

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが開始され、相手には設定した応答メッセージが流れます。テレビ電話の場合は「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録画中 Recording」画像を送信し録音を開始します。

■ 伝言メモの録音がはじまると

- 録音中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。
- 録音時間にかかわらず、録音がはじまると録音件数として数えられます。

例：音声電話

■録音中に音声電話に出る場合

▶またはⓞ

■録画中にテレビ電話に出る場合

▶カメラ映像で出るときはまたは［］、代替画像で出るときはⓞ

■ 伝言メモの録音が終了すると

- 元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認できます。→P.148
  デスクトップアイコンの選択について→P.148
- 音声伝言メモが１件録音されると「」が「」の表示に変わり、２件録音されると「」、３件録音されると「」･･･と表示されます。テレビ電話伝言メモが１件録画されると 「」が「」の表示に変わり、２件録画されると「」と表示されます。

おしらせ

- 「圏外」が表示されているときは伝言メモを利用して用件を録音／録画できません。
- 「PIMロック」設定中、本機能の設定は「OFF」となり、「伝言メモあり」のデスクトップアイコンは表示されません。
- すでに記録できる件数に達しているときは、伝言メモで次にかけてきた相手の用件を録音／録画することはできません。
- 「伝言メモ」を「ON」に設定していなくても、「伝言メモ」を「ON」に設定している「オリジナルマナー」でマナーモードに設定しておけば、伝言メモで相手の用件を録音／録画できます。ただし、すでに記録できる件数に達しているときは、「マナーモード選択」（P.134）で設定された他の動作条件で着信し続けます。
- マナーモードを設定している場合、録音中の相手の声は聞こえません。
- 「留守番電話サービス」を設定している場合は、電源を切っているとき、「圏外」が表示されているとき、また音声伝言メモが５件録音されているときは、留守番電話サービスセンターで音声電話の用件をお預かりします。テレビ電話伝言メモが２件録画されているときは、テレビ電話がかかってきても留守番電話サービスセンターに接続されず、相手のFOMA端末には「音声電話でおかけ直しください」と表示されます。
- 伝言メモの録音／録画中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。

■お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

〈クイック伝言メモ〉
着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを「ON」に設定していなくても、音声電話やテレビ電話の着信中にボタン1つで伝言メモを起動することができます。

1 着信中▶#または[メモ／確認]

伝言メモとしての録音／録画が開始され、同時にマナーモードに設定されます。

おしらせ
- 本機能での録音／録画は1回の着信のみ有効で、「伝言メモ」を「ON」に設定することはできません。
- 「マナーモード選択」(P.134)で「オリジナルマナー」を選択し、オリジナルマナーの設定で「伝言メモ」を「OFF」にしていても、本機能は有効です。
- すでに伝言メモが5件(テレビ電話伝言メモは2件)録音済みのときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモは機能せず、「マナーモード選択」(P.134)で設定された他の動作条件で着信し続けます。

伝言メモや音声メモを再生／消去する

「伝言メモ」や「音声メモ」で録音した内容を再生したり消去したりできます。

音声電話からの伝言メモや音声メモを再生する

音声電話からの伝言メモがある場合は待受画面に「伝言」が表示されます。
- 伝言メモまたは音声メモが録音されている場合は「メモの再生／消去画面」に「★」が表示されます。
- 相手が電話番号を通知してきた伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。
また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。

1 MENU▶▶「メモの再生／消去」

「メモの再生／消去画面」が表示されます。

メモの再生／消去画面

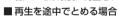
機能メニュー ➡P.79

2 再生する項目を選択

「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

■次のメモを再生する場合

▶[メモ／確認]

[メモ／確認]を押すごとに、新しい順でメモが再生されます。
音声メモは最後に再生されます。

■再生を途中でとめる場合

▶●またはCLR

■再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信する

▶、またはP

を押すと音声電話、を押すとテレビ電話、Pを押すとプッシュトークを発信します。
プッシュトークは1対1通話のみ可能です。

■再生中のメモを消去する場合

▶［機能］▶「消去」▶「YES」

おしらせ
- 待受画面表示中に[メモ／確認]を押しても、メモを再生できます。

メモの再生／消去画面の機能メニュー

再生	再生します。「音声電話からの伝言メモや音声メモを再生する」→P.79
1件消去	反転表示した伝言メモを消去します。
伝言メモ全消去	伝言メモをすべて消去します。
全消去	伝言メモ、音声メモをすべて消去します。

■お願い
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

〈動画メモ〉
テレビ電話伝言メモを再生／消去する

「テレビ電話伝言メモ」で録画した内容を再生したり消去したりできます。

テレビ電話からの伝言メモを再生する

テレビ電話からの伝言メモがある場合は待受画面に「 」が表示されます。

- 録画されている場合は「動画メモの再生／消去画面」に「★」が表示されます。
- 相手が電話番号を通知してきたテレビ電話伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。

1 MENU▶ ▶「動画メモの再生／消去」

「動画メモの再生／消去画面」が表示されます。

動画メモの再生／消去画面

機能メニュー ➡P.80

2 再生する項目を選択

「動画メモの再生画面」が表示されます。

■ 前または次のメモを再生する場合

▶ または

 または を押すごとに、1つ前または次のメモが再生されます。

■ 再生を途中でとめる場合

▶

■ 再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信する

▶ 、 または

 を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話、 を押すとプッシュトークを発信します。プッシュトークは1対1通話のみ可能です。

■ 再生中のメモを消去する場合

▶ ［機能］▶「消去」▶「YES」

■ 再生中にスピーカのON／OFFを切り替える場合

▶ ［機能］▶「スピーカーON」または「スピーカーOFF」

おしらせ

- 再生中に （［ホーム］）または （［メモ／確認］）を押して、音量を調節できます。

動画メモの再生／消去画面の機能メニュー

再生	再生します。「テレビ電話からの伝言メモを再生する」→P.80
1件消去	反転表示したテレビ電話伝言メモを消去します。
全消去	テレビ電話伝言メモをすべて消去します。

■ お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いします。

●テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。

- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
  ※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
  第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  ※2：3G-324M
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- テレビ電話は、64K／32Kの通信速度で行います。
  ・64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  ・32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話画面の見かた

①親画面です。お買い上げのときは相手側のカメラ映像が表示されます。
②子画面です。お買い上げのときは自分側のカメラ映像が表示されます。
③通話時間を示します。
④現在の時刻を示します。
⑤テレビ電話の各種機能の設定内容を示します。

64：64Kテレビ電話通信中
32：32Kテレビ電話通信中
A：音声送受信中
A：音声送受信失敗
V：映像送受信中
V：映像送受信失敗
：カメラ映像送信中
：「画像選択」で設定した代替画像送信中
：ハンズフリー OFF
：ハンズフリー ON
MUTE：マイクミュート中（消音中）
：撮影モード（ポートレート）
：撮影モード（風景）
：撮影モード（接写）
123：キー操作／DTMFモード※
※：DTMFについて→P.85
：キー操作／全体アクションモード
：キー操作／パーツアクションモード
：キャラ電送信中
：顔の動きに追従できている状態
：顔の動きに追従できていない状態
：ビジュアルチェック中

操作ボタン	テレビ電話の動作
	外側カメラ／内側カメラの切り替え
（1秒以上押す）	親画面表示の切り替え→P.84
（[ホーム]）、（[メモ／確認]）	音量調節
	倍率の調節
	ハンズフリーの切り替え
	機能メニューの表示
[メモ／確認]（1秒以上）	通話中の相手の声を録音
CLR	保留
[ホーム]（1秒以上）	マイクミュート（消音）

テレビ電話をかける

電話番号をダイヤルしてテレビ電話をかけます。

1 相手の市外局番からダイヤル

「テレビ電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 － 市内局番 － 電話番号

■ 携帯電話にかける場合
090－××××－××××
または
080－××××－××××

■ PHSにかける場合
070－××××－××××

テレビ電話番号入力画面

機能メニュー ➡P.84

2 [テレビ電話]

「テレビ電話中画面」が表示されます。
相手の音声がスピーカから流れて通話できます。
「ハンズフリーを利用する」→P.65

この画面からデジタル通信料がかかります。

➡

テレビ電話中画面

機能メニュー ➡P.84

■ テレビ電話中に音声電話での通話に切り替える場合
「テレビ電話から音声電話へ切り替える」→P.87

■ テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替える場合
▶機能メニューから「代替画像切替」または「自画像切替」を選択します。

■ テレビ電話中に外側カメラの映像を送信する場合
▶◉
テレビ電話中は◉を押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

■ 通話中のテレビ電話を保留にする場合
▶CLR
相手に保留音が流れ、相手側のテレビ映像には「保留　Holding」の画像が表示されます。
保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには [テレビ電話] または を、代替画像で出るにはCLRまたは◉を押します。

■ テレビ電話中に送信する音声をミュート（消音）する場合（マイクミュート）
▶[ホーム]（1秒以上）
ミュート中「MUTE」が表示されます。映像はそのまま送信されます。
再度[ホーム]を1秒以上押すと、ミュートが解除されます。

■ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用している場合
相手の声をイヤホンから聞くことができます。

■ テレビ電話がかからなかった場合→P.86

3 通話が終了したら

おしらせ

- テレビ電話発信中は「64」が点滅し、通話中は点灯します。「32K」の通信速度で発信した場合は「32」が点滅し、通話中は点灯します。「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。ただし、「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。→P.62
- 発信時の映像は、テレビ電話番号入力画面の機能メニューの「テレビ電話画像選択」でキャラ電が設定されていない場合、自画像を送信します。→P.84
- カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。

テレビ電話番号入力画面の機能メニュー

発番号設定	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」（P.52）で設定した内容になります。
プレフィックス	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.61
国際電話発信	**■「＋」がついている（国番号がついている）場合** 「国際ダイヤル設定」→「自動付加設定」（P.63）の設定内容によって異なります。 ・「自動付加」に設定している場合 「＋」が、「自動付加設定」で設定しておいた国際アクセス番号に置き換わります。 ・「付加なし」に設定している場合 **▶国際アクセス番号を選択** 「＋」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「＋」がついていない（国番号がついていない）場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。市外局番が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.63
マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.442
電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.251
通信速度設定	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.90 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。

おしらせ

- 「通信速度設定」が変更されるのは１回の通話（発信）のみです。リダイヤル、発信履歴にも通信速度は記憶されません。また、「通信速度設定」を設定した後に音声電話をかけると、設定は無効になります。

テレビ電話中画面の機能メニュー

プチメッセージ	「テレビ電話中（カメラ映像送信中）にメッセージを送信する」→P.93		
デコレーションテレビ電話	「テレビ電話の顔に装飾を施し表情豊かにする」→P.93		
メッセージ・装飾消去	表示したメッセージやスタンプを消去します。		
代替画像切替※1	自画像と代替画像を切り替えます。		
外側カメラ※2	外側カメラと内側カメラを切り替えます。 通話中のみ設定が保持されます。		
親画面表示切替	親画面の表示を切り替えます。 切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側のカメラ映像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側のカメラ映像のみを表示」の順で画面が切り替わります。		
ビジュアルチェック※3	「テレビ電話中に自分の顔を確認する」→P.91		
テレビ電話設定	テレビ電話の画面について設定します。		
	送信画質設定	相手に送信する映像と相手から受信する映像について設定します。 通話中のみ設定が保持されます。	
		標準 （お買い上げ時）	画質、動きともに標準の設定です。
		画質優先	きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
		動き優先	動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。

テレビ電話設定	明るさ調節		**▶で明るさを調節** 画像の明るさを「−2〜0〜+2」の5段階で調節します。
	ホワイトバランス設定		画像の色あいを設定します。 設定内容はカメラの同機能にも反映されます。→P.190
		オート （お買い上げ時）	自動的に色あいを補正するときに選択します。
		晴天	晴れている野外のときに選択します。
		曇天	曇っている野外や日陰のときに選択します。
		電球	白熱電球の明かりのときに選択します。
		蛍光灯	蛍光灯の明かりのときに選択します。
	色調切替		画像の効果を設定します。 通話中のみ設定が保持されます。
		通常 （お買い上げ時）	通常の画像に設定します。
		セピア	セピア調の画像に設定します。
		白黒	白黒（モノクロ）の画像に設定します。
	撮影モード選択		撮影する場面に合ったモードを設定します。 内側カメラのときは設定できません。
		ポートレート （お買い上げ時）	人物などを撮影するのに適したモードです。
		風景	風景などを撮影するのに適したモードです。
		接写	近くのものを撮影するのに適したモードです。
キャラ電設定	「キャラ電を設定する」→P.85 カメラ画像のときは設定できません。		
照明設定	バックライトの点灯を設定します。		
	常時点灯 （お買い上げ時）	常時バックライトを点灯します。	
	15秒点灯	15秒間のみバックライトを点灯します。	
内側カメラ反転表示	通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を設定します。		
	ON （お買い上げ時）	自画像を鏡像表示します。	
	OFF	自画像を正像表示します。	
通話中時間表示 （お買い上げ時：ON）	通話中に通話時間を表示するかどうか設定します。		
自局番号	テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。		
DTMF送信※4	キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定／解除します。 キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号モードになります。		
音声電話切替	「テレビ電話から音声電話へ切り替える」→P.87		

※1 ： 代替画像のときは「自画像切替」になります。
※2 ： 外側カメラのときは「内側カメラ」になります。
※3 ： ビジュアルチェックをしているときは「ビジュアルチェック終了」になります。
※4 ： DTMF送信のときは「DTMF解除」になります。

●キャラ電を設定する

テレビ電話中にキャラ電を利用している場合は以下の設定ができます。

1 テレビ電話中画面の機能メニュー（P.84）▶「キャラ電設定」▶以下の項目から選択

キャラ電切替	**▶キャラクタを選択** 表示するキャラクタの種類を選択します。
アクション一覧	**▶アクションとボタンを確認** 操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンを確認できます。 を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替	アクションモードを切り替えます。
静止画切替	相手側の画面に自作の画像を表示します。→P.90

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由を示すメッセージが表示されます。ただし、状況によっては接続できなかった理由を示すメッセージが表示されない場合があります。また、接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	お話し中、iモード通信中、パケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
公共モード	相手が公共モード（ドライブモード）、もしくは公共モード（電源OFF）を設定している場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネット等への発信時）
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合（転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であればテレビ電話にかかります）
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスを設定しているか、転送先がテレビ電話非対応の場合
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
お客様のご要望によりおつなぎできません	相手が迷惑電話ストップサービスを設定している場合
接続できませんでした	発信者番号非通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 ・ 上記以外の場合にも表示されることがあります。

おしらせ

- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。
- テレビ電話に対応していない電話機にテレビ電話をかけたときや、相手がテレビ電話に対応していても圏外や電源が入っていないときは接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけたときに「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合は、テレビ電話接続前に相手から切断され、自動的に音声電話でかけ直します。ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話等（2005年11月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- 「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。ただし、「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。
- テレビ電話がかからなかった場合、「音声自動再発信」を「ON」に設定していると、自動的に音声電話に切り替えて発信します。「音声自動再発信」の動作は以下のようになります。

	通信速度を「64K」に設定している場合	通信速度を「32K」に設定している場合
「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、音声電話に切り替えます。	音声電話に切り替えます。
「音声自動再発信」を「OFF」に設定している場合	通信速度を「32K」に自動的に切り替えます。それでもテレビ電話がかからない場合は、テレビ電話を切ります。	テレビ電話を切ります。

- テレビ電話中にiモードメールやメッセージR、メッセージFは受信できません。iモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中でもSMSは受信できます。
- テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合は、電池切れアラームが発生する前の画像でテレビ電話通話が継続されます。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。

テレビ電話から音声電話へ切り替える

テレビ電話中に発信側から音声電話に切り替えることができます。

- 相手側が切り替え可能なFOMA 端末の場合、テレビ電話中は機能メニューから「音声電話切替」を選択可能になり、テレビ電話と音声電話の切り替えができます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。
- 切り替え操作は、テレビ電話（通信速度64K）を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません。
- 切り替え操作を行うには、あらかじめ相手がテレビ電話切替通知を通知するように設定しておく必要があります。→P.93
- テレビ電話と音声電話の切り替えは、繰り返し行うことができます。

1 テレビ電話中画面の機能メニュー（P.84）▶「音声電話切替」

テレビ電話から音声電話に切り替えている間は、切り替え中であることを示すインジケータが表示され、音声ガイダンスが流れます。

おしらせ

- 音声電話中にもテレビ電話へ切り替えることができます。→P.56
- 切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替えるまでに時間がかかることがあります。
- 以下の場合は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができません。
  - ・ 自分が着信を受けた側であるとき
  - ・ 自分が発信した場合に、通話相手がテレビ電話切替通知を停止に設定しているとき→P.93
  - ・ 相手側が通話を保留にしていたり、伝言メモを起動したとき
- 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話が終了した場合、通話終了後に表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。
- 相手側の利用状態や電波の状態などにより、テレビ電話から音声電話に切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
- 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴には、最初に発信した電話の履歴が記憶されます。また、着信履歴には最初に着信した電話の履歴が記憶されます。
- 「切替中」であることを示すインジケータが表示されている間は通話料はかかりません。
- 切り替えを行った際に、「通話時間／料金」（P.417）に表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 音声通話に切り替えると、ハンズフリーの設定は解除されます。

テレビ電話を受ける

かかってきたテレビ電話を受けます。カメラ映像としてすぐに出られないときは、自分側のカメラ映像を相手側に表示させないで代わりの画像（代替画像）でテレビ電話に出ることもできます。

1 テレビ電話がかかってきたら◯［ﾃﾚﾋﾞ電話］または◯

「テレビ電話中画面」が表示されます。
相手の音声がスピーカから流れて通話できます。
「ハンズフリーを利用する」→P.65

■ 代替画像で出る場合

▶◉

相手側の画面には代替画像が表示されます。
代替画像で出た後でも、機能メニューから「自画像切替」を選択してカメラ映像に切り替えることができます。

■ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用している場合

▶スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

自画像で出ることができます。「オート着信」を「ON」に設定している場合は、設定した呼出時間経過後、自動的に代替画像で出ることができます。
相手の声をイヤホンから聞くことができます。

テレビ電話着信中画面

機能メニュー ➡P.88

次ページにつづく

■ 着信中のテレビ電話を応答保留にする場合

▶

相手側のテレビ映像に「応答保留中　On Hold」の画像が表示され、メッセージが流れます。
応答保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには［ ］またはを、代替画像で出るにはを押します。

■ テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替える場合

▶機能メニューから「代替画像切替」または「自画像切替」を選択します。

■ テレビ電話中に外側カメラの映像を送信する場合

▶

テレビ電話中はを押すたびに外側カメラ／内側カメラを切り替えることができます（カメラ切替）。

■ 通話中のテレビ電話を保留にする場合

▶

相手に保留音が流れ、相手側のテレビ映像には「保留　Holding」の画像が表示されます。
保留中のテレビ電話にカメラ映像で出るには［ ］またはを、代替画像で出るにはまたはを押します。

■ テレビ電話中に送信する音声をミュート（消音）する場合（マイクミュート）

▶［ホーム］（1秒以上）

ミュート中「MUTE」が表示されます。映像はそのまま送信されます。
再度［ホーム］を1秒以上押すと、ミュートが解除されます。

2 通話が終了したら

テレビ電話着信中画面の機能メニュー

着信拒否	電話を受けないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	電話を転送します。 「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。 「転送でんわサービス」→P.436
表示切替	付加番号1または付加番号2から転送元番号に表示を切り替えます。 マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。 「マルチナンバー」→P.442

おしらせ

- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、テレビ電話をかけてきた相手にはデジタル通信料がかかります。
- 「留守番電話サービス」を「開始」に設定していても、かかってきたテレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されず、留守番電話サービスの呼出時間に設定した時間経過後に切断されます。
- 「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、転送先を3G-324M（P.82）に準拠したテレビ電話対応機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、通話を終了します。
- テレビ電話中にiモードメールやメッセージR、メッセージFは受信できません。iモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中でもSMSは受信できます。
- テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合は、電池切れアラームが発生する前の画像でテレビ電話通話が継続されます。
- 「公共モード（ドライブモード）」に設定中は、着信音は鳴らず、着信ランプも点滅しません。着信は不在着信として着信履歴に残ります。
- 相手側の設定により映像が送信されてこない場合は、代替画像が表示されます。

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

相手からかかってきたテレビ電話中、相手が操作を行うことにより音声電話に切り替わります。

- 切り替え操作は、テレビ電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは、切り替え操作を行うことができません。
- 発信側が切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を「切替機能通知開始」に設定しておく必要があります。→P.93

1 「テレビ電話中画面」(P.83) ▶相手側がテレビ電話切替操作を行う

テレビ電話から音声電話に切り替えている間は、切り替え中であることを示すインジケータが表示され、音声ガイダンスが流れます。

おしらせ

- 音声電話に切り替えると、ハンズフリーの設定は解除されます。

キャラ電を利用する

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。
キャラ電のキャラクタは音に反応して口が動いたり、ボタン操作で手足を動かしたり表情をつけたりすることができます。

- 「キャラ電とは」→P.365
- キャラ電を楽しむにはあらかじめ以下の機能を設定しておいてください。また、電話帳や発着信識別機能にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用することができます。
  ・「画像選択」の「代替画像選択」から「キャラ電」を設定する→P.90
- カメラ映像からキャラ電に切り替えるには機能メニューから「代替画像切替」を選択します。

<例：電話帳に登録していない相手からテレビ電話がかかってきた場合>

1 テレビ電話がかかってきたら ◉

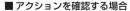
2 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを表現します。

キャラ電

■ アクションモードを切り替える場合

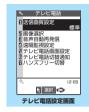
機能メニューの「キャラ電設定」から「全体アクション」と「パーツアクション」を切り替えることができます。→P.85
「全体アクション」とは感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。1～9または#1～#9を押して表現します。
「パーツアクション」とは顔や手足などキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。11～99を押して表現します。

■ アクションを確認する場合

*を押すとアクション一覧を表示できます。
Ⓞでアクションを選択してそのアクションを実行することもできます。

相手側に送信する映像について設定する

1 「テレビ電話」

「テレビ電話設定画面」が表示されます。

テレビ電話設定画面

2 以下の項目から選択

送信画質設定	テレビ電話中の画質を設定します。	
	標準 （お買い上げ時）	画質、動きともに標準の設定です。
	画質優先	きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
	動き優先	動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。
画像選択	「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.90	
音声自動再発信	テレビ電話に接続できなかった場合の動作を設定します。	
	ON	テレビ電話に接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけます。
	OFF （お買い上げ時）	テレビ電話に接続できなかったメッセージが表示され、待受画面に戻ります。
遠隔監視設定	「外出先から室内の様子などを確認する」→P.94	
テレビ電話画面設定	「テレビ電話中に表示される映像について設定する」→P.92	
テレビ電話切替通知	「音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する」→P.93	
ハンズフリー切替	「テレビ電話のハンズフリーについて設定する」→P.92	

● テレビ電話中に送信する画像を設定する

お買い上げ時	応答保留選択、通話保留選択：内蔵　代替画像選択：キャラ電（ブンブン（Dimo）） 伝言メモ選択、伝言メモ準備選択、音声メモ選択：内蔵

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定できます。

● 本機能で設定できる画像は、ファイルサイズが 100K バイト以下で、横 640、縦 640 ドット以下のJPEG形式、GIF形式ファイルです。QCIFサイズ（横176×縦144ドット）以上の大きさの画像を設定した場合は、QCIFサイズ（横176×縦144ドット）に縮小されます。QCIFサイズ（横176×縦144ドット）と比率が異なる画像は切り出されて縮小されます。

● テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 「テレビ電話設定画面」（P.90）▶「画像選択」▶以下の項目から選択

応答保留選択	応答保留のときに送信する画像を設定します。
通話保留選択	通話中保留のときに送信する画像を設定します。
代替画像選択	代替画像のときに送信する画像を設定します。
伝言メモ選択	テレビ電話伝言メモ録画中に送信する画像を設定します。
伝言メモ準備選択	テレビ電話伝言メモ準備中に送信する画像を設定します。
音声メモ選択	音声メモ録音中に送信する画像を設定します。

2 送信する画像を選択

内蔵	メッセージのみを送信します。
自作	画像とメッセージを送信します。 ■設定内容を変更する場合 ▶◯［機能］▶「設定内容変更」▶画像を選択
キャラ電	「代替画像選択」を選択したときのみ表示されます。 「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。 「キャラ電一覧画面の機能メニュー」→P.366 キャラ電設定の優先順位→P.112 ■設定内容を変更する場合 ▶◯［機能］▶「設定内容変更」▶画像を選択

■ 送信されるメッセージについて

送信されるメッセージは以下のとおりです。

応答保留の場合　：「応答保留中　On Hold」
通話中保留の場合　：「保留　Holding」
代替画像を送信の場合　：「カメラオフ　Camera Off」
テレビ電話伝言メモ録画中の場合　：「伝言メモ録画中　Recording」
テレビ電話伝言メモ準備中の場合　：「伝言メモ準備中　Preparing」
音声メモ録音中の場合　：「音声メモ録音中　Recording Voice only」

おしらせ

<送信画質設定>
- テレビ電話中に機能メニューから設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。
- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、「送信画質設定」の設定内容にかかわらず、画像がモザイク表示になるときがあります。

<画像選択>
- GIF画像の種類によっては「自作」に設定できない場合があります。
- テレビ電話中にカメラ映像と代替画像を切り替えることができます。
- 画像を確認するときは、確認したい項目を選択し、◯［デモ］を押します。
- 「自作」から「内蔵」、「キャラ電」へ設定を変更しても登録した静止画は削除されません。
- 設定した静止画は自分のFOMA端末と相手の電話機の双方に表示されます。ただし、伝言メモの応答メッセージは相手側にのみ送信されます。
- 「自作」の静止画は削除できません。変更する場合はマイピクチャから「イメージ貼付」で上書き登録してください。貼付元の静止画を削除しても、相手には静止画が表示（送信）されます。
- PIMロック中は「内蔵」の代替画像を送信します。
- 代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、内蔵されているキャラ電「ブンブン（Dimo）」を送信します。内蔵されているキャラ電「ブンブン（Dimo）」が削除されている場合は「内蔵」の静止画の代替画像を送信します。

<音声自動再発信>
- 音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、デジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- 再発信が行われたとき、「発信履歴」には音声電話の履歴だけが記憶されます。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

テレビ電話中に自分の顔を確認する〈ビジュアルチェック〉

1 テレビ電話中画面の機能メニュー（P.84）▶「ビジュアルチェック」

内側カメラの映像で確認することができます。
ビジュアルチェック中は「▨」が表示されます。
相手には代替画像が送信されます。

2 ◯［機能］▶「ビジュアルチェック終了」

ビジュアルチェックを終了します。ビジュアルチェック前の状態に戻ります。

送信する画像を拡大する

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信できます。

- ズームは、外側カメラのときに１倍〜約９倍までを16段階に調節できます。内側カメラのときは１倍、約２倍の２段階に調節できます。
- テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切り替えなどを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。
- 代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。
- 相手側の映像を拡大することはできません。

1
テレビ電話中▶⊙▶倍率を調節

〈ハンズフリー切替〉

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時 ON

テレビ電話での通話開始時に、自動的にハンズフリーに切り替わるように設定できます。

1 ▶「テレビ電話」▶「ハンズフリー切替」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

- ハンズフリー切替を「ON」に設定していても、通話中に◯「[→Off]」を押してハンズフリーを解除できます。
- 以下の場合はハンズフリー切替を「ON」に設定していても、自動的にハンズフリーに切り替わりません。
  - ・マナーモード設定中の場合
  - ・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中（ただし、マイクは「イヤホン接続時マイク切替」の設定に従います。）
  - ・着信時に応答保留または伝言メモが起動した場合

テレビ電話中に表示される映像について設定する

親画面に表示される映像や自画像の表示方法について設定する〈テレビ電話画面設定〉

お買い上げ時	親画面表示：親画面相手画像表示　内側カメラ反転表示：ON

1 「テレビ電話設定画面」（P.90）▶「テレビ電話画面設定」▶以下の項目から選択

親画面表示	テレビ電話の親画像を設定します。	
	親画面相手画像表示	親画面に相手側のカメラ映像を表示します。
	親画面自画像表示	親画面に自分側のカメラ映像を表示します。
内側カメラ反転表示	通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を設定します。	
	ON	自画像を鏡像表示します。
	OFF	自画像を正像表示します。

テレビ電話の顔に装飾を施し表情豊かにする〈デコレーションテレビ電話〉

テレビ電話の画面（自分側のカメラ映像）をスタンプやフレームで装飾することができます。また、顔の動きを追従するスタンプを貼り付けることができます。
● 顔の動きを追従するフェイススタンプは、内蔵しているスタンプのほかに「みんなＮらんど」からダウンロードすることができます。「みんなＮらんど」について→P.212

1 テレビ電話中画面の機能メニュー（P.84）▶「デコレーションテレビ電話」▶以下の項目から選択

フレーム	▶フレームを選択 テレビ電話の画面にフレームを付けます。
スタンプ	▶スタンプを選択▶で位置を決定▶ テレビ電話の画面にスタンプを付けます。
フェイススタンプ	▶フェイススタンプを選択 テレビ電話の画面に追従するスタンプを付けます。 追従できているときは「」、追従できていないときは「」が表示されます。

■ フレームやスタンプを消す場合
「テレビ電話中画面の機能メニュー」の「メッセージ・装飾消去」→ P.84

おしらせ
● 各選択画面で［デモ］を押すと、選択しているフレーム、スタンプ、フェイススタンプを確認できます。
● 自分側のカメラ映像を「内側カメラ反転表示」で「OFF」に設定している場合は、正像表示され、文字のようなスタンプが正しく読めます。

テレビ電話中（カメラ映像送信中）にメッセージを送信する〈プチメッセージ〉

1 テレビ電話中画面の機能メニュー（P.84）▶「プチメッセージ」▶メッセージを入力▶

メッセージが表示されます。メッセージは約15秒で自動的に消えます。
メッセージは全角16文字まで入力できます。

■ メッセージの入力を中止する場合
▶メッセージをすべて消去▶CLR

■ 手動でメッセージを消す場合
▶CLR（1秒以上）
機能メニューから「メッセージ・装飾消去」を選択してメッセージを消すこともできます。

おしらせ
● 自分側のカメラ映像を「内側カメラ反転表示」で「OFF」に設定している場合は、正像表示され、文字が正しく読めます。

〈テレビ電話切替通知〉
音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

お買い上げ時 切替機能通知開始

相手側のFOMA端末に、本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知するように設定できます。
● 本機能を「切替機能通知開始」に設定すると、電話を受けたときに相手側のFOMA端末に切替機能が使用可能であることを通知し、相手側端末での切り替え操作が可能になります。
● 通話中または「圏外」が表示されているときは、本機能の設定を行うことはできません。

1 「テレビ電話設定画面」（P.90）▶「テレビ電話切替通知」▶以下の項目から選択

切替機能通知開始	相手側のFOMA端末に、本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知します。
切替機能通知停止	相手側のFOMA端末に、本FOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知しません。

次ページにつづく

切替機能通知設定確認	「テレビ電話切替通知」の設定状態が表示されます。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- USBモード設定を「通信モード」にしてください。なお、外部機器との接続に関する設定は不要です。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトは、ホームページからダウンロードしてご利用ください。
  （パソコンでのご利用環境等詳細についてはサポートホームページでご確認ください。）

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

おしらせ

- 音声通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

〈遠隔監視設定〉

外出先から室内の様子などを確認する

お買い上げ時	対局番号登録：未設定　応答時間設定：５秒　設定：OFF

遠隔監視できるのは3G-324Mに準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。本FOMA端末は、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

- 遠隔監視を受ける側が監視する側の電話番号をあらかじめ登録していて、遠隔監視設定が「ON」に設定されている場合のみ、遠隔監視を行うことができます。

着信側の準備をする

遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号（対局番号）や遠隔監視を開始するまでの時間（応答時間）を設定します。

- 対局番号は5件まで登録できます。
- 「マナーモード」または「公共モード（ドライブモード）」に設定中は遠隔監視を受けることはできません。

1 「テレビ電話設定画面」（P.90）▶「遠隔監視設定」▶端末暗証番号を入力▶「対局番号登録」

「対局番号登録画面」が表示されます。

2 「〈未登録〉」の項目を選択

■ すでに登録されている対局番号を変更する場合
▶変更したい対局番号を選択

3 対局の電話番号を入力▶◉

CLRを押すと遠隔監視設定画面に戻ります。

対局番号登録画面

機能メニュー ➡P.95

4 「応答時間設定」▶応答時間（003～120秒）を入力

時間は3桁で入力します。3桁の時間を入力すると、応答時間が設定されます。

■ 表示されている時間をそのまま設定する場合

▶時間を入力しないで◉

5 「設定」▶「ON」

■ 遠隔監視を受けない場合

▶「OFF」

6 FOMA端末を設置する

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。
着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。
閉じたまま設置した場合は、音声のみを送信しカメラ画像は送信せず、代替画像に「カメラオフ　Camera Off」の文字を重ねて送信します。

おしらせ

- 遠隔監視設定の応答時間は、「伝言メモ」の呼出時間や「オート着信」の呼出時間と同じ時間には設定できません。
- 着信側の「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「転送でんわ」が優先されます。遠隔監視を優先させるには、「転送でんわサービス」より短い応答時間に設定してください。

対局番号登録画面の機能メニュー

宛先参照入力	宛先の番号を設定します。	
	電話帳	電話帳に登録されている番号を登録します。 電話帳の検索のしかた→P.116
	発信履歴	発信履歴の番号を登録します。 「前にかけた相手にかけ直す」→P.57
	着信履歴	着信履歴の番号を登録します。 「着信履歴を利用する」→P.69
1件削除	反転表示した対局番号登録を削除します。	
全削除	対局番号をすべて削除します。 対局番号をすべて消去すると、「設定」は「OFF」となります。	

遠隔監視を行う

- 遠隔監視を行うには、必ず着信側が対局番号として登録したFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。
- 本FOMA端末を着信側に使用した場合、発信側の映像が表示され、音声も流れます。

1 着信側へテレビ電話をかける

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、スピーカから音声が流れます。平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を利用している場合は、着信側の音声をイヤホンから聞くことができます。

■ 着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話（カメラ映像）に出る場合

▶応答時間が経過する前に◯［TV電話］または☎
代替画像で出る場合は◉を押します。

発信側

おしらせ

- オールロック設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの遠隔監視による着信は受けられます。
- 電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。
- 遠隔監視設定と以下の機能を同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。
  - ・公共モード（ドライブモード）　・マナーモード　・指定着信拒否／許可※　・登録外着信拒否※
  - ※ 対局番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、または対局番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合、対局番号が電話帳未登録時に「登録外着信拒否」が設定されている場合
- 遠隔監視設定と伝言メモ、オート着信を同時に設定した場合、遠隔監視で登録した電話番号から着信があると、遠隔監視が優先されます。

次ページにつづく

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、「通知音出力切替」の設定にかかわらず着信音はイヤホンとスピーカから鳴ります。
- 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
- 着信音は「着信音量」の「テレビ電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「消去」や「レベル1」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量で鳴ります。
- 遠隔監視の着信時は、「着信イルミネーション」の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。
- 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。を押すと電話は切れます。
- 着信側で遠隔監視設定を「ON」に設定している場合、対局番号に登録された電話番号からのテレビ電話の着信は、遠隔監視の着信履歴として記憶されます。遠隔監視が実行されなかった場合、「着信履歴」にはテレビ電話の「不在着信履歴」として記憶されます。
- 遠隔監視中で着信側の場合、音声電話やテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 遠隔監視中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは「クローズ動作設定」は無効になり、FOMA端末を閉じると相手には代替画像が送信されます。
- 遠隔監視中にカメラを切り替えることはできません。

遠隔監視を終了する

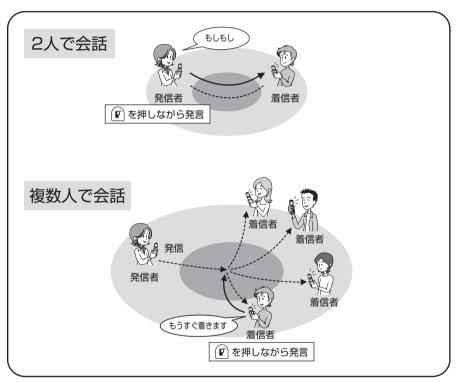
通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。
着信側でを押しても遠隔監視が終了します。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

プッシュトーク

プッシュトークとは

プッシュトークボタン（🄿）を押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで🄿を押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大５人まで）と通信することができます。🄿を押し発言するたびにプッシュトーク通信料が課金されます。🄿を押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。
また、画面では誰が発言しているかなど、メンバーの状態が確認できます。

- グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。
- プッシュトークサービスの詳細についてはプッシュトークのご案内をご覧ください。
- 対応機種は、902iシリーズ、P702iです。

● プッシュトークプラス

プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含め最大20人まで通信できるサービスです。さらに、メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。

- プッシュトークプラスの操作方法等の詳細についてはお申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

●プッシュトーク通信中画面の見かた

①現在発言しているメンバーの名前※1
（自分が発言中の場合は「自分」と表示されます。）
②発信時に指定されたグループ名
（発信時にグループが指定されていない場合は空欄）
③参加メンバー名（自分を除く）※1
④各メンバーの応答状態※2
呼出中：相手を呼び出し中です。
参加　：プッシュトークに参加しています。
不参加：応答がないか、相手がプッシュトークを終了しました。または、相手が圏外であるか電源を切っています。
運転中：相手が公共モード（ドライブモード）を設定しています。
⑤参加人数（自分を除く）
⑥通話を開始してからの経過時間

※1：発信者が番号通知設定を「通知する」に設定している場合は、電話帳の登録名で表示します。電話帳に登録されていない場合は電話番号が表示されます。また、発信者が番号通知設定を「通知しない」に設定している場合は、着信側では、すべての参加メンバー名が「非通知」となります。
※2：「呼出中」「運転中」「不参加」は、3人以上のプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

おしらせ

- 番号通知設定を「通知する」に設定して発信した場合、すべてのメンバーの電話番号が、着信したメンバー全員に通知されます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

プッシュトークを利用するときの流れ

①参加してほしいメンバーに発信する

⬇

②プッシュトークに参加したいメンバーは着信に応答する
1人以上のメンバーが参加すると、誰か1人が発言できる状態（プッシュトーク通信中）になります。

⬇

③発言したい人はⓅを押す
発言権を取得したことを示す確認音が鳴ります（発言できるのは1人だけです）。

⬇

④そのままⓅを押し続けて発言する
発言した人の声が参加メンバー全員に流れます。

⬇

⑤Ⓟを放して発言を終了する
発言権が開放されたことを示す確認音が参加メンバー全員に流れ、誰かが発言できる状態になります。

⬇

⑥上記③〜⑤を繰り返し、会話する
3人以上のプッシュトーク通信の場合、発信者以外は途中でプッシュトークから抜けたり、再参加することも可能です。

⬇

⑦プッシュトークを終了する
発信者が[PWR/HLD]を押すと参加メンバー全員の通信が終了します。

〈プッシュトーク発信〉
プッシュトーク発信する

電話番号をダイヤルしてプッシュトークを発信します。
● ダイヤルして発信した場合は、発信した相手との 1 対 1 通話となります。複数の相手と通話するには、プッシュトーク電話帳を利用して発信します。→P.105

1 相手の電話番号を入力する

2 [P]

相手が応答すると、合図として参加音が鳴り、「プッシュトーク通信中画面」の表示に変わります。

■ **ハンズフリーに切り替えるには**
▶プッシュトーク呼出中、通信中に◯［🔊→ON］
ハンズフリーについて→P.65

➡

プッシュトーク通信中画面

おしらせ
● 音声通話中、テレビ電話中、データ通信中にプッシュトーク発信することはできません。
● iモード通信中にプッシュトーク発信する場合は、iモード通信が切断されます。また、iアプリ起動中にプッシュトーク発信する場合は、iアプリが中断されます。
● プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきた場合は、「プッシュトーク通信中着信設定」の設定に従います。→P.107
● プッシュトーク通信中にテレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の着信があった場合は、着信履歴を残しプッシュトーク通信が継続されます。
● プッシュトークでは緊急通報（110番・118番・119番）はご利用になれません。

● プッシュトーク通信中に発言する

プッシュトーク通信中に、[P]を押しながら発言すると、自分の音声が参加メンバー全員に聞こえます。
● 発言できるのは1人だけです。ほかのメンバーが発言中は発言できません。

1 プッシュトーク通信中▶[P]を押し続ける

発言権を取得すると、合図として開始音が鳴ります。
ほかのメンバーが発言中など、発言権を取得できなかった場合は、発言できないことを示すエラー音が鳴ります。

2 [P]を押したまま話す

操作1で[P]を押しはじめてから話し終わるまでずっと[P]を押したままにします。
[P]を放すと発言が終了し、ほかのメンバーが発言できるようになります。

■ **プッシュトーク通信を終了する場合／プッシュトークから抜ける場合**
「プッシュトークを終了する」（P.103）をご覧ください。

おしらせ
● プッシュトーク通信中は[P]を押して発言権を取得している間のみほかの参加メンバーに音声が流れます。[P]を放すと発言権が開放され、合図として開放音が鳴ります。
● 発言中は、発言者の名前が画面に表示されます。
● 1回の発言権でお話できる時間には限りがあります。制限時間に達すると合図として確認音が鳴り、その発言権は終了します。
● 一定時間、発言権の取得者がいない場合には、プッシュトーク通信自体が終了します。
● 自分が発言するとき、参加メンバーに自分専用のメロディを流すこともできます。→P.107
● プッシュトーク通信中に[ ][ホーム]または[ ][メモ／確認]を押して、受話音量を調節できます（6段階）。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときでも、発言するときは[P]を押し続けて発言します。
● [P]を押し、発言権取得音が鳴った時点で、発言者にプッシュトーク通信料が課金されます（発言権を取得する度に課金されます）。

● その他の発信のしかた

以下の方法でもプッシュトーク発信できます。

プッシュトーク電話帳から発信	プッシュトーク電話帳にメンバーを登録していれば、最大4人まで指定して発信できます。→P.105

グループを指定して発信	プッシュトーク電話帳にグループ設定をしていれば、グループの登録メンバー全員に対して発信できます。ただし、選択したグループにメンバーが5人以上登録されている場合は発信できません。→P.104
電話帳から発信※	FOMA端末（本体）の電話帳またはFOMAカードの電話帳に登録されている電話番号を利用します。 ▶「電話帳一覧画面」／「電話帳詳細画面」（P.115）▶発信する相手の電話番号を選んで
リダイヤル／発信履歴／着信履歴から発信	「リダイヤル／発信履歴／着信履歴を利用する」→P.101
Phone To 機能を利用して発信※	「Phone To・Mail To・Web To機能を使う」→P.228

※： 発信した相手との1対1通話となります。

リダイヤル／発信履歴／着信履歴を利用する

● プッシュトークのリダイヤル／発信履歴／着信履歴は、1対1通話の場合と、複数人による通話の場合とで区別して管理されます。
● 複数人による通話の場合でも、リダイヤル／発信履歴／着信履歴は、1件として管理されます。
● それぞれの履歴情報から利用できる機能は、以下のとおりです。

項目	1対1の通話履歴（、不在など）	複数人通話の履歴（、不在など）
1対1のプッシュトーク発信	○	○※3
複数人を指定してのプッシュトーク発信※1※2	×	○
音声電話／テレビ電話の発信	○	×
FOMA端末（本体）電話帳への登録	○	○

※1：同一メンバーへの発信、または、同一メンバー内にて発信メンバーを選択しての発信が可能です。
※2：着信履歴の場合、自分がプッシュトークから抜けた後も、残っているメンバーの間でプッシュトーク通信が継続している場合は、「再参加」することもできます。→P.103
※3：機能メニューから「プッシュトーク選択発信」を選択し、1名のみを選択することで、1対1のプッシュトーク発信となります。

● 複数人通話のリダイヤル／発信履歴／着信履歴を利用する

<例：「着信履歴」からFOMA端末（本体）の電話帳に新規登録する場合>

1 MENU ▶ ▶「着信履歴」▶目的のプッシュトーク着信履歴を選択

「着信履歴画面（詳細）」が表示されます。

2 ［機能］▶「電話帳登録」

3 で電話帳に登録したい相手（電話番号）を選択 ▶「本体」

■ FOMAカードに登録する場合
▶「FOMAカード(UIM)」

4 「新規登録」

■ 既存の電話帳に追加登録する場合
▶「追加登録」▶登録する電話帳を検索

これ以降の詳しい操作手順については、「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」（P.111）を参照してください。
続けてほかの相手を電話帳に登録する場合は、操作3から行ってください。

おしらせ
● リダイヤル／発信履歴／着信履歴の一覧画面の機能メニューから「電話帳登録」を選択して登録することもできます。

〈プッシュトーク着信〉
プッシュトーク着信する

プッシュトークの着信に応答してプッシュトークに参加します。

● プッシュトークの着信があると着信音が鳴り、着信ランプが点滅し、「プッシュトーク着信中画面」が表示されます。

●「プッシュトーク着信中画面」には、発信者名、呼出中の他メンバー名（複数のメンバーに発信の場合）などが表示されます。

1 プッシュトーク着信中▶

または でも応答できます。
応答すると、合図として参加音が鳴ります。
発言するには→P.100

■ 応答しない（「不参加」の応答をする）場合

▶着信中に

着信時に「不参加」の応答を行った場合でも、ほかのメンバーがプッシュトークを継続していれば後から「再参加」ができます。→P.103

■ ハンズフリーに切り替えるには

▶プッシュトーク通信中に ［ ］

ハンズフリーについて→P.65

おしらせ

- 「エニーキーアンサー」が設定されているときは、、～、、、、、［ホーム］、［アシストキー］でも応答できます。
- 着信中に［メモ／確認］、を押すと着信を切断し、マナーモードに移行します（「クイック伝言メモ」は利用できません）。相手には「不参加」として伝わります。
- 「不参加」の応答は、着信中に機能メニューを表示し、「着信拒否」を選択して行うこともできます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、着信音は鳴らず、着信ランプも点滅しません。また、複数人通話の場合、ほかのメンバーには「運転中」と表示され、運転中であることが伝わります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは応答できません。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、を押して応答することができます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても応答することができます。
- プッシュトークの着信に対してを押しても「応答保留」はできません。相手には「不参加」として伝わります。
- 「指定着信拒否」や「登録外着信拒否」などで着信拒否を設定している電話番号から着信があった場合は、「不参加」の応答を行います。
- 音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、データ通信中にプッシュトークの着信があった場合、プッシュトークに応答することはできません。ただし、音声通話中、プッシュトーク通信中の場合は不在着信履歴が残ります。
- iモード通信中にプッシュトークの着信があった場合は、「iモード通信中着信設定」の設定に従います。→P.107

● プッシュトークの着信に自動的に応答する〈自動応答設定〉

お買い上げ時
自動応答なし

プッシュトークの着信をしたとき、自動的にハンズフリーで応答するように設定できます。

●「自動応答あり」に設定した場合、FOMA端末の開閉にかかわらず、自動応答時にハンズフリーONとなり、発言者の音声などがスピーカから流れます。

1 プッシュトーク電話帳画面の機能メニュー（P.106）▶「プッシュトーク設定」▶「自動応答設定」

「自動応答あり」または「自動応答なし」を選択します。

おしらせ

- マナーモード設定中は、「自動応答あり」に設定していても、手動応答となります。
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、「自動応答設定」の設定にかかわらず、応答は行わずに参加メンバーに運転中であることが伝わります。
- FOMA端末を閉じた状態では発言できません。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、FOMA端末を閉じた状態でも発言が可能です。
- 「自動応答あり」に設定している場合は、「自動応答設定」が「オート着信」、プッシュトーク設定の「呼出時間設定」よりも優先されます。

〈プッシュトーク終了〉
プッシュトークを終了する

1 プッシュトーク通信中▶

■ 自分が発信した側の場合
を押すとプッシュトーク通信自体が終了し、すべての参加メンバーの通信が切断されます。

■ 自分が着信した側の場合
複数人による通話の場合は、を押してもプッシュトーク通信自体は継続し、自分だけがプッシュトークから抜けたことがメンバーに伝わります。
発信者がを押すとプッシュトーク通信自体が終了し、すべての参加メンバーの通信が切断されます。

おしらせ
- 参加メンバーがプッシュトークから抜けた場合は、合図として確認音が鳴ります。
- 発信者以外のすべての参加メンバーがプッシュトークから抜けた場合は、プッシュトーク通信自体が終了します。
- プッシュトーク通信中にFOMA 端末を折り畳んでも、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、プッシュトークを終了できます。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、通話が継続されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押してプッシュトークを終了できます。

● プッシュトーク通信に再参加する

自分がプッシュトークから抜けた後に、残っているメンバーの間でプッシュトーク通信が継続している場合は、以下の操作で「再参加」することができます。

1 「着信履歴画面」（P.69）▶で目的のプッシュトーク着信を選んで

「プッシュトーク通信中画面」（P.99）が表示されます。

おしらせ
- プッシュトークの着信時に「不参加」の応答を行った場合や、公共モード（ドライブモード）などで不在着信となった場合も、上の操作で「再参加」ができます。
- 1対1通話の場合や、すでに対象のプッシュトーク通信が終了していた場合は、再参加できません。この場合、操作1で選択した相手に対する「発信」の操作（P.100）になります。

〈プッシュトーク電話帳登録〉
プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク発信するときは、専用のプッシュトーク電話帳をご利用できます。
- プッシュトーク電話帳は、FOMA 端末（本体）の電話帳の登録データ（電話番号など）を利用してメンバーを登録します。
- あらかじめ、登録したい相手の電話番号をFOMA端末（本体）の電話帳に登録しておきます。→P.111
- メンバーは最大700件まで登録できます。

1 待受画面表示中▶

「プッシュトーク電話帳画面」（P.105）が表示されます。

2 ［新規］

「電話帳検索画面」が表示されるので、目的の電話帳を検索して「電話帳詳細画面」（P.115）を表示させます。
電話帳の検索のしかた→P.116

メンバーリスト

3 で登録したい電話番号を選択して

プッシュトーク電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「YES」

メンバーリストに新しいメンバーが登録されます。

■ 選択した電話番号と同一メモリ番号の電話番号がすでに登録されている場合
上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「YES」を、上書きしないときは「NO」を選択します。

次ページにつづく

おしらせ

- メンバーリストのメンバーは、次の順番で表示されます。
  - ・メンバーリストに新規登録したときやグループにメンバーを追加したときは、新規登録／追加したメンバーが一番上に表示されます。
  - ・プッシュトーク電話帳画面を表示したときは、前回利用した順に表示されます。
- 「電話帳詳細画面」の機能メニューから「プッシュトーク電話帳登録」を選んで登録することもできます。→P.118

グループに登録する

プッシュトーク電話帳に「グループ」を作成して登録メンバーを分類しておくと、発信するときに便利です。

- プッシュトーク電話帳は、以下のように表示を切り替えられます。

メンバーリスト

グループリスト

グループメンバーリスト

● グループを作成する

- グループは、最大10個まで作成できます。グループ名は、全角10文字、半角21文字まで登録できます。

1 **メンバーリスト／グループリスト／グループメンバーリスト表示中▶◯[機能]▶「グループ設定」▶「新規グループ作成」**

2 **グループ名を入力して◉**

グループリストに新しいグループ名が追加されます。

● グループにメンバーを登録する

- あらかじめ、登録したいメンバーをメンバーリストに登録しておきます。→P.103
- 1つのグループにつき、メンバーは最大19人まで登録できますが、同時に発信可能な人数は4人までです。

<例：グループリストから登録する場合>

1 **グループリスト表示中▶◎でメンバーを登録したいグループを選んで◯[機能]▶「グループ設定」▶「メンバー追加」**

「グループメンバー選択画面」が表示されます。

2 **◎で登録したいメンバーを選択▶◯[完了]**

選択したメンバーがそのグループに登録されます。

おしらせ

- グループメンバーは、次のように表示されます。
  - ・グループにメンバーを追加したときは、追加したメンバーが一番上に表示されます。
  - ・プッシュトーク電話帳画面を表示し、グループメンバーリストを表示したときは、前回利用した順に表示されます。
- 電話番号が完全に一致するメンバーは、同じグループ内に登録できません。
- 同一メンバーを異なるグループに登録することもできます。

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳に登録されているメンバーを選択して発信します。
● 複数の相手（メンバー）を最大4人まで指定して発信することができます。

1 待受画面表示中▶（プッシュトークボタン）

「プッシュトーク電話帳画面」が表示されます。
MENU▶（電話帳）▶「プッシュトーク電話帳」を選択しても表示できます。

プッシュトーク電話帳画面

機能メニュー➡P.106

2 （マルチカーソル）で□（チェックボックス）を選択▶（プッシュトークボタン）

1〜8でもチェックをつけることができます。チェックをつけたメンバーに対してプッシュトーク発信します。
相手が応答すると、合図として参加音が鳴り、「プッシュトーク通信中画面」の表示に変わります。この画面で、相手の応答状況なども確認できます。→P.99
発言するには→P.100

➡

プッシュトーク
通信中画面

■ チェックをつけたメンバーを確認するには
▶（プッシュトークボタン）を押して発信する前に（機能）［機能］▶「発信メンバー参照」

■ ハンズフリーに切り替えるには
▶プッシュトーク呼出中、通信中に（ハンズフリー）［ON］
ハンズフリーについて→P.65

おしらせ
- チェックボックスが選択されていないときは、反転表示されているメンバーに対して発信します。
- 複数の相手を指定して発信した場合は、複数の発信先情報を含む1件のリダイヤル／発信履歴として記憶されます。この情報を利用してプッシュトーク発信することもできます。→P.101
- 発信したメンバーがすべて「不参加」の場合は、プッシュトークが終了します。

プッシュトークグループから発信する

1 グループリスト表示中▶（マルチカーソル）で発信したいグループを選んで（プッシュトークボタン）

選択したグループの登録メンバー全員に対して発信します。

■ グループ内で発信相手を指定したい場合
▶グループを選んで●▶グループメンバーリストで（マルチカーソル）で発信しない相手のチェックを外す▶（プッシュトークボタン）

おしらせ
- 選択したグループにメンバーが5人以上登録されている場合は、発信できません。この場合は、グループ内で発信相手を4人まで指定すると発信できます。
- グループを指定して発信した場合、シークレットデータとして登録されているメンバーには発信されません。シークレットデータとして登録されているメンバーに対しても発信を行う場合は、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にしてください。
- シークレットモード、シークレット専用モードに設定している場合、シークレットデータとして登録されているメンバーに発信すると、発信画面には電話帳に登録されている名前は表示されません。

プッシュトーク電話帳画面の機能メニュー

● メンバーリスト／グループリスト／グループメンバーリストによって、利用できる機能が異なります。

新規	FOMA端末（本体）の電話帳から電話番号を参照してプッシュトーク電話帳に登録します。	
番号通知設定	通話の都度、着信中および通信中のメンバーに、自分や他のメンバー全員の電話番号を表示させるかどうかを設定します。常に「プッシュトーク設定」内の「番号通知設定」の設定で動作させたい場合は、「番号通知設定消去」を選択します。	
発信メンバー参照	発信するメンバーを一覧表示します。	
プッシュトーク設定	プッシュトークの各種設定をします。→P.106	
ネットワーク接続	ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用します。→P.98 プッシュトークプラスをご契約のお客様のみ利用可能です。	
ソート	▶**ソートの機能メニュー**▶**ソートの項目を選択** 指定した条件に従って表示するリストを並び替えます。※1	
グループ設定	グループの新規作成、グループへのメンバー追加、グループ名の編集を行います。→P.104	
全選択解除	メンバーリスト／グループメンバーリストにて、すべてのメンバーの選択を解除します。	
登録件数確認	メンバー登録件数、グループ登録件数、グループ別のメンバー登録件数を確認します。※2	
削除	一覧からメンバーまたはグループを削除します。	
	1件削除	反転表示されているメンバーまたはグループを削除します。
	選択削除	▶**でで□（チェックボックス）を選択**▶**[完了]**▶**「YES」**
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** メンバーリスト／グループリストのメンバー／グループをすべて削除します。

※1：グループリストでは、フリガナ順のソートはできません。
※2：画面の切り替えは、、[ホーム]、[メモ／確認]で行います。

おしらせ

<登録件数確認>
- 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」では、シークレットで登録されたメンバー件数も確認できます。

<削除（1件削除／選択削除／全削除）>
- メンバーリストからメンバーを削除した場合、そのメンバーがグループに登録されていると、登録されているすべてのグループからそのメンバーが削除されます。
- グループリストからグループを削除した場合、そのグループ内に登録されているすべてのメンバーも削除されます。なお、メンバーリストからは削除されません。
- グループメンバーリストからメンバーを削除した場合、そのグループからのみ削除されます。そのメンバーがほかのグループやメンバーリストに登録されていても削除されません。

〈プッシュトーク設定〉
プッシュトークについて設定する

プッシュトークに関する設定をします。
● 設定後は、CLRを押して、「プッシュトーク電話帳画面」に戻ります。

1 プッシュトーク電話帳画面の機能メニュー（P.106）▶「プッシュトーク設定」▶以下の項目から選択

自動応答設定 （お買い上げ時：自動応答なし）	プッシュトークの着信があったときに、ハンズフリーで自動的にプッシュトークに参加するかどうかを設定します。→P.102
呼出時間設定 （お買い上げ時：30秒）	▶**鳴動時間（01～60秒）を入力** 設定した時間まで着信音が鳴り続けます。設定した時間になると、自動的に「不参加」で応答し、着信音を止めます。時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
番号通知設定 （お買い上げ時：通知しない）	プッシュトークを発信したときに、着信中および通信中のメンバーに、自分や他のメンバー全員の電話番号を表示させるかどうかを設定します。

項目	設定値	説明
発言開始メロディ選択	プッシュトーク通信中に自分が発言するとき、参加メンバーに自分専用のメロディを流すかどうかを設定します。メロディを流す時間（1～5秒）も設定できます。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディを選択します（FOMA端末外への出力が禁止されているメロディは選択できません）。
	プリインストール	あらかじめ登録されているメロディを選択します。
	OFF （お買い上げ時）	メロディを参加メンバーに流しません。
iモード通信中着信設定（お買い上げ時：プッシュトーク着信優先）	iモード通信中にプッシュトークの着信があったとき、着信を受けるかどうかを設定します。「プッシュトーク着信優先」か「iモード優先」を選択します。	
プッシュトーク通信中着信設定	プッシュトークの発着信中や通信中に音声電話の着信があったときの動作について設定します。	
	通常着信	音声電話の着信中画面に移行します。ただし、プッシュトーク発着信中／呼出中の場合は、音声電話の着信中画面には移行しません。 「プッシュトーク通信中に音声電話を受ける」→P.107
	着信拒否 （お買い上げ時）	音声電話の着信を拒否します。
	留守番電話	留守番電話サービスをご契約されている場合、音声電話を留守番電話サービスに接続します。「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。
	転送でんわ	転送でんわサービスをご契約されている場合、音声電話を転送でんわサービスで指定した転送先へ転送します。「転送でんわサービス」の「開始／停止」の設定にかかわらず転送先に接続します。

おしらせ

＜呼出時間設定＞
- 「呼出時間表示設定」（P.167）の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、設定された無音時間経過後に「呼出時間設定」で設定した鳴動時間まで着信音が鳴ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「呼出時間設定」と「オート着信」のうち、時間設定の短い方が優先されます。

＜番号通知設定＞
- ここでの設定は、プッシュトーク発信にのみ有効です。ネットワークサービスの「発信者番号通知」（P.52）や「186／184」の設定（P.59）には従いません。
- 発信時に機能メニューから「発番号設定」を設定した場合や、リダイヤル・発信履歴詳細画面で通知／非通知が表示されている場合は、それぞれの設定に従って動作します。

＜発言開始メロディ選択＞
- メロディを流すように設定した場合、メロディが流れている間は発言できません。
- 3Dサウンドに対応したメロディを選択しても、3Dサウンドは利用できません。

＜iモード通信中着信設定＞
- 「iモード優先」に設定した場合、プッシュトークの着信があっても着信履歴に残りません。
- 「プッシュトーク着信優先」に設定した場合、プッシュトークの着信を受けるとiモード通信が切断されます。

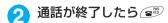
＜プッシュトーク通信中着信設定＞
- 「通常着信」に設定した場合、プッシュトーク通信中で発言しているときに音声電話の着信があると、発言は中止されます。また、音声電話の着信に応答するとプッシュトークは終了します。

プッシュトーク通信中に音声電話を受ける

あらかじめ「プッシュトーク通信中着信設定」を「通常着信」に設定しておくと、プッシュトーク通信中に音声電話を受けることができます。

1 プッシュトーク通信中に音声電話の着信を受けたら または ● を押す

プッシュトーク通信が終了し、音声通話中画面に切り替わります。

2 通話が終了したら

音声電話の着信画面の機能メニュー

プッシュトーク通信を継続して利用する場合は、音声電話の着信画面の機能メニューから以下のいずれかを選択します。

着信拒否	音声電話を受けないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	音声電話を転送します。「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。 「転送でんわサービス」→P.436
留守番電話	音声電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。 「留守番電話サービス」→P.432

おしらせ

- 音声電話の着信画面表示中に[PWR/HLD]を押し（プッシュトーク通信が終了します）、[通話]または[●]を押して音声電話通話中画面に切り替えることもできます。

●電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

● この他に、プッシュトーク専用の「プッシュトーク電話帳」があります。プッシュトーク電話帳は、FOMA端末（本体）電話帳の登録データを利用して作成します。→P.103

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

■ 登録内容

FOMA端末（本体）の電話帳とFOMAカードの電話帳の登録内容は以下のとおりです。

登録内容	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大700件まで登録可能です。	最大50件まで登録可能です。
グループ※1	グループ00～19に分類可能です。	グループ00～10に分類可能です。
電話番号の登録※2	1つの電話帳につき4番号まで、電話帳全体で2800番号まで登録可能です。相手の携帯電話の電話番号や会社の電話番号などを1つの電話帳として登録できます。また1つの番号をプッシュトーク電話帳に登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「 」「 」のような24種類のアイコンから選択して登録できます。相手の「携帯電話の電話番号」「会社の電話番号」などが一目で区別できます。	アイコンの選択はできません。「 」が自動的に登録されます。
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3アドレスまで、電話帳全体で2100アドレスまで登録可能です。相手の自宅のメールアドレスや会社のアドレスなどを1つの電話帳として登録できます。	1つの電話帳に1件登録可能です。
	「 」「 」のような5種類のアイコンから選択して登録できます。相手の「自宅のメールアドレス」「会社のメールアドレス」などが一目で区別できます。	アイコンの選択はできません。「 」が自動的に登録されます。
画像の登録	1つの電話帳につき静止画1件、キャラ電1件登録可能です。それぞれ電話帳全体で100件まで登録可能です。	－
その他のデータの登録	1つの電話帳につき名前、フリガナ、郵便番号、住所、誕生日、メモをそれぞれ1件登録可能です。相手の電話番号やメールアドレスと一緒に1つの電話帳として登録できます。	名前とフリガナが登録可能です。

※1：「グループ01」～「グループ19」（FOMAカードの電話帳では「グループ01」～「グループ10」）のグループ名は変更できます。あらかじめお好きなグループ名に変更しておくと便利です。→P.114
※2：電話番号には0～9、#、✗、ポーズ（p）、+を入力できます。サブアドレス（P.64）を利用する場合は、✗を入力してください。

■ FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

・メモリ番号「000」～「009」に指定すると、ボタン操作2つで電話をかけられる「ツータッチダイヤル」を利用できます。→P.125
・着信時や発信時の設定を電話番号やメールアドレスごと、グループごとに設定できる「発着信識別機能」、「グループ識別機能」を利用できます。→P.123
・電話番号ごとに発信や着信を制限する「電話帳指定設定」を利用できます。→P.164
・知られたくない電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録できます。→P.157
・「シークレットコードを設定する」→P.119

■ FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

■ 音声電話、テレビ電話

電話番号を電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

また、電話帳に静止画が登録されていて、「電話帳画像着信設定」が「ON」に設定されている場合は、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。
「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

■ iモードメール、SMS

iモードメールのアドレスを電話帳に登録した相手からのiモードメール、または電話番号を電話帳に登録した相手からのSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にiモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。
また、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

〈電話帳登録〉

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

●「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。

1 待受画面表示中▶◎▶◯［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字で入力します。
全角で16文字、半角で32文字まで登録できます。

2 フリガナを確認

■ フリガナが間違っていた場合

カタカナ、英字、数字、記号で修正します。
半角で32文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナで検索します。

3 それぞれの項目を設定▶◯［完了］

項目	操作・説明
グループ	**▶グループを選択** 登録するグループを「00」～「19」から選択します。グループを選択しない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。
電話番号	**▶電話番号を入力▶アイコンを選択** 電話番号を入力してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。 1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。 一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。
メールアドレス	**▶メールアドレスを入力▶アイコンを選択** メールアドレスを入力してアイコンを選択します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。 1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。
住所	**▶郵便番号を入力▶住所を入力** 郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。

次ページにつづく

誕生日	▶誕生日を入力 誕生日（西暦・月日）を入力します。 設定できる西暦は、1800年から2099年までです。
メモ	▶メモを入力 メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
静止画	着信時に表示される静止画を選択します。「カメラ撮影」を選択すると「静止画撮影画面」が起動し、静止画を撮影することができます。→P.178
キャラ電	テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。
メモリ番号	▶メモリ番号を入力 メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～699の範囲でお好きな番号に変更できます。、、を押すと、自動的※に空き番号に割り当てられます。

※：010～699の空き番号に、若い順に割り当てられます。ただし、010～699に空き番号がないときは、000～009の空き番号に割り当てられます。

おしらせ

- 名前に「ゎ、ヮ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ワ（半角大文字）」と表示されます。名前に記号を入力した場合は、英字入力モード、数字入力モードでダイヤルキーから入力したときのみフリガナに反映されます。ただし、絵文字はフリガナに反映されません。
- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、データ転送などを行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@（アットマーク）より後の文字のことです。（例）docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
- 電話帳に登録した静止画やキャラ電の元のデータが変更されたり、削除された場合は、電話帳の静止画やキャラ電も同じように変更、削除されます。
- 登録した静止画を着信時に表示させるには、「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定してください。→P.139
- 静止画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画が「画面表示設定」（P.136）の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、縦と横が同じ比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。
- 電話番号／メールアドレスが複数登録されている場合、機能メニューから「先頭へ移動」を選択すると、反転表示されている電話番号／メールアドレスを1番目の電話番号／メールアドレスとして登録します。

<キャラ電設定の優先順位>

- キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①発着信識別機能のキャラ電設定→P.123　②グループ識別機能のキャラ電設定→P.123
  ③電話帳登録のキャラ電　④画像選択の代替画像選択→P.90

〈FOMAカード電話帳登録〉

FOMAカード電話帳に登録する

●「名前」は必ず入力してください。「名前」を入力していない場合は電話帳の登録ができません。

1 待受画面表示中▶▶［機能］▶「電話帳登録」▶「FOMAカード（UIM）」▶名前を入力

名前入力
鈴木〇子

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力します。
全角で10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）で21文字まで登録できます。

2 フリガナを確認

■ フリガナが間違っていた場合
全角のカタカナ、英字、数字、記号で修正します。
フリガナは全角で12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）で25文字まで登録できます。
「電話帳検索」のフリガナ検索では、ここで登録した名前のフリガナで検索します。

❸ それぞれの項目を設定▶ [完了]

グループ	▶グループを選択 登録するグループを「00」～「10」から選択します。グループを選択しない場合は、自動的にグループ「00」に登録されます。
電話番号	▶電話番号を入力 電話番号を入力します。電話番号は青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。 一般の電話機の電話番号を登録する場合は、同じ市内の相手でも必ず市外局番から入力してください。
メールアドレス	▶メールアドレスを入力 メールアドレスを入力します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

おしらせ

- 名前に「ゎ、ヮ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ワ（全角大文字）」と表示されますが、フリガナに「ヮ（全角小文字）」を入力することはできます。名前に記号を入力した場合は、英字入力モード、数字入力モードでダイヤルキーから入力したときのみフリガナに反映されます。
- メールアドレスは、ドメイン名まで正しく登録してください。ドメイン名とは、@（アットマーク）より後の文字のことです。（例）docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。

編集を中断した電話帳があるとき

❶ 待受画面表示中▶▶ [機能]▶「電話帳登録」▶「本体」または「FOMAカード(UIM)」▶「再編集」

編集中に電池切れアラームが鳴った場合や、マルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに起動させた場合など中断した電話帳の編集を再開できます。
編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■新規に登録する場合

▶「新規」

おしらせ

- 編集中データとして一時保存されるのは最新の1件のみです。
- 電話帳の編集中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合は、編集中の電話帳のデータはそのままで電話に出ることができます。
  音声通話中、プッシュトーク通信中の場合は、[MULTI]を押してタスク切替画面（P.404）を表示させて、「電話帳登録」を選択すると電話帳の編集画面に戻ることができます。また、音声電話、テレビ電話、プッシュトークが終了すると、元の編集画面に戻ります。

■お願い

- 「電話帳」に登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.513）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、電話帳の内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。また、ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もあります。あらかじめご了承ください。
  万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください 。
  なお、データリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳の内容をパソコンへ転送・保管していただくことができます。

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」、「アクセスリーダー」、「サイト」などから電話帳に登録したり、電話番号をダイヤルしてから電話帳に登録できます。

- すでに登録してある電話帳に追加で登録する場合は、操作途中で「追加登録」を選び、追加登録したい電話帳を検索して呼び出してから登録します。
- プッシュトークの履歴を選択した場合も、FOMA 端末（本体）の電話帳へ登録します。プッシュトーク電話帳へは登録できません。

<例：音声電話の「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合>

1 着信履歴画面の機能メニュー（P.70）▶「電話帳登録」▶「本体」

■FOMAカードに登録する場合
▶「FOMAカード（UIM）」

2 「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.116

■新規に登録する場合
▶「新規登録」

■FOMAカードの場合
▶「新規登録」または「上書き登録」

3 電話帳の詳細画面を表示▶◉［選択］

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。
電話帳の修正のしかた→P.119

4 修正が終わったら◔［完了］

■上書きするかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

おしらせ

- 「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発番号設定の情報（「通知」／「非通知」）は、電話帳には登録されません。
- 返信不可の受信アドレスは電話帳に登録できません。
- 電話帳に登録できる文字数を超えた文字は削除されます。また、登録できない文字はスペースに変換されることがあります。

〈グループ設定〉 MENU 2 6

グループ名を変更する

お買い上げ時	FOMA端末（本体）：グループ01～19　FOMAカード：グループ01～10

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、また「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。
変更できるグループと登録できる文字数は以下のとおりです。

	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末（本体）	グループ01～グループ19	全角で10文字、半角で21文字
FOMAカード	グループ01～グループ10	全角で10文字、半角で21文字

- 「グループ00」のグループ名は変更できません。

1 待受画面表示中▶▶[機能]▶「グループ設定」

「グループ設定画面」が表示されます。

グループ設定画面

機能メニュー➡P.115

2 グループを選択▶グループ名を入力

「」が表示されているグループは、FOMAカードのグループを示します。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名をつけた場合でも、別々のグループとして表示されます。

グループ設定画面の機能メニュー

グループ名編集	グループ名を編集します。
グループ識別機能	「電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える」→P.123
グループ名初期化	変更したグループ名を初期化して、お買い上げのときのグループ名に戻します。

おしらせ

- グループ名を初期化しても、そのグループに設定した「グループ識別機能」の設定は解除されません。
- グループ名を変更していないときや、グループ名を削除（初期化）したときは、FOMA端末（本体）の電話帳の場合、「グループ01～19」の表示になります。FOMAカードの電話帳の場合、「グループ01～10」の表示になります。

〈電話帳検索〉

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳から呼び出して、簡単に電話をかけることができます。

- シークレットデータとして登録した電話帳は、「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にしないと呼び出せません。

1 待受画面表示中▶

「電話帳一覧画面」が表示されます。
で表示ページを切り替えて、で電話帳（名前）を選択します。
タブが表示されているときは、またはでタブを切り替えます。

電話帳一覧画面

機能メニュー➡P.117

■一覧画面から電話をかける場合

▶電話をかける電話帳を反転表示してまたは[テレビ電話]

を押すと音声電話が、[テレビ電話]を押すとテレビ電話がかかります。
電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

■タブの種類を切り替える場合

▶［機能］▶「タブ表示切替」

「50音タブ表示」、「メモリ番号タブ表示」、「グループタブ表示」から選択できます。

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示

グループタブ表示

2 目的の電話帳を選択

「電話帳詳細画面」が表示されます。

3 または[テレビ電話]

を押すと音声電話が、[テレビ電話]を押すとテレビ電話が現在表示されている電話番号にかかります。

■同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

で電話番号の表示を切り替えることができます。

電話帳詳細画面

機能メニュー➡P.118

おしらせ

- 複数の電話番号を登録している場合は、1番目に登録されている電話番号を入れ替えることができます。→P.118
- 「電話帳一覧画面」にて、タブ内の先頭、最終電話帳を選択時に、を押した場合、またはタブ内の先頭ページ、最終ページ表示時に、を押した場合は、タブが切り替わります。ただし、グループタブ表示の場合は、、、、によるタブの切り替えは行いません。

● 検索方法を指定して電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）、全件の8通りの検索方法から選んで、電話帳を検索できます。

■ 検索結果の表示について

メモリ番号検索、全検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索してその結果を表示します。

50音[フリガナの先頭がスペースからはじまるもの、ア、ァ、イ、ィ………ン]
↓
アルファベット[A、a、B、b………Z、z]
↓
数字[0………9]
↓
記号
↓
フリガナが登録されていないもの

1 待受画面表示中▶◯▶検索する方法を選択

全検索する場合は、待受画面表示中▶◯でも検索できます。
電話番号検索する場合は、「電話番号入力画面」（P.54）▶電話番号の一部を入力▶◯または◯でも検索できます。

■ 優先して表示する検索方法を設定する場合

▶優先して表示したい検索方法を選択▶◯［優先］▶◉
優先に設定した検索方法には「★」がつきます。
次回検索するときに、待受画面表示中に◯を押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合

▶待受画面表示中▶◯▶CLR▶「★」がついている検索方法を選択▶◯［解除］

電話帳検索
1 フリガナ検索 ★
2 名前検索
3 電話番号検索
4 アドレス検索
5 メモリ番号検索
6 グループ検索
7 行検索
8 全検索
12:05
解除 選択

2 電話帳を検索

検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は、検索結果の一覧画面で「▦」が表示されます。
検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合は、データがないことを通知するメッセージが表示されます。

検索方法	操作と説明
フリガナ検索	**▶フリガナの一部を入力▶◯または◯** フリガナは先頭から入力します。また、すべてを入力しなくても構いません。
名前検索	**▶名前の一部を入力▶◯または◯** 名前は先頭から入力します。名前はすべてを入力しなくても構いません。
電話番号検索	**▶電話番号の一部を入力▶◯または◯** 最初の数桁または途中の数桁を入力しても検索できます。
アドレス検索	**▶メールアドレスの一部を入力▶◯または◯**
メモリ番号検索	**▶3桁のメモリ番号を入力** FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。
グループ検索	**▶目的のグループを選択** FOMA カードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。
行検索	**▶検索したい行に対応するボタンを押す** 1：フリガナの頭文字が「ア行」のみ表示 2：フリガナの頭文字が「カ行」のみ表示 3：フリガナの頭文字が「サ行」のみ表示 4：フリガナの頭文字が「タ行」のみ表示 5：フリガナの頭文字が「ナ行」のみ表示 6：フリガナの頭文字が「ハ行」のみ表示 7：フリガナの頭文字が「マ行」のみ表示 8：フリガナの頭文字が「ヤ行」のみ表示 9：フリガナの頭文字が「ラ行」のみ表示 0：フリガナの頭文字が「ワ」「ヲ」「ン」のみ表示 ＊：その他を表示

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

検索方法	操作と説明
全検索	▶目的の電話帳を選択 登録されているすべての電話帳を一覧で表示します。

おしらせ

- 優先して表示する検索方法を設定しない場合は を押すと電話帳検索画面が表示され、最後に操作したとき選択した検索方法が反転表示されます。

電話帳一覧画面の機能メニュー

● 待受画面から表示した場合や検索方法など、表示のしかたによって利用できる機能が異なります。

電話帳登録	「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111、「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112	
電話帳削除	電話帳を削除します。	
	1件削除	反転表示した電話帳を削除します。
	選択削除	▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］▶「YES」 複数の電話帳を削除できます。
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」 電話帳をすべて削除します。
ソート※	指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。	
タブ表示切替	タブ表示を切り替えます。「50音タブ表示」、「メモリ番号タブ表示」、「グループタブ表示」から選択できます。	
発着信識別機能	「発着信識別機能の設定状況を確認する」→P.125	
電話帳指定設定	「電話帳指定設定の設定状況を確認する」→P.165	
グループ設定	「グループ名を変更する」→P.114	
miniSDへコピー	電話帳のデータをminiSDメモリーカードにコピーします。	
	1件コピー	反転表示した電話帳データをコピーします。
	選択コピー	▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］▶「YES」 複数の電話帳データをコピーできます。
	全コピー	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 電話帳をすべてコピーします。
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385	
赤外線全送信	「データをまとめて転送する」→P.386	
電話帳登録件数	電話帳の登録状況を確認します。→P.122	

※： タブ表示のときは利用できません。

おしらせ

- 電話帳を削除すると、その電話帳がプッシュトーク電話帳に登録されている場合は、プッシュトーク電話帳のメンバーリスト、グループメンバーリストからも削除されます。
- 電話帳を全削除すると、FOMAカードの電話帳、プッシュトーク電話帳も削除されます。
- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話帳を削除できません。
- 「miniSDへコピー」の「全コピー」、「選択コピー」では、プッシュトーク電話帳の登録情報もコピーします。

電話帳詳細画面の機能メニュー

発番号設定	相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない」または「通知する」から選択します。 **■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合** **▶「発番号設定消去」** 「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」(P.52) で設定した内容になります。
プレフィックス	**▶付加したいプレフィックスの登録名を選択** 「プレフィックスを設定する」→P.61
国際電話発信	**■「+」がついている (国番号がついている) 場合** 「国際ダイヤル設定」→「自動付加設定」(P.63) の設定内容によって異なります。 ・「自動付加」に設定している場合 「+」が、「自動付加設定」で設定しておいた国際アクセス番号に置き換わります。 ・「付加なし」に設定している場合 **▶国際アクセス番号を選択** 「+」が、選択した国際アクセス番号に置き換わります。 **■「+」がついていない (国番号がついていない) 場合** **▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択** 選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。市外局番が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。 国際電話を発信するときの設定や登録を変更する→P.63
マルチナンバー	「マルチナンバー」→P.442
通信速度設定	テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K」または「32K」から選択します。
発着信識別機能	「電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える」→P.123
電話帳指定設定	「指定した電話番号の着信や発信を制限する」→P.164
電話帳編集	「電話帳を修正する」→P.119
先頭へ移動	電話番号／メールアドレスが複数登録されている場合、選択されている電話番号／メールアドレスを1番目の電話番号／メールアドレスとして登録します。
プッシュトーク電話帳登録※1	**▶「YES」** プッシュトーク電話帳に登録します。→P.103
電話帳削除	「電話帳を削除する」→P.120
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.251
SMS作成	「SMS (ショートメッセージ) を作成して送信する」→P.306
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
赤外線全送信	「データをまとめて転送する」→P.386
オート表示	「オート表示させる電話番号を指定する」→P.126
miniSDへコピー	電話帳のデータをminiSDメモリーカードに1件コピーします。
名前コピー	電話帳に登録されている名前をコピーします。 コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー/切り取り/貼り付け」→P.498
電話番号コピー※2	電話帳に登録されている電話番号をコピーします。 コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー/切り取り/貼り付け」→P.498
シークレットコード	**▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択** 「シークレットコードを設定する」→P.119 **コード設定**：**▶4桁のシークレットコードを入力▶「YES」** シークレットコードを設定します。 **コード参照**：設定したシークレットコードを確認します。 **設定解除**：設定したシークレットコードを解除します。
シークレット解除	「シークレットデータを通常のデータに戻す」→P.158
FOMAカードへコピー※3	**▶「YES」** 電話帳のデータをコピーします。 「電話帳をFOMAカードにコピーする」→P.120
テレビ電話画像選択	テレビ電話中に送信する画像を設定します。→P.90 「設定解除」を選択すると、自画像／キャラ電の設定を解除します。

※1： FOMAカードに登録されている電話帳の場合は表示されません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

※2：　選択している項目によって以下のようになります。
・メールアドレスを選択しているときは「メールアドレスコピー」になります。
・住所を選択しているときは「住所コピー」になります。
・誕生日を選択しているときは「誕生日コピー」になります。
・メモを選択しているときは「メモコピー」になります。
※3：　FOMAカードの電話帳を選択しているときは「本体へコピー」になります。

● シークレットコードを設定する

シークレットコードを登録している相手にiモードメールを送る場合は、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。メールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。

- メール送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときだけ、シークレットコードが追加されます。ほかのメールアドレスにはシークレットコードを追加できません。
- メールアドレスとしてではなく、電話番号にシークレットコードを設定して、電話番号だけのアドレスで送信することもできます。
- FOMAカードの電話帳には設定できません。
- シークレットコードには「0000」は設定できません。

おしらせ

- 電話番号やメールアドレスにシークレットコードを追加した状態で電話帳に登録している場合、本機能でシークレットコードを登録するとその相手にメールの送信ができなくなります。電話番号やメールアドレスに追加したシークレットコードを削除してから本機能でシークレットコードの登録を行うか、本機能は使わずに電話番号やメールアドレスにシークレットコードを追加したままとしてください。

〈電話帳修正〉

電話帳を修正する

電話帳に登録されている内容を修正します。
修正した内容を新しい電話帳として登録することもできます。

- フリガナは名前を修正しても自動で修正されません。

1 電話帳詳細画面の機能メニュー（P.118）▶「電話帳編集」▶それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.111

■新しいメモリ番号に登録する場合

▶「No」▶電話帳が登録されていないメモリ番号（000～699）を入力
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら◯［完了］▶「YES」

■FOMAカードの場合

▶◯［完了］▶「上書き登録／追加登録」
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- 電話帳を修正すると、その電話帳がプッシュトーク電話帳に登録されている場合は、プッシュトーク電話帳も自動的に修正されます。
- 電話帳のメモリ番号を修正すると、修正前の電話帳にてプッシュトーク電話帳にメンバーリスト登録、グループリスト登録されていた場合、その内容は変更後の電話帳には引き継がれません。

〈電話帳削除〉

電話帳を削除する

登録した電話帳を削除します。電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画、キャラ電を選択して削除することもできます。

1 電話帳詳細画面の機能メニュー（P.118）▶「電話帳削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※	選択した電話番号（またはメールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画、キャラ電）を削除します。
1件削除	詳細表示している電話帳を削除します。

※：選択している項目によって以下のようになります。
・メールアドレスを選択しているときは「メールアドレス削除」になります。
・住所を選択しているときは「住所削除」になります。
・誕生日を選択しているときは「誕生日削除」になります。
・メモを選択しているときは「メモ削除」になります。
・静止画を選択しているときは「静止画削除」になります。
・キャラ電を選択しているときは「キャラ電削除」になります。

おしらせ

- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」設定中は、電話帳を削除できません。
- 電話帳一覧画面からも削除できます。ただし、電話帳詳細項目の削除はできません。
- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されているときに1番目の電話番号、メールアドレスを削除すると、次の電話番号、メールアドレスが表示されます。
- 「電話番号削除」または「1件削除」を選択すると、その電話番号または電話帳がプッシュトーク電話帳に登録されている場合は、プッシュトーク電話帳のメンバーリスト、グループリストからも削除されます。

〈FOMAカード(UIM）操作〉

電話帳をFOMAカードにコピーする

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりできます。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。
- データのコピー中または削除中は、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発着信、メールの送受信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
コピーできる項目や登録件数について→P.110
- プッシュトーク電話帳はコピーできません。

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間でデータをコピーする

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で電話帳やSMSのデータをコピーします。

1 MENU▶▶「FOMAカード(UIM）操作」▶端末暗証番号を入力
端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができないようになり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード(UIM）操作を終了します。

2 「コピー」▶「本体→FOMAカード(UIM)」または「FOMAカード(UIM)→本体」

3 以下の項目から選択

電話帳	▶電話帳を検索 電話帳の一覧画面を表示します。 電話帳の検索のしかた→P.116	
SMS	SMSのデータを選択します。	
	受信BOX	受信BOXの一覧画面を表示します。
	送信BOX	送信BOXの一覧画面を表示します。

で□（チェックボックス）を選択▶ [完了]▶「YES」

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面
例：電話帳（全検索）

機能メニュー➡P.121

おしらせ

- FOMAカードに異常があるときは、FOMAカードとのデータのやりとりはできません。
- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字まで、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字まで、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。
- FOMA 端末（本体）と FOMA カードでは、1 つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
- 電話帳のデータは、グループ単位でのコピーはできません。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。
- FOMA 端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されていない場合は、グループ00に登録されます。
- SMS送達通知のみのコピーはできません。ただし、送信SMSのSMS送達通知を受信している場合は、送信SMSをコピーすると送信SMSに保存されたSMS送達通知もコピーできます。
- SMSのデータはBOX単位、フォルダ単位でのコピーはできません。
- FOMAカードへコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- 追加したフォルダ・iアプリメール用フォルダ・「チャット」フォルダ・「ゴミ箱」フォルダ内のSMSをFOMA端末（本体）からFOMAカードへコピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
- FOMAカードからFOMA端末（本体）へコピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへコピーされます。

FOMAカード（UIM）操作（コピー）画面の機能メニュー

コピー開始	コピー操作を開始します。
1件選択	データを選択します。
全選択	すべてのデータを選択します。
1件解除	データの選択を解除します。
全解除	すべてのデータの選択を解除します。
詳細表示	データを詳細表示します。

電話帳やSMSのデータを削除する

1. MENU▶ ▶「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力
2. 「削除」▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」
3. 以下の項目から選択

次ページにつづく

電話帳	▶電話帳を検索 電話帳の一覧画面を表示します。 電話帳の検索のしかた→P.116	
SMS	SMSのデータを選択します。	
	受信BOX	受信BOXの一覧画面を表示します。
	送信BOX	送信BOXの一覧画面を表示します。

で□(チェックボックス)を選択▶ [完了]▶「YES」

FOMAカード(UIM)操作(削除)画面
例:電話帳(全検索)

機能メニュー➡P.122

FOMAカード(UIM)操作(削除)画面の機能メニュー

削除開始	削除操作を開始します。
1件選択	データを選択します。
全選択	すべてのデータを選択します。
1件解除	データの選択を解除します。
全解除	すべてのデータの選択を解除します。
詳細表示	データを詳細表示します。

MENU 2 2

電話帳の登録状況を確認する

電話帳に登録している件数や登録可能な件数などを確認できます。

電話帳一覧画面の機能メニュー(P.117)▶「電話帳登録件数」

本体(FOMA端末に登録されている電話帳)

電話帳　　　:電話帳の登録件数を表示します。
　　　　　　　登録されている件数/700(登録できる件数)
シークレット:シークレットデータとして登録されている件数を表示します。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示できます。
静止画　　　:電話帳に登録されている静止画の件数を表示します。
　　　　　　　登録されている件数/100(登録できる件数)
キャラ電　　:電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示します。
　　　　　　　登録されている件数/100(登録できる件数)

FOMAカード(FOMAカードに登録されている電話帳)

電話帳　　　:電話帳の登録件数を表示します。
　　　　　　　登録されている件数/50(登録できる件数)

電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定できます。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- 電話番号に対して設定する「メール着信設定」の「着信音設定」、「イルミネーション設定」、「バイブレーション設定」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。それ以外のメールアドレスからの受信に対しては、電話帳のメールアドレスに設定した動作となります。
- FOMA端末（本体）の「グループ00」、FOMAカードの電話帳とグループには設定できません。
- プッシュトーク電話帳に対して、発着信識別機能およびグループ識別機能は有効となりません。
- シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、発着信識別機能およびグループ識別機能は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。→P.438

1 電話帳詳細画面の機能メニュー（P.118）▶「発着信識別機能」

「発着信識別機能設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」がつきます。
電話帳詳細画面にて選択されている項目によって、利用できる機能が異なります。

■ グループごとに発着信の設定を変える場合

▶「グループ設定画面」（P.115）▶◯［機能］▶「グループ識別機能」

発着信識別機能設定画面

2 以下の項目から選択

音声着信設定	指定した電話番号またはグループから音声電話を着信したときのお知らせ方法を設定します。
テレビ電話発着信設定	指定した電話番号またはグループからテレビ電話を発着信したときのお知らせ方法を設定します。
メール着信設定	指定した電話番号またはグループからSMSを受信したとき、または指定したメールアドレスまたはグループからiモードメールを受信したときのお知らせ方法を設定します。

3 以下の項目から選択

設定されている機能には「★」がつきます。

■ 設定されている機能を解除する場合

▶「★」がついている機能を反転表示して◯［解除］
機能が解除されて「★」が消えます。

例：音声着信設定画面

着信音設定※1	誰からの電話／メールかを、着信音で区別します。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128
着信画面設定※2	誰からの電話かを、着信画像で区別します。 「画面の表示を変える」→P.136
キャラ電設定※3	テレビ電話のときのキャラ電を相手によって使い分けます。 「キャラ電を設定する」→P.85
イルミネーション設定※1	誰からの電話／メールかを、着信ランプの点滅で区別します。 「着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する」→P.144
バイブレーション設定	誰からの電話／メールかを、バイブレーションで区別します。 「着信を振動で知らせる」→P.130
応答メッセージ設定※2	伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。※4 「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.77
通信速度設定※3	テレビ電話をかけるときの通信速度を、相手によって使い分けます。「64K」または「32K」から選択します。

※1 ： 64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2 ：「音声着信設定」または「テレビ電話発着信設定」を選択したときにのみ表示されます。
※3 ：「テレビ電話発着信設定」を選択したときにのみ表示されます。
※4 ： あらかじめ「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。

次ページにつづく

■ 発着信識別機能を設定すると

電話帳の詳細画面に以下の機能が設定されていることを示すアイコンが表示されます。

例：テレビ電話発着信設定

：音声電話／テレビ電話の「着信音設定」
：メールの「着信音設定」
：音声電話／テレビ電話の「イルミネーション設定」
：メールの「イルミネーション設定」
：音声電話／テレビ電話の「バイブレーション設定」
：メールの「バイブレーション設定」
：音声電話／テレビ電話の「着信画面設定」
：音声電話／テレビ電話の「応答メッセージ設定」
：テレビ電話の「キャラ電設定」
64k：テレビ電話の「通信速度設定」を「64K」に設定
32k：テレビ電話の「通信速度設定」を「32K」に設定

おしらせ

- シークレットデータとして登録された電話帳と普通の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。
- 発着信識別機能／グループ識別機能の設定がほかの機能の設定と重なった場合や、それぞれ異なる設定をしているメールやメッセージR、メッセージFを同時に受信した場合で動作が変わります。
- 複数のメールやメッセージR、メッセージFを同時に受信した場合の動作は以下のとおりです。

	着信音、着信イルミネーションの動作
複数のメールのみを受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。
メッセージRとメッセージFを同時に受信	メッセージRに設定されている条件で動作します。
メールとメッセージR、メッセージFを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている条件で動作します。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

<着信ランプ動作の優先順位>
- 着信の設定が重なった場合の着信ランプの動作の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①発着信識別機能のイルミネーション設定　②グループ識別機能のイルミネーション設定
  ③着信イルミネーション→P.144

<着信音動作の優先順位>
- 音声電話、テレビ電話にて、着信の設定が重なった場合の着信音動作の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①マルチナンバー（付加番号1、2）の着信音　②発着信識別機能の着信音
  ③グループ識別機能の着信音　④着信音選択（テレビ電話）の着信音→P.128
  ⑤非通知着信設定の着信音→P.166　⑥着信音選択（テレビ電話以外）の着信音→P.128
  発着信識別機能やグループ識別機能での優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①着信音設定のｉモーション　②着信画面設定のｉモーション
  ③着信音設定のｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、メロディ
- メール着信の設定が重なった場合の着信音動作の優先順位について→P.271、308

<着信画像表示の優先順位>
- 音声電話、テレビ電話にて、着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①発着信識別機能の着信画面設定　②グループ識別機能の着信画面設定
  ③電話帳登録の静止画→P.110　④着信音選択のｉモーション→P.128
  ⑤画面表示設定→P.136
  発着信識別機能やグループ識別機能での優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①着信音設定のｉモーション　②着信画面設定のｉモーション、静止画・画像

<通信速度設定の優先順位>
- 通信速度の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①通信速度設定→P.84、118　②発着信識別機能の通信速度設定
  ③グループ識別機能の通信速度設定

発着信識別機能の設定状況を確認する

MENU 6 2

「発着信識別機能」を設定している電話帳およびグループを各機能または項目ごとに確認できます。

1 電話帳一覧画面の機能メニュー（P.117）▶「発着信識別機能」

「発着信識別機能確認画面」が表示されます。
本機能が設定されている項目には「★」がついています。

2 「発着信識別機能確認画面」にて「★」がついている機能または項目を選択▶「★」がついている機能または項目を反転表示して※ [機能] ▶以下の項目から選択

※：設定している機能または項目によって回数が変わります。

設定確認	選択した機能または項目が設定されている電話帳およびグループを確認します。
設定解除	選択した機能または項目の設定をまとめて解除します。

〈ツータッチダイヤル〉

少ないボタン操作で電話をかける

メモリ番号を「000」～「009」に登録すると、0から9のうちの1つを押して（テレビ電話の場合は[テレビ電話]、プッシュトークの場合は）を押すだけですばやく電話をかけることができます。

1 0～9▶

■ テレビ電話にかける場合
▶[テレビ電話]

■ プッシュトークを発信する場合
▶
1対1通話のみ可能です。

おしらせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。
- シークレットモード、シークレット専用モード時は、メモリ番号000～009にシークレット登録された電話帳にツータッチダイヤルで発信することができます。
- 「指定発信制限」を設定したときに、メモリ番号000～009の電話帳の1番目の電話番号が「指定発信制限」に指定されていないときは、ツータッチダイヤルは使用できません。この場合は、設定している指定発信制限を解除するか、メモリ番号000～009の電話番号の1番目の電話番号を指定発信制限に設定する必要があります。

〈オート表示〉

MENU 4 7

いつもかける相手にワンタッチで電話をかける

お買い上げ時 OFF

待受画面表示中に折り畳んだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示するように設定できます。や[テレビ電話]、を押すだけで、表示された電話番号に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信することができます。

- オート表示に指定できる電話番号は1件です。メールアドレスは指定できません。
- FOMAカードの電話帳、プッシュトーク電話帳は指定できません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳は指定できません。
- 各機能の操作中や文字の入力中にFOMA端末を閉じて再度開いた場合、およびシークレット専用モード時は、オート表示に指定した電話番号は表示されません。

オート表示機能を有効にする

1 MENU▶[各種設定]▶「ディスプレイ」▶「オート表示」▶「ON」

■ オート表示機能を無効にする場合
▶「OFF」

オート表示させる電話番号を指定する

1 電話帳詳細画面の機能メニュー（P.118）▶「オート表示」

「電話帳詳細画面」の機能メニューで「オート表示」に「★」がつきます。

■ 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

▶でオート表示させる電話番号を選択

■ オート表示の指定を解除する場合

▶操作1を再度行う

指定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

- オート表示の電話番号表示中に、、、[ホーム]を押すと待受画面に戻ります。[テレビ電話]を押すとテレビ電話発信します。
- 以下のような場合、本機能の設定は無効になります。
  - ・オールロック設定中
  - ・PIMロック設定中
  - ・シークレット専用モード設定中
  - ・オート表示に設定している電話番号に指定発信制限が設定されておらず、ほかの電話番号に指定発信制限が設定されている場合
- オート表示の電話番号表示中にプッシュトーク発信する場合、1対1通話のみ可能です。

●音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変える

お買い上げ時	電話：着信音1　テレビ電話：着信音1　プッシュトーク：着信音1　メール：着信音2　チャットメール：着信音2　メッセージR：着信音3　メッセージF：着信音3

音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージFを受けたときのそれぞれの着信音を設定できます。また、特定の電話番号やメールアドレス、アドレス帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。→P.123

- あらかじめ登録されている着信音やメロディ以外にも、iモードのサイトやインターネットホームページから取得したiモーションやメロディも着信音に設定できます。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信音に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
- QVGAサイズなど、iモーションによっては設定できないものがあります。
- メロディ一覧の見かたについて→P.369

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「着信音選択」▶以下の項目から選択

電話	音声電話、64Kデータ通信の着信音と着信画面（「画面の表示を変える」→P.136）が設定できます。
テレビ電話	テレビ電話の着信音と着信画面（「画面の表示を変える」→P.136）が設定できます。
プッシュトーク	プッシュトークの着信音が設定できます。
メール	iモードメール、SMS、パケット通信の着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.136）が設定できます。
チャットメール	チャットメールの着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.136）が設定できます。
メッセージR	メッセージRの着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.136）が設定できます。
メッセージF	メッセージFの着信音とメールの着信画面（「画面の表示を変える」→P.136）が設定できます。

2 「着信音」▶以下の項目から選択

メロディ	あらかじめ登録されている着信音やメロディを「プリインストール」フォルダから、iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディを「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選択します。
iモーション	FOMA端末に取得したiモーションやカメラで撮影した動画（iモーション）を「INBOX」、「カメラ」またはお客様が作成したフォルダから選択します。あらかじめ登録されているiモーションは「プリインストール」フォルダから選択します。 着信時には選択したiモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション機能）。
おしゃべり	「おしゃべり1～2」から選択します。
ランダムメロディ	メロディが保存されているフォルダを選択します。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。
OFF	着信音を鳴らしません。

3 着信音またはiモーションを選択

メロディを選択すると、そのメロディが鳴ります。、、、、、のいずれかのボタンを押すと、メロディはとまります。
着信音を設定したら、必要に応じて着信画面の設定をします。

■設定を確認する場合

▶［デモ］

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

音／画面／照明設定　着信音選択

あらかじめ登録されている着信音・メロディ一覧

表示	曲名※1	作曲者※1 ※2	3Dサウンド対応
着信音1～3	―	―	―
序曲/ドラゴンクエストⅧ	序曲／ドラゴンクエスト	すぎやま　こういち	―
We Are Family	WE ARE FAMILY	EDWARDS BERNARD (US)／RODGERS NILE GREGORY	○
ピアノ協奏曲第2番より	ピアノ協奏曲第2番第2楽章より	RACHMANINOFF SERGEI	○
ダッタン人の踊り	ダッタン人の踊り	BORODIN ALEKSANDRE PORFIREVICH	○
アヴェ・マリア	アヴェ・マリア	SCHUBERT FRANZ (KLASSIKER)	○
アイネ・クライネ・ナハトムジーク	SERENATA NO.13 "EINE KLEINE NACHTMUSIQUE" K.525	MOZART WOLFGANG AMADEUS	○
ラプソディ・イン・ブルー	ラプソディ・イン・ブルー	GERSHWIN GEORGE	○
木星	"THE PLANETS" JUPITER	HOLST GUSTAV	○
トッカータとフーガ	TOCCATA UND FUGE BWV.565	BACH JOHANN SEBASTIAN	○
交響曲第9番「新世界」	SYMPHONY NO.9 IN E MINOR OP.95 "FROM THE NEW WORLD" ALLEGRO	DVORAK ANTONIN	○
鹿威し	―	―	○
キラキラ	―	―	―
オカルト	―	―	○
Healing Sound	―	―	○
バグパイプ	―	―	○
ひよこ	―	―	○
You've Got Mail	―	―	○
黒電話	―	―	○

※1：曲名、作曲者のローマ字は大文字で表記しています。
※2：作曲者はJASRACホームページに準拠して表記しています。

録音許諾番号：T-0580020 JASRAC

あらかじめ登録されている着モーション

「iモーション」の「プリインストール」フォルダに「Nature」が登録されています。

おしらせ

- 映像のみのiモーション、テロップ付きiモーションは着信音に設定できません。
- プッシュトークの着信音に設定できるiモーションは音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）です。
- iモーションによっては設定できないものがあります。
- 着信音に設定できるメロディをminiSDメモリーカードへコピーした場合、コピーしたメロディは着信音に設定できません（FOMA端末へコピーした場合は設定できます）。
- 着モーションや着信画像に設定できる動画／iモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
  - ・赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - ・miniSDメモリーカードからFOMA端末本体にコピーした場合（FOMA端末本体からminiSDメモリーカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末本体にコピーした場合を含む）
- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」で設定した音量となります。「着信音量」を「消去」に設定している場合は鳴りません。
- タイトルの前に「」、「」がついているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。→P.369
- データBOX内の「メロディ」で「着信音設定」を行うと、本機能の設定に反映されます。→P.370
- データBOX内の「iモーション」で「着信音設定」を行うと、本機能の設定に反映されます。→P.358
- 着信音と着信画面の組み合わせ、優先順位によって着信音か着信画面のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- 相手が電話番号を通知してこない音声電話の着信音は、「非通知着信設定」で設定できます。相手が電話番号を通知してこないテレビ電話の着信音は、本機能の「テレビ電話」の設定に従います。
- 着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.124
- メールの着信音にiモーションを設定している場合、パケット通信の着信音は「着信音2」となります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。

3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカ（またはステレオイヤホンセット）を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるiアプリによるゲームやメロディ再生などをお楽しみいただけます。

3Dサウンドの聞き方

- 迫力ある3Dサウンドをお楽しみいただくためには、FOMA端末をおよそ20～30cm離し、正面に持って聞いた場合に最も効果が現れます。
- 正面から左右にずらした位置で聞く場合や、正面でも近すぎたり遠すぎたりした場合には効果が薄れてしまいます。
- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「サラウンド設定」、「3Dサウンド設定」、「SRS_WOW設定」（P.130）をすべて「OFF」に設定してください。

〈サウンド効果〉 MENU 6 4

着信音やメロディなどの音響効果を設定する

お買い上げ時	サラウンド設定：OFF　3Dサウンド設定：ON　SRS_WOW設定：OFF

メロディを再生したときや、音声電話、テレビ電話、プッシュトークやメールなどの着信音、効果音、iモーション再生音を表現豊かに再生することができます。

1   ▶「着信」▶「サウンド効果」▶以下の項目の「ON」または「OFF」を設定

サラウンド設定	自然な立体感のある音を設定します。2つのスピーカから再生される音が実際の位置より離れて聞こえるようになります。
3Dサウンド設定	3Dサウンドを3次元の立体音響でステレオスピーカから再生することができます。
SRS_WOW設定	「iモーションの再生音に音響効果を加える」→P.130

iモーションの再生音に音響効果を加える

音響効果ありのiモーションを再生したときに、スピーカから聞こえる再生音には「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が加わり、イヤホンから聞こえてくるステレオ再生音には「自然な立体音場感」、「豊かな低音」、「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。

- 音響効果ありのiモーションは、動画一覧画面のアイコンで確認できます。→P.346

〈バイブレータ〉 MENU 5 4

着信を振動で知らせる

お買い上げ時 すべてOFF

音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージFを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定できます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「バイブレータ」▶以下の項目から設定

電話	音声電話や64Kデータ通信のバイブレータを設定します。
テレビ電話	テレビ電話のバイブレータを設定します。
プッシュトーク	プッシュトークのバイブレータを設定します。
メール	iモードメールやSMS、パケット通信のバイブレータを設定します。
チャットメール	チャットメールのバイブレータを設定します。
メッセージR	メッセージRのバイブレータを設定します。
メッセージF	メッセージFのバイブレータを設定します。

2 振動パターンを選択

パターン1	パターン1で振動します。
パターン2	パターン2で振動します。
パターン3	パターン3で振動します。
メロディ連動	着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。ただし、メロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、または着信音をiモーションに設定している場合は、パターン2で振動します。
OFF	振動しません。

振動パターンを選択すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。
待受画面のアイコンで、バイブレータが動作する対象を確認することができます。

V♪：音声電話、テレビ電話、プッシュトークのいずれかの着信で振動することを示しています。
V✉：メール／チャットメール／メッセージR／メッセージFのいずれかの着信で振動することを示しています。
V♪✉：「V♪」と「V✉」の両方の状態であることを示しています。

おしらせ

- 「バイブレータ」の「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」のそれぞれの設定は、「メール／メッセージ鳴動」（P.132）のそれぞれの設定を「ON」にしなければ着信時に鳴動しないため、バイブレータも振動しません。
- バイブレータを「OFF」以外に設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
- 「着信音量」を「消去」以外に設定し、バイブレータを設定したときは、音と振動でお知らせします。「着信音量」を「消去」に設定したときは、振動だけでお知らせします。
- バイブレータの振動は、着信音量にかかわらず、一定の強さとなります。
- 「メロディ連動」に設定した場合、振動パターンは主旋律に連動しないこともあります。

<バイブレータ動作の優先順位>

- 「発着信識別機能」、「グループ識別機能」でバイブレータの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①発着信識別機能のバイブレーション設定　②グループ識別機能のバイブレーション設定　③バイブレータの設定

〈ボタン確認音〉

ボタンを押したときに鳴る音を設定する

MENU 3 0

お買い上げ時 ON

- 本機能を「OFF」に設定した場合、以下の音も鳴りません。
  - ・各種警告音
  - ・電池残量表示の音
  - ・受話音量の調節を開始したときの音
  - ・めざまし時計のスヌーズ解除音
- ボタン確認音の音量は、通話中の場合には「受話音量」で設定した音量、通話していない場合には一定の音量になります。
- 本機能の設定にかかわらず、以下の操作を行うときは確認音が鳴ります。
  - ・FOMA端末を閉じた状態で[アシストキー]または[メモ／確認]を押したとき
  - ・カメラで撮影したとき（シャッター音、オートフォーカスロック完了音）
  - ・メモの再生開始時／終了時（受話口から鳴ります）
  - ・待受中音声メモ、おしゃべりの録音開始時／終了時（受話口から鳴ります）
- 「初期設定」（P.50）からボタン確認音を設定する場合は、「ON」または「OFF」から選択してください。

1

■ボタン確認音を鳴らさない場合
▶「OFF」

〈充電確認音〉

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時 ON

充電したままFOMA端末を放置することがないように、充電をはじめたときや完了したときに「ピッピッ」と確認音が鳴るように設定できます。

- 本機能の設定にかかわらず、以下の場合は確認音が鳴りません。
  - ・発信中
  - ・音声通話中／プッシュトーク通信中
  - ・公共モード（ドライブモード）設定中の場合
  - ・おしゃべり機能録音中
  - ・電源が切れている場合
  - ・着信中
  - ・マナーモード設定中の場合
  - ・待受中音声メモ録音中
  - ・データ通信中
  - ・待受画面以外の画面が表示されている場合

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「充電確認音」▶「ON」

■ 充電確認音を鳴らさない場合

▶「OFF」

〈通話品質アラーム〉 MENU 7 5

通話が切れそうなときはアラームで知らせる

お買い上げ時 アラーム高音

音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合は、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- プッシュトークでは「通話品質アラーム」機能は働きません。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「通話」▶「通話品質アラーム」▶「アラームなし」、「アラーム高音」または「アラーム低音」

〈メール／メッセージ鳴動〉 MENU 6 8

メールの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時 すべて5秒

メールやチャットメール、メッセージR、メッセージFを受信したときに、着信音を鳴らすかどうか、鳴らす場合にはその時間を設定します。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「メール／メッセージ鳴動」▶以下の項目から設定

メール	iモードメールやSMSの鳴動時間を設定します。
チャットメール	チャットメールの鳴動時間を設定します。
メッセージR	メッセージRの鳴動時間を設定します。
メッセージF	メッセージFの鳴動時間を設定します。

2 鳴らす／鳴らさないを選択

ON	▶鳴動時間（01～30秒）を入力 鳴動時間で設定した時間で鳴ります。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
OFF	鳴らしません。

おしらせ

- 「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」のいずれかを「OFF」に設定すると待受画面に「S」が表示されます。

〈通知音出力切替〉

イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす

お買い上げ時 イヤホン（イヤホンのみ）

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、イヤホンとスピーカから着信音やアラーム通知音などが鳴るように設定できます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「外部接続」▶「通知音出力切替」▶「イヤホン＋スピーカ」、「イヤホン（20秒後スピーカ）」または「イヤホン（イヤホンのみ）」

おしらせ

- 本機能を「イヤホン（20秒後スピーカ）」、「イヤホン（イヤホンのみ）」に設定していても、イヤホンマイクを接続していない場合はスピーカから音が鳴ります。また、イヤホンマイクを接続していてもカメラのシャッター音などはスピーカから音が鳴ります。
- 「イヤホン（20秒後スピーカ）」に設定している場合、着信音やアラーム通知音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ただし、ミュージックプレーヤーなどを利用しているときは、約20秒たってもスピーカから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

〈マナーモード〉

電話から鳴る音を消す

周囲に迷惑がかからないように、ボタン1つの操作で着信音やボタン確認音などスピーカから出る音を鳴らさないように設定できます。

- マナーモード設定中は、以下の音を振動でお知らせします。
  - ・着信音※1
  - ・めざまし時計、スケジュール、To Doリスト、通話料金通知の各アラーム通知音※2
  - ・FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音

  ※1：「バイブレータ」の設定パターンで振動します。「バイブレータ」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。

  ※2：「バイブレータ」の「電話」の設定パターンで振動します。「バイブレータ」の「電話」が「OFF」に設定されている場合は「パターン2」で振動します。
- マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。→P.134

1 待受画面表示中または通話中▶ # （1秒以上）

マナーモードが設定されて「（マナーモードアイコン）」が表示されます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

マナーモード設定中は「（マナーモードアイコン）」のほかに、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

12:05

- （アイコン）：「バイブレータ」でお知らせすることを示します。
- （アイコン）、（アイコン）、（アイコン）：「着信音量」を「消去」に設定していることを示します。
- （アイコン）～（アイコン）：「伝言メモ」で用件を録音するように設定していることを示します。数字は録音されている伝言メモの件数を示します。
- （アイコン）～（アイコン）：「テレビ電話伝言メモ」で用件を録画するように設定していることを示します。数字は録画されているテレビ電話伝言メモの件数を示します。

■ **マナーモードを解除する場合**

マナーモードが設定されている状態で、待受画面表示中または通話中に # （1秒以上）を押します。マナーモードが解除されて「（マナーモードアイコン）」の表示が消えます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- マナーモード設定中でも、カメラで撮影するときのシャッター音やオートフォーカスロック完了音は鳴ります。

マナーモードを変更する

お買い上げ時 マナーモード

マナーモード設定中の動作を選択することができます。

● お買い上げのとき、「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。

・伝言メモ：OFF
・バイブレータ：ON
・電話着信音量：消去
・メール着信音量：消去
・めざまし音量：消去
・iアプリ音量：消去
・メモ確認音：ON
・ボタン確認音：OFF
・通話中マイク感度：アップ
・低電圧アラーム：OFF

1 「着信」▶「マナーモード選択」

「マナーモード選択画面」が表示されます。

マナーモード選択画面

2 以下の項目から選択

マナーモード	スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモやメモの再生／消去で[メモ／確認]を押したときの確認音）は消去しません。
スーパーサイレント	スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。
オリジナルマナー	お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定できます。マナーモード設定中に電話がかかってきたときの動作、めざまし時計のアラーム音量などをあらかじめ設定しておくことができます。 「オリジナルマナーを設定する」→P.134

オリジナルマナーを設定する

1 「マナーモード選択画面」（P.134）▶「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択

伝言メモ	伝言メモを設定します。 「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.77
バイブレータ	バイブレータを設定します。 「着信を振動で知らせる」→P.130
電話着信音量	**▶で音量を調節** 音声電話とテレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の着信音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.71
メール着信音量	**▶で音量を調節** メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR、メッセージFの着信音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.71
めざまし音量	**▶で音量を調節** めざまし時計のアラーム音量を設定します。 「めざまし時計を設定する」→P.408
iアプリ音量	**▶で音量を調節** iアプリの音量を設定します。ただし、「ステップ」は設定できません。
メモ確認音	「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を設定します。
ボタン確認音	ボタン確認音を設定します。 「ボタンを押したときに鳴る音を設定する」→P.131
通話中マイク感度	通話中のマイク感度を「標準」、「アップ」から選択します。
低電圧アラーム	電池切れアラームを設定します。 「電池が切れたときは？」→P.49

2 設定が終わったら［完了］

■ マナーモードに設定すると

各マナーモードは以下のような設定になります。

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
伝言メモの起動	OFF		「伝言メモ」の設定値
バイブレータ	ON		「バイブレータ」の設定値
音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の着信音量	消去		「電話着信音量」の設定値
メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR／メッセージFの着信音量	消去		「メール着信音量」の設定値
めざまし時計のアラーム音量（スヌーズ機能を含む）	消去		「めざまし音量」の設定値
iアプリの音量	消去		「iアプリ音量」の設定値
スケジュール／To Doリスト／料金通知のアラーム音量	消去		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値
ボタン確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
通話中のマイクの感度※1	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
通話中保留音	消去		「電話着信音量」の設定値 「消去」に設定している場合は、「消去」になります。 「消去」以外に設定している場合は、「レベル1」で鳴ります。
応答保留音	消去		「電話着信音量」の設定値※2
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「ON」に設定していても、本機能の「電話着信音量」を「消去」に設定している場合は、電池切れアラームは「レベル1」で鳴ります。
受信メールの読み上げ	「着信音量」（P.71）の「電話」の設定値※3		
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	消去		「電話着信音量」の設定値※2
トルカ取得音	消去		「電話着信音量」の設定値※4

※1 ： 通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。ただし、「カメラ」の動画撮影時には、マイク感度は「標準」になります。
※2 ：「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量で鳴ります。
※3 ：「消去」、「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量で読み上げます。
※4 ：「ステップ」に設定している場合は、「レベル4」の音量で鳴ります。

■ イヤホン接続時は

イヤホン接続時は以下のような設定になります。

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
受信メールの読み上げ、To Doリスト／スケジュールの内容読み上げ	「着信音量」（P.71）の「電話」の設定値※		
ボイスクロック（待受中、スヌーズ中）、FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	「着信音量」（P.71）の「電話」の設定値※		「電話着信音量」の設定値 「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量で鳴ります。
ミュージックプレーヤーの音量	ミュージックプレーヤー（P.396）での音量設定値		

※：「消去」、「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量で読み上げます。

おしらせ

- 「オリジナルマナー」の伝言メモを「ON」にすると、「伝言メモ」（P.77）の「ON」で設定している呼出時間の後に伝言メモを開始します。ただし、「伝言メモ」を「OFF」に設定している場合は、8秒後に開始します。
- マナーモード設定中の動作をバイブレータでお知らせするように設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないようご注意ください。

画面の表示を変える

お買い上げ時	待受画面：カクテル　ウェイクアップ表示：Flying Airplane 電話発信：スタンダード　電話着信：スタンダード　テレビ電話発信：スタンダード テレビ電話着信：スタンダード　メール送信：スタンダード　メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード

撮影した静止画やダウンロードした画像などを、待受画面や発着信画面などに表示させることができます。

- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信音に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたiモーションの映像と音声が再生されます。
- 音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は着信画面に設定できません。
- QVGAサイズなど、iモーションによっては設定できないものがあります。
- FOMA端末に保存されているデータのみ設定できます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」

「画面表示設定画面」が表示されます。
着信画面にiモーション以外を設定した場合は、必要に応じて着信音の設定をします。

2 以下の項目から選択

画面表示設定画面

待受画面	「待受画面のイメージを変える」→P.138		
ウェイクアップ表示	FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。		
	OFF	画像などを表示しません。	
	メッセージ	▶メッセージを入力 メッセージは全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。	
	マイピクチャ	イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
		INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
		カメラ	
		プリインストール	あらかじめ登録されている画像から設定します。
		自作アニメ	自作アニメから設定します。
電話発信	音声電話の発信画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。		
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。	
	カメラ		
	プリインストール	あらかじめ登録されている画像から設定します。	
	自作アニメ	自作アニメから設定します。	
電話着信	音声電話の着信音と着信画面を設定します。		
	着信音	「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128	
	着信画面	「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.137	
テレビ電話発信	テレビ電話の発信画面を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。		
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。	
	カメラ		
	プリインストール	あらかじめ登録されている画像から設定します。	
	自作アニメ	自作アニメから設定します。	
テレビ電話着信	テレビ電話の着信音と着信画面を設定します。		
	着信音	「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128	
	着信画面	「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.137	

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

メール送信	iモードメール、SMSの送信画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ	
	プリインストール	あらかじめ登録されている画像から設定します。
	自作アニメ	自作アニメから設定します。
メール受信	iモードメール、SMSの着信音と着信画面を設定します。	
	着信音	「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128
	メール着信画面	「着信画面やメール着信画面を設定する」→P.137
問い合わせ	メッセージ問い合わせ、iモード問い合わせのときに表示される画像を設定します。 お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ	
	プリインストール	あらかじめ登録されている画像から設定します。
	自作アニメ	自作アニメから設定します。

●着信画面やメール着信画面を設定する

＜例：電話着信の着信画面を設定する場合＞

1「画面表示設定画面」（P.136）▶「電話着信」▶「着信画面」▶以下の項目から選択

マイピクチャ	イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ	
	プリインストール	あらかじめ登録されている画像から設定します。
	自作アニメ	自作アニメから設定します。
iモーション※	iモーションを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 iモーションによっては、設定できないものもあります。	
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたiモーションや、内蔵カメラで撮影した動画から設定します。
	カメラ	
	プリインストール	あらかじめ登録されているiモーションから設定します。

※：メール着信画面のときは、「iモーション」は表示されません。

■設定を確認する場合

▶◯［デモ］

おしらせ

- Flash画像を「着信画面」／「メール着信画面」に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。
- 着モーションや着信画像に設定できる動画／iモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
  - ・赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - ・miniSDメモリーカードからFOMA端末本体にコピーした場合（FOMA端末本体からminiSDメモリーカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末本体にコピーした場合を含む）
- 着信の設定が重なった場合の画像表示は優先順位に従って動作します。→P.124
- プッシュトークの発信画面、着信画面は画像設定できません。

＜画面設定の優先順位＞

- 画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①オート表示　②待受iアプリ　③画面表示設定

待受画面のイメージを変える

- プリインストールにはあらかじめ登録されている画像が以下の10種類あります。
- 「Dancing Disc」、「Windsurfer」は時間帯に連動して色やイメージが変わります。

Dancing Disc

Windsurfer

Flying Airplane

Animal Garden

ドラゴンクエストⅡ

©BVIG
ブンブン（Dimo）

カクテル

ヒツジ

ゼリービーンズ

London

1 「画面表示設定画面」（P.136）▶「待受画面」▶以下の項目から選択

項目			説明
OFF			画像などを表示しません。
カレンダー			カレンダーを設定します。
	背景画像あり		カレンダーの背景画像を選択して設定することができます。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
		INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
		カメラ	
		プリインストール	あらかじめ登録されている画像から設定します。
	背景画像なし		カレンダーのみを表示します。
マイピクチャ			イメージを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。
	INBOX		iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
	カメラ		
	プリインストール		あらかじめ登録されている画像から設定します。
	自作アニメ		自作アニメから設定します。
iモーション			iモーションを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 iモーションによっては、設定できないものもあります。
	INBOX		iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたiモーションや、内蔵カメラで撮影した動画から設定します。
	カメラ		
	プリインストール		あらかじめ登録されているiモーションから設定します。
iアプリ待受画面			iアプリ待受画面を設定します。iアプリ待受画面が設定されているときは、「★」が表示されます。 「iアプリ待受画面を設定する」→P.323

■ 待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。
土曜日は青字、休日は赤字、記念日はピンク色の背景で表示されます。

■ 前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に◉を押して⊚でカレンダーを選択するか、◉をスライドさせてポインターをカレンダーに重ねると、カレンダーの選択状態になります。もう一度◉を押してから⊚を押すと前の月のカレンダーが、⊙を押すと次の月のカレンダーが表示されます。
待受画面に「情報を通知するデスクトップアイコン」（P.148）以外の「デスクトップアイコン」が貼り付けられている場合は、◉を押すと前回使ったデスクトップアイコンまたはカレンダーが選択されます。デスクトップアイコンが選択された場合は、カレンダーを選択し、もう一度◉を押してから⊚または⊙を押すと前の月、次の月のカレンダーが表示されます。

■ スケジュール機能を起動する場合

カレンダーの選択状態から◉を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

おしらせ

- 動画やiモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと動画やiモーションが再生されます。、CLR、、、、、◉、[アシストキー]、のいずれかのボタンを押すと再生は終了します。また、マナーモード設定中には映像のみが表示されます。再生が終了すると動画やiモーションの1コマ目が待受画面に表示されます。
- Flash画像を待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くとFlash画像が再生されます（メロディは再生されません）。CLRまたはを押すと再生が終了し、その時点でのFlash画像が待受画面に表示されます。再生が終了するとFlash画像の最後の1コマが待受画面に表示されます。
- 待受画面などに設定している画像、動画やiモーションを削除すると、その設定は解除されてお買い上げのときの状態に戻ります。

〈電話帳画像着信設定〉

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

お買い上げ時 ON

静止画を登録している電話帳の相手から音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信時に静止画を表示するかしないか設定できます。

1 MENU▶▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」▶「ON」

■ 電話帳に登録している画像を表示しない場合

▶「OFF」

おしらせ

- 着信の設定が重なった場合、画像表示は優先順位に従って動作します。→P.124
- 着信画面と着信音の組み合わせまたは優先順位により、着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、画像は表示されません。
- 本機能の設定にかかわらず、シークレットデータとして登録された電話帳の画像は表示されません。

〈イメージウィンドウ〉 MENU 9 3

イメージウィンドウの表示のしかたを設定する

お買い上げ時	設定：ON　待受表示固定：OFF　待受画面表示：アナログ時計1（ピクト表示：ON） 背景設定：プリインストール（カクテル）　着信表示：ON（画像＋着信番号） メール表示：OFF　通信中表示：ON（バックライトOFF）　背面iアプリ：OFF

イメージウィンドウのメッセージ表示のしかたや背景の設定、時計表示などを設定できます。

●「イメージウィンドウ（背面ディスプレイ）の見かた」→P.34

1 ▶▶「ディスプレイ」▶「イメージウィンドウ」▶以下の項目から選択

ON	待受表示固定	待受表示固定のON／OFFを設定します。「ON」に設定すると、着信時などにイメージウィンドウのバックライトは点灯しません。着信中のメッセージは表示されずアラーム通知などのアニメーションも表示されません。	
	待受画面表示	表示する時計の種類を「アナログ時計1～2」、「デジタル時計1～2」、「OFF」から選択してピクト表示のON／OFFを設定します。	
	背景設定	背景画像を表示するかどうかを設定します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
		OFF	画像などを表示しません。
		INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードした画像や、内蔵カメラで撮影した静止画から設定します。
		カメラ	
		プリインストール	あらかじめ登録されている画像を設定します。
	着信表示	着信中に相手の電話番号を表示するかどうかを設定します。	
		ON	表示方法を「画像＋着信番号」、「画像のみ」、「着信番号のみ」から選択します。
		OFF	表示しません。

音／画面／照明設定

電話帳画像着信設定

次ページにつづく

ON	メール表示	メール表示のON／OFFを設定します。「ON」に設定するとメールを受信したときに送信元、相手が送信した日時、題名が表示されます。	
	通信中表示	音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信中や通信中、赤外線通信中やデータ通信中のときの状態を画像、アニメーションで表示します。	
		ON	バックライトの点灯をする／しない(ON／OFF)が設定できます。
		OFF	表示しません。
	背面iアプリ	背面iアプリのON／OFFを設定します。	
OFF		イメージウィンドウには何も表示されなくなります。	

おしらせ

- イメージウィンドウの表示を「OFF」に設定すると、カメラ動作中と一部の動作を除きイメージウィンドウには何も表示されません。
- 本機能の「待受画面表示」で「デジタル時計1」または「デジタル時計2」を設定した場合、表示方法や表示サイズは「待受時計表示」(P.146)の設定が反映されます。なお、表示サイズは大きく表示(「大きく表示」)または小さく表示(「小さく表示」、「下に小さく表示」)の2段階となります。
- 「待受画面表示」を「アナログ時計1」、「アナログ時計2」に設定したときの長針は1分ごとに動きます。
- メール表示をONに設定していても、メールセキュリティが設定されているフォルダに自動振り分けされたメールの名前、送信した日時と題名は表示されません。
- iモードメールやチャットメール、SMSを受信したとき、そのメールの内容に合った感情のアイコンが表示されます。→P.271
  また、受信した内容に指定したキーワードが含まれているとき、アイコンでお知らせするように設定することもできます。→P.299
- 複数のメールを同時に受信した場合は、最新1件分のメールアドレスまたは送信相手の名前、送信した日時と題名が表示されます。→P.35

〈照明設定〉 MENU 7 0

ディスプレイとボタンの照明を設定する

お買い上げ時	通常時:ON(点灯)+省電(待ち時間5分) 充電時:標準 範囲:液晶+ボタン 明るさ:レベル2

ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトの点灯方法を設定できます。

1 MENU ▶ ▶「ディスプレイ」▶「照明設定」▶以下の項目から選択

通常時	通常時のバックライトの動作を選択します。 「OFF」に設定すると待受画面に「 」が表示されます。		
	ON	省電力モードを設定します。	
		ON	▶待ち時間(02〜20分)を入力 設定した待ち時間経過後、待受画面およびイメージウィンドウの表示が消えます(省電力モード)。 省電力モードに移るまでの時間を設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
		OFF	省電力モードを無効にします。
	OFF	省電力モードを設定します。	
		ON	▶待ち時間(02〜20分)を入力 設定した待ち時間経過後、待受画面およびイメージウィンドウの表示が消えます(省電力モード)。 省電力モードに移るまでの時間を設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
		OFF	省電力モードを無効にします。
充電時	▶「標準」または「常時点灯」 充電時のバックライトの動作を選択します。		
範囲	バックライトの範囲を選択します。		
	液晶+ボタン	ディスプレイとボタンに設定します。	
	液晶	ディスプレイのみに設定します。	
明るさ	明るさを「レベル3〜1」から選択します。		

おしらせ

- バックライトの点灯／消灯は 5 を1秒以上押しても切り替えることができます。
- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときにバックライトを約15秒間点灯します。カメラ起動中、動画／iモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定にかかわらず、常時点灯します。
- 「充電時」の設定を「常時点灯」に設定した場合、「範囲」の設定（「液晶＋ボタン」、「液晶」）に従ってディスプレイとダイヤルボタンが常時点灯します。「充電時」の設定を「標準」に設定した場合は、「通常時」の設定に従って動作します。
- 「充電時」の設定を「常時点灯」に設定した充電状態であっても、約15秒間操作のない場合は、充電の効率を高めるためにディスプレイのバックライトの明るさを「レベル1」にして点灯し続けます。
- イメージウィンドウのバックライトは、「充電時」の設定を「標準」に設定すると充電開始時に約15秒間点灯し、その後レベル1で点灯し続けます。「常時点灯」に設定すると充電中点灯し続けます。
- メールやメッセージR、メッセージFの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- FOMA端末を開いているときに省電力モードになると、◐と◑が約5秒間隔で点滅します。ボタン操作などを行うと省電力モードは解除されます。
- 「イメージウィンドウ」の「待受表示固定」を「ON」に設定し、FOMA端末を閉じた場合、設定した待ち時間を経過しても省電力モードにはなりません。

〈画面デザイン〉

ディスプレイの色を変更する

お買い上げ時	配色パターン：スタンダード　背景パターン1：OFF　背景パターン2：背景色1

文字や背景、ディスプレイ上下部やソフトキーのデザインを変更します。

1 ▶ ▶「ディスプレイ」▶「画面デザイン」▶以下の項目から選択

配色パターン	配色パターンを「スタンダード」、「ムーンイエロー」、「サイレントブルー」、「トワイライトローズ」、「カームグレイ」から選択します。 選択中は選択されているパターンがディスプレイに表示されます。
背景パターン1	背景パターン1（ディスプレイ上部25ドット、下部25ドットの背景パターン）を「OFF」（表示しない）、「メッシュ」、「シャボン」、「チェック（ブルー）」、「チェック（クリーム）」、「ダイヤ（アッシュ）」、「ダイヤ（ブライト）」、「スチール」、「ブラス」から選択します。 ディスプレイ上部に表示されるアイコンの見やすさを優先するときに設定します。 選択中は選択されているパターンがディスプレイに表示されます。
背景パターン2	背景パターン2（ソフトキーの背景パターン）を「背景色1～3」から選択します。 選択中は選択されているパターンがディスプレイに表示されます。

おしらせ

- アイコンや画像は本機能を変更しても色は変わりません。またiモードのサイトの画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらない画面や機能があります。

メニュー表示を変更する

メニュー表示のしかたを設定する〈メニュー画面設定〉 MENU 5 7

お買い上げ時	ガイダンス表示：絵と文　メニュー表示：一覧表示　テーマ：レイヤード

メインメニューで大項目アイコンのガイダンス表示を変えたり、「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示方法を設定できます。

- 本機能の設定にかかわらず、オリジナルメニューは一覧表示されます。

■ ガイダンス表示について

「絵と文」の場合

「文」の場合

「OFF」の場合

次ページにつづく

■ メニュー表示について

「一覧表示」の場合

「詳細表示」の場合

■ テーマについて

「レイヤード」の場合

「アクアリウム」の場合

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」

「メニュー画面設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

メニュー画面設定画面

ガイダンス表示	大項目のガイダンス表示を「絵と文」、「文」、「OFF」（表示しない）から選択します。	
メニュー表示	小項目の表示のしかたを「詳細表示」または「一覧表示」から選択します。	
テーマ	大項目の選択画面の背景やアイコンを設定します。	
	レイヤード	レイヤードに設定します。
	アクアリウム	アクアリウムに設定します。
	オリジナルテーマ	「メインメニューの画面を変更する」→P.142

メインメニューの画面を変更する

大項目の選択画面（メインメニュー）の各アイコンと背景のイメージを変更することができます。

1 「メニュー画面設定画面」(P.142) ▶「テーマ」▶「オリジナルテーマ」

「オリジナルテーマ画面」が表示されます。
画像は、マイピクチャのINBOX、カメラ、プリインストール、お客様が作成したフォルダから選択します。

2 以下の項目から選択

オリジナルテーマ画面

機能メニュー➡P.143

メール	メールアイコンの画像を設定します。
iモード	iモードアイコンの画像を設定します。
iアプリ	iアプリアイコンの画像を設定します。
各種設定	各種設定アイコンの画像を設定します。
データBOX	データBOXアイコンの画像を設定します。
生活ツール	生活ツールアイコンの画像を設定します。
サービス	サービスアイコンの画像を設定します。
電話帳	電話帳アイコンの画像を設定します。
ユーザデータ	ユーザデータアイコンの画像を設定します。
背景イメージ	背景イメージの画像やマルチタスクのグループ枠の色を設定します。 「マルチタスクについて」→P.403

■ マルチタスクのグループ枠を設定する場合

▶「背景イメージ」▶ [デモ] ▶ [枠色] ▶ でカラーパレットから色を選択

色を選択しているときは、[切替] を押すごとにカラーパレットが16色と256色に切り替わります。

おしらせ

- 選択画面で◯［デモ］を押すと、選択している項目の画像を確認することができます。
- FOMAカード動作制限機能（P.43）の対象となる画像がメニューアイコンおよび背景イメージに1つでも設定されていると、ほかのFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを抜いた場合にオリジナルテーマはお買い上げ時の表示になります。
- JPEG形式、GIF形式、アニメーションGIF形式の画像でファイル容量が100Kバイト以下、画像サイズが横640×縦640ドットまでの画像が設定できます。画像表示エリア（アイコン：横64×縦63ドット、背景：横240×縦270ドット）より大きい場合は、縦と横が同じ比率で縮小表示されます。小さい場合は中央に表示されます。
- メニューアイコンに設定したアニメーションGIF形式の画像は、あらかじめ設定されている繰り返し回数の情報にかかわらず、アニメーション動作回数は1回となります。また、背景イメージにアニメーションGIF形式の画像を設定してもアニメーションは動作しません。

オリジナルテーマ画面の機能メニュー

1件リセット	反転表示した大項目のアイコンまたは背景イメージをお買い上げのときの設定に戻します。
全リセット	メインメニューのアイコンと背景イメージをお買い上げのときの設定に戻します。

オリジナルメニューを作成する〈オリジナルメニュー〉 MENU 5 2

お買い上げ時	自局番号、iモード問い合わせ、着信音量、バイブレータ、めざまし時計、端末暗証番号変更

- よく使う機能をオリジナルメニューに登録しておくと簡単に呼び出すことができます。
- オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。
- オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の大項目と「各種設定」、「データBOX」、「生活ツール」、「サービス」、「電話帳」、「ユーザデータ」の各中項目および小項目です。
- 同じ機能を登録することはできません。

1 MENU▶[各種設定]▶「ディスプレイ」▶「オリジナルメニュー」

「オリジナルメニュー画面」が表示されます。

2 「<未登録>」を反転表示して◯[編集]▶◎でメニューの項目を選択

■ すでに登録されている機能を変更する場合

▶機能が登録されている項目を選択

3 登録したい機能を選択

「メール／iモード／iアプリ」は大項目のみ登録可能です。

オリジナルメニュー画面

機能メニュー➡P.143

おしらせ

- MENU▶MENUでもオリジナルメニューが表示され、登録や並び替えなどの操作ができます。

オリジナルメニュー画面の機能メニュー

メニュー登録	オリジナルメニューを登録します。
並び替え	▶◎で選択▶◉ オリジナルメニューを並び替えます。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
オリジナルメニュー初期化	お買い上げのときの設定に戻します。
解除	反転表示した機能をオリジナルメニューから解除します。
全解除	登録されているすべての機能をオリジナルメニューから解除します。

〈ニューロポインター設定〉

ニューロポインターを設定する

お買い上げ時	ポインター表示：ON　簡易設定：速度（標準）

ニューロポインターボタン（◉）で操作するポインター（ ：青色／ ：白色）をより使いやすくするために、ポインター表示のON/OFFや移動速度などを設定できます。

- 「初期設定」（P.50）からニューロポインターの速度を設定する場合は、「簡易設定」（P.144）の「速度（標準）」または「速度（高速）」から選択してください。
- ポインターは、「 」が表示される画面で使用できます。
- （青色）のときは、ポインターを移動すると画面内のカーソルが追従して自動選択されます。 （白色）のときは、ポインターを移動してもカーソルは追従せず自動選択されません。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ニューロポインター設定」

「ニューロポインター設定画面」が表示されます。

ニューロポインター設定画面

2 以下の項目から選択

ポインター表示	ポインターを表示するかしないか（ニューロポインターを利用するかしないか）を設定します。	
速度調節	「ポインターの移動速度を調節する」→P.144	
スライド設定	スライド調整	▶「YES」▶画面のガイダンスに従ってニューロポインターボタンをスライド ポインターを正しく動かせるように、ニューロポインターの最大スライド範囲を調節します。
	リセット	スライドの調整値をお買い上げのときの状態に戻します。

ポインターの移動速度を調節する

1 「ニューロポインター設定画面」（P.144）▶「速度調節」▶以下の項目から選択

簡易設定	▶「速度（標準）」または「速度（高速）」▶「YES」 2種類から速度を選択します。	
詳細設定	画面ごとに速度を設定します。	
	通常画面※1	▶◎で「初」、「低」、「高」を選択▶◎で速度を調節▶「OK」 速度はそれぞれ0（左端）～11（右端）段階で調節できます。調節値を右にずらすほど速度が速くなり、左にずらすほど遅くなります。
	MainMenu画面	
	T9候補・ワード予測画面	
	ソフト実行画面※2	
速度リセット	ポインターの速度をお買い上げのときの状態に戻します。	

※1 ： 一覧画面やアイコン選択画面など、一般的な画面のポインター速度を調節します。
※2 ： iアプリのソフトによっては、本機能の設定が反映されない場合があります。

〈着信イルミネーション〉 MENU 8 9

着信時の着信ランプの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時	電話：色5　テレビ電話：色5　プッシュトーク：色5　メール：色1　チャットメール：色3 メッセージR：色1　メッセージF：色1　パターン設定：固定パターン　カラー設定：色1～12

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があったときや、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージFを受信したときの着信ランプの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定できます。

- 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.123
- ◯と◯の点滅は、着信ランプと同じパターン設定で点滅します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

1 ▶ ▶「着信」▶「着信イルミネーション」▶以下の項目から選択

着信イルミネーション選択	「電話」（音声電話）、「テレビ電話」、「プッシュトーク」、「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」の着信ランプの点滅色を選択します。 選択中は選択されている点滅色が着信ランプに表示されます。	
	色1〜色12　：それぞれの色で点滅します。 グラデーション：色1〜色12が順番に点滅します。	
パターン設定	着信ランプの点滅パターンを選択します。	
	固定パターン	固定パターン（0.5秒間隔で点滅）に設定します。
	メロディ連動	メロディ連動に設定します。
カラー設定	カラーを設定します。	
	カラー名編集	**▶色を選択▶カラー名を入力** カラー名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
	カラー調節	**▶色を選択▶ で色あいを調節**

おしらせ

- 着信音に「着信音1〜3」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらず着信音に合わせて点滅します。
- 着信の設定が重なった場合、着信ランプは優先順位に従って動作します。→P.124
- 「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合や着モーションの場合は「固定パターン」で点滅します。
- miniSDメモリーカードのデータを読み書きしている間は着信ランプが「色5」（緑色）で点滅します（機能によっては点滅しない場合があります）。このときの色や点滅パターンは本機能の設定に影響されません。

〈通話中イルミネーション〉

通話中の着信ランプの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時 OFF

音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中の着信ランプの点滅色を設定できます。

1 ▶ ▶「通話」▶「通話中イルミネーション」▶色を選択

OFF　：着信ランプを点滅させません。
色1〜色7　：それぞれの色で点滅します。
グラデーション1　：着信ランプの色が点滅して変化します。
グラデーション2　：着信ランプの色が点灯したまま変化します。
グラデーション3　：着信ランプの色がすばやく変化します。

おしらせ

- 「伝言メモ」の録音／録画中、応答メッセージの再生中、応答保留中なども通話中と同じパターンで着信ランプが点滅します。

〈通話中時間表示〉

通話中の通話時間表示を設定する

お買い上げ時 ON

音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中に通話時間を表示するかしないかを設定できます。

- 通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。
- iモード中およびパケット通信中の通信時間はカウントされません。

1 ▶「時間／料金」▶「通話中時間表示」▶「ON」

■ **通話中の通話時間を表示しない場合**

▶「OFF」

おしらせ

- 表示される通話時間は音声電話やテレビ電話の通話中に切り替えの操作をするたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話を終了した場合は、表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。

〈フォント設定〉 MENU 6 6

文字のフォントを変える

お買い上げ時	文字パターン：フォント1　太さ：中太字

ディスプレイ、イメージウィンドウに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えることができます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「フォント設定」▶以下の項目から選択

文字パターン	文字パターンを「フォント1～2」から選択します。選択したフォントの文字例が画面の下部に表示されます。
太さ	太さを「細字」、「中太字」、「太字」から選択します。選択した太さの文字例が画面の下部に表示されます。

おしらせ

- 「フォント2」に切り替わるのは、英字（全角、半角）、数字（全角、半角）、ひらがな、カタカナ（全角、半角）と一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字だけです。漢字などほかの文字はすべて「フォント1」で表示されます。また電話番号入力や時計表示などの文字も「フォント2」に切り替わりません。
- イメージウィンドウの文字、iモードやフルブラウザのインターネットホームページ画面の文字などは、本機能を設定しても太さは変わりません。

〈待受時計表示〉 MENU 3 9

待受画面の時計表示を設定する

お買い上げ時	表示方法：日本語　表示サイズ：大きく表示　表示時計種別：世界時計なし

待受画面の曜日を日本語または英語に設定したり、時計の表示サイズや世界時計を表示するかどうかを設定できます。また、日付や時計を表示しないように設定することもできます。

- 待受画面以外の場合は、本設定にかかわらず画面下のタスクアイコン／iチャネルテロップ／時計表示エリアに小さく時計が表示されます。→P.31

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「時計」▶「待受時計表示」▶以下の項目から選択

表示方法	「日本語」、「英語」、「OFF」（表示しない）から選択します。	
表示サイズ	大きく表示	日付と大きい時計を表示します。
	小さく表示	日付と小さい時計を表示します。
	下に小さく表示	時計を下に小さく表示します。
表示時計種別	「世界時計なし」、「世界時計あり」から選択します。	

おしらせ

- 世界時計は「表示サイズ」を「小さく表示」に設定した場合のみ表示できます。
- 「表示サイズ」を「下に小さく表示」に設定した場合、iチャネルの「テロップ表示設定」を「表示する」または「受信時のみ表示する」に設定していると、テロップ表示中は時計表示が見えなくなります。

〈バイリンガル〉

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時 Japanese

ディスプレイ、イメージウィンドウに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えることができます。

   「ディスプレイ」▶「バイリンガル」▶「English」

■ 日本語表示から英語表示に切り替える場合
▶「English」

日本語表示のとき

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合
▶「日本語」

英語表示のとき

おしらせ

- FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定内容はFOMAカードに記憶されます。
- 「バイリンガル」の設定が「English」のときは、「待受時計表示」の「表示方法」の選択肢が「ON」または「OFF」の2項目になります。また、「確認機能設定」の選択肢が「ON」または「OFF」の2項目になります。

〈デスクトップ〉

デスクトップアイコンを利用する

お買い上げ時 フォトモード

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。

- デスクトップに貼り付けられるアイコンは以下のとおりです。
  - ・電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像、動画、iモーション、キャラ電、iアプリのソフト、ドキュメント（PDFデータ）の各データ
  - ・カメラ（フォトモード、ムービーモード、ボイスモード）、To Doリスト、スケジュール、テキストメモの一覧画面、アクセスリーダー、バーコードリーダー、赤外線受信、オリジナルメニュー、辞典、iチャネルの各機能
  - ・受信BOXのフォルダ（ゴミ箱除く）
- デスクトップアイコンは15件まで貼り付けることができます。ただし、カメラなどの機能を貼り付ける場合は、同じ機能を複数貼り付けることはできません。
- あらかじめ登録されているiモーション、メロディや画像、自作アニメをデスクトップアイコンに貼り付けることはできません。

デスクトップアイコンを貼り付ける

貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。

<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

「電話帳詳細画面の機能メニュー」の「デスクトップ貼付」→ P.118

■ 貼り付けたデスクトップのタイトルについて

表示されるアイコン（種類）	タイトル
（電話番号）	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
（メールアドレス）	電話帳に登録されている名前（ない場合はメールアドレス）
（SMSアドレス）	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
（URL）	ページのタイトル（ない場合は「http://」または「https://」を除いたURLの表示）
（メロディ）	メロディのタイトル（ない場合は「メロディ」）
（画像）	画像のタイトル（ない場合は「イメージ」）
（動画またはiモーション）	動画またはiモーションのタイトル（ない場合は「iモーション」）
（キャラ電）	キャラ電のタイトル（ない場合は「キャラ電」）
（ドキュメント（PDFデータ））	ドキュメント（PDFデータ）のタイトル（ない場合は「ドキュメント」）
（iアプリのソフト）	ソフト名
（フォトモード）／（ムービーモード）／（ボイスモード）／（To Doリスト）／（スケジュール）／（テキストメモ）／（アクセスリーダー）／（バーコードリーダー）／（iチャネル）／（赤外線受信）／（辞典）／（オリジナルメニュー）	それぞれの機能名（左記「種類」と同じ）
（フォルダ）	フォルダのタイトル（ない場合は「フォルダ」）

デスクトップアイコンを選択したときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出す

1 待受画面表示中▶◉

「デスクトップアイコン画面」が表示されます。
カーソルの位置にあるデスクトップアイコンのタイトルが表示されます。

2 呼び出したいデスクトップアイコンを選択

■デスクトップアイコンが6件以上登録されている場合
画面の左右に「◀▶」が表示されます。でデスクトップアイコンをスクロールできます。

デスクトップアイコン画面

機能メニュー➡P.148

おしらせ

- デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、iモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。
- Bookmark、メールアドレスをデスクトップアイコンとして貼り付けた場合、貼り付け元のBookmark、受信メールまたは送信メールをシークレットフォルダに保管しても、デスクトップアイコンを選択したときの動作は変わりません。

デスクトップアイコン画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 タイトルは全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。	
デスクトップ初期化	お買い上げのときの状態（「フォトモード」のみ）に戻します。	
削除	1件削除	反転表示したデスクトップアイコンを削除します。
	選択削除	▶でで□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のデスクトップアイコンを削除できます。
	全削除	デスクトップアイコンをすべて削除します。
移動	▶「YES」▶で移動▶◉ 反転表示したアイコンを移動します。	

おしらせ

- デスクトップアイコン画面の機能メニューから行える操作は、「デスクトップ画面」（P.148）の機能メニューからも同様に操作できます（ただし、「移動」を選択したときはで移動します）。

デスクトップアイコンの情報を確認する

MENU 6 3

1 MENU▶各種設定▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」

「デスクトップ画面」が表示されます。

2 デスクトップアイコンのタイトルを選択

デスクトップ画面

おしらせ

- URLのデスクトップアイコンの情報表示画面では、で画面をスクロールしてURLのすべてを確認できます。

情報を通知するデスクトップアイコン

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
メール	新着メールの着信があったことを通知します。アイコンを選択すると、メールの内容に合わせて感情お知らせメールのアイコンが表示されます。→P.271	最新のメールが保存されている受信フォルダの受信メール一覧画面を表示します。

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
チャット	チャットメールがあったことを通知します。アイコンを選択すると、チャットメールの内容に合わせて感情お知らせメールのアイコンが表示されます。 →P.271	チャット画面を表示します。
トルカ	新着トルカがあることを通知します。	トルカフォルダ一覧画面を表示します。
不在	不在着信があったことを通知します。アイコンを選択すると、不在着信の件数を表示します。	「不在着信履歴」を表示します。
伝言	音声電話の伝言メモがあることを通知します。	「メモの再生／消去」を起動します。
伝言	テレビ電話伝言メモがあることを通知します。	「動画メモの再生／消去」を起動します。
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。
アラーム	めざまし時計、スケジュール、To Doリストのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。
ソフト	iアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動情報画面を表示します。
アプリ	iアプリ待受画面が異常終了したことを通知します。	セキュリティエラー履歴を表示します。
更新	ソフトウェア更新が終了したことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、更新結果表示画面を表示します。
上限	積算料金が設定した通知金額を超えたことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、通話料金通知画面を表示します。
更新	スキャン機能のパターンデータ自動更新が終了したことを通知します。または、スキャン機能の新規パターンデータがリリースされたことを通知します。	スキャン機能のパターンデータ自動更新結果を表示します。更新が正常に行えなかった場合や新規パターンデータがリリースされた場合は、スキャン機能のパターンデータ更新実行を推奨する画面を表示します。

おしらせ

- 情報を通知するデスクトップアイコンから各機能を呼び出した場合、またはメニューから各機能を呼び出した場合、そのデスクトップアイコンは消えます。ただし、「伝言」のデスクトップアイコンは伝言メモを再生または消去しないと消えません。
- 情報を通知するデスクトップアイコンを消したい場合はCLRを1秒以上押します（表示が消えるだけで内容は消去されません）。ただし、「更新」、「上限」、「更新」のデスクトップアイコンは消えません。
- 「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、「不在」のアイコンは表示されません。ただし、電話帳に登録されている電話番号からの着信は通知します。→P.167
- 保存先の受信BOXがセキュリティ設定中のときに受信した新着メール、新着チャットメールは、デスクトップアイコンを選択しても感情お知らせメールのアイコンが表示されません。

〈表示アイコン設定〉

待受画面の表示アイコンを選択できるようにする

お買い上げ時 ON

ニューロポインターで待受画面から表示アイコンや日付、時計を選択し、設定できます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン設定」▶「ON」

■ 選択できないようにする場合
▶「OFF」

ニューロポインターで表示アイコンを選択する

1 待受画面表示中 ▶ ◉ をスライドして ポインター を表示 ▶ 確認したいアイコンにポインターを合わせる ▶ ◉

アイコンのタイトルが表示されます。
日付や時計も選択することができます。
ニューロポインターで選択後、十字キーでもアイコンを選択することができます。

選択できるアイコン・表示	選択後の状態
	「PIMロック」を解除する画面を表示します。
／	「ダイヤル発信制限」を解除する画面を表示します。
	「ダイヤル発信制限」、「PIMロック」を解除するための選択画面を表示します。
（青色）／（赤色）／ ／（青色）／（赤色）	「受信BOX」を表示します。
（緑色）／（赤色）	「メッセージR」を表示します。
（紫色）／（赤色）	「メッセージF」を表示します。
（青色）／（赤色）／ （緑色）／（赤色）／ （紫色）／（赤色）	「iモード問い合わせ」を行います。
self	「セルフモード」を解除する画面を表示します。
	「ICカードロック」を解除する画面を表示します。
／／	「バイブレータ」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。
／／	・通常のとき（マナーモードでないとき） 「着信音量」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。 ・マナーモード、スーパーサイレントのとき 設定できないことを通知するメッセージが表示されます。 ・オリジナルマナーのとき 「オリジナルマナー」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示します。
	「マナーモード選択」を表示します。
	「遠隔監視設定」を表示します。
／	「アラーム設定」を表示します。
	録音されていないことを通知するメッセージが表示されます。
／／／／	「メモの再生／消去」を表示します。
	録画されていないことを通知するメッセージが表示されます。
／	「動画メモの再生／消去」を表示します。
／／／／ ／／／／ ／	「留守番電話」を表示します。 留守番電話の伝言メッセージが11件以上の場合でも「留守番電話 10件」と表示します。
	「照明設定」を表示します。
	「外部ボタン操作」を表示します。
日付	「スケジュール」を表示します。 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示します。
時計	「めざまし時計」を表示します。 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示します。
世界時計	「世界時計設定」を表示します。世界時計が表示されるように設定している場合のみ表示します。→P.146
／／／／ ／／／／ ／／／	起動しているタスクを切り替えて表示します。
／／／／／／ ／／／／／／ 	「USBモード設定」を表示します。

●あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意
- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

●端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.153

端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、◉を押します。
- 入力した端末暗証番号は、ディスプレイに「＿」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示された後、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

設定リセット
端末暗証番号は？
＿＿＿＿

●ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

●iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。

（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）

iモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

iモードから変更される場合は、MENU▶iモード▶「iMenu」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」から変更ができます。

●PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.153

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

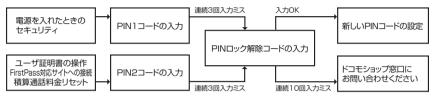
PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、◉を押します。

例：PIN1コード

- 入力したPIN1コード、PIN2コードは「＿」で表示され、数字は表示されません。
- 3回誤ったPIN1コード、PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード、PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残り回数は「残存入力回数」として画面に表示されます）。正しいPIN1コード、PIN2コードを入力すると、残存入力回数が3回に戻ります。

● PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

〈端末暗証番号変更〉 MENU 2 9

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時
0000（数字のゼロ4つ）

- 「初期設定」（P.50）から端末暗証番号を変更する場合は、端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」と操作してください。

1 MENU▶[各種設定]▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」を選択

〈PIN設定〉

PINコードを設定する

ご契約時	PIN1コード：0000（数字のゼロ4つ）　PIN2コード：0000（数字のゼロ4つ） PIN1コード入力設定：OFF

- PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードの入力をそれぞれ続けて3回誤ると自動的にPINロックされ、PINコードが使えなくなります。設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
- PINロック解除コードとは、PIN1コード、PIN2コードがロックされたときにロックを解除するための8桁の番号です。
- PINロック解除コードの入力を続けて10回誤ると、FOMAカードが完全にロックされます。
- PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

PIN1コード、PIN2コードの番号を変更する

- PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 MENU▶[各種設定]▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」▶端末暗証番号を入力

「PIN設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

PIN設定画面

次ページにつづく

PIN1コード変更	▶現在設定されている4～8桁のPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力 PIN1コードを変更します。
PIN2コード変更	▶現在設定されている4～8桁のPIN2コードを入力▶新しい4～8桁のPIN2コードを入力▶新しい4～8桁のPIN2コードを再度入力 PIN2コードを変更します。
PIN1コード入力設定	電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定できます。

電源を入れたときにPIN1コードを入力する

「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定した場合は、電源を入れるとPIN1コードの入力画面が表示されますので、PIN1コードを入力してください。

1 FOMA端末の電源を入れる

2 4～8桁のPIN1コードを入力

PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数 3回

PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力が必要な画面で、PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードがロックされたことを通知するメッセージが表示され、PINロック解除コードを入力する画面が表示されます。その場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 8桁のPINロック解除コードを入力

2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力

3 新しいPIN1コードを再度入力

PINロック解除コード入力
PIN1コードが
ロックされました
PINロック解除コードを
入力してください
残存入力回数10回

各種ロック機能について

目的	機能名	参照ページ
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	オールロック／遠隔オールロック	P.155
ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットモード／シークレット専用モード	P.157
ほかの人に見られたくない画像やメールなどを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットフォルダ	P.158
ほかの人に個人情報を見られたり、書き換えられたりするのを防ぐ	PIMロック	P.161
外部ボタンの誤操作を防ぐ	外部ボタン操作	P.162
「電話帳」に登録されていない電話番号への発信を防ぐ	ダイヤル発信制限	P.162
ほかの人に発着信の履歴を見られるのを防ぐ	履歴表示設定	P.163
音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信を気にしないでFOMA端末を操作する	セルフモード	P.168
ほかの人に無断でICカード機能を使われるのを防ぐ	ICカードロック	P.334

ほかの人が使用できないようにする

オールロックにする方法は、FOMA端末を操作して行う方法と遠隔操作で行う方法があります。
● オールロックは電源を切っても解除されません。

● オールロックを設定すると

● 以下の操作・機能を除き、すべての機能が使用できなくなります。
・電源を入れる／切る
・緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける
・オールロックを解除する
・遠隔監視の着信を受ける
● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信を受けることも、発信することもできません。
● 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があっても着信音は鳴りません。オールロック解除後、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
●「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。オールロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● メッセージR、メッセージF、iモードメール、SMS、チャットメールの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。オールロックの解除後、受信したことを示すアイコンが画面に表示されます。
● デスクトップにアイコンが貼り付けられている場合、オールロックを設定するとアイコンは表示されなくなります。オールロックを解除すると、アイコンは再び表示されます。
● 同時に「ICカードロック」も「ON」となり、ICカード機能も使用できなくなります。オールロックを設定したまま「ICカードロック」を設定／解除（P.334）することはできません。

FOMA端末を操作してオールロックを設定する

お買い上げ時 解除

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「オールロック」▶ 端末暗証番号を入力

オールロックが設定されて「オールロック」と「」、「」が表示されます。

遠隔オールロックを設定する

MENU 9 9

お買い上げ時	遠隔オールロック：OFF　監視時間：3分　着信回数：5回

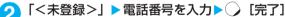
公衆電話やほかの電話機などからFOMA端末にオールロックをかけられるように設定します。
● 遠隔オールロックは、「許可番号」に設定した電話番号や公衆電話から、「監視時間」で設定した時間内に「着信回数」で設定した回数の不在着信があるとFOMA端末にオールロックがかかる機能です。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「遠隔オールロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「ON」▶「許可番号」

「許可番号登録画面」が表示されます。

許可番号登録画面

機能メニュー➡P.156

2 「<未登録>」▶ 電話番号を入力 ▶ ［完了］

■ すでに登録されている許可番号を変更する場合
▶ 許可番号が登録されている項目を選択
許可番号は3件まで登録できます。

3 「監視時間」▶ 監視時間（01～10分）を入力

時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは ● を押します。

4 「着信回数」▶ 着信回数（03～10回）を入力

回数は2桁で入力します。表示されている回数をそのまま設定するときは ● を押します。

5 ［完了］

許可番号登録画面の機能メニュー

宛先参照入力	「電話帳」、「発信履歴」、「着信履歴」から参照して入力します。	
	電話帳	電話帳の検索のしかた→P.116
	発信履歴	「前にかけた相手にかけ直す」→P.57
	着信履歴	「着信履歴を利用する」→P.69
公衆電話	公衆電話からの着信を許可番号に設定します。許可番号に「公衆電話」と表示されます。	
1件削除	反転表示した許可番号を削除します。許可番号が0件になると、遠隔オールロックの設定が「OFF」になります。	
全削除	すべての許可番号を削除します。遠隔オールロックの設定が「OFF」になります。	

遠隔操作でオールロックを設定する

「許可番号」に設定した電話からFOMA端末に音声電話またはテレビ電話をかけて、FOMA端末をオールロックに設定します。

● あらかじめ「遠隔オールロック」を「ON」に設定しておいてください。
● 遠隔操作で設定したオールロックも「オールロックを解除する」で解除できます。→P.156
● オールロックを解除しても、遠隔オールロックの設定は「OFF」になりません。
● 登録されている複数の許可番号から着信があった場合、「監視時間」で設定した時間内は最初に着信した許可番号からの着信のみ着信回数として数えます。
● 音声電話またはテレビ電話で遠隔オールロックを設定できます。プッシュトークでは設定できません。
●「許可番号」に設定した電話番号からの発信時には、発信者番号通知を行う必要があります。
● 通話中の着信（「キャッチホン」を「開始」に設定しているときの通話中の着信を含みます）は、監視時間の開始と着信回数のカウントを行いません。

1 「許可番号」に設定した電話からFOMA端末に電話をかける

2 呼び出し音などを確認して電話を切る（不在着信）

操作1～2を繰り返して「監視時間」に設定した時間内に、「着信回数」に設定した不在着信の回数になるまで電話をかけます。

3 応答メッセージを確認して電話を切る

FOMA端末がオールロックに設定されます。

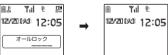
おしらせ

● 許可番号や公衆電話を着信拒否に設定していたり、許可番号からの着信を手動で着信拒否した場合、または留守番電話サービスセンターや転送先に転送した場合も遠隔オールロックの着信回数として数えられます。
● FOMA端末の電源を切った場合や、許可番号からの着信に応答した場合は、着信回数がリセットされます。
● 公共モード（ドライブモード）中でも、遠隔オールロックをかけることができます。

オールロックを解除する

● オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 オールロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶◉

オールロックが解除されて「」と「」の表示が消えます。

おしらせ

● オールロックを解除しても、ICカードロックを設定している場合は、「」の表示は消えません。
● オールロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。 を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。

〈シークレットモード／シークレット専用モード〉
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時	シークレットモード：解除　シークレット専用モード：解除

ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータは、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレットデータとして登録できます。シークレットデータにするにはシークレットモード中またはシークレット専用モード中に「電話帳」や「スケジュール」を登録します。
シークレットモードではシークレットデータも含めた「電話帳」、「スケジュール」のすべてのデータを呼び出すことができます。シークレット専用モードではシークレットデータの「電話帳」、「スケジュール」のみを呼び出すことができます。

- ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「iモーション」、「受信BOX」、「送信BOX」、「Bookmark」の各データを、「シークレット」フォルダに保管することもできます。→P.158
- シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信したり着信したりすると、設定中のモードは解除されます。また、シークレットフォルダ内のデータを表示していた場合は、各フォルダの一覧画面に戻ります。
- FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。
- 電源を切った場合、シークレットモードおよびシークレット専用モードは解除されます。

シークレットデータとして電話帳やスケジュールを登録する　MENU 4 0

- シークレットモードおよびシークレット専用モード設定中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

＜例：シークレットモードで登録する場合＞

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」▶端末暗証番号を入力

12/20(火) 12:05

シークレットモードに設定されて「S」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/S」が表示されます。

■ シークレットモードを解除する場合
▶ PWR HLD
シークレットモードが解除されて「S」の表示が消えます。

2「電話帳」または「スケジュール」を登録

シークレットデータとして登録されます。
電話帳の登録のしかた→P.111
スケジュールの登録のしかた→P.411

シークレットデータのみ表示する〈シークレット専用モード〉　MENU 4 1

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレット専用モード」▶端末暗証番号を入力

シークレット専用モードに設定されて「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/S」が点滅表示します。
約2秒たつと待受画面に戻ります。

■ シークレット専用モードを解除する場合
▶ PWR HLD
シークレット専用モードが解除されて「S」の表示が消えます。

2 電話帳の検索またはスケジュールの確認を行う

電話帳の検索のしかた→P.115
スケジュールの確認のしかた→P.412

おしらせ

- シークレットモード中に、シークレットデータを選択、表示したり、シークレットフォルダやシークレットフォルダ内のデータを表示すると、「S」が点滅します。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。

次ページにつづく

- シークレットデータとして「電話帳」をメモリ番号「000」～「009」に登録した場合は、シークレットモードやシークレット専用モードにしないと、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
- 電話帳でシークレットとして登録されたデータはプッシュトーク電話帳でもシークレットデータとなります。
- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していても「着信履歴」に通知された電話番号が記憶されますが、登録されている名前は表示されません。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に登録されている名前が表示されます。
- シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、登録されている名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。また「受信アドレス一覧」にメールアドレスは記憶されません。
- シークレットデータの「電話帳」には以下の機能を設定できません。
  ・オート表示→P.125　・電話帳指定設定→P.164　・発着信識別機能→P.123
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正した電話帳のメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
- シークレットモード、シークレット専用モードは、シークレットモード、シークレット専用モード中に、MENU▶(各種設定)▶「ロック／セキュリティ」から「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を選択しても解除されます。
- 「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
- シークレットモード、シークレット専用モードで電話帳／スケジュールの編集中、スケジュールの表示中、または電話帳検索の結果表示中に、着信などでシークレットモードまたはシークレット専用モードが解除され、再度電話帳／スケジュールの画面に戻ったときは、操作を続けると端末暗証番号を入力する画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると再びシークレットモードまたはシークレット専用モードに設定され、操作を続けることができます。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、「リダイヤル」や「発信履歴」、「送信アドレス一覧」には記憶されません。

シークレットデータを通常のデータに戻す

シークレットモードまたはシークレット専用モードに設定し、解除したい電話帳またはスケジュールを呼び出します。
電話帳の検索のしかた→P.115
スケジュールの確認のしかた→P.412

<例：電話帳を解除する場合>

電話帳詳細画面の機能メニュー（P.118）▶「シークレット解除」

シークレットが解除されます。シークレットモードの場合は、「S」の点滅表示が点灯に変わります。

■スケジュールの場合

▶「スケジュール一覧画面」▶［機能］▶「シークレット解除」

シークレットモードの場合は、「S」の点滅表示が点灯に変わります。
「スケジュール一覧画面の機能メニュー」→P.412

〈シークレットフォルダ〉

各種データを表示できないようにする

ほかの人に見られたくないBookmark、受信メール、送信メール、画像、動画の各データを「シークレット」フォルダに保管します。

- 「シークレット」フォルダは、シークレットモードまたはシークレット専用モード中のみ、Bookmark／受信BOX／送信BOX／データBOXの各フォルダ内に表示されます。
- 各フォルダ内の「シークレット」フォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

iモードのBookmark	フルブラウザのBookmark	受信BOX	送信BOX	マイピクチャ	iモーション
10件（3Kバイト）	10件（6Kバイト）	100件（150Kバイト）	100件（150Kバイト）	100件（1.2Mバイト）	10件（1Mバイト）

※：1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

<例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

1 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にする

「電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする」→P.157

2 「画像一覧画面」(P.345) ▶画像を選んで◯[機能] ▶「シークレットに保管」

おしらせ

- シークレットフォルダはFOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。
- 「プリインストール」フォルダに保存されている画像やiモーション、未読メール、FOMAカードに保存したSMS、SMS送達通知は、シークレットフォルダに保管できません。
- シークレットモード中やシークレット専用モード中に、音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信したり着信したりすると、電話に出なくても設定中のモードは解除されます。また、シークレットモード、シークレット専用モード中に、MENU▶(各種設定) ▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」またはMENU▶(各種設定) ▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレット専用モード」を選択しても解除されます。シークレットフォルダ内のデータを表示していた場合は、各フォルダの一覧画面に戻ります。

<iモードまたはフルブラウザのBookmark>

- シークレットフォルダ内のBookmarkからサイト閲覧を行った場合、ラストURLには登録されません。

<受信BOX／送信BOX>

- シークレットフォルダに保管されているメールは、フォルダが満杯状態のときにメールの送受信を行っても自動削除されません。
- 大容量静止画やiモーションが添付されたメールは、メール本文のみが保管され、添付ファイルは保管されません。
  一覧画面や詳細画面では、添付ファイルが表示／再生できないことを示す「 」「 」などが表示されます。メールをシークレットフォルダから出しても、添付ファイルは表示／再生できません。
- Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能、iアプリTo機能は使用できません。また、メール本文からiアプリを起動することを示す「 」は、「 」に変わります。
- シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード／シークレット専用モード中でも、チャット画面には表示されず、iモードメールとして画面に表示されます。
- シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、一覧画面やSMSの詳細画面で「 」が表示されていても、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択してSMS送達通知内容を確認できるようになります。

<マイピクチャ／iモーション>

- 待受画面、電話帳、チャット画面の画像などに設定されている場合は、その設定が解除され、お買い上げ時の設定に戻ります。
- iモーションからのPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は使用できません。

<デスクトップアイコン>

- デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、iモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。
- Bookmark、メールアドレスをデスクトップアイコンとして貼り付けた場合、貼り付け元のBookmark、受信メールまたは送信メールをシークレットフォルダに保管しても、デスクトップアイコンを選択したときの動作は変わりません。

● シークレットフォルダの機能メニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、使用できる機能は制限されています。シークレットフォルダで使用できる機能は以下のとおりです。

■ シークレットフォルダの機能メニュー

フォルダ一覧画面▶「シークレット」フォルダを反転表示▶◯[機能]で表示します。

iモードまたはフルブラウザのBookmark (P.221)	受信BOX／送信BOX (P.286)	マイピクチャ (P.381)	iモーション (P.381)
フォルダ追加 登録件数確認※1 赤外線全送信※1 miniSDへ全コピー※1 Bookmark全削除※1	フォルダ追加 保存件数確認※1 フォルダ内表示 赤外線全送信※1 miniSDへ全コピー※1 既読メール全削除※1※2 受信メール全削除※1※3	フォルダ追加 画像全削除※1	フォルダ追加 動画全削除※1

※1：「シークレット」フォルダ内のデータは対象となりません。
※2：受信メールフォルダ一覧画面のみ表示されます。
※3：送信メールフォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

次ページにつづく

■ データ一覧画面の機能メニュー

iモードまたはフルブラウザのBookmark（P.221）	受信BOX／送信BOX（P.288、290）	マイピクチャ（P.348）	iモーション（P.358）
登録件数確認 削除 シークレットから出す	一覧表示切替 保護／保護解除 保護全解除 メール情報※1 保存件数確認 削除 選択削除 全削除 シークレットから出す	イメージ表示 イメージ情報 削除 保存容量確認 タイトル名一覧※2 シークレットから出す	iモーション情報 削除 保存容量確認 一覧表示切替 シークレットから出す

※1：受信メール一覧画面のみ表示されます。
※2：タイトル名一覧のときは「ピクチャ一覧」になります。お買い上げ時はピクチャ一覧です。

■ データ詳細表示画面の機能メニュー

受信BOX／送信BOX（P.292、293）	マイピクチャ（P.349）	iモーション（P.360）
保護／保護解除 スクロール設定 文字サイズ設定 削除 シークレットから出す	イメージ情報 画像表示設定 1件削除 リトライ	通常再生 スロー再生 早送り再生 停止 iモーション情報 画像表示設定

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

シークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

＜例：マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合＞

1 「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にする

「電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする」→P.157

2 「フォルダ一覧画面」（P.345）▶「シークレット」▶画像を選んで◯[機能]▶「シークレットから出す」

3 保存するフォルダを選択

おしらせ

- シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻りますので、他のメールを受信時または送信時などに削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。

〈PIMロック〉

個人情報を表示できないようにする

お買い上げ時 解除

ほかの人が個人情報を見たり、不正に書き換えたりすることを防ぎます。
● PIMとは「個人情報管理プログラム」のことです。
● PIMロックは電源を切っても解除されません。

1 MENU▶▶「ロック／セキュリティ」▶「PIMロック」▶端末暗証番号を入力

PIMロックが設定されて「P」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「D/P」が表示されます。
シンプルロックを使ってPIMロックを設定する→P.162

■ PIMロックを解除する場合
▶操作1を再度行う
PIMロックが解除されて「P」の表示が消えます。

● PIMロックを設定すると

● 「電話帳」、「メール」、「スケジュール」、「カメラ」、「iモード」、「iモーション」、「iアプリ」など、保存されたデータに影響のある機能を起動できないようにします。
● PIMロックを設定するまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス」がすべて削除されます。ただし、PIMロック設定後の着信や発信に対する「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」および受信したメールの「受信アドレス一覧」は記憶されます。
● デスクトップのアイコンを削除することができません。
● データBOXのデータ（メロディ、マイピクチャのプリインストールデータを除く）を再生または表示することができません。これらの再生または表示できないデータを着信音や待受画面などに設定している場合、PIMロック設定中はお買い上げ時の設定で動作します。ただし、イメージウィンドウは、イメージウィンドウの「背景設定」を「OFF」に設定したときの表示となります。待受画面にカレンダーを設定している場合、カレンダーは表示されますが、スケジュールは起動できません。また「背景画像あり」に設定し、表示できない画像を設定した場合は「背景画像なし」の画面になります。
● テレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
● FOMA端末を閉じた状態で[アシストキー]を押して「不在着信」、「新着メール」の確認をすることはできません。
● 「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。また、「通話料金通知」で設定した上限料金を超えてもアラームは通知されません。PIMロックを解除後、「未通知アラームあり」、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● メッセージR、メッセージF、iモードメール、SMS、チャットメールの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。PIMロックの解除後、受信したことを示すアイコンが画面に表示されます。
● 着信中に#または[メモ／確認]を押した場合、マナーモードは設定されますが、「クイック伝言メモ」は起動しません。
● 「指定着信拒否」、「指定着信許可」、「指定転送でんわ」、「指定留守番電話」の設定は無効となります。

おしらせ

● PIMロックを設定しても、保存されたデータに影響のない音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信、メニュー操作、プリインストールされたデータの表示などの操作はできます。
● PIMロック中の着信や発信に対する「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」には、電話帳に登録されている相手であっても電話番号だけが表示されます。
● PIMロック中は、「新着メールあり」「未通知アラームあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されないデスクトップアイコンがありますが、PIMロックを解除すると表示されます。
● PIMロック中に「オールロック」を設定すると「P」が消え、「L」が表示されます。
● 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定した後、または「登録外着信拒否」を設定した後にPIMロックを設定すると、「呼出時間表示設定」および「登録外着信拒否」の設定は無効になります。

PIMロックを簡単に設定する〈シンプルロック〉

お買い上げ時 無効

● 待受画面から簡単にPIMロックを設定します。

● シンプルロックを設定できるようにする

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「シンプルロック」▶ 端末暗証番号を入力 ▶「有効」▶「YES」

■ シンプルロックを無効にする場合
▶「無効」

● シンプルロックでPIMロックを設定する

1 待受画面表示中 ▶ 3（1秒以上）

■ PIMロックを解除する場合
PIMロックの操作について→P.161

〈外部ボタン操作〉 MENU ＊（1秒以上）

外部ボタンの誤操作を防止する

お買い上げ時 閉じた時有効

FOMA端末を閉じたときに、外部ボタン（[アシストキー]、[ホーム]、[メモ／確認]）の機能を無効にできます。
は本機能の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じたときは常に無効になります。

● 以下のような場合は、本機能の設定にかかわらず外部ボタンの機能は有効になります。ただし、FOMA端末を閉じた状態で[カメラ]を1秒以上押してのカメラ起動はできません。
- ・FOMA端末を開いているとき
- ・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき
- ・外部接続端子にパソコンなどを接続し、画面に「」、「」が表示されているとき
- ・外部接続端子にプリンタを接続し、画面に「」が表示されているとき

1 MENU ▶ ＊（1秒以上）
外部ボタンの操作が無効（閉じた時無効）「KEY OFF」が表示されます。

■ 閉じた時有効にする場合
▶ 操作1を再度行う
「KEY OFF」の表示が消えます。

〈ダイヤル発信制限〉

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時 解除

電話番号をダイヤルして音声電話やテレビ電話、プッシュトークを発信すること、iモードメールやSMSの宛先をダイヤルボタンで入力することを禁止します。設定前に登録した「電話帳」と設定後の「発信履歴」、「リダイヤル」、「送信アドレス一覧」による発信だけが可能となります。
FOMA端末を会社の業務用としてお使いのときなどは、あらかじめ業務に必要な電話番号、メールアドレスを「電話帳」に登録してから本機能を設定すると私用電話やメールを防止できます。

● ダイヤル発信制限中は以下の機能や操作からの音声電話発信／テレビ電話発信／プッシュトーク発信／iモードメール作成／SMS作成ができません。
- ・ダイヤル入力
- ・着信履歴
- ・受信アドレス一覧
- ・メールメンバー
- ・デスクトップアイコン
- ・アクセスリーダー
- ・バーコードリーダー
- ・伝言メモの再生

● ダイヤル発信制限中は以下のような操作ができません。
- ・電話帳の登録／編集／削除
- ・「Phone To／AV Phone To機能」、「Mail To機能」の利用
- ・「赤外線通信機能」による電話帳のデータ送受信
- ・「FOMAカード（UIM）操作」による電話帳のコピー、削除
- ・miniSDメモリーカードからの電話帳のコピー
- ・ATコマンドによる発信

● 本機能を設定すると、それまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」はすべて削除されます。ただし、本機能の設定後にかかってきた電話の「着信履歴」やかけた電話の「発信履歴」、「リダイヤル」および受信したメールの「受信アドレス一覧」、送信したメールの「送信アドレス一覧」は残ります。また、宛先および本文、題名が入力されている保存メールは、宛先が削除されて本文、題名のメールとなります。宛先のみ入力されている保存メールは削除されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

● 本機能を設定すると、チャットメンバーは削除されます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「ダイヤル発信制限」▶端末暗証番号を入力

ダイヤル発信制限が設定されて「D」が表示されます。「シークレットモード」や「シークレット専用モード」が同時に設定されている場合は「D/S」、「PIMロック」が同時に設定されている場合は「D/P」が表示されます。

■ ダイヤル発信制限を解除する場合

▶操作1を再度行う

「D」の表示が消えます。

おしらせ

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。

〈履歴表示設定〉

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する

お買い上げ時	着信履歴：ON　リダイヤル／発信履歴：ON

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」を表示しないように設定できます。ほかの人に発信や着信の履歴を見られたくないときに便利です。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「履歴表示設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

着信履歴	着信履歴の表示を設定します。履歴を表示しない場合は「OFF」を選択します。
リダイヤル／発信履歴	リダイヤル／発信履歴の表示を設定します。履歴を表示しない場合は「OFF」を選択します。

おしらせ

- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定している場合に不在着信や新着メールがあっても、「不在着信あり」、「新着メールあり」のデスクトップアイコンが待受画面、イメージウィンドウに表示されます。待受画面の「不在着信あり」のデスクトップアイコンから「着信履歴」を表示しようとしたときは、履歴表示が「OFF」に設定されていることを通知するメッセージが表示されます。この場合、デスクトップアイコンは消えません。FOMA端末を閉じたまま［ホーム］を押すと新着メール表示（P.35）は行われますが、不在着信表示（P.35）は行われません。「不在着信あり」、「新着メールあり」のデスクトップアイコンを消すにはCLRを1秒以上押します。
- 「履歴表示設定」の設定を「OFF」に設定中の発信や着信の履歴は、設定を「ON」にすると表示されます。
- 「着信履歴」の表示を「OFF」に設定しているときは、伝言メモは再生できません。

〈メールセキュリティ設定〉

メールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時
セキュリティなし

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

● 入力した端末暗証番号はメールメニューを閉じてメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間はBOXやフォルダに他のセキュリティがかかっている場合でも、端末暗証番号を入力せずに開くことができます。

● セキュリティをかけたBOXには、「」のアイコンが表示されます。

● セキュリティをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」、「」、「」、「」などの表示になります。

● 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOXごとにセキュリティを設定する

1 MENU ▶ メール ▶「メール設定」▶「メールセキュリティ設定」▶端末暗証番号を入力

次ページにつづく

2 で□（チェックボックス）を選択

選択したBOXがチェックされます。
チェックされたBOXをもう一度選択すると、選択を解除します。

3 設定が終わったら［完了］

フォルダごとにセキュリティを設定する

フォルダごとにセキュリティをかけられます。セキュリティをかけたフォルダは、端末暗証番号を入力しないと表示できなくなります。

1 受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー（P.286）▶「メールセキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ メールセキュリティを解除する場合
▶操作1を再度行う

〈電話帳指定設定〉

指定した電話番号の着信や発信を制限する

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。
● 設定できる機能は以下のとおりです。

項目	説明
指定発信制限	指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。
指定着信拒否	指定した電話番号からの電話だけを受けないようにします。
指定着信許可	指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。
指定転送でんわ	指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。
指定留守番電話	指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

● 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
● FOMAカードの電話帳には設定できません。
● 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
● 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
●「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
● 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、電話帳指定設定の各機能は解除されます。ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除が制限されるため、電話番号を変更したり削除して指定発信制限を解除することはできません。
●「指定発信制限」、「指定着信拒否」、「指定着信許可」の設定は、プッシュトーク電話帳にも反映されます。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

電話帳に登録されている電話番号に発信制限や着信制限を設定する方法は共通です。

1 電話帳詳細画面の機能メニュー（P.118）▶「電話帳指定設定」▶端末暗証番号を入力▶設定したい機能を選択

設定した機能には「★」がつきます。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶「★」がついている機能を選択
機能が解除されて「★」が消えます。

■ 複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

▶CLRを押して電話帳の詳細画面に戻る▶で設定したい電話番号を表示

▶操作1を行う

指定発信制限を設定した後にを押して待受画面に戻ると、電話帳指定設定が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の電話帳指定設定を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

おしらせ

<指定発信制限>

- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。
- 指定発信制限を設定すると、指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード（UIM）操作」での電話帳の操作もできません。
- 指定発信制限を設定すると、設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。
- 指定発信制限と同時に「オート表示」をご利用になる場合は、「オート表示」に指定している電話番号に本機能を設定してください。
- 電話帳には、指定した電話番号のデータしか表示されません。

<指定着信拒否／指定着信許可>

- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
- 指定着信拒否および指定着信許可を設定していても、電話をかけることはできます。

<指定転送でんわ／指定留守番電話>

- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続します。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

電話帳指定設定の設定状況を確認する

MENU 1 2

「電話帳指定設定」を設定している電話番号を機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

1 **電話帳一覧画面の機能メニュー（P.117）▶「電話帳指定設定」▶端末暗証番号を入力**

「電話帳指定設定画面」が表示されます。

電話帳指定設定画面

機能メニュー➡P.165

電話帳指定設定画面の機能メニュー

1 **「電話帳指定設定画面」▶「★」がついている項目を反転表示▶［機能］▶以下の項目から選択**

設定確認	反転表示した機能に設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。
設定解除	反転表示した機能の設定をまとめて解除します。

〈非通知着信設定〉

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時
すべて許可／通常着信音と同じ

電話番号を通知してこない音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定できます。

1 MENU▶▶「ロック／セキュリティ」▶「非通知着信設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の電話をつなげるか設定します。 経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。	
	許可	着信を許可します。通知不可能で着信した場合の着信音を「通常着信音と同じ」、「メロディ」、「iモーション」、「おしゃべり」、「ランダムメロディ」、「OFF」から選択します。→P.128 「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」に設定されている着信音が鳴ります。
	拒否	着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話などから発信してきた場合の電話をつなげるか設定します。	
	許可	着信を許可します。公衆電話から着信した場合の着信音を「通常着信音と同じ」、「メロディ」、「iモーション」、「おしゃべり」、「ランダムメロディ」、「OFF」から選択します。→P.128 「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」に設定されている着信音が鳴ります。
	拒否	着信を拒否します。
非通知設定	発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の電話をつなげるか設定します。	
	許可	着信を許可します。非通知設定の音声電話を着信した場合の着信音を「通常着信音と同じ」、「メロディ」、「iモーション」、「おしゃべり」、「ランダムメロディ」、「OFF」から選択します。→P.128 「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」に設定されている着信音が鳴ります。
	拒否	着信を拒否します。

おしらせ

- 本機能で選択する着信音は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」と同じになります。非通知のプッシュトークを着信したときは、「着信音選択」の「プッシュトーク」と同じになります。
- 「拒否」に設定した場合でも、相手には話中音が流れます。
- 「拒否」に設定した発信者非通知理由の相手から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- プッシュトークの着信に対する許可／拒否の設定は「非通知設定」のみ有効です。

〈呼出時間表示設定〉 MENU 9 0

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	無音時間設定：OFF　無音時間：1秒　時間内不在着信表示：表示する

FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号から音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 非通知の音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合や音声通話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。
- 「PIMロック」が設定されている場合、および「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。→P.161、167

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「着信」▶「呼出時間表示設定」▶以下の項目から選択

無音時間設定	ON	▶無音時間（01～99秒）を入力 呼出動作を開始するまでの時間を設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは●を押します。
	OFF	呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。
時間内不在着信表示		呼出動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するか設定します。

おしらせ

- 呼出動作とは、着信音やバイブレータが動作し、着信ランプの点灯／点滅、イメージウィンドウに着信表示が行われる動作のことです。
- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能で設定した動作になります。
- 無音時間設定が「伝言メモ」の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず「伝言メモ」に移行します。呼出動作を行ってから「伝言メモ」に移行させるには、「伝言メモ」の呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「オート着信」の呼出時間でも同様です。

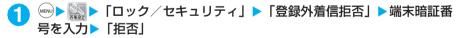
〈登録外着信拒否〉

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時
許可

FOMA端末（本体）およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。

- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 「PIMロック」が設定されている場合、および「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。→P.161、167

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」▶端末暗証番号を入力▶「拒否」

■ 電話帳未登録の相手からの電話を受ける場合

▶「許可」

おしらせ

- 本機能を「拒否」に設定しても、「非通知着信設定」で公衆電話や電話番号を通知してこない着信を許可している場合は、「非通知着信設定」の設定に従って着信を受けられます。
- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定にかかわらず、着信は拒否されません。
- 本機能を「許可」に設定しても、「電話帳指定設定」の「指定着信許可」を設定している場合は、「指定着信許可」にて指定した電話番号以外からの着信を受けられません。
- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。

次ページにつづく

● iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
● PIMロック中は、本機能は無効となります。

〈セルフモード〉
発信や着信ができないようにする

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定できます。音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

● セルフモードを設定すると、音声電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。テレビ電話をかけてきた相手には、画面に電波が届かないか電源が入っていないことを通知するメッセージが表示されます。「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。プッシュトークの着信の場合は、メンバーに「不参加」として伝わります。
● セルフモード中に着信があった場合、着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
● セルフモード中は、赤外線通信や外部機器によるデータ通信もできません。ただし、おサイフケータイ対応iアプリを利用してICカード内のデータの読み書きはできます。
● セルフモード中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

1 MENU▶各種設定▶「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」▶「YES」

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ セルフモードを解除する場合
▶操作1を再度行う
セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

おしらせ
● セルフモード中に送られてきたメッセージR、メッセージFやiモードメールはiモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照ページ
ほかの人に無断でICカード機能を使われるのを防ぐ	ICカードロック	P.334
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.437
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.438
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.238
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.526
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.531
iモードメールを受信する際に、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.272
災害が発生した際にiモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「iモード災害用伝言板」サービス	『iモード操作ガイド』をご覧ください
メールアドレスを変更したい	アドレス変更	
メールアドレスを忘れてしまったときなどに確認したい	アドレス確認	
指定したドメインからのメールのみを受信したい インターネットからの携帯・PHSドメインになりすましたメールを拒否したい 指定した差出人からのメールのみを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のiモード対応携帯電話から送信される200通目以降のiモードメールを受信拒否したい	iモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	

おしらせ

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

＜迷惑電話防止機能の優先順位＞

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①迷惑電話ストップサービス
  ②登録外着信拒否または呼出時間表示設定／非通知着信設定／指定着信拒否

●カメラ

カメラをご利用になる前に

内蔵カメラを使ってお好みの静止画や動画を撮影できます。

- カメラで撮影時に以下の機能を利用できます。
  - ·「ズームを使う」→P.194
  - ·「ライトを点灯する」→P.195
  - ·「セルフタイマーを使う」→P.195
- 撮影した静止画や動画を以下のように利用できます。
  - ·「保存した画像を表示する」→P.345
  - ·「撮影した動画／iモーションを再生する」→P.356
  - ·「静止画を編集する」→P.354
  - ·「ファイルを添付する」→P.266
  - ·「FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピーする」→P.376
  - ·「保存した画像を印刷する」→P.394

カメラの使いかた

外側カメラと内側カメラを切り替えるときは、撮影画面で［機能］を押し、機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択し、◉を押します。

■ 外側カメラ

ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます（正像表示：画面に表示された向きで撮影されます）。外側カメラでは、接写が可能です。→P.172
また、オートフォーカスを使って静止画を撮影できます。→P.179

■ 内側カメラ

自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示されます（鏡像表示：画面に表示された向きとは逆向きに撮影されます）。

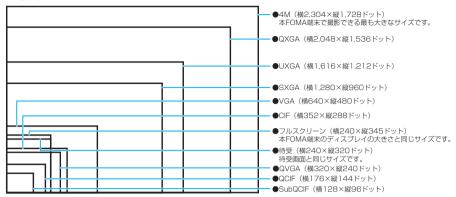
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影ではランダムな色の点のノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでカメラのレンズをきれいにふいておいてください。カメラのレンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を閉じるときにカメラのレンズに力がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。

● 接写について

- ごく近くにある被写体を撮影したいときは、「画質調整」の「撮影モード選択」（P.190）で「接写」を選んでください。外側レンズとの距離が約7cm～約9cmの接写体にピントが合います。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

画像サイズについて

● 本 FOMA 端末で撮影できる画像サイズは次のとおりです。画像サイズは目的に合わせて使い分けてください。

※： 画像サイズを表す枠は目安です。実際のサイズとは異なります。

静止画撮影について

● 静止画はFOMA端末（本体）に最大720件まで登録できます。ただし、画像サイズの設定やダウンロードした画像の件数などによって最大登録可能件数まで登録できない場合があります。
● 静止画の画像サイズと、おおよその登録件数は以下のとおりです。
● 保存可能枚数の表示は撮影時の設定状態で何枚保存可能かの目安となりますので、撮影内容によっては保存可能枚数が変化しないことや、保存可能枚数が0と表示されていても保存できることがあります。

画像サイズ	カメラ		画像保存設定	登録件数		
	外側カメラ	内側カメラ		FOMA端末（本体）	miniSDメモリーカード 16Mバイト	miniSDメモリーカード 32Mバイト
4M（横2,304×縦1,728ドット）	○	×	スーパーファイン	約6件	約24件	約50件
			ファイン	約6件	約28件	約60件
			ノーマル	約8件	約36件	約80件
QXGA（横2,048×縦1,536ドット）	○	×	スーパーファイン	約6件	約28件	約60件
			ファイン	約8件	約36件	約80件
			ノーマル	約14件	約54件	約118件
UXGA（横1,616×縦1,212ドット）	○	×	スーパーファイン	約12件	約46件	約98件
			ファイン	約14件	約54件	約118件
			ノーマル	約22件	約88件	約188件
SXGA（横1,280×縦960ドット）	○	×	スーパーファイン	約12件	約46件	約98件
			ファイン	約14件	約54件	約118件
			ノーマル	約22件	約88件	約188件
VGA（横640×縦480ドット）	○	○	スーパーファイン	約14件	約54件	約118件
			ファイン	約72件	約254件	約540件
			ノーマル	約130件	約444件	約944件
CIF（横352×縦288ドット）	○	○	スーパーファイン	約14件	約54件	約118件
			ファイン	約130件	約444件	約944件
			ノーマル	約180件	約592件	約1,260件
フルスクリーン（横240×縦345ドット）	○	×	スーパーファイン	約72件	約254件	約540件
			ファイン	約130件	約444件	約944件
			ノーマル	約180件	約592件	約1,260件

次ページにつづく

待受 （横240×縦320ドット）	○	×	スーパーファイン	約72件	約254件	約540件
			ファイン	約130件	約444件	約944件
			ノーマル	約180件	約592件	約1,260件
QCIF （横176×縦144ドット）	○	○	スーパーファイン	約72件	約254件	約540件
			ファイン	約360件	約890件	約1,890件
			ノーマル	約480件	約1,780件	約3,780件
SubQCIF （横128×縦96ドット）	○	○	スーパーファイン	約72件	約254件	約540件
			ファイン	約360件	約890件	約1,890件
			ノーマル	約480件	約1,780件	約3,780件

※： 本FOMA端末は、UXGAを横1,616×縦1,212ドット、SXGAを横1,280×縦960ドットとしています。

動画撮影について

● 動画はFOMA端末（本体）に最大100件まで登録できます。ただし、画像サイズの設定や取得したｉモーションの件数などによって最大登録可能件数まで登録できない場合があります。
● お買い上げのときの設定では、動画の撮影時間は約45秒です。ただし、撮影対象などの条件によってデータ量が異なるため、1件あたりの撮影時間も変化します。
● 動画は撮影時間によってデータ量が異なるため、最大登録件数も変化します。
● 動画の画像サイズと、おおよその登録件数、時間は以下のとおりです。

画像サイズ	カメラ		動画容量設定	撮影種別設定	登録件数		
	外側カメラ	内側カメラ			FOMA端末（本体）	miniSDメモリーカード	
						16Mバイト	32Mバイト
QVGA （横320×縦240ドット）	○	×	動画メモ	通常	約4件	約17件	約35件
				映像のみ	約4件	約17件	約35件
				音声のみ	約4件	約17件	約35件
			長時間	通常	－	約4分	約9分
				映像のみ	－	約4分	約9分
				音声のみ	－	約90分	約90分
QCIF （横176×縦144ドット）	○	○	メール（小）	通常	約11件	約46件	約93件
				映像のみ	約11件	約46件	約93件
				音声のみ	約11件	約46件	約93件
			メール（大）	通常	約6件	約28件	約57件
				映像のみ	約6件	約28件	約57件
				音声のみ	約6件	約28件	約57件
			動画メモ	通常	約4件	約17件	約35件
				映像のみ	約4件	約17件	約35件
				音声のみ	約4件	約17件	約35件
			長時間	通常	－	約36分	約60分
				映像のみ	－	約47分	約60分
				音声のみ	－	約90分	約90分
SubQCIF （横128×縦96ドット）	○	○	メール（小）	通常	約11件	約46件	約93件
				映像のみ	約11件	約46件	約93件
				音声のみ	約11件	約46件	約93件
			メール（大）	通常	約6件	約28件	約57件
				映像のみ	約6件	約28件	約57件
				音声のみ	約6件	約28件	約57件
			動画メモ	通常	約4件	約17件	約35件
				映像のみ	約4件	約17件	約35件
				音声のみ	約4件	約17件	約35件
			長時間	通常	－	約42分	約60分
				映像のみ	－	約58分	約60分
				音声のみ	－	約90分	約90分

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

カメラ利用にあたってのご注意

■ 撮影するときのご注意

● 外側カメラ起動時、異音が聞こえますが、異常ではありません。
● 内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
● レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
● 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
● カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したらすみやかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
● 連続撮影中、動画撮影中に以下の動作があった場合、カメラのズームや明るさを調節中のときは、その設定を確定した状態で、セルフタイマーの場合は設定を解除してそれぞれの画面に切り替わります。撮影中のデータがあった場合は、切り替わった画面が終了して再び撮影画面に戻ると保存することができます。
  ・音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の着信があったとき
  ・めざまし時計、スケジュール、To Doリストのアラーム通知が実行されたとき
  ・ほかの機能の操作を行ったとき
● 以下の場合は中止されません。
  ・カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージR、メッセージFを受信した場合は、「受信表示設定」（P.296）の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
  ・「アラーム通知設定」（P.406）を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。
● シャッター音、タイマーの開始音、オートフォーカスロック完了音は、「マナーモード」や「公共モード（ドライブモード）」に設定中でも一定の音量で鳴ります。また、「通知音出力切替」の設定を「イヤホン（20秒後スピーカ）」または「イヤホン（イヤホンのみ）」にし、イヤホンを付けている場合でもスピーカから鳴ります。
● 手ブレ補正設定を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべくFOMA端末が動かないようにしっかりと固定して撮影するか、セルフタイマーを使って撮影してください。
● 静止画の撮影は、◉を押した後の画像を取り込みます。シャッター音が鳴った後、取り込みが完了して撮影確認画面が表示されるまで、または静止画の撮影後に処理中であることを示すメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないでください。
● 撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。
● カメラで撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存する場合、「画像保存先選択」（P.181）や「動画保存先選択」（P.189）で設定します。また、miniSDメモリーカードのどのフォルダに保存するかを指定できます。
● 「自動保存設定」（P.180、189）を「ON」に設定すると、撮影後、撮影確認画面を表示せずに「画像保存先選択」や「動画保存先選択」で設定されている保存先に自動的に保存できます。
● 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラ機能が終了します。

■ 著作権について

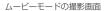
● FOMA 端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。

フォトモードの撮影画面

ムービーモードの撮影画面

機　能	アイコン	説　明	参照ページ
① フォーカス枠		AF切替が「ON」に設定されている場合、オートフォーカス枠は以下のように変化します。 ・　白色：ピント調整前 ・　白い点線で表示：ピント調整中 ・　緑色：ピント調整完了 ・　赤い点線で表示：ピント調整失敗	P.179
② AF操作ガイダンス	(▲OFF ▼LOCK)	AF切替とフォーカスロックの操作ガイダンスを表示します。	P.179
③ オートフォーカス状態表示	AF ON	「AF切替」が「ON」に設定されています。	P.179
	AF OFF	「AF切替」が「OFF」に設定されています。	
④ 保存可能件数／保存容量表示※1	123	静止画撮影画面で FOMA 端末（本体）または miniSDメモリーカードの保存可能枚数を示します。 ・　白文字：11枚以上 ・　黄文字：10枚以下 ・　赤文字：空きメモリなし	－
		動画撮影開始前に FOMA 端末（本体）または miniSDメモリーカードの全体容量と保存可能容量を、バー表示と色で示します。 ・　青：残り500Kバイト以上 ・　黄：残り500Kバイト未満 ・　赤：空きメモリなし※2	－
⑤ 手ブレ補正設定		手ブレ補正設定が「オート」に設定されているときに表示されます。	P.191
⑥ 画像／動画保存先選択	／	保存先を表示します。	P.181 P.189
⑦ 撮影メニュー		撮影の設定状態を示します。また［MENU］または、1～6を押し、機能を呼び出して設定することができます。	P.177
⑧ セルフタイマー		セルフタイマーが設定されていることを示します。	P.195
⑨ ズーム状態表示	～　～	ズームの設定状態を示します。ズームガイド[◀・▶]が表示されているときは、◀または▶でズームを調節できます。	P.194
⑩ 撮影種別設定		動画を撮影するときに映像と音声が保存できるように設定されています。	P.189
		動画を撮影するときに映像のみ保存できるように設定されています。	
		動画を撮影するときに音声のみ保存できるように設定されています。	

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

⑪ 動画保存設定	[NOR]	動画を撮影するときの画質が「標準」に設定されています。	P.189
	[画質優先アイコン]	動画を撮影するときの画質が「画質優先」に設定されています。	
	[時間優先アイコン]	動画を撮影するときの画質が「時間優先」に設定されています。	
	[動き優先アイコン]	動画を撮影するときの画質が「動き優先」に設定されています。	
⑫ 撮影状態表示	●REC	動画撮影中を示します。	P.188
	STAND BY	動画撮影待機中を示します。	
⑬ 撮影時間	00：44	動画撮影の残り時間（分：秒）を示します。	P.188

※1 ： 保存先がminiSDに設定されていて、miniSDメモリーカードが挿入されていない場合は表示されません。
※2 ：「動画容量設定」を「長時間」に設定して動画撮影するとき以外は、撮影可能です。撮影後に本体／miniSDメモリーカードの空き容量に保存、または上書き保存します。

おしらせ

● 保存可能枚数の表示は撮影時の設定状態で何枚保存可能かの目安となりますので、撮影内容によっては保存可能枚数が変化しないことや、保存可能枚数が0と表示されていても保存できることがあります。

●撮影メニューの見かた

撮影前に撮影メニューからすばやく機能を呼び出して設定することができます。

● 撮影メニューは◯［MENU］を押すと表示されます。また、1〜6を押しても表示されます。
● ◯［機能］を押して「ヘルプ」を選択すると、撮影メニューを呼び出すボタンや撮影操作ができるボタンを確認できます。また、0を押しても確認できます。
● 撮影メニューから設定できる機能は、機能メニューから設定することもできます。

1 「撮影画面」▶◯［MENU］▶◈で以下の項目を選択▶◉

ニューロポインターを使っても項目を選択できます。
カメラモードによって選択できる撮影メニューの項目が異なります。

カメラモード切替
- ムービーモード ····· 動画を撮影します。→P.188
- チャンスキャプチャ ··· 終了時点からさかのぼって動画を撮影します。→P.192
- ピクチャボイス（フォトモード） ····· 撮影した静止画に音声を録音します。→P.193
- フォトモード ······· 静止画を撮影します。→P.178
- オート連続撮影 ····· 一度に静止画を連続撮影します。→P.183
- マニュアル連続撮影 ···· 1枚ずつ静止画を連続撮影します。→P.183
- ボイスモード ······· 音声のみを録音します。→P.193

画像サイズ選択（「フォトモード」の例）
- 4M ············· 4M（2,304×1,728）で撮影します。
- QXGA ············QXGA（2,048×1,536）で撮影します。
- UXGA ············UXGA（1,616×1,212）で撮影します。
- SXGA ··········· SXGA（1,280×960）で撮影します。
- VGA ············ VGA（640×480）で撮影します。
- CIF ············· CIF（352×288）で撮影します。
- フルスクリーン ····フルスクリーン（240×345）で撮影します。
- 待受 ············ 待受（240×320）で撮影します。
- QCIF ············ QCIF（176×144）で撮影します。
- SubQCIF ········ SubQCIF（128×96）で撮影します。
- JAVA※ ·········· JAVA（240×240）で撮影します。

（お買い上げ時：CIF）

画像サイズ選択（「ムービーモード」の例）
- QVGA ·········· QVGA（320×240）で撮影します。
- QCIF ············ QCIF（176×144）で撮影します。
- SubQCIF ········ SubQCIF（128×96）で撮影します。

（お買い上げ時：QCIF）

※iアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

次ページにつづく

画像保存設定（「フォトモード」の例）
- スーパーファイン …撮影した静止画のファイル容量を大容量で保存します。
- ファイン …撮影した静止画のファイル容量を中容量で保存します。
- ノーマル …撮影した静止画のファイル容量を小容量で保存します。

（お買い上げ時：ファイン）

動画容量設定（「ムービーモード」の例）
- メール（小）…290Kバイトまでのファイル容量で撮影します（iモーションメールに対応した端末に送信するのに適しています）。
- メール（大）…490Kバイトまでのファイル容量で撮影します（大容量のiモーションメールに対応した端末に送信するのに適しています）。
- 動画メモ …800Kバイトまでのファイル容量で撮影します。
- 長時間 …長時間撮影します。

（お買い上げ時：メール（小））

撮影モード選択（「フォトモード」の例）
- オート …自動調整モードで撮影します。
- ポートレート …人物などに適したモードで撮影します。
- 風景 …風景（夜景を含む）に適したモードで撮影します。
- 接写 …近くのものに適したモードで撮影します。→P.172
- スポーツモード …動きのある被写体に適したモードで撮影します。
- ナイトモード …暗いところで人物などを撮影するのに適したモードで撮影します。
- 効果OFF …撮影効果を無効にして撮影します。

（お買い上げ時：オート（静止画撮影、連続撮影）／ポートレート（動画撮影））

明るさ調節
- −2／−1／±0／+1／+2 …撮影する画像の明るさ（+2／+1／±0／−1／−2）を設定します。

（カメラ起動時：±0）

ホワイトバランス設定
- オート …自動的に色あいを補正して撮影します。
- 晴天 …晴れている野外に適した設定で撮影します。
- 曇天 …曇っている野外や日陰に適した設定で撮影します。
- 電球 …白熱電球の明かりに適した設定で撮影します。
- 蛍光灯 …蛍光灯の明かりに適した設定で撮影します。

（お買い上げ時：オート）

おしらせ
- MENU▶（生活ツール）▶「カメラ」の機能メニューから、「ムービーモード」「フォトモード」「ボイスモード」のデスクトップアイコンを作成することができます。なお、お買い上げのときは「フォトモード」のデスクトップアイコンが貼り付けられています。
  デスクトップアイコンについて→P.147

<ホワイトバランス設定>
- フォトモードの場合、「撮影モード選択」を「効果OFF」に設定しているときのみ選択できます。

〈静止画撮影〉
静止画を撮影する

内蔵カメラを使ってお好みの静止画を撮影します。
- FOMA端末を閉じた状態で撮影することもできます。→P.183
- FOMA端末とプリンタを接続して、撮影した静止画を印刷することができます。→P.394
- 撮影した静止画は、miniSDメモリーカードへ直接保存できます。
- あらかじめ保存先のフォルダを設定することができます。また、撮影後にそのフォルダに自動的に保存するように設定することもできます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

静止画の撮影方法について

外側カメラを使った静止画撮影では、オートフォーカス機能を使うことができます。
- 内側カメラでは固定焦点撮影となります。
- 静止画の連続撮影時にも利用できます。
- オートフォーカスは、「静止画撮影画面」(P.179) で⓪を押してON／OFFを切り替えます。
- ON／OFFを切り替えて以下の3種類の方法で撮影することができます。

撮影方法	オートフォーカス	説明
オートフォーカス撮影	ON	シャッターボタンを押した後、画面中央の被写体に自動でフォーカス調整をして撮影します。→P.179 画面の中央にピントが合った状態で静止画が撮影されます。
オートフォーカスロック撮影		あらかじめピントを合わせたい被写体にフォーカスをロックした後、シャッターを切って撮影します。→P.180 撮影したい被写体が画面の中央にないときなど、被写体にあらかじめピントを合わせてから静止画の構図を変更できます。
固定焦点撮影	OFF	オートフォーカスを使わないで撮影します。→P.179 オートフォーカス機能を利用しないため、シャッターチャンスをのがさずにすばやく静止画を撮影できます。

おしらせ
- 撮影中に設定したオートフォーカスのON／OFFは、そのカメラ機能起動中のみ保持されます。カメラ機能起動時は常に「ON」に設定されています。
- オートフォーカスのフォーカス距離は、10cm以上です。
- 次のような場合はピントが合わないことがあります。その場合は、オートフォーカスを「OFF」に設定して撮影してください。
  - 暗い場所で撮影する場合
  - コントラストが弱い（明暗差のない）被写体を撮影する場合
  - 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
- フォーカスロックが完了すると、カメラの明るさも固定されます。フォーカスロックを完了してからカメラを動かすとカメラの明るさが適さないときがあります。そのような場合は再度フォーカスロックし直すか、オートフォーカスロックを解除して明るさを設定してください。

FOMA端末を開いて撮影する〈オープン撮影〉

1 待受画面表示中▶●▶「📷」▶●

「静止画撮影画面」が表示されます。
待受画面表示中に▯[📷]を1秒以上押しても「静止画撮影画面」を起動できます。

■ オートフォーカスのON／OFFを切り替える場合
▶⓪

■ FOMA端末を折り畳んで静止画を撮影する場合
「クローズ撮影」→P.183

静止画撮影画面
機能メニュー➡P.180

2 カメラを被写体に向ける▶●または▯[📷]

フォーカスロックが完了すると「静止画撮影画面」のフォーカス枠が緑色に変わります。続いて静止画が撮影されます。
オートフォーカスロック撮影で撮影する場合→P.180

■ 固定焦点撮影で撮影する場合
▶オートフォーカスを「OFF」に設定▶●または▯[📷]

■ 撮影し直す場合
▶CLR▶「YES」

静止画確認画面
機能メニュー➡P.182

3 ●

「画像保存先選択」(P.182) で設定したフォルダに保存されます。

●オートフォーカスロック撮影をする

1 「静止画撮影画面」（P.179）▶ⓞを押してオートフォーカスを「ON」に設定

オートフォーカス状態表示が「AF ON」になっていることを確認します。→P.176

2 カメラを被写体に向ける▶ⓠ

再度ⓠを押すとフォーカスロックし直すことができます。フォーカスロックが完了すると、フォーカス枠が緑色になり、オートフォーカスロック完了音が鳴ります。

3 ●または ▯[📷]

静止画が撮影されます。

おしらせ

- フォーカスロックが完了するまでに時間がかかることがあります。フォーカスロックに失敗した場合は、オートフォーカスロック完了音は鳴らずにフォーカス枠が赤色の点線になります。
- 静止画撮影画面の表示は、以下の操作でも行えます。
  - ・MENU▶（生活ツール）▶「カメラ」▶「フォトモード」
- 画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。また、「表示サイズ設定」を「画面サイズで表示」に設定してQCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）で撮影した場合、静止画確認画面では拡大して表示されるため、画質が粗く見える場合があります。
- miniSDメモリーカードへ保存中にminiSD メモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画を保存できない場合があります。
- ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックが抜かれたときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。
- 撮影時には着信ランプが赤色に点灯します。miniSDメモリーカード保存時には緑色で点滅します。

静止画撮影画面／連続撮影画面の機能メニュー

内側カメラ／外側カメラ	外側カメラと内側カメラを切り替えます。	
カメラモード切替	カメラモードを切り替えます。	
画像サイズ選択	撮影メニュー（P.177）と同じ設定ができます。	
画像保存設定		
AF切替	外側カメラのオートフォーカスのON／OFFを切り替えます。	
ライト	ライトを点灯または消灯します。内側カメラのときは操作できません。	
撮影間隔／枚数※1	連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。→P.184	
画質調整	撮影モード選択	「撮影する場面に合ったモードにする」→P.190
	明るさ調節	▶ⓒで明るさを調節▶● 撮影する明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調整します。 2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。 カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
	ホワイトバランス設定	「ホワイトバランスを設定する」→P.190 撮影モード選択が「効果OFF」以外のときは設定できません。
	色調切替	「撮影する画像の効果を設定する」→P.190
	画像チューニング	「撮影画面のちらつきを抑える」→P.191 内側カメラのときは設定できません。
シャッター音選択	シャッター音を設定します。お買い上げ時は「シャッター音1」に設定されています。	
セルフタイマー設定	セルフタイマーを設定します。→P.195	
フレーム選択※2	重ねて撮影するフレームを設定します。→P.186	
自動保存設定	自動保存設定のON／OFFを切り替えます。	
	ON	撮影時に静止画確認画面は表示されず、「画像保存先選択」で設定されている保存先に自動保存されます。
	OFF（お買い上げ時）	撮影時に静止画確認画面を表示します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

画像保存先選択	撮影した画像の保存先を設定します。	
	本体（お買い上げ時）	▶**保存するフォルダを選択** お買い上げ時は、マイピクチャのカメラフォルダに設定されています。
	miniSD	▶**保存するフォルダを選択**
ファイル制限	ファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
表示サイズ設定	待受（240×320）より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがQCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）以外のときは設定できません。	
	等倍表示 （お買い上げ時）	実際の画像サイズで画面に表示します。
	画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像や動画などのデータ容量と空きデータ容量を表示します。	
ヘルプ	撮影についての説明を表示します。	
手ブレ補正設定※2	手ブレ補正について設定します。→P.191	

※1 ： 静止画撮影では設定できません。
※2 ： 連続撮影では設定できません。

おしらせ

<シャッター音選択>
- マナーモード中は、確認のためのシャッター音は鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」で「メモ確認音」を「ON」に設定している場合、確認のためのシャッター音は鳴ります。ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<画像保存先選択>
- miniSDを選択した場合、miniSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は自動的に作成されます。
- 選択したフォルダのファイル数が最大件数のときはminiSDに設定できません。

<ファイル制限>
- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

●保存するときのファイル容量を設定する

1 静止画撮影画面／連続撮影画面の機能メニュー（P.180）▶「画像保存設定」▶以下の項目から選択

撮影メニューから設定することもできます。→P.177
保存すると下記のサイズから最大5Kバイト増加します。

画像保存設定 ＼ 画像サイズ	スーパーファイン	ファイン（お買い上げ時）	ノーマル
4M（2,304×1,728）	約1,200Kバイト以下	約1,000Kバイト以下	約750Kバイト以下
QXGA(2,048×1,536)	約1,000Kバイト以下	約750Kバイト以下	約500Kバイト以下
UXGA(1,616×1,212) SXGA(1,280×960)	約600Kバイト以下	約500Kバイト以下	約305Kバイト以下
VGA（640×480）	約500Kバイト以下	約100Kバイト以下	約55Kバイト以下
CIF（352×288）	約500Kバイト以下	約55Kバイト以下	約40Kバイト以下
フルスクリーン(240×345) 待受（240×320）	約100Kバイト以下	約55Kバイト以下	約40Kバイト以下
QCIF（176×144） SubQCIF（128×96） 縮小サイズ(117×96)※	約100Kバイト以下	約20Kバイト以下	9,000バイト以下

※： キャラ電を静止画として保存する場合に設定できるサイズです。→P.367

静止画確認画面の機能メニュー

機能	内容	
保存	「画像保存先選択」（P.181）で設定したフォルダに保存されます。	
鏡像保存	撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。	
iモードメール作成	「撮影した静止画を添付／挿入したiモードメールを作成する」→P.187	
画像編集	▶**画像を編集** 撮影した静止画にフレームをつけたり、効果をつけます。「静止画を編集する」→P.354 VGA（640×480）より大きな画像サイズは画像編集できません。	
イメージ貼付	**■待受画面、電話発信、電話着信などの画面に設定する場合** ▶**画面を選択**▶◉ **■テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合** ▶**画面を選択**▶**画像を確認**▶◉▶**「YES」** 撮影した静止画を待受画面などに設定します。 SXGA（1,280×960）以上の画像サイズ、およびVGA（640×480）、CIF（352×288）で撮影した画像が100Kバイトより大きい場合は貼り付けできません。	
フレーム取替え	「フレームを変更する」→P.187	
鏡像表示	確認画面の画像を鏡像表示に切り替えます。撮影画像が鏡像で表示されているときは「正像表示」と表示されます。	
表示サイズ設定	待受（240×320）より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがQCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）以外のときは設定できません。	
	等倍表示 （お買い上げ時）	実際の画像サイズで画面に表示します。
	画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
画像保存先選択	撮影した画像の保存先を設定します。	
	本体（お買い上げ時）	▶**保存するフォルダを選択** お買い上げ時は、マイピクチャのカメラフォルダに設定されています。
	miniSD	▶**保存するフォルダを選択**
ファイル制限	ファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
取り消し	撮影した静止画を削除して静止画撮影画面に戻ります。	

おしらせ

- 静止画確認画面で◯[✉MAIL]を押しても撮影した静止画を添付／挿入したiモードメールを作成することができます。

<画像編集>
- 「画像編集」を選択すると正像表示になります。
- 「iモードメール作成」、「保存」は画像編集後に利用できます。

<イメージ貼付>
- 「画像保存先選択」で「miniSD」を選択している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（miniSDメモリーカードには保存できません）。

<鏡像表示>
- 内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

<画像保存先選択>
- miniSDを選択した場合、miniSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は自動的に作成されます。
- 選択したフォルダのファイル数が最大件数のときはminiSDに設定できません。

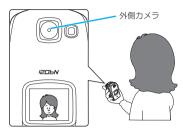
<ファイル制限>
- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

FOMA端末を折り畳んで撮影する〈クローズ撮影〉

待受画面を表示しているときにFOMA端末を折り畳むと、その状態のままでカメラ機能を起動して静止画を撮影できます。

● オートフォーカスロック撮影を行うことはできません。
●「外部ボタン操作」を「閉じた時無効」に設定しているときは、[📷]でカメラ機能を起動することや、[☼]でライトを利用することはできません。

図のように外側カメラが上側になるようFOMA端末を立てて撮影してください。
イメージウィンドウで画面を確認しながら撮影できます。

1 FOMA端末を折り畳んだ状態で[📷]（1秒以上）

フォトモードでカメラ機能が起動します。画像サイズは、前に静止画撮影したときの画像サイズになっています。画像サイズを変更したり、ズームや明るさを調節するときは、FOMA端末を開いて操作します。

■ ライトを利用する場合

▶[☼]
点灯／消灯が切り替わります。

2 カメラを被写体に向ける▶[📷]

3 FOMA端末を開き、「FOMA端末を開いて撮影する」（P.179）と同様の操作で撮影した静止画を確認して保存

おしらせ

● 撮影画面表示中にFOMA端末を折り畳んでも撮影することができます。
●「自動保存設定」（P.180）を「ON」に設定すると、FOMA端末を開かずに撮影した静止画を自動的に保存することができます。保存先は「画像保存先選択」で設定します。
●「セルフタイマー設定」(P.195)を「ON」に設定しておくと、FOMA端末を折り畳んだ状態でもセルフタイマーで撮影できます。
● イメージウィンドウの表示は、画面にあわせ縮小表示されますので、撮影時の目安としてください。

連続撮影する〈連続撮影〉

お買い上げ時	画像サイズ：CIF（352×288） 撮影間隔：0.5秒 撮影枚数：4枚

最大20枚までの静止画を連続撮影することができます。連続撮影には、オート連続撮影とマニュアル連続撮影があります。

● オート連続撮影は、撮影したい枚数と撮影する間隔を設定してシャッターを切ると、設定した間隔で残りの枚数を自動的に撮影する機能です。オート連続撮影の場合、オートフォーカス機能で撮影できるのは最初の1枚のみです。2枚目以降は1枚目であわせたフォーカス位置での撮影となります。
● マニュアル連続撮影は、1枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。マニュアル連続撮影の場合、撮影中は、1枚ずつオートフォーカスの設定を切り替えることができます（「静止画撮影」→P.178）。
● CIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影できます。
● 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
● FOMA端末を折り畳んで連続撮影することはできません。撮影中に折り畳んだり、ゆっくり開閉すると撮影が終了します。

次ページにつづく

1 「静止画撮影画面」（P.179）▶◯［MENU］または 1 ▶「AUTO」または「▣」

「連続撮影画面」が表示されます。

■ オートフォーカスのON／OFFを切り替える場合

▶◯

連続撮影画面
（例：マニュアル）
機能メニュー➡P.180

2 カメラを被写体に向ける▶◉または▯［📷］

フォーカスロックが完了するとフォーカス枠が緑色に変わり、静止画が撮影された後、４枚の静止画が同時に表示された「連続撮影確認画面」が表示されます。

■ オートフォーカスロック撮影する場合

「オートフォーカスロック撮影をする」→P.180

■ 固定焦点撮影する場合

▶◯を押してオートフォーカスを「OFF」に設定▶◉または▯［📷］

■ 連続撮影を中止する場合

オート連続撮影　：▶☎▶「NO」
マニュアル連続撮影　：▶CLR（または☎▶「NO」）
撮影を終了して連続撮影確認画面が表示されます。

■ 保存する静止画を選択状態にする場合

▶✥で静止画を選択▶◉

選択された静止画には☑（チェックマーク）がつきます。
操作を繰り返して静止画を選択します。
選択を解除するときは、解除したい静止画を選択します。

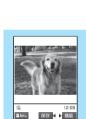
連続撮影確認画面
機能メニュー➡P.185

■ 詳細表示して確認する場合

▶✥で静止画を選択▶◯［詳細］

⊖で確認する静止画を切り替えることができます。
一覧表示に戻るときはCLRを押します。
詳細表示した静止画を保存するには、◉を押します。
「画像保存先選択」（P.181）で設定されているフォルダに保存されます。

3 保存する方法を選択

「連続撮影確認画面の機能メニュー」→P.185
「画像保存先選択」（P.181）で設定されているフォルダに保存されます。
「選択保存」を選択した場合は画像の保存が終了すると、保存した画像が削除された「連続撮影確認画面」が表示されます。

詳細表示確認画面
機能メニュー➡P.186

おしらせ

- 連続撮影中に電話の着信など撮影を中断する動作があった場合、撮影を終了し、通話終了後はそれまでの撮影された画像の連続撮影確認画面が表示されます。
- miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画を保存できない場合があります。
- ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックが抜かれたときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。
- マニュアル連続撮影時には撮影ごとに着信ランプが赤色に点灯します。オート連続撮影中は赤色で点灯します。miniSDメモリーカード保存時には緑色で点滅します。
- 強い光源や動きが大きいものを被写体としてオート撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。
- 撮影確認画面が表示されるまで、または静止画の撮影後に処理中であることを示すメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないでください。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

1 連続撮影画面の機能メニュー（P.180）▶「撮影間隔／枚数」▶以下の項目から選択

フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）のお買い上げ時の設定は、「撮影間隔：0.5秒、撮影枚数：５枚」です。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

撮影間隔	撮影する間隔を「0.5秒」、「1.0秒」、「2.0秒」から選択します。 マニュアル連続撮影のときは設定できません。
撮影枚数	▶**撮影する枚数（2桁）を入力** 「05～20」（5枚～20枚）※の2桁の数字を入力します。 最大撮影可能枚数は画像サイズによって変わります。 2桁の数字を入力したら、自動的に撮影枚数が設定されます。表示されている枚数をそのまま設定するときは◉を押します。

※：フルスクリーン(240×345)、待受(240×320)サイズの場合は「05～10」（5枚～10枚）

2 設定が終わったらCLR▶CLR

おしらせ

- 画像サイズの設定をCIF（352×288）から他の画像サイズに変更すると、撮影枚数は5枚に変わります。
  撮影枚数を5枚以上に設定しているときに画像サイズをCIF(352×288)に設定すると、撮影枚数は4枚に変更されます。
  撮影枚数を11枚以上に設定しているときに画像サイズをフルスクリーン（240×345）、待受（240×320）に設定すると、撮影枚数は10枚に変更されます。

連続撮影確認画面の機能メニュー

選択保存	選択状態の静止画を保存します。 ▶**「保存」または「鏡像保存」** 「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。	
全保存	撮影したすべての静止画を保存します。 ▶**「保存」または「鏡像保存」** 「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。	
全保存＆自作アニメ	撮影したすべての静止画を保存し、自作アニメにも登録します。 ▶**「保存」または「鏡像保存」▶自作アニメの番号を選択** 「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。	
1件選択	選択した静止画に☑を表示して選択状態にします。	
全選択	すべての静止画に☑を表示して選択状態にします。	
1件解除	選択した静止画の選択状態を解除します。☑は消えます。	
全解除	すべての静止画の選択状態を解除します。☑は消えます。	
鏡像表示	確認画面の画像を鏡像表示に切り替えます。撮影画像が鏡像で表示されているときは「正像表示」と表示されます。	
画像保存先選択	撮影した画像の保存先を設定します。	
	本体（お買い上げ時）	▶**保存するフォルダを選択** お買い上げ時は、マイピクチャのカメラフォルダに設定されています。
	miniSD	▶**保存するフォルダを選択**
選択ファイル制限	選択状態の静止画のファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
全ファイル制限	撮影したすべての静止画のファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
取り消し	撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。	

おしらせ

＜全保存＆自作アニメ＞
- 1枚だけ撮影した場合や、撮影した静止画をすでに1枚以上保存している場合、「全保存＆自作アニメ」は選択できません。
- 「画像保存先選択」で「miniSD」を選択している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（miniSDメモリーカードには保存できません）。

＜鏡像表示＞
- 内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

＜画像保存先選択＞
- miniSDを選択した場合、miniSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は自動的に作成されます。
- 選択したフォルダのファイル数が最大件数のときはminiSDに設定できません。

次ページにつづく

<選択ファイル制限／全ファイル制限>
● 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

詳細表示確認画面の機能メニュー

保存	表示している静止画を保存します。	
鏡像保存	撮影した静止画を、左右を反転させて保存します。	
iモードメール作成	「撮影した静止画を添付／挿入したiモードメールを作成する」→P.187	
鏡像表示	確認画面の画像を鏡像表示に切り替えます。撮影画像が鏡像で表示されているときは「正像表示」と表示されます。	
表示サイズ設定	待受（240×320）より小さな画像の表示方法を設定します。 画像サイズがQCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）以外のときは設定できません。	
	等倍表示（お買い上げ時）	実際の画像サイズで画面に表示します。
	画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
ファイル制限	ファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。

おしらせ
● 詳細表示確認画面で◯［MAIL］を押しても撮影した静止画を添付／挿入したiモードメールを作成することができます。
<鏡像表示>
● 内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

フレームを重ねて撮影する〈フレーム撮影〉

画像サイズがCIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）のときに、フレームを重ねて撮影することができます。
● あらかじめ内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。
● 内蔵フレームには以下の5種類があります。

モンスター大行進

LOVE

炎

しゃぼん

ファッションマガジン

1 静止画撮影画面の機能メニュー（P.180）▶「フレーム選択」▶フレームを選択

■ フレーム撮影を解除する場合
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶◉または［📷］

3 「FOMA端末を開いて撮影する」（P.179）と同様の操作で撮影した静止画を確認して保存

撮影した静止画を保存する前にフレームを変更することができます。→P.187

おしらせ
● フレーム選択画面で◯［デモ］を押すと、選択しているフレームを確認することができます。
● FOMA端末を折り畳んでフレーム撮影をすることもできます。設定したフレームはイメージウィンドウに表示されます。
● 内側カメラでフレーム撮影した静止画は鏡像表示になっています。保存するときは自動的に正像で保存されます。このとき、正像に変換するときにフレームの左右も反転されます。
● 画像サイズと縦横のドット数が異なるサイズのフレームは選択できません。
● カメラ機能を終了するとフレームは解除されます。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

● フレームを変更する

フレーム撮影した静止画を保存する前にフレームを変更できます。
● フレームを削除することはできません。

1 「フレーム撮影確認画面」▶ [機能]▶「フレーム取替え」▶フレームを選択

2 フレームが変更された画像を確認▶

フレーム撮影確認画面に戻ります。

■ 選択したフレームを取り消す場合
▶ [取消]

フレーム撮影確認画面

おしらせ

- 変更したフレームの確認画面で [機能]を押し、「確定」または「取消」を選択してもフレームの確定、取り消しを行うことができます。

● 撮影した静止画を添付／挿入したiモードメールを作成する

● 撮影した静止画をそのまま添付／挿入できない場合は、添付／挿入できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

<例：静止画確認画面から「iモードメール作成」を選択するとき>

1 静止画確認画面の機能メニュー（P.182）▶「iモードメール作成」▶以下の項目から選択

画像添付※1 （iモードメール作成）	**そのまま添付**※3	ファイル容量のみを変更して添付します。
	QVGA縮小添付	画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。
画像挿入※2 （デコメール作成）	**そのまま挿入**※4	ファイル容量のみを変更して挿入します。
	SubQCIF縮小挿入	画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して挿入します。

※1： 待受（240×320）以下の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま添付／QVGA縮小添付」の選択画面は表示されません。
※2： SubQCIF（128×96）以下の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま挿入／SubQCIF縮小挿入」の選択画面は表示されません。
※3： 4M(2304×1728)のときは選択できません。
※4： QCIF(176×144)以外のときは選択できません。

2 iモードメール／デコメールを作成

iモードメールの作成／送信のしかた→P.251
デコメールの作成のしかた→P.257

おしらせ

- 静止画確認画面で [MAIL]を押しても撮影した静止画をiモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入することができます。
- 大容量画像（10,001バイト～500Kバイトの静止画）を添付する場合、送信する静止画が「画像保存先選択」（P.181）で設定したフォルダに保存されます。ただし、「miniSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（miniSDメモリーカードには保存できません）。
- 10,000バイトを超える静止画は大容量画像になります。大容量画像をiモード端末に送信した場合、iショットセンターにてiモード端末が受信するのに適したサイズに変換されます。
- 保存メールが20件ある場合はiモードメール作成できません。

動画を撮影する

内蔵カメラを使って音声付きの動画を撮影します。

● FOMA 端末を折り畳んで動画撮影することはできません。撮影中に折り畳んだり、ゆっくり開閉すると撮影が終了します。
●「動画容量設定」を「長時間」に設定して撮影したときは動画確認画面は表示されず、miniSDメモリーカードへ直接保存されて撮影が終了します。
● 撮影時間は被写体などの撮影条件によって異なります。
● 通話中は動画撮影できません。

1 「静止画撮影画面」(P.179) ▶ [MENU] または 1 ▶「 」

デスクトップアイコンを利用して「動画撮影画面」を起動することもできます。
→P.147

動画撮影画面

機能メニュー➡P.188

2 カメラを被写体に向ける ▶ ● または [📷]

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
残り撮影時間の目安を画面で確認できます。

■ **動画容量設定で設定した容量を超えた場合**

▶●

動画確認画面が表示されます。

3 ● または [📷]

撮影が終了して「動画確認画面」が表示されます。

■ **撮影した動画を再生して確認する場合**

▶ [機能] ▶「再生」

■ **撮影し直す場合**

▶ CLR ▶「YES」

動画確認画面

機能メニュー➡P.191

4 ●

「動画保存先選択」(P.189) で設定されているフォルダに保存されます。

おしらせ

● 動画撮影画面の表示は、以下の操作でも行えます。
・ MENU ▶ (生活ツール) ▶「カメラ」▶「ムービーモード」
● miniSDメモリーカードへ保存中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因となります。
● 動画撮影中に電話の着信など撮影を中断する動作があった場合、撮影を終了し、通話終了後はそれまで撮影された動画の「動画確認画面」が表示されます。
● 電池残量が少ないとき、撮影した動画を保存できない場合があります。
● ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。
● 撮影中は着信ランプが赤色に点滅します(「動画容量設定」を「長時間」に設定したときは緑色になります)。miniSDメモリーカード保存時には緑色で点滅します。
● 動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行った場合、その音が録音される場合があります。

動画撮影画面の機能メニュー

内側カメラ／外側カメラ	外側カメラと内側カメラを切り替えます。
カメラモード切替	カメラモードを切り替えます。
画像サイズ選択	撮影メニュー(P.177)と同じ設定ができます。
動画容量設定	

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

動画保存設定	動画を撮影するときの画質、撮影時間を設定します。	
	標準（お買い上げ時）	標準の画質、撮影時間で撮影します。
	画質優先	よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
	時間優先	撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
	動き優先	動きのある被写体を撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
ライト	ライトを点灯または消灯します。内側カメラのときは操作できません。	
画質調整	**撮影モード選択**	「撮影する場面に合ったモードにする」→P.190
	明るさ調節	**▶⊕で明るさを調節▶●** 撮影する明るさを「−2〜±0〜+2」の5段階で調節します。 2秒間ボタン操作しないと自動的に設定されます。 カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
	ホワイトバランス設定	「ホワイトバランスを設定する」→P.190
	色調切替	「撮影する画像の効果を設定する」→P.190
	画像チューニング	「撮影画面のちらつきを抑える」→P.191 内側カメラのときは設定できません。
動画シャッター音選択	シャッター音を設定します。お買い上げ時は「シャッター音1」に設定されています。	
セルフタイマー設定	セルフタイマーを設定します。→P.195	
撮影種別設定	**通常**（カメラ起動時）	動画と音声を録画します。
	映像のみ	映像のみの動画として録画します。
	音声のみ	音声のみの動画として録音します。
自動保存設定	自動保存設定のON／OFFを切り替えます。	
	ON	撮影時に動画確認画面は表示されず、「動画保存先選択」で設定されている保存先に自動保存されます。
	OFF（お買い上げ時）	撮影時に動画確認画面を表示します。
動画保存先選択	撮影した動画の保存先を設定します。	
	本体（お買い上げ時）	**▶保存するフォルダを選択** お買い上げ時は、iモーションのカメラフォルダに設定されています。
	miniSD	**▶保存するフォルダを選択**
ファイル制限	ファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
表示サイズ設定	画像の表示方法を設定します。	
	等倍表示 （お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像や動画などのデータ容量と空きデータ容量を表示します。	
ヘルプ	撮影についての説明を表示します。	
フェイススタンプ	**▶フェイススタンプを選択** 動画撮影画面に追従するスタンプを付けます。画像サイズがQCIF（176×144）以外のときは設定できません。	
手ブレ補正設定	手ブレ補正について設定します。→P.191	

おしらせ

<動画シャッター音選択>

- マナーモード中は、確認のためのシャッター音は鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」で「メモ確認音」を「ON」に設定している場合、確認のためのシャッター音は鳴ります。ダウンロードしたメロディを動画シャッター音に設定できません。また動画シャッター音の音量は変更できません。

<撮影種別設定>

- ボイスモードの場合は設定できません。

<自動保存設定／ファイル制限>

- 動画容量設定を「長時間」に設定しているときは設定できません。

次ページにつづく

<動画保存先選択>
- miniSDを選択した場合、miniSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は自動的に作成されます。
- 選択したフォルダのファイル数が最大件数のときはminiSDに設定できません。

<ファイル制限>
- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

●ホワイトバランスを設定する

1 静止画撮影画面／連続撮影画面の機能メニュー（P.180）／動画撮影画面の機能メニュー（P.188）▶「画質調整」▶「ホワイトバランス設定」▶以下の項目から選択

撮影メニューから設定することもできます。→P.177

オート（お買い上げ時）	通常の状況下で自動的に画面全体の色バランスを補正します。画面内の色が偏っている場合、鮮やかさが減ってしまう場合があります。
晴天	晴れた屋外での撮影時に選択します。
曇天	曇った屋外や日陰での撮影時に選択します。
電球	白熱電球の明かりのときに選択します。
蛍光灯	蛍光灯の明かりのときに選択します。

おしらせ
- フォトモード、オート連続撮影、マニュアル連続撮影、ピクチャボイスで撮影モード選択が「効果OFF」以外のときは本機能は自動的に「オート」になります。
- 「晴天」、「曇天」、「電球」、「蛍光灯」を選択すると、設定の光源下ではオートよりも鮮やかな発色になる場合があります。
- 設定内容はカメラ機能終了後も保持され、テレビ電話での映像撮影にも反映されます。→P.85

●撮影する画像の効果を設定する

1 静止画撮影画面／連続撮影画面の機能メニュー（P.180）／動画撮影画面の機能メニュー（P.188）▶「画質調整」▶「色調切替」▶以下の項目から選択

通常（カメラ起動時）	通常のカラー撮影をするときに選択します。
セピア	セピア調の画像で撮影するときに選択します。
白黒	白黒（モノクロ）の画像で撮影するときに選択します。

●撮影する場面に合ったモードにする

1 静止画撮影画面／連続撮影画面の機能メニュー（P.180）／動画撮影画面の機能メニュー（P.188）▶「画質調整」▶「撮影モード選択」▶以下の項目から選択

撮影メニューから設定することもできます。→P.177

オート※1 （お買い上げ時： 静止画撮影／連続撮影）	自動調整モードです。
ポートレート （お買い上げ時：動画撮影）	人物などを撮影するのに適したモードです。
風景	風景（夜景を含む）などを撮影するのに適したモードです。
接写	近くのものを撮影するのに適したモードです。→P.172
スポーツモード※1	動きのある被写体に適したモードです。
ナイトモード※1、※2	暗いところで人物などを撮影するのに適したモードです。
効果OFF※1	撮影効果を無効にします。

※1：動画撮影では設定できません。
※2：連続撮影では設定できません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

おしらせ

- 静止画撮影の内側カメラで利用できるのはポートレート、ナイトモード、効果OFFのみです。連続撮影、動画撮影の内側カメラではポートレートに固定されます。
- ナイトモードや風景で撮影する場合、手ブレ補正設定を「オート」に設定していても、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- オート、風景、接写、スポーツモードのときに内側カメラに切り替えた場合は、ポートレートに戻ります。
- 静止画撮影または連続撮影でオート、スポーツモード、ナイトモード（静止画撮影のみ）、効果OFFのときにムービーモードやチャンスキャプチャに切り替えた場合は、ポートレートに戻ります。
- 静止画撮影でナイトモードのときに連続撮影に切り替えた場合は、オートに戻ります。

●撮影画面のちらつきを抑える

1 静止画撮影画面／連続撮影画面の機能メニュー（P.180）／動画撮影画面の機能メニュー（P.188）▶「画質調整」▶「画像チューニング」▶以下の項目から選択

自動（お買い上げ時）	自動的にちらつきを抑制します。
モード1（50Hz地域）	電源周波数50Hz地域で撮影するときに選択します。
モード2（60Hz地域）	電源周波数60Hz地域で撮影するときに選択します。

おしらせ

- 薄暗いところや極端に明るいところでの撮影、および被写体の色合いなどによっては、ちらつきが完全に消えない場合があります。

●手ブレ補正について設定する

外側カメラを使った撮影では、手ブレ補正機能を使うことができます。

- 本機能はフォトモード、ムービーモード、チャンスキャプチャ、ピクチャボイスで利用できます。連続撮影では利用できません。

1 静止画撮影画面の機能メニュー（P.180）／動画撮影画面の機能メニュー（P.188）▶「手ブレ補正設定」▶以下の項目から選択

オート（お買い上げ時）	**■静止画撮影（フォトモード、ピクチャボイス）の場合** 手ブレの発生しやすい室内や暗い場所での撮影時に、自動で手ブレを補正します。 **■動画撮影（ムービーモード、チャンスキャプチャ）の場合** 撮影時の状況にかかわらず常に手ブレ補正が働きます。
OFF	手ブレ補正を使わないで撮影します。

おしらせ

- 本機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や撮影条件によって異なります。
- 次のような場合は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき
  - ・ズームを使っているとき
  - ・動きのある被写体を撮影しているとき
  - ・「撮影モード選択」を「ナイトモード」および「風景」で撮影しているとき
- 被写体の一部が動いていて、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は本機能を「OFF」に設定して撮影してください。
- 手ブレ補正の処理に周辺の画素が使用されますので、撮影範囲が「オート」、「OFF」の設定によって異なります。
- 本機能を有効にした場合、手ブレ補正処理を行うため撮影後の処理時間が長くなる（約2秒間）ことがあります。

動画確認画面の機能メニュー

再生	撮影した動画を再生します。
保存	撮影した動画が「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
iモードメール作成	**▶iモードメールを作成** 撮影した動画を添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251 QVGA(320×240)の動画は添付できません。 「ファイルを添付する」→P.266

次ページにつづく

待受画面設定	撮影した動画を待受画面に設定します。	
表示サイズ設定	画像の表示方法を設定します。 画像サイズがQCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）以外のときは設定できません。	
	等倍表示 （お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
	画面サイズで表示	画面のサイズに拡大して表示します。
タイトル編集	動画のタイトルを編集します。	
動画保存先選択	撮影した動画の保存先を設定します。	
	本体（お買い上げ時）	▶**保存するフォルダを選択** お買い上げ時は、iモーションのカメラフォルダに設定されています。
	miniSD	▶**保存するフォルダを選択**
ファイル制限	ファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
取り消し	撮影した動画を削除して撮影し直します。	

おしらせ

<iモードメール作成>

- 送信する動画は、「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。ただし、「miniSD」に設定している場合は、本体のiモーションのカメラフォルダに保存されます（miniSDメモリーカードには保存できません）。
- 動画確認画面で◯［MAIL］を押しても動画を添付したiモードメールを作成することができます。

<待受画面設定>

- 待受画面に設定する動画は、「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。ただし、「miniSD」に設定している場合は、本体のiモーションのカメラフォルダに保存されます（miniSDメモリーカードには保存できません）。
- 音声のみの動画の場合は設定できません。

<動画保存先選択>

- miniSDを選択した場合、miniSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は自動的に作成されます。
- miniSDメモリーカードが次のような場合はminiSDに設定できないことがあります。
  - ・選択したフォルダにこれ以上動画が保存できないとき
  - ・miniSDメモリーカードがいっぱいのとき

大切な場面をのがさず撮影する〈チャンスキャプチャ〉

動画を撮影するときに本機能を利用すると、残したい場面をのがさずに撮影できるので便利です。

- 撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分（お買い上げ時の設定では約45秒）までさかのぼって保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。
- 撮影可能容量を超える前に撮影を終了した場合は、「ムービーモード」と同様に撮影開始時から撮影終了時まで保存されます。

1 「静止画撮影画面」（P.179）▶◯［MENU］または 1 ▶「 」

2 カメラを被写体に向ける▶◉または ［📷］

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が「00：00」の点滅になります。

3 ◉または ［📷］

撮影が終了します。

4 「動画を撮影する」（P.188）と同様の操作で撮影した動画を確認して保存

おしらせ

- 「静止画撮影画面」で◯［機能］▶「カメラモード切替」▶「チャンスキャプチャ」を押してもチャンスキャプチャを呼び出すことができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

静止画に音声を入れる〈ピクチャボイス〉

QCIF（176×144）またはSubQCIF（128×96）の静止画を使い、その静止画に音声をつけた動画を作ることができます。

＜例：静止画を撮影してピクチャボイスにするとき＞

1 「静止画撮影画面」（P.179）▶◯［MENU］または1▶「 」

2 カメラを被写体に向ける▶◉または［📷］

静止画を撮影します。
静止画の撮影について→P.178
「録音開始画面」が表示されます。
音声録音前に、機能メニューから「動画容量設定」を選択することで、録音後のファイル容量を設定できます。

録音開始画面

機能メニュー➡P.193

3 ◉または［📷］

録音が開始されます。
録音できる残り秒数の目安を画面で確認できます。

4 ◉または［📷］

録音が終了します。

5 「動画を撮影する」（P.188）と同様の操作で作成したピクチャボイスを確認して保存

おしらせ

- 静止画撮影画面で◯［機能］▶「カメラモード切替」▶「ピクチャボイス」▶「フォトモード」を押してもピクチャボイスを作成することができます。
- 保存済の静止画でピクチャボイスを作成する場合は、以下の操作の後、操作3以降を行います。
  静止画撮影画面で◯［機能］▶「カメラモード切替」▶「ピクチャボイス」▶「マイピクチャ」▶フォルダを選択▶静止画を選択

録音開始画面の機能メニュー

動画容量設定	録音するときのファイル容量を設定します。	
	メール（小）（カメラ起動時）	290Kバイトまで録音することができます。標準的な動画データとしてiモードメールに添付したいときに選択します。
	メール（大）	490Kバイトまで録音することができます。容量の大きな動画データとしてiモードメールに添付したいときに選択します。

ボイスモードを使う

- 音声のみの動画として、音声を録音します。
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定して録音したときは動画確認画面は表示されず、miniSDメモリーカードへ直接保存されて録音が終了します。

1 「静止画撮影画面」（P.179）▶◯［MENU］または1▶「 」

機能メニューについて→P.188
デスクトップアイコンを利用して「録音開始画面」を起動することもできます。→P.147

2 ◉または［📷］

録音が開始されます。
録音できる残り秒数の目安を画面で確認できます。

3 ◉または［📷］

録音が終了すると「録音確認画面」が表示されます。
機能メニューについて→P.191

次ページにつづく

「動画保存先選択」（P.189）で設定されているフォルダに保存されます。

おしらせ

- 「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は最大約90分まで録音可能です。
- 「動画撮影画面」で◯［機能］▶「撮影種別設定」▶「音声のみ」を選択してもボイスモードで録音できます。
- ボイスモードで録音できる音声のみの動画はMP4（Mobile MP4）形式です。

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマーを利用したり画質の設定をするなど、カメラ機能の設定をします。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節することができます。

- 内側カメラのときで画像サイズがVGA（640×480）、JAVA（240×240）のときは調節できません。
- 動画撮影中にズームを調節することもできます。
- ズームはデジタルズームです。

1 「静止画撮影画面」（P.179）／「連続撮影画面」（P.184）／「動画撮影画面」（P.188）▶◎でズームを調節

◎：押すたびに１段階ずつ拡大します。
◎：押すたびに１段階ずつ１倍（標準）に戻ります。
◎または◎を押し続けると連続的に変化します。

静止画／動画	外側／内側カメラ	画面サイズ	ズーム段階	最大倍率
静止画	外側カメラ	4M（2,304×1,728）	16段階	約4倍
		QXGA（2,048×1,536）		
		UXGA（1,616×1,212）		
		SXGA（1,280×960）		
		VGA（640×480）		
		CIF（352×288）		
		フルスクリーン（240×345）		
		待受（240×320）		
		JAVA（240×240）※1		
		QCIF（176×144）		約9倍
		SubQCIF（128×96）		
動画	外側カメラ	QVGA（320×240）	3段階（7段階※2）	約1.44倍（約3.6倍※2）
		QCIF（176×144）	16段階	約7.2倍（約9倍※2）
		SubQCIF（128×96）		約9倍
静止画／動画	内側カメラ	VGA（640×480）	－	－
		CIF（352×288）	2段階	約1.8倍
		JAVA（240×240）※1	－	－
		QCIF（176×144）	2段階	約2倍
		SubQCIF（128×96）		

※1：iアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。
※2：「手ブレ補正設定」が「OFF」の場合

おしらせ

- カメラ機能を起動したときは「1倍」になっています。また、画像サイズやカメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。
- ズームを調節すると画質が多少変化する場合があります。

ライトを点灯する

部屋の中などで光量が不足しているときは、FOMA端末のライトを点灯すると被写体をより明るくして撮影することができます。

● ライトを点灯し、約30秒間撮影しないとライトが自動的に消灯します。

1 「静止画撮影画面」(P.179)/「連続撮影画面」(P.184)/「動画撮影画面」(P.188)▶[☼]

消灯するときは[☼]を押します。

ライト

おしらせ

- 音声のみの動画を録音するときおよび内側カメラのときは、ライトを点灯することができません。
- 本機能は補助的なものであり、いつでも十分な光量が得られるとは限りません。

セルフタイマーを使う

セルフタイマーは集合写真を撮影したり、手ブレを防止したいときなど、FOMA端末を持たずに撮影するときに利用すると便利な機能です。

● 静止画撮影、オート連続撮影、動画撮影で利用することができます。マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。
● 撮影すると、セルフタイマーは「OFF」に戻りますので、撮影するたびに設定してください。
● 静止画撮影ではオートフォーカスを利用できます。オートフォーカスロックで撮影する場合は、あらかじめピント合わせを行ってからセルフタイマー撮影を行ってください。

1 静止画撮影画面/連続撮影画面の機能メニュー(P.180)/動画撮影画面の機能メニュー(P.188)▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶セルフタイマーの時間(2桁)を入力

作動時間設定
作動時間(秒)
01~15? 10

セルフタイマーの時間は、「01」~「15」の2桁の数字を入力します。
2桁の数字を入力したら、自動的にセルフタイマーが設定されます。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
お買い上げのときは「10秒」に設定されています。

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「⏱」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。

◉または[📷]を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。
着信ランプと◯、◯、「⏱」が点滅します。
撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、着信ランプと◯、◯の点滅が早くなります。

セルフタイマーのカウント中に◉または[📷]を押して手動で撮影することもできます。

■セルフタイマーの設定を解除する場合

▶◯[機能]▶「セルフタイマー設定」▶「OFF」

■タイマーの動作をとめる場合

▶◯[中止]またはCLR

おしらせ

- マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。
- カメラ機能を終了すると、セルフタイマーの設定は「OFF」となります。

〈バーコードリーダー〉
バーコードリーダーを利用する

外側カメラを利用しJANコード、QRコードを読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、iアプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- 読み取りデータは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。FOMA端末の下に手を添えたり、雑誌の上に置いたりすると、FOMA端末の揺れを少なくすることができます。
- バーコードを読み取るときは、外側カメラをバーコードから約7cm～約9cm離してください。
- 待受画面にバーコードリーダーをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能を呼び出すことができます。

■ JANコード、QRコードについて

- JANコードとは

太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）および13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。
※左のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

- QRコードとは

縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。
※左のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

1 MENU▶▶「バーコードリーダー」

「バーコードリーダー画面」が表示されます。

バーコードリーダー画面

2 「新規読み取り」

撮影モードは自動的に「接写」になります。

3 JANコードまたはQRコードを認識範囲に表示

認識範囲は画面の四隅に“┌、┐、└、┘”で示されています。
ピントが合った状態で、JANコードまたはQRコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。

■ **ズームを調節する場合**

◎：標準に戻ります。
◎：拡大されます。

■ **ライトを点灯する場合**

▶◯［点灯］または▯［☼］
消灯するときは◯［消灯］または▯［☼］を押します。

4 ◉▶読み取ったデータを確認

読み取り中のフォーカス枠は以下のように変化します。
・白く表示：ピント調整前
・白い点線で表示：ピント調整中
・緑で表示：ピント調整完了
・赤い点線で表示：ピント調整失敗
読み取りに時間がかかる場合があります。

■ **読み取りを中止する場合**

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合

▶◉▶操作3～4を繰り返す

最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

■ 読み取ったデータを破棄する場合

▶CLR▶「YES」

5 ◯［機能］▶「登録」▶「YES」▶◉

おしらせ

- JANコード、QRコード以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合によっては正しく認識できない場合があります。
- 文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。ただし、登録済みの情報の表示や、読み取った情報の保存を行うことはできません。また、画像やメロディの情報は正しく読み取りできません。なお、文字編集画面で入力できない文字はスペース（空白）に置き換わります。
- 読み取ったデータのうち、横または縦の最大が2,304ドットを超えるJPEG画像、総ドット数が2,304×1,728ドットを超えるJPEG画像、横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるGIF画像、ファイル容量が100Kバイトを超える画像は登録できません。
- 読み取ったデータのうち、横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG画像は登録できません。
  プログレッシブJPEG画像→P.225
- 読み取ったデータをminiSDメモリーカードに登録することはできません。
- 「バーコードリーダー画面」▶◯［機能］▶「デスクトップ貼付」を選択すると、本機能のデスクトップアイコンを貼り付けることができます。

読み取りデータを利用する

1 MENU▶（アイコン）▶「バーコードリーダー」▶「読み取りデーター覧」

「読み取りデーター覧画面」が表示されます。

読み取りデーター覧画面

機能メニュー➡P.198

2 読み取りデータを選択

「読み取りデータ詳細画面」が表示されます。

3 表示されている項目を選択

「電話帳登録」	：名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.111、112
「メール作成」	：宛先、題名、本文が一括入力されたiモードメールを作成→P.251
「Bookmark登録」	：URLとタイトル名をブックマークに登録→P.220
「iアプリ起動」	：指定されているiアプリを起動→P.322
メロディのアイコン	：そのメロディを再生→P.369
電話番号	：Phone To（AV Phone To）機能を利用して電話をかける→P.229
メールアドレス	：Mail To機能を利用してiモードメールを作成→P.229
URL	：Web To機能を利用してサイトに接続→P.230

読み取りデータ詳細画面

機能メニュー➡P.198

おしらせ

- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
  - タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_4桁の数字）
    同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が「9999」まで登録した順に増えます。

読み取りデータ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを編集 選択している読み取りデータのタイトルを編集します。 全角文字で9文字まで、半角文字で18文字まで入力できます。
結果表示	読み取りデータ詳細画面を表示します。
1件削除	反転表示した読み取りデータを削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」

読み取りデータ詳細画面の機能メニュー

登録	読み取ったデータを登録します。
一覧表示	読み取りデータ一覧画面を表示します。 表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。
Internet	URLを選択している場合、そのURLのサイトに接続します。 「Web To機能」→P.230
iモードメール作成	「メール作成」を選択している場合、読み取りデータに入力されている宛先、題名、本文が一括入力されたiモードメールを作成します。 メールアドレスを選択している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
電話発信	電話番号を選択している場合、その電話番号に電話をかけます。 「Phone To機能」→P.229
電話帳登録	「電話帳登録」を選択している場合、読み取りデータに入力されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録します。 電話番号を選択している場合、その電話番号を電話帳に登録します。 メールアドレスを選択している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
Bookmark登録	「Bookmark登録」を選択している場合、読み取りデータに入力されているURLとタイトル名をBookmarkに登録します。 URLを選択している場合、そのURLをBookmarkに登録します。 「ブックマークに登録する」→P.220
画像保存	▶フォルダを選択▶「YES」▶項目を選択 選択している画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。
メロディ保存	▶「YES」▶フォルダを選択▶「YES」▶項目を選択 選択しているメロディをデータBOXのメロディに保存します。着信音などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。
iアプリ起動	「iアプリ起動」を選択している場合、読み取りデータで指定されているiアプリを起動します。 「バーコードリーダーからiアプリを起動する」→P.322
コピー	読み取りデータに入力されている文字をコピーします。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498

おしらせ

- 読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。

<Internet／Bookmark登録>
- URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

<iモードメール作成>
- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

<電話発信>
- 電話をかけることができる文字は、全角／半角の数字と全角／半角の記号（＃＊＋）です。これら以外の文字が含まれている場合、電話をかけることはできません。
- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

<iアプリ起動>
- 「iアプリTo設定」（P.322）の「バーコードからiアプリTo」のチェックが外れていると、読み取ったデータからiアプリを起動することはできません。
- 指定されているソフトがない場合、iアプリは起動できません。

文字を読み取る

内蔵カメラを利用して、印刷されている文字を読み取り、電話帳登録、メール作成、Bookmark登録などをします。また、電話をかけたり、インターネットホームページを表示したりすることもできます。

- 読み取りデータは8件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。FOMA端末の下に手を添えたり、雑誌の上に置いたりすると、FOMA端末の揺れを少なくすることができます。
- 文字を読み取るときは、外側カメラを読み取りたい文字から約7cm～約9cm離してください。
- 縦書きの日本語文字列を読み取ることもできます。

■ 読み取りモードについて

読み取りモードには以下のものがあります。読み取りたい情報に合った読み取りモードを選択します。

名刺読み取り	名刺などに印刷されている名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを読み取り、読み取ったデータを電話帳に一括登録することができます。
メール作成	宛先、題名、本文を読み取り、それぞれが入力されたiモードメールを作成することができます。
URL	URLを読み取り、そのURLのサイトに接続したり、Bookmarkに登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを読み取り、そのメールアドレスを利用してiモードメールを作成することができます。
電話番号	電話番号を読み取り、その電話番号に電話をかけることができます。
フリーメモ	日本語や英語などの文字列を読み取り、テキストメモに登録することができます。

■ 読み取り可能な文字数について

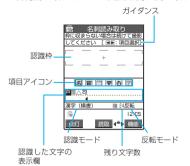
読み取りできる文字数は読み取る項目によって以下のように変わります。

読み取る項目		最大読み取り文字数
名刺読み取り	名前	全角文字で16文字、半角文字で32文字まで
	電話番号	半角数字と#、*、+、p（ポーズ）、（、）、－で最大26桁まで
	メールアドレス	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	郵便番号	半角の数字で7桁まで
	住所	全角文字で50文字、半角文字で100文字まで
	メモ	全角文字で100文字、半角文字で200文字まで
メール作成	宛先	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	題名	全角文字で15文字、半角文字で30文字まで
	本文	全角文字で128文字、半角文字で256文字まで
URL		半角の英字、数字、記号で256文字まで
メールアドレス		半角の英字、数字、記号で256文字まで
電話番号		半角の数字、（、）、－で256文字まで
フリーメモ		全角文字で128文字、半角文字で256文字まで
辞典※	日本語	全角文字で32文字、半角文字で64文字まで
	英語	半角文字で64文字まで

※：辞典からアクセスリーダーを起動したときに選択できます。

次ページにつづく

■ 読み取り画面の見かた

名刺読み取りモードの画面を例に読み取り画面の見かたについて説明します。

ガイダンス	：そのとき行う操作などを表示します。
認識枠	：認識する範囲（認識範囲）を示します。
項目アイコン	：読み取る項目を示します。 名刺読み取りモード：「名前／電話番号／メールアドレス／郵便番号／住所／メモ」 メール作成モード：「宛先／題名／本文」
認識した文字の表示欄	：読み取った文字を表示します（画面によってはガイダンスが表示されます）。
認識モード	：文字を読み取るときの認識モード「漢字（横書／縦書）／郵便番号／電話番号／メールアドレス／URL」を表示します。
残り文字数	：読み取り可能な残りの文字数を半角文字数で表示します。
反転モード	：反転モード設定が反転固定に設定されているときに表示します。

文字を読み取る

＜例：名刺読み取りモードで読み取るとき＞

1 MENU▶（アイコン）▶「アクセスリーダー」

「アクセスリーダー画面」が表示されます。

アクセスリーダー画面

2 「新規読み取り」

読み取りモード選択画面が表示されます。

「読み取りモードについて」→P.199

3 「名刺読み取り」

「アクセスリーダー読み取り画面」が表示されます。
外側カメラの撮影モードは自動的に「接写」になります。
登録する項目アイコンを で選択します。

4 文字列を認識範囲に表示

ピントが合っている状態で、読み取りたい文字の上下が認識範囲にできるだけ大きく入るようにします。
読み取りたい文字列が一度に認識範囲に入らない場合、数回に分けて読み取ることができます。

■ ズームを利用する場合

：「標準」→「拡大」に切り替わります。
：「拡大」→「標準」に戻ります。

■ ライトを点灯する場合

▶ ［点灯］または [ ]
消灯するときは ［消灯］または [ ]を押します。

アクセスリーダー
読み取り画面

機能メニュー➡P.202

文字が読み取られ、認識した文字が赤色で表示されます。
読み取った文字列が表示欄を超えた場合はまたは[ホーム]、[メモ／確認]を押して確認できます。
［登録］を押すと読み取られた文字がそのまま登録され、読み取りデータの詳細画面が表示されます。
読み取った文字を修正するには以下の2つの方法があります。

■ 文字を選択して修正する場合

▶で修正したい文字を反転表示▶変更候補文字の番号を押す
小文字に変換が可能な文字は、で大文字／小文字を切り替えることができます。

■ 撮り直しする場合

▶▶「YES」

変更候補

■ 文字編集で修正する場合

▶［機能］▶「編集」▶文字を編集
読み取った文字を通常の文字編集で修正することができます。
変更候補の選択に戻るときは、［機能］を押し、「認識候補選択」を選択します。
文字の編集が終わったら、操作6に進みます。

文字として確定します。

■ 残りの文字列を続けて読み取る場合

▶操作4～6を繰り返す
このとき、すでに読み取った文字列の最後の2文字以上が認識範囲に入るようにします。

■ ほかの項目を読み取る場合

▶で読み取る項目を選択▶操作4～6を繰り返す
名刺読み取りモードのとき、電話番号は4件まで、メールアドレスは3件まで読み取りできます。

7 ［機能］▶「登録」

読み取りデータの詳細画面になり、を押すと読み取りデータの一覧画面に戻ります。

おしらせ

- 画面に「取込中…」のメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字（大文字・小文字）、数字、記号を読み取ることができます。ただし、カタカナはすべて全角文字として、数字と英字はすべて半角文字として読み取られます。また、JIS第二水準漢字で一部読み取れないものがあります。
- 手書きの文字は認識できません。また、FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく認識できない場合があります。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。
- 文字編集画面からアクセスリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
- 辞典からアクセスリーダーを起動したときは、「辞典（日本語）／辞典（英語）」の読み取りモードを選択します。
- 文字の読み取りを行う前に約3分以上ボタン操作をしなかったときは、アクセスリーダー読み取り画面が終了してアクセスリーダー画面に戻ります。
- 読み取ったデータを登録する前に音声電話などの着信があったり、めざまし時計などのアラーム通知が実行されたり、ほかの機能の操作を行ったときは読み取ったデータが保存されて、それらの画面に切り替わります。その後、操作中に発生したこれらの操作を終了させると読み取りデータ詳細画面に戻ります。
- 「アクセスリーダー画面」▶［機能］▶「デスクトップ貼付」を選択すると、本機能のデスクトップアイコンを貼り付けることができます。

アクセスリーダー読み取り画面の機能メニュー

編集	読み取った文字を編集します。
登録	読み取ったデータを登録します。
Internet	URLモードの読み取りデータのとき、そのURLのサイトに接続します。 「Web To機能」→P.230
iモードメール作成	メール作成モードの読み取りデータのとき、それぞれのデータが一括入力されたiモードメールを作成します。 メールアドレスモードの読み取りデータのとき、そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。 フリーメモモードの読み取りデータのとき、そのデータが本文に入力されたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
電話発信	電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号に電話をかけます。 「Phone To機能」→P.229
電話帳登録	名刺読み取りモードの読み取りデータのとき、それぞれのデータを電話帳に一括登録します。 メールアドレスモードの読み取りデータのとき、そのメールアドレスを電話帳に登録します。 電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号を電話帳に登録します。 フリーメモモードの読み取りデータのとき、そのデータを電話帳のメモに登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
Bookmark登録	URLモードの読み取りデータのとき、そのURLをBookmarkに登録します。 「ブックマークに登録する」→P.220
電話帳検索	読み取ったデータを使って電話帳を検索します。 電話帳の検索のしかた→P.116 名刺読み取りモード、メール作成モードのときは検索できません。
テキストメモ登録	URLモードの読み取りデータのとき、そのURLをテキストメモに登録します。 メールアドレスモードの読み取りデータのとき、そのメールアドレスをテキストメモに登録します。 電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号をテキストメモに登録します。 フリーメモモードの読み取りデータのとき、そのデータをテキストメモに登録します。 「テキストメモを作成する」→P.420
読取モード設定	読み取りモードを「名刺読み取り」、「メール作成」、「URL」、「メールアドレス」、「電話番号」、「フリーメモ」から選択します。
反転モード設定	印刷物の状態を設定します。 **自動設定**：反転／無反転を自動的に判断します。 **無反転固定**：薄い色地に濃い色の文字が印刷されているときに選択します。 **反転固定**：濃い色地に薄い色の文字が印刷されているときに選択します。
ガイダンスOFF※1	ガイダンスを表示するかしないかを設定します。
縦書き※2	読み取りたい日本語文字列の横書き／縦書きを設定します。

※1：ガイダンスを非表示にしているときは「ガイダンスON」になります。
※2：「縦書き」に設定しているときは「横書き」になります。

おしらせ

- URLモードで読み取った場合、読み取った文字列に「http://」、「https://」を付加する条件は以下のようになります。
  - 読み取った文字列に「://」がない場合は、「http://」を文字列の先頭に付加します。ただし、文字列の先頭が「/」または「//」の場合は、「/」または「//」を「http://」に置き換えます。
  - 読み取った文字列に「://」がある場合は、「://」より前を「://」も含めて「http://」に置き換えます。ただし、「://」が「s://」や「S://」の場合は「https://」に置き換えます。

文字情報を利用する

1 MENU▶[icon]▶「アクセスリーダー」▶「読み取りデーター覧」

「読み取りデーター覧画面」が表示されます。

読み取りデーター覧画面

機能メニュー➡P.203

2 読み取りデータを選択

「読み取りデータ詳細画面」が表示されます。

3 表示されている項目を選択

「電話帳登録」：名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.111、112

「メール作成」：宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.251

※電話番号やメールアドレスなどの項目を選択すると、それぞれのデータが編集できます。

読み取りデータ詳細画面

機能メニュー➡P.204

読み取りデーター覧画面の機能メニュー

Internet	URLモードの読み取りデータのとき、そのURLのサイトに接続します。 「Web To機能」→P.230
ｉモードメール作成	メール作成モードの読み取りデータのとき、それぞれのデータが一括入力されたｉモードメールを作成します。 メールアドレスモードの読み取りデータのとき、そのメールアドレスが宛先に入力されたｉモードメールを作成します。 フリーメモモードの読み取りデータのとき、そのデータが本文に入力されたｉモードメールを作成します。 「ｉモードメールを作成して送信する」→P.251
電話発信	電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号に電話をかけます。 「Phone To機能」→P.229
電話帳登録	名刺読み取りモードの読み取りデータのとき、それぞれのデータを電話帳に一括登録します。 メールアドレスモードの読み取りデータのとき、そのメールアドレスを電話帳に登録します。 電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号を電話帳に登録します。 フリーメモモードの読み取りデータのとき、そのデータを電話帳のメモに登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
Bookmark登録	URLモードの読み取りデータのとき、そのURLをBookmarkに登録します。 「ブックマークに登録する」→P.220
電話帳検索	選択している読み取りデータを使って電話帳を検索します。 電話帳の検索のしかた→P.116 名刺読み取りモード、メール作成モードの読み取りデータのときは、表示されている内容で検索します。
テキストメモ登録	選択している読み取りデータをテキストメモに登録します。 「テキストメモを作成する」→P.420 名刺読み取りモード、メール作成モードの読み取りデータは登録できません。
詳細表示	読み取りデータ詳細画面を表示します。
コピー	読み取りデータに入力されている文字をコピーします。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498
１件削除	反転表示した読み取りデータを削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 読み取りデータをすべて削除します。

読み取りデータ詳細画面の機能メニュー

編集	選択している項目の文字を編集します。 「電話帳登録」および「メール作成」を選択しているときは編集できません。
Internet	URLモードの読み取りデータのとき、そのURLのサイトに接続します。 「Web To機能」→P.230
iモードメール作成	名刺読み取りモードの読み取りデータでメールアドレスを選択しているとき、そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。 メール作成モードの読み取りデータで「メール作成」を選択しているとき、それぞれのデータが一括入力されたiモードメールを作成します。 メール作成モードの読み取りデータで宛先、題名、または本文を選択しているとき、それぞれのデータが入力されたiモードメールを作成します。 メールアドレスモードの読み取りデータのとき、そのメールアドレスが宛先に入力されたiモードメールを作成します。 フリーメモモードの読み取りデータのとき、そのデータが本文に入力されたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
電話発信	名刺読み取りモードの読み取りデータで電話番号を選択しているとき、その電話番号に電話をかけます。 電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号に電話をかけます。 「Phone To機能」→P.229
電話帳登録	名刺読み取りモードの読み取りデータで「電話帳登録」を選択しているとき、それぞれのデータを電話帳に一括登録します。 名刺読み取りモードの読み取りデータで名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所またはメモを選択しているとき、それぞれのデータを電話帳に登録します。 メール作成モードの読み取りデータでメールアドレスを選択している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。 メールアドレスモードの読み取りデータのとき、そのメールアドレスを電話帳に登録します。 電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号を電話帳に登録します。 フリーメモモードの読み取りデータのとき、そのデータを電話帳のメモに登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
Bookmark**登録**	URLモードの読み取りデータのとき、そのURLをBookmarkに登録します。 「ブックマークに登録する」→P.220
電話帳検索	選択しているデータを使って電話帳を検索します。 電話帳の検索のしかた→P.116 「電話帳登録」、「メール作成」を選択しているときは検索できません。
テキストメモ登録	選択している読み取りデータをテキストメモに登録します。 「テキストメモを作成する」→P.420 「電話帳登録」、「メール作成」を選択しているときは登録できません。
一覧表示	読み取りデータ一覧画面を表示します。
コピー	読み取りデータに入力されているデータをコピーします。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498
1件削除	反転表示した読み取りデータを削除します。
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶**「YES」** 読み取りデータをすべて削除します。

おしらせ

<電話発信>

- 電話をかけることができる文字は、半角の数字と半角の記号（＃＊＋）です。これら以外の文字が含まれている場合、数字と記号のみを電話番号として発信します。
- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

●iモード／iモーション

iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■ サイト（番組）接続

iモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ インターネット接続

iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ iモードメール

iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5,000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ

IP（情報サービス提供者）
サイト（番組）を提供します。

パソコンなど

iモードセンター
IPとiモード端末をつなぎます。
またメールやメッセージをお預かりします。

インターネット

iモード端末

FOMAサービスエリア
iモードのサービスエリアは、FOMAサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。

iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

おしらせ

- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへご契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenu内「お知らせ＆ヘルプ」でご確認できます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば、銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど、さまざまなオンラインサービスがあります。

● サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。
サイトの表示方法は→P.212

※画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

1 マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます（P.218）。iMenu内の有料サイト等は自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2 週刊iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど、最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3 メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選択して接続できます。
4 とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ）

5 iエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
6 かんたん検索 「ゲーム」「iアプリ」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。	・iアプリサーチ iアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。
	・便利サイトサーチ メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
7 マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8 オプション設定	iモードメールの設定やiモードパスワードの変更などを行います。
9 お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、iモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。
■ 料金&お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	iMenuを英語表記に変更できます。

おしらせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- iモードアイコンが点滅していても、iモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- 「デュアルネットワークサービス」ご契約の場合、iMenu画面などが一部異なります。

● こんなこともできます

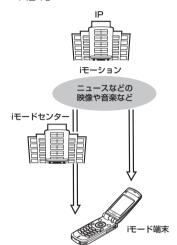
■ iチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報をドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiモード端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、iチャネルに対応しているch ボタンを押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

・対応機種：iチャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

■ iモーション

iモードのサイトから映像や音をiモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しむことができます。→P.240

・iモーションを取得するには→P.241
・iモーションを再生するには→P.241
・iモーションを自動再生設定するには→P.243

■ 着モーション／着うた®※

iモードのサイトからiモーションをiモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません。）

・着モーションを設定するには→P.128

※：「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ iアプリ

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックすることなどが可能です。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

・iアプリをダウンロードするには→P.315
・iアプリを起動するには→P.316
・iアプリを自動起動するには→P.321

■ iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

・iアプリ待受画面を設定するには
→P.138、323

■ iアプリDX

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

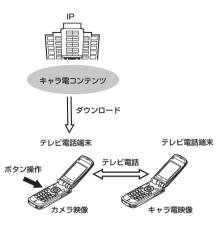
・iアプリDXとは→P.314

■ 3Dサウンド

3Dサウンド対応iモード端末では、ステレオスピーカ（またはステレオイヤホン）により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出すことができ、臨場感あふれるiアプリのゲーム、iモーションや着信音などをお楽しみいただけます。（3Dサウンド対応のコンテンツの場合となります。）

■ キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画面に設定したり、メールに添付して送ることもできます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。

・キャラ電をダウンロードするには→P.228
・キャラ電を確認するには→P.365
・キャラ電を設定するには→P.366
・キャラ電を操作するには→P.365
・キャラ電を撮影するには→P.367

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます。※

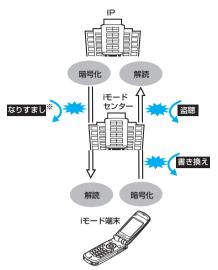
また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することができます。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

・赤外線通信機能を利用するには→P.382

■ SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすまし※や書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。SSL通信には、iモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書（以降「SSL証明書」）を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。→P.214

・iモード端末に保存されている SSL 証明書を利用してページを表示するには→P.214
・FirstPass のユーザ証明書を利用するには
→P.238

※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能

お客様の情報（電話番号、電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、iモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画などのファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONした場合、取得したファイルの再生･表示を不可にする機能です。

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからiモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※着信音、待受画面など、iモード端末に設定していた場合、本機能によりそれぞれの動作はお買い上げのときの設定になります。

■ iメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をiモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P.225

■ iアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をiモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。→P.224

■ Flash®

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をiモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。→P.217

Flash画像によっては、お客様のiモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 日付時刻情報
- 着信音量設定
- バイリンガル設定
- 機種情報

■ ダウンロード辞書

サイトから方言や専門用語などの辞書をiモード端末にダウンロードして、変換用辞書として設定できます。→P.228

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のiモード端末に届くサービスです。

メッセージサービスには、メッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（リクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（フリー）	パケット通信料無料で届けられるメッセージです。

メッセージサービスの受信方法は→P.232、235

メッセージ F（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にiモードをお申込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。

※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。

電源が入っていない場合や「圏外」が表示されている場合などで受信できないときは、メッセージR、メッセージFはiモードセンターに保管されます。

- iモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は以下のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- iモードセンターに保管されたメッセージR、メッセージFは、iモード問い合わせにより受信できます。→P.235

■ トクだねニュース便
メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をiモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニューに登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。
メッセージRの画面の見かたは→P.236

●iモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、iモードメールの設定などを行うときには「iモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。→P.218
iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、iモード対応のインターネットホームページを表示できます。
インターネットホームページの表示方法は→P.219

おしらせ
- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。iモード対応のホームページとは、iモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
  詳しくは→P.219
- インターネットホームページを表示中の操作は、iモードのサイトと同じです。
- パソコン上での表示と異なる場合があります。
- URLが半角256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。
- フルブラウザでパソコン向けのインターネットホームページを表示することもできます。
  詳しくは→P.335

■ キャッシュに記憶されたページを表示するときは
・キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に⊙を押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、⊙を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
・キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
・iモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
・SSL 対応のページをキャッシュから読み込んだときは、SSLページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

■ iモードのご使用にあたって
・サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからiモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
・iモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR、メッセージF、画面メモ、iアプリ、iモーション）やブックマークなどの登録内容は、iモード端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・iモード端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリ、iモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディ、トルカ）、「画面メモ」および「メッセージR、メッセージF」などを表示、再生できません。
・FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音に設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げのときの設定内容で動作します。

■ お願い
ブックマークに登録した内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

iモードメニューを表示する

iモードを開始する

「iモードメニュー画面」が表示されます。iモードメニューは11項目あります。待受画面表示中に◯［imode］を押しても「iモードメニュー画面」を表示できます。

■「圏外」が表示されている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「Y.ıl」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。

■「⇆」が点滅する場合

iモードセンターとの通信中に点滅します。サービスエリア内でiモードのサービスを受けていないときに、サイト（P.212）やインターネットホームページ（P.219）への接続やiモードメールの送信（P.251）などをしようとしたときは「⇆」が点滅し、iモード開始まで時間がかかることがあります。

■「i」が点滅している場合

iモードのサービスを受けているとき（iモード中）は「i」が点滅します。

項　目	説　明	参照ページ
iMenu	iモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。	P.206、212
Bookmark	お気に入りのホームページアドレスをiモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。	P.220
画面メモ	iモード端末に保存されたiモードの画面を見ることができます。	P.222
ラストURL	最後に表示したiモードのサイトやインターネットホームページを表示します。	P.215
Internet	ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのiモード対応のホームページに接続することができます。	P.219
iチャネル	チャネル一覧画面を表示します。	P.326
メッセージ	受信したメッセージR、メッセージFを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。	P.236
iモード問い合わせ	iモードセンターにiモードメールやメッセージR、メッセージFが保管されているかどうか問い合わせをします。	P.235
ユーザ証明書操作	FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請やダウンロードなどを行います。	P.238
iモード設定	iモードに関係するFOMA端末の設定を行います。	P.230
Internet（フルブラウザ）	フルブラウザでパソコン向けのインターネットホームページを表示します。	P.335

おしらせ

- iモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。
- 圏外でもiモードメニュー画面を表示できます。ただし、圏外ではサイトやインターネットで情報の送受信などはできません。

iMenu画面を表示する

1 ▶▶「iMenu」

iモードセンターに接続して、「iMenu画面」(iモード画面の最初)が表示されます。

■ページの取得を中止する場合

▶CLRまたは○[中止]

iモードメニュー画面

➡

iMenu画面

iモードを終了する

1 iモード中に▶「YES」

「⇆」が点滅した後、「i」が消灯します。

おしらせ

- PWR HLDを2秒以上押したときは、電源が切れます。

サイトを表示する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスをご利用いただけます(別途お申し込みが必要なことがあります)。

1 ▶▶「iMenu」

2 「メニューリスト」▶サイトの項目を選択

「サイト画面」が表示されます。

サイト画面

機能メニュー➡P.213

●「みんなNらんど」について

iMenuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるiアプリ、辞書、フェイススタンプ、デコメールのテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

「みんなNらんど」への接続のしかたは以下のとおりです。

「iMenu」→「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなNらんど」の順に選択します

右のQRコードを読み取って接続することもできます。

おしらせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- サイトによっては、画像を表示できない場合があります。
- 画像を取得できなかった場合、「 」が表示されます。ただし、背景画像を取得できなかった場合「 」は表示されません。
- サイトに接続中でも、電話をかけたり受けたりすることができます(P.402)。また、メールを送受信することもできます。ただし、iモード通信中はテレビ電話を受けることはできません。
- 「Receiving Page」のメッセージが表示されているときでも◎で画面をスクロールすることができます。
- 表示したサイトの画面で下線が表示されている項目があるときは、その項目を選択することにより関連するページ(リンク先)へ進むことができます。
- 表示中のサイト画面は情報が自動的に更新されませんので、最新の情報を表示するには機能メニューから「再読み込み」を行ってください。

- サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイトの画面と表示が異なることがあります。
- iモード対応のサイトやインターネットホームページによっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

サイト画面の機能メニュー

項目		内容
Bookmark登録		表示中のページのURLをブックマークに登録します。 「ブックマークに登録する」→P.220
Bookmark一覧		Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示します。→P.220
画面メモ保存		表示中のページを画面メモに保存します。 「画面メモを保存する」→P.222
画面メモ一覧		画面メモ一覧画面を表示します。 「画面メモを表示する」→P.223
画像保存		表示中のページの画像を保存することができます。「通常画像」または「背景画像」を選択できます。 「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.224
スクロールモード		スクロールモードにします。→P.215
iモードメール作成		表示中のページのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成することができます。
	URL貼付	表示中のページのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
	画像添付	▶**画像を選択** 表示中のページの画像を添付してiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
	画像挿入	▶**画像を選択** 表示中のページの画像が本文中に挿入されたデコメールを作成します。 「デコメールを作成して送信する」→P.257
URL入力		▶◉▶**URLを入力**▶「**OK**」▶◉ URLを入力してインターネットホームページに接続します。
電話帳登録		「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」→P.217
デスクトップ貼付		「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
スケジュール参照登録		表示中のページを参照しながらスケジュールを登録します。 「スケジュールや休日、記念日を登録する」→P.409
辞典検索		表示中のページから辞典を利用します。「その他の機能から辞典を利用する」→P.422
ホーム登録/表示	**ホーム登録**	表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
	ホーム表示	ホームURLに登録されているページを表示します。
文字コード変換		表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。
再読み込み		表示中のページを新しい情報に更新します。
リトライ		表示中のページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。
iMenu		iMenu画面を表示します。
iモードメニュー		iモードメニューを表示します。
サイト情報表示	**タイトル表示**	▶**タイトルを確認する**▶「**OK**」 表示中のページのタイトルを確認します。
	URL表示	▶**URLを確認する**▶「**OK**」 表示中のページのURLを表示します。
	証明書表示	表示中のページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。
サイト設定		表示中のページの画像表示の設定をしたり、iモーションタイプ、効果音の設定をすることができます。
	画像表示設定	ページの画像表示について設定します。「表示しない」を選択したときは、表示されない画像の代わりに「 」が表示されます。
	iモーションタイプ設定	「取得するiモーションのタイプを設定する」→P.243
	効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。
フルブラウザ切替		表示しているサイトをフルブラウザでの表示に切り替えます。→P.339

次ページにつづく

おしらせ

<iモードメール作成>
- 本文に貼り付けできるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字を超えるときは貼り付けできません。

<ホーム登録>
- 「ホーム登録」でURLを登録しても、「ホームURL設定」の「有効」、「無効」は変更されません。

<ホーム表示>
- 「ホームURL設定」が「無効」に設定されているときは、「ホーム表示」は利用できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

<タイトル表示>
- 表示されたタイトルの編集はできません。
- タイトルは全角64文字、半角128文字まで表示されます。

<URL表示>
- 表示されたURLの編集はできません。
- すべてのURLが表示されない場合は、◉を押してカーソルを表示させます。でカーソルを移動して確認します。もう一度◉を押すとカーソルが消えます。「OK」を選択するとページの画面に戻ります。

<証明書表示>
- 証明書は最大4枚まで表示され、証明書が複数枚あるときは、で前後の証明書を確認できます。
- 証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定にかかわらず1行スクロールで表示されます。

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作をすると、元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。
- 「文字コード変換」は表示中のサイトに対してのみ有効です。

<リトライ>
- 再生中に選択すると、画像を最初から再生します。

<フルブラウザ切り替え>
- サイトによってはフルブラウザに切り替えると表示できなくなる場合があります。

SSL対応ページを表示する

SSL対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。
- CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げのときにFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書：FirstPassセンターへ接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
- ユーザ証明書：iモードメニューの「ユーザ証明書操作」（P.238）を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されます。

1 SSL対応ページを表示

SSL対応ページの画面が表示され、「SSL」が表示されます。

■ 認証中に中止する場合

▶◉

■ 認証後のページを取得中に中止する場合

▶ ［中止］

SSL対応ページの画面

2 SSL対応ページから通常のページを表示▶「YES」

SSL通信が終了し、「SSL」の表示が消えます。

おしらせ

- SSL対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。これらは、ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。「YES」を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続しない場合は、「NO」を選択します。「SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、◉を押すと元の画面に戻ります。

スクロール機能について

サイトのページやメッセージR、メッセージF、iモードメール、SMSなどを表示している場合で、文章や一覧が画面内におさまらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

■ 行単位でスクロールする場合

を押すと、行単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
を押すと、行単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。
または を押したときにスクロールする行数を設定することができます。→P.230

■ 画面単位でスクロールする場合

[メモ／確認]を押すと、画面単位で下方向にスクロールされ、文章や一覧の続きが表示されます。
[ホーム]を押すと、画面単位で上方向にスクロールされ、前の文章や一覧が表示されます。

■ スクロールモードを利用する場合

サイト画面の機能メニュー(P.213)または画面メモ詳細画面の機能メニュー(P.224)で「スクロールモード」を選択すると、をスライドさせた方向(上下)に対してスクロールができるようになります。また、サイト画面でを押してもスクロールモードへの切り替え／解除ができます。

携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択すると、携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信することを示すメッセージが表示されることがあります。送信してもよいときは「YES」を選択します。送信したくないときは「NO」を選択します。［戻る］またはを押すと前の画面に戻ります。

● 携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号が送信される前には必ず、送信することを示すメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

● 送信される「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
● 送信するお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP(情報サービス提供者)等に通知されることはありません。

最後に表示したページに再接続する〈ラストURL〉

iモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。「ラストURL」を使って、最後に表示したページに再接続することができます。

1 MENU ▶ ▶「ラストURL」

おしらせ

● ページを表示するたびに「ラストURL」は表示中のページのURLに更新されます。
● シークレットフォルダのBookmarkからサイトに接続した場合は、ラストURLにその履歴は保存されません。

サイトの見かたと操作

サイトを見るときに使う操作について説明します。

画像の表示について

サイトやインターネットホームページの画面に画像が表示されることがあります。

● 本端末では、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像(P.217)を表示します。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
● Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示とは異なることがあります。
● 画像の取得中は「(カラー)」が表示され、取得が終わると画像を表示します。
● 画像を表示するかしないかを「サイト設定」から「画像表示設定」(P.213)で設定できます。サイトなどのページを表示中に、「画像表示設定」を「表示しない」から「表示する」に切り替えた場合、「再読み込み」(P.217)をすると「(カラー)」の画像が表示されます。なお、「表示する」から「表示しない」に切り替えた場合は、取得済みの画像は表示されたままです。

次ページにつづく

■ 表示される画像のアイコンについて

（カラー）：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示されます。

：画像を取得できなかった場合に表示されます。

（白黒）：取得できない画像の場合に表示されます。

リンク先や項目を選択する

iモード接続中に、サイトによっては以下の操作が必要となる場合があります。

● 詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

● リンク先

表示中のページに、関連するページ（リンク先）へ進むことができるように設定されている場合があります。

● 画像にリンク先が設定されている場合も同じ操作で選択することができます。

● ラジオボタン

選択肢の中から1つだけ選択することができます。◉が選択された状態です。

● チェックボックス

選択肢の中から複数の項目を選択することができます。☑が選択された状態です。

● テキストボックス

文字を直接入力することができます。テキストボックスを選択すると文字入力の画面が表示されます。

● プルダウンメニュー

選択肢の一覧から項目を選択することができます。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、プルダウンメニューを選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

おしらせ

- プルダウンメニューでは、サイトなどの作りによって□が表示され、複数の項目を選択できる場合があります。で□を移動させ、◉を押すごとに□内の項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わった後に［完了］またはCLRを押すと操作が完了します。

● セレクトボックス

選択肢の一覧から項目を選択することができます。サイトによっては、選択肢の一部だけが表示されている場合もあります。

前のページに戻る／進む

最大30ページまでキャッシュに取得済みの前のページに戻ったり、キャッシュに取得済みのページへ進むことができます。

1 前のページに戻るときは、次のページに進むときは

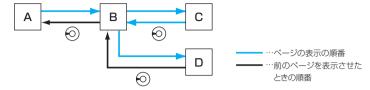
2つ前のページの画面

1つ前のページの画面

現在表示中のページの画面

おしらせ

- ⊙を続けて押すことにより、これまで表示したページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で⊙を押して前のページに戻り（「C」から「B」に戻る）、そのページからほかのページ（「B」から「D」）を表示させたときは、「D」から⊙を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

■画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

- キャッシュについて→P.210

情報を再読み込みする

表示中のページを新しい情報に更新します。

1 サイト画面の機能メニュー（P.213）▶「再読み込み」

おしらせ

- アンケートの回答などの送信完了画面で「再読み込み」をした場合、再度送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、一度送信した内容と同じものが再び送信されますのでご注意ください。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する〈電話帳登録〉

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録することができます。

<例：サイトに表示されている電話番号を登録するとき>

1 サイト画面の機能メニュー（P.213）▶「電話帳登録」▶「YES」▶電話帳に登録

「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111
「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

Flash画像の操作について

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存することができません。
- バイブレータ振動が設定されているFlash画像を再生した場合、「バイブレータ」の設定にかかわらず振動しますのでご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「◀⇕▶」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- 「端末情報データ利用設定」（P.232）を「利用する」に設定した場合は、登録データ（時刻、日付、電波状態、電池残量、着信音量、使用言語、機種種別、機種情報）を利用することができます。

おしらせ

- Flash画像を再度動作させたい場合は、サイト画面の機能メニューなどから「リトライ」を選択してください。→P.213
- Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、サイト画面の機能メニューから「サイト設定」の「効果音設定」を選択して、「効果音OFF」に設定してください。なお、「バイブレータ」が「メロディ連動」に設定されていても、Flash画像の効果音には連動しません。
- 「画面表示設定」でFlash画像を待受画面などに設定した場合、Flash画像に設定されている効果音やバイブレータ振動は動作しません。また、「リトライ」による再度動作もできません。
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

次ページにつづく

- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が異なることがあります。
- Flash画像によっては、バイブレータが有効に設定されていて振動するものがあります。このようなFlash画像を着信中画面、テレビ電話着信中画面、メール受信中画面に設定した場合は、「バイブレータ」や「マナーモード選択」の設定に従って振動します。ただし、待受画面、ウェイクアップ表示に設定した場合は、振動しません。
- Flash画像によっては、ニューロポインターでメニュー画面を選択できない場合があります。

〈マイメニュー〉
マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
- マイメニューは最大45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページに簡単に接続するには、「ブックマーク」（P.220）をご利用ください。

1 「サイト画面」（P.212）▶「マイメニュー登録」▶「iモードパスワード入力」のボックスを選択▶4桁のiモードパスワードを入力▶「決定」

iモードパスワードについて→P.218

おしらせ
- iMenuのメニューリスト内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 MENU▶iモード▶「iMenu」▶「マイメニュー」▶表示したいサイトを選択

おしらせ
- マイメニューからサイトに接続するためには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。
- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

〈iモードパスワード変更〉
iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定などをするときは、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
- iモードパスワードが変更されるまでは、「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、FOMA端末から自由にiモードパスワードを変更してください。
- iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただき、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 MENU▶iモード▶「iMenu」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のボックスを選択▶現在のiモードパスワードを入力

入力した数字は「*」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを入力

iモードパスワードは4桁の数字で入力してください。

4 「新パスワード確認」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを再度入力

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」を選択

■「現在のパスワード」が間違っている場合
iモードパスワードが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

■「新パスワード」と「新パスワード確認」が一致しない場合
iモードパスワードが一致しないことを通知するメッセージが表示されます。

インターネットホームページを表示する

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示できます。

- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- インターネットホームページを表示中の操作は、iモードのサイトと同じです。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- フルブラウザでパソコン向けのインターネットホームページを表示することもできます。→P.335

1 MENU ▶ iモード ▶「Internet」▶「URL入力」▶「<新規入力>」を選択

2 URLを入力▶「OK」

入力したURLのサイトを表示できない可能性があることを通知するメッセージが表示されます。◉または CLR を押すと、入力したURLのインターネットホームページに接続します。

■「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない場合

URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- 接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 受信したデータが取得可能な1ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。◉を押すと、取得したところまでのデータが表示される場合があります。
- 表示したページをブックマーク、画面メモ、デスクトップアイコン、ホームURLに登録することができます。
- ページを表示中にURLを入力する場合は、機能メニューから「URL入力」を選択し、URLを入力します。
- URLに入力できる文字数は、「http://」または「https://」を含めて半角256文字までです。

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。

1 MENU ▶ iモード ▶「Internet」▶「URL入力」

「URL入力画面」が表示されます。

2 URL番号を選択▶「OK」▶「OK」

■ 選択したURLを編集する場合

▶「Internetアドレス」のボックスを選択▶URLを編集

URL入力画面

機能メニュー➡P.219

おしらせ

- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。
- URL履歴は「http://」または「https://」を除いた半角22文字までが表示されます。

URL入力画面の機能メニュー

デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147	
iモードメール作成	選択したURLを本文に貼り付けたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251	
ホーム登録	選択したURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。	
削除	URLを削除します。	
	1件削除	反転表示したURLを削除します。
	選択削除	▶Ⓞで□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」 複数のURLを削除できます。
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されているURLをすべて削除します。

〈ブックマーク〉
インターネットホームページやサイトを登録して素早く表示する

よく見るインターネットホームページやサイトをすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。
● 登録したブックマークは、タイトルを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。

ブックマークに登録する

● ブックマークは、100件まで登録できます。
● 登録できる1件あたりのURLの文字数は、半角256文字までです。256文字を超えるページは、ブックマークに登録できません。
● シークレットフォルダ内には通常のBookmarkとは別に10件まで登録できます。
● サイトによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

<例：サイト表示中の場合>

1 サイト画面の機能メニュー（P.213）▶「Bookmark登録」▶「YES」▶フォルダ番号を選択

おしらせ
● ブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。
● ブックマークを登録するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録したブックマークからサイトを表示したときは入力されていません。

ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する

1 MENU ▶ iモード ▶「Bookmark」
「Bookmarkフォルダ一覧画面」が表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面
機能メニュー➡P.221

2 フォルダ番号を選択
「Bookmark画面」が表示されます。

3 ブックマーク番号を選択

Bookmark画面
機能メニュー➡P.221

おしらせ
● ブックマークの一覧から表示したページのタイトルは、利用した順に表示されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

お買い上げのときにすでにある「Bookmark」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

フォルダ追加	**▶フォルダ名を入力** 追加作成できるフォルダは9個までです。入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。
フォルダ名編集	**▶フォルダ名を入力** 入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。
フォルダ並び替え	**▶移動先を選択** フォルダを並び替えます。
登録件数確認	すべてのフォルダ内のブックマークの件数を表示します。ただし、シークレットフォルダ内の件数は表示されません。
赤外線全送信	すべてのブックマークを赤外線送信します。 「データをまとめて転送する」→P.386
miniSDへ全コピー	登録されているブックマークをすべてminiSDメモリーカード へコピーします。ただし、シークレットフォルダのブックマークはコピーされません。
フォルダ削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 反転表示したフォルダとそのフォルダ内のブックマークを削除します。
Bookmark全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** ブックマークをすべて削除します。ただし、ブックマークのフォルダ、シークレットフォルダ内のブックマークは削除されません。

おしらせ

- ブックマークのフォルダにセキュリティをかけることはできません。
- シークレットモードおよびシークレット専用モード設定中は、シークレットフォルダを含んだすべてのフォルダが表示されます。

<フォルダ追加>
- 追加作成したフォルダは既存のフォルダの一番下に追加されます。
- フォルダ名を入力しないとフォルダを追加作成できません。
- フォルダを追加してもシークレットフォルダの位置は変わりません。

<フォルダ名編集>
- 同じ名前のフォルダも登録できます。

<赤外線全送信>
- シークレットフォルダ内のBookmarkは送信されません。

<Bookmark全削除>
- ブックマークが1件も登録されていない場合でも操作できます。

Bookmark画面の機能メニュー

フォルダ移動	ブックマークを移動します。	
	1件移動	**▶フォルダ番号を選択▶「YES」** 反転表示したブックマークを移動します。
	選択移動	**▶フォルダ番号を選択▶でブックマークの□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」** ブックマークを別のフォルダに移動させて種類別に管理することができます。
	全移動	**▶フォルダ番号を選択▶「YES」** フォルダ内に登録されているブックマークをすべて移動します。
タイトル編集	**▶タイトルを入力** 入力できる文字数は、全角12文字、半角24文字までです。	
デスクトップ貼付	ブックマークのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。 「デスクトップアイコンを利用する」→P.147	
iモードメール作成	ブックマークのURLをiモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251	
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385	
miniSDへコピー	ブックマークをminiSDメモリーカードにコピーします。	
	1件コピー	反転表示したブックマークをコピーします。
	選択コピー	**▶でブックマークの□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」** 複数のブックマークをコピーできます。
	全コピー	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** フォルダ内に登録されているブックマークをすべてコピーします。
ホーム登録	ブックマークのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。	

次ページにつづく

URLコピー		▶✥でコピーする部分の先頭の文字を反転表示▶◉▶✥でコピーする部分の最後の文字を反転表示▶◉ ブックマークのURLをコピーします。
登録件数確認		フォルダ内のブックマークの件数を表示します。
削除		ブックマークを削除します。
	1件削除	反転表示したブックマークを削除します。
	選択削除	**▶✥で□（チェックボックス）を選択▶◔［完了］▶「YES」** 複数のブックマークを削除できます。
	全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** フォルダ内に登録されているブックマークをすべて削除します。
シークレットに保管※		「各種データを表示できないようにする」→P.158

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.158

おしらせ

＜フォルダ移動＞
- シークレットフォルダへ移動することはできません。

＜タイトル編集＞
- タイトルを削除して◉を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。

＜デスクトップ貼付＞
- デスクトップに貼り付けたブックマークは、シークレットフォルダに保管してもデスクトップアイコンから表示できます。

＜全削除＞
- 「全削除」で削除されるのは表示しているフォルダ内のブックマークです。ほかのフォルダのブックマークは削除されません。
- シークレットフォルダ内のブックマークは削除されません。

＜シークレットに保管＞
- 1回の操作でシークレットフォルダに移動できるブックマークは1件だけです。

〈画面メモ〉

サイトの内容を保存する

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存しておくことができます。

- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量により2～100件と変動します。

画面メモを保存する

1　サイト画面の機能メニュー（P.213）▶「画面メモ保存」▶「YES」

おしらせ
- SSL対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。
- 画面メモのタイトルは全角11文字、半角22文字までが保存され、超えた部分は削除されます。
- 同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
- サイト画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。
- データ取得完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。ただし、再生期限付きのiモーションのデータ取得完了画面は、画面メモとして保存できません。
- データ取得完了画面以外は、そのページのURLを半角256文字まで保存します。

画面メモを表示する

1 「画面メモ」

「画面メモ一覧画面」が表示されます。

画面メモ一覧画面

機能メニュー➡P.223

2 **画面メモ番号を選択**

画面メモ（画面メモ詳細画面）が表示されます。

画面メモ
（画面メモ詳細画面）

機能メニュー➡P.224

おしらせ

- 画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。
- 保存したページにタイトルがないときは、画面メモ一覧画面で「無題」と表示されます。

画面メモ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	**▶タイトルを入力** 入力できる文字数は全角11文字、半角22文字までです。	
保護／保護解除	画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「🔑」が表示されます。保護解除すると、「🔑」の表示が消えます。なお、保護されている画面メモは削除できません。	
保存件数確認	保存されている画面メモの件数と、そのうち、保護されている画面メモの件数を表示します。	
削除	画面メモを削除します。	
	1件削除	反転表示した画面メモを削除します。
	選択削除	**▶Ⓞで□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」** 複数の画面メモを削除できます。
	全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 登録されている画面メモをすべて削除します。

おしらせ

<保護／保護解除>
- 保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

<タイトル編集>
- タイトルを削除した場合は、「無題」と登録されます。

<削除>
- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

画面メモ詳細画面の機能メニュー

画像保存	画面メモに表示されている画像や背景画像を保存することができます。「通常画像」または「背景画像」を選択できます。 「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.224	
電話帳登録	画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112	
タイトル編集	▶**タイトルを入力** 入力できる文字数は全角11文字、半角22文字までです。	
保護／保護解除	画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「 」が表示されます。保護解除すると、「 」の表示が消えます。なお、保護されている画面メモは削除できません。	
スクロールモード	スクロールモードにします。→P.215	
iモードメール作成	画面メモのURLを貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成することができます。	
	URL貼付	画面メモのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
	画像添付	▶**画像を選択** 画面メモに表示されている画像を添付してiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
	画像挿入	▶**画像を選択** 画面メモに表示されている画像が本文中に挿入されたデコメールを作成します。 「デコメールを作成して送信する」→P.257
スケジュール参照登録	画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。 「スケジュールを登録する」→P.411	
辞典検索	画面メモから辞典を利用します。 「その他の機能から辞典を利用する」→P.422	
URL表示	画面メモのURLを表示します。	
証明書表示	画面メモがSSL対応ページの場合にSSL証明書の内容を表示します。	
効果音設定	Flash画像の効果音について設定します。「効果音ON」または「効果音OFF」を選択します。	
リトライ	画面メモに表示されているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。	
削除	表示中の画面メモを削除します。	

おしらせ

＜URL表示＞
- 表示されたURLの編集はできません。

＜リトライ＞
- 再生中に選択すると、画像を最初から再生します。

＜削除＞
- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

〈画像保存〉
サイトやメッセージから画像を取得する

表示中のサイト、メッセージRやメッセージFから画像を保存すると、待受画面などに設定できます。
- サイトや画面メモ、iモードメールに表示または添付されている画像や背景画像、アニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。

＜例：サイトに表示されている画像を保存するとき＞

1 **サイト画面の機能メニュー（P.213）▶「画像保存」▶「通常画像」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダ番号を選択**

保存する画像に □ を合わせます。

■ **背景画像を保存する場合**
▶「画像保存」▶「背景画像」▶「YES」▶フォルダ番号を選択

■ **メッセージR、メッセージFから画像を保存する場合**
▶メッセージ詳細画面の機能メニュー（P.237）▶「画像保存」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダ番号を選択

2 「YES」▶項目を選択

■待受画面などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

● 横または縦の最大が2,304ドットを超えるJPEG画像、総ドット数が2,304×1,728ドットを超えるJPEG画像、横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるGIF画像は保存できません。
● 横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像は保存できません。
● ファイル容量が100Kバイトを超える画像は保存できません。
● 保存された画像のファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合などは、「imageXXX」(XXXは数字)のファイル名で保存されます。
● 「画像表示設定」を「表示しない」に設定しているときは保存できません。また、「 」が表示されている場合も保存できません。
● 大容量静止画を受信中に画像を保存しようとした場合は、大容量ファイル受信中で操作できないことを表す確認画面が表示されます。
● アニメーションGIFファイルではない透過GIFファイルで、ファイルの拡張子が「ifm」の画像は、以下の画像サイズによって、フレームまたはスタンプとして保存されます。
  ・フレームは画像サイズがCIF(352×288)、CIF縦(288×352)、QVGA(320×240)、フルスクリーン(240×345、345×240)、待受(240×320)、QCIF(176×144)、QCIF縦(144×176)、SubQCIF(128×96)、SubQCIF縦(96×128)の画像
  ・スタンプはフレーム画像以外の240×240ドット以下の画像

■お願い

● 保存した画像は、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.513)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用してパソコンに転送して保管することもできます。(メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は、miniSDメモリーカードに保管したりパソコンに転送できません。)
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ プログレッシブJPEG形式の画像とは

プログレッシブJPEG形式の画像とは、サイトやインターネットホームページなどの画像に利用されているJPEG形式の1つです。最初は画像全体が粗く表示され、徐々に鮮明に表示されます。

〈iメロディ〉
サイトからメロディをダウンロードする

サイトから保存した最新のメロディやお好みのメロディ、またiモードメールに添付されているメロディを保存すると、着信音などに設定することができます。

● メロディは最大400件まで保存できます(実際に保存できる件数は、保存されているメロディのデータ量により少なくなる場合があります)。

<例:サイトからメロディを保存するとき>

1 「サイト画面」(P.212)▶メロディを選択

2 「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■メロディを再生する場合
▶「再生」

■メロディの情報を表示する場合
▶「情報表示」

3 「YES」▶項目を選択

■着信音などに設定しない場合
▶「NO」

iモード/iモーション　iメロディ

次ページにつづく

おしらせ

- 接続するサイトやメロディのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが演奏されます。
- データ取得完了画面のURLは「ラストURL」に記憶されません。この場合、「ラストURL」はデータ取得完了画面の前に表示していたページのURLになります。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- 保存されたメロディのファイル名が半角英数字のみの場合は、そのファイル名で半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合などは、「melodyXXX」(XXXは数字)のファイル名で保存されます。
- ダウンロードしたメロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定された音量で再生されます。
- 大容量静止画を受信中にメロディを保存しようとした場合は、大容量ファイル受信中で操作できないことを表す確認画面が表示されます。

■お願い

- 保存したメロディは、miniSDメモリーカードに保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.513)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用してパソコンに転送して保管することもできます。(メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディは、miniSDメモリーカードに保管したりパソコンに転送できません。)
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

サイトからドキュメント(PDFデータ)をダウンロードする

サイトからPDF形式で作成されたドキュメントをダウンロードして表示します。

- ドキュメントは最大400件まで保存できます(実際に保存できる件数は、保存されているドキュメントのデータ量により少なくなる場合があります)。

1 「サイト画面」(P.212)▶ドキュメントファイルを選択▶◉

最初にすべてのデータを取得するドキュメントの場合、すべてのデータを取得すると「ドキュメント画面」(P.388)が表示されます。
ページ単位でデータを取得するドキュメントの場合、最初に取得したページが表示されます。以降は、まだ取得していないページに移動しようとするたびにデータの取得が行われます。
ドキュメントを閲覧するときの操作について→P.389

■ダウンロード中にダウンロードを中止する場合

▶◯[中止]またはCLR
途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選択するとダウンロードしたところまでが保存されます。この場合、後で残りすべてのデータを追加でダウンロードできます。→P.226

■パスワード入力画面が表示された場合

ドキュメントに設定されているパスワードを入力してください。

■ドキュメントを保存する場合

▶◯[機能]▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択
最初にすべてのデータを取得するドキュメントの場合は、すべてのページが保存されます。ページ単位でデータを取得するドキュメントの場合は、取得したところまでのデータ(ページ)が保存されます。まだ取得していないページは、後から追加でダウンロードできます。→P.226

■ドキュメントの表示を終了する場合

▶CLR
ドキュメントを保存していない場合は、終了するかどうかのメッセージが表示されますので、保存せずに終了する場合は「YES」を選択します。保存する場合は「NO」を選択し、上記の「ドキュメントを保存する場合」を参照してください。

●部分的に取得したドキュメントを追加でダウンロードする

部分的に取得したドキュメントを保存した場合、残りのページ(データ)は、後から追加でダウンロードできます。ダウンロードの方法はドキュメントの取得状態により異なり、「ドキュメント一覧画面」(P.388)のアイコン表示で識別できます。

アイコン	説明
PDF、PDF	すべてのページがダウンロード済みです(追加ダウンロードは不要)。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

アイコン	説明
PDF	ページ単位で部分的に取得したドキュメントです。残りのデータは、ページ単位または一括でダウンロードできます。
PDF、PDF	データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかったドキュメントです。残りのデータを取得することでドキュメントを表示できるようになります（データによっては閲覧可能なドキュメントにならない場合があります）。

<ページ単位で部分的に取得したドキュメントの場合（「PDF」）>

1 「ドキュメント一覧画面」（P.388）▶表示したいドキュメントを選択

ダウンロードすることがあるというメッセージが表示された後、「ドキュメント画面」（P.388）が表示されます。

2 ［ツール］▶ツールバーのを押し、まだ取得していないページを表示する

まだ取得していないページを表示しようとすると、サイトに接続して該当ページがダウンロードされます。
ドキュメントを閲覧するときの操作について→P.389

■取得するページ番号を指定してダウンロードする場合

▶ツールバーのページ番号表示を選択▶表示したいページを入力

■残りすべてのデータを一括でダウンロードする場合

▶［機能］▶「残り全てを取得」▶「YES」

■ドキュメントを保存する場合

▶［機能］▶「保存」▶「YES」

新たに取得したページが含まれた状態で保存されます。

<データの取得が中断されたなどの理由により、一部のデータしか取得できなかったドキュメントの場合（「PDF」、「PDF」）>

1 「ドキュメント一覧画面」（P.388）▶表示したいドキュメントを選択

ドキュメントが表示される前に、残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示されます。

2 「YES」

サイトに接続して、残りすべてのデータのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終わると「ドキュメント画面」（P.388）が表示されます（データによっては閲覧可能なドキュメントにならず、表示されない場合があります）。
ドキュメント一覧画面で機能メニューから「残り全てを取得」→「YES」→「YES」を選択しても追加ダウンロードできます。

■ドキュメントを保存する場合

▶［機能］▶「保存」▶「YES」

保存後は、アイコン表示が「PDF」または「PDF」に変わります。

おしらせ

- ドキュメントによっては、表示に時間がかかることがあります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- データ量の大きいドキュメントをダウンロードする場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
- 500Kバイトを超えるドキュメントをダウンロードする場合は、ダウンロードするかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 2Mバイトを超えるドキュメントおよびサイズが不明のドキュメントはダウンロードできません。
- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ダウンロードするドキュメントと同じ定義ファイル（PDF識別用の情報ファイル）を持つドキュメントがFOMA端末内（miniSDメモリーカード内を除く）に保存されている場合は、同じドキュメントと見なされるため、ダウンロードされず、FOMA端末内のドキュメントが表示されます。
- 対応していないドキュメントをダウンロードしようとすると、ダウンロードが実行されず、「」のみの画面が表示されることがあります。この場合、を押すと元の画面に戻ります。
- 残りすべてのデータを追加でダウンロードする場合、ダウンロードが中断されたときは、途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選ぶと、取得したところまでのデータが保存されます。
- INBOX、ユーザ作成フォルダへ保存されたドキュメントのファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合などは、「pdfXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。miniSDメモリーカードへ保存されたドキュメントのファイル名は、常に「PDFDCXXX.PDF」（XXXは数字）で保存されます。

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからお好みのキャラ電をダウンロードして保存できます。

- キャラ電はあらかじめ登録されているデータを含めて10件まで保存できます。
- あらかじめ登録されているキャラ電を削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。
  右のQRコードを読み取って接続することもできます。
  「みんなNらんど」への接続のしかた→P.212
- ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用しているときは、FOMAカード動作制限機能がかかります。→P.43

1 「サイト画面」(P.212)▶キャラ電を選択

2 「保存」▶「YES」

■キャラ電を再生する場合
▶「再生」
キャラ電の操作方法について→P.365

■キャラ電の情報を表示する場合
▶「情報表示」

おしらせ

- 1件につき100Kバイトまでのキャラ電をダウンロードすることができます。

サイトからデータファイルをダウンロードする

サイトから辞書、フェイススタンプやデコメールのテンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

- 辞書は最大5件まで、フェイススタンプやデコメールピクチャなどの画像は撮影した静止画などと合わせて最大720件まで、デコメールテンプレートはあらかじめ登録されているデータと合わせて最大45件まで、保存できます(実際に保存できる件数は、保存されているデータのデータ量により少なくなる場合があります)。

<例:サイトから辞書ファイルをダウンロードするとき>

1 「サイト画面」(P.212)▶データファイルを選択

2 「保存」▶「YES」

■辞書の情報を表示する場合
▶「情報表示」

■保存されている辞書がいっぱいの場合
▶削除する辞書を選択▶「YES」
選択した辞書に上書きされて、辞書が登録されます。

おしらせ

- テンプレートに装飾が1つもない場合は、保存できません。
- テンプレートのファイル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)。
- 接続するサイトやデータファイルのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。

〈Phone To・Mail To・Web To機能〉

Phone To・Mail To・Web To機能を使う

サイトのページやメールなどに表示されている情報(電話番号、メールアドレス、URL)を利用して、簡単な操作で音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信したり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示することができます。

- パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。

Phone To機能

サイトのページやメール、ドキュメント（PDFデータ）に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信することができます。

- テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。
- サイトによっては、Phone To機能をご利用になれない場合があります。
- 電話番号として使える桁数は26桁までです。

＜例：サイトの画面で音声電話をかけるとき＞

1 「サイト画面」（P.212）▶電話番号を選択

2 「音声発信」

発信種別選択
03XXXXXXXX
選択してください
1 音声発信
2 テレビ電話発信
3 プッシュトーク発信
4 テレビ電話画像選択

■ テレビ電話をかける場合
▶「テレビ電話発信」

■ プッシュトークを発信する場合
▶「プッシュトーク発信」
1対1通話のみ可能です。

3 「発信」

電話発信
03XXXXXXXX
発信しますか？
1 発信
2 中止
3 発番号設定
4 国際電話発信

■「発信者番号通知設定」が「通知する」のときに電話番号を通知しないでかける場合
▶「発番号設定」▶「通知しない」

■「発信者番号通知設定」が「通知しない」のときに電話番号を通知してかける場合
▶「発番号設定」▶「通知する」

■「発信者番号通知設定」の設定に従ってかける場合
▶「発番号設定」▶「発番号設定消去」

おしらせ

- 電話番号を表す数字列以外でも、電話番号が登録された項目（「ご連絡はこちら」など）を使ってPhone To機能を利用できる場合もあります。
- 受信メールの送信元や送信メールの宛先が電話番号や「電話番号＠･･･」の場合、その送信元や宛先を選択して電話をかけることができます。
- フルブラウザ画面でPhone To機能は利用できません。

Mail To機能

サイトのページやメール、ドキュメント（PDFデータ）、フルブラウザ画面に表示されているメールアドレスにメールを送ることができます。

- サイトによっては、Mail To機能をご利用になれない場合があります。
- 保存メールが20件ある場合は、Mail To機能を利用できません。
- メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。

＜例：受信メール詳細画面でメールを送信するとき＞

1 「受信メール詳細画面」（P.283）▶メールアドレスを選択

2 iモードメールを作成して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.251の操作3～7を参照してください。

次ページにつづく

おしらせ

- メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。
- メールアドレス以外でも、メールアドレスが登録された項目（「ご連絡先はこちら」など）を使ってMail To機能を利用できる場合もあります。

Web To機能

サイトのページやメール、ドキュメント（PDFデータ）、フルブラウザ画面に表示されているURLのインターネットホームページを表示できます。

- サイトによっては、Web To機能をご利用になれない場合があります。
- URLとして使える文字数は半角512文字までです。

<例：受信メール詳細画面からページを表示するとき>

1 「受信メール詳細画面」（P.283）▶URLを選択▶「YES」

おしらせ

- URLの表示はサイトにより異なります。
- URL以外でも、URLが登録された項目（「詳しくはこちら」など）を使ってWeb To機能を利用できる場合もあります。

iモードの設定を行う

1 MENU▶（iモード）▶「iモード設定」

「iモード設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

iモード設定画面

<table>
<tr><td>スクロール設定
（お買い上げ時：1行スクロール）</td><td colspan="2">サイトのページ、画面メモ、メッセージRやメッセージFの詳細画面のスクロール行数を設定します。</td></tr>
<tr><td>文字サイズ設定
（お買い上げ時：標準表示）</td><td colspan="2">サイトのページ、画面メモ、メッセージRやメッセージFの詳細画面の文字サイズを設定します。</td></tr>
<tr><td>画像表示設定
（お買い上げ時：表示する）</td><td colspan="2">サイトのページ、画面メモ、メッセージRやメッセージFの詳細画面の画像表示について設定します。「表示しない」を設定した場合は表示されない画像の代わりに「」のアイコンが表示されます。メッセージR、メッセージFの詳細画面では、添付された画像が「」で表示されます。また、Flash画像は表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">iモーション設定</td><td colspan="2">iモーションについて設定します。</td></tr>
<tr><td>自動再生設定</td><td>「iモーションを自動再生するかどうかを設定する」→P.243</td></tr>
<tr><td>iモーションタイプ設定</td><td>「取得するiモーションのタイプを設定する」→P.243</td></tr>
<tr><td>iチャネル設定</td><td colspan="2">iチャネルのテロップ表示および速度についての設定を行います。
「iチャネルの設定を行う」→P.328</td></tr>
<tr><td>メッセージ自動表示設定
（お買い上げ時：メッセージR優先）</td><td colspan="2">自動的に表示するメッセージについて設定します。</td></tr>
<tr><td>添付ファイル自動再生設定
（お買い上げ時：自動再生する）</td><td colspan="2">メッセージR、メッセージFを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

端末情報データ利用設定 （お買い上げ時：利用する）	「Flash画像で登録データを利用するかどうかを設定する」→P.232	
メッセージ一覧表示設定 （お買い上げ時：2行表示）	メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。	
ホームURL設定	ホーム表示を利用するための設定をします。 URLに入力できる文字数は半角256文字までです。	
	無効 （お買い上げ時）	ホーム表示設定を無効にします。
	有効	ホーム表示設定を有効にします。 ホームURL欄を選択して、登録したいURLを入力します。
効果音設定 （お買い上げ時：効果音ON）	サイトのページや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうか設定します。	
iモード設定確認	「iモード設定」で設定した内容を確認できます。	
ラストURL初期化	記憶されているラストURLを初期化します。初期化するとラストURLはiMenu画面のURLになります。	
iモード設定リセット	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 「iモード設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。	

おしらせ

<スクロール設定>
- 証明書表示時は、本機能の設定にかかわらず1行スクロールで表示されます。

<画像表示設定>
- 「表示する」に設定していても、画像を取得できなかった場合は、「 」が表示されます。

<効果音設定>
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<ラストURL初期化>
- お買い上げのとき、または「iモード設定リセット」をした後やラストURLを初期化した後に「ラストURL」を選択すると、iMenu画面が表示されます。

接続待ち時間を設定する〈接続待ち時間設定〉

お買い上げ時 60秒間

サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 MENU▶各種設定▶「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」▶項目を選択

「60秒間」、「90秒間」、または「無制限」から選択します。

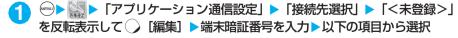
おしらせ
- 「無制限」に設定したときでも、電波状況によっては通信が切断されることがあります。

iモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先選択〉

お買い上げ時 iモード

※通常は設定を変更する必要はありません。

iモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。「iモード」以外の接続先に変更すると、iモードやiモードメールをご利用できなくなります。
- 接続先は「iモード」のほかに10件まで登録できます。

1 MENU▶各種設定▶「アプリケーション通信設定」▶「接続先選択」▶「<未登録>」を反転表示して［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

接続先名称	接続先名称を設定します。入力できる文字数は全角9文字、半角18文字までです。
接続先番号	接続先番号を設定します。入力できる文字数は半角99文字までです。
接続先アドレス	接続先アドレスを設定します。入力できる文字数は半角30文字までです。
接続先アドレス2	接続先アドレス2を設定します。入力できる文字数は半角30文字までです。

次ページにつづく

2 設定が終わったら◯［完了］

おしらせ

- iモード中は、接続先を変更することはできません。iモードを終了してから接続先を変更してください。
- 「iモード」以外の接続先に接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、削除する接続先を選択して、機能メニューから「削除」を選択し、端末暗証番号を入力し、「YES」を選択します。接続先に設定されていた場合は、接続先は「iモード」に戻ります。
- 接続先を登録したときと異なるFOMAカードを入れた場合は、接続先が「iモード」に戻ることがあります。
- 接続先変更をした場合、iチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 接続先を変更すると、iチャネルの情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、ch を押してチャネル一覧を表示してください。

Flash画像で登録データを利用するかどうかを設定する〈端末情報データ利用設定〉

Flash画像を動作させるときに登録データを利用するかどうかを設定します。

- Flash 画像によっては、登録データを利用するものがあります。登録データを画像が利用するためには、「iモード設定」の「端末情報データ利用設定」を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する登録データには以下のものがあります。
  - ・電池残量　　・着信音量設定
  - ・受信レベル　・バイリンガル設定
  - ・日付時刻情報　・機種情報

1 「iモード設定画面」(P.230) ▶「端末情報データ利用設定」▶ 項目を選択

「利用する」または「利用しない」を選択します。

〈メッセージ受信〉

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR、メッセージFがiモードセンターから自動的に送られてきます。

- 受信したメッセージR、メッセージFは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます。メッセージR、メッセージFの保存可能件数はデータ量により、メッセージRが20～100件、メッセージFが10～100件と変動します。
- メッセージR、メッセージFを受信したときの着信音を「着信音選択」(P.128) でお好みの音に設定したり、着信ランプの点滅パターンを「着信イルミネーション」(P.144) で変更できます。
- SMSの受信については、P.308を参照してください。

新着メッセージを表示する

- 自動表示しないようにするときは、「メッセージ自動表示設定」(P.230) を「自動表示しない」に設定してください。

「R（緑色）」や「F（紫色）」のアイコンが点滅し「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

- ・受信が終わると、アイコンは点灯に変わります。
- ・受信中にCLRを1秒以上押すと、受信を中止します。ただし、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。

- ・受信が終わると、受信結果画面に受信したメールやメッセージR、メッセージFの件数が約15秒間表示されます。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」(P.132) の設定によって変わる場合があります。
- ・「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR一覧画面またはメッセージF一覧画面が表示されます。

- 待受画面表示中に受信した場合、受信したメッセージR、メッセージFの内容が約15秒間表示されます。ただし、メニュー機能を１つでも操作しているときにタスクエリアで待受画面を表示した場合は自動表示されません。
- メッセージR、メッセージF表示中に画面スクロールなどの操作をすると、メッセージR、メッセージFの内容が表示され続けます。
- 何も操作しないで約15秒経過すると待受画面に戻ります。

■ 自動表示しない場合

FOMA端末の操作中にメッセージR、メッセージFを受信したときは、受信結果画面が表示されます。

おしらせ

- メッセージR、メッセージFの自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。自動表示させたくない場合は「自動表示しない」に設定してください。
- 新しいメッセージR、メッセージFが届いたときは、iモードメールセンターに保管されているメッセージR、メッセージFやiモードメールも合わせて受信します。
- 待受画面以外を表示中、iアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）中、オールロック中、PIMロック中は、メッセージR、メッセージFを受信しても自動表示しません。
- メッセージR、メッセージFを受信したときに、すでに最大保存件数までメッセージR、メッセージFが保存されていた場合、未読または保護されているメッセージR、メッセージF以外で一番古いメッセージR、メッセージFから順に削除して受信します。
- 「 （赤色）」または「 （赤色）」のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上メッセージR、メッセージFを受信できません。不要なメッセージR、メッセージFを削除するか、これらのアイコンが表示されなくなるまで未読のメッセージR、メッセージFを読むことで受信できるようになります。
- 「 （緑色）」または「 （紫色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR、メッセージFが保管されています。iモード問い合わせをしてメッセージR、メッセージFを受信してください。
- 「 （赤色）」または「 （赤色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターのメッセージR、メッセージFがいっぱいです。不要なメッセージR、メッセージFを削除するか、未読のメッセージR、メッセージFを読んだ後に、iモード問い合わせをしてください。
- 自動表示後も、メッセージR一覧またはメッセージF一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中に画面スクロールなどの操作を行ったときは、メッセージR一覧またはメッセージF一覧画面では既読となります。
- 複数のiモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR、メッセージFを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- 待受画面以外を表示しているときにメッセージR、メッセージFを受信した場合で、「受信表示設定」（P.296）を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときにメッセージR、メッセージFを受信した場合は、イメージウィンドウに表示されます。
- iモーションの再生中にメッセージR、メッセージFを受信した場合は、映像や音声が途切れることがあります。
- メッセージR、メッセージFに添付されているトルカからトルカ（詳細）を取得することができます。

メッセージR、メッセージF画面の見かた

メッセージR、メッセージF画面は、以下のように表示されます。

● メッセージR、メッセージF一覧画面で表示されるアイコンは、メッセージR、メッセージF詳細画面でも表示されます。表示されないアイコンもあります。

一覧画面 （2行表示）

一覧画面 （1行表示）

詳細画面

①メッセージR、メッセージFの状態を示しています。

- ：未読のメッセージR、メッセージF
- ：既読のメッセージR、メッセージF
- ：未読で保護されているメッセージR、メッセージF
- ：既読で保護されているメッセージR、メッセージF

②受信した時刻や日付を示しています。

②-1 当日受信したメッセージR、メッセージFは時刻が表示されます。

②-2 前日までに受信したメッセージR、メッセージFは日付が表示されます。

③添付または貼り付けられているファイルを示しています。

- ：メロディが添付または貼り付けられていることを示しています。
- ：複数のメロディが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付または貼り付けられているすべてのメロディのデータが正しくないことを示しています。
- ：画像が添付されていることを示しています。
- ：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付されているすべての画像のデータが正しくないことを示しています。また、メッセージ詳細画面では、「画像表示設定」(P.230)が「表示しない」に設定されているときに表示されます。
- ：複数のデータが貼り付けられていることを示しています。
- ：トルカが添付されていることを示しています。
- ：複数のトルカが添付されていて、そのうち、一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付されているすべてのトルカのデータが正しくないことを示しています。

以下のアイコンは、一覧画面が１行表示の場合に表示されます。

- ：添付または貼り付けられているデータがあることを示しています。
- ：添付または貼り付けられているデータのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
- ：添付または貼り付けられているすべてのデータが正しくないことを示しています。

④題名を示しています。

〈iモード問い合わせ〉

メッセージがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージR、メッセージF）問い合わせする

● iモードセンターに届いたメッセージR、メッセージFは自動的にFOMA端末へ送信されますが、以下の場合などはiモードセンターに保管されます。
- ・FOMA端末の電源が入っていないとき
- ・「圏外」が表示されているとき
- ・メッセージBOXが満杯のとき
- ・テレビ電話中／遠隔監視中
- ・セルフモード設定中
- ・プッシュトーク通信中
- ・FirstPassセンター接続中

● 問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」（P.297）で設定します。

1 MENU ▶ iモード ▶「iモード問い合わせ」

メール問い合わせ画面が表示されます。
iモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。
- ・ ［imode］▶「iモード問い合わせ」
- ・ ［MAIL］（1秒以上）
- ・ ［MAIL］▶「iモード問い合わせ」

問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。
問い合わせ中は「（青色）」「R（緑色）」「F（紫色）」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージR、メッセージFを受信します。
新しく受信したiモードメールとメッセージR、メッセージFの件数が表示されます。

■問い合わせを中止する場合

▶問い合わせ中にCLR（1秒以上）
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージR、メッセージFを受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージR､メッセージFの件数を確認

おしらせ

● 「R（緑色）」または「F（紫色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージRまたはメッセージFが保管されています。iモードセンターに保管されているメッセージRまたはメッセージFがいっぱいになると「R（赤色）」または「F（赤色）」のアイコンの表示になります。

● 「（赤色）」「（赤色）」「R（赤色）」「F（赤色）」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやSMS、メッセージR、メッセージFを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやSMS、メッセージR、メッセージFを削除するか、未読のメールやSMS、メッセージR、メッセージFを読むことで受信できるようになります。受信時には、既読の古いものから順に上書きされます。

● iモードセンターでのメッセージR、メッセージFの保管件数、保管期間は以下のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

● iモードセンターにメッセージ R、メッセージ F が保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「R（緑色）」または「F（紫色）」のアイコンが表示されないことがあります。

メッセージBOXのメッセージを表示する

● iモードセンターからFOMA端末にメッセージR、メッセージFが届くと画面の上部に「R（緑色）」や「F（紫色）」が表示されます。

1 MENU ▶ iモード ▶「メッセージ」▶「メッセージR」または「メッセージF」

「メッセージ一覧画面」が表示されます。

メッセージ一覧画面

機能メニュー➡P.236

2 表示したいメッセージを選択

「メッセージ詳細画面」が表示されます。
メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは◎を押します。
メッセージ詳細画面でCLRを押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

メッセージ詳細画面

機能メニュー➡P.237

おしらせ

● メッセージR、メッセージFに「OK」や「Cancel」などのボタンが表示されることがあります。表示されたときは、サイトなどと同じ操作を行ってください。

メッセージ一覧画面の機能メニュー

全表示	ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。	
ソート	指定した条件に従ってメッセージを並べ替えます。	
フィルタ	指定した条件に合うメッセージだけを表示します。	
保護／保護解除	メッセージR、メッセージFを保護／保護解除します。	
保護全解除	保護されているすべてのメッセージR、メッセージFを保護解除します。	
保存件数確認	保存されているメッセージR、メッセージFの件数および未読件数、保護件数を表示します。	
削除	メッセージR、メッセージFを削除します。	
	1件削除	反転表示したメッセージR、メッセージFを削除します。
	選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択▶◎［完了］▶「YES」 複数のメッセージR、メッセージFを削除できます。
	既読削除	既読のメッセージR、メッセージFを削除します。
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されているメッセージR、メッセージFをすべて削除します。

おしらせ

<ソート>
● ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば、未読メッセージだけを古い順に表示させたい場合は、フィルタメニューの「未読のみ」を選択し、ソートメニューの「古い順」を選択します。
● 元に戻すには「全表示」を選択します。
● ソート表示でメッセージR、メッセージF一覧を表示させた後にその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。

<フィルタ>
● 元に戻すには「全表示」を選択します。
● フィルタ機能でメッセージR、メッセージF一覧を表示させた後にその画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。
●「画像表示設定」が「表示しない」に設定されている場合、「画像のみ」は選択できません。

● フィルタ機能で指定したメッセージR、メッセージFだけを表示しているときに「既読削除」や「全削除」を選択すると、表示されているメッセージR、メッセージFから、既読またはすべての保護されていないメッセージR、メッセージFが削除されます。

＜1件削除＞
● 未読のメッセージR、メッセージFも削除できます。
● 保護されているメッセージR、メッセージFは削除できません。

＜選択削除＞
● 未読のメッセージR、メッセージFも削除できます。
● 保護されているメッセージR、メッセージFは削除できません。

＜既読削除＞
● 保護されている既読のメッセージR、メッセージFは削除されません。
● フィルタ機能で指定したメッセージR、メッセージFだけを表示しているときは、「既読削除」を選択すると一覧画面に表示されていて保護されていない既読のメッセージR、メッセージFのみが削除されます。

＜全削除＞
● 未読のメッセージR、メッセージFも削除されます。
● 保護されているメッセージR、メッセージFは削除されません。
● フィルタ機能で指定したメッセージR、メッセージFだけを表示しているときは、「全削除」を選択すると一覧画面に表示されていて保護されていないすべてのメッセージR、メッセージFのみが削除されます。

メッセージ詳細画面の機能メニュー

電話帳登録	メッセージR、メッセージFに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。 「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111 「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112
メロディ保存	メッセージR、メッセージFに添付または貼り付けられているメロディを保存します。
画像保存	メッセージR、メッセージFに添付されている画像を保存します。 「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.224
トルカ保存	メッセージR、メッセージFに添付されているトルカを保存します。
画像再読み込み	取得に失敗した画像を再度読み込みます。
保護／保護解除	メッセージR、メッセージFを保護／保護解除します。
削除	メッセージ詳細画面に表示中のメッセージR、メッセージFを削除します。

おしらせ

＜メロディ保存＞
● 添付されているメロディを選択すると、指定したメロディを再生できます。
● 通話中はメロディの再生ができません。
● 貼り付けメロディ保存時には、ファイル名ではなくタイトルが登録されます。メロディにタイトルが設定されていない場合は、ファイル名が登録されます。
● 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

＜画像再読み込み＞
● 再読み込みをしても画像を表示できないことがあります。
● 再読み込みするのは本文内画像のみです。添付画像は再読み込みしません。また、「（白黒）」が表示されている場合も、再読み込みをしません。

＜削除＞
● 保護されているメッセージR、メッセージFは削除できません。

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効/無効の設定をします。

   ▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」

2 証明書を選択▶証明書を確認

■ SSL証明書を有効または無効に設定する場合
▶証明書を反転表示▶［機能］▶「有効/無効設定」

おしらせ

● お買い上げ時は、すべての証明書が「有効」に設定されています。
●「有効」に設定すると、「」のアイコンが表示されます。「無効」に設定すると、「」のアイコンが表示されます。
●「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応ページが表示できなくなります。
● ドコモ証明書2は常に「有効」のため、「無効」に設定することはできません。

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスをご契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。

● FirstPassセンターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。
● FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
● FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.51
● FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

1 MENU ▶ iモード ▶「ユーザ証明書操作」▶内容を確認▶「次へ」

2「証明書発行」

■ はじめてFirstPassをご利用になる場合
「ご利用規則」を選択し、内容をよくお読みください。

■ 失効申請をする場合
「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。
PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 内容を確認▶「実行」

4 PIN2コードを入力
PIN2コードについて→P.153

5 メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」▶「メニュー」
確認のメッセージが表示されます。
ダウンロードが完了したら、FirstPassのメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● FirstPassセンターに接続する際のパケット通信料は無料です。
● FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
● FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
　・テレビ電話（音声電話は利用可）
　・プッシュトーク
　・iモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
　・iモード問い合わせ（SMS問い合わせは利用可）
　・スピードフォトメールの送受信
　・メッセージR、メッセージFの受信
　・iモーションの取得
　・Web To機能
● ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
● ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。
● 失効が完了した後にFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。
● ダウンロードしたユーザ証明書を確認する場合は、「SSL証明書を操作する」（P.237）をご覧ください。
● フルブラウザでもFirstPassをご利用できます。ただし、フルブラウザでFirstPass対応サイトに接続する際のパケット通信料は、「パケ・ホーダイ」の対象外となります。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1 「サイト画面」(P.212)▶ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」▶PIN2コードを入力

おしらせ

- FirstPass対応サイトに接続する際のパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。
- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できる場合がありますが、これらのサイトではお客様の個人情報(クレジットカード番号、連絡先など)を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択すると「SSL通信を切断しました」というメッセージが表示され、◉を押すと元の画面に戻ります。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

■ FirstPassご利用にあたって

・FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側がFOMA端末側を認証するクライアント認証が可能となります。

・FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付の「FOMA N902i用CD-ROM」のFirstPass PCソフトが必要です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

・ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。

・ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード(P.153)の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。

・FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。

・FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。

・FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

※通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」

2「<未登録>」を反転表示して［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から設定

初期画面URL	接続先の初期画面のURLを設定します。入力できる文字数は半角100文字までです。
接続先番号	接続先番号を設定します。入力できる文字数は半角99文字までです。

3 設定が終わったら［完了］

おしらせ

- 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、機能メニューから「削除」を選択します。

iモーションとは

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込みます。また、iモーションを着信音に設定することもできます。着モーション→P.128

●iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※）	データ取得後に再生（最大500Kバイトまで）	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中に再生（最大500Kバイトまで）	iモーションのデータを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データ取得中に再生（最大2Mバイトまで）	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生し終わったデータは破棄されるので、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※：iモーションによっては、保存できない場合があります。

おしらせ

- 再生できるiモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。
- ASF形式のiモーションは取り込むことができません。

サイトからiモーションを取得する

サイトからiモーションを取得して再生する

1 MENU▶ iモード ▶「iMenu」▶「メニューリスト」▶サイトの項目を選択

2 iモーションを選択

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

■ **中止する場合**

▶ ◯［中止］

■ **標準タイプのiモーションの場合**

「iモーション設定」の「自動再生設定」（P.243）で取得しながら自動再生するかどうかを設定できます。ただし、iモーションによっては取得後に再生される場合があります。

■ **ストリーミングタイプのiモーションの場合**

「iモーションタイプ設定」が「標準タイプ」に設定されている場合は取得することができません。

「このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください」と表示されたとき

・「iモーション設定」の「iモーションタイプ設定」（P.243）が「標準タイプ」に設定されています。機能メニューから「サイト設定」→「iモーションタイプ設定」を選択して「標準・ストリーミング」に設定を変更してから、再度iモーションを取得してください。

「ストリーミング再生しますか？」と表示されたとき

・「YES」を選択すると再生がはじまります。「NO」を選択するとサイトの画面に戻ります。

・「YES」を選択した後、再生中に中止したい場合は、◯［中止］を押します。

3 「再生」

取得したiモーションを再生します。

「iモーション再生中の操作について」→P.359

データ取得完了画面

機能メニュー➡P.242

おしらせ

- タイトルが付いていないiモーションは、データ取得完了画面で「無題」と表示されます。
- 接続するサイトやiモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- 標準タイプの場合は、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得した後に自動再生はされません。
- iモーションには再生制限が決められているものがあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限があるiモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているiモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているiモーションについては、再生することができません。「iモーション情報について」→P.359
- データを取得しながら再生する場合、電波状況等により再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。
- 取得したiモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
- 標準タイプのiモーションを取得しながら再生している場合（初回再生時のみ）は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。ストリーミング再生の場合は、これらの操作のほかに一時停止の操作もできません。◯［中止］を押すと中止します。
- 電波状況により、データ取得を中断した場合や、最大サイズを超えてデータを取得した場合は、データ取得完了画面の「再生」、「保存」、「情報表示」のいずれかが表示可能であれば、データを取得できなかったことを示すメッセージを表示した後、データ取得完了画面が表示されます。
- 電波状況により、データ取得中の再生が途中でとまったり、画像が乱れたりする可能性があります。標準タイプのiモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生することができますが、ストリーミングタイプのiモーションは再生できません。

データ取得完了画面の機能メニュー

画面メモ保存	表示中のデータ取得完了画面を画面メモに保存します。 「画面メモを保存する」→P.222

おしらせ

<画面メモ保存>

- iモーションは、データ取得完了画面を「画面メモ」（P.222）として保存し、画面メモから再生することもできます。ただし、以下のiモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
  - ・ 再生制限が設定されているiモーション
  - ・ ストリーミングタイプのiモーション
  - ・ データが不完全なiモーション
- 画面メモに保存したiモーションは、データBOXにあるiモーションのフォルダ内の一覧には含まれません。そのため、プログラム再生や待受画面設定などの機能は利用できません。

iモーションを保存する

データ取得完了画面で「保存」を選択できるiモーションは、FOMA端末に保存できます。

- iモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- iモーションはカメラでの撮影動画とあわせて最大100件まで保存できます。iモーションの保存可能件数は、iモーションのデータ量によって4～100件に変動します。
- iモーションのフォルダについて→P.344

1 「データ取得完了画面」（P.241）▶「保存」▶「YES」

■ 保存を中止する場合

▶「NO」

保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

2 保存先のフォルダを選択

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- タイトルが付いていないiモーションは一覧で「movieXXX」（XXXは数字）と表示されます。
- サイトなどから取得したiモーションなどを待受画面に設定することができます。→P.138
  iモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- 待受画面に設定したiモーションからPhone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。

iモーションの詳細情報を表示する

iモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認できます。

1 「データ取得完了画面」（P.241）▶「情報表示」

iモーション情報画面が表示されます。Ⓞで画面をスクロールし、再生できる残りの回数、再生期限、再生期間制限などの情報を確認します。
情報を確認したらCLRを押します。

iモーションについて設定する

iモーションを自動再生するかどうかを設定する〈自動再生設定〉

お買い上げ時
自動再生する

以下のときに、iモーションを自動的に再生するかどうかを設定できます。

- サイト画面からiモーションを取得したとき
- 受信メール画面からiモーションを取得したとき
- iモーション取得完了画面の画面メモを表示したとき
- 「自動再生設定」は、標準タイプのiモーションのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのiモーションは、本設定にかかわらず自動再生されます。
  iモーションのタイプについて→P.240

1 「iモード設定画面」(P.230)▶「iモーション設定」▶「自動再生設定」▶以下の項目から選択

自動再生する	iモーションを取得した後、自動再生します。一部のiモーションは、データを取得しながら再生します。
自動再生しない	iモーションを取得しても、自動再生せずにiモーション取得完了画面を表示します。

おしらせ

- 「自動再生しない」に設定すると、サイトから標準タイプのiモーションを取得した後や画面メモ一覧画面で標準タイプのiモーションを選択した場合は、自動再生をしないでデータ取得完了画面を表示します。

取得するiモーションのタイプを設定する〈iモーションタイプ設定〉

お買い上げ時
標準タイプ

サイトから新しいiモーションを取得するとき、取得するiモーションのタイプを設定します。

1 「iモード設定画面」(P.230)▶「iモーション設定」▶「iモーションタイプ設定」▶以下の項目から選択

標準タイプ	標準タイプのiモーションだけを取得します。
標準･ストリーミングタイプ	標準タイプおよびストリーミングタイプのiモーションを取得します。

おしらせ

- ストリーミングタイプのiモーションを取得する場合は、「iモーションタイプ設定」を「標準・ストリーミングタイプ」に設定する必要があります。設定していない場合は、iモーションタイプ設定の変更が必要なことを示すメッセージが表示され、ストリーミングタイプのiモーションを取得できません。

●メール

iモードメールとは

FOMA端末はiモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。
iモードメールをご利用いただくには「iモード」のご契約が必要です。
iモードメールの送信、受信方法について
→P.251、270

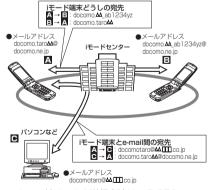
- iモードをご契約されていなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法について→P.306、308

●iモードメールについて

iモードをご契約されるだけで、iモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。
iモードご契約時のメールアドレスは以下のようになります。

■新規にiモードをご契約の場合

@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、iモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)　abc1234~789xyz@docomo.ne.jp
<お客様のメールアドレスの確認方法>
Menu画面▶8 オプション設定▶メール設定▶「アドレス確認」

・iモード端末（mova含む）間でメールをやりとりするときは、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
・パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、「@docomo.ne.jp」も含めたアドレス全体を使用します。

・iモードメールの送信方法は→P.251
・iモードメールの受信方法は→P.270

■メール選択受信

iモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にiモードセンターでメールを削除することができます。→P.272

■メール設定を行う

以下の各種設定を行うことができます。

<設定方法>
Menu画面▶8 オプション設定▶メール設定▶「各設定」

※詳細は iモードご契約時にお渡ししいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。

■メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

■メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】

現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

■シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）▶シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）▶アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。

■迷惑メール対策

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① 受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶受信／拒否設定】
　・ドコモ、au、ボーダフォン、TU - KA、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
　また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯・PHSドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

② SMS拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶SMS拒否設定】
- 受信する SMS を制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つの中から選択いただけます。また設定の状況を確認することができます。

③ iモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）▶iモードメール大量送信者からのメール受信制限】
- 1日に1台のiモード端末（mova 端末含む）から送信される200通目以降のiモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）▶未承諾広告※メール拒否】
- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）

■メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するiモードメールを制限することができます。

■設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用されない場合、iモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

■迷惑メールを防ぐために
メールアドレス変更や、アドレス指定受信／拒否などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

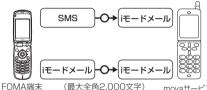
●SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

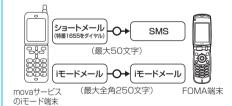
●3種類のメール機能の送受信について

FOMA端末 ⇒ FOMA端末へ

FOMA端末 ⇒ movaサービスのiモード端末へ

FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのiモード端末ではiモードメールとして受信されます。

※：「SMS送達通知設定」（P.308）を「要求する」に設定した場合は、movaへSMSを送ることはできません。

movaサービスのiモード端末 ⇒ FOMA端末へ

mova サービスの iモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。

※：ショートメールとは、ドコモの携帯電話どうしで文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末では、movaサービスのiモード端末などから送られてきたショートメールをSMSとして受信します。

● 送受信できる文字数

iモードメール、SMSで送受信できる文字数は、それぞれ以下のとおりです。

■iモードメール

項目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	−	50文字
本文	5,000文字※	10,000文字※

※：メロディ、画像、iモーション、トルカなどのファイルを添付した場合は、送受信可能な本文文字数は少なくなります。また、デコメールで送信できる文字数は、規定の半分以下の文字数になります。

■SMS（ショートメッセージ）

送信文字種の設定により、最大文字数が異なります。

「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.306

項目	SMS本文入力設定「日本語入力」	SMS本文入力設定「半角英数入力」
宛先	20文字（数字のみ）※1	
本文	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）または半角文字（英字、数字、カタカナなど）70文字※2	半角文字（英字、数字）160文字※3

※1：先頭に半角の「+」を含めた場合は21文字。
※2：半角／全角問わず70文字となります。
※3：記号（| ^ {} [] ~ \ €）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

おしらせ

- iモードメールの本文は全角5,000文字（10,000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。iモードメールで対応していない添付ファイルの送受信はできません。iモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。このとき本文の先頭に［添付ファイル削除］の文字が追加されます（［添付ファイル削除］も含めて、受信可能な文字数まで受信できます）。
- iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- movaサービスのiモード端末へiモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2,000文字までです。また、iショット・iモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- iモードメールの題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- iモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

● メールを受信できないとき

iモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のiモード端末に送信されます。ただし、お客様のiモード端末の電源が入っていない場合やiモード圏外などで受信できないとき、または「メール選択受信設定」（P.296）を「ON」に設定しているときは、メールはiモードセンターに保管されます。

iモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回まで再送します。その他設定により、iモードセンターでiモードメールを選択して受信することができます。

おしらせ

<iモードメール>

- iモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は以下のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
iモードメール	207〜1,000件（約2Mバイトまで）	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、iモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときiモード端末には「（赤色）」が表示されます。なお、「メール選択受信設定」（P.296）が「ON」に設定されているときは、保管件数を超えても「（赤色）」は表示されない場合があります。
- iモードセンターに保管されているメールは、「iモード問い合わせ」（P.273）や「メール選択受信」（P.272）により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されているほかのメール、メッセージも合わせて受信できます。
- iモード端末でメールを受信すると iモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはiモード端末に保存されます。→P.270
- 極端に容量の大きいメールは iモードセンターで受け付けないことがあります。
- 「メール機能停止」を行っている場合は、iモードセンターで新しいメールの保管を行いません。

<SMS>

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信したSMSの保管期間は「SMS有効期間設定」（P.296、308）で設定できます。
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問い合わせ」（P.309）により受信できます。
- FOMA端末がSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。
- FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードに移動／コピーできます。→P.311

● こんなこともできます

■ファイル添付メール

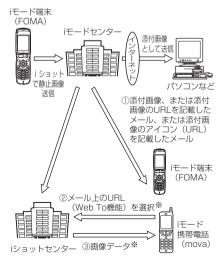
・**メロディ添付メール**

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディを、iモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません）。

・iモードメールにメロディを添付して送信するには→P.266
・メロディが添付されたiモードメールを受信したときは→P.276

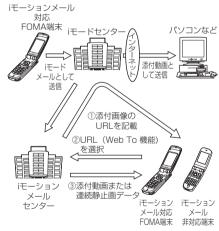
・**画像添付メール**
サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをiモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません）。
・iモードメールに画像を添付して送信するには→P.266
・画像が添付されたiモードメールを受信したときは→P.276

・**トルカ添付メール**
サイト、インターネットホームページ、またはトルカの読み取り装置や外部メモリから取得したトルカをiモードメールに添付して送受信できます。
・iモードメールにトルカを添付して送付するには→P.266

■**iショット**
カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてiモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。movaサービスのiモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
・iモードメールに画像を添付して送信するには→P.266
・画像が添付された iモードメールを受信したときは→P.276

※： 添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

・iショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
・iモード端末が、送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画となります。また、20Kバイトより大きい画像を添付してiモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■**iモーションメール**
iモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をiモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。
・iモーションメールを送信するには→P.266
・iモーションメールを受信したときは→P.277

■**サービスのしくみ**
iモーションメールに添付された動画ファイルはiモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコン等の場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。
iモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選択して動画を取得することができます。
iモーションメール非対応端末へ送信した場合は、iモーションが連続静止画に変換され、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、連続静止画を取得します。

・iモーションメールセンターでは最大10日間まで動画を保管しています。最大保管期間を超えた場合は自動的に削除されます。
・iモーションメール対応端末が、受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はiモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

次ページにつづく

■デコメール
iモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、iモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。
・デコメールを作成して送信する→P.257
・対応機種：デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

■テンプレート
あらかじめ登録されているテンプレートを利用してデコメールを送信したり、暑中見舞いやクリスマスカード、年賀状などの楽しいメールを受信することができます。
・テンプレートを利用してデコメールを作成する→P.263

■メール同報送信
同じiモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P.254

■Cc、Bcc送受信
パソコンと同じように、iモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが1件もない場合は、メールを送信できません。
・「新規メール画面の機能メニュー」の「宛先タイプ変更」→P.253

■チャットメール
複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

おしらせ

<ファイル添付メール>
- 内蔵カメラで撮影した静止画の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できます。
- movaサービスのiモード端末（501全機種、R691i、R209iを除く）へiモードメールを送信した場合、添付できる画像はJPEG形式で1ファイルのみ送信できます。

<iモーションメール>
- iモード端末へiモーションメールを送信した場合、iモーションメールセンターに保存されたiモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、iモーションの取得ができなくなります。
- 内蔵カメラで撮影した動画の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できます。
- iモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳細は、ドコモのホームページをご参照ください。

<メール同報送信>
- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

<チャットメール>
- 通信料は、相手が複数の場合メール同報送信した時と同じです。

■お願い
- 受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.513）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、受信メール、送信メール、保存メールの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、受信メール、送信メール、保存メールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈メールメニュー〉
メールメニューを表示する

1 ▶
待受画面表示中に◯［✉MAIL］を押してもメールメニューを表示できます。

受信BOX	受信フォルダ一覧画面を表示します。フォルダごとにメールを分けて管理できます。メール連動型iアプリのメールやチャットメールは、専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、受信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。→P.278
送信BOX	送信フォルダ一覧画面を表示します。フォルダごとにメールを分けて管理できます。メール連動型iアプリのメールやチャットメールは、専用のフォルダに振り分けられます。フォルダを開くと、送信したiモードメールやSMSの履歴、内容を確認できます。→P.278
保存BOX	保存メール一覧画面を表示します。一時保存したiモードメールやSMSの内容を確認できます。→P.268
新規メール作成	iモードメールを作成する画面を表示します。→P.251
チャットメール	「チャット画面」を表示します。→P.302
SMS作成	SMSを作成する画面を表示します。→P.306
iモード問い合わせ	iモード問い合わせを行って、iモードセンターに保管されているiモードメールを受信します。→P.273

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

メール選択受信	「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合、iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認して受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除できます。→P.272
SMS問い合わせ	「SMS問い合わせ」を行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信します。→P.309
テンプレート	テンプレート画面を表示します。→P.264
メール設定	「FOMA端末のメール機能を設定する」→P.295

〈iモードメール作成・送信〉

iモードメールを作成して送信する

iモードメールを新規に作成して送信します。

● メロディ、画像、動画、iモーションやトルカを添付するには→P.266

● メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きをつけたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメールについて→P.257

1 MENU ▶ メール ▶「新規メール作成」

「新規メール画面」が表示されます。
「メールメニュー」表示中に［NEW］を選択しても、「新規メール画面」が表示されます。

新規メール画面

機能メニュー➡P.253

2 「To」▶宛先の入力方法を選択

電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを入力します。 電話帳検索方法について→P.115
送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
メールメンバー	メールメンバーからメールアドレスを入力します。 「メールメンバーから宛先を入力する」→P.254
直接編集	直接メールアドレスを入力します。

3 「Subject」

「題名入力画面」が表示されます。

4 題名を入力

題名に入力できる文字数は全角15文字、半角30文字までです。

題名入力画面

機能メニュー➡P.254

5 「」

「本文入力画面」が表示されます。

6 本文を入力

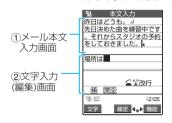
本文に入力できる文字数は全角で5,000文字、半角で10,000文字までです。
本文編集中に改行することもできます。改行したときは「」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
デコメールを作成して送信することもできます。→P.257
テンプレートを利用してデコメールを作成し送信することもできます。→P.263

本文入力画面

機能メニュー➡P.255

次ページにつづく

■ iモードメール本文入力中の画面について

iモードメール本文入力中の画面は以下のように表示されます。

①メール本文入力画面　：入力を確定したメール本文が表示されます。

②文字入力（編集）画面：文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアが表示されます。入力確定前の文字はここに表示されます。
文字入力（編集）画面でワード予測機能を利用して入力できます。→P.491

7 内容を確認▶［送信］

メール送信中のアニメーション画面が表示され、iモードメールが送信されます。を押すとメールメニュー画面に戻ります。

■ 送信を途中で中止する場合

▶（1秒以上）

ただし、タイミングによりiモードメールが送信されることもあります。

● 電話帳の画面から、iモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを検索して表示し、［MAIL］を押します。

電話帳検索方法について→P.115

表示されていたメールアドレスが新規メール画面の宛先に貼り付けられます。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている送信メール（iモードメールとSMSの合計）が400件または最大保存容量を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に上書きされます。ただし、シークレットフォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
- 題名や本文に半角カタカナや絵文字が使われていると受信側で正しく表示されないことがあるため、iモード端末どうしでのメールのやりとり以外に使わないでください。
- 送信を行わずに、、を押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、それまで入力した文字は消去されます。入力した文字を消去したくないときは、「NO」を選択すると元の画面に戻ります。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると「184」または「186」を削除して送信します。「NO」を選択すると元の画面に戻ります。
- 宛先に「,（カンマ）」やスペース（空白）が入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信することができます。ただし、Toを設定せずにiモードメールを送信することはできません。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 「シークレットコード」（P.119）が設定されている電話帳の宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先にはシークレットコードは保存されません。
- 相手がiモードのご契約をされている場合は、movaサービスのiモード端末に対してもFOMA端末からiモードメールを送信できます。
- 本文編集中に改行することができます。改行は全角1文字としてカウントされます。
- スペース（空白）も文字と同じように文字数にカウントされます。

新規メール画面の機能メニュー

送信	iモードメールを送信します。	
送信プレビュー	送信する前にメールの宛先や内容の確認ができます。また送信プレビュー中に機能メニューから「保存」を選択すると、メールを保存することができます。	
保存	編集中のメールを保存BOXに保存します。 「iモードメールを保存する」→P.268	
宛先削除	追加した宛先を削除します。削除した宛先の後に宛先が入力されているときは、宛先はつめて表示されます。宛先が1件しか入力されていないときは、宛先を削除できません。	
宛先タイプ変更	宛先を選択した状態で宛先のタイプを変更します。	
	To	送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。
	Cc	同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。
	Bcc	同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。
テンプレート	テンプレートを利用してデコメールを作成し送信することもできます。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.263	
添付ファイル追加	iモードメールに画像、iモーション、メロディ、トルカのデータを添付します。 「ファイルを添付する」→P.266	
カメラ起動	カメラ機能を起動します。 「静止画を撮影する」→P.178 「動画を撮影する」→P.188	
	フォトモード	カメラ機能を起動して静止画を撮影します。撮影できる画像サイズは待受（240×320）またはSubQCIF（128×96）です。
	ムービーモード	カメラ機能を起動して動画を撮影します。動画容量設定はメール（小）またはメール（大）です。撮影できる画像サイズはQCIF（176×144）またはSubQCIF（128×96）です。
添付ファイル削除	反転表示した添付ファイルを削除します。	
添付ファイル全削除	添付ファイルをすべて削除します。	
冒頭文貼付	メールの本文に冒頭文を貼り付けます。	
署名貼付	メールの本文に署名を貼り付けます。	
本文消去	編集中のメールの本文を消去します。	
メール削除	編集中のメールを削除します。	

おしらせ

<宛先タイプ変更>
- 宛先に「To」設定がないiモードメールは送信できません。
- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

<冒頭文貼付><署名貼付>
- 「冒頭文／署名設定」で「自動貼付」のチェックボックスを選択していると、iモードメール作成時に自動的に冒頭文や署名が貼り付けられます。→P.297

電話帳から宛先を検索する

電話帳でメールアドレスを検索して、宛先に入力することができます。

1 「新規メール画面」(P.251)▶「To」▶「電話帳」▶検索する方法を選択

電話帳検索方法について→P.115

2 電話帳詳細画面でメールアドレスを選択

3 題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.251の操作3～7を参照してください。

次ページにつづく

おしらせ

- すでに電話番号やメールアドレスなどが入力されていた場合は、参照方法を選択後に、上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。上書きするときは「YES」を選択します。上書きしないときは「NO」を選択します。

宛先を追加する

宛先を追加して、一度に複数の宛先にメールを送信することができます（同報送信）。

- 宛先は5件まで入力できます。

<例：電話帳を参照して宛先を追加するとき>

1 「新規メール画面」（P.251）▶宛先が未入力の「To」▶「電話帳」▶検索する方法を選択

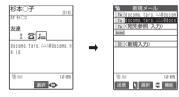
電話帳検索方法について→P.115

2 電話帳詳細画面でメールアドレスを選択

さらに宛先を追加するときは操作1～2を繰り返します。

■入力した宛先を変更する場合

▶変更したい宛先を選択▶宛先の入力方法を選択

上書きするかどうかを確認するメッセージが表示された場合は「YES」を選択してください。

3 題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.251の操作3～7を参照してください。

おしらせ

- 送信できなかった宛先があると、送信できなかった宛先があることを表すメッセージが表示されます。
- 同じ宛先が複数入力されているメールを送信しようとしたときは、重複する宛先を削除して送信するかどうかのメッセージが表示されます。
- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

メールメンバーから宛先を入力する〈メールメンバー〉

メールメンバーを利用すると、一度に複数の宛先を指定できます。

メールメンバーを利用するには、あらかじめメールメンバーにメールアドレスを登録しておく必要があります。→P.268

1 「新規メール画面」（P.251）▶「To」▶「メールメンバー」

2 メールメンバーを選択

メールメンバーを選択すると、宛先に入力されます。

メールメンバー
1 バンド仲間
2 テニスサークル
3 釣り仲間

3 題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.251の操作3～7を参照してください。

おしらせ

- すでに宛先が入力されているときにメールメンバーで宛先を指定すると、参照方法を選択後に、宛先を上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。すべて上書きするときは「YES」を選択します。上書きしないときは「NO」を選択します。

宛先入力／題名入力画面の機能メニュー

- 下記の項目以外は、「文字入力（編集）画面」の機能メニューと同じです。→P.495

項目	内容
大文字切替※1	「小文字／大文字を切り替える」→P.492
全角切替※2	題名入力画面のみ利用できます。「全角／半角を切り替える」→P.488
ワード予測ON※3	題名入力画面のみ利用できます。過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用する／利用しないを設定します。→P.491

※1：大文字切替のときは「小文字切替」になります。
※2：全角切替のときは「半角切替」になります。
※3：ワード予測ONのときは「ワード予測OFF」になります。

本文入力画面の機能メニュー

● 下記の項目以外については、「文字入力（編集）画面」の機能メニュー（P.495）を参照してください。

デコレーション	「本文を装飾する」→P.258
カメラ起動	カメラを起動します。→P.172
プロパティ	本文に挿入した画像のファイル名、ファイルサイズを表示します。
元に戻す	入力した文字や本文の装飾を１つ前の状態に戻します。
プレビュー	本文のプレビュー画面を表示します。

おしらせ

<カメラ起動>

● カメラ機能で撮影できる静止画の画像サイズはSubQCIF（128×96）です。

<元に戻す>

● 「元に戻す」で１つ前の状態に戻した後、「元に戻す」の取り消しはできません。
● 本文入力画面で◉を押して新規メール画面に戻ると、再度本文入力画面を表示しても「元に戻す」で１つ前の状態には戻せません（本文入力画面で「プレビュー」を選択してプレビューを表示後の場合は戻すことができます）。

<プレビュー>

● プレビュー画面でメール本文に電話番号やメールアドレス、URLやｉアプリへのリンクが入力されている場合は、アンダーラインで表示されますが、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能を利用することはできません。

通話中に撮影した静止画を送信する〈スピードフォトメール〉

音声通話中の相手に対して、その場で撮影した静止画またはFOMA端末に保存されている静止画を送信できます。

● スピードフォトメールを利用するには、あらかじめ通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳の同じメモリ番号に登録されている必要があります。

<例：その場で撮影した静止画を送信するとき>

1 通話中画面の機能メニュー（P.55）▶「スピードフォトメール」▶「フォトモード」

■ FOMA端末に保存されている静止画を送信する場合
▶「スピードフォトメール」▶「マイピクチャ」
送信できない静止画は選択できません。
メール添付時にデータ量が9,000バイト以下となる「QCIF」「SubQCIF」の画像のみ送信可能です。

2 ◉または [📷]

静止画が撮影されます。
撮影時にはシャッター音が鳴ります。
撮影前に明るさの調節や画像サイズの設定などカメラの応用機能を利用できます。→P.180
「スピードフォトメールの撮影確認画面」が表示されます。

■ 撮影した静止画を保存して送信する場合
▶スピードフォトメールの撮影確認画面の機能メニュー▶「保存＆メール送信」
「保存＆メール送信」を選択しないで送信した場合、撮影した静止画は保存されません。

スピードフォトメールの撮影確認画面
機能メニュー➡P.256

3 ◉▶◉

送信を確認するメッセージが表示されます。

■ 複数のメールアドレスが登録されている場合
▶送信する宛先のメールアドレスを選択

スピードフォトメール
戸田△司さんへ送信しますか？
1 docomo.taro.△△@doc
2 docomo.taro.△△△@do
3 中止

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

次ページにつづく

おしらせ

- 以下の場合には本機能を利用できません。
  - ・ 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されていないとき
  - ・ 通話中の相手の電話番号とメールアドレスが「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で電話帳に登録されているとき
  - ・ 音声電話を受けた側が、電話番号が通知されない状態（非通知設定、通知不可能など）のとき
  - ・ 指定発信制限中、通話中の相手の電話番号が指定発信制限に設定されていないとき
  - ・ PIMロック中
  - ・ データ通信でのパケット通信中のとき
  - ・ 保存BOXがいっぱいのとき
  - ・ キャッチホン中
  - ・ ソフトウェア更新中に通話状態になったとき
- 本機能で送信したメールは、自分の電話番号が題名となり、送信BOXに保存されます。
- 「画像サイズ選択」が「4M（2,304×1,728）」、「QXGA（2,048×1,536）」、「UXGA（1,616×1,212）」、「SXGA（1,280×960）」、「VGA（640×480）」、「CIF（352×288）」、「フルスクリーン（240×345）」、「待受（240×320）」のいずれかで設定されている場合でも、本機能を起動すると設定は「QCIF（176×144）」となります。
- 本機能起動中に「画像サイズ選択」を変更する場合、「QCIF（176×144）」、「SubQCIF（128×96）」以外は選択できません。

<送信確認画面で反転表示されるアドレスの優先順位>

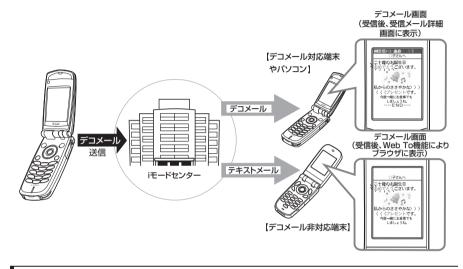
- 通話中の相手に対して複数のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、送信確認の画面で反転表示されるアドレスの優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ① iモードのアドレス（@マークより後がdocomo.ne.jp）
  ② ドメインのないアドレス、電話番号（ドメイン名とは、@マークより後の文字のことです。）
  ③ 電話帳に登録されている1番目のアドレス

スピードフォトメールの撮影確認画面の機能メニュー

保存＆メール送信	撮影した静止画をマイピクチャに保存してからスピードフォトメールを送信します。→P.255	
iモードメール作成	撮影した静止画を保存しないでスピードフォトメールを送信します。	
イメージ貼付	撮影した静止画を保存し、イメージ貼付を行ってからスピードフォトメールを送信します。 「静止画確認画面の機能メニュー」の「イメージ貼付」と同様の操作です。→P.182	
ファイル制限	ファイル制限を設定します。	
	なし（お買い上げ時）	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
	あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
取り消し	撮影した静止画を削除して静止画撮影画面に戻ります。	

デコメールを作成して送信する

デコメールは、iモードメール（テキストメール）本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きをつけたり、ラインや画像を本文内に挿入して表現力豊かなメールにしたものです。

● デコメールの作成方法には、デコレーションを選択してから本文を入力する方法と、本文を入力してから装飾する方法があります。
● デコメール非対応端末に送信した場合、メール本文にデコメール参照用URLを付けて送信し、受信者はURLを選択することにより、Web To機能でデコメールを閲覧することができます。相手の機種によっては、正しく受信できなかったり、表示できない場合があります。

おしらせ

● 受信したデコメールを引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
● メール送信できない画像が含まれたデコメールを引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。

デコメールを作成する

● デコメールで本文を装飾すると、テキストメールでの本文入力より入力できる文字数が減ります。
● 装飾に応じて、文字入力および装飾で使用できる残り文字数が少なくなります。
● 装飾内容は、本文入力画面の機能メニューから「プレビュー」を選択して確認できます。

＜例：文字サイズを変更する場合＞

1 「新規メール画面」（P.251）で宛先、題名を入力▶「 」

「本文入力画面」が表示されます。

2 本文を入力▶ ［機能］▶「デコレーション」

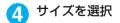
デコレーションメニューが表示されます。
新規iモードメール作成中の本文入力画面で を押しても、デコレーションメニューを表示できます。

3 「 」

■ 入力済みの文字をデコレーションする場合

▶「 変更」▶ で装飾する文字の始点を選択▶ で装飾する文字の終点を選択▶「 」▶サイズを選択

範囲を指定した文字のサイズが変更されます。

次ページにつづく

4 サイズを選択

5 装飾する文字を入力

本文を装飾する

1 本文入力画面の機能メニュー（P.255）▶「デコレーション」▶以下の項目から選択

おまかせ	「自動的にメールの文面に合った装飾をする」→P.261	
A	▶ で色を選択▶本文を入力 入力する文字、ラインの色をカラーパレットから選択します。［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。	
AA	▶以下の項目から選択▶本文を入力 入力する文字のサイズを選択します。	
	L AAA	大きい文字サイズに設定します。
	M AAA	標準の文字サイズに設定します。
	S AAA	小さい文字サイズに設定します。
	マイピクチャに保存されている画像を選択し、挿入します。→P.345	
A	▶ A開始 ▶点滅させる文字を入力 入力した文字を点滅させます。	
	A開始	点滅を開始する位置を指定します。
	A終了	点滅を終了する位置を指定します。
A	▶ A開始 ▶テロップ表示させる文字を入力 入力した文字を左右スクロール（テロップ表示）させます。	
	A開始	テロップを開始する位置を指定します。
	A終了	テロップを終了する位置を指定します。
A	▶ A開始 ▶スウィングさせる文字を入力 入力した文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）させます。	
	A開始	スウィングを開始する位置を指定します。
	A終了	スウィングを終了する位置を指定します。

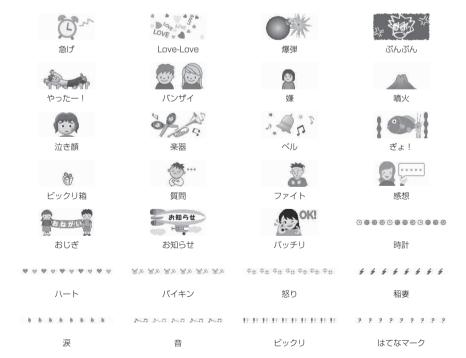
	▶以下の項目から選択▶本文を入力 入力する文字位置を設定します。 文字位置を指定した行の長さが画面上の1行に表示しきれない場合は、複数の行にわたって文字位置が変更されます。
	（左寄せ）文字を左寄せに指定します。
	（中央）文字を中央に指定します。
	（右寄せ）文字を右寄せに指定します。
	ラインを挿入します。
	▶◈で色を選択 カラーパレットから背景色を選択します。◔［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。
Undo	入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します（メール本文入力画面を終了すると利用できません）。
変更	「装飾を変更する」→P.260
全解除	すべての装飾を解除します。
	入力した文字や装飾などを、送信イメージで確認できます。

● デコメールピクチャー覧

以下のデコメールのイメージは「マイピクチャ」の「デコメールピクチャ」フォルダに保存されています。

- 本文入力画面の機能メニュー（P.255）▶「デコレーション」▶「 」▶「デコメールピクチャ」フォルダの順に選択します。
- デコメールのイメージは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

次ページにつづく

おしらせ

- 256色パレットで選択した最新の5色が、25色パレットの最下段に表示されます。
- 背景色の設定を変更すると、カーソルの色も設定した色に応じて変わります。
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。元の色に戻したいときは「変更」を選択し、戻す範囲を指定して「解除」を選択してください。
- 装飾を設定している範囲内に新たに文字を入力した場合、その文字にも同様の装飾が施されます。
- メール本文と画像の合計が10,000バイトまでとなるJPEG画像またはGIF画像を挿入することができます。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度保存や送信をした後で再編集して挿入した場合は、別途1件として扱われます。
- 編集画面上ですでに挿入されている画像をコピー／貼り付けした場合も同一画像の挿入とみなされ、コピー元と合わせて1件として扱われます。
- アニメーションを挿入した場合、プレビュー表示時にアニメーション動作を行いますが、一定の時間が経過すると停止します。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は挿入できません。
- 文字を点滅、テロップあるいはスウィング表示する設定にした場合、プレビュー表示時にこれらの動作を行いますが、一定の時間が経過すると停止します。
- メール作成画面で「冒頭文貼付」や「署名貼付」を行った場合、冒頭文は本文先頭の、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。冒頭文、署名の装飾を変更するときは、貼り付けた後にデコメール画面の機能メニュー画面で「デコレーション」、「変更」の順に選択します。
- 背景色によっては、画像やiモーションの取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押してすべての文字を削除した場合は、装飾データも含めてすべて削除されます。
- パソコンなど、デコメール対応iモード端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- デコメール非対応端末にデコメールを送信した場合、iモードセンターでは最大10日間保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

装飾を変更する

1 本文入力画面の機能メニュー（P.255）▶「デコレーション」▶「変更」▶で始点を選択▶で終点を選択▶以下の項目から選択

	▶で色を選択 変更する文字、ラインの色をカラーパレットから選択します。［切替］を押すごとにカラーパレットが25色と256色に切り替わります。

(icon)	範囲指定した文字のサイズを変更します。	
	(icon)	大きい文字サイズに変更します。
	(icon)	標準の文字サイズに変更します。
	(icon)	小さい文字サイズに変更します。
(icon)	範囲を指定した文字の点滅を変更または解除します。	
	設定	点滅の設定を変更します。
	解除	点滅を解除します。
(icon)	範囲を指定した文字のテロップ表示を変更または解除します。	
	設定	テロップの設定を変更します。
	解除	テロップ表示を解除します。
(icon)	範囲を指定した文字のスウィングを変更または削除します。	
	設定	スウィングを変更します。
	解除	スウィングを解除します。
(icon)	範囲を指定した文字位置を変更します。	
	(icon)	文字を左寄せに変更します。
	(icon)	文字を中央に変更します。
	(icon)	文字を右寄せに変更します。
Undo	入力した文字や本文の装飾を１つ前の状態に戻します（本文入力画面を終了すると利用できません）。	
解除	装飾を解除します。	
(icon)	入力した文字や装飾などを、送信イメージで確認できます。	

おしらせ

- 挿入した画像またはラインを変更することはできません。変更する場合は、本文入力画面で画像またはラインを削除してから挿入してください。
- 指定した背景色を変更する場合は、本文入力画面の機能メニューから「デコレーション」を選択し、「(icon)」（背景色の変更）を選択してください。

〈おまかせデコメール〉

自動的にメールの文面に合った装飾をする

テキスト入力したメールの文面から感情を理解し、最適なデコレーションを加えたデコメールに自動変換します。本文全体は感情を表す背景色で表示され、文章に合った文字色、文字サイズ、テロップ等で装飾されます。

1 本文入力画面の機能メニュー（P.255）▶「デコレーション」

2 「おまかせ」

次ページにつづく

3 [次候補]を押して候補を選ぶ

デコレーションは３パターン生成されます。

おしらせ

- 以下の場合、おまかせデコメールは作成できません。
  - ・添付ファイルが10個あるとき
  - ・添付ファイルと本文を合わせて残バイト数が5,000バイト以下のとき
  - ・本文のみで1,000バイト以上あるとき
- おまかせデコメールのデコメール案のプレビュー表示中に、不正な終了があった場合は、表示中のデコメール案のメールデータを保存します。
- おまかせデコメール画面から本文入力画面に戻った直後は、機能メニューの[元に戻す]は選択できません。
- すでに本文が装飾されている状態でおまかせデコメールを実行した場合、「メールの装飾がすべて解除されます　元に戻せなくなりますがよろしいですか？」のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、おまかせデコメール画面になります。

●感情の理解には次の種類があります。以下の優先順位で、本文の感情が理解されます。

優先順	感情の分類
1	急ぎ
2	好き／嫌い／喜び／怒り／哀しみ／楽しい／驚き
3	質問／アドバイス／ファイト／お誘い・募集／感想／お願い／通知／ＯＫ
4	返事／お知らせ

● おまかせデコメールのデコレーションには、以下の内容があります。

・背景色
・文字色／文字サイズ（大／小）
・文字位置（センタリング）
・テロップ／スウィング／点滅
・画像挿入（アニメーションGIF、静止画）

● おまかせデコメールピクチャー一覧

以下のデコメールイメージがおまかせデコメールに用意されています。
デコメールには静止画像とアニメ画像があります。

● デコメールのイメージは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

感情の分類	画像
急ぎ	
好き	
嫌い	

感情の分類	画像
喜び	Happy!
怒り	
哀しみ	
楽しい	
驚き	
質問	Question Q? Q? Q? Q? Q?
アドバイス	Advice! ADVICE ADVICE
ファイト	Fight!!
お誘い・募集	
感想	
お願い	PLEASE おねがい
通知	Information お知らせ INFORMATION INFORMATION
OK	OK OK! OK OK OK OK OK OK OK
返事／お知らせ	

おしらせ

● 本文の内容によって、ピクチャー覧の中から最適な画像を自動的に表示します。本文の内容によっては、お客様の意図した画像が表示されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

テンプレートを利用してデコメールを作成する

あらかじめ登録されているテンプレートを利用して、デコメールを作成できます。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。

お買い上げ時に登録されているテンプレート→P.266

● テンプレートは、サイトからダウンロードすることができます。
「サイトからデータファイルをダウンロードする」→P.228

● テンプレートは、テンプレートプレビュー画面で編集することができます。→P.265

● テンプレートにはあらかじめ装飾情報が含まれています。このため、テキストメールより入力できる文字数が少なくなる場合があります。

次ページにつづく

● 以下のような場合にテンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
・すでにメール本文が入力されている場合
・冒頭文・署名が自動挿入されている場合
・添付ファイルがある場合
● メール送信できない画像が含まれたテンプレートは、選択することができません。

1 新規メール画面の機能メニュー（P.253）▶「テンプレート」▶「テンプレート読込み」▶テンプレートを選択

■ テンプレートをプレビュー表示する場合
▶テンプレートを選択▶ ［デモ］
・テンプレートがプレビュー表示されます。→P.265
・プレビュー表示中は を押してほかのテンプレートに表示を切り替えることができます。
・テンプレートが１画面に収まらない場合は でスクロールできます。
・プレビュー表示中にも、 を押してテンプレートを選択できます。

2 ▶本文を編集
テンプレートを適用した後も、本文を編集できます。「デコレーション」（P.257）を使い、さまざまな装飾を追加できます。

3 を押す
編集したメール本文が確定し、新規メール画面に戻ります。
メール本文に電話番号やメールアドレス、URLやiアプリへのリンクが入力されている場合はアンダーラインで表示されますが、「Phone To（AV Phone To）機能」、「Mail To 機能」、「Web To 機能」を利用することはできません。

4 ［送信］

テンプレートを保存する

作成中のデコメールをテンプレートとして保存することができます。
● テンプレートは最大45件まで保存することができます。
● 挿入画像以外の添付／貼付ファイルがある場合、挿入画像以外の添付／貼付ファイルは削除され、テンプレートとして保存されます。
● テキストのみのメールの場合は、テンプレートとして保存することができません。
● FOMA端末外への出力が禁止されている挿入画像がある場合は、テンプレートとして保存できません。
● テンプレートは、メールメニューの「テンプレート」に保存されます。
● 受信メール詳細画面の機能メニュー（P.292）および送信メール詳細画面の機能メニュー（P.293）からテンプレートを保存することもできます。

1 新規メール画面の機能メニュー（P.253）▶「テンプレート」▶「テンプレート保存」▶「YES」

おしらせ
● 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

テンプレートの一覧を表示する

1 ▶ ▶「テンプレート」
「テンプレート画面」が表示されます。

テンプレート画面

機能メニュー➡P.265

テンプレート画面の機能メニュー

iモードメール作成	テンプレートを利用してデコメールを作成することができます。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.263
ソート	指定した条件に従ってテンプレートを並び替えます。
タイトル編集	▶タイトルを入力 入力できる文字数は、全角15文字、半角30文字までです。
情報表示	テンプレートのサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。
保存件数確認	テンプレートの保存件数を表示します。
削除	反転表示したテンプレートを削除します。
選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のテンプレートを削除できます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されているテンプレートをすべて削除します。

おしらせ

<iモードメール作成>
- 「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

テンプレートのプレビューを表示する

1 「テンプレート画面」（P.264）▶テンプレートを選択

「テンプレートプレビュー画面」が表示されます。

テンプレート
プレビュー画面

機能メニュー➡P.265

テンプレートプレビュー画面の機能メニュー

iモードメール作成	テンプレートを利用してデコメールを作成することができます。 「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.263
編集	テンプレートを編集します。
挿入画像保存	▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択 ■待受画面などに設定できる画像の場合 ▶「YES」▶項目を選択 テンプレートに挿入されている画像を保存します。待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

おしらせ

<iモードメール作成>
- 「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

<編集>
- 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。
- 編集後、装飾が1つもなくなった場合は保存できません。

お買い上げ時に登録されているテンプレート一覧

● テンプレートは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

もぉーっ！

さびしいな

忘れたー！

びっくり！

かぁわいい

プレゼント

ありがとう！

緊急

ファイト！

フムフム

名案だ

ムキーッ！

なんで！？

Come On

いいかんじ

キラキラ

Happy

Hello

Love

Fight!

〈メロディ／画像／動画／iモーション／トルカ添付〉

ファイルを添付する

1 新規メール画面の機能メニュー（P.253）▶「添付ファイル追加」▶以下の項目から選択

イメージ添付	▶フォルダを選択▶画像を選択 画像を添付します。
iモーション添付	▶フォルダを選択▶iモーションを選択 iモーションを添付します。
メロディ添付	▶フォルダを選択▶メロディを選択 メロディを添付します。
トルカ添付	▶フォルダを選択▶トルカを選択 トルカを添付します。

■ 画像の一覧表示を切り替える場合
▶画像一覧表示中▶ ［機能］▶「タイトル名一覧」
ピクチャ一覧表示がタイトル名一覧表示に切り替わります。添付できない画像は選択できません。
ピクチャ一覧表示に戻す場合は、機能メニューから「ピクチャ一覧」を選択します。

■ 画像を表示する場合
▶表示したい画像を で選択▶ ［デモ］
添付できない画像は表示できません。
一覧画面に戻るときは CLR を押します。

■ メロディを再生する場合
▶再生したいメロディを選択▶ ［デモ］
添付できないメロディは選択できません。
メロディの再生をとめるときは 、 、 、 CLR 、 ［ホーム］、 ［メモ／確認］のいずれかを押します。
マナーモードに設定中の場合は、再生するかどうかを確認する画面が表示されます。再生するときは「YES」を選択します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

■ トルカを表示する場合
▶表示したいトルカを選択▶○［デモ］
添付できないトルカは選択できません。
トルカ（詳細）は詳細情報を持たないトルカとして送信されます。
一覧画面に戻るときはCLRを押します。

■ movaサービスのiモード端末へ画像をiショットとして送信する場合
画像を添付したメールをmovaサービスのiモード端末へiショットとして送信できます。
movaサービスのiモード端末へ送信する場合、添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。複数のファイルを添付したり、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したすべてのファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
movaサービスのiモード端末へ送信する場合、相手側が受信文字数設定をしていないときは、相手が受信できる本文は全角で184文字までになります。相手側が受信文字数設定をしているときは、相手が受信できる本文はiショットのURL（画像の保管先）を含み最大で全角2,000文字までになります。

■ メールに添付する画像のサイズ・容量を変更する場合
マイピクチャのINBOX、カメラまたはお客様が作成されたフォルダ内に保存された画像が500Kバイトを超える場合、画像一覧画面の機能メニューで「メール用サイズ変更」を選択します。→P.348

■ メールに添付するiモーションのサイズを変更する場合
500Kバイトを超えるiモーションを添付するときは、動画編集画面の機能メニューから「メールサイズ切り出し」を選択し、500Kバイト以下に切り出します。→P.364

おしらせ

● iモードメールに添付できるファイルは以下のとおりです。

ファイルの種類	1件のメールにつき添付できる最大ファイル数	備考
メロディ	10件	メロディ、画像とトルカを合わせて最大10件、10,000バイト（全角5,000文字相当）まで添付することができます。ファイルの大きさによって、最大ファイル数は変動します。 ※サイトやiアプリなどから取得したトルカのデータサイズによっては、メール添付送信できない場合があります。
画像※1		
トルカ		
大容量静止画※2	1件	大容量静止画と動画／iモーションは、どちらか1件だけを添付することができます。 ※iモーションによっては、添付できないものもあります。
動画／iモーション※3（iモーションメール）		

※1：内蔵カメラで撮影した静止画やサイトからダウンロードした10,000バイト（全角5,000文字相当）以下のJPEG形式、GIF形式の画像。
※2：10,000バイト（全角5,000文字相当）を超えて500Kバイト（全角256,000文字相当）以下のJPEG形式の画像。ただし、iショットセンターでiモード対応端末で受信するのに適したサイズに変換して送信されます。10,000バイト（全角5,000文字相当）を超えるGIF形式の画像をメールに添付することはできません。
※3：500Kバイト（全角256,000文字相当）までの動画／iモーション

● 「イメージ添付」でQVGA（横320×縦240）または、待受（横240×縦320）を超える画像を選択した場合は、「画像添付」が表示され、「そのまま添付」、「QVGA縮小添付」、「QVGA切り出し添付」から選択することができます。
● 本文（添付したファイルを含む）の残りのデータ量が、iモードメールで200バイト（全角100文字相当）未満、デコメールで400バイト（全角200文字相当）未満のときは、大容量静止画、動画やiモーションを添付することはできません。
● 大容量静止画、動画やiモーションを添付したときは、本文に入力できる文字数がiモードメールで200バイト（全角100文字、半角200文字相当）、デコメールで400バイト（全角200文字、半角400文字相当）減ります。
● メールに添付できない画像は選択できません。
● iモーションメールを送信すると、iモーション閲覧用URL付メールが送信されiモーションを閲覧することができます。
● 画像を送信した場合は、送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
● iモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
● miniSDメモリーカードに保存されている動画やメロディは添付できません。FOMA端末本体にコピーしてから添付してください。→P.378
● 新規メール画面での画像表示とマイピクチャでの画像表示は異なる場合があります。サイズが大きすぎる画像は新規メール画面で表示されないことがあります。このような場合、送信相手にはマイピクチャで表示される画像が送信されるため、送信相手が画像を正しく表示するには、画像を端末内に保存した後、マイピクチャで表示する必要があります。
● 内蔵カメラで撮影した静止画ファイルを添付ファイルとして iモード端末およびパソコンや他社携帯電話へ送信できます。ただし、movaサービスのiモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。movaサービスのiモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）です（受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合）。複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。
● 添付されたメロディやGIF形式の画像はmovaサービスのiモード端末では受信できません。
● メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止に設定されているファイルは、添付することができません。
● 内蔵カメラで撮影した静止画や動画の場合、「ファイル制限」が「あり」に設定されていても添付することができます。
● 受信側がN902i以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

〈iモードメール保存〉

iモードメールを保存しておき、後で送信する

メールの作成中に操作を中断しなければならないときは、FOMA端末に一時保存しておくことができます。また、一度送信したメールや保存しているメールを編集して送信できます。

iモードメールを保存する

作成中のメールが保存BOXに保存されます。

- SMSと合わせて20件まで保存できます。
- 保存BOXにメールが20件保存されている場合は、メールを作成することができません。

1 新規メール画面の機能メニュー（P.253）▶「保存」

宛先、題名、本文のいずれかに文字が入力されていないと保存できません。添付ファイルがあるときは、文字が入力されていなくても保存できます。

保存したiモードメールを送信する

1 MENU▶メール▶「保存BOX」

「保存メール一覧画面」が表示されます。

2 メールを選択▶宛先、題名、本文を編集して送信

保存メール一覧画面

機能メニュー➡P.268

保存メール一覧画面の機能メニュー

一覧表示切替	メールの一覧表示のしかたを「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。	
赤外線送信	メールを赤外線送信します。	
赤外線全送信	すべてのメールを赤外線送信します。 「データをまとめて転送する」→P.386	
miniSDへコピー	保存BOX内のメールをminiSDメモリーカードにコピーします。	
	1件コピー	反転表示したメールをコピーします。
	選択コピー	▶でで□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のメールをコピーできます。
	全コピー	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フォルダ内に登録されているメールをすべてコピーします。
保存件数確認	保存BOX内のメールの件数を表示します。	
削除	反転表示したメールを削除します。	
選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のメールを削除できます。	
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 保存BOX内のメールをすべて削除します。	

MENU 9 7

宛先をメールメンバーに登録する

お買い上げ時 未登録

複数の宛先をFOMA端末のメールメンバーに登録することにより、iモードメール作成時に、宛先にメールメンバーを指定するだけで複数の宛先を簡単に入力できます。

- メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

1 MENU▶▶「メールメンバー」

「メールメンバー一覧画面」が表示されます。

メールメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.269

2 メールメンバーを選択

「メールメンバー詳細画面」が表示されます。

3 「＜未登録＞」を反転表示して［編集］▶メールアドレスを入力

メールアドレスに入力できる文字数は半角50文字までです。
メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。

■ メールアドレスを参照入力する場合

＜例：電話帳アドレスを参照入力するとき＞

▶「＜未登録＞」を反転表示して◉▶「電話帳」▶検索項目を選択
電話帳検索方法について→P.115

メールメンバー詳細画面

機能メニュー➡P.269

おしらせ

- 同じ宛先を重複登録したメールメンバーを使ってメール送信しようとすると、重複した宛先を削除して送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、重複しているアドレスが削除されて送信されます。

メールメンバー一覧画面の機能メニュー

iモードメール作成	メールメンバーを宛先に貼り付けたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
メンバー名編集	**▶メンバー名を入力** メールメンバー名を編集します。入力できる文字数は、全角10文字、半角20文字までです。
メンバー名初期化	メールメンバー名をお買い上げ時の状態にします。

メールメンバー詳細画面の機能メニュー

アドレス編集	**▶メールアドレスを入力** メールアドレスを編集します。入力できる文字数は半角50文字までです。	
アドレス参照入力	**■アドレスが登録されていない場合** **▶以下の項目から選択** **■アドレスが登録されている場合** **▶「YES」▶以下の項目から選択** 電話帳や履歴を参照してメールアドレスを入力します。	
	電話帳	電話帳詳細画面からメールアドレスを入力します。 電話帳検索方法について→P.115
	送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
	受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
1件削除	反転表示したアドレスを削除します。	
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 選択されているメールメンバー内の、すべてのメンバーを削除します。	

〈メール自動受信〉

iモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、iモードセンターから自動的にiモードメールが送られてきます。

- 受信したiモードメールは、FOMA端末にSMSと合わせて最大で1,000件まで保存できます。
- メールを受信したときの着信音を「着信音選択」(P.128)でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」(P.144)で変更したりできます。
- movaサービスのiモード端末から送られてくるiモードメールも、FOMA端末で受信できます。

1 iモードメールを受信すると、「(青色)」のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

➡

受信が終わると、受信結果画面に受信したメール、メッセージRやメッセージFの件数が表示されます。
「メール」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。
何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール/メッセージ鳴動」(P.132)の設定によって変わる場合があります。
着信音の音量は「着信音量」(P.71)の「メール」で設定した音量になります。

■ iショットサービスのメールを受信した場合

movaサービスのiモード端末から送信されたiショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

■ 大容量静止画が添付されているメールを受信した場合

iモードメールに添付された10,000バイトを超える大容量静止画を自動的に取得した場合は、「」が表示され、受信した画像がマイピクチャに保存されます。自動的に取得できなかった場合は、メール詳細画面を表示して「」を選択すると、大容量静止画を取得してマイピクチャに保存します。

おしらせ

- 「(青色)」のアイコンが点滅しているときは、メールを受信中です。受信が完了すると、点灯します。
- 「(赤色)」のアイコンまたは「(赤色)」のアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、未読のメールを読むことで受信できるようになります。受信時には、既読の古いものから順に上書きされます。
- FOMA端末に保存されている受信メール(iモードメールとSMSの合計)が1,000件、または1,000件未満でも保存容量を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.289
- 「メール選択受信設定」(P.296)を「ON」にし、iモードメールを自動受信しないように設定すると、送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されます(待受画面にはiモードセンターにメールが保管されていることを示すメッセージと「」のアイコンが表示されます)。この場合は、「iモード問い合わせ」(P.273)を行ってiモードセンターに保管されているiモードメールをまとめて受信したり、「メール選択受信」によりiモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認してから選択して受信できます。→P.272
- 極端にデータ量の大きいメールが送られてきたときは、iモードセンターで受け付けられずに、エラーメールとともに送信元へ返信されることがあります。
- メールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル設定」(P.296)で設定できます。
- FOMA端末がiモードメールを受信すると、iモードセンターに保管されていたiモードメールは削除されます。
- iモードメールではメロディや画像、トルカを添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはiモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- 新しいiモードメールが届いたときは、iモードセンターに保管されているほかのiモードメールやメッセージR、メッセージFも合わせて受信します。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からiモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.283
- あらかじめ、受信するiモードメールのサイズを制限できます。→P.247
- 複数のiモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR、メッセージFを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- 待受画面以外を表示しているときにiモードメールを受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときにiモードメールを受信した場合は、イメージウィンドウに表示されます。
- iモーションの再生中にiモードメールを受信した場合は、映像や音声が途切れることがあります。
- チャットメールを起動中に通常のiモードメールを受信した場合、チャットメールから受信結果画面に切り替えて受信結果を確認できます。

<大容量静止画が添付されているメールを受信した場合>
- 他の機能を起動中に「📷」を選択すると、大容量静止画を取得できないことを表すメッセージが表示されることがあります。起動している機能を終了してから、画像を取得してください。
- 他の機能で編集中のデータがある場合に「📷」を選択すると、編集中のデータを破棄するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、編集を破棄して画像の取得を行います。「NO」を選択すると、画像の取得を中止します。編集中のデータがない場合にはそのまま画像の取得を行います。

<着信音動作と着信ランプ動作の優先順位>
- iモードメールを受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①メールアドレスごとに指定した「発着信識別機能」→P.123
  ②グループごとに指定した「グループ識別機能」→P.123
  ③「着信音選択」、「着信イルミネーション」→P.128、144

新着iモードメールを表示する

● デコメールの背景色によっては、画像やiモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

1 待受画面表示中▶◉▶「メール」

2 受信したメールを選択

おしらせ
- 表示できない文字はスペースで表示されます。
- iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- 受信するiモードメールのサイズがオプション設定の「メールサイズ制限」で設定したサイズ（データ量）を超えた場合、添付ファイルや貼り付けデータはiモードセンターで削除され、再取得はできません。
- iモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。横240ドットを超えた場合は、縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信した場合、その装飾が正しく表示されないことがあります。
- パソコンなどから受信したメールの場合、そのメール本文中のPhone To機能、AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能が使用できないことがあります。

●感情お知らせメールについて

メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情を、アイコンでお知らせします。
また、受信したメールにあらかじめ指定したキーワードが含まれているときにもアイコンでお知らせします。
● 表示される感情お知らせメールのアイコンには次の種類があります。

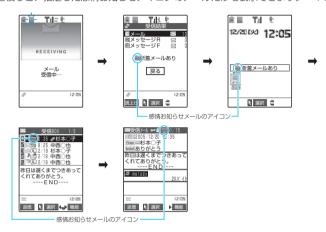
アイコン	意味	アイコン	意味	アイコン	意味
	急ぎ		アドバイス		OK
	好き		ファイト		返事
	嫌い		質問		お知らせ
	喜び		お誘い・募集		怒り
	感想		哀しみ		お願い
	楽しい		通知	—	アイコン通知対象外※
	驚き				

※：「アイコン通知対象外」は、以下のようなメールなどで表示されます。
・赤外線通信やケーブル接続により転送されたメール
・miniSDメモリーカードからコピーしたメール
・FOMAカードからコピーまたは移動したSMS
・FOMAカードのSMS

次ページにつづく

● アイコンは、「感情／キーワード通知設定」で表示するかどうかを設定できます。→P.299
● 表示されるキーワード通知のアイコンは次の３種類です。
「キーワード通知」の内容は、「感情／キーワード通知設定」で設定できます。→P.299

● 受信したメールに複数の感情お知らせメールのアイコンや、キーワード通知で指定したアイコンが表示される内容が含まれる場合は、以下の優先順位でアイコンが表示されます。①が最も優先順位が高くなります。
①キーワード通知１　②キーワード通知２　③キーワード通知３　④感情通知
● 受信したｉモードメール、チャットメールおよびSMSに対して、アイコンは以下のように表示されます。なお、受信時にはイメージウィンドウにも感情お知らせアイコンが表示されます。→P.34
● フィルタ機能を使うと、指定した感情お知らせアイコンのメールだけを表示できます。→ P.289

おしらせ

● 受信したメールによっては、内容に合わない感情お知らせメールのアイコンが表示される場合があります。
● メッセージR／Fに対しては、感情お知らせメールのアイコンは表示されません。
● 受信したメールに合った感情やキーワードの検出は、感情お知らせメールのアイコンの場合、メールの受信日時、題名、本文の先頭から1,000バイト（全角500文字）までが対象となり、キーワード通知のアイコンの場合、題名と本文のすべてが対象となります。
● 複数のメールを同時に受信した場合は、日時が最も新しいメールのアイコンだけが、受信結果画面およびデスクトップ上のメールアイコンのポップアップに表示されます。ただしメール受信後は、受信メール一覧画面にて、受信したすべてのメールのアイコンが表示されます。

〈メール選択受信〉

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。
● 本機能を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」（P.296）を「ON」に設定しておく必要があります。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

メールが届いたときは

ｉモードセンターからメールを受信したことを通知されたときは、「（青色）」や「（青色）」は表示されず、センターにメールが保管されていることを示すメッセージと「」が表示されます。
「メールを選択受信する」（P.273）を参照してください。

メールを選択受信する

1 MENU ▶ （メール）▶「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メールメニュー画面に戻ります。本機能を利用してメール選択受信画面を表示した場合、メールを受信、削除しなくても「 」のアイコンは消灯します。
また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「 」のアイコンは消灯します。

2 メールごとに項目を選択して設定

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままiモードセンターに保管されます。
　　　「iモード問い合わせ」（P.273）などで受信してください。

■ メールをすべて削除する場合

▶ページの一番下にある「削除」▶「決定」

■ ページが複数ある場合

▶「前ページ」または「次ページ」▶ページを前後に移動して選択受信
2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。
「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

アイコン	意味
（カメラ）	画像ファイルが添付されています。
♪	メロディファイルが添付されています。
（iモーション）	iモーションが添付されています。
（トルカ）	トルカが添付されています。

3「受信／削除」▶「決定」

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

■ 選択受信を中止する場合

▶「キャンセル」

■ ページが複数ある場合

ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、iモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

- メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。
  - MENU ▶（iモード）▶「iMenu」▶「メニューリスト」▶「メール選択受信」
- メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「iモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「iモード問い合わせ設定」（P.297）で「メール」のチェックを外してご利用ください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合は、自動的にメールを受信することができません。また、メール着信音は鳴動しませんし、バイブレータも振動しません。

〈iモード問い合わせ〉

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージR、メッセージF）問い合わせする

- iモードセンターに届いたiモードメールは自動的にFOMA端末へ送信されますが、以下の場合はiモードセンターに保管されます。
  - ・FOMA端末の電源が入っていないとき
  - ・「圏外」が表示されているとき
  - ・受信BOXが満杯のとき
  - ・「メール選択受信設定」（P.296）が「ON」のとき
  - ・テレビ電話中／遠隔監視中
  - ・セルフモード設定中
  - ・プッシュトーク通信中
  - ・FirstPassセンター接続中

次ページにつづく

● 「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。
● 問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」（P.297）で設定します。

1 MENU ▶ メール ▶ 「iモード問い合わせ」

メール問い合わせ画面が表示されます。
iモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。
・ [imode] ▶「iモード問い合わせ」
・ [MAIL]（1秒以上）
・ [MAIL] ▶「iモード問い合わせ」
問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。
問い合わせ中は「（青色）」「R（緑色）」「F（紫色）」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージR、メッセージFを受信します。

■ 問い合わせを中止する場合
▶問い合わせ中にCLR（1秒以上）
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージR、メッセージFを受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージR、メッセージFの件数を確認

おしらせ
● 「（青色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにiモードメールが保管されています。iモードセンターに保管されているiモードメールがいっぱいになると「（赤色）」のアイコンの表示になります。
● 「（赤色）」「（赤色）」「R（赤色）」「F（赤色）」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上iモードメールやメッセージR、メッセージFを受信できません。これらのアイコンが表示されなくなるまで、不要なメールやメッセージR、メッセージFを削除するか、未読のメールやメッセージR、メッセージFを読むことで受信できるようになります。受信時には、既読の古いものから順に上書きされます。
● iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「（青色）」のアイコンが表示されないことがあります。
● 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

〈iモードメール返信〉
iモードメールに返事を出す

iモードメールの送信元に返信できます。返信には、新たに本文を入力する方法と、受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。
● 返信するiモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

新たに本文を入力して返信する

1 「受信メール一覧画面」（P.281）または「受信メール詳細画面」（P.283）▶ ［返信］▶題名、本文を編集して送信

これ以降の詳しい操作手順については、P.251の操作3～7を参照してください。

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合
▶「返信」▶「送信元へ」
同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「返信」を選択した後に「すべてへ」を選択します。
送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。
同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

おしらせ

- 返信できない送信元（メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど）には「Fm」が表示されます。
- 題名に「Re:」（すべて半角文字）がついたｉモードメールに返信する場合、返信するｉモードメールの題名に「Re:」の代わりに「Re2:」が追加されます。以降、「Re2:」がついているときは「Re3:」、「Re3:」がついているときは「Re4:」というように、「Re99:」まで追加されます。「Re:」に全角文字が含まれていたり、「RE:」（「E」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Re:」が追加されます。
- 送信元が「photo-server@docomo-camera.ne.jp」のｉショットメールには返信できません。

本文を引用して返信する

受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。
● 引用したｉモードメールの添付ファイルは削除されます。

1 受信メール詳細画面の機能メニュー（P.292）▶「引用返信」▶題名、本文を編集して送信

■ **複数の宛先のあるメールの送信元へ引用返信する場合**

▶「引用返信」▶「送信元へ」
同報の宛先のすべてに返信したい場合は、「引用返信」を選択した後に「すべてへ」を選択します。
返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。
引用符（お買い上げのときは「>」）は、引用返信するメールの本文の先頭に１つだけつきます。本文の行頭のすべてにはつきません。
引用符を編集するには→P.297
これ以降の詳しい操作手順についてはP.251の操作３～７を参照してください。
送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

おしらせ

- 引用返信するｉモードメールにファイルが添付されているときは、添付ファイルが削除されることを表すメッセージが表示されます。◉を押すと、ファイルが削除されてメール返信画面が表示されます。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメールの本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。
- ｉモードメール本文にメロディやｉアプリの起動指定などの貼り付けデータがある場合、引用返信をしても貼り付けデータは引用できません。

〈ｉモードメール転送〉

ｉモードメールをほかの宛先に転送する

受信したｉモードメールをほかの人に転送できます。
● 転送するｉモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角文字で15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

1 受信メール詳細画面の機能メニュー（P.292）▶「転送」▶「To」▶宛先の入力方法を選択

宛先の詳しい入力操作について→P.253、254
題名、本文を編集できます。受信したメールの本文、追加した文、冒頭文、署名、添付されているメロディや画像を合わせて全角で5,000文字分、半角で10,000文字分まで転送できます。

2 ◯［送信］

送信が終了すると、受信メール詳細画面が表示され、「」が「」に変わります。

おしらせ

- 題名に「Fw:」（すべて半角文字）がついたｉモードメールを転送する場合、転送するｉモードメールの題名に「Fw:」の代わりに「Fw2:」が追加されます。以降「Fw2:」がついているときは「Fw3:」、「Fw3:」がついているときは「Fw4:」というように、「Fw99:」まで追加されます。「Fw:」に全角文字が含まれていたり、「FW:」（「W」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Fw:」が追加されます。
- 転送するｉモードメールにメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- 大容量静止画が添付されたｉモードメールを受信し、画像を取得せずに転送した場合、画像は添付されません。
- ｉモードメール本文に貼り付けデータがある場合は、転送しても貼り付けたデータは引用できません。
- 本文にデコメール参照用URLの付いた受信メールを転送した場合、受信先でURLを選択してWeb To機能でデコメールを閲覧することはできません。また、そのURLを直接入力してデコメールを閲覧することもできません。
- 受信したデコメールを転送するときに、文字数を超えていることを通知するメッセージが表示される場合は、本文を編集してから転送してください。

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録できます。

＜例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録するとき＞

1 受信メール詳細画面の機能メニュー（P.292）▶「アドレス登録」

■ 登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合
▶メールアドレスを選択する画面で登録したいメールアドレスを選択

■ 送信したメールの宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合
▶送信メール詳細画面の機能メニュー（P.293）▶「アドレス登録」
複数の宛先に送信したｉモードメールの場合は、表示されるメールアドレスのリストから登録するメールアドレスを選択します。

■ 送信または受信したメールの本文のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合
▶「送信メール詳細画面」または「受信メール詳細画面」▶登録するメールアドレスまたは電話番号を選択▶◯［機能］▶「電話帳登録」

2 「YES」▶「本体」▶「新規登録」

電話帳新規登録画面に、入力された項目の内容が表示されます。必要な項目を入力して電話帳に登録します。
「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111
「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112

■ FOMAカードの電話帳に登録する場合
▶「YES」▶「FOMAカード(UIM)」
FOMAカードの電話帳に登録するときは、登録方法の「追加登録」の代わりに「上書き登録」と表示されます。

〈メロディ保存〉
ｉモードメールからメロディを再生・保存する

受信したｉモードメールに添付または貼り付けられたメロディ（♫、♪）をFOMA端末に保存できます。
- 通話中はメロディの再生ができません。
- 送信元がFOMA N902i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- あらかじめ、メロディを選択します。

1 受信メール詳細画面の機能メニュー（P.292）▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ メロディをとめる場合
▶◯、0～9、*、#、◯、▯[アシストキー]
▯[アシストキー]を押すとメロディをとめた後にメール本文の読み上げを行います。

■ メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合
▶「添付ファイル自動再生設定」（P.295）を「自動再生しない」に設定

2 「YES」▶項目を選択

■ 着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ
- 複数のデータが貼り付けされている場合は、貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

〈画像メール受信〉
画像メールの画像を保存する

受信したｉモードメールに添付された画像（▣）を保存できます。
- あらかじめ、画像を選択します。

1 受信メール詳細画面の機能メニュー（P.292）▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

デコメールの場合、本文中に挿入されている画像はすべて表示されますが、添付された画像は、ファイル名を選択すると画像が表示されます。
デコメール以外の場合、添付されている画像はすべて表示されます。

■ 画像表示をファイル名表示に切り替える場合
▶ファイル名を表示する画像を選択
画像表示に戻すには、ファイル名表示されている画像を選択します。

2 「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

- 画像のサイズがディスプレイより大きい場合は縮小して表示します。ただし、大きすぎる画像は表示されないことがあります。
- iモードメールでの画像表示とマイピクチャでの画像表示は異なる場合があります。画像を正しく表示するには、「INBOX」フォルダに保存した画像をマイピクチャで表示する必要があります。
- iモードメールに添付された10,000バイトを超えたJPEGの画像は、自動的に取得されます。自動的に取得できなかった場合は、iモードメール中の「📷」を選択することにより、画像を取得することができます。画像は、自動的にデータBOXのマイピクチャの「INBOX」フォルダに保存されます。
- 受信メール詳細画面で「📷」または「」を選択し、機能メニューから「貼付URL表示」を選択すると画像の取得先URLを確認することができます。URLに表示できる文字数は、「http://」を含めて半角150文字までです。

〈iモーションメール〉

iモーションメールからiモーションを再生・保存する

iモーションメールとして送られてきたiモーションのデータは、メールを受信してもFOMA端末に取得されていないため、iモーションメールセンターから取得してから保存します。

- iモーション閲覧のためのURLが付与されたメールを受信します。
- あらかじめ、iモーションメールを選択します。

1 「受信メール詳細画面」（P.283）▶URLを選択▶「YES」

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

■ iモーションの取得を途中で中止する場合
▶◯［中止］

■ 取得したiモーションを保存する場合
▶データ取得完了画面▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択
iモーションの「INBOX」フォルダに保存できます。→P.344

■ 取得したiモーションの情報を表示する場合
▶データ取得完了画面▶「情報表示」→P.242

データ取得完了画面

機能メニュー➡P.242

おしらせ

- 「自動再生設定」（P.243）が「自動再生する」に設定されている場合は、iモーションを取得しながら再生します。ただし、電波状況等により再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。このような場合はデータ取得完了後にもう一度再生してください。
- iモーションを取得しながら再生している場合（初回再生時のみ）は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。

〈トルカ受信〉

トルカを表示・保存する

受信したiモードメールに添付されたトルカを表示・保存します。

1 「受信メール詳細画面」（P.283）▶ファイルを選択

トルカが表示されます。

■ トルカを保存する場合
▶トルカ表示中▶◯［保存］▶フォルダを選択

次ページにつづく

■ トルカ（詳細）を表示する場合

▶トルカ表示中▶◉▶「YES」

■ トルカ（詳細）を保存する場合

▶トルカ（詳細）画面表示中▶◯［保存］▶フォルダを選択

■ トルカ（詳細）の取得途中で中止する場合

▶◯［中止］またはCLR

おしらせ

- トルカによっては、「詳細」が表示されない場合があります。

〈送信メールBOX／受信メールBOX〉

送信／受信メールBOXのメールを表示する

受信メールはiモードメールとSMSを合わせて最大1,000件※、送信メールはiモードメールとSMSを合わせて最大400件※まで保存されます。受信メール、送信メールともに最大保存容量の半分まで保護設定することができます。保存および保護できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存および保護できる件数が少なくなります。

※： 受信メールおよび送信メールそれぞれのシークレットフォルダには別途最大100件保存できます。

- iモードメールでは、最大で全角5,000文字分の本文を送受信できます。

iモードメールの本文を読む

＜例：受信メールの本文を読むとき＞

1 MENU▶▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶メールを選択

メールメニュー　受信フォルダ一覧画面　受信メール一覧画面　受信メール詳細画面

機能メニュー➡P.286　機能メニュー➡P.288　機能メニュー➡P.292

■ 前後のメールを表示する場合

▶メール詳細画面▶◯

CLRを押すと、受信メール一覧画面に戻ります。

おしらせ

- 受信メール一覧画面で機能メニューから「メール情報」を選択すると、メールを開く前に送信元と題名、iモードセンターに届いた日付・時刻を確認できます。
- 受信したメールの送信元や同報者の宛先、送信するメールの宛先（SMSは電話番号、iモードメールはメールアドレス）をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けることができます。貼り付けたアイコンからそのメールアドレスを宛先とする新規iモードメール（SMSは電話番号を宛先とする新規SMS）を作成できます。ただし、「Fm」「To」「Cc」のついたメールアドレスは、デスクトップアイコンとして貼り付けることができません。また同報メールの場合でも、1回の操作で貼り付けられるメールアドレスは1件だけです。
- シークレットモードおよびシークレット専用モード設定中は、受信BOXや送信BOX内にシークレットフォルダが表示されます。
- シークレット専用モード設定中でも、シークレットフォルダ以外のメールも表示されます。
- シークレットフォルダ内のメールからの大容量静止画の表示やiモーションの再生はできません。
- シークレットフォルダに保管されているメールからのPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能、iアプリTo機能は使用できません。
- シークレットフォルダ内の大容量静止画や動画、iモーションが添付されたメールは、メール本文のみが保管され、添付ファイルは保管されません。一覧画面や詳細画面では、添付ファイルが表示／再生できないことを示す「」「」「」「」が表示されます。また、メールをシークレットフォルダから出しても、添付ファイルは表示／再生できません。
- シークレットフォルダに保管されているメールは、フォルダが満杯状態のときにメールの送受信を行っても削除されません。
- シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻るため、日付の古いメールは他のメールの受信時／送信時に削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。

■ メール連動型iアプリについて

・メール連動型iアプリを利用して送信したiモードメールは、そのメール連動型iアプリ専用フォルダに振り分けられます。
・送信元がメール連動型iアプリを利用して送信してきたiモードメールは、受信側にそのメール連動型iアプリ専用フォルダがある場合、そのフォルダに振り分けられます。
専用フォルダがない場合、「自動振分け設定」を設定しているときはその設定に従ってフォルダに振り分けられ、設定されていないときは受信BOXに振り分けられます。
・メール連動型iアプリ専用フォルダを選択するとソフトが起動します。
・ソフトを起動させずにフォルダ内のメール一覧画面を表示するには、そのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択します。

■ メール（iモードメール、SMS）本文の読み上げについて

● 受信メール詳細画面で機能メニューから「メール読み上げ」を選択すると、受信メール本文を設定した声で読み上げることができます。
読み上げを中止する場合は、◉を押します（中止した後、◉を押すと最初から読み上げを開始します）。終了する場合は ◔［閉］を押します。
・「メール読み上げ設定」（P.298）で受信メールの本文を読み上げるときの声を設定できます。
・読み上げるときの音量は、「着信音量」（P.71）の「電話」で設定した音量になります。「消去」または「ステップ」に設定している場合は、「レベル2」の音量になります。
マナーモード設定時の音量について→P.135
・メール読み上げ時は、画面上半分に図のような画像が表示されます。また、受信メールの送信元アドレスと画像が電話帳に登録されている場合は、登録されている画像が表示されます。

● ▯[アシストキー]を使ってメール本文を読み上げることもできます。→P.405
● メール読み上げ中に◈、▯[ホーム]、▯[メモ／確認]を押すと、メール文章をスクロールします。また、⑤を1秒以上押すと、バックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。これら以外のボタンを押すと、読み上げを中止します。
● マナーモード設定中に受信メール詳細画面の機能メニューから「メール読み上げ」を選択すると、メールを読み上げるかどうかのメッセージが表示されます。ただし、イヤホンを接続しているときはマナーモード中でもメッセージは表示されず、イヤホンから音が聞こえます。
● メール読み上げ中に着信があると読み上げを終了し、着信中画面が表示されます。
● メール読み上げ中に新しくメールなどを受信したときは、「受信表示設定」の設定内容に従います。また、メール読み上げ中にアラームの指定時刻になった場合は、「アラーム通知設定」の設定内容に従います。
● パソコンなどからメールを受信すると、メール本文を読み上げできない場合があります。

フォルダ一覧画面の見かた

フォルダの一覧画面は以下のように表示されます。
● 受信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げのときは「受信BOX」、「シークレット」※、「チャット」、「ゴミ箱」フォルダのみですが、メール連動型iアプリや、受信フォルダ一覧画面の機能メニューでフォルダを追加できます。
● 送信BOXはフォルダごとにメールを保存できます。お買い上げのときは「送信BOX」、「シークレット」※、「チャット」フォルダのみですが、メール連動型iアプリや、送信フォルダ一覧画面の機能メニューでフォルダを追加できます。
● 保存BOXにフォルダはありません。
※： シークレットフォルダはシークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。

受信フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.286

- ：未読メールがないことを示しています。
- ：未読メールがあることを示しています。
- ：未読メールがなく、セキュリティ（P.286）がかけられていることを示しています。
- ：未読メールがなく、自動振分け設定（P.287）がされていることを示しています。
- ：未読メールがあり、セキュリティがかけられていることを示しています。
- ：未読メールがあり、自動振分け設定がされていることを示しています。
- ：未読メールがなく、セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされていることを示しています。

次ページにつづく

：未読メールがあり、セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされていることを示しています。
：メール連動型iアプリ（P.314）の受信メールフォルダを示しています。
：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあることを示しています。
：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。
：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあり、セキュリティがかけられていることを示します。
：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで、自動振分け設定がされていることを示しています。
：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあり、自動振分け設定がされていることを示しています。
：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで、セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされていることを示しています。
：メール連動型iアプリの受信メールフォルダで未読メールがあり、セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされていることを示しています。
：ゴミ箱のフォルダを示しています。
：ゴミ箱のフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。
：シークレットフォルダであることを示しています。→P.158
シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。

送信フォルダ一覧画面
機能メニュー➡P.286

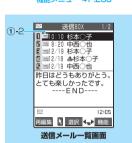
：送信メールのフォルダを示しています。
：セキュリティ（P.286）がかけられている送信メールのフォルダを示しています。
：メール連動型iアプリ（P.314）の送信メールフォルダを示しています。
：メール連動型iアプリの送信メールフォルダで、セキュリティがかけられていることを示しています。
：自動振分け設定（P.287）がされている送信メールのフォルダを示しています。
：セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされている送信メールのフォルダを示しています。
：メール連動型iアプリの送信メールフォルダで、自動振分け設定がされていることを示しています。
：メール連動型iアプリの送信メールフォルダで、セキュリティがかけられていて、自動振分け設定がされていることを示しています。
：シークレットフォルダであることを示しています。→P.158
シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。

メール一覧画面の見かた

メールの一覧画面は以下のように表示されます。

受信メール一覧画面

機能メニュー ➡P.288

送信メール一覧画面

機能メニュー ➡P.290

①メールの状態を示しています。

①-1 受信

- ：未読のメール
- ：既読のメール
- ：転送したメール
- ：返信したメール
- ：未読で保護されているメール
- ：既読で保護されているメール
- ：転送して保護されているメール
- ：返信して保護されているメール

①-2 送信

- ：送信に成功したメール
- ：送信に失敗したメール
- ：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功したメール
- ：複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功したメール
- ：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗したメール
- ：送信に成功して保護されているメール
- ：送信に失敗して保護されているメール
- ：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が成功して保護されているメール
- ：複数の宛先が指定され、その一部に送信が成功して保護されているメール
- ：複数の宛先が指定され、そのすべてに送信が失敗して保護されているメール

②メールの内容を感情お知らせメールのアイコンで示しています。

など：感情お知らせメールのアイコン→P.271

③送受信した時刻や日付を示しています。

③-1 当日送受信したメールは時刻が表示されます。

③-2 前日までに送受信したメールは日付が表示されます。

④送信元／宛先またはメールの題名を示しています。メールアドレスや電話番号で表示するか、名前で表示するか、題名で表示するか切り替えることができます。題名がないｉモードメールの場合、題名が「無題」と表示されます。SMSの場合は本文の冒頭が表示されます（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」が表示されます）。留守番着信通知の場合は「留守番　着信通知」が表示されます。

⑤メールの種別、添付ファイルや貼り付けられている情報の種類を示しています。

〈2行表示の場合〉

- ：SMSであることを示しています。
- ：SMSで、SMS送達通知を受信済みであることを示しています。
- ：SMSで、FOMAカード内にあることを示しています。
- ：メロディが添付されていることを示しています。
- ：複数のメロディが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
- ：添付されているすべてのメロディのデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
- ：画像が添付されていることを示しています。
- ：複数の画像が添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
- ：添付されているすべての画像のデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。また、メール詳細画面で、貼り付け画像が多すぎて表示しきれないことを示しています。

次ページにつづく

：大容量静止画のデータを取得後、データが正しいことを示しています。
：大容量静止画のデータを取得後、データが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：大容量静止画が添付されていて、自動取得されていないことを示しています。
：大容量静止画のデータを取得する前で、データが正しくないことを示しています。
：iモーションを添付したiモードメールを送信したときに表示されます。
：送信メールに添付したiモーションが削除されたりファイル名編集されていることを示しています。
：デコメールに貼り付けられた大容量の画像を取得する前で、画像の種類が不明であることを示しています。
：メールの本文からiアプリを起動できることを示しています。
：本文からiアプリを起動できるメールをシークレットフォルダへ移動したことを示しています。
：メール連動型iアプリが送受信したメールを示しています。
：複数のデータが貼り付けられていることを示しています。また、データがiアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示されます。
：トルカが添付されていることを示しています。
：複数のトルカが添付されていて、そのうち、一部のデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：添付されているすべてのトルカのデータが正しくなかったり、削除されていることを示しています。
：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できないことを示しています。

〈1行表示／1行＋本文表示の場合〉

：大容量のファイルを含まず、1個または複数のファイルが添付または貼り付けられていることを示しています。
：大容量のファイルを含まず、複数のファイルが添付または貼り付けられていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含まず、添付または貼り付けられているすべてのファイルデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含み、1個または複数のファイルが添付されていることを示しています。
：大容量のファイルを含み、複数のファイルが添付されていて、そのうちの一部のデータが正しくないことを示しています。
：大容量のファイルを含み、添付されているすべてのファイルデータが正しくないことを示しています。
：メールを送受信したときとは違うFOMAカードが使用されているため、添付または貼り付けられているファイルやデータが利用できないことを示しています。

おしらせ

- 画像が添付されたiモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像を選択し、◉を押すごとに画像表示とファイル名表示に切り替わります。

メール詳細画面の見かた

メールの詳細画面は以下のように表示されます。

受信メール詳細画面

機能メニュー➡P.292

送信メール詳細画面

機能メニュー➡P.293

①メールの状態が表示されます(P.281 のメール一覧画面の説明①参照)。

②送受信した日付と時刻(センターが受信した日付と時刻)を示しています。

③受信メールの送信タイプを表示します。

- To:送信元から宛先に指定されて受信したメールを示しています。
- Cc:送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定されて受信したメールを示しています。
- Bcc:送信元からほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定されて受信したメールを示しています。

④受信メールの内容によって感情お知らせメールのアイコンが表示されます。

など:感情お知らせメールのアイコン→P.271

⑤受信メールで、送信元のメールアドレスを表示します。

- From:送信元のメールアドレスを示しています。
- Fm:送信元に返信できないメールアドレス(メールアドレスが半角で50文字を超えているときなど)を示しています。

⑥ :発信元のメールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンが表示されます。

⑦送信メールで、宛先のメールアドレスおよび宛先のタイプを表示します。

送信が成功したかどうかを確認できます。宛先が複数指定されているメールでは、宛先がすべて表示されます。

- To OK:送信に成功した宛先を示しています。
- To ×:送信に失敗した宛先を示しています。
- Cc OK:コピーとして同報送信し、送信に成功した宛先を示しています。
- Cc ×:コピーとして同報送信し、送信に失敗した宛先を示しています。
- Bcc OK:送信に成功した、ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定した同報の宛先を示しています。
- Bcc ×:送信に失敗した、ほかの同報送信の宛先に表示されないよう指定した同報の宛先を示しています。

⑧受信メールで、複数指定されている宛先を表示します(受信者本人は含みません)。最大4件まで宛先が表示されます。

- To:送信元から宛先に指定されていることを示しています。
- To:送信元から宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。
- Cc:送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定されていることを示しています。
- Cc:送信元からコピーとして送るメールの同報宛先に指定され、返信できないメールアドレスを示しています。

返信できないメールアドレスには「Fm」、「To」、「Cc」が表示されます。

受信メールの送信元または送信メールの宛先が電話帳に登録されているときには、⑤、⑦、⑧の欄には電話帳に登録されている「名前」が表示されます。

名前を表示するには、相手のメールアドレスを電話帳に正しく登録しておく必要があります。
→P.111

⑨題名を示しています。題名がないときは「無題」と表示されます。受信したSMSには「SMS」(SMSがFOMAカード内にあるときは「 」)のアイコンが表示され、タイトルは「SMS」(SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」)と表示されます。SMS送達通知を受信済みの場合は、「 」も合わせて表示されます。

次ページにつづく

⑩添付ファイルや貼付ファイルがあるときは、アイコンとファイル名、バイト数（ファイルサイズ）が表示されます。

- ：メロディが貼り付けられていることを示しています。貼り付けられているメロディのデータが正しくない場合は、本文内にテキストとして表示されます。
- ：複数のデータが貼り付けられていることを示しています。また、データがiアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示されます。
- ：送信メールに添付したiモーションが削除されたりファイル名編集されていることを示しています。
- ：添付されている画像が削除されていることを示しています。
- ：大容量静止画のデータを取得後、削除されていることを示しています。また、取得後にデータが編集され、上書きされた場合にも表示されます。
- ：添付されているメロディが削除されていることを示しています。
- ：トルカが添付されていることを示しています。
- ：添付されているトルカが正しくなかったり、トルカ（詳細）が添付されていることを示しています。
- ：添付されているトルカが削除されていることを示しています。

添付ファイルアイコンについて→P.281

⑪メールの本文を示しています。
⑫本文の終わりに表示されます。

以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
・「指定発信制限」（P.164）が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
・シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき
・シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスからの受信メールや、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスへの送信メールを詳細表示したとき

メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替える

●メールの本文の文字サイズを変えるとき

メール詳細画面を表示しているときに、本文の文字の大きさを変更できます。

縮小表示　標準表示　拡大表示

おしらせ
- メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示または拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示または拡大表示になります。
- 上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「文字サイズ設定」（P.295）の設定も変更されます。
- メールを読み上げる画面（P.279）でも同じように文字サイズを変更できます。

●メール一覧画面の表示切替（1行＋本文表示／1行表示／2行表示）

メールメニューで「メール設定」の「メール一覧表示設定」を選択すると、1行＋本文表示で表示するか、2行で表示するか、1行で表示するかを切り替えることができます。→P.295

1行+本文表示

2行表示

1行表示

● メール一覧画面の表示切替（名前表示／アドレス表示／題名表示）

メール一覧画面で、メールを宛先や送信元の名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するか、題名で表示するかを切り替えられます。宛先や送信元の名前が電話帳に登録されている場合、その名前を表示できます。

● メール一覧画面（1行+本文表示）

● メール一覧画面（2行表示）

● メール一覧画面（1行表示）

おしらせ

- 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／保存メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選択して「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」から項目を選択しても表示の切り替えができます。

●受信メール／送信メールの保存件数を確認する

すべてのフォルダの保存件数を確認するときは、フォルダ一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選択します。
フォルダごとの保存件数を確認するときは、確認したいフォルダ内のメール一覧画面を表示した後、機能メニューから、「保存件数確認」を選択します。

●バックライト機能について

FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、iモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」（P.132）の設定によって変わります）。ただしiモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
「照明設定」（P.140）の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

- 追加できるフォルダは22個までです。
- 追加したフォルダに、受信したiモードメールやSMSが自動的に振分けられるように設定することができます。
- お買い上げのときにすでにある「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

フォルダ追加	**▶フォルダ名を入力** 新しくフォルダを追加します。
自動振分け設定	「自動振り分けを設定する」→P.287
フォルダ名編集	**▶フォルダ名を入力** 入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。
メールセキュリティ	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** フォルダのセキュリティを設定／解除します。 「フォルダごとにセキュリティを設定する」→P.164
フォルダ削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」**
フォルダ並び替え	**▶移動先を選択** フォルダを並び替えます。
保存件数確認	すべてのフォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。
フォルダ内表示	選択したフォルダ内のメール一覧画面を表示します。
デスクトップ貼付※1	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
赤外線全送信	選択したBOX内のすべてのメールを赤外線送信します。ただし、シークレットフォルダ内のメールは送信されません。 「データをまとめて転送する」→P.386
miniSDへ全コピー	選択したBOX内のすべてのメールをコピーします。ただし、シークレットフォルダ内のメールはコピーされません。
既読メール全削除※1	すべての既読メールを削除します。
受信メール全削除※2	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** すべてのメールを削除します。

※1：受信フォルダ一覧画面のみ表示されます。
※2：送信フォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

おしらせ

- シークレットモードおよびシークレット専用モード設定中は、「受信BOX」や「送信BOX」内に「シークレット」フォルダが表示されます。

<フォルダ追加>
- 「フォルダ追加」で追加できるフォルダとは別に、メール連動型iアプリをダウンロードすると、iアプリメール用フォルダが自動的に作成されます（最大5件）。

<自動振分け設定>
- 「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダに自動振分けを設定することはできません。

<フォルダ名編集>
- 「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、メール連動型iアプリのフォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダのフォルダ名の編集はできません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

＜メールセキュリティ＞
- メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名の編集はできません。
- 「シークレット」フォルダにはメールセキュリティを設定することはできません。

＜フォルダ削除＞
- フォルダ内のメールが保護されているときやメールセキュリティが設定されているときは、フォルダを削除できません。保護またはメールセキュリティを解除してから削除してください。
- 対応するメール連動型iアプリがある場合、iアプリメール用フォルダを削除することはできません。ソフトがない場合はiアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。
- 「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。
- 「シークレット」フォルダは削除できません。

＜フォルダ並び替え＞
- 「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダ(シークレットモード/シークレット専用モード時)は並び替えはできません。また、それらのフォルダを選択しているときは「フォルダ並び替え」はできません。
- 追加したフォルダが1つしかない場合は並び替えできません。

＜保存件数確認＞
- シークレットフォルダ内のメール件数は表示されません。

＜既読メール全削除＞
- 保護されている既読のiモードメールやSMSは削除されません。
- 「シークレット」フォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。

＜送信メール全削除＞
- 保護されているiモードメールやSMSは削除されません。
- 「シークレット」フォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。

＜受信メール全削除＞
- 未読のメールも削除されます。ただし、保護されているiモードメールやSMSは削除されません。
- 「シークレット」フォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。

● 自動振り分けを設定する

受信メールの送信元や送信メールの送信先のメールアドレス、題名など、あらかじめ指定した条件で、指定したフォルダにメールを自動的に振り分けることができます。

- 自動振り分けをするメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーは、受信BOXと送信BOXの全フォルダを合わせて700件まで登録することができます。1つのフォルダに複数のメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーを登録することもできます。題名はそれぞれのフォルダに1つだけ登録できます。
- 受信または送信したメールが複数の振り分け条件に該当する場合、自動振分け設定の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先度が高くなります。ただし、メール連動型iアプリのメールは自動振分け設定にかかわらず専用のフォルダに振り分けられます。チャットメールは、「すべて振分け」が設定されていない場合は、自動振分け設定にかかわらず「チャット」フォルダに振り分けられます。
  ①すべて振分け　②題名振分け　③返信不可振分け／送信失敗振分け　④メールアドレス／電話番号
  ⑤メールメンバー　⑥電話帳グループ
- 自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、設定前に保存されているフォルダに残ります。
- あらかじめ振り分け先のフォルダを選択してください。

1 受信フォルダ一覧画面／送信フォルダ一覧画面の機能メニュー（P.286）▶「自動振分け設定」▶以下の項目から自動振り分けを設定

項目			説明
アドレス振分け			自動振り分けをするメールアドレスを設定します。
	アドレス参照入力		電話帳や履歴を参照してメールアドレスを設定します。
		電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを設定します。 電話帳検索方法について→P.115
		受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを設定します。
		送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを設定します。
	グループ参照		**▶グループを選択** 選択したグループのメールアドレスが設定されます。
	メールメンバー参照		**▶メールメンバーを選択** 選択したメールメンバーのメールアドレスが設定されます。
	直接入力		1文字ずつ入力してメールアドレスを設定します。
題名振分け			**▶題名を入力** 自動振り分けをするメールの題名を設定します。

次ページにつづく

返信不可振分け※	返信不可のメールアドレス（または送信が失敗したメールアドレス）を設定します。
すべて振分け	メール連動型iアプリのフォルダだけに設定することができます。すべてのメールをメール連動型iアプリのフォルダに振り分けます。
アドレス／題名編集	設定済みのメールアドレスやメールの題名を編集します。
一覧表示切替	自動振り分けをするメールアドレスの一覧の表示方法を「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。
解除	選択した自動振り分けの条件を1件解除します。
選択解除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数の自動振り分けの条件を解除できます。
全解除	すべての自動振り分けの条件を解除します。

※： 送信フォルダ一覧画面の自動振分け設定画面のときは「送信失敗振分け」になります。

おしらせ

- すでに自動振り分けの条件が登録されているフォルダに別の条件を登録しようとすると、設定を破棄するかどうか確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、設定が変更されます。「NO」を選択すると、元の画面に戻ります。
- 同報送信した送信メールは、アドレス振り分けや送信失敗振り分けを設定したフォルダには振り分けられません。
- メールセキュリティ（P.286）が設定されているフォルダの場合は、受信フォルダ／送信フォルダ一覧画面の機能メニューから「自動振分け設定」を選択した後に端末暗証番号の入力が必要になります。

＜アドレス振分け（グループ参照）＞
- 「グループ00」やFOMAカード内のグループを設定することはできません。

＜アドレス振分け（直接入力）＞
- メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

＜題名振分け＞
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 1つのフォルダに設定できる題名は1件のみです。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているiモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

＜返信不可振分け＞
- SMS送達通知は振り分けされません。
- 「返信不可振分け」は受信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

＜送信失敗振分け＞
- 「送信失敗振分け」は送信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

＜すべて振分け＞
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。
- 「すべて振分け」は、受信と送信それぞれ1つのiアプリメール用フォルダにしか設定できません。
- 「すべて振分け」を設定すると、ほかの振り分け設定は無効となります。

＜一覧表示切替＞
- 自動振分け設定画面で#を押しても、「名前一覧表示」と「アドレス一覧表示」を切り替えることができます。

受信メール一覧画面の機能メニュー

<table>
<tr><td>返信</td><td colspan="3">「新たに本文を入力して返信する」→P.274</td></tr>
<tr><td>フォルダ移動</td><td colspan="3">▶フォルダを選択▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」
選択したメールをほかのフォルダへ移動します。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">メール検索</td><td colspan="3">送信元または題名を指定してメールを検索します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">送信元検索</td><td colspan="2">電話帳や履歴を参照してメールアドレスを指定したり、1文字ずつメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>電話帳</td><td>電話帳を検索してメールアドレスを指定します。
電話帳検索方法について→P.115</td></tr>
<tr><td>受信アドレス一覧</td><td>受信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>送信アドレス一覧</td><td>送信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>直接入力</td><td>1文字ずつ入力してメールアドレスを指定します。</td></tr>
<tr><td>題名検索</td><td colspan="2">▶題名を入力</td></tr>
<tr><td>全表示</td><td colspan="3">検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。</td></tr>
<tr><td>ソート</td><td colspan="3">指定した条件に従ってメールを並び替えます。</td></tr>
</table>

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

フィルタ	指定した条件に従ってメールを表示します。	
	未読のみ	未読のiモードメールやSMSだけを表示します。
	既読のみ	既読のiモードメールやSMSだけを表示します。
	保護のみ	保護されているiモードメールやSMSだけを表示します。
	画像のみ	画像が添付されているiモードメールや大容量静止画の取得情報が貼り付けられているiモードメールだけを表示します。
	メロディのみ	メロディが添付または貼り付けられているiモードメールだけを表示します。
	トルカのみ	トルカが添付されたiモードメールだけを表示します。
	iアプリのみ	iアプリの起動情報が含まれているiモードメールだけを表示します。
	SMSのみ	SMSだけを表示します。
	キーワード通知のみ	**▶キーワード通知（1～3）アイコンを選択** 選択したキーワード通知アイコンを表示しているiモードメールやSMSだけを表示します。 「感情／キーワード通知設定」→P.299
	感情通知のみ	**▶感情通知アイコンを選択** 選択した感情お知らせメールのアイコンを表示しているiモードメールやSMSだけを表示します。
一覧表示切替	メールの一覧の表示方法を「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。	
すべて既読	フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。	
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。	
保護全解除	保護されているすべてのメールの保護を解除します。	
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385	
miniSDへコピー	受信メールをminiSDメモリーカードにコピーします。	
	1件コピー	反転表示したメールをコピーします。
	選択コピー	**▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」** 複数のメールをコピーできます。
	全コピー	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** フォルダ内に登録されているメールをすべてコピーします。
FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.311	
メール情報	メールを開かずに送信元などの情報を表示します。	
保存件数確認	フォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。	
ゴミ箱へ捨てる	**▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」** 選択したメールをゴミ箱フォルダへ移動します。	
削除	反転表示したメールを削除します。	
選択削除	**▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」**	
既読削除	既読のメールを削除します。	
SMS送達通知全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** SMS送達通知をすべて削除します。	
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 受信メールをすべて削除します。	
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.158	

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.158

おしらせ

<フォルダ移動>

- 「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダへ移動することはできません。
- FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<メール検索>

- 検索結果をさらに検索することができます。
- フィルタ機能やソート表示を併用することができます。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているiモードメールは検索できません。

次ページにつづく

＜ソート／フィルタ＞
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば受信メール一覧画面で保護されているメールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「保護のみ」を選択します。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- ソート表示またはフィルタ機能でメールを表示させた後、その画面を終了し、再度受信メール一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。

＜一覧表示切替＞
- 受信メール一覧画面で # を押しても、「題名表示」、「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。

＜すべて既読＞
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「すべて既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

＜保護／保護解除＞
- FOMA端末に保存されている受信メール（iモードメールとSMSの合計）が最大保存件数（P.278）を超えた場合、メール受信時に「ゴミ箱」フォルダのメールが優先的に削除されます。「ゴミ箱」フォルダにメールがない場合は、保護されていない既読の受信メールのうちから古い順に削除されます。なお、「シークレット」フォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。
- FOMAカードのSMSは保護できません。
- 「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。
- 「シークレット」フォルダ内のメールを「シークレットから出す」で出した場合、フォルダの状態によっては、他のメールを受信時に削除される場合があります。メールを保護状態にしてから「シークレットから出す」を行うことをおすすめします。

＜保護全解除＞
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「保護全解除」を選択すると、表示されているメールのみ保護が解除されます。

＜ゴミ箱へ捨てる＞
- 削除したいメールは「ゴミ箱」フォルダに捨てます。「ゴミ箱」フォルダに捨てたメールはすぐには削除されず、削除されるまでは「ゴミ箱」フォルダからほかのフォルダに戻すことができます。「ゴミ箱」フォルダに捨てられたメールは、受信BOXがいっぱいになった場合、優先的に削除されます。
- 保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知は「ゴミ箱」フォルダに捨てることはできません。
- 未読メールを「ゴミ箱」フォルダに捨てると、既読メールになります。
- 受信メール一覧画面で機能メニューから「ゴミ箱へ捨てる」を選択し、「ゴミ箱」フォルダに捨てるメールを選択すると、最大保存件数を超えた場合のメール受信時に優先的に自動削除されることを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択するとメールが「ゴミ箱」フォルダに捨てられます。

＜削除＞
- 未読のiモードメールやSMSも削除できます。
- 保護されているiモードメールやSMSは削除できません。

＜選択削除＞
- 保護されているiモードメールやSMSは選択できません。

＜既読削除＞
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「既読削除」を選択すると、表示されているメールから、保護されている既読のiモードメールやSMSを除いたメールが削除されます。

＜SMS送達通知全削除＞
- 保護されているSMS送達通知は削除できません。

＜全削除＞
- 未読のiモードメールやSMSも削除できます。
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「全削除」を選択すると、表示されているメールから、保護されているiモードメールやSMSを除いたメールが削除されます。

送信メール一覧画面の機能メニュー

再編集	**▶宛先、題名、本文を編集▶◯［送信］** メールを再編集します。		
フォルダ移動	**▶フォルダを選択▶✥で□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」** 選択したメールをほかのフォルダへ移動します。		
メール検索	宛先または題名を指定してメールを検索します。		
	宛先検索	電話帳や履歴を参照してメールアドレスを指定したり、1文字ずつメールアドレスを指定します。	
		電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを指定します。 電話帳検索方法について→P.115
		送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
		受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを指定します。
		直接入力	1文字ずつ入力してメールアドレスを指定します。
	題名検索	**▶題名を入力**	
全表示	検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。		

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

ソート	指定した条件に従ってメールを並び替えます。	
フィルタ	指定した条件に合うメールだけを表示します。	
一覧表示切替	メールの一覧の表示方法を「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」から選択します。	
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。	
保護全解除	保護されているすべてのメールの保護を解除します。	
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385	
miniSDへコピー	送信メールをminiSDメモリーカードにコピーします。	
	1件コピー	反転表示したメールをコピーします。
	選択コピー	**▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」** 複数のメールをコピーできます。
	全コピー	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** フォルダ内に登録されているメールをすべてコピーします。
FOMAカード操作	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.311	
保存件数確認	フォルダ内のメールの件数および保護件数を表示します。	
削除	反転表示したメールを削除します。	
選択削除	**▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」** 複数のメールを削除できます。	
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 送信メールをすべて削除します。	
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.158	

※： シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.158

おしらせ

<フォルダ移動>
- シークレットフォルダへ移動することはできません。
- FOMAカードのSMSはフォルダ移動できません。

<メール検索>
- 検索結果をさらに検索することができます。
- フィルタ機能やソート表示を併用することができます。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているiモードメールは検索できません。

<ソート／フィルタ>
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば送信メール一覧画面で保護されているメールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「保護のみ」を選択します。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- ソート表示またはフィルタ機能でメールを表示させた後、その画面を終了し、再度送信メール一覧画面を表示したときは全表示の一覧画面表示に戻ります。

<一覧表示切替>
- 送信メール一覧画面でを押しても、「題名表示」、「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。

<保護／保護解除>
- FOMA端末に保存されている送信メール（iモードメールとSMSの合計）が最大保存件数（P.278）を超えた場合、保護されていない送信メールのうちから古い順に削除されます。なお、シークレットフォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。
- FOMAカードのSMSは保護できません。
- シークレットフォルダ内のメールを「シークレットから出す」で出した場合、フォルダの状態によっては、他のメールを送信時に削除される場合があります。メールを保護状態にしてから「シークレットから出す」を行うことをおすすめします。

<削除>
- 保護されているiモードメールやSMSは削除できません。

<選択削除>
- 保護されているiモードメールやSMSは選択できません。

<全削除>
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「全削除」を選択すると、表示されているメールから、保護されているiモードメールやSMSを除いたメールが削除されます。

受信メール詳細画面の機能メニュー

項目	内容
返信	「新たに本文を入力して返信する」→P.274
引用返信	「本文を引用して返信する」→P.275
転送	「iモードメールをほかの宛先に転送する」→P.275
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
フォルダ移動	▶**フォルダを選択** メールをほかのフォルダへ移動します。
コピー	メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 「文字をコピー（または切り取り）する」→P.498
アドレス登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.276
電話帳登録	
データ保存	メールに添付または貼り付けられているメロディ、画像、トルカを保存します。 「iモードメールからメロディを再生・保存する」→P.276 「画像メールの画像を保存する」→P.276 「トルカを表示・保存する」→P.277
挿入画像保存	▶**画像を選択**▶**「YES」**▶**フォルダを選択**▶**「YES」**▶**項目を選択** デコメールの本文に挿入されている画像を保存します。待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択し、⊙を押した後に「NO」を選択します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
テンプレート保存	受信したメールをテンプレートとして保存します。 「テンプレートを保存する」→P.264
辞典検索	辞典を起動します。 「辞典を利用する」→P.421
プロパティ	▶**画像を選択** デコメールの本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。
貼付URL表示	メールに添付されている大容量静止画のURLを表示します。
メール読み上げ	メールの本文を読み上げます。→P.279
チャット起動	チャットメールを起動します。→P.302
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
miniSDへコピー	「FOMA端末とminiSDメモリーカード間でコピーできるデータについて」→P.375
FOMAカード操作	FOMA端末(本体)内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.311
スクロール設定	画面のスクロール行数を「1行スクロール」、「3行スクロール」、「5行スクロール」から選択します。
文字サイズ設定	表示される文字のサイズを「標準表示」、「縮小表示」、「拡大表示」から選択します。
添付ファイル削除	添付されているファイルを削除します。ただし、データBOXに保存したデータは削除されません。
ゴミ箱へ捨てる	メールを「ゴミ箱」フォルダへ移動します。
削除	受信メール詳細画面に表示中の受信メールを削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.158

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.158

おしらせ

<フォルダ移動>
- 「ゴミ箱」フォルダ、「シークレット」フォルダへ移動することはできません。
- FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<添付ファイル削除>
- メール本文に貼り付けられたデータは削除されません。

<ゴミ箱へ捨てる>
- 保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知は「ゴミ箱」フォルダに捨てることはできません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

送信メール詳細画面の機能メニュー

機能	説明
再編集	▶宛先、題名、本文を編集▶◯［送信］ メールを再編集します。
再送信	メールを再送信します。
保護／保護解除	メールを保護／保護解除します。
フォルダ移動	▶フォルダを選択 メールをほかのフォルダへ移動します。
コピー	メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。 「文字をコピー（または切り取り）する」→P.498
アドレス登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.276
電話帳登録	
データ保存	メールに添付されているメロディ、画像、トルカを保存します。 「iモードメールからメロディを再生・保存する」→P.276 「画像メールの画像を保存する」→P.276 「トルカを表示・保存する」→P.277
挿入画像保存	▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択▶「YES」▶項目を選択 デコメールの本文に挿入した画像を保存します。待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択し、⦿を押した後に「NO」を選択します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
テンプレート保存	送信したメールをテンプレートとして保存します。 「テンプレートを保存する」→P.264
辞典検索	辞典を起動します。 「辞典を利用する」→P.421
プロパティ	▶画像を選択 デコメールの本文に挿入した画像のファイル名とファイルサイズを表示します。
SMS送達通知表示	SMSのSMS送達通知を表示します。→P.307
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
miniSDへコピー	「FOMA端末とminiSDメモリーカード間でコピーできるデータについて」→P.375
FOMAカード操作	FOMA端末(本体)内のSMSをFOMAカードに移動／コピーしたり、FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動／コピーします。→P.311
スクロール設定	画面のスクロール行数を「1行スクロール」、「3行スクロール」、「5行スクロール」から選択します。
文字サイズ設定	表示される文字のサイズを「標準表示」、「縮小表示」、「拡大表示」から選択します。
添付ファイル削除	添付されているファイルを削除します。ただし、データBOXに保存したデータは削除されません。
削除	送信メール詳細画面に表示中の送信メールを削除します。
シークレットに保管※	「各種データを表示できないようにする」→P.158

※：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。また、シークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.158

おしらせ

<再送信>

- 「再送信」を選択すると、メールを再編集しないで再送信します。送信に失敗したメールなどを簡単に再送信することができます。
- 送信に失敗したメールは、再送信すると削除され、送信メールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると削除され、送信メールとして保存されます。

<SMS送達通知表示>

- 選択しているメールに対応するSMS送達通知がない場合は、この機能は利用できません。
- 「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定していても、メールが送信できなかった（相手に届かなかった）場合は、SMS送達通知は付きません。
- シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、一覧画面やSMSの詳細画面で「▤」が表示されていても、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択してSMS送達通知内容を確認できるようになります。

メールの履歴を利用する

メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧に送信先アドレス、受信アドレス一覧に送信元アドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。アドレス一覧は、iモードメールとSMSをアイコンで区別するので、履歴の種類がわかります。

- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます。
- 「シークレットモード」および「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録された電話帳のメールアドレスは、アドレス一覧に記録されません。
- メール画面の受信BOXと送信BOXにメールセキュリティ設定中にメールを受信したり、メールを送信した場合は、送信元のメールアドレスと宛先のメールアドレスは、アドレス一覧に記録されません。

アドレス一覧を確認する

送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を確認します。

＜例：受信アドレス一覧画面を表示するとき＞

1 MENU▶（ユーザデータ）▶「着信履歴」▶「全着信」▶［機能］▶「受信アドレス一覧」

「受信アドレス一覧画面」が表示されます。
「受信アドレス一覧画面」は、待受画面表示中にを1秒以上押しても表示できます。

■送信アドレス一覧画面を表示する場合
▶MENU▶（ユーザデータ）▶「発信履歴」▶［機能］▶「送信アドレス一覧」
送信アドレスの一覧は待受画面表示中に、を1秒以上押しても表示できます。

受信アドレス一覧画面

機能メニュー➡P.295

2 送信元を選択

「受信アドレス詳細画面」が表示されます。

3 内容を確認

おしらせ

- 送信アドレス一覧画面、送信アドレス詳細画面で表示されるアイコンは以下のとおりです。
  - ・（アイコン）: iモードメールの送信に成功したことを示します。
  - ・（アイコン）: iモードメールの送信に失敗したことを示します。
  - ・（アイコン）: SMSの送信に成功したことを示します。
  - ・（アイコン）: SMSの送信に失敗したことを示します。
- 受信アドレス一覧画面、受信アドレス詳細画面で表示されるアイコンは以下のとおりです。
  - ・（アイコン）: iモードメールを受信したことを示します。
  - ・（アイコン）: SMSを受信したことを示します。
- 「PIMロック」「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの送信アドレス一覧／受信アドレス一覧はすべて削除されます。設定後の送信アドレス一覧／受信アドレス一覧はそれぞれ記憶されます。

送信アドレス一覧画面／受信アドレス一覧画面の機能メニュー

送信アドレス詳細画面／受信アドレス詳細画面の機能メニューも同様です。
● 電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。

電話帳登録	「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.276
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
iモードメール作成※1	メールアドレスを宛先に貼り付けたiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
電話発信	メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号にPhone To／AV Phone To機能で音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信します。→P.229
着信履歴表示※2	着信履歴画面（または発信履歴画面）（一覧）に切り替えます。→P.57、69
1件削除	反転表示したメールアドレスを削除します。
選択削除	**▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」** 選択した送信アドレスまたは受信アドレスを削除します。
全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 受信アドレス一覧または送信アドレス一覧の内容をすべて削除します。

※1：SMSを選択したときは「SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。
　　「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.306
※2：送信アドレス一覧画面のときは「リダイヤル表示」になります。

おしらせ
＜着信履歴表示＞
● 表示される着信履歴画面は「全着信」（すべての着信履歴を表示）です。

〈メール設定〉
FOMA端末のメール機能を設定する

FOMA端末のメールに関する機能を設定します。

1 ▶▶「メール設定」
「メール設定画面」が表示されます。

2 以下の項目から選択

メール設定画面

スクロール設定 （お買い上げ時：1行スクロール）	メール詳細画面でを押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを「1行スクロール」、「3行スクロール」または「5行スクロール」から選択します。	
文字サイズ設定 （お買い上げ時：標準表示）	メール詳細画面で表示される文字サイズを「標準表示」、「縮小表示」または「拡大表示」から選択します。	
メール一覧表示設定 （お買い上げ時：1行+本文表示）	メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。「2行表示」、「1行表示」、「1行+本文表示」から選択します。 **■メール一覧画面の表示を切り替える場合** **▶表示方法を選択** 「題名表示」、「名前表示」または「アドレス表示」に切り替えます。	
本文表示設定	メール本文を表示するときの表示開始位置を設定します。	
	通常表示 （お買い上げ時）	メールの先頭（受信日時／送信日時）から表示します。
	本文から表示	メールの本文から表示します。
添付ファイル自動再生設定 （お買い上げ時：自動再生する）	受信したiモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。	
冒頭文／署名設定	「冒頭文／署名／引用符を編集する」→P.297	

次ページにつづく

メールセキュリティ設定	「BOXごとにセキュリティを設定する」→P.163	
受信表示設定	FOMA端末の操作中にメール、メッセージRやメッセージFを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。	
	通知優先 （お買い上げ時）	受信中画面および受信結果画面を表示します。
	操作優先	受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。
メール選択受信設定	メールの選択受信をするかどうかを設定します。	
	ON	メールを自動受信しません。
	OFF （お買い上げ時）	メールを自動受信します。
添付ファイル設定 （お買い上げ時：すべて受信）	添付ファイルを受信するかどうかを「すべて受信」、「画像のみ受信」、「メロディのみ受信」、「受信しない」から選択します。	
スピードフォトメール表示設定 （お買い上げ時：自動表示する）	スピードフォトメールを受信したときに静止画を自動表示するかどうか設定します。 「自動表示しない」に設定し、スピードフォトメールを受信したときは、静止画が添付されたメールの受信になります。静止画を表示するには、受信したメールを表示します。	
メール読み上げ設定	メール読み上げの設定をします。	
	読み上げ音声設定 （お買い上げ時：女性ボイス1）	受信メールを読み上げる声を「女性ボイス1～2」、「男性ボイス1～2」、「ロボット調ボイス」から選択します。
	受信時読み上げ設定 （お買い上げ時：有効）	0[アシストキー]を押したときに、メールの読み上げを「有効」にするか「無効」にするか設定します。
チャット設定	「チャットメールの各種設定をする」→P.305	
感情／キーワード通知設定	「感情お知らせメールの通知方法を設定する」→P.299	
SMS設定	SMSに関する設定をします。	
	SMS送達通知設定 （お買い上げ時：要求しない）	SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「要求する」または「要求しない」を選択します。
	SMS有効期間設定 （お買い上げ時：3日）	送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日」、「1日」、「2日」、「3日」から選択します。 「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。
	SMS本文入力設定 （お買い上げ時：日本語入力（70文字））	SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、すべての全角文字および半角文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。
メール設定確認	「メール設定」で設定した内容を確認できます。	
メール設定リセット	「メール設定」の設定内容をお買い上げのときの状態に戻します。→P.300	

おしらせ

<スクロール設定>

- スクロール行数は、メール詳細画面で機能メニューから「スクロール設定」を選択しても設定できます。この場合、本設定も変更されます。

<文字サイズ設定>

- メール詳細画面でⓢまたはⓢを1秒以上押しても文字サイズを変更することができます。また、メール詳細画面またはメール読み上げ画面で機能メニューから「文字サイズ設定」を選択しても文字サイズを変更することができます。いずれの方法で変更した場合も、本設定も変更されます。
- メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。メール詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示や拡大表示になります。

<本文表示設定>

- メールの本文が1ページ以内に表示できる場合は、「本文から表示」を選択しても、メールの先頭（受信日時／送信日時）の全部または一部と本文が表示されます。

<添付ファイル自動再生設定>

- 「自動再生する」に設定していても、N902i以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

<受信表示設定>
- 音声電話の着信中や発信中、音声通話中、またｉアプリ、ｉモーション、キャラ電、カメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージR、メッセージFを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。

<メール選択受信設定>
- 本設定は、ｉモードメールのみ適用されます。SMS、メッセージRとメッセージFは、この設定にかかわらず自動受信します。
- SMSを選択して受信することはできません。

<添付ファイル設定>
- 「すべて受信」に設定されている場合は、画像、メロディ、トルカのすべての添付ファイルを受信します。
- 添付ファイルを受信したとき、「受信しない」に設定されている場合はすべての添付ファイルが、「メロディのみ」に設定されている場合はメロディ以外の添付ファイルが、「画像のみ」に設定されている場合は画像以外の添付ファイルが、ｉモードセンターで削除されます。削除された添付ファイルは、ｉモード問い合わせで再取得できません。
- メロディを受信した場合、N902i以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。
- 「受信しない」または「メロディのみ」に設定されているときは、デコメールに挿入された画像やスピードフォトメールの静止画もｉモードセンターで削除されます。

<SMS送達通知設定>
- 受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。また、送信したSMSの詳細画面から機能メニュー「SMS送達通知表示」を選択しても確認できます。

冒頭文／署名／引用符を編集する

お買い上げ時	冒頭文／署名（未登録）：自動貼付する　引用符：>

本文の先頭に書く文章（冒頭文）や、本文の最後に書く自分の名前など（署名）をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でｉモードメールの本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときに引用するメールの本文の先頭につける記号や文章（引用符）を編集することもできます。

1 「メール設定画面」（P.295）▶「冒頭文／署名設定」▶冒頭文または署名の「自動貼付」のチェックボックスを選択▶冒頭文または署名のボックスを選択▶冒頭文または署名を入力

冒頭文、署名、引用符は、それぞれの欄に入力します。
冒頭文、署名に入力できる文字数は全角120文字、半角240文字までです。

■ 冒頭文または署名を自動貼り付けしない場合
▶冒頭文または署名の「自動貼付」のチェックボックスのチェックを外す

2 引用符のボックスを選択▶引用符を入力▶ [完了]

引用符に入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。

おしらせ
- 「自動貼付」のチェックボックスを選択しても、スピードフォトメール、テンプレート、チャット画面、メール連動型ｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

ｉモードセンターへ問い合わせをする内容を設定する〈ｉモード問い合わせ設定〉

お買い上げ時
すべて「問い合わせをする」

「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を設定します。「メール」（ｉモードメール）、「メッセージR」、「メッセージF」それぞれについて、問い合わせるかどうかを設定します。
●「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせをしません。

1 MENU▶ ▶「アプリケーション通信設定」▶「ｉモード問い合わせ設定」

2 で□（チェックボックス）を選択▶ [完了]

受信メールを読み上げる声を設定する

- SMS送達通知（P.307）、本文のないメール、貼付メロディまたはiアプリ起動URLのみのメール、本文が入力されていないデコメールは、読み上げできません。
- 音声通話中、プッシュトーク通信中、ミュージックプレーヤー起動中および64Kデータ通信中は、メールの読み上げができません。

1 「メール設定画面」（P.295）▶「メール読み上げ設定」▶「読み上げ音声設定」▶読み上げる声を選択

● 読み上げルールについて

メール読み上げ機能では、おおむね以下の規則に基づいて受信メールを読み上げます。

■記号・特殊文字・絵文字

●記号・特殊文字・絵文字の読み上げはしません。ただし、一部の記号は読み上げをします。
※記号･特殊文字･絵文字がある文章の場合は、正しく読み上げできないこともあります。

■数字

●数字が並んでいる場合は最大16桁まで桁読みします。

例：1234 → センニヒャクサンジュウヨン

■金額

●数字の先頭に「￥（半角・全角可）」などを入力されていると、最大16桁まで金額として読み上げます。
入力文字列に区切り記号「,」を使用する場合は、3桁ごとに「,」で区切られていなければ金額と判定しません。

例：￥12345
￥12,345
→「イチマンニセンサンビャクヨンジュウゴ　エン」

■電話番号

●数字を「-」、「(」、「)」により以下のパターンで区切ると、桁読みをせず、電話番号として読み上げます。また数字の先頭に「Tel:」がある場合も電話番号として読み上げます。

例：Tel：0120-102-001→テル ゼロイチニーゼロ イチゼロニ ゼロゼロイチ

一般電話			
XX-XXXX-XXXX	XXX-XXX-XXXX	XXXX-XX-XXXX	XXXXX-X-XXXX
(XX)XXXX-XXXX	(XXX)XXX-XXXX	(XXXX)XX-XXXX	(XXXXX)X-XXXX
XX(XXXX)XXXX	XXX(XXX)XXXX	XXXX(XX)XXXX	XXXXX(X)XXXX
XXXX-XXXX	XXX-XXXX	XX-XXXX	X-XXXX
携帯電話			
XXX-XXXX-XXXX	XXXX-XXX-XXXX	(XXX)XXXX-XXXX	(XXXX)XXX-XXXX
XXX(XXXX)XXXX	XXXX(XXX)XXXX		
フリーダイヤル			
XXXX-XXX-XXX	XXXX-XXXXXX		

※「X」は数字を表します

■時刻

●数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。※「時」については1～2桁、「分」については2桁の場合に時刻と判断します。また、文字列の前後に「AM」または「PM」（大文字）を付加すると、「午前」、「午後」を先頭につけて時刻を読み上げます。

時刻の形式
「時」:「分」（「時」は0～29、「分」は00～59） 例：23:15 → 「ニジュウサンジ　ジュウゴフン」
AM「時」:「分」または「時」:「分」AM （「時」は0～12、「分」は00～59） 例：AM5:05 → 「ゴゼン　ゴジ　ゴフン」
PM「時」:「分」または「時」:「分」PM （「時」は0～12、「分」は00～59） 例：5:05PM → 「ゴゴ　ゴジ　ゴフン」

※：「時」:「分」:「秒」の形で入力されている場合（例：23：15：10）、読み上げを行いません。

メール　メール設定

■日付

●数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。また、日付の前に「M」、「T」、「S」、「H」（M、T、S、Hは大文字のみ）を挿入すると年を元号として読み上げます。

「年」/「月」/「日」または「年」.「月」.「日」（「年」は0～9999、「月」は1～12、「日」は1～31）
例：2005/12/5 2005/12/05 2005.12.5 2005.12.05　―「ニセンゴネン　ジュウニガツ　イツカ」
「M」「年」/「月」/「日」または「M」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　M10/04/20 →「メイジ　ジュウネン　シガツ　ハツカ」
「T」「年」/「月」/「日」または「T」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　T8.10.15 →「タイショウ　ハチネン　ジュウガツ　ジュウゴニチ」
「S」「年」/「月」/「日」または「S」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　S50.3.6 →「ショウワ　ゴジュウネン　サンガツ　ムイカ」
「H」「年」/「月」/「日」または「H」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：　H17.10.3 →「ヘイセイ　ジュウナナネン　ジュウガツ　ミッカ」

・数字、金額、電話番号、時刻、日付においてすべてのパターンは全角文字にも対応しています。
・金額、電話番号、時刻、日付を読み上げるとき、その文字列の直前あるいは直後に以下の文字がある場合には正確に読み上げないことがあります。金額、電話番号、時刻、日付を正確に読み上げたい場合は、その文字列の前後にスペースなどの区切り文字を置くことをおすすめします。
「0～9」「A～Z(大文字)」、「:」、「¥」、「/」、「.」、「-」（半角・全角）

■記号

●下記の記号を読み上げることができます（数字と組み合わせると以下のように読み上げます）。

$（ドル）	%（パーセント）	¥（エン）	°（ド）
℃（ド）	￥（エン）	＄（ドル）	％（パーセント）
㍉（ミリ）	㌔（キロ）	㌢（センチ）	㍍（メートル）
㌘（グラム）	㌧（トン）	㌃（アール）	㌶（ヘクタール）
㍑（リットル）	㍗（ワット）	㌍（カロリー）	㌦（ドル）
㌣（セント）	㌫（パーセント）	㍊（ミリバール）	㌻（ページ）
㎜（ミリメートル）	㎝（センチメートル）	㎞（キロメートル）	㎎（ミリグラム）
㎏（キログラム）	㏄（シーシー）	㎡（ヘイホウメートル）	

■その他

●英字はアルファベット読みで読み上げますが、組み合わせによってはアルファベット読みしない場合があります。
●文章の内容や、記載内容（とくに地名や固有名詞など）により、読み上げをしなかったり、読み方を誤る場合があります。
●読み上げの音声は自然音声と異なります。聞きづらい発音やアクセントになる場合があります。
●句読点（「、」、「。」）、ピリオド（「.」）、改行、スペースなどがある場合は、その位置で読み上げを区切ります。ただし、「.」「,」の前後が数字の場合は、区切りません。区切りがない場合は、文章を自動的に区切って読み上げます。
文章によっては声が出るまでに時間がかかる場合があります。漢字を使用した場合は、正しく読み上げができない場合があります。文章の内容をより正確に読み上げたい場合は、よくメールをやりとりする相手の方に以下のことをお願いすることをおすすめします。
・名詞、とくに地名、人名といった固有名詞はカタカナで作成してください。
・句読点などを用いた文章でメールを作成してください。

感情お知らせメールの通知方法を設定する〈感情／キーワード通知設定〉

お買い上げ時	感情通知：ON　キーワード通知：OFF

iモードメールやチャットメール、SMS を受信したときに感情お知らせメールのアイコンを表示するかどうかを設定できます。また、受信したメールに指定したキーワードが含まれているときにアイコンでお知らせするように設定することもできます。
●「感情お知らせメールについて」→P.271

1 「メール設定画面」（P.295）▶「感情／キーワード通知設定」

「感情／キーワード通知設定画面」が表示されます。

■「感情通知」を利用する場合

▶「感情通知」の□（チェックボックス）を選択

「☑」にすると、メール受信時に感情お知らせメールのアイコンが表示されます。

■「キーワード通知」を利用する場合

▶「キーワード通知」の□（チェックボックス）を選択▶キーワードを1つ以上入力

「☑」にすると、「キーワード」に入力した文字列が含まれているメールを受信したときに、対応する感情お知らせメールのアイコンが表示されます。なお、「キーワード」は最低1つは入力してください（3つまで入力できます）。

感情／キーワード通知設定画面

機能メニュー➡P.300

2 ◯［完了］

感情／キーワード通知設定画面の機能メニュー

キーワード削除	選択されているキーワードを削除します。
キーワード全削除	設定されているすべてのキーワードを削除します。

おしらせ

- キーワードを変更または削除した場合は、メール一覧画面などでそのキーワードに対応して表示されていたキーワード通知アイコンの表示も削除されます。

メール機能の設定を初期状態に戻す〈メール設定リセット〉

1 「メール設定画面」（P.295）▶「メール設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

〈チャットメール作成・送信〉

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- 以下のような場合はチャットメールを起動することができません。
  - ・メール選択受信を「ON」に設定しているとき
  - ・受信BOXに保存されているメールが満杯のとき
  - ・PIMロックされているとき
- 複数の相手にチャットメールを送信した場合の通信料は、同報メールの送信の場合と同じです。→P.250
- チャットメールに着信音を設定することができます。同時に複数のメールを受信した場合でチャットメールが含まれているときは、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

チャットメンバーを設定する〈チャットメンバー設定〉

チャットメールをやりとりする相手を設定します。

1 MENU▶(メール)▶「チャットメール」▶◯［機能］▶「チャットメンバー」

「チャットメンバー設定画面」が表示されます。

これ以降の詳しい操作手順については、P.301の表の「メンバー参照入力」を参照してください。

チャットメンバー設定画面

機能メニュー➡P.301

チャットメンバー設定画面の機能メニュー

チャットメンバーは自分を含めて６人まで登録できます。

編集	自分以外のチャットメンバーのメールアドレスを入力して登録します。	
メンバー参照入力	**■アドレスが登録されていない場合** **▶以下の項目から選択** **■アドレスが登録されている場合** **▶「YES」▶以下の項目から選択** 電話帳や履歴を参照してチャットメンバーのメールアドレスを入力します。	
	電話帳	電話帳からメールアドレスを入力します。 電話帳検索方法について→P.115
	送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
	受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
メンバー入れ替え	「チャットメンバーを入れ替える」→P.301	
チャットグループ登録	「チャットグループにメンバーを登録する」→P.303	
詳細設定確認	チャットメンバーの設定の詳細を確認します。	
削除	自分以外の選択したチャットメンバーを１名削除します。	
全削除	自分以外のすべてのチャットメンバーを削除します。	

おしらせ

<編集>
- すでに登録されているチャットメンバーと同じメールアドレスは登録できません。
- 登録したメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、メンバー名が表示されます。チャットグループに登録されていない場合、電話帳に登録されているときは電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが、電話帳に登録されていないときはメールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。

<メンバー参照入力（電話帳）>
- 登録済みのチャットメンバーのメールアドレスを電話帳から参照して変更した場合は、電話帳に登録されている名前と画像のファイル名がチャットメンバー設定画面に反映されます(画像が未登録の場合は変更されません)。

<詳細設定確認>
- ユーザ（自分）の詳細設定確認を表示した場合は、メールアドレスは表示されません。

<削除／全削除>
- ユーザ（自分）は削除できません。

●チャットメンバーを入れ替える

1 チャットメンバー設定画面の機能メニュー（P.301）▶「メンバー入れ替え」▶以下の項目から選択

チャットグループ	入れ替えるメンバーをグループ一覧またはメンバー一覧から選択します。	
	グループ一覧	**▶「チャットグループ」を選択**
	メンバー一覧	**▶Ⓢで□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］**
メールメンバー	**▶メールメンバーを選択**	

おしらせ

- すでにチャットメンバーが登録されていた場合は、チャットメンバーをすべて入れ替えるかどうか確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、チャットメンバーを入れ替えます。「NO」を選択すると、入れ替えを中止します。
- チャットメンバーから削除されたメンバーからのチャットメールを受信した場合は、チャット画面に表示されません。チャットメールを削除しないで「チャット終了」を選択しても、次回チャットメールを起動したときには、チャット画面には表示されませんが、iモードメールとして保存されています。

チャットメールを作成して送信する

チャットメールを新規に作成して送信します。

1 MENU▶▶「チャットメール」

「チャット画面」が表示されます。

チャット画面

機能メニュー➡P.302

最新発言エリア

2 ◉▶発言を入力▶◯［送信］

チャット画面から送信できる文字数は全角で250文字、半角で500文字までです。
送信が完了すると、最新発言エリアに自分の発言が表示されます。
続けて送信するには、操作2を繰り返します。

■ **送信に失敗した場合**

最新発言エリアの発言がグレー表示になり、文字編集エリアの発言は削除されないので、送信に失敗したチャットメールだけを再送信することができます。

■ **チャットメールを終了する場合**

▶チャット画面の機能メニュー▶「チャット終了」

おしらせ

- 受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は（P.278）、チャットメールが起動できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むなどしてから再度操作してください。
- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。再送信する場合は、「チャット」フォルダから送信してください。
- 送信したチャットメールの題名は「チャットメール」（半角）となります。
- チャット画面で受信したチャットメールは、「チャット」フォルダにおいて既読となります。
- 発言を入力せずに送信しようとした場合は、確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、本文なしのチャットメールを送信します。「NO」を選択すると、チャットメールの送信を中止します。
- チャットメールを起動中に通常のiモードメールを受信しても、受信結果画面は表示されません。
- シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード／シークレット専用モード中でも、チャット画面には表示されません。

チャット画面の機能メニュー

送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	▶◈で□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］
チャットメンバー	「チャットメンバーを設定する」→P.300
同報宛先確認	「同報メールの宛先を参照してチャットメンバーに追加する」→P.303
更新	iモードセンターに保管されているチャットメールを受信します。
先頭表示	最新発言エリアに最新の発言を表示します。
最終表示	最新発言エリアに一番古い発言を表示します。
既読削除	保護されていない既読の送受信チャットメールを削除します。
チャット終了	保護されていない既読の送受信チャットメールや未送信のチャットメールを削除してチャットメールを終了します。

おしらせ

<更新>
- チャットメール以外のメールを受信した場合は、チャット画面は更新されません。

<既読削除>
- 送信に失敗したチャットメールも削除されます。
- 保護されているチャットメールは削除されません。

<チャット終了>
- チャットメールを終了すると、未送信のチャットメールは削除されます。
- チャットメールを削除しないでチャットメールを終了するときは、「チャット終了」を選択した後に「NO」を選択します。
- 削除しないで終了した場合は、送受信したチャットメールはそれぞれ、送信BOX一覧画面および受信BOX一覧画面の「チャット」フォルダに保存されます。
- 送信に失敗したチャットメールは送信BOX一覧画面の「チャット」フォルダに保存されます。
- 削除しないで終了した場合は、次回のチャットメール起動時にチャット画面の発言履歴エリアに日付が新しい順に表示されます。
- チャット画面終了時に、チャットメールを一括削除することができます。この場合、iモードメール一覧画面からもメールが削除されます。ただし、保護されているメールは削除されません。

● 同報メールの宛先を参照してチャットメンバーに追加する

● 本機能は、チャットメールに対応したFOMA端末からの同報メールの場合のみ利用することができます。

1 チャット画面の機能メニュー（P.302）▶「同報宛先確認」▶「YES」▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］

■ 宛先がすべてチャットメンバーの場合
▶「同報宛先確認」▶「OK」

チャットメールを受信する〈チャットメール受信〉

チャットメールを起動していないときにチャットメールを受信すると、待受画面に「チャット」が表示されます。アイコンを選択するとチャットメールが起動し、チャットメールをはじめることができます。

● チャットメールの表示可能文字数は全角250文字（半角500文字）です。
● 受信したチャットメールに添付ファイルが付いていた場合、チャット画面では本文のみ表示されます。
● 「チャット」を選択した場合や、受信メールの詳細画面で機能メニューから「チャット起動」を選択した場合は、以下の条件でチャットメンバーや送信先が変更されます。
・送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されているときは、前回チャット終了時のチャットメンバーがそのまま設定されます。ただし、受信メールの詳細画面から起動した場合は、送信先一覧の、送信元以外のメンバーは送信の対象から外れます。「チャット」を選択した場合は、「送信先選択」の設定に従い、送信元のメールアドレスが送信の対象から外れているときは、送信先に追加されます。
・送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されていなくて、チャットグループに登録されているときは、送信元のメンバーが登録されているチャットグループのメンバーすべてが、チャットメンバーに設定されます。ただし、送信先一覧の、送信元以外のメンバーは送信の対象から外れます。
・送信元のメールアドレスがチャットメンバーに設定されていなくて、チャットグループにも登録されていないときは、送信元のメールアドレスだけが、チャットメンバーに設定されます。

1 待受画面表示中▶▶「チャット」

待受画面

■ 送信者がチャットメンバーに登録されていない場合
▶「YES」
チャットメンバーを削除してチャットメールを起動するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、現在設定されているチャットメンバーの設定を変更してチャットメールを起動します。

■ 現在設定されているチャットメンバーを変更しない場合
▶「NO」
現在設定されているチャットメンバーの設定をそのままにして、メールメニュー画面が表示されます。

2 チャットメールをはじめる

受信したチャットメールが最新発言エリアに表示されます。削除していないチャットメールがある場合は、発言履歴エリアに日時が新しい順に表示されます。

おしらせ

● FOMA端末は、以下の条件が一致するかどうかでチャットメールを識別します。
・ 題名に「チャットメール」（すべて全角またはすべて半角）が含まれている
・ 送信元や宛先のメールアドレスがチャットメンバーまたはチャットグループに登録されている
・ メール連動型iアプリのメールではない
・ デコメールではない
・ SMSではない
● チャット画面では、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。受信BOXから表示した場合は、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できます。

チャットグループにメンバーを登録する

チャットグループにあらかじめメンバーを登録しておくことにより、簡単な操作でチャットメンバーに登録することができます。

● 1件のチャットグループにメンバーを5人まで登録できます。自分を登録する必要はありません。
● チャットグループは5件まで登録できます。
● 1人のメンバーを別々のチャットグループに重複して登録することはできません。
● チャットグループにメンバーを登録すると、メンバー名を編集したり、画像を設定することができます。

次ページにつづく

1 MENU▶ ▶「チャットグループ」

「チャットグループ一覧画面」が表示されます。

チャットグループ
グループ1
グループ2
グループ3
グループ4
グループ5

チャットグループ一覧画面

機能メニュー➡P.304

2 チャットグループを選択

「グループメンバー一覧画面」が表示されます。

グループメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.304

3 「<未登録>」を反転表示して［編集］▶メールアドレスを入力▶

メールアドレスに入力できる文字数は半角50文字までです。
メールアドレスを追加登録するときは、操作2～3を繰り返します。

■ 電話帳を参照してメールアドレスを入力する場合

▶「<未登録>」を反転表示して▶「電話帳」▶検索する方法を選択▶引用するメールアドレスを選択

電話帳検索方法について→P.115

おしらせ

- チャットメンバーに登録するiモードメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。メールアドレスの場合は、@マークより前の部分、あるいは「@docomo.ne.jp」まで含んだ形のどちらでも登録できます。
- 登録したメールアドレスの先頭から半角８文字までがメンバー名として設定されます。登録したメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。電話帳に画像も登録されている場合は、画像も設定されます。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

チャット起動	チャットグループのメンバーをチャットメンバーに設定して、チャットメールを起動します。
グループ名編集	**▶グループ名を編集** グループ名を編集します。入力できる文字数は、全角10文字、半角20文字までです。
グループ名初期化	グループ名をお買い上げ時の状態にします。

グループメンバー一覧画面の機能メニュー

編集	**▶メールアドレスを入力** メールアドレスを編集します。入力できる文字数は半角50文字までです。	
メンバー参照入力	**■アドレスが登録されていない場合** **▶以下の項目から選択** **■アドレスが登録されている場合** **▶「YES」▶以下の項目から選択** 電話帳や履歴を参照してグループメンバーのメールアドレスを入力します。	
	電話帳	電話帳詳細画面からメールアドレスを入力します。電話帳に登録されている登録名と静止画が登録されます。 電話帳検索方法について→P.115
	送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
	受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
メンバー入れ替え	**■メンバーが登録されていない場合** **▶「メールメンバー」▶メールメンバーを選択** **■メンバーが登録されている場合** **▶「メールメンバー」▶「YES」▶メールメンバーを選択**	
メンバー詳細設定	「メンバーの詳細を設定する」→P.305	
1件削除	反転表示したグループメンバーのメールアドレスを削除します。	

全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 選択されているグループメンバー内のすべてのメンバーを削除します。

おしらせ

<メンバー入れ替え>

- すでにグループメンバーが登録されていた場合は、グループメンバーをすべて入れ替えるかどうか確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、グループメンバーを入れ替えます。「NO」を選択すると、入れ替えを中止します。
- ほかのチャットグループに同じメールアドレスのメンバーが登録されていた場合は、確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録されているメンバーを削除して新たに登録します。「NO」を選択すると、操作を中止します。

● メンバーの詳細を設定する

1 **グループメンバー一覧画面の機能メニュー（P.304）▶「メンバー詳細設定」▶◯［機能］▶以下の項目から選択**

メンバー名	▶メンバー名を入力 メンバー名を編集します。入力できる文字数は、全角4文字、半角8文字までです。	
画像	チャット画面で表示する各メンバーの画像を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	INBOX	INBOXに保存されている画像を選択します。
	カメラ	FOMA端末で撮影した静止画を選択します。
	プリインストール	FOMA端末に用意されている画像を選択します。「ビーンズ」、「サンデー」、「モモ」、「ビター」、「ピータン」、「タン・タン」の中から選択します。
音声 （お買い上げ時：女性ボイス1）	チャット画面で読み上げる各メンバーの声を「女性ボイス1～2」、「男性ボイス1～2」、「ロボット調ボイス」から選択します。	

おしらせ

<メンバー名編集>

- メンバー名に何も入力しない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名になります。

<画像設定>

- 背景色は変更できません。

チャットメールの各種設定をする

1 **「メール設定画面」（P.295）▶「チャット設定」**

「チャット設定画面」が表示されます。

2 **以下の項目から選択**

チャット設定画面

お知らせ音設定	新しいチャットメールを受信したときやチャットメールを送信したときにチャット画面で鳴るお知らせ音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	INBOX	iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディからお知らせ音を選択します。
	プリインストール	「チャットお知らせ音1」～「チャットお知らせ音3」からお知らせ音を選択します。
	おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている着信音やメロディからお知らせ音を選択します。
	OFF	お知らせ音を鳴らしません。
チャットメール画像設定 （お買い上げ時：有効）	チャット画面の最新発言エリアに画像を表示するかしないかを設定します。	

次ページにつづく

チャット読み上げ設定 （お買い上げ時：無効）	チャット画面でチャットメールを読み上げるか読み上げないかを設定します。
ユーザ詳細設定	「ユーザの詳細を設定する」→P.306

おしらせ

<お知らせ音設定>

● チャットメンバーに登録されていないメンバーからチャットメールを受信した場合は、お知らせ音は鳴りません。

●ユーザの詳細を設定する

1 「チャット設定画面」（P.305）▶「ユーザ詳細設定」▶以下の項目から選択

ユーザ名	▶ ユーザ名を入力 ユーザ名を入力します。入力できる文字数は、全角4文字、半角8文字までです。	
画像	チャット画面で表示する自分の画像を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。	
	INBOX	INBOXに保存されている画像を選択します。
	カメラ	FOMA端末で撮影した静止画を選択します。
	プリインストール	FOMA端末に用意されている画像を選択します。「ビーンズ」、「サンデー」、「モモ」、「ビター」、「ピータン」、「タン・タン」の中から選択します。
音声 （お買い上げ時：女性ボイス1）	チャット画面で読み上げる自分の声を「女性ボイス1～2」、「男性ボイス1～2」、「ロボット調ボイス」から選択します。	

おしらせ

<ユーザ名>

● ユーザ名に何も入力しなかったり、空白のみを入力した場合は、「自分」になります。

<画像>

● 背景色は変更できません。

〈SMS作成・送信〉

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

● ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

1 「SMS作成」

「新規SMS画面」が表示されます。

新規SMS画面

機能メニュー➡P.307

2 「To」▶宛先の入力方法を選択

SMSの宛先は1件のみ入力できます。

電話帳	電話帳を検索してメールアドレスを入力します。 電話帳検索方法について→P.115
送信アドレス一覧	送信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
受信アドレス一覧	受信アドレス一覧からメールアドレスを入力します。
直接編集	直接メールアドレスを入力します。

■宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

▶＋（0（1秒以上））、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力

携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。
また、「010」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。

■入力した宛先を変更する場合

▶宛先を選択▶宛先の入力方法を選択

上書きするかどうかのメッセージが表示された場合は「YES」を選択してください。

以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。
・宛先に数字、「✱」、「#」以外の文字が含まれているとき
・宛先の先頭以外に「+」が含まれているとき
・宛先にスペースが含まれているとき

宛先の先頭に「184」／「186」を入力して送信しようとしたときは、発番号設定を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、「184」／「186」を削除してSMSを送信します。

3 「　」

「SMS本文入力画面」が表示されます。

4 本文を入力

本文編集画面に入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」（P.308）の設定に従います。「日本語入力」に設定されている場合は、すべての全角／半角文字を70文字まで、「半角英数入力」に設定されている場合は、半角の英数字や記号を160文字まで入力できます。
スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
本文入力中は「宛先入力」の機能メニュー（P.254）が使えます。

SMS本文入力
久しぶりに新曲を作りました。今度、スタジオに入ったときに聴いてください。
(^-^)
改行
41
12:05
文字　確定　機能

SMS本文入力画面

5 ◯［送信］

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。「OK」を選択するとメールメニュー画面に戻ります。
送信済み、未送信のSMSを再編集するには→P.293

●SMS（ショートメッセージ）送達通知について〈SMS送達通知表示〉

「SMS送達通知設定」（P.308）を「要求する」に設定した場合、SMS送信後にSMS送達通知が送られてきます。SMS送達通知は受信BOXに保存されますが、送信したSMSにもSMS送達通知が保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。
SMS送達通知（　）があるSMSを表示し、機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択します。
SMS送達通知は、受信メール一覧画面でSMS送達通知を選択しても表示できます。SMS送達通知は題名に「SMSSMS送達通知」と表示されます。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている送信メール（SMSとｉモードメールの合計）が最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に自動的に削除されます。ただし、保護されている送信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
- 送信を行わずに、新規SMS画面でCLRまたはを押したときは、内容を破棄して編集を終了することを確認するメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、それまで入力した文字は消去されます。入力した文字を消去したくないときは、「NO」を選択すると元の画面に戻ります。
- 本文編集中に改行することができます。改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。
- 送信する文字の種類や、相手側の端末によっては、受信側で正しく表示されない文字があります。→P.248
- SMS本文入力設定が「半角英数入力」の場合、一部の記号（| ^ {} [] ~ \ €）を入力すると、送信できる文字数が少なくなります。

新規SMS画面の機能メニュー

送信	SMSを送信します。
送信プレビュー	送信する前にSMSの宛先や内容を確認します。
保存	編集中のSMSを保存BOXに保存します。ｉモードメールと合わせて20件まで保存できます。保存したSMSは後で送信できます。

次ページにつづく

SMS送達通知設定 （お買い上げ時： 要求しない）	SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「要求する」または「要求しない」を選択します。
SMS有効期間設定 （お買い上げ時： 3日）	送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日」、「1日」、「2日」、「3日」から選択します。 「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。
SMS本文入力設定 （お買い上げ時： 日本語入力）	SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、すべての全角文字および半角文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。
本文消去	本文だけを消去します。
SMS削除	編集中のSMS を削除します。

おしらせ

- メール設定画面で「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、電源を切った後でも設定は保持されますが、機能メニューで「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、設定中のSMS1件に限り有効です。

〈SMS受信〉

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

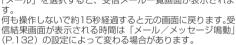
FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

- 受信したSMSは、FOMA端末にiモードメールと合わせて最大で1,000件まで保存できます。
- メールを受信したときの着信音を「着信音選択」（P.128）でお好みの音に設定したり、メールを受信したときの点滅パターンを「着信イルミネーション」（P.144）で変更したりできます。
- mova端末などから送信されたショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。

1 SMSを受信すると、「（青色）」のアイコンが点滅し「メール受信中…」と表示される

受信が終わると、受信結果画面に受信したSMS・iモードメール、メッセージRやメッセージFの件数が表示されます。「メール」を選択すると、受信メール一覧画面が表示されます。
何も操作しないで約15秒経過すると元の画面に戻ります。受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」（P.132）の設定によって変わる場合があります。

➡

着信音の音量は「着信音量」（P.71）の「メール」で設定した音量になります。

おしらせ

- FOMA端末に保存されている受信メール（iモードメールとSMSの合計）が1,000件、または1,000件未満でも保存容量を超えた場合は、受信時にゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のiモードメールやSMSは削除されません。必要な受信メールは保護することをおすすめします。→P.289、292
- FOMA端末に保存されている未読または保護されている受信メール（iモードメールとSMSの合計）が最大保存件数になった場合は、新しいメールを受信することができず、「（赤色）」が表示されます。SMSを受信できるようにするには、「（赤色）」が消えるまでFOMA端末に保存されている受信メールを削除するか、未読のメールを読んだ後に、「SMS問い合わせ」をしてください。
- 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件で、着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- mova端末などからショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。
- 待受画面以外を表示しているときにSMSを受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときにSMSを受信した場合は、イメージウィンドウに表示されます。
- iモーションの再生中にSMSを受信した場合は、映像や音声が途切れることがあります。

<着信音動作と着信ランプ動作の優先順位>

- SMS を受信したときの着信音とイルミネーションの設定の優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①電話番号ごとに指定した「発着信識別機能」→P.123
  ②グループごとに指定した「グループ識別機能」→P.123
  ③「着信音選択」、「着信イルミネーション」→P.128、144

新着SMS（ショートメッセージ）を表示する

- 受信したSMSは、受信メール一覧画面の題名には本文の先頭が表示されます。
- 受信したSMS送達通知の題名は「SMS送達通知」と表示されます。
- 留守番着信通知の場合は、「留守番　着信通知」と表示されます。

1 待受画面表示中▶◉▶「メール」

2 受信したSMSを選択

おしらせ

- 受信したSMSに区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合はスペース（空白）で表示されます。
- 表示したSMSの送信元の電話番号は反転表示されます。反転表示した状態で◉を押すと、表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話、プッシュトークを発信できます（Phone To機能／AV Phone To機能）。また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同じ操作で電話をかけられます。
- 「SMS送達通知設定」（P.296）でSMS送達通知を要求するように設定した場合のみ、SMS送達通知が送られてきます。また、送信メール詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」（P.293）を選択しても確認することができます。

受信したSMS（ショートメッセージ）に返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送できます。

- 題名の入力はできません。

「新たに本文を入力して返信する」→P.274

おしらせ

- SMSでは引用返信はできません。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- SMS送達通知は返信／転送することはできません。
- 留守番着信通知は返信することはできません。
- FOMAカード内のSMSを返信／転送した場合、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「（返信アイコン）」／「（転送アイコン）」のアイコンは表示されず「（メールアイコン）」のアイコンの表示のままとなります。

〈SMS問い合わせ〉

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

- SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外、セルフモード中、メモリがいっぱいのときなどで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
- 「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。

1 MENU▶メール▶「SMS問い合わせ」

問い合わせ中は、「SMS問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わると問い合わせを行ったというメッセージが表示されるので、◉を押します。

センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。

問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

おしらせ

- 本機能でiモードメール、メッセージRやメッセージFを受信することはできません。iモードメール、メッセージRやメッセージFを受信するには、「iモード問い合わせ」をして受信してください。

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMS（ショートメッセージ）センターについて設定する

お買い上げ時 ドコモ

※通常は設定を変更する必要はありません。

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

<例：他社のSMSセンターを利用するとき>

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「アプリケーション通信設定」▶「SMS center設定」▶以下の項目から選択

ドコモ	ドコモのSMSセンターを利用します。
ユーザ設定	▶SMSセンターのアドレスを入力▶「International」または「Unknown」 他社のSMSセンターを利用します。
リセット	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。

おしらせ

- 入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「✗」が含まれていた場合は、「International」を選択することはできません。

SMS（ショートメッセージ）受信拒否設定

ご契約時 拒否しない

SMSの受信拒否の設定をします。以下のいずれかの方法により、受信するSMSを制限することができます。

- 「SMS一括拒否」：通知・非通知にかかわらず、SMSの受信を拒否することが可能です。
- 「非通知SMS拒否」：mova端末や、PHS、一般電話などから発信者番号通知が非通知で送信されるSMSの受信を拒否することが可能です（送信されたショートメールはSMSセンターでSMSに変換されます）。

1 ✗ 2 0 1 8 4 ▶ 発信

SMSセンターへ接続します。

■ **iMenu画面より、SMSセンターへ接続する場合**

▶iMenu画面▶オプション設定▶メール設定▶メール受信設定の「迷惑メール対策」▶「SMS拒否設定」▶SMSセンター「✗20184」

2 ガイダンスを聞く▶以下の項目から選択

SMSセンターへ接続します。

1	すべてのSMSを拒否します。
2	非通知のSMSのみを拒否します。
3	国際SMSを拒否します。
4	非通知のSMSと国際SMSを拒否します。
9	拒否設定を解除します。
✗	SMS受信拒否設定を終了します。

※：迷惑SMSを防ぐためにSMS一括拒否、または非通知SMS拒否設定のご利用が効果的です。

おしらせ

- ドコモが提供するサービス「moperaメール着信通知」「ビジュアルネットの会議開催通知」および「FOMA着信通知機能」として送信されるSMSは拒否対象外です。
- 拒否設定したいFOMA端末からのみ設定が可能です。mova端末からの発信やデュアルネットワークサービスでmova端末利用時にはSMSセンターに接続できません。
- 操作2で1、2、9、✗を押したとき、または3回誤操作の後はネットワーク側から自動切断されます。
- 設定にかかわる通話料、パケット料金は無料です。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードに移動したり、コピーして保存できます。また、FOMAカードに保存されているSMSを本体に移動またはコピーできます。
● FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存できます。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動またはコピーする

＜例：受信フォルダ内のSMSをFOMAカードに移動するとき＞

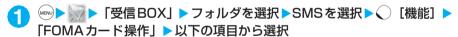
1 MENU▶（メール）▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶SMSを選択▶［機能］▶「FOMAカード操作」▶以下の項目から選択

FOMAカードへ移動	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードに移動します。
FOMAカードへコピー	FOMA端末（本体）内のSMSをFOMAカードにコピーします。

おしらせ
- 受信SMS/送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーすると、SMSは受信BOXフォルダ/送信BOXフォルダ内に表示されます。
- 受信メール詳細画面、送信メール一覧画面、送信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選択してもSMSを移動またはコピーできます。ただし、「（アイコン）」、「（アイコン）(青色)」または「（アイコン）(赤色)」のアイコンが表示されている場合は、SMSの移動、コピーはできません。
- FOMAカードのSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。
- 電池パックを外すと、FOMAカードの送信SMSの日付・時刻が消去され、一覧の最後に表示されます。ただし、SMS送達通知が一緒に保存されている送信SMSの場合、日付・時刻は消去されません。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末（本体）に移動またはコピーする

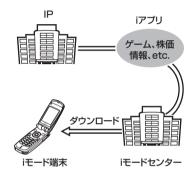
＜例：FOMAカード内のSMSを受信フォルダに移動するとき＞

1 MENU▶（メール）▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶SMSを選択▶［機能］▶「FOMAカード操作」▶以下の項目から選択

FOMAカードから移動	FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）に移動します。
FOMAカードからコピー	FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）にコピーします。

おしらせ
- 受信メール詳細画面、送信メール一覧画面、送信メール詳細画面で機能メニューから「FOMAカード操作」を選択してもSMSを移動またはコピーできます。

●iアプリ

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）を便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックできます。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。

● iアプリをダウンロードするには→P.315
● iアプリを起動するには→P.316
● iアプリを自動起動するには→P.321

おしらせ

● ソフトによってはiモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
● ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・iモーション保存
・iモーション参照
・めざまし時計の設定変更
・トルカ保存

● iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳のデータなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。
→P.319

登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、発信履歴、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・電話帳参照
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・メールメニューの利用
・iモードメール作成画面利用
・最新の発信履歴参照
・最新の着信履歴参照
・最新の未読メール参照
・メロディ保存
・着信音変更（電話、テレビ電話、メール、メッセージ、チャットメール）
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・キャラ電保存
・キャラ電参照
・画面設定の変更（待受画面、電話発着信、テレビ電話着信、メール送受信、メッセージR／メッセージF受信、メニューアイコン）
・テレビ電話代替画像の設定変更
・めざまし時計の設定変更
・トルカの新規登録・選択・取得
・iモーション保存
・iモーション参照
・受信BOX／送信BOX参照

おしらせ

● iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず自動的に通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。

● メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリはiアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。
メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応iアプリとは

おサイフケータイ対応iアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 「おサイフケータイとは」→P.330

おしらせ

- おサイフケータイ対応iアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにICカード内の情報が送信されます（ドコモとのご契約内容は送信されません）。

こんなこともできます

■iアプリ待受画面

iアプリ待受画面ではiアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P.323

・iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P.321

■カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。→P.172

・カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■赤外線通信

ソフトから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。→P.382

・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。

・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。→P.387

たとえばお買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。→P.320

・赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

サイトからiアプリをダウンロードする

iモードのサイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動できます。

- ダウンロードしたソフトは最大200件まで（メール連動型iアプリは5件まで）保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量により10〜200件と変動します。
- メール連動型 iアプリをダウンロードした場合、送信フォルダおよび受信フォルダ一覧にiアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型iアプリ名がつき、変更できません。
- メール連動型iアプリ専用のフォルダが5件ある場合、すでに保存されているメール連動型iアプリ専用のフォルダを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。
- 同じ受信フォルダ、送信フォルダを利用するメール連動型iアプリがすでに保存されている場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。
- メールセキュリティの設定中は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。メールセキュリティを解除してからダウンロードしてください。
- メール連動型iアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型iアプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- フォルダを残して削除したメール連動型iアプリをもう一度ダウンロードした場合は、残していたフォルダを利用できます。また、残していたフォルダを削除して新規のフォルダを作成することもできます。残していたフォルダを利用せずに、新規のフォルダも作成していない場合は、メール連動型iアプリをダウンロードできません。

1 ソフトを選択

ダウンロードが完了し、「完了しました」というメッセージが表示されたら◉を押します。ただし、サイトからすぐに起動するソフト（P.316）の場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

■データの受信中にダウンロードを中止する場合

▶ダウンロード中▶◉

■ソフト設定画面が表示された場合

▶ソフトを設定▶◌［完了］

ソフトの設定について→P.317

次ページにつづく

❷「YES」

ソフトを起動すると画面下に「 」が表示されます。iアプリDXを起動した場合は「 」が表示されます。

■ ソフトを起動しない場合

▶「NO」

おしらせ

- 接続するサイトや iアプリのソフトのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
- 保存されているソフトがいっぱいの場合、ソフトを削除してからダウンロードするかどうかを確認するメッセージが表示されます。
- iアプリによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で通信を行わないように設定することもできます。
- ダウンロード中はタスクの切り替えができません。
- 登録データや携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するiアプリ、またはiアプリDXをダウンロードする場合は、登録データや携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を利用することを通知するメッセージが表示されます。
- SSL 対応のサイトからソフトの情報やソフトをダウンロードする場合は、「 」が表示されます。→P.214
- お買い上げ時は「ソフト情報表示設定」は「表示しない」に設定されています。「表示する」に設定した場合は、ダウンロードする前にソフトの情報を確認することができます。◉を押すと、ソフトの情報が表示されてから、ダウンロードを開始します。
- ダウンロード時に、携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信するかどうか確認のメッセージが表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードを開始します。このとき、お客様の携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。中止する場合は「NO」を選択します。
- 通信して利用するソフトや待受画面に設定できるソフトをダウンロードした場合は、ソフト設定画面が表示されます。ダウンロードしたソフトに応じて設定した後、 ［完了］を押してください（CLRを押した場合、設定が破棄されます）。
- おサイフケータイ対応iアプリの場合、ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応アプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。ソフトによっては、お客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- ダウンロード済みのソフトを、異なるFOMAカードで再ダウンロードする場合は、ソフトを上書きするかどうか確認のメッセージが表示されます。「YES」を選択するとダウンロードを開始します。ダウンロード終了後、先にダウンロードされていたソフトは削除されます。
- 「iアプリメール」とは、メール連動型iアプリで送信したメールや、メール連動型iアプリ用として送られてきたメールのことです。iアプリメールには、iアプリメール用フォルダに自動的に保存されるようにiアプリ利用データが設定されています。

ダウンロード時にiアプリの情報を見る〈ソフト情報表示設定〉

お買い上げ時 表示しない

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定できます。

❶ MENU ▶ ［各種設定］ ▶「iアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」

「表示する」または「表示しない」を選択します。

サイトからすぐに起動するiアプリについて

通常のiアプリのソフトとは異なり、iモードのサイトからすぐに起動するiアプリのソフトがあります。

- iモードのサイトからダウンロードしてもFOMA端末には保存されていません。ソフト一覧画面にも表示されません。
- ソフト起動中に、通信するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- ソフト終了後、保存するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- FOMA 端末に保存した後は、通常のソフトと同様に起動することができます。

iアプリを起動する

iアプリを起動する

❶ MENU ▶ ［iアプリ］ ▶「ソフト一覧」

「ソフト一覧画面」が表示されます。
待受画面表示中に （ ）を1秒以上押しても「ソフト一覧画面」を表示できます。

ソフト一覧画面

機能メニュー➡P.317

❷起動するソフトを選択

iアプリを終了する

1 CLR（1秒以上）▶「YES」

▶「YES」を選択してもソフトを終了できます。

■ ソフトを作成される方へ

iアプリのソフトを作成して正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。

MENU ▶ [iアプリ] ▶「iアプリ実行情報」▶「トレース情報」の順に操作します。ソフトのトレース情報が、発生した順に表示されます。機能メニューから「情報コピー」を選択すると、トレース情報をコピーできます。機能メニューから「情報削除」を選択すると、トレース情報を削除できます。

おしらせ

- 「自動起動設定」を「許可する」に設定し、「自動起動時刻設定」を設定すると、ソフトを自動で起動できます。→P.321
- ソフトの起動中にiモードメール、メッセージRやメッセージFを受信した場合は、「 （青色）」、「R（緑色）」、「F（紫色）」が表示されます。
  受信したメール、メッセージRやメッセージFを表示するには、ソフトを終了するか、またはマルチタスク機能をご利用ください。
- 3Dサウンド対応のiアプリでは、臨場感あふれるメロディをお楽しみいただけます。→P.130
- ソフトの起動中に電話がかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終わるとソフトの画面に戻ります。
- ソフトによっては、iアプリからPhone To（AV Phone To）機能やWeb To機能を利用することができます。ただし、iアプリ待受画面からWeb To機能はご利用になれません（iアプリ実行中は利用可能です）。
- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ソフトの起動中は電池パックを外さないでください。それまでのデータや情報が保存されない場合があります。
- iアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：iアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のiアプリからカメラを起動して撮影した画像、iアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、iアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、iアプリがデータBOXから取得した画像を指します。
- トレース情報がない場合は、「トレース情報」は表示されません。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- iアプリのソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
- iアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はiアプリの一部として保存、利用されます。
- iアプリからカメラを起動した場合、ソフトによって画像サイズや画質、フレームなどが設定されることがあります。
- iアプリからバーコードリーダーを起動してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取ったデータはソフトで利用されます。

ソフト一覧画面の機能メニュー

項目	説明
iアプリTo設定	「iアプリToで起動するかどうかを設定する」→P.322
自動起動時刻設定	「起動日時を設定する」→P.321
ソフト設定	ソフトの各種設定を行います。
・**待受画面設定**	「iアプリ待受画面を設定する」→P.323
・**通信設定**	iアプリを起動するときに通信するかしないかを設定します。「起動ごとに確認」を設定した場合は、iアプリを起動するたびに通信するかしないかを選択できます。 ▶ [完了]
・**待受画面通信**	待受画面に設定したiアプリが通信するかしないかを設定します。 ▶ [完了]
・**アイコン情報**	iアプリを起動したときに未読のメール、メッセージのアイコン情報の利用を許可するかしないかを設定します。 ▶ [完了]
・**着信音／画像変更**	iアプリDXを起動したときに電話やメール、メッセージの着信音、待受画面やメール送受信時などの画像、メニューアイコンの変更を許可するかしないかを設定します。「許可する」に設定した場合は、自動的に着信音、画像、メニューアイコンが変更されます。「変更ごとに確認」を設定した場合は、iアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択できます。 ▶ [完了]
・**電話帳／履歴参照**	iアプリDXを起動したときに電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メール、トルカ／トルカ（詳細）の参照を許可するかしないかを設定します。 「許可する」に設定した場合は、自動的に電話帳や履歴を参照します。 ▶ [完了]
ソフト情報	「iアプリの情報を確認する」→P.318
バージョンアップ	「iアプリをバージョンアップする」→P.324
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
保存容量確認	iアプリの保存容量を確認することができます。

削除	「iアプリを削除する」→P.324
選択削除	
全削除	

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>
- 「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<ソフト設定（アイコン情報）>
- iアプリ待受画面に設定されているソフトの本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージの有無や圏内・圏外アイコンの有無、電池残量やマナーモードの状態がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- 本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトなどソフトによっては動作しないことがあります。

iアプリ実行時の音量を調節する〈iアプリ音量〉

iアプリの音量を調節することができます。

1. MENU ▶ 各種設定 ▶「iアプリ設定」▶「iアプリ音量」
   「iアプリ音量設定画面」が表示されます。
2. 音量を設定

おしらせ
- iアプリ音量は、「消去／レベル1～6」の範囲で設定することができます（お買い上げ時：レベル4）。
- ソフトによっては音量設定ができるものがあります。ただし、「iアプリ音量」を「消去」に設定している場合、ソフトの音量設定にかかわらず音が鳴りません。
- マナーモード中のiアプリ音量は、マナーモード設定に従います。またオリジナルマナー設定時のiアプリ音量は、マナーモード設定の「iアプリ音量」で再生されます。

iアプリの情報を確認する

1. ソフト一覧画面の機能メニュー（P.317）▶「ソフト情報」▶ソフト情報を確認

おしらせ
- 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。
- ソフト一覧画面では以下のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。
  - dx：iアプリDXであることを示しています。→P.314
  - ：メール連動型ｉアプリであることを示しています。
  - ：「自動起動時刻設定」が設定されていることを示しています。→P.321
  - ：「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。
  - ：「自動起動時刻設定」が設定され、「iアプリ待受画面設定」に設定されていることを示しています。
  - ：「iアプリTo設定」が設定できることを示しています。
  - ：「iアプリ待受画面設定」が設定できることを示しています。
  - ：「iアプリTo設定」が設定できて、「iアプリ待受画面設定」も設定できることを示しています。
  - SSL：SSL対応ページからダウンロードしたソフトであることを示しています。
  - iC：おサイフケータイ対応アプリであることを示しています。→P.330

セキュリティエラー履歴を確認する

iアプリやiアプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは、セキュリティエラーが発生して、その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

1. MENU ▶ iアプリ ▶「iアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」
   「セキュリティエラー履歴画面」が表示されます。

セキュリティエラー履歴画面

機能メニュー ➡P.318

セキュリティエラー履歴画面の機能メニュー

情報コピー	セキュリティエラーの内容をコピーします。
情報削除	セキュリティエラーの情報を削除します。

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動することができます。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することができます。

- ほかのソフトを起動することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- 起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ソフトを選択する項目を選択▶「YES」

おしらせ

- ソフトを起動する項目に起動先のソフトのURLが指定されている場合は、起動先のソフトを起動するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、起動中のソフトが終了して起動先のソフトが起動します。起動中のソフトに戻るときは、「NO」を選択します。

お買い上げ時に登録されているソフト

本FOMA端末には「ドラゴンクエストⅡ 前編」、「ナンバーボム！」、「ダービースタリオン」、「Gガイド番組表リモコン」、「電子マネー「Edy」」のソフトがあらかじめ登録されています。

- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。
- FOMA端末にあらかじめ登録されているiアプリのソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。

  「みんなNらんど」への接続のしかた→P.212
  ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用しているときは、FOMAカード動作制限機能がかかります。→P.43
- お買い上げ時の「ソフト設定」の設定内容は以下のとおりです。

※「通信設定」のみ設定変更可能です。

	ドラゴンクエストⅡ前編	ナンバーボム！	ダービースタリオン	Gガイド番組表リモコン	電子マネー「Edy」
待受画面設定	なし	なし	－	なし	なし
通信設定	通信する	通信する	－	通信する	通信する
待受画面通信	なし	なし	－	なし	なし
アイコン情報	なし	なし	－	なし	なし
着信音／画像変更	－	－	－	なし	なし
電話帳／履歴参照	－	－	－	なし	なし

● ドラゴンクエストⅡ 前編を楽しむ

大人気ロールプレイングゲームのドラゴンクエストシリーズ第2作目、「ドラゴンクエストⅡ」の前編です。
前作の勇者の血を引く3人の子孫たちが、世界を守るため、しのびよる悪に立ちむかいます。

- 本FOMA端末には、「ドラゴンクエストⅡ」の「ワールドマップ」のドキュメント（PDFデータ）があらかじめ登録されています。→P.390

1 「ソフト一覧画面」（P.316）▶「ドラゴンクエスト2 前編」

2 「START」▶「ぼうけんのしょをつくる」▶使用する「ぼうけんのしょ」を選択▶「なまえ」、「ひょうじそくど」、「おとのおおきさ」を設定

ゲームがはじまります。

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶ゲーム画面表示中▶◯［オプション］▶「たびのこころえ」

■ ドラゴンクエストⅡ 後編について

本FOMA端末に登録されている「ドラゴンクエストⅡ」は前編のみです。引き続き楽しみたい場合は、前編終了後、画面の指示に従って後編のダウンロードをしてください。

・ドラゴンクエストⅡ後編をダウンロードするためのパケット通信料は別途必要になります。
・引き続き、ドラゴンクエストⅡ 後編を楽しむ場合は、前編のデータを後編に引き継ぐ必要がありますので、誤って消去しないようにご注意ください。

●ナンバーボム！を楽しむ

同じ数字のブロックを消してスコアを獲得していきます。ブロックが消えると「BREAK」の数値が減少し、0になるとクリアです。

1「ソフト一覧画面」(P.316) ▶「ナンバーボム！」

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶タイトル画面表示中
▶◯［ヘルプ］

2 ◯で難易度を選択▶◉

ゲームがはじまります。

●ダービースタリオンを楽しむ

競走馬の生産、育成、調教を行い、レースに出走させます。血統、調教の研究をしながら、より強い馬を作り出していき、賞金獲得を目指します。

1「ソフト一覧画面」(P.316) ▶「ダービースタリオン」▶「ドコダビ牧場」

■ 初期状態からやり直す場合
▶「やりなおす」
初期データから開始できます。

■ BGMを鳴らす場合
▶◯［♪ON］
BGM再生中に◯［MUTE］を押すとBGMが止まります。

2 ◯でメニューを選択

■ 詳しい操作方法を表示する場合
▶ゲーム画面表示中▶◯［HELP］

■ セーブして終了する場合
▶牧場画面表示中▶◯［中断］▶「YES」
次回「ドコダビ牧場」を選択すると、セーブしたデータが読み込まれます。

●Gガイド番組表リモコンを利用する

「Gガイド番組表リモコン」は、テレビ番組表とAVリモコン機能が一つになった便利アプリです。
「Gガイド番組表リモコン」については「赤外線リモコン機能を利用する」(P.387) を参照してください。

●電子マネー「Edy」を利用する

電子マネー「Edy」とは、誰でも簡単にご利用いただけるプリペイド型の電子マネーサービスです。電子マネー「Edy」は、ビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には、注意事項、利用約款などをご確認の上、初期設定を実行してください。

「おサイフケータイとは」→P.330

●サービス内容

初期設定･サービス登録(無料)

チャージ(入金)
- 店頭でのEdyチャージ(入金)
- iモードでのEdyチャージ(入金)※

使う(お支払)
- 店頭でのお支払い
- Mobile Edy※(ネットでのお支払い)

便利な機能
- 残高･履歴照会
- Edyギフトのお受取り

サポート
- 機種変更のEdyに関するお手続き※
- 故障時のEdyに関するお手続き※

※：事前にサービス登録が必要です。

電子マネー「Edy」についての詳しいサービス内容やご利用可能店舗およびFOMA端末の機種変更・故障・紛失時などのEdyに関する諸手続きなどにつきましては、Edyのホームページ・iモードサイトをご参照いただくか、またはP.321の連絡先までお問い合わせください。

■ 本サービスについてのお問い合わせ先
ビットワレット株式会社

- Edyに関する情報については、Edyのホームページおよびiモードサイトをご覧ください。
  ホームページ：
  http://www.edy.jp
  iモードサイト：
  http://mobile.edy.jp
- Edyに関する諸手続きでお困りの場合は
  Edy救急ダイヤル：
  0570-081-999（PHSは不可）
  受付時間：9：30～21：00
  ※ ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

おしらせ

- 「初期設定」およびiアプリの「主なメニュー」の機能など、iモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- 機種変更時には、それまでお使いいただいたFOMA端末をEdyカードと同様にご利用いただくことができますので、廃棄する際にはご注意ください。
- iアプリの通信設定で「通信しない」に設定した場合は、iモード通信を行えず、「初期設定」およびiアプリの「主なメニュー」内の機能はご利用いただけませんのでご注意ください。
- ドメイン指定受信を設定されている方は、Mobile Edy（ネットでのお支払い）をご利用の際にEdyセンターからの決済開始メールの受信が必要となりますので、「bitwallet.co.jp」をドメイン指定に加えてください。
- FOMA 端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iアプリを自動起動する

指定した日時または時間間隔でソフトが自動起動するように設定できます。

- 自動起動時刻は3件まで設定することができます。

自動起動するかどうかを設定する〈自動起動設定〉

お買い上げ時 許可しない

1 MENU ▶ iアプリ ▶「自動起動設定」▶「許可する」または「許可しない」

起動日時を設定する〈自動起動時刻設定〉

お買い上げ時 すべてOFF

ソフトが自動起動する日時を設定します。

- 以下のような場合、ソフトは自動起動しません。
  - ・電源を切っている場合
  - ・ほかの機能が起動している場合
  - ・通話中
  - ・めざまし時計、スケジュール、To Doリストの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - ・ソフトウェア更新の予約時刻が自動起動の時刻と同じ場合

1 ソフト一覧画面の機能メニュー（P.317）▶「自動起動時刻設定」▶ で□（チェックボックス）を選択

■ ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合
▶「時間間隔設定」のチェックボックスを選択

■ 起動日時を設定する場合
▶「起動時刻設定」のチェックボックスを選択

2 ［完了］▶起動日時を設定

■ 起動日時を設定する場合
▶日時を選択▶起動日時を入力

■ 自動起動の繰り返しを設定する場合
▶繰り返し設定を選択▶「毎日」または「曜日指定」
「曜日指定」を選択したときは、で□（チェックボックス）を選択し ［完了］を押します。

3 ［完了］

おしらせ

- 同じソフトに時間間隔設定と起動時刻設定を設定し、それぞれの設定で起動する時刻が10分以内に重なった場合は先の起動時刻に自動起動し、次の起動時刻には自動起動しません。

iアプリが自動起動したかどうかを確認する

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認できます。また、ICカード機能からの起動に失敗したソフトについても確認できます。

1 MENU ▶ iアプリ ▶「iアプリ実行情報」▶「自動起動情報」

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。

おしらせ

- 自動起動できなかった場合は、待受画面に「ソフト」（未起動ソフトあり）というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。起動するソフトを選択すると、ソフトを起動することができます。デスクトップアイコンについて→P.147
- iモード中やほかのソフトを実行していて自動起動できなかった場合も記憶されます。
- 自動起動情報には、お客様が起動を認識しなかったソフトの自動起動情報が含まれる場合があります。

〈iアプリTo機能〉

サイトやメールからiアプリを起動する

iモードのサイトやメールなど、iアプリ以外の機能からiアプリを起動できます。

iアプリToで起動するかどうかを設定する〈iアプリTo設定〉

お買い上げ時 すべて起動する

iモードのサイトやメール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード機能からiアプリのソフトを起動するかどうかを設定することができます。

- ソフトごとに設定することができます。

1 ソフト一覧画面の機能メニュー(P.317)▶「iアプリTo設定」▶項目を選択▶Ⓞで□(チェックボックス)を選択▶◯[完了]

項目は「サイトからiアプリTo」、「メールからiアプリTo」、「赤外線からiアプリTo」、「バーコードからiアプリTo」、「ICカードからiアプリTo」から選択できます。

サイトからiアプリを起動する

iモードのサイトにiアプリのソフトの起動指定が表示されている場合は、サイトからソフトを起動することができます。

- 一部ご利用になれないサイトがあります。

1 「サイト画面」(P.212)▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」

メールからiアプリを起動する

受信したiモードメールにiアプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合は、iモードメールからソフトを起動することができます。

1 「受信メール詳細画面」(P.283)▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」

おしらせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- iモードメール本文に、iアプリの起動指定が貼り付けられている場合、引用返信や転送をしてもiアプリの起動指定は引用できません。また、データリンクソフトや赤外線通信機能を使ってメールを転送した場合も、iアプリの起動指定は引用できません。
- シークレットフォルダ内のiモードメールからiアプリを起動することはできません。

赤外線通信機能からiアプリを起動する

MENU 7 9

赤外線通信中にiアプリ起動の信号を受信するとiアプリのソフトを起動することができます。

1 MENU▶[生活ツール]▶「赤外線受信」▶「受信」▶iアプリ起動の信号を受信

バーコードリーダーからiアプリを起動する

バーコードリーダーで読み取ったバーコードにiアプリの起動指定が含まれている場合は、バーコードリーダーからソフトを起動することができます。

1 MENU▶[生活ツール]▶「バーコードリーダー」▶「新規読み取り」▶バーコードを読み取る

2 ソフトを起動する項目を選択▶「YES」

ICカード機能からiアプリを起動する

FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置(リーダライタ)にかざすと、ICカード機能からソフトを起動することができます。

- 次のような場合、ソフトは起動しません。
  - ・電源を切っている場合
  - ・ほかの機能が起動している場合
  - ・通話中
  - ・起動しようとしたソフトがない場合
  - ・「ICカードからiアプリTo」が設定されていない場合
- ICカードロック中は、ICカード機能からiアプリを起動することはできません。また、ICカードロック中にICカード機能以外からiアプリを起動した場合は、iアプリからICカード機能を利用できません。

1 FOMA端末のFeliCaマーク「 」を読み取り装置(リーダライタ)にかざす

〈iアプリ待受画面設定〉
iアプリ待受画面を設定する

選択したiアプリのソフトを待受画面として設定します。iアプリ待受画面の表示中は、画面下に「」または、「」が表示されます。

- iアプリ待受画面に設定できるiアプリは1件のみです。
- iアプリ待受画面から「Web To機能」(P.230)は利用できません(iアプリ実行中は利用可能です)。
- 待受画面に設定できないソフトもあります。

1 ソフト一覧画面の機能メニュー(P.317)▶「ソフト設定」▶「待受画面設定」▶「設定する」▶ 「完了」

おしらせ

- 待受画面に設定したソフトには「」が表示されます。
- 通信するソフトをiアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- 「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- iアプリ待受画面が設定されている場合、「画面表示設定」(P.136)の「待受画面」で設定した画像は待受画面に表示されません。
- メニュー機能の動作中に待受画面を表示したときには、iアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- iアプリ待受画面を設定すると「バイブレータ」(P.130)、「イメージウィンドウ」(P.139)、「照明設定」(P.140)の各設定は、ソフトの設定が優先されます(ソフトによっては、ソフトの設定どおりに動作しない場合もあります)。
- iアプリ待受画面を設定している状態で電源を入れ直した場合、iアプリ待受画面を起動するかどうかのメッセージが表示されます。
- iアプリ待受画面表示中に「オールロック」(P.155)または「PIMロック」(P.161)を設定すると、iアプリ待受画面は終了します。「オールロック」または「PIMロック」を解除すると、iアプリ待受画面が再び表示されます。

iアプリ待受画面を実行する

iアプリ待受画面に設定したソフトを実行します。

1 iアプリ待受画面表示中▶CLR

iアプリが実行中になり、画面下の「」または、「」が「」または、「」の点滅表示に変わります。

おしらせ

- ソフトによっては、iアプリ待受画面実行中にボタン操作によりiアプリ待受画面に戻すことができるものもあります。ただし、ほかのメニュー機能が動作中はiアプリ待受画面に戻すことはできません。

iアプリ待受画面を解除する
〈iアプリ待受画面解除〉

● iアプリ実行中に解除する

1 iアプリ実行中▶CLR(1秒以上)または PWR HLD

キャンセル	iアプリ待受画面の解除をキャンセルします。
終了する	iアプリ待受画面を解除せずに終了してiアプリ待受画面を再度表示します。
解除する	iアプリ待受画面を解除します。

● iアプリ待受画面の表示中に解除する

1 MENU▶ 各種設定 ▶「iアプリ設定」▶「待受画面終了」

2「設定解除」▶「YES」

■iアプリ待受画面を解除しない場合
▶「終了」

おしらせ

- iアプリ待受画面を解除すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が待受画面に表示されます。

iアプリ待受画面の終了情報を確認する

iアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

1 MENU▶ iアプリ ▶「iアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」

「待受画面終了情報画面」が表示されます。

待受画面終了情報画面

機能メニュー➡P.324

待受画面終了情報画面の機能メニュー

情報コピー	待受画面終了情報の内容をコピーします。
情報削除	待受画面終了情報の情報を削除します。

おしらせ

- iアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

iアプリを管理する

- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- このようにIP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、「⇆」が点滅します。この際、通信料はかかりません。

iアプリをバージョンアップする〈バージョンアップ〉

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

- 以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型iアプリをバージョンアップできません。
  - ・メールセキュリティの設定中
  - ・フォルダセキュリティの設定中
  - ・バージョンアップするメール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダの使用中

1 ソフト一覧画面の機能メニュー（P.317）▶「バージョンアップ」▶「YES」

おしらせ

- ソフトが更新されていない場合は、ソフト情報を取得した後に現在のソフトが最新であることを通知するメッセージが表示されます。
- SSL対応ページの場合は、SSL通信を開始することを通知するメッセージが表示されます。
- バージョンアップの前に、携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を利用することを通知するメッセージが表示される場合があります。
- ソフトによっては、ソフトの起動中に自動的にバージョンアップを実行する場合があります。その場合、バージョンアップするかどうかのメッセージが表示されます。
- バージョンアップの後、バージョンアップしたソフトを実行するかどうか選択することができます。

iアプリを削除する〈iアプリ削除〉

保存されているソフトを1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1 ソフト一覧画面の機能メニュー（P.317）▶以下の項目から選択

削除	反転表示したiアプリを削除します。
選択削除	▶◎で□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」 複数のiアプリを削除できます
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 登録されているiアプリをすべて削除します。

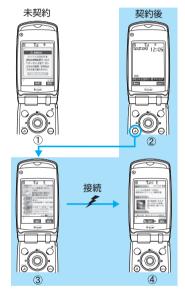
おしらせ

- iアプリ待受画面に設定されているソフト（「アイコン」のついているソフト）や自動起動するように設定されているソフト（アイコンのついているソフト）、iアプリ待受画面および自動起動するように設定されているソフト（アイコンのついているソフト）を削除しようとすると、ソフトの設定状態と削除するかどうかのメッセージが表示されます。
- メール連動型iアプリを削除する場合は、対応するメール連動型iアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されます。メール連動型iアプリのみを削除する場合は「NO」を選択します。メール連動型iアプリと対応するメール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダおよびフォルダ内のすべてのメールを削除する場合は「YES」を選択します。ただし、メール連動型iアプリ専用の送信／受信フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、保護メールがある場合はメール連動型iアプリも専用の送信／受信フォルダも削除できません。
- メール連動型iアプリを削除すると、削除するソフトを選択している間に受信したiアプリに対応している新着メールが削除されることがあります。
- おサイフケータイ対応iアプリによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行う必要があるものがあります。このようなソフトは「削除」を行っても削除されません（「選択削除」または「全削除」の場合、その他のソフトは削除されます）。事前にデータを削除してからソフトの削除を行ってください。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、削除できない場合があります。

iチャネル

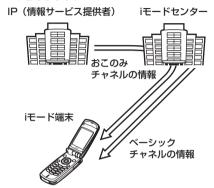
iチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiチャネル対応端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応ボタン（ch）を押すことでチャネル一覧に表示されます（P.327）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

● iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

※ 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

① iチャネルをご契約いただいていない場合。
② iチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
③ 待受画面表示中にchを押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
④ 各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

■ チャネルの種類

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでiチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はiチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

※ iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。
・操作方法は→P.327
・対応機種：701i、702i、902iシリーズ、P851i

おしらせ

● 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
● 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
● 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

■ おためしサービス

iモードをご契約のうえiチャネル対応端末を利用しているお客様で、iチャネル対応端末を利用している契約者回線についてiチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

・おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

おしらせ

- おためしサービスは、原則としてFOMA カードを挿入してiチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ⓒⓗを押すことで開始できます。
- おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
- おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また途中で終了したい場合の操作方法については、『iモード操作ガイド』をご参照ください。

● 待受画面／イメージウィンドウのテロップ表示について

iチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面やイメージウィンドウのテロップに自動的に情報が流れます。

- iチャネル情報を受信中は が点滅します。

テロップは、最新のiチャネル情報が配信されたときだけ表示するようにしたり、表示しないようにすることができます。また、FOMA端末を折り畳んでいるときにはイメージウィンドウに表示するように設定することができます。→P.328

おしらせ

- 待受画面にiモーションやiアプリ待受画面を設定していても、テロップは表示されます。
- 以下の場合、テロップは表示されません。
  - ・FOMAカード未挿入時
  - ・公共モード（ドライブモード）設定中
  - ・オールロック設定中
  - ・PIMロック設定中
  - ・省電力モード時
- セルフモード設定中でも、待受画面のテロップは表示できます。

チャネル一覧からサイトを表示する

チャネル一覧を表示し、iチャネルの情報サイトにアクセスします。
チャネル画面には公式のチャネルと一般のチャネルを合わせて最大15件まで表示することができます。

1 待受画面表示中▶ⓒⓗ

「チャネル一覧画面」が表示されます。
iモードメニューで「iチャネル」を選択しても、チャネル一覧画面を表示することができます。

チャネル一覧画面

機能メニュー ➡P.327

2 チャネル項目を選択

おしらせ

- iチャネルをご契約されていない場合は、iチャネルを起動するとiチャネル未契約のお知らせが表示されます。その画面から『ご説明＆お申込』を選択するとiチャネル紹介ページになり、iチャネル契約をすることができます。通信状態によっては、iチャネルがご契約されていない旨のメッセージが表示され、元の画面にもどることがあります。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信ランプも点灯／点滅しません。
- 通常は変更する必要はありませんが、iチャネルの接続先を変更することができます。→P.231
- 以下の場合は、チャネル一覧の表示ができません。
  - ・FOMAカード未挿入時
  - ・オールロック設定中
  - ・PIMロック設定中
- 以下の場合、チャネル情報が取得できなかったというメッセージが表示されることがあります。
  - ・FOMA端末を初期化したとき
  - ・FOMAカードを差し替えたとき
  - ・接続先選択を変更したとき

チャネル一覧画面の機能メニュー

デスクトップ貼付	チャネル一覧画面を起動するデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けます。「デスクトップアイコンを利用する」→P.147

〈iチャネル設定〉

iチャネルの設定を行う

お買い上げ時	テロップ表示設定：表示する（イメージウィンドウOFF） テロップ速度設定：標準

待受画面やイメージウィンドウにテロップを表示するかしないか、また表示するときのスクロール速度を設定します。

- テロップ表示設定を「受信時のみ表示する」に設定すると、新しい情報を受信したときにテロップが2回表示されます。
- イメージウィンドウの設定を「ON」にした場合は、以下のように表示されます。
  - ・テロップ表示設定を「表示する」に設定したときは、新しい情報を受信したときや、FOMA端末を折り畳むたびにイメージウィンドウにテロップ表示が2回行われます。
  - ・テロップ表示設定が「受信時のみ表示する」のときは、新しい情報を受信したときにテロップ表示が2回行われます。
  - ・イメージウィンドウにテロップを表示している間は、省電力モードになりません。

1 MENU ▶ (iモード) ▶「iモード設定」▶「iチャネル設定」▶ 以下の項目から選択

テロップ表示設定	待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかしないか（表示する／受信時のみ表示する／表示しない）を設定します。 「表示する」または「受信時のみ表示する」を選択した場合は、さらにFOMA端末を折り畳んでいるときにイメージウィンドウに表示するかしないか(ON／OFF)を設定します。
テロップ速度設定	テロップのスクロール速度（標準／高速／低速）を設定します。

おしらせ

- 以下の場合は、iチャネルの設定を変更できません。
  - ・FOMAカード未挿入時
  - ・オールロック設定中
  - ・PIMロック設定中

<テロップ表示設定>

- iチャネルサービス解約前にiモードサービス解約を行った場合や、iチャネルサービス解約後は、テロップ表示設定はそのままになりますが、テロップは自動的に表示されなくなります。
- 「端末初期化」(P.428)を行った場合、iチャネルの「テロップ表示設定」は「表示する」および「イメージウィンドウOFF」に設定されます。ch を押してチャネル一覧を表示するか最新の情報を受信すると、待受画面に自動的にテロップが流れます。

●おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

iモード端末のICカード機能を使ったiモードの便利な機能（iモード FeliCa）やICカードを搭載したiモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとはかざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の一つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り装置（リーダ／ライタ・注）にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、おサイフケータイ内のICカードに電子マネーをサイトから入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

（注）ICカードの読み書きを行う装置です。

IP（情報サービス提供者）
各おサイフケータイ対応サービスを提供します。

読み取り装置（リーダ／ライタ）

iモードセンター
IPとiモード端末をつなぎます。

・チャージ
・購入
・ポイント利用など

・チャージ
・購入
・ポイント利用など

おサイフケータイ

※ICカード機能をご利用頂くには、ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードしてください。

- 各おサイフケータイ対応サービスのお申し込み・ご利用の方法につきましてはそれぞれ異なりますのでIP（情報サービス提供者）などのお問い合わせ先にご連絡ください。各おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- ご利用の各おサイフケータイ対応サービスのサービス名や問い合わせ先などはメモを取り保管してください。おサイフケータイの故障・修理・電話機の変更やその他の取扱いによって、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります。（修理の場合は、原則データをお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。）万が一、ICカード内のデータが消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ICカード内のデータを消去する場合や、消失・変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせの上、ご確認下さい。
- ドコモショップなど窓口にて、他のおサイフケータイへの交換時、及び故障取り替え時に、ICカード内のデータを新機種へコピーすることはできません。対応方法につきましては各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP(情報サービス提供者)などにお問い合わせください。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万が一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせ下さい。なお、本製品はオールロック／遠隔オールロック、ICカードロックでICカード機能を制限できます。
→P.155、334

おサイフケータイ対応iアプリを起動する

おサイフケータイ対応iアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う

ソフト一覧画面からおサイフケータイ対応iアプリを起動します。おサイフケータイ対応iアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  ・iアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  ・電池が切れた場合

1 MENU▶ iアプリ ▶「ソフト一覧」
「ソフト一覧画面」が表示されます。

2 おサイフケータイ対応iアプリを選択
おサイフケータイ対応iアプリが起動します。

● おサイフケータイ対応iアプリを表示する

おサイフケータイ対応iアプリを表示することができます。

▶「ICカード一覧」

「ICカード一覧画面」が表示されます。

ICカード一覧画面

■ ソフトを起動する場合
▶起動するソフトを選択

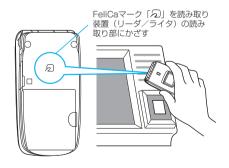
ICカード一覧画面の機能メニュー

「ソフト一覧画面」の機能メニューと同じです。
→P.317

おサイフケータイを利用する

FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとしてご利用することなどができます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただくことができます。

- 通話中は、おサイフケータイ対応iアプリを起動することはできませんが、FeliCaマークを読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざしておサイフケータイをご利用いただくことはできます。
- FeliCaマークを読み取り装置（リーダ／ライタ）の読み取り部にかざしたときに、おサイフケータイ対応iアプリが起動することがあります。

1 FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざして、目的のサービスを利用する

おしらせ

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。また、電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからもFeliCaマークを読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざしてICカード機能をご利用いただくことができますが、おサイフケータイ対応iアプリを起動することはできません。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FeliCaマークの面を読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。FeliCaマークの面をかざしても認識されない場合は、読み取り装置（リーダ／ライタ）の読み取り部になるべく近づけ、平行になるように、前後左右にずらしてかざしてください。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応iアプリによってはダウンロードやバージョンアップ、削除ができないことがあります。

〈トルカ〉

トルカとは

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り装置やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、外部メモリを使って簡単に交換できます。

- 対応機種は、902iシリーズです。詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り装置にかざしてトルカを取得。

⬇

➡

トルカ

トルカ（詳細）

トルカ一覧から取得したトルカを選択。「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

次ページにつづく

トルカの取得手段

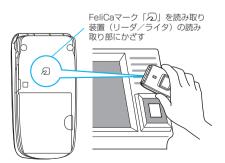
おしらせ
- サイトからトルカおよびトルカ（詳細）を取得する場合は、通常のパケット通信料がかかります。

〈トルカ取得〉
トルカを取得する

- 取得したトルカは「生活ツール」メニューの「トルカ」内に保存されます。

読み取り装置（リーダ／ライタ）から取得する

1 FOMA端末のFeliCaマーク「」を読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざす

トルカ取得音が鳴り、着信ランプが約10秒間点滅します。ディスプレイには「新着トルカあり」のアイコンが表示されます。

おしらせ
- 他の機能を起動しているときは、取得完了画面は表示されません。
- 読み取り装置（リーダ／ライタ）から取得したトルカは「トルカフォルダ」に保存されます。
- トルカは最大100件まで保存することができます。保存できるトルカサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- トルカ取得音は変更できません。
- トルカを取得したときの音量は、「着信音量」（P.71）の「電話」で設定した音量と同じです。「ステップ」に設定した場合は「レベル4」の音量になります。
- マナーモードが設定されている場合は、トルカ取得音が鳴りません。
- ICカードロック中は、読み取り装置（リーダ／ライタ）からトルカを取得できません。

〈トルカビューア〉
トルカを表示する

1 MENU ▶ 生活ツール ▶「トルカ」

トルカフォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択▶トルカを選択

トルカ表示画面が表示されます。

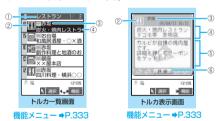
トルカフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.333

トルカ一覧画面・トルカ表示画面の見かた

トルカは以下のように表示されます。

トルカ一覧画面　トルカ表示画面

機能メニュー➡P.333　機能メニュー➡P.333

①フォルダのタイトルが表示されます。
②トルカのカテゴリを示すアイコンが表示されます。
③場所など（インデックス）が表示されます。
④トルカのタイトルが表示されます。
⑤トルカの内容が表示されます。Phone To、Mail To、Web To機能を利用することもできます。
⑥トルカ（詳細）を取得して表示します。

おしらせ
- 保存メールが20件ある場合は、Mail To機能を利用できません。
- トルカによっては、Phone To、Mail To、Web To機能が利用できない場合があります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

- トルカによっては「詳細」ボタンが表示されない場合があります。

トルカフォルダ一覧画面の機能メニュー

項目	内容
フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 追加作成できるフォルダは20個までです。FOMA端末内のフォルダの場合、入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。miniSDメモリーカード内のフォルダの場合は、全角31文字、半角63文字までです。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 FOMA端末内のフォルダの場合、入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。miniSDメモリーカード内のフォルダの場合は、全角31文字、半角63文字までです。
全検索※	▶「インデックス」または「タイトル」▶検索する文字列を入力▶◉
全フィルタ※	指定した条件（「未読のみ」、「既読のみ」、「カテゴリ」から選択）に合うトルカだけを表示します。 「カテゴリ」を選択した場合は、✥で目的のカテゴリアイコンを選んで◉を押します。
全表示※	「全検索」、「全フィルタ」の表示を解除します。
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」
保存件数確認	FOMA端末内に保存されているトルカの件数を表示します。
トルカ全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」

※： miniSD メモリーカード内のトルカのときは表示されません。

おしらせ

＜フォルダ追加＞
- 追加作成したフォルダは「miniSD」フォルダの上に追加されます。
- フォルダ名を入力しないとフォルダを追加作成できません。

＜フォルダ名編集＞
- 「トルカフォルダ」と「miniSD」フォルダは変更はできません。

＜フォルダ削除＞
- 「トルカフォルダ」、「miniSD」フォルダは削除できません。

トルカ一覧画面の機能メニュー

項目	内容
フォルダ移動	
・1件移動	反転表示したトルカを別のフォルダに移動します。
・選択移動	選択したトルカを別のフォルダに移動します。
・全移動	表示中のすべてのトルカを別のフォルダに移動します。
コピー	
・1件コピー	反転表示したトルカをコピーします。
・選択コピー	選択したトルカをコピーします。
・全コピー	表示中のすべてのトルカをコピーします。
検索※1	▶「インデックス」または「タイトル」▶検索する文字列を入力▶◉
フォルダ内全表示※1※2	「検索」、「フィルタ」、「ソート」の表示を解除します。
ソート※1	トルカを指定した条件に従って並べ替えます。
フィルタ※1	指定した条件（「未読のみ」、「既読のみ」、「カテゴリ」から選択）に合うトルカだけを表示します。 「カテゴリ」を選択した場合は、✥で目的のカテゴリアイコンを選んで◉を押します。
iモードメール作成	選択したトルカを添付したiモードメールを作成します。 iモードメールの作成／送信 →P.251
赤外線送信※1	「データを1件ずつ転送する」 →P.385
miniSDへコピー※3	
・1件コピー	反転表示したトルカをminiSDメモリーカード内へコピーします。
・選択コピー	選択したトルカをminiSDメモリーカード内へコピーします。
・全コピー	表示中のすべてのトルカをminiSDメモリーカード内へコピーします。
保存件数確認	FOMA端末内に保存されているすべてのトルカの件数を表示します。
トルカ情報	トルカの情報を表示します。
削除	
・1件削除	反転表示したトルカを削除します。
・選択削除	選択したトルカを削除します。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 表示中のすべてのトルカを削除します。

※1 ：miniSDメモリーカード内のトルカのときは表示されません。
※2 ：トルカフォルダ一覧画面で「全検索」「全フィルタ」「全表示」を実行しているときは「全表示」となります。
※3 ：miniSDメモリーカード内のトルカのときは「本体へコピー」となります。

トルカ表示画面の機能メニュー

項目	内容
フォルダ移動	表示中のトルカを別のフォルダに移動します。
コピー	表示中のトルカをコピーします。
iモードメール作成	表示中のトルカを添付したiモードメールを作成します。 iモードメールの作成／送信 →P.251
赤外線送信※1	「データを1件ずつ転送する」 →P.385

次ページにつづく

miniSDへコピー※2	表示中のトルカをminiSDメモリーカード内へコピーします。
更新※1※3	表示中のトルカ（詳細）を新しい情報に更新します。
画像保存※1※3	▶画像を選択▶「YES」
電話帳登録※1	表示中のトルカに含まれる電話番号またはメールアドレスを電話帳に登録します。→P.111
削除	表示中のトルカを削除します。

※1 ：miniSDメモリーカード内のトルカのときは表示されません。
※2 ：miniSDメモリーカード内のトルカのときは「本体へコピー」となります。
※3 ：トルカ（詳細）を表示中に選択できます。

おしらせ

- サイトやiアプリなどから取得したトルカのデータサイズによっては、メール添付送信、赤外線送信、miniSDメモリーカードへのコピーを行うことができない場合があります。

<miniSDへコピー>
- トルカ（詳細）は、詳細情報を持たないトルカとしてコピーされます。miniSDメモリーカードにコピーされたトルカをFOMA端末へコピーすると、再度詳細情報を取得することができます。ただし、コピーしたトルカの内容によっては詳細情報を取得できない場合があります。

<iモードメール作成>
- トルカ（詳細）は、詳細情報を持たないトルカとして送信されます。→P.251
受信側では、再度詳細情報を取得することができます。ただし、受信したトルカの内容によっては詳細情報を取得できない場合があります。

<赤外線送信>
- トルカ（詳細）は、詳細情報を持たないトルカとして送信されます。受信側では、再度詳細情報を取得することができます。ただし、受信したトルカの内容によっては詳細情報を取得できない場合があります。

〈トルカ設定〉
トルカについて設定する

1 MENU▶［各種設定］▶「トルカ設定」▶以下の項目から選択

外部R/Wからの取得（お買い上げ時：許可する）	FeliCaマークを読み取り装置（リーダ／ライタ）にかざしたときにトルカ取得を行う（許可する）か拒否する（許可しない）かを設定します。
スクロール設定（お買い上げ時：1行スクロール）	トルカ表示画面のスクロール行数を「1行スクロール」、「3行スクロール」または「5行スクロール」から選択します。

〈ICカードロック〉
ICカード機能をロックする

お買い上げ時 解除

ほかの人にICカード機能を無断で使われることを防ぐために、ICカードロックでICカード機能をロックします。
- ICカード機能をロックすると、IC機能を使用できなくなります。
- 電源を切ってもロックは解除されません。
- 「オールロック」と「遠隔オールロック」でICカード機能をロックすることもできます。
「ほかの人が使用できないようにする」→P.155

ICカードロックを設定／解除する

1 MENU▶［各種設定］▶「ロック／セキュリティ」▶「ICカードロック」▶端末暗証番号を入力

ICカードロックが設定されて「[IC]」が表示されます。

12/20(火) 12:05

■ ICカードロックを解除する場合
▶操作1を再度行う
ICカードロックが解除されて「[IC]」の表示が消えます。

おしらせ

- 以下の場合、ICカードロックの設定／解除をすることはできません。
  - ・通話中
  - ・オールロック中／遠隔オールロック中
  - ・他の機能が起動しているとき
- 電池パックを取り外すとICカードロックが自動的に設定されます。この場合、電池パックを取り付けるとICカードロックは自動的に解除されます。
- ICカードロックを設定しているときに電池残量が空で電源が切れた場合でもICカードロックは保持されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

フルブラウザ

フルブラウザで登録したホーム、Bookmarkなどのデータはiモードで利用することはできません。
また、フルブラウザで設定した内容はiモードには反映されません。

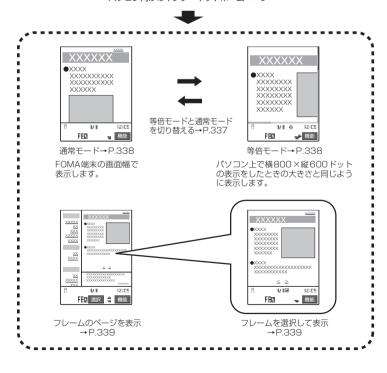
パソコン向けのインターネットホームページを表示する

パソコン向けに作成されたインターネットホームページをフルブラウザの機能を利用して閲覧できます。iモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、一部については表示が可能です。ただし、インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。

- フルブラウザ利用中にかかったパケット通信料は、「パケ・ホーダイ」の対象外となります。
- フレーム※1で作成したインターネットホームページを閲覧することができます。また、フレームを選択して表示することもできます。→P.339
- フルブラウザでTLS／SSL※2対応のページを表示できます。

※1 本章での「フレーム」はフレーム撮影のフレームとは異なり、ウィンドウ内を分割して作成されているインターネットホームページのことを指します。

※2 TLS、SSLは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。TLS／SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

パソコン向けのインターネットホームページ

1 ◯［iモード］▶「Internet（フルブラウザ）」

「フルブラウザメニュー画面」が表示されます。

フルブラウザメニュー画面

2 以下の項目から選択

ホーム	ホームURLに登録したURLのインターネットホームページを表示します。ホームURLが登録されていない場合は、ホームURLを登録する画面が表示されます。
Bookmark※1	Bookmark登録したインターネットホームページを表示します。
ラストURL	最後に表示したインターネットホームページを表示します。
URL入力※2	URL を入力してインターネットホームページを表示します。
フルブラウザ設定	フルブラウザの設定や設定確認をします。→P.340

※1 ：ブックマークの操作方法についてはｉモードのブックマークを参照してください。→P.220
※2 ：URL入力の方法についてはiモードのURL入力を参照してください。→P.219

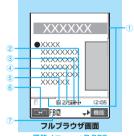
■ フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示された場合

お買い上げ時は「アクセス設定」（フルブラウザを利用するかどうかの設定）が「利用しない」に設定されています。
「アクセス設定」が「利用しない」に設定されている場合は、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。表示される注意事項をよくお読みになり、設定を行ってください。
ここで「利用する」を選択すると、「アクセス設定」（P.340）が「利用する」に変更され、設定が保持されます。

おしらせ

- インターネットホームページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- フルブラウザで表示しているページを画面メモに保存することはできません。
- フルブラウザで閲覧しているインターネットホームページをiモードに切り替えて表示することはできません。
- フルブラウザはFlash、PDFには対応していません。
- フルブラウザでは、画像などのデータはダウンロードして保存することはできません。
- フルブラウザで「Phone To機能」は利用できません。
- 「アクセス設定」はFOMAカードを挿入していないと設定できません。
- 待受画面で[ホーム]を押してもホームURLをフルブラウザで表示することはできません。
- 「アクセス設定」を「利用する」に設定していても、別のFOMAカードに差し替えた場合は、「利用しない」に変更されます。
- フルブラウザのインターネットホームページ画面の文字は、「フォント設定」（P.146）にかかわらず、細字で表示されます。

フルブラウザの表示について

フルブラウザ画面

機能メニュー➡P.339

① スクロールバー
表示しているページの現在の位置を示しています。→P.338
② 等倍モード
等倍表示をしているときに表示されます。
→P.337
③ フレーム拡大表示中表示
フレーム拡大表示をしているときに表示されます。→P.339
④ 2/5 マルチウィンドウ起動中表示
表示しているウィンドウの順番と枚数が表示されます。
→P.338
⑤
フレームを選択して表示中（P.339）に、別のフレームが通信中のときは「」が点灯します。また、マルチウィンドウで表示中（P.338）に、別のウィンドウが通信中のときは「」が点灯します。
⑥ ウィンドウ切替アイコン
複数のインターネットホームページを開いているとき、◯［］を押すことでページを切り替えて表示します。
⑦ FB
フルブラウザでインターネットに接続中に表示されます。

● 表示方法を切り替える

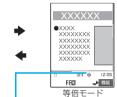
フルブラウザ画面で、通常モード／等倍モードを切り替えて表示できます。
- 最初に表示されるモードを「フルブラウザ設定」（P.340）で設定することができます。
- 機能メニューから表示中の画面を通常モードまたは等倍モードに切り替えることができます。
- 表示方法はフルブラウザ終了時に保持され、次回フルブラウザ起動時は、前回と同じモードで表示されます。

次ページにつづく

■ 通常モード
FOMA端末の画面幅でインターネットホームページを表示します。横スクロールは不要で、上下のスクロール操作だけでインターネットホームページを閲覧できます。

■ 等倍モード
パソコン上で横800×縦600ドットの表示をしたときの大きさと同じようにインターネットホームページを表示します。上下左右自在にスクロールしてインターネットホームページを閲覧できます。

1 フルブラウザ画面の機能メニュー（P.339）▶「表示モード切替」

通常モードで表示されていた場合は、等倍モードに切り替わります。
等倍モードで表示されていた場合は、通常モードに切り替わります。
通常モード／等倍モードを切り替えると、現在表示しているページの一番上（等倍モードへ切り替えた場合は左上）にジャンプします。

通常モード

等倍モード

等倍モード中表示
上下左右の4方向のスクロールが可能な等倍モードであることを示しています。

● スクロールする

フルブラウザ画面が画面内に収まらないときは、スクロール表示することにより続きを見ることができます。

■ でスクロールする場合
フルブラウザ画面で を押すと、行単位で下方向にスクロールし、 を押すと、行単位で上方向にスクロールします（通常モード、等倍モード）。
フルブラウザ画面で を押すと、右方向にスクロールし、 を押すと、左方向にスクロールします。 または を押し続けるとその方向に連続してスクロールします（等倍モードのみ）。

■ [ホーム]、 [メモ／確認]でスクロールする場合
フルブラウザ画面で [メモ／確認]を押すと、画面単位で下方向にスクロールし、 [ホーム]を押すと、画面単位で上方向にスクロールします。また、 [メモ／確認]を1秒以上押すと、ページの一番下にジャンプし、 [ホーム]を1秒以上押すと、ページの一番上にジャンプします。

■ ニューロポインターを使ってスクロールする場合
スクロールしたい方向に をスライドさせてカーソルを移動させます。カーソルが画面の端まで移動すると「 」など（スクロールする方向によって異なります）に変わりスクロールします。スクロールモード使用時は、 をスライドさせた方向に画面がスクロールします。カーソルを移動し続けると、連続してスクロールします。
通常モードの場合は上下の2方向にスクロールすることができます。
等倍モードの場合は上下左右の4方向にスクロールすることができます。

● 前のページへ戻る／次のページへ進む

 を押すと現在表示しているページの1つ前に表示していたページに戻ります。 を押すと「前のページへ戻る」の操作を行う前のページに戻ります（通常モードのみ）。
等倍モードで「前のページへ戻る」、「次のページへ進む」の操作を行う場合は機能メニューから行ってください。→P.340

● マルチウィンドウで表示する

フルブラウザ表示では、最大5つのインターネットホームページを同時に開くことができます。
- 同時に開いたインターネットホームページは1つずつ切り替えて表示させます。

おしらせ
- 同時に開いたインターネットホームページを並べて表示することはできません。

1 フルブラウザ画面の機能メニュー（P.339）▶「新ウィンドウで開く」▶以下の項目から選択

Bookmark一覧※1	Bookmark登録したインターネットホームページを表示します。
URL入力※2	URLを入力してインターネットホームページを表示します。
ホーム表示	ホームURLに登録されたインターネットホームページを表示します。
リンク	インターネットホームページで選択（反転表示）したリンクを開きます。

※1 ：ブックマークの操作方法についてはｉモードのブックマークを参照してください。→P.220
※2 ：URL入力の方法についてはiモードのURL入力を参照してください。→P.219

指定したインターネットホームページが新しいウィンドウで開きます。

■ 表示するページを切り替えるとき
 [ ] を押すことで、インターネットホームページを切り替えて表示させます。

■ 開いているページを閉じるとき
▶閉じたいページを表示▶◯［機能］▶「ウィンドウを閉じる」▶「YES」

おしらせ
- 機能メニューからも、インターネットホームページを切り替えて表示させることができます。
  ▶「フルブラウザ画面」(P.337) ▶◯［機能］▶「ウィンドウ切替」▶表示させたいページのタイトル名を選択
- インターネットホームページによっては、新しいウィンドウで開くように設定されたリンクがある場合があります。そのリンクを開いたときは、新しいウィンドウが開きます。

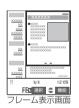
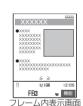
● フレーム対応のページを表示する

パソコン向けにフレームで作成されたインターネットホームページを表示します。
- フレームを選択して表示することができます。
- ニューロポインターを使ってフレームを選択することもできます。

1「フルブラウザ画面」(P.337) ▶フレームで作成されたページを表示

2 ◈でフレームを選択▶◉
選択したフレームが表示されます。
ニューロポインターを使ってフレームを選択することもできます。

フレーム表示画面

フレーム内表示画面

■ フレーム表示画面に戻る場合
▶◯［機能］▶「全体表示」

おしらせ
- CLRを押してもフレーム表示画面に戻ることができます。
- フレームでの分割数が多いインターネットホームページの場合、すべてのフレームを表示できないことがあります（文字や画像のないフレームとなります）。

● 画像をアップロードする

FOMA端末に登録してある画像をインターネットホームページへアップロードします。
- 画像をアップロードする方法は、インターネットホームページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

おしらせ
- 選択した複数の画像の合計が80Kバイトを超える場合、または選択した画像以外のデータとの合計が100Kバイトを超える場合はアップロードすることはできません。
- アップロードできる画像は、JPEG形式およびGIF形式です。
- インターネットホームページによってはアップロードできない場合があります。
- FOMA端末外へ出力が禁止されている画像はアップロードできません。

● iモードからフルブラウザに切り替える

iモードで表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。

1 iモードで表示したインターネットホームページ画面▶◯［機能］▶「フルブラウザ切替」▶「YES」

パソコン向けに作成されたインターネットホームページなど、iモードでは正しく表示できない場合、フルブラウザに切り替えて表示します。ただし、インターネットホームページによっては、表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。

おしらせ
- フルブラウザで閲覧しているインターネットホームページをiモードに切り替えて表示することはできません。
- フォーム入力中にフルブラウザに切り替えると文字情報はクリアされます。
- フルブラウザ利用中にかかったパケット通信料は、「パケ・ホーダイ」の対象外となります。

フルブラウザ画面の機能メニュー

Bookmark登録※1	ブックマークに登録します。
Bookmark一覧※1	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。
URL入力※2	URLを入力してインターネットホームページを表示します。

次ページにつづく

スクロールモード	サイト表示中にニューロポインターをスライドさせた方向に対して360度（8方向）スクロールができるようになります。スクロールモードを解除するときは、CLRを押します。
iモードメール作成	表示中のページのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」→P.251
新ウィンドウで開く	インターネットホームページを新しいウィンドウで表示します。「マルチウィンドウで表示する」→P.338
ウィンドウを閉じる	表示中のウィンドウを閉じます。
ウィンドウ切替	複数のインターネットホームページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。
全体表示	すべてのフレームの表示画面へ戻ります。
表示モード切替	フルブラウザ画面を、通常モード／等倍モードに切り替えて表示します。→P.337
再読み込み	表示中のページを更新します。
リトライ	表示中のページのアニメーションを最初から再生します。
ホーム登録／表示	
・ホーム登録	表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
・ホーム表示	ホームURLに登録されているページを表示します。
文字コード変換	表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。
前のページへ戻る	現在表示しているページの1つ前に表示していたページに戻ります。
次のページへ進む	「前のページへ戻る」の操作を行う前のページに戻ります。
サイト情報表示	
・タイトル表示	表示中のページのタイトルを確認します。
・URL表示	表示中のページのURLを表示します。
・証明書表示	表示中のページがTLS／SSL対応ページの場合にTLS／SSL証明書の内容を表示します。
画像表示設定	画像を表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像の代わりに「」が表示されます。
Cookie設定／削除	
・Cookie設定	「Cookieについて設定する」→P.341
・Cookie削除	「Cookieを削除する」→P.341
Referer設定	「Refererについて設定する」→P.341

※1 ：ブックマークの操作方法についてはiモードのブックマークを参照してください。→P.220
※2 ：URL入力の方法についてはiモードのURL入力を参照してください。→P.219

おしらせ

<スクロールモード>
- サイト表示中に を押してもスクロールモードへの切り替え／解除ができます。

〈フルブラウザ設定〉

フルブラウザについて設定する

1 「フルブラウザメニュー画面」（P.337）▶「フルブラウザ設定」▶以下の項目から選択

アクセス設定	フルブラウザを利用するかどうかの設定をします。→P.337
ホーム設定	ホームURLの設定を行います。
スクロール設定	▶「1行スクロール」、「3行スクロール」または「5行スクロール」 インターネットホームページのページのスクロール行数を設定します。
画像表示設定	画像を表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像の代わりに「」が表示されます。
Cookie設定	「Cookieについて設定する」→P.341
Cookie削除	「Cookieを削除する」→P.341
Referer設定	「Refererについて設定する」→P.341
表示モード設定	「表示方法を切り替える」→P.337
Script設定	▶「有効」または「無効」 インターネットホームページを表示したとき、JavaScript※を有効にするかどうかを設定します。インターネットホームページによってはScript設定を「有効」に設定しないと、正常に表示できない場合があります。
ウィンドウオープンガード設定	▶「有効」または「無効」 JavaScript※で新規ウィンドウを自動で開かないようにするかを設定します。「有効」に設定すると自動でウィンドウが開かなくなります。
フルブラウザ設定確認	フルブラウザ設定の状況を表示できます。
ラストURL初期化	記憶されているラストURLを初期化します。初期化するとラストURLは何も登録されていない状態になります。
フルブラウザ設定リセット	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フルブラウザの設定をお買い上げのときの状態に戻します。

※：JavaScript（ジャバスクリプト）は、インターネットホームページ上で動作する簡易プログラム言語で、動きのあるインターネットホームページを作成するときなどに幅広く利用されています。

おしらせ

- フルブラウザ画面を等倍モードで表示している場合、スクロール設定を変更しても、横方向のスクロールは変更されません。

● フルブラウザの設定を確認する

1 「フルブラウザメニュー画面」(P.337) ▶「フルブラウザ設定」▶「フルブラウザ設定確認」

フルブラウザの設定が表示されます。

フルブラウザ設定確認
アクセス設定 しない
スクロール 1行
画像表示 する
Cookie設定 有効
Cookie確認 送受信時
Referer設定 送信する
表示モード 通常
Script設定 有効
ウィンドウオープンガード 無効

おしらせ

- Cookie確認の項目は、Cookie設定を「有効（毎回確認）」に設定しているときのみ表示されます。

Cookieについて

お買い上げ時 有効

Cookie※（クッキー）を利用すると一度アクセスしたインターネットホームページに、効率よくアクセスすることができるようになります。

- フルブラウザ設定またはフルブラウザ画面の機能メニューからCookieの設定や削除ができます。

※：Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておく仕組みです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。
Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

● Cookieについて設定する

1 「フルブラウザメニュー画面」(P.337) ▶「フルブラウザ設定」▶「Cookie設定」▶以下の項目から選択

有効	Cookieを常に有効にします。Cookieを送受信するときに確認を行いません。
無効	Cookieを常に無効にします。
有効（毎回確認）	
・**送信時のみ**	ページに接続するたびに、Cookieを送信するかしないかを選択できます。Cookieを受信するときには確認を行わず、情報がFOMA端末に書き込まれます。
・**受信時のみ**	ページに接続するたびに、Cookieを受信するかしないかを選択できます。Cookieを送信するときには確認を行わず、情報を送信します。
・**送受信時**	ページに接続するたびに、Cookieを送受信するかしないかを選択できます。

おしらせ

- 期限切れのCookieは、最大件数または、最大容量を超えた場合に使用されないものから順に削除されます。
- フルブラウザ設定リセットを実行すると、Cookieの情報は削除されます。
- Cookieは、個別に表示したり、個別に削除したりすることはできません。
- 「毎回確認」に設定している場合、インターネットホームページによっては、Cookieを送受信（更新）するかどうかを確認する画面が連続して表示されることがあります。

● Cookieを削除する

1 「フルブラウザメニュー画面」(P.337) ▶「フルブラウザ設定」▶「Cookie削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

Cookieが削除されます。

Refererについて

お買い上げ時 送信する

Referer※（リファラー）を送信するかどうかを設定します。

※：Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページからアクセスしているかなどの情報がサイトに送信されます。
Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページによってはRefererを送信しないと、リンク先などにアクセスできない場合があります。

● Refererについて設定する

1 「フルブラウザメニュー画面」(P.337) ▶「フルブラウザ設定」▶「Referer設定」▶以下の項目から選択

送信する	Refererを送信します。
送信しない	Refererを送信しません。
毎回確認	Refererを送信するときに確認をします。

おしらせ

- 「毎回確認」に設定している場合、インターネットホームページによっては、Refererを送信するかどうかを確認する画面が連続して表示されることがあります。

●データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXには以下のような項目とフォルダが用意されており、内蔵カメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトなどからダウンロードしたデータなどが、種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

- マイピクチャには撮影した静止画と合わせて最大720件まで、iモーションには撮影した動画と合わせて最大100件まで、メロディには最大400件まで、キャラ電には内蔵されているキャラ電と合わせて最大10件まで、マイドキュメントにはドキュメント（PDFデータ）を最大400件まで保存できます。マイピクチャのシークレットには、最大100件、1,200Kバイトまで、iモーションのシークレットには、最大10件、1,000Kバイトまで保存できます。
- マイピクチャ、iモーション、メロディ、マイドキュメントには、それぞれ20個までフォルダを追加することができます。
- マイピクチャ、iモーション、メロディ、マイドキュメントに保存されているデータをその項目内のほかのフォルダに移動することができます。

マイピクチャ

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	JPEG、GIF、SWF※1	すべての画像の保存先として選択できます。miniSDメモリーカードからコピーした画像、赤外線通信などで転送された画像はINBOXフォルダに保存されます。キャラ電撮影した静止画はカメラフォルダに保存されます。
カメラ		
デコメールピクチャ		内蔵されているデコメール用の画像が保存されています。INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
プリインストール		内蔵されている待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが保存されています。
シークレット※2		ほかの人に見られたくない画像を保管します。
（ユーザ作成フォルダ1～20）		INBOX、カメラフォルダと同様に、画像の保存先として選択できます。
自作アニメ	－	連続撮影で登録したアニメーションおよび自作したアニメーションが保存されます。
miniSDピクチャ	JPEG、GIF	撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたJPEG形式の画像、GIF形式の画像、パソコンなどからminiSDメモリーカードに保存したJPEG形式の画像、GIF形式の画像とアニメーションが保存されます。
miniSDイメージボックス	JPEG、GIF	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション、パソコンなどからminiSDメモリーカードに転送したJPEG形式の画像、GIF形式の画像とアニメーションが保存されます。→P.374
フレーム	IFM	内蔵されているフレームが保存されています。ダウンロードしたフレーム、トルカから取得したフレームが保存されます。
スタンプ	IFM	内蔵されているマーカースタンプが保存されています。ダウンロードしたスタンプが保存されます。
フェイススタンプ	FSD	内蔵されているフェイススタンプが保存されています。ダウンロードしたフェイススタンプが保存されます。

iモーション

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	MP4	すべての動画やiモーションの保存先として選択できます。miniSDメモリーカードからコピーした動画やiモーション、赤外線通信などで転送された動画やiモーションはINBOXフォルダに保存されます。キャラ電撮影した動画はカメラフォルダに保存されます。
カメラ		
プリインストール		内蔵されているiモーションが保存されています。
シークレット※2		ほかの人に見られたくない動画、iモーションを保管します。
（ユーザ作成フォルダ1～20）		INBOX、カメラフォルダと同様に、動画やiモーションの保存先として選択できます。
miniSD	MP4、ASF※3	撮影した動画やFOMA端末からコピーした動画やiモーション、パソコンなどからminiSDメモリーカードに転送した動画が保存されます。
プログラム※4	－	－

メロディ

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	SMF、MFi	すべてのメロディの保存先として選択できます。赤外線通信などで転送されたメロディはINBOXフォルダに保存されています。
プリインストール	MFi	内蔵されているメロディや効果音が保存されています。
（ユーザ作成フォルダ1～20）	SMF、MFi	INBOXフォルダと同様に、メロディの保存先として選択できます。
おしゃべり	－	おしゃべり機能で録音した音声が保存されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

フォルダ	ファイル形式	データの内容
miniSD	SMF、MFi	FOMA端末からコピーしたメロディやパソコンなどからminiSDメモリーカードに転送したメロディが保存されます。
プログラム※4	－	－

キャラ電

フォルダ	ファイル形式	データの内容
－	AFD	内蔵されているキャラ電が保存されています。ダウンロードしたキャラ電が保存されます。

マイドキュメント

フォルダ	ファイル形式	データの内容
INBOX	PDF	お買い上げ時に登録されているドキュメント(PDFデータ)が保存されています。 すべてのドキュメント（PDFデータ）の保存先として選択できます。赤外線通信などで転送されたドキュメント（PDFデータ）はINBOXフォルダに保存されます。
（ユーザ作成フォルダ1～20）		INBOXフォルダと同様に、ドキュメント（PDFデータ）の保存先として選択できます。
miniSD		FOMA端末からコピーしたドキュメント(PDFデータ)、パソコンなどからminiSDメモリーカードに転送したドキュメント（PDFデータ）が保存されます。

ミュージック

フォルダ	ファイル形式	データの内容
－	m3u	パソコンなどからminiSDメモリーカードに転送したプレイリストが保存されます。

※1：SWFとはFlash画像のファイル形式です。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。プリインストールされている画像／iモーションは保管できません。
※3：ASF形式は再生のみ可能です。
※4：プログラムフォルダは、プログラム再生に利用するためのフォルダです。データ保存やフォルダ削除などはできません。

■お願い

- データBOXに登録したデータの内容は、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、miniSDメモリーカードまたはデータリンクソフト（P.513）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、データの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したデータが消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したデータは、miniSDメモリーカードまたはデータリンクソフトを利用してパソコンに保管くださるようお願いします。

〈マイピクチャ〉 MENU 4 6

保存した画像を表示する

撮影した静止画やダウンロードした画像、miniSDメモリーカードに保存されている画像は、データBOXのマイピクチャで表示します。

- 横または縦の最大が2,304ドットを超える画像、総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像、ファイルサイズが1,200Kバイトを超える画像は表示できません。また、横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG画像は表示できません。
  プログレッシブJPEG画像→P.225

1 MENU ▶ データBOX ▶「マイピクチャ」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
シークレットモード、シークレット専用モードのときには、「シークレット」フォルダも表示されます。
マイピクチャのフォルダ内容について→P.344

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.381

2 フォルダを選択

「画像一覧画面（ピクチャ一覧）」が表示されます。
画像一覧画面の見かたについて→P.346

画像一覧画面

機能メニュー➡P.348

3 画像を選択

「マイピクチャ画面」が表示されます。
⊖で前または次の画像を表示することができます。

■ 等倍／拡大表示を切り替える場合

▶◉を押す

横640×縦480ドット以下または横480×縦640ドット以下の画像は等倍表示されます。横640×縦480ドットより大きい、または横480×縦640ドットより大きい画像は、◉を押す前より拡大して表示されます。横240×縦270ドット以下の画像は大きさが変わりません。

等倍／拡大表示のときは、ニューロポインターで画像をスクロールできます。

マイピクチャ画面

機能メニュー➡P.349

次ページにつづく

おしらせ

- 等倍表示をしているとき、で前または次の画像への切り替えや、機能メニューの表示はできません。
- 自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は等倍表示できません。
- 本体、miniSDメモリーカード内のデータが多い場合、表示に時間がかかる場合があります。
- Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。音量を「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。

miniSDメモリーカードに保存されている画像を表示する

1 「フォルダ一覧画面」(P.345)▶「miniSD」▶「ピクチャ」または「イメージボックス」

「miniSDフォルダ一覧画面」が表示されます。

例：miniSDフォルダ一覧画面（ピクチャ）

機能メニュー ➡P.381

2 フォルダを選択▶画像を選択

ピクチャ一覧／タイトル名一覧の見かた

■ ピクチャ一覧

本体に保存されている画像は画面に9枚※の画像がアイコンで表示され、選択されている画像のタイトルが吹き出しガイドに表示されます。また、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

※：miniSDメモリーカード（ピクチャ）に保存されている画像の場合は4枚ずつ表示されます。

■ タイトル名一覧

画面に9件の画像がタイトル名一覧で表示され、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

■ 画像種別アイコン

アイコン	説明
(水色) / (青色) / (紺色)	JPEG形式の画像「通常メールとして添付可／大容量メールとして添付可／圧縮して大容量メールとして添付可（圧縮後500Kバイト以下の場合）」※1
(水色) / (青色) / (紺色)	GIF形式の画像「通常メールとして添付可／メール添付不可（10,001バイト～100Kバイト）／メール添付不可（横640×縦480ドットより大きいとき、または100Kバイトより大きい）」※1
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ※1
	FSD形式のフェイススタンプ
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、iモーション※1
(青色の音符)	音響効果のあるMP4形式のiモーション
(オレンジ色の音符)	ASF形式のiモーション
	MP4形式の再生制限ありのiモーション※2
	音響効果があり、再生制限ありのMP4形式のiモーション※2
	AFD形式のキャラ電
	FOMAカード動作制限に該当している画像

※1：ファイル制限が設定されているデータのアイコンには「」がつきます。メールや赤外線通信機能などではデータを送付できません。ただし、本FOMA端末で撮影した静止画、動画でファイル制限を設定した場合を除きます。

※2：再生回数、再生期間、再生期限を過ぎたｉモーションは「」が「」になります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

■ 取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールデータ
	サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、iアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やminiSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	キャラ電撮影したデータ
	フレーム･マーカースタンプ･フェイススタンプ
	ドキュメントから画面切り出しして取得したデータ

■ 設定できる項目アイコン

miniSDメモリーカード（イメージボックス）では表示されません。

アイコン	説明
	QVGA（横320×縦240ドット）サイズの動画、iモーションデータ。iモーションの各フォルダでのみ表示されます。
/ /	iモードメールに添付できるデータ（500Kバイト超過／500K～10,001バイト／10,000バイト以下） 500Kバイト超過の場合、メールに送信できる容量に処理する必要があります。 「メールに添付できるサイズに変更する」→P.351 「動画をメールに添付できるサイズに切り出す」→P.364
	デコメールに挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	赤外線送信可能なデータ
	miniSDメモリーカードにコピー可能なデータ
	800Kバイト超（800Kバイトは含みません）のデータ。 miniSDフォルダでのみ表示されます。 前回再生を終了した位置から再生することができます。

■ タイトル、ファイル名について

・内蔵カメラまたはキャラ電で撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名がつきます。
　タイトル：yyyy/mm/dd　hh:mm
　（年／月／日　時刻）
　ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
　　　　　　　　　　└── 年月日時刻
　（静止画の場合、xxx（xxx：3桁の数字）がつきます。）
　※時刻：静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、自動保存設定がOFFの場合は動画を保存した時刻が表示されます。
・ダウンロードしたiモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルがつきます。
・ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルがつきます。
・タイトルはFOMA端末の画像一覧画面に表示される名前です。
・ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
・ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。
・ファイル名に不正な文字があるとき、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」になります。

■ 画像編集、動画編集について

マイピクチャ

アイコン	データ	編集
(水色)／(青色)／(紺色)※1	JPEG形式の画像※3	可能
	キャラ電で撮影した静止画※4	
(水色)／(青色)／(紺色)※1	ファイル制限が設定されているJPEG形式の画像※5	不可
(水色)／(青色)／(紺色)※2	GIF形式の画像	
(水色)／(青色)／(紺色)※2	ファイル制限が設定されているGIF形式の画像	
	フレーム、マーカースタンプ	
	フェイススタンプ	
	Flash形式の画像	
	FOMAカード動作制限に該当している画像	

iモーション

アイコン	データ	編集
	内蔵カメラで撮影した動画※5	可能
	赤外線通信などから取得した動画やiモーション※5	
	キャラ電で撮影した動画※4	
	サイトなどから取得したiモーション	不可

※1：水色は通常メールとして添付可、青色は大容量メールとして添付可、紺色は圧縮して大容量メールとして添付可（圧縮後500Kバイト以下の場合）の画像です。
※2：水色は通常メールとして添付可、青色はメール添付不可（10,001バイト～100Kバイト）、紺色はメール添付不可（横640×縦480ドットより大きいとき、または100Kバイトより大きい）の画像です。
※3：「静止画を編集する」→P.354
※4：撮影後ファイル制限が「あり」のキャラ電撮影した静止画や動画は編集できません。
※5：内蔵カメラで撮影した画像や赤外線通信機能で受信した画像など、ファイル制限が「あり」の場合でも編集できます。

● 画像一覧の表示のしかたを設定する〈ピクチャ表示設定〉

- 自作アニメ、miniSDメモリーカード（イメージボックス）は常にタイトル名一覧表示です。

1 MENU ▶ [名称設定] ▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶以下の項目から選択

ピクチャ一覧（お買い上げ時）	ピクチャ一覧に切り替えます。
タイトル名一覧	タイトル名一覧に切り替えます。

画像一覧画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集	「静止画を編集する」→P.354
タイトル編集	▶タイトルを編集 反転表示した画像のタイトルを編集します。 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。 miniSDメモリーカード（ピクチャ）の場合、全角文字で18文字、半角文字で36文字まで入力できます。
イメージ表示	選択している画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。
イメージ貼付	設定した項目には★が表示されます。ただし、テレビ電話関係の画面に設定した場合は表示されません。 ■待受画面、電話発信、電話着信などの画面に設定する場合 ▶項目を選択 ■テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合 ▶項目を選択▶画像を確認▶⦿▶「YES」
イメージ情報	「イメージ情報について」→P.350
iモードメール作成	
・画像添付	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.350
・画像挿入	「デコメールを作成する」→P.351
赤外線送信	「データを１件ずつ転送する」→P.385
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
miniSDへコピー	「FOMA端末の画像をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.353
電話帳イメージ登録	選択している画像を電話帳に登録します。→P.111
メール用サイズ変更	「メールに添付できるサイズに変更する」→P.351
貼付表示位置	「画面に設定するときの位置を設定する」→P.352
切り出し範囲	「画面に設定するときの範囲を設定する」→P.352
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 反転表示した画像のファイル名を編集します。 半角の英字、数字と記号（"-"，"_"）で36文字まで入力できます（"-"，"_"以外の記号を入力することはできません）。
ファイル制限	反転表示した画像のファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
フォルダ移動	
・１件移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 反転表示した画像をほかのフォルダに移動します。
・選択移動	「データを複数選択する」→P.381
・全移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 フォルダ内の画像をすべてほかのフォルダに移動します。
削除	
・１件削除	反転表示した画像を削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.381
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 フォルダ内の画像をすべて削除します。
保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。ただし、FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません。
ソート	指定した条件に従って画像を並び替えます。
タイトル名一覧※1	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。
4枚画像合成	「4枚の画像を1枚の静止画に合成する」→P.352
PictBridge印刷	FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってFOMA端末を直接プリンタに接続し、JPEG形式で保存した画像を印刷できます。→P.394
シークレットに保管※4	「各種データを表示できないようにする」→P.158
フェイススタンプデモ※2	フェイススタンプの追従を確認します。デモは正像表示です。 追従できているときは「[アイコン]」、追従できていないときは「[アイコン]」が表示されます。
本体へコピー※3	「miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする」→P.354
DPOF設定※3	「miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する」→P.395
コピー※3	
・１件コピー	反転表示した画像を別のフォルダにコピーします。
・選択コピー	「データを複数選択する」→P.381
・全コピー	すべての画像を別のフォルダにコピーします。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

※1：タイトル名一覧のときは「ピクチャ一覧」になります。お買い上げ時はピクチャ一覧です。
※2：フェイススタンプフォルダのときのみ表示されます。
※3：miniSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ表示されます。
※4：「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときに表示されます。またシークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.158

おしらせ

- 画面などに設定できる画像、iモードメールに添付できる画像、デコメールに挿入できる画像、赤外線送信可能な画像、miniSDメモリーカードにコピーできる画像は、画像一覧画面のアイコンで確認できます。→P.347

<タイトル編集>
- miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。

<イメージ貼付>
- INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせ、テレビ電話応答保留、テレビ電話通話中保留、テレビ電話代替画像、テレビ電話伝言メモ、テレビ電話伝言準備、テレビ電話音声メモの画面に設定できます。
- プリインストールフォルダの画像の場合は、待受画面、ウェイクアップ表示の画面に設定できます。
- 以下の画像はイメージ貼付できません。
  - ・横640×縦640ドットより大きな画像
  - ・ファイル容量が100Kバイトを超える画像
- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
- 画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

<電話帳イメージ登録>
- ファイル容量が100Kバイト以下で画像サイズが横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットまでの画像が登録できます。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

<ファイル名編集>
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - ・内蔵されている画像
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

<ファイル制限>
- 以下の画像はファイル制限を設定できません。
  - ・JPEG形式、GIF形式以外の画像
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画

<削除>
- 内蔵されている画像は削除できません。
- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - ・設定されていた画面はお買い上げのときの設定に戻ります。
  - ・自作アニメは解除されます。
  - ・スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面に置き換わります。
- メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。シークレットフォルダの容量は、シークレットモード中またはシークレット専用モード中にのみ表示されます。

<ソート>
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
  ①ダウンロードしたり、iアプリやトルカから取得した画像
  ②カメラで撮影した画像
  ③赤外線通信やminiSDメモリーカードなどから取得した画像
  ④キャラ電撮影した画像
  ⑤ドキュメント（PDFファイル）から切り出した画像

マイピクチャ画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集	「静止画を編集する」→P.354
イメージ貼付	▶**項目を選択** 表示している画像を待受画面などに設定します。
イメージ情報	「イメージ情報について」→P.350
iモードメール作成	
・**画像添付**	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.350
・**画像挿入**	「デコメールを作成する」→P.351
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
画像表示設定	イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。
・**標準**（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
miniSDへコピー	「FOMA端末の画像をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.353
電話帳イメージ登録	表示している画像を電話帳に登録します。→P.111
貼付表示位置	「画面に設定するときの位置を設定する」→P.352

切り出し範囲	「画面に設定するときの範囲を設定する」→P.352
1件削除	表示している画像を削除します。
リトライ	アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションの最初から再生します。
PictBridge印刷	FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってFOMA端末を直接プリンタに接続し、JPEG形式で保存した画像を印刷できます。→P.394
フェイススタンプデモ※1	フェイススタンプの追従を確認します。デモは正像表示です。 追従できているときは「」、追従できていないときは「」が表示されます。
本体へコピー※2	「miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする」→P.354
DPOF設定※2	「miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する」→P.395

※1：フェイススタンプフォルダのときのみ表示されます。
※2：miniSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ表示されます。

おしらせ

- 画面などに設定できる画像、iモードメールに添付できる画像、デコメールに挿入できる画像、赤外線送信可能画像、miniSDメモリーカードにコピーできる画像は、画像一覧画面のアイコンで確認できます。
→P.347

<イメージ貼付>
- 待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせ、テレビ電話応答保留、テレビ電話通話中保留、テレビ電話代替画像、テレビ電話伝言メモ、テレビ電話伝言準備、テレビ電話音声メモの画面に設定できます。
- 以下の画像はイメージ貼付できません。
  - ・横640×縦640ドットより大きな画像
  - ・ファイル容量が100Kバイトを超える画像
- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
- 画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

<電話帳イメージ登録>
- ファイル容量が100Kバイト以下で画像サイズが横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットまでの画像が登録できます。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

<1件削除>
- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - ・設定されていた画面はお買い上げのときの設定に戻ります。
  - ・自作アニメは解除されます。
  - ・スケジュールのアラーム通知画面は「」を設定したときの画面に置き換わります。
- メールに添付した静止画を削除した場合、メールに添付されている静止画は削除されません。ただし、大容量画像のときは添付されている静止画も削除されます。

● イメージ情報について

以下の情報が確認できます。

ファイル名	ファイル名を表示
ファイル種別	ファイル形式を表示 Flash画像のときは表示されません。
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
故障時移行可否※1	故障時のファイルの移行の「可／不可」を表示 「可」になるのは、移行を許可されたダウンロードした画像です。
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
イメージ貼付※1	イメージ貼付の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。
DPOF設定※2	
・枚数	設定されているプリント枚数を表示 設定されていないときは「設定なし」、100枚以上設定されているときは「＊＊」の表示になります。
・日付	日付設定の「あり／なし」を表示

※1 ： miniSDメモリーカードのイメージ情報のときは表示されません。
※2 ： miniSDメモリーカード（ピクチャ）のイメージ情報のときのみ表示されます。

● 画像を添付したiモードメールを作成する

- 画像をそのまま添付できない場合は、添付できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「iモードメール作成」▶「画像添付」

■横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットより大きなJPEG画像、またはファイル容量が500Kを超えるJPEG画像の場合

▶以下の項目から選択▶変更された画像を確認

そのまま添付	画像サイズを変更せずに添付します。※
QVGA縮小添付	画像の横と縦の比率を保持したまま画像サイズを変更して添付します。※
QVGA切り出し添付	画像の横と縦の比率を保持したまま画像を変更した後、中央を切り出して添付します。※

※： ファイル容量が500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

2 iモードメールを作成

iモードメールの作成／送信のしかた→P.251

おしらせ

- 画像のサイズ／ファイル容量によっては「画像添付」が表示されません。
- 「QVGA切り出し添付」では切り出す位置を変更できません。中央部分を切り出します。
- 10,000バイトを超えて500Kバイト以下のJPEG画像は大容量画像となります。大容量画像をFOMA端末に送信した場合、iショットセンターでiモード端末で受信するのに適したサイズに変換されます。
- 以下の場合はiモードメール作成できません。
  - ・保存メールが20件あるとき
  - ・Flash画像のとき
  - ・10,000バイトを超えるGIF画像のとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像

● メールに添付できるサイズに変更する

- 横240×縦320ドットまたは横320×縦240ドットより大きなJPEG画像、またはファイル容量が500Kバイトを超えるJPEG画像をiモードメールに添付できるようにします。
  上記以外の画像の場合は、本機能を選択できません。

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「メール用サイズ変更」▶以下の項目から選択

そのまま添付	画像サイズを変更せずに添付します。※
QVGA縮小添付	画像の横と縦の比率を保持したまま画像サイズを変更して添付します。※
QVGA切り出し添付	画像の横と縦の比率を保持したまま画像を変更した後、中央を切り出して添付します。※

※：ファイル容量が500Kバイトを超える場合は、500Kバイト以下に変換します。

2 処理された画像を確認▶⦿▶「YES」

おしらせ

- サイズ変更した画像は、元の画像と同じフォルダに新規保存されます。
- 「QVGA切り出し添付」では切り出す位置を変更できません。中央部分を切り出します。
- 保存された画像のタイトル、ファイル名は以下のようになります。
  - ・タイトル：yyyy/mm/dd hh:mm
  - ・ファイル名：yyyymmddhhmmXXX（XXX：3桁の数字）

● デコメールを作成する

- 画像をそのまま挿入できない場合は、挿入できるように画像サイズやファイル容量を変更します。

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「iモードメール作成」▶「画像挿入」

■横128×縦96ドットまたは横96×縦128ドットより大きなJPEG画像、またはデコメールへ挿入時に最大容量を超えたJPEG画像の場合

▶以下の項目から選択▶変更された画像を確認

そのまま挿入	画像サイズを変更せずに挿入します。※
SubQCIF縮小挿入	画像の横と縦の比率を保持したまま画像サイズを変更して挿入します。※
SubQCIF切り出し挿入	画像の横と縦の比率を保持したまま画像を変更した後、中央を切り出して挿入します。※

※：デコメールへ挿入時にファイル容量が最大容量を超えた場合は、ファイル容量も変更します。

2 デコメールを作成

デコメールの作成／送信のしかた→P.257

おしらせ

- 画像のサイズ／ファイル容量によっては「画像挿入」が表示されません。
- 「SubQCIF切り出し挿入」では切り出す位置を変更できません。中央部分を切り出します。
- 以下の場合はデコメール作成できません。
  - ・保存メールが20件あるとき
  - ・9,000バイトを超えるGIF画像のとき

● 画面に設定するときの位置を設定する

イメージ表示エリアよりも小さな画像を設定するときに、画像を表示する位置を設定します。

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「貼付表示位置」

「中央に表示」、「上部に表示」、「下部に表示」から選択できます。

＜例：待受画面の場合＞

中央に表示の場合　上部に表示の場合　下部に表示の場合

おしらせ

- 設定した表示位置は、待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した表示位置が機能しない場合があります。

● 画面に設定するときの範囲を設定する

イメージ表示エリアよりも大きな画像を設定するときに、画像を表示する範囲を設定します。

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「切り出し範囲」

「中央を表示」、「上部を表示」、「下部を表示」から選択できます。

＜例：電話着信の場合＞

中央を表示の場合　上部を表示の場合　下部を表示の場合

おしらせ

- 設定した切り出し範囲は、待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面で有効です。ただし、画像のサイズによっては、設定した切り出し範囲が機能しない場合があります。

● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

- 横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットより大きな画像は設定できません。

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

3 ［完了］▶◉

■ 4枚合成をし直す場合
▶［取消］

おしらせ

- 合成した画像は、4枚画像合成をはじめたときのフォルダに保存されます。
- 画像は横と縦の比率を保持したまま4枚合成されます。なお、合成に使用した元の画像はリサイズされません。
- 画像選択画面で［デモ］を押すと、選択している画像を確認することができますが、等倍表示はできません。

アニメーションを作る
〈自作アニメ〉

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作ることができます。

- 20件まで作成できます。

1 MENU▶データBOX▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」

「自作アニメ一覧画面」が表示されます。

自作アニメ一覧画面

機能メニュー ➡P.353

2「<未登録>」

3 フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

4 [完了]

おしらせ
- 画像選択画面で［デモ］を押すと、選択している画像を確認することができます。
- 静止画が設定されていないコマがある場合、設定されているコマのみ順番に再生されます。
- 画像サイズが横640×縦640ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を設定できます。

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶**タイトルを編集** 反転表示した自作アニメのタイトルを編集します。 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	「<未登録>」を反転表示しているときは、自作アニメを新規登録します。 作成した自作アニメを反転表示しているときは、その自作アニメを編集します。
イメージ表示	反転表示した自作アニメを再生します（自作アニメ再生画面を表示します）。
イメージ貼付	▶**項目を選択** 反転表示した自作アニメを待受画面などに設定します。
イメージ情報	イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。
自作アニメ解除	反転表示した自作アニメを解除します。

おしらせ
＜イメージ貼付＞
- 待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面に設定できます。

自作アニメを表示する

1 「自作アニメ一覧画面」（P.352）▶自作アニメを選択

「自作アニメ再生画面」が表示されます。
自作アニメを2つ以上登録しているときは、で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面

機能メニュー ➡P.353

自作アニメ再生画面の機能メニュー

イメージ貼付	▶**項目を選択** 選択している画像を待受画面などに設定します。
画像表示設定	イメージ表示エリア（横240×縦270ドット）より小さな画像の表示方法を設定します。
・**標準**（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
リトライ	アニメーションの最初から再生します。

おしらせ
＜イメージ貼付＞
- 待受画面、ウェイクアップ表示、電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信、問い合わせの画面に設定できます。

FOMA端末の画像をminiSDメモリーカードにコピーする

フォルダに保存されている画像をminiSDメモリーカードにコピーすることができます。
- コピーできる画像は、画像一覧画面のアイコンで確認できます。

＜例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像一覧画面＞

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「miniSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー	反転表示した画像を1件コピーします。
選択コピー	▶**画像を選択**▶**［完了］**▶**「YES」** 複数の画像を選択してコピーできます。
全コピー	画像をすべてコピーします。

おしらせ
- コピー処理中はminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ・ファイル名：NEC_mmmm（mmmm ＝ 0001～9999）
- 以下の場合はminiSDメモリーカードへコピーできません。
  - ・内蔵されている画像のとき
  - ・JPEG、GIF画像以外のとき
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画のとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像のとき
  - ・miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないとき
  - ・対応miniSDメモリーカード以外のとき
  - ・miniSDメモリーカードにエラーが発生したとき

次ページにつづく

・コピーするとファイル容量が 1,200K バイトを超えるとき
・miniSDメモリーカードが挿入処理中のとき
- miniSDメモリーカードへコピーすると、ファイル容量が大きくなる場合があります。

miniSDメモリーカードの画像をFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている画像をFOMA端末にコピーすることができます。
- コピーした画像は、マイピクチャのINBOXフォルダに保存されます。

<例：miniSDメモリーカード（ピクチャ）の画像一覧画面>

1 画像一覧画面の機能メニュー（P.348）▶「本体へコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー	反転表示した画像を1件コピーします。
選択コピー	▶画像を選択▶◯［完了］▶「YES」 複数の画像を選択してコピーできます。
全コピー	画像をすべてコピーします。

おしらせ
- コピー処理中は miniSD メモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
- Flash画像はコピーできません。
- 1,200Kバイトを超える画像はコピーできません。
- 横または縦の最大が2,304ドットを超える画像、総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像はコピーできません。また、横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG画像はコピーできません。プログレッシブJPEG画像→P.225
- コピーした画像のファイル名は、miniSDメモリーカードに保存されている画像のファイル名になります。

〈イメージ編集〉
静止画を編集する

撮影した静止画や本体へコピーした画像などを編集することができます。
- 編集できる種類は以下のとおりです。

編集の内容	画像サイズ（編集前）
フレーム合成 ・フレームつきの画像にします。→P.355	横352×縦288ドットまで※1 横288×縦352ドットまで※1
フォトレタッチ ・セピア調の画像にするなど、画像に効果をつけます。→P.355	横352×縦288ドット以下 横288×縦352ドット以下
マーカースタンプ ・ハートなどのマーカースタンプを画像に貼り付けます。→P.355	横2,304×縦1,728ドット※3 横1,728×縦2,304ドット※3 横2,048×縦1,536ドット※3 横1,536×縦2,048ドット※3 横1,616×縦1,212ドット※3 横1,212×縦1,616ドット※3 横1,280×縦960ドット※3 横960×縦1,280ドット※3 横640×縦480ドット以下※2 横480×縦640ドット以下※2
文字スタンプ ・入力した文字のスタンプを画像に貼り付けます。→P.356	
トリミング ・お好みのサイズに画像を切り抜きます。→P.356	
明るさ ・画像の明るさを調節します。→P.355	
回転 ・画像を左右90度または180度回転します。→P.355	
サイズ変更 ・画像サイズを変更します。→P.355	
逆光補正 ・逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。→P.355	横640×縦480ドット以下 横480×縦640ドット以下
肌色補正 ・肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。→P.355	

※1：横352×縦288ドット、横288×縦352ドット、横240×縦320ドット、横320×縦240ドット、横240×縦345ドット、横345×縦240ドット、横176×縦144ドット、横144×縦176ドット、横128×縦96ドット、横96×縦128ドット以外の画像はフレーム合成できません。
※2：編集項目によって画像サイズ（編集前）との関係で編集できない場合があります。
※3：横640×縦480ドットまたは、横480×縦640ドットに縮小してからの編集となります。

- 編集できる画像について→P.347
- 静止画確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」、「フォトレタッチ」、「逆光補正」、「肌色補正」のみです。

1 マイピクチャ画面の機能メニュー（P.349）▶「イメージ編集」

イメージ編集画面の機能メニュー（P.355）が表示されます。

2 編集する項目を選択

3 編集した画像を確認▶◉

「イメージ編集画面」が表示されます。続けて編集する場合は◯［機能］を押して、編集する項目を選択します。

イメージ編集画面

機能メニュー ➡P.355

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

4 ●▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

- 画像の編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。
- 画像によっては、編集効果が表れにくい場合があります。
- 横2,304×縦1,728ドット、横2,048×縦1,536ドット、横1,616×縦1,212ドット、横1,280×縦960ドットの画像の場合、自動的にサイズの縮小が行われ、横640×縦480ドットの画像として編集されます。

イメージ編集画面の機能メニュー

フレーム合成	「フレームを重ねる」→P.355
フォトレタッチ	画像に効果をつけます。
・シャープ	よりシャープな感じの画像にします。
・ソフト	よりソフトな感じの画像にします。
・セピア	セピア調の画像にします。
・浮き彫り	レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
・ネガ	ネガ画像にします。
・ミラー	左右を反転した画像にします。
マーカースタンプ	「マーカースタンプを貼り付ける」→P.355
文字スタンプ	「文字スタンプを貼り付ける」→P.356
トリミング	「トリミングする」→P.356
明るさ	▶で明るさを調節 画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。
回転※1	画像を回転します。 「右90度」、「左90度」、「180度」から選択できます。
サイズ変更	縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小を行います。 「VGA（640×480）」、「CIF（352×288）」、「QVGA（320×240）」、「QCIF（176×144）」、「SubQCIF（128×96）」、「待受（240×320）」、「フルスクリーン（240×345）」、「VGA縦（480×640）」、「CIF縦（288×352）」、「QCIF縦（144×176）」、「SubQCIF縦（96×128）」から選択できます。※2
逆光補正	逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。
肌色補正	肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。
iモードメール作成	「画像を添付したiモードメールを作成する」→P.350
保存	編集した画像を保存します。

※1：回転すると画像の縦横比が変わる場合があります。
※2：( )内の数字は横×縦のドット数で画像のサイズを表しています。

● フレームを重ねる

- 内蔵されているフレーム（P.186）のほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 イメージ編集画面の機能メニュー（P.355）▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。
でほかのフレームに変更することができます。

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶［取消］

おしらせ

- ダウンロードしたフレームには縦向きと横向きのものがあり、画像のサイズと向きが同じ場合のみフレーム合成できます。
- トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。このとき、サイズ変更してフレーム合成した画像は、画質が劣化する場合があります。

● マーカースタンプを貼り付ける

- 内蔵されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
- マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。
- 内蔵のマーカースタンプには以下のものがあります。

十字	＋	ハート1		ハート2	
チュッ		涙		炎	
稲妻		ゴメン		音符	♪
花		LOVE	LOVE LOVE	怒り	
右		下		左	
上		ココ	ココ	1番	①
2番	②	3番	③	飲み会	
マル	○	バツ	×	人	
車		スヤスヤ	zz	ハテナ	?
ビックリ	!	キラキラ		渦	
パンチ		鼻			

データ表示／編集／管理　イメージ編集

次ページにつづく

1 イメージ編集画面の機能メニュー（P.355）▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを編集する場合
▶◯［機能］▶以下の項目から選択

右90度	時計回りに90度回転します。
左90度	反時計回りに90度回転します。
180度	180度回転します。
拡大	2倍のサイズに拡大します。
縮小	1／2のサイズに縮小します。

2 マーカースタンプの位置を決定▶◉

◎またはニューロポインターでマーカースタンプの位置を調整できます。

■ ほかのマーカースタンプを押す場合
▶◯［追加］▶操作1～2を繰り返す

おしらせ

- ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。
- マーカースタンプの拡大や縮小は繰り返して操作できます。
- 編集する静止画のサイズよりマーカースタンプを拡大することはできません。また、1ドット未満に縮小することはできません。

● 文字スタンプを貼り付ける

お買い上げ時	文字色：黒　フォント：ゴシック体 文字サイズ：通常サイズ

- 一度に入力できる最大文字数は全角文字で3～15文字、半角文字で6～30文字です。ただし、入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
- 文字スタンプの色、フォント、文字サイズを変更することができます。

1 イメージ編集画面の機能メニュー（P.355）▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合
▶◯［機能］▶以下の項目から選択

文字入力	▶文字を入力 文字を入力し直します。
文字色	▶◎で色を選択 文字スタンプの色を設定します。 色パレットを切り替えるときは◯［切替］を押します。
フォント	文字スタンプのフォントを「ゴシック体」または「ポップ体」から選択します。
文字サイズ	文字スタンプの大きさを「拡大サイズ」、「通常サイズ」、「縮小サイズ」から選択します。

2 文字スタンプの位置を決定▶◉

◎またはニューロポインターで文字スタンプの位置を調整できます。

おしらせ

- フォントの太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

● トリミングする

1 イメージ編集画面の機能メニュー（P.355）▶「トリミング」

「CIF（352×288）」、「QVGA（320×240）」、「QCIF（176×144）」、「SubQCIF（128×96）」、「待受（240×320）」、「フルスクリーン（240×345）」、「CIF縦（288×352）」、「QCIF縦（144×176）」、「SubQCIF縦（96×128）」、「背景イメージ（240×270）」、「メニューアイコン（64×63）」、「チャット（80×80）」から選択できます。※

※：（ ）内の数字は横×縦のドット数で画像のサイズを表しています。

2 切り抜き枠の位置を決定▶◉

◎またはニューロポインターで切り抜き枠の位置を調整できます。

〈iモーション〉

撮影した動画／iモーションを再生する

撮影した動画、iモードのサイトやインターネットホームページから取得したiモーション、miniSDメモリーカードに保存されている動画は、データBOXのiモーションで再生します。また、QVGA（320×240）以下の動画を回転させ、横画面で再生することもできます。

- iモーションのFOMA端末への取得について →P.241
- 動画やiモーションの再生開始後、FOMA端末を折り畳んだ状態で音声のみの再生ができます。 →P.360

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

1 MENU ▶ データBOX ▶「iモーション」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
シークレットモード、シークレット専用モードのときには、「シークレット」フォルダも表示されます。iモーションのフォルダ内容について→P.344

フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.381

2 フォルダを選択

「動画一覧画面」（プレビュー表示）が表示されます。
動画一覧画面の見かたについて→P.357

動画一覧画面（プレビュー表示）

機能メニュー ➡P.358

3 動画を選択

縦画面で再生する場合は◉を、横画面で再生する場合は◔を押します。
「iモーション画面」が表示され、動画の再生がはじまります。
⊖で前または次の動画を再生することができます。

iモーション画面（縦画面）

■「続きを再生しますか？YES/NO」と表示された場合

・「YES」を選択すると、前回停止位置から再生を開始します。
・「NO」を選択すると最初から再生します。

「iモーション再生中の操作について」→P.359

iモーション画面（横画面）

再生が終わると、「iモーション停止画面」になります。

iモーション停止画面

機能メニュー ➡P.360

おしらせ

- マナーモードに設定中、音声のある動画またはiモーションを再生しようとしたときは、再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると音声つきで再生されます。「NO」を選択すると音声なしで映像のみが再生されますが、音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）を再生しようとした場合や、連続再生中やプログラム再生中に音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）の順番になった場合は再生を中止します。
- 動画やiモーションの再生中にメールやメッセージR、メッセージFなどを受信した場合、映像や音声が途切れる場合があります。
- FOMA N902i以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。
- 前回終了位置から再生可能な動画やiモーションは、以下のとおりです。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。
  - ・miniSDメモリーカードに保存された800Kバイトを超える動画やiモーションで再生中に音声着信等があった場合、または機能メニューの「停止」を選択、CLRまたは電源キーによって再生が終了した長時間の動画やiモーション。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.346
- タイトル、ファイル名について→P.347

■ プレビュー表示

画面に4件の動画がタイトル一覧で表示され、選択されている動画のプレビュー画像がタイトル一覧の下に表示されます。また、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。
音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）などはプレビュー画面に表示されません。

次ページにつづく

■ タイトル一覧

画面に9件の動画がタイトル一覧で表示され、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。

動画一覧画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

iモーション編集	「動画を編集する」→P.362
タイトル編集	**▶タイトルを編集** 反転表示した動画のタイトルを編集します。 **■INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの場合** 全角文字で9文字、半角文字で18文字まで入力できます。 **■miniSDメモリーカードの場合** 全角文字で18文字、半角文字で36文字まで入力できます。
着信音設定	反転表示した動画を着信音に設定します。 「電話」、「テレビ電話」、「プッシュトーク」、「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」に設定できます。→P.128
待受画面設定	反転表示した動画を待受画面に設定します。
iモーション情報	「iモーション情報について」→P.359
iモードメール作成	反転表示した動画を添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
miniSDへコピー	「FOMA端末の動画をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.361
フォルダ移動	
・1件移動	**▶移動先のフォルダを選択▶「YES」** 反転表示した動画をほかのフォルダに移動します。
・選択移動	「データを複数選択する」→P.381
・全移動	**▶移動先のフォルダを選択▶「YES」** フォルダ内の動画をすべてほかのフォルダに移動します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
ファイル名編集	**▶ファイル名を編集** 反転表示した動画のファイル名を編集します。 半角の英字、数字と記号（"-"、"_"）で36文字まで入力できます（"-"、"_"以外の記号を入力することはできません）。
ファイル制限	反転表示した動画のファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
削除	
・1件削除	反転表示した動画を削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.381
・全削除	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** フォルダ内の動画をすべて削除します。
保存容量確認	FOMA端末とminiSDメモリーカードに保存されている動画の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。ただし、FOMA端末の容量にはシークレットの容量は含まれません。
ソート	指定した条件に従って動画を並び替えます。
一覧表示切替	動画の一覧表示のしかたを設定します。
・タイトル※3	タイトル一覧表示に切り替えます。
・タイトル＋画像※3 （お買い上げ時：FOMA端末本体）	プレビュー表示に切り替えます。
・名前※1 ※4	タイトル一覧表示（またはファイル名一覧表示）に切り替えます。
・名前＋画像※1※4 （お買い上げ時：miniSD）	プレビュー表示に切り替えます。
・タイトル表示※2 ※4	表示をファイル名からタイトルに切り替えます。
シークレットに保管※5	「各種データを表示できないようにする」→P.158
本体へコピー※4	「miniSDメモリーカードの動画をFOMA端末にコピーする」→P.362
コピー※4	
・1件コピー	反転表示した動画を別のフォルダにコピーします。
・選択コピー	「データを複数選択する」→P.381
・全コピー	すべての動画を別のフォルダにコピーします。

※1：名前は、ファイル名かタイトルのどちらかです。
※2：タイトル一覧のときは「ファイル名表示」になります。「ファイル名表示」の場合は表示をタイトルからファイル名に切り替えます。
※3：FOMA 端末本体に保存されている動画のときに表示されます。
※4：miniSDメモリーカードに保存されている動画やiモーションのときに表示されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

※5：「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときに表示されます。またシークレットフォルダのときは「シークレットから出す」になります。→P.158

おしらせ

＜着信音設定＞

- 着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。
- QVGA（320×240）の動画を着信音に設定した場合、設定した画面においてｉモーションの画像は表示されません。
- 「プッシュトーク」の着信音設定は音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）で設定できます。

＜待受画面設定＞

- 待受画面に設定した動画やｉモーションを削除したり、シークレットフォルダに保管すると、待受画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 以下の場合は待受画面に設定できません。
  - ・音声だけの動画やｉモーション、テキストだけのｉモーションのとき
  - ・再生制限つきのｉモーションのとき
  - ・QVGA（320×240）の動画のとき
- 動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To機能は利用できません。

＜ｉモードメール作成＞

- 以下の場合はｉモードメール作成できません。
  - ・保存メールが20件あるとき
  - ・再生制限つきのｉモーションのとき
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているｉモーションのとき
- ｉモードメールに添付できるサイズに切り出すことができます。→P.364

＜ソート＞

- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、iアプリから取得したｉモーション
  ②カメラで撮影した動画
  ③赤外線通信やminiSD メモリーカードなどから取得した動画
  ④キャラ電撮影した動画

●ｉモーション情報について

以下の情報が確認できます。

ファイル名	ファイル名を表示
フォーマット	ファイル形式を表示
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
作成者	ファイルの作成者情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
コピーライト	ファイルの著作権情報を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
説明	ファイルの説明を表示 情報がないときは「不明」の表示になります。
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
再生制限	
・**回数制限がある場合**	残り再生回数と全再生回数を表示
・**期限制限がある場合**	「ファイル登録日時～再生期限日時」を表示
・**期間制限がある場合**	「再生開始可能日時～再生期限日時」を表示
・**再生制限がない場合**	「なし」と表示
ビデオ	映像の「あり／なし／再生不可」を表示
オーディオ	音声の情報「AMR／AAC／なし／再生可／再生不可（MP4）／再生不可（ASF）」を表示
テキスト	テキストの「あり／なし／再生不可」を表示
着信音設定	着信音設定の「可／不可」を表示、着信音に設定されているときは、設定先を表示
着信画面設定	着信画面設定の「可／不可」を表示、着信画面に設定されているときは、設定先を表示

ｉモーション再生中の操作について

ｉモーション再生中には以下の操作を行うことができます。

再生中の場合

テロップ表示の場合

音量調節の場合

操作ボタン	動作
◉	再生一時停止／再生を再開
◎（▯）、◎（▯）	音量調節
◎	前後の動画やｉモーションの再生※1
◎	早送り再生
◎	消音（ミュート）（音声や音楽がないときは無効になります）
◎を1秒以上	スキップ戻し※2
◎を1秒以上	スキップ送り※2
◉で再生一時停止後、◎	コマ送り（押すごとにコマが進みます）

次ページにつづく

操作ボタン	動作
◉で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生
CLR	終了

※1：「データ取得完了画面」（P.241）から再生した場合は、操作できません。
※2：iモーションによっては利用できない場合があります。

おしらせ

- お買い上げ時のiモーションの音量は「レベル4」に設定されています。音量は「レベル0」～「レベル6」まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
- iモーションで設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。
- シーク（スキップ戻し、スキップ送り）は、動画の再生中（スロー再生、早送り再生も含む）または一時停止中に実行できます。
- シーク（スキップ戻し、スキップ送り）中は無音です。
- 以下の場合はシーク（スキップ戻し、スキップ送り）ができません。
  - ・停止中のとき
  - ・ストリーミングタイプのiモーションを再生中のとき
  - ・データを取得しながら再生できるiモーションを再生中のとき
  - ・シークポイントがないiモーションのとき
  - ・シークポイントの間隔が広いiモーションのとき
  - ・シークポイントが先頭にしかないiモーションのとき
  - ・音声のみのASFファイルでシーク情報がないiモーションのとき
- シーク（スキップ戻し、スキップ送り）やコマ送り中にテロップは表示されません。

● Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用する

次の場合は、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能（P.228）を利用できます。

- ・再生が終わった後、または停止した後に画面に下線のついた電話番号やメールアドレス、URL が表示された場合
- ・動画再生中のテロップに電話番号やメールアドレス、URL が表示されたとき、機能メニューから「リンク選択」を選択した場合

また、Phone To／AV Phone To機能やMail To機能を利用できる場合は、電話帳に登録できます。再生が終わった後に表示される画面で「電話帳登録」を選択します。

- 電話帳の登録について
  「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」→P.111
  「FOMAカード電話帳に登録する」→P.112

Phone To機能の場合

Mail To機能の場合

Web To機能の場合

iモーション停止（一時停止）画面の機能メニュー

- 再生した画像や選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

機能	説明
通常再生	一時停止のとき、一時停止した位置から再生を再開します。
スロー再生	スロー再生をします。通常の再生に戻るときは、◯［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。
早送り再生	早送り再生をします。通常の再生に戻るときは、◯［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。
停止	iモーションを終了して動画一覧画面に戻ります。
再生位置選択	▶◯▶**再生したい位置を選択** 位置を指定して再生をはじめます。
リンク選択	動画再生中のテロップに電話番号やメールアドレス、URLが表示されたとき、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能（P.228）を利用できます。
iモーション編集	「動画を編集する」→P.362
iモードメール作成	表示している動画を添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
着信音設定	表示している動画を着信音に設定します。「電話」、「テレビ電話」、「プッシュトーク」、「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」に設定できます。→P.128
待受画面設定	選択している動画を待受画面に設定します。
連続再生設定（お買い上げ時：OFF）	フォルダ内のファイル順にiモーションを連続再生するかどうかを設定します（本FOMA端末ではリピート再生となります）。動画やiモーションの再生開始後、FOMA端末を折り畳んだ状態で音声のみを再生することもできます。 「ON」（連続再生）または「OFF」から選択します。
iモーション情報	「iモーション情報について」→P.359
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
miniSDへコピー	「FOMA端末の動画をminiSDメモリーカードにコピーする」→P.361
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・**標準**（お買い上げ時）	実際のサイズで表示します。
・**画面サイズで表示**	画面のサイズに拡大して表示します。
本体へコピー※	「miniSDメモリーカードの動画をFOMA端末にコピーする」→P.362

※：miniSDメモリーカードに保存されている動画やiモーションのときのみ表示されます。

データ表示／編集／管理　iモーション

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

おしらせ

＜スロー再生＞
- スロー再生中は無音です。
- ストリーミングタイプのiモーションやデータを取得しながら再生しているiモーションは、スロー再生できません。

＜早送り再生＞
- 早送り再生中は無音です。
- ストリーミングタイプのiモーションやデータを取得しながら再生しているiモーションは、早送り再生できません。

＜再生位置選択＞
- 動画やiモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

＜着信音設定＞
- 着信音設定が「可」の動画やiモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「iモーション情報」で確認できます。
- プッシュトークの着信音に設定できるiモーションは、音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）です。

＜iモードメール作成＞
- 以下の場合はiモードメール作成できません。
  - ・保存メールが20件あるとき
  - ・再生制限つきのiモーションのとき
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているiモーションのとき
- iモードメールに添付できるサイズに切り出すことができます。→P.364

＜待受画面設定＞
- 待受画面に設定した動画やiモーションを削除すると、待受画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 以下の場合は待受画面に設定できません。
  - ・音声だけの動画やiモーション、テキストだけのiモーションのとき
  - ・再生制限つきのiモーションのとき
- 動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定したiモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To機能は利用できません。

＜連続再生設定＞
- iモーションを終了した後も連続再生設定の設定は保持されます。
- 連続再生設定を「ON」に設定している場合、再生できないデータは自動的にスキップして連続再生します。また、iモーションからのPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。
- 再生制限が設定されているiモーションなどを再生しようとすると、その制限についてのメッセージ画面が表示され連続再生が停止する場合があります。

＜シークレットに保管＞
- シークレットフォルダに保管したiモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To機能は利用できません。

●動画を好きな順に再生する〈動画プログラム再生〉

1 「フォルダ一覧画面」（P.357）▶「プログラム」を反転表示して◯［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録した動画を解除する場合
▶解除したい動画を選択
▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」

2 ◯［完了］

iモーションのフォルダ一覧画面が表示されます。プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

おしらせ

- プログラム再生で登録したiモーションや動画を削除した場合、削除したファイルはプログラム再生からも削除されます。

プログラムフォルダの機能メニュー

1 iモーションの「フォルダ一覧画面」（P.357）で「プログラム」を反転表示して◯［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ追加	▶タイトルを入力 フォルダを追加します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	プログラムフォルダのフォルダ名は変更できません。
フォルダ削除	プログラムフォルダは削除できません。
動画全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザー作成フォルダ内のすべての動画／iモーションを削除します。シークレットフォルダに保管したiモーションは削除されません。
プログラム編集	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。 「動画を好きな順に再生する」 →P.361
プログラム解除	▶「YES」 プログラムを解除します。

FOMA端末の動画をminiSDメモリーカードにコピーする

iモーションのINBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダに保存されている動画をminiSDメモリーカードにコピーすることができます。
- ダウンロードした動画はファイル制限が設定されているとコピーできません。

次ページにつづく

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面>

1 動画一覧画面の機能メニュー（P.358）▶「miniSDへコピー」▶以下の項目から選択

コピーが開始されます。
データ量によってはコピーに時間がかかる場合があります。コピーが終了するまではminiSDメモリーカードを取り外さないでください。

1件コピー	反転表示した動画を1件コピーします。
選択コピー	▶動画を選択▶◯［完了］▶「YES」 複数の動画を選択してコピーできます。
全コピー	動画をすべてコピーします。

おしらせ

- コピー処理中はminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
- 保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダを作成してその中に保存します。
- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ・ファイル名：MOLxxx（xxx＝001～FFF：16進数）
- 以下の場合はコピーできません。
  - ・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画のとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている動画のとき
  - ・miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないとき
  - ・対応miniSDメモリーカード以外のとき
  - ・miniSDメモリーカードにエラーが発生したとき
  - ・miniSDメモリーカードが挿入処理中のとき

miniSDメモリーカードの動画をFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードに保存されている動画をFOMA端末にコピーすることができます。

- コピーした動画は、iモーションのINBOXフォルダに保存されます。

<例：miniSDメモリーカードの動画一覧画面>

1 動画一覧画面の機能メニュー（P.358）▶「本体へコピー」▶以下の項目から選択

コピーが開始されます。
データ量によってはコピーに時間がかかる場合があります。コピーが終了するまではminiSDメモリーカードを取り外さないでください。

1件コピー	反転表示した動画を1件コピーします。
選択コピー	▶動画を選択▶◯［完了］▶「YES」 複数の動画を選択してコピーできます。
全コピー	動画をすべてコピーします。

おしらせ

- コピー処理中はminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
- 以下の場合はコピーできません。
  - ・MP4形式以外の動画のとき
  - ・MP4形式で再生できない動画のとき
  - ※上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。
- 800Kバイトを超える動画は、先頭から800Kバイト以下に切り出してコピーします。ただし、800Kバイトを超えるQVGA（320×240）サイズの動画の場合は切り出しができないためコピーできません。

〈動画編集〉

動画を編集する

- 動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
- 編集できる動画について→P.347

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面>

1 動画一覧画面の機能メニュー（P.358）▶「iモーション編集」

「動画編集画面」が表示されます。

動画編集画面

機能メニュー ➡P.362

2 ◯［機能］▶編集する項目を選択→P.362

おしらせ

- 動画編集によって画質が劣化したり、ファイル容量が増減する場合があります。
- 編集後の確認画面で電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を折り畳んだ場合は、確定している編集内容で保存されます。ただし、保存されている動画がいっぱいのときは保存されません。
- 動画編集中に表示されるファイル容量は目安です。

動画編集画面の機能メニュー

iモーション切り出し	「動画の一部を切り出す」→P.363
イメージ切り出し	▶◉▶切り出したい場面で、◉▶◯［確定］▶「YES」▶フォルダを選択 お好みの1コマを静止画に切り出します。
アフレコ編集	音声部分を消して新たに音声を録音できます。 「アフレコで音声を録音する」→P.363
テロップ編集	「動画にテロップを入れる」→P.363

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

メールサイズ切り出し	「動画をメールに添付できるサイズに切り出す」→P.364
iモードメール作成	編集した動画を添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
ファイル制限	編集した動画のファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。

おしらせ

<iモードメール作成>
- 以下の場合はiモードメール作成できません。
  - 編集した動画のファイル容量が500Kバイトを超えるとき
  - 保存メールが20件あるとき
  - QVGA（320×240）の動画のとき

動画の一部を切り出す

1 動画編集画面の機能メニュー（P.362）▶「iモーション切り出し」▶◯［始点］

切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合
▶◉▶切り出しをはじめたい場面で◉
▶◯［始点］

2 切り出したい最後の場面で◉▶◯［終点］

切り出した動画が再生され、再生が終わったら自動的に停止します。

■ もう一度確認する場合
▶◯［デモ］

3 ◉▶◉▶「YES」

おしらせ
- 切り出し中は、切り出したときのおおよそのファイル容量が表示されます。
- iモーション切り出しを行うと、再生時間が長くなる場合があります。
- QVGA（320×240）の動画は切り出しできません。

アフレコで音声を録音する

1 動画編集画面の機能メニュー（P.362）▶「アフレコ編集」▶◯［始点］

録音が開始されます。

■ 途中の場面から録音する場合
▶◉▶録音をはじめる場面まで再生▶◯［始点］

2 録音が終わったら◯［終点］

動画の再生は続いています。◯［始点］、◯［終点］を押して続けて録音することができます。

3 アフレコ編集を終了するときは◉

■ アフレコした動画を確認する場合
▶◯［デモ］

4 ◉▶◉▶「YES」

おしらせ
- テロップのある動画にアフレコ編集を行うと、テロップが削除されます。
- 内蔵カメラで撮影した動画以外では、アフレコ編集ができない場合があります。

動画にテロップを入れる

お買い上げ時	文字色：黒、背景色：白、文字サイズ：標準、文字位置：左寄せ、点滅／下線／スクロール：OFF

動画に新しくテロップを追加したり、編集することができます。
- 1つの動画につき、5件のテロップを編集できます。1件につき全角文字で20文字まで入力できます。

1 動画編集画面の機能メニュー（P.362）▶「テロップ編集」▶「新規作成」

2 ◯［始点］▶テロップの文字を入力

■ 途中の場面からテロップを入れる場合
▶◉▶テロップを入れたい場面で◉▶◯［始点］

3 テロップの効果を設定

文字色	▶✥で色を選択 文字の色を設定します。 色パレットを切り替えるときは◯［切替］を押します。
背景色	▶✥で色を選択 背景の色を設定します。 色パレットを切り替えるときは◯［切替］を押します。
文字サイズ	文字の大きさを「標準」または「拡大」から選択します。
文字位置	文字を表示する位置を設定します。「左寄せ」、「センタリング」、「右寄せ」に設定できます。 スクロールの設定によっては、この設定が無効になる場合があります。
点滅	文字の点滅を設定します。
下線	文字の下線を設定します。

次ページにつづく

スクロール	スクロールのしかたを設定します。
・OFF	スクロールを解除します。
・スクロールイン	▶スクロールする方向を「右から左へ」、「左から右へ」、「下から上へ」、「上から下へ」から選択
・スクロールアウト	
・スクロールイン・アウト	
設定完了	テロップ効果の設定を終了します。

4 設定が終わったら「設定完了」

5 ◉▶テロップ表示を終了する場面で◉▶◯［終点］

「テロップ追加」を選択した場合、再生中にすでに登録されている別のテロップの始点の位置になったときは、その位置を編集中のテロップの終点にするかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択するとテロップが新規登録されます。「NO」を選択すると、テロップの一覧画面に戻ります。
操作2～5を繰り返してテロップを続けて入れることができます。

■テロップリストが表示された場合
▶◯［完了］
テロップを入れた動画を確認するには◯［デモ］を押します。
修正する場合は◯［修正］を押します。
テロップの修正について→P.364
次に操作7へ進みます。

6 テロップの編集が終わったら◯［機能］▶「テロップ編集完了」

7 ◉▶◉▶「YES」

おしらせ
- テロップ編集を行うと、編集したデータは着信音に設定できません。
- スクロールの速度は始点から終点までの時間に合わせて自動的に設定されます。
- 赤外線通信やデータ通信などで取得した動画でテロップが6つ以上登録されていた場合は、編集時に6つ目以降のテロップは削除されます。また、全角20文字を超えるテロップは全角21文字目以降が削除され、対応していない効果なども削除されます。
- FOMA N902iに未対応のテロップ効果は削除されたり、変更される場合があります。
- 内蔵カメラで撮影した動画以外では、テロップ編集ができない場合があります。

●登録されているテロップを修正する

- すでにテロップが登録されている動画の場合、テロップ情報が削除される可能性があることを通知するメッセージが表示されます。

1 動画編集画面の機能メニュー（P.362）▶「テロップ編集」▶「YES」▶「編集」

テロップリスト画面が表示されます。

テロップリスト
1 テロップ1
2 <未登録>
3 <未登録>
4 <未登録>
5 <未登録>

■テロップの詳細を確認する場合
▶テロップを選択▶詳細を確認▶CLR

2 ◯［機能］▶以下の項目から選択

文字変更	テロップの文字を編集します。
効果変更	文字色、背景色、スクロールの方向などテロップの効果を変更します。
開始位置変更	テロップの始点を指定し直します。
終了位置変更	テロップの終点を指定し直します。
テロップ追加	▶「<追加可能>」▶テロップを追加
テロップ削除	反転表示したテロップを削除します。

3 編集が終わったら◯［完了］

おしらせ
- テロップが1つも登録されていない動画は、テロップ編集できません。

●動画をメールに添付できるサイズに切り出す

1 動画編集画面の機能メニュー（P.362）▶「メールサイズ切り出し」▶以下の項目から選択

メール大	490Kバイトを超える動画を、490Kバイト以下に切り出します。
メール小	290Kバイトを超える動画を、290Kバイト以下に切り出します。

2 ◉▶切り出しをはじめたい場面で◉▶◯［始点］

切り出しが開始されます。
メールに添付できる最大サイズになると、自動的に再生が停止します。

■切り出した動画を確認する場合
▶◯［デモ］

3 ◉▶◉▶「YES」

おしらせ
- 「メールサイズ切り出し」で切り出すことができる動画は、内蔵カメラで撮影した290Kバイト以上の動画です。
- テロップが登録されている動画の場合、テロップがついた状態での切り出しはできません。
- 切り出し中は、切り出したときのおおよそのファイル容量が表示されます。
- QVGA（320×240）の動画は「メールサイズ切り出し」ができません。

〈キャラ電〉

キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりにキャラクタを代替画像として送ることができます。

キャラ電を表示する

お買い上げ時	画像表示設定：画面サイズで表示 代替画像設定：ブンブン（Dimo）

● キャラ電をダウンロードする→P.228
● 内蔵されているキャラ電は以下のとおりです。

©BVIG
ブンブン（Dimo）

ビーンズ（Beans）

サンデー（Sunday）

1 MENU▶データBOX▶「キャラ電」

「キャラ電一覧画面」が表示されます。
キャラ電一覧画面の見かたについて→P.365

キャラ電一覧画面
機能メニュー➡P.366

2 キャラ電を選択

「キャラ電画面」が表示されます。

キャラ電画面
機能メニュー➡P.366

キャラ電一覧の見かた

● 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.346
● タイトル、ファイル名について→P.347

画面に9件のキャラ電がタイトル一覧で表示され、画像種別（キャラ電）とその取得方法、そのキャラ電が設定できる項目がアイコンで確認できます。

キャラ電を操作する

用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

1 「キャラ電画面」(P.365) ▶キャラ電を操作する

■ アクション一覧を確認する場合
▶＊

一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。
アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することを示しています。

■ アクションの詳細を確認する場合
▶アクションを選択▶［詳細］▶詳細を確認▶［閉］

■ アクションモードを切り替える場合
▶［パーツ］または［全体］

（アイコン）が表示されているときはパーツアクションモードに、（アイコン）が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。
（全体アクション）：
感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。
（パーツアクション）：
頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

次ページにつづく

■ キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合

キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

「全体アクション」　：
アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字(1～9)または#1～#9
「パーツアクション」：
アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（11～99）

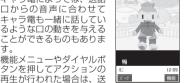
＜例：全体アクション「怒る」を選択する場合＞
※キャラ電は正像表示です。

▶[全体]▶

＜例：パーツアクション「顔アップ」を選択する場合＞

▶[パーツ]▶

■ 音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化をつける場合

キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。
機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

キャラ電発信	▶電話番号を入力▶ または 反転表示したキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。 キャラ電発信画面で を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳検索から電話番号を検索できます。
代替画像設定	反転表示したキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
キャラ電撮影	「キャラ電を静止画／動画として保存する」→P.367
タイトル編集	▶タイトルを編集 反転表示したキャラ電のタイトルを編集します。 全角文字で18文字、半角文字で36文字まで入力できます。
キャラ電情報	「キャラ電情報について」→P.367
保存容量確認	キャラ電の保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
削除	
・1件削除	反転表示したキャラ電を削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.381
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・等倍表示	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示（お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

おしらせ

＜保存容量確認＞
- 表示される容量はおおよその目安です。

＜削除＞
- テレビ電話の代替画像に設定されているキャラ電を削除しようとした場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合は、内蔵されているキャラ電「ブンブン（Dimo）」が代替画像に設定されます。「ブンブン（Dimo）」が削除されている場合は内蔵されている静止画の代替画像を送信します。
- 電話帳に設定されているキャラ電を削除しようとした場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合は、電話帳に設定されているキャラ電も削除されます。

キャラ電画面の機能メニュー

キャラ電発信	▶電話番号を入力▶ または 表示しているキャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。 キャラ電発信画面で を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳検索から電話番号を検索できます。
代替画像設定	表示しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
キャラ電撮影	「キャラ電を静止画／動画として保存する」→P.367
キャラ電切替	▶キャラクタを選択 表示するキャラ電の種類を選択します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
アクション一覧	アクション一覧を表示します。
アクション切替	アクションモードを切り替えます。→P.365

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

キャラ電情報	表示しているキャラ電の情報を確認します。
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・等倍表示	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示（お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。

●キャラ電情報について

以下の情報が確認できます。

初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示 ただし、ファイル制限なしのキャラ電でも、ダウンロードするとファイル制限ありになります。
撮影後ファイル制限	撮影後ファイル制限の「あり／なし」を表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
取得元	ファイルの取得元を表示 内蔵されているキャラ電のときは空白になります。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日 時：分）を表示
代替画像設定	代替画像の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

おしらせ

●「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影した静止画、動画のメール添付やminiSDメモリーカードへのコピー、編集などを規制するかしないかを表したものです。

キャラ電を静止画／動画として保存する〈キャラ電撮影〉

■キャラ電撮影画面の見かた

静止画撮影の場合　　動画撮影の場合

①現在選択されているアクションモードを示します。
：全体アクション
：パーツアクション

②撮影モードを示します。
：静止画撮影
：動画撮影

③「画像保存設定」の設定を示します。
：ノーマル
：ファイン
：スーパーファイン

④「動画保存設定」の設定を示します。
：標準
：画質優先
：時間優先
：動き優先

⑤「動画容量設定」の設定を示します。
：メール（小）
：メール（大）
：動画メモ

⑥「撮影種別設定」の設定を示します。
：映像＋音声
：映像のみ

⑦「画像サイズ選択」に設定しているサイズが表示されます。
：QCIF（176×144）
：縮小サイズ（117×96）

⑧撮影の状態を示します。
STAND BY：スタンバイ
●REC：撮影中

⑨残り撮影時間が「分：秒」で表示されます（撮影前は非表示）。

●静止画を撮影する

1 キャラ電画面の機能メニュー（P.366）▶「キャラ電撮影」

「キャラ電撮影画面（静止画）」が表示されます。

キャラ電撮影画面（静止画）

機能メニュー ➡P.368

2 アクションを操作▶◉

アクションの操作について→P.365

■パーツアクションにする場合

▶◯［パーツ］

■撮影し直す場合

▶CLR

3 ◉

撮影した静止画は、マイピクチャのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

●以下の場合、撮影確認音は鳴りません。
・着信音量の「電話」が「消去」のとき
・マナーモードなど電話の着信音量が「消去」のとき

キャラ電撮影画面の機能メニュー

キャラ電切替	▶キャラ電を選択 撮影するキャラ電を切り替えます。
代替画像設定	表示しているキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
アクション一覧	アクション一覧を表示します。
アクション切替	アクションモードを切り替えます。→P.365
画像表示設定	画像の表示方法を設定します。
・等倍表示	実際のサイズで表示します。
・画面サイズで表示（お買い上げ時）	画面のサイズに拡大して表示します。
ムービーモード※1	フォトモード／ムービーモードを切り替えます。
画像サイズ選択※2	撮影する画像サイズを設定します。
・QCIF（176 × 144）（お買い上げ時）	横176×縦144ドット（QCIF）サイズで撮影します。
・縮小サイズ（117×96）	横117×縦96ドットサイズで撮影します。
撮影種別設定※3	動画を撮影する方法を設定します。
・映像+音声（お買い上げ時）	映像と音声両方の動画を撮影します。
・映像のみ	映像のみの動画を撮影します。
動画保存設定※3	動画を撮影するときの画質、撮影時間を設定します。
・標準（お買い上げ時）	標準の画質、撮影時間で撮影します。
・画質優先	よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
・時間優先	撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。
・動き優先	よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。
画像保存設定※2	QCIF（176×144）または縮小サイズ（117×96）で画像を保存するときのファイル容量を設定します。ファイル容量について→P.181
動画容量設定※3	撮影するときのファイル容量を設定します。
・メール(小)（お買い上げ時）	290Kバイトまで撮影することができます。標準的な動画を撮影してiモードメールに添付したいときに選択します。
・メール(大)	490Kバイトまで撮影することができます。容量の大きな動画を撮影してiモードメールに添付したいときに選択します。
・動画メモ	800Kバイトまで撮影することができます。

※1 ： ムービーモードのときは「フォトモード」になります。お買い上げ時はフォトモードです。
※2 ： ムービーモードでは設定できません。
※3 ： フォトモードでは設定できません。

おしらせ

<キャラ電切替>
- キャラ電を切り替えると、アクションモードは全体アクションモードになります。

● 動画を撮影する

- キャラ電の動画撮影中にアクション操作をすると、ボタン操作音がマイクから録音される場合があります。

1 キャラ電撮影画面（静止画）の機能メニュー▶「ムービーモード」

「キャラ電撮影画面（動画）」が表示されます。

キャラ電撮影画面（動画）

機能メニュー ➡P.368

2 ◉▶アクションを操作▶◉

アクションの操作について→P.365

■ パーツアクションにする場合
▶◌［パーツ］

■ 撮影した動画を確認する場合
▶◌［機能］▶「再生確認」

■ 撮影し直す場合
▶CLR

3 ◉

撮影した動画は、iモーションのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

- 画像サイズは、QCIF（176 × 144）のみです。画像サイズは変更できません。
- 以下の場合、撮影確認音は鳴りません。
  - ・着信音量の「電話」が「消去」のとき
  - ・マナーモードなど電話の着信音量が「消去」のとき
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときは、「イヤホン接続時マイク切替」の設定に従って音声が録音されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

〈メロディ〉

メロディを再生する

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生できます。
miniSDメモリーカードに保存されているメロディは、再生できません。本体にコピーしてから再生してください。

1 MENU ▶ ▶「メロディ」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.381

2 フォルダを選択

「メロディ一覧画面」が表示されます。
メロディ一覧画面の見かたについて→P.369

メロディ一覧画面

機能メニュー ➡P.370

3 メロディを選択

「メロディ画面」が表示され、メロディの再生がはじまります。
で前または次のメロディを再生することができます。
「メロディ再生中の操作について」→P.370

メロディ画面

機能メニュー ➡P.371

おしらせ

- 再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります。「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で再生します。
- 3Dサウンド対応のメロディでは、臨場感のあるメロディ再生が楽しめます。→P.130
- FOMA端末本体に保存されているメロディを、本体内蔵のステレオスピーカや平型ステレオイヤホンセット（別売）などを使用して音楽プレーヤーのように楽しむことができます。→P.371

メロディ一覧の見かた

- ファイル制限が設定されているメロディのアイコンには「」がつきます。
- タイトルの前に「」、「」がついているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。また、これらのメロディもファイル名やタイトルの変更を行うことができます。

画面に9件のメロディがタイトル一覧で表示され、メロディ種別とその取得方法、そのメロディが設定できる項目がアイコンで確認できます。

■ メロディ種別アイコン

／	MFi／SMFのメロディ

■ 取得方法アイコン

アイコンなし	プリインストールされているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やminiSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■ 設定できる項目アイコン

	iモードメールに添付できるメロディ（10,000バイト以下）
	着信音に設定できるメロディ
	赤外線通信で送信可能なメロディ
	miniSDメモリーカードにコピー可能なメロディ

■ タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルがつきます。
タイトルはFOMA端末のメロディ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」（xxx：3桁の数字）になります。
ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号としてつけられます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動　作
⦿	前後の曲の再生
⦿（▯）、⦿（▯）	音量調節
0 ～ 9、*、#、✉、◯、⦿	再生の停止
CLR	終了

- 音量を調節した後、⦿を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
- 再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面の機能メニュー

メロディ一覧画面の機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

- INBOX、ユーザ作成フォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー→P.370
- プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー→P.371
- 着信音設定を行うと、着信音選択の設定に反映されます。

■ INBOX、ユーザ作成フォルダ、miniSDのメロディ一覧画面の機能メニュー

項目	内容
タイトル編集	▶タイトルを編集 反転表示したメロディのタイトルを編集します。 全角文字で25文字、半角文字で50文字まで入力できます。
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 反転表示したメロディのファイル名を編集します。 半角の英字、数字、記号（"-"、"_"）で36文字まで入力できます（"-"、"_"以外の記号を入力することはできません）。
メロディ再生	反転表示したメロディを再生します（メロディ画面を表示します）。
着信音設定	▶項目を選択 反転表示したメロディを着信音に設定します。
ファイル制限	反転表示したメロディのファイル制限を設定します。
・なし	送付先のFOMA端末から送信／転送することができます。
・あり	送付先のFOMA端末では送信／転送することができなくなります。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
iモードメール作成	反転表示したメロディを添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
miniSDへコピー	
・1件コピー	反転表示したメロディをコピーします。
・選択コピー	▶⦿で□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」 選択した複数のメロディをコピーします。
・全コピー	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 すべてのメロディをコピーします。
本体へコピー※	
・1件コピー	反転表示したメロディをコピーします。
・選択コピー	選択した複数のメロディをコピーします。
・全コピー	すべてのメロディをコピーします。
メロディ情報	「メロディ情報について」→P.371
保存容量確認	メロディの保存データ容量と空きデータ容量を確認します。
コピー※	
・1件コピー	反転表示したメロディをコピーします。
・選択コピー	選択した複数のメロディをコピーします。
・全コピー	すべてのメロディをコピーします。
タイトル初期化	変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。
削除	そのフォルダに保存されているメロディを削除します。
・1件削除	反転表示したメロディを削除します。
・選択削除	▶⦿で□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」 ◯［機能］を押して、「全選択」、「全選択解除」ができます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」
ソート	指定した条件に従ってメロディを並び替えます。
フォルダ移動	
・1件移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 反転表示したメロディをほかのフォルダに移動します。
・選択移動	▶移動先のフォルダを選択▶⦿で□（チェックボックス）を選択▶◯［完了］▶「YES」 選択しているメロディをほかのフォルダに移動します。
・全移動	▶移動先のフォルダを選択▶「YES」 フォルダ内のメロディをすべてほかのフォルダに移動します。

※：miniSDフォルダ以外では表示されません。

おしらせ

<ファイル名編集>
- ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やOBEXで受信したメロディはファイル名編集できます。

<iモードメール作成>
- ファイル形式がMFi（メロディ種別アイコンが「♪」や「♪」）のメロディは、取得方法、ファイル制限のあり／なしにかかわらず添付することはできません。
- ファイル容量が10,000バイトを超えるメロディは添付することができません。

データ表示／編集／管理　メロディ

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

<メロディ情報>
- メロディ情報の「ファイル制限」が「なし」になっていても、iモードメールに添付できない場合があります。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

<削除>
- 着信音やアラーム音などに設定されているメロディを削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた着信音やアラーム音はお買い上げ時の状態に戻ります。

<ソート>
- ソート表示をしてメロディ一覧画面を終了し、再度メロディ一覧画面を表示したときは「新しい順」に戻ります。
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、iアプリから取得したメロディ
  ②赤外線通信などから取得したメロディ

■ プリインストール、おしゃべりフォルダのメロディ一覧画面の機能メニュー

メロディ再生	選択しているメロディを再生します。
着信音設定	▶項目を選択 選択しているメロディを着信音に設定します。

メロディ画面の機能メニュー

着信音設定	▶項目を選択 再生しているメロディを着信音に設定します。
連続再生設定※1	同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。
デスクトップ貼付※2	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
iモードメール作成※2	再生しているメロディを添付したiモードメールを作成します。 「iモードメールを作成して送信する」→P.251
miniSDへコピー※2	メロディをminiSDメモリーカードにコピーします。
メロディ情報※2	「メロディ情報について」→P.371

※1：おしゃべりフォルダでは表示されません。
※2：プリインストール、おしゃべりフォルダでは表示されません。

● メロディ情報について

以下の情報が確認できます。

初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
ファイル種別	メロディのファイル種別「MFi／SMF」を表示
故障時移行可否※	故障時のファイルの移行の「可／不可」を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日 時：分）を表示
バイブレータ連動	バイブレータ連動の「あり／なし」を表示
着信イルミネーション連動	着信イルミネーション連動の「あり／なし」を表示
着信音設定※	着信音設定の設定先を表示 設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

※：miniSDメモリーカードのメロディ情報のときは表示されません。

● メロディを好きな順に再生する〈プログラム再生〉

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生できます。

1 「フォルダー一覧画面」（P.369）▶「プログラム」を反転表示して [機能] ▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

プログラム
1 〈1曲目〉
2 〈2曲目〉
3 〈3曲目〉
4 〈4曲目〉
5 〈5曲目〉

2 [完了]

メロディのフォルダー一覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ
- プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更または、データを削除すると、プログラムは解除されます。

プログラムフォルダの機能メニュー

1 メロディの「フォルダー一覧画面」で「プログラム」を反転表示して [機能] ▶以下の項目から選択

フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 フォルダを追加します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	プログラムフォルダのフォルダ名は変更できません。
フォルダ削除	プログラムフォルダは削除できません。
メロディ全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 INBOXフォルダ、ユーザ作成フォルダ、おしゃべりフォルダ内のすべてのメロディファイル、およびプログラムフォルダに設定されているメロディファイルを削除します。

次ページにつづく

プログラム編集	プログラム編集を開始します。すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。 「メロディを好きな順に再生する」→P.371
プログラム解除	▶「YES」 プログラムを解除します。

miniSDメモリーカードについて

SDメモリーカードをさらに小型化した“miniSDメモリーカード”を、FOMA端末内に挿入し、外部メモリとして利用できます。さらにminiSDメモリーカードは、miniSDメモリーカードアダプタに装着して、SDメモリーカードに対応したパソコンなどでも利用できます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。本FOMA端末では、512MバイトまでのminiSDメモリーカード（市販品）に対応しています（2005年11月現在）。

- FOMA端末で撮影した静止画や動画、電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードにコピーしたり、miniSDメモリーカードに保存されているデータをFOMA端末にコピーできます。また、miniSDメモリーカードに保存されている画像や動画のデータなどをFOMA端末で再生することもできます。
- miniSDメモリーカード装着時には「SD」が表示されます。
- miniSDメモリーカード内のデータを操作したり、データをコピーするときなどは、着信ランプが緑色で点滅します（機能によっては点滅しない場合があります）。
- 対応miniSDメモリーカードの最新情報は下記のサイトをご覧ください。
  NEC「ワイワイもばいる」：
  http://www.n-keitai.com/

取扱い上のご注意

※ フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。→P.379

- miniSDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- miniSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のカードスロットに差し込んで使います。

● 取り付けかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付けてください。

1 miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 miniSDメモリーカードスロットにminiSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

miniSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。

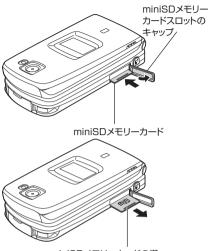
3 miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

miniSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、ディスプレイに「SD」が表示されます。

おしらせ

- miniSDメモリーカードに不具合のある場合や、正常にフォーマットできなかった場合には「SD」が表示されます。

●取り外しかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り外してください。

1 miniSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 miniSDメモリーカードを軽く押し込む

miniSDメモリーカードを押し込んで手を放すと、miniSDメモリーカードが少し出てきます。
このとき、miniSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

3 miniSDメモリーカードをゆっくりと引き抜いて取り外す

miniSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜いてください。

4 miniSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

おしらせ

- FOMA 端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。miniSDメモリーカードに損傷を与えたり、データがこわれることがあります。
- miniSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、miniSDメモリーカードが飛び出すことがありますので注意してください。
- miniSDメモリーカードを取り外した後は、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、miniSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。
- miniSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります）。
- miniSDメモリーカードの内容を選択、表示するときに時間がかかる場合があります。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータをコピーすると、以下のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も以下のように自動的に付与されます。

● パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを書き込む場合も、以下のようなフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。

miniSDメモリーカード

- DCIM ……FOMA端末の「マイピクチャ」で「ピクチャ」と表示されます。
  - *aaa*※1NECDT
    - NEC_*bbbb*※2.JPG ……静止画ファイル（JPEGファイル）
    - NEC_*bbbb*※2.GIF ……静止画ファイル（GIFファイル）

  ※1：「*aaa*」は100～999の3桁の半角数字になります。「NECDT」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。
  ※2：「*bbbb*」は0001～9999の4桁の半角数字になります。「NEC_」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。
- SD_VIDEO ……FOMA端末で「iモーション」と表示されます。動画やiモーション（音楽データ含む）が保存されているフォルダです。
  - PRL*ccc*※3
    - MOL*ccc*※3.3GP ……動画ファイル（3GPファイル）
    - MOL*ccc*※3.SDV ……動画ファイル（SDVファイル）
    - MOL*ccc*※3.MP4 ……動画ファイル（MP4ファイル）
    - MOL*ccc*※3.ASF ……動画ファイル（ASFファイル）

  ※3：「*ccc*」は、0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた、001～FFFの16進数の文字になります。
- SD_PIM ……電話帳、スケジュール、メールなどPIMデータが保存されているフォルダ
  - PIM*ddddd*※4.VCS ……スケジュール、To Doリストファイル（vCalendarファイル）
  - PIM*ddddd*※4.VCF ……電話帳ファイル（VCFファイル）
  - PIM*ddddd*※4.VMG ……メールファイル（vMessageファイル）
  - PIM*ddddd*※4.VNT ……テキストメモファイル（vNoteファイル）
  - PIM*ddddd*※4.VBM ……ブックマークファイル（vBookmarkファイル）

  ※4：「*ddddd*」は、00001～65535の5桁の半角数字になります。
- MISC ……プリント設定のデータが保存されているフォルダ
  - AUTPRINT.MRK ……自動プリントファイル（DPOFファイル）
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - STILL ……FOMA端末の「マイピクチャ」で「イメージボックス」と表示されます。
      - SUD*eee*※5
        - STIL*ffff*※6 ……アニメーションファイル（GIF形式）
      - STIL*ffff*※6 ……アニメーションファイル（GIF形式）
    - RINGER ……メロディファイルが保存されているフォルダ
      - RUD*ggg*※5
        - RING*hhhh*※6*iii*※7 ……メロディファイル（SMF、MFiファイル）
      - RING*hhhh*※6*iii*※7 ……メロディファイル（SMF、MFiファイル）
    - TORUCA ……トルカが保存されているフォルダ
      - TRC*jjj*※5
        - TORUC*kkk*※5.TRC ……トルカファイル
      - TORUC*kkk*※5.TRC ……トルカファイル
    - TABLE ……miniSDメモリーカードの情報ファイルが保存されているフォルダ
    - DOCUMENT ……FOMA端末で「ドキュメント」と表示されます。
      - PUD*lll*※5
        - PDFDC*mmm*※5.PDF ……ドキュメントファイル（PDFデータ）
        - PDFDC*mmm*※5.$DF ……ドキュメントファイル（PDFデータ）
        - PDFDC*mmm*※5.DDF ……ドキュメント定義ファイル（DDFファイル）※8
  - NEC
    - MUSIC
      - PLAYLIST ……プレイリスト（m3uファイル）が保存されているフォルダ
      - DATA ……音楽ファイル（Mobile MP4、MP4ファイル）が保存されているフォルダ
    - SAVEDIR ……静止画、および動画の保存先設定保持ファイルが保存されているフォルダ
      - SDVIDEO.DAT ……動画用の保存先設定保持ファイル
      - DCIM.DAT ……静止画用の保存先設定保持ファイル

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

※5：「eee」「ggg」「jjj」「kkk」「lll」「mmm」は、001～999の3桁の半角数字になります。
※6：「ffff」「hhhh」は、0001～9999の4桁の半角数字になります。
※7：「iii」は、ファイル拡張子です。MLDまたはMIDとなります。
※8：パソコンなどで表示した場合のみ表示されます。

おしらせ

- SD_PIMフォルダは、電話帳などのPIMデータをコピーしないと表示されません。
- SD_PIM フォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。
- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンなどで編集したファイルをminiSDメモリーカードに保存するとき、P.374のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、FOMA N902iでは正しく表示、再生できない場合があります。
- miniSDメモリーカードのフォーマット等を行い、SDVIDEO.DATファイルまたはDCIM.DATファイルが削除された場合、メモリーカード内の保存先フォルダの設定は解除されます。その際は「画像保存先選択」（P.181）または「動画保存先選択」（P.189）で設定し直してください。FOMA端末の電源を切ったり、miniSDメモリーカードの取り外し／取り付けでは解除されません。
- miniSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。FOMA N902iでminiSDメモリーカードが読めなくなる場合があります。
- FOMA N902iに対応していないデータをminiSDメモリーカードに保存しても、FOMA N902iでは認識できません。
- ほかの機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
- miniSDメモリーカードリーダライタおよびPCカードアダプタについては、miniSDメモリーカードの動作を各メーカーにご確認のうえお買い求めください。
- FOMA N902i以外の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

● miniSDメモリーカードに保存できる件数について

miniSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるminiSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件
STILL	999件	9,999件
DOCUMENT	999件	999件
MUSIC	追加不可	1,000件
RINGER	999件	9,999件
TORUCA	999件	999件

miniSDメモリーカードのメモリ容量とメモリ空き容量は「分類一覧表示画面の機能メニュー」（P.377）で確認できますが、表示されるメモリ容量は、ご使用のminiSDメモリーカードに記載されているメモリ容量より少なくなります。

- miniSDメモリーカードの空きデータ容量が不足している場合、電話帳、自局番号、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークをコピーしようとすると、容量不足でコピーできないというメッセージが表示されます。また、静止画や画像、動画やiモーションのときは機能メニューの「miniSDへコピー」がグレー表示となります。このようなときは、ほかのminiSDメモリーカードに交換するか、不要なデータを削除してからコピーし直してください。
- 音楽データをFOMA端末からminiSDメモリーカード（MUSICフォルダ）にコピーすることはできません。
- コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは以下のようになります。
  - SD-PIM以外にコピーする場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。ただし、カメラで静止画を撮影後、直接miniSDメモリーカードに保存する場合は、自動的にフォルダ作成されません。
  - SD-PIMにコピーする場合、件数がいっぱいというメッセージが表示され、miniSDメモリーカードにコピーできません。
- miniSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画や画像、動画やiモーションのフォルダ追加やタイトル編集、コピー／移動などはできません。不要なデータを削除してから操作を行ってください。

FOMA端末とminiSDメモリーカード間でコピーできるデータについて

FOMA端末とminiSDメモリーカード間でコピーできるデータは、以下のとおりです。

データの種類	詳細
静止画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のJPEGおよびGIF形式のデータ
動画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるMP4形式のデータ

次ページにつづく

データの種類	詳細
電話帳	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ、住所、誕生日、静止画、メモリダイヤル番号※1、シークレット属性※2、グループ番号※3、グループ名※3、プッシュトーク電話番号※3、プッシュトークグループ番号※3、プッシュトークグループ名※3
スケジュール	開始日時、終了日時、要約、内容、シークレット属性※2、分類※4、アラーム設定、繰り返し設定
To Doリスト	内容、分類※5、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
テキストメモ	作成日時、最終更新日時、分類、内容
受信メール※6、送信メール※6、保存メール、SMS	未読／既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付
ブックマーク※6※7	URL、タイトル
ドキュメント	INBOXフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のPDF形式のデータ
メロディ	INBOXフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるMFi／SMF形式のメロディ
トルカ	トルカフォルダ、miniSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のトルカ

※1：「追加1件コピー」の場合はコピーできません。
※2：シークレット属性は、シークレットデータとして登録されているかどうかを示すものです。
※3：「全コピー」の場合にコピーできます。
※4：分類は、スケジュールの内容で設定したアイコン情報です。
※5：分類は、To Doリストの用件で設定したカテゴリーです。
※6：受信メール、送信メール、ブックマークの全コピーでは、フォルダ（フォルダ名）の転送が可能です。
※7：miniSDメモリーカードからFOMA端末へコピーした場合、iモードのブックマークは、「iモードメニュー」の「Bookmark」フォルダに登録されます。フルブラウザのブックマークは、「Internet（フルブラウザ）」の「Bookmark」フォルダに登録されます。

おしらせ

- ユーザアイコンを設定したスケジュールをコピーした場合、「分類」の情報は転送されません。
- FOMA端末外への出力が禁止されたデータはコピーできません。ただし本FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータはコピーできます。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピーする

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.372
FOMA端末に登録されているデータ1件、複数件または全件をminiSDメモリーカードにコピーします。

FOMA端末に登録されているデータをminiSDメモリーカードにコピーする方法には「1件コピー」と「選択コピー」、「全コピー」があります。
- 静止画および動画のコピーについては P.353、361を参照してください。

■ FOMA端末のデータを1件コピーする場合

コピーしたいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「1件コピー」または「miniSDへコピー」を選択します。

<例：電話帳のデータを1件コピーするとき>

「電話帳一覧画面の機能メニュー」の「1件コピー」→P.117

■ FOMA端末のデータを複数件コピーする場合

コピーしたいデータの一覧画面で機能メニューの「miniSDへコピー」から「選択コピー」を選択します。

■ FOMA 端末のフォルダ内の全データをコピーする場合（受信メール、送信メール、ブックマークのみ）

コピーしたいデータの一覧画面で機能メニューの「miniSDへコピー」から「全コピー」を選択します。

■ FOMA端末のデータを全コピーする場合

分類一覧表示画面の機能メニューから「本体からコピー」を選択します。→P.377
または、以下の方法でも全コピーできます。
- 電話帳、スケジュール、To Doリスト、保存メール、テキストメモ
  コピーしたいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューの「miniSDへコピー」から「全コピー」を選択します。
- 受信メール、送信メール、ブックマーク
  フォルダの一覧画面で機能メニューから「miniSDへ全コピー」を選択します。

おしらせ

- iアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のiアプリ起動に関する情報は削除されます。
- シークレットデータ（電話帳、スケジュール）を1件コピーした場合、シークレットは解除されて保存されます。
- データをminiSDメモリーカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
- 電話帳データを全コピーした場合、「自局番号」の内容もコピーされます。また、プッシュトーク電話帳データも全コピーされます。
- 電話帳データを1件コピーした場合、プッシュトーク電話帳データはコピーされません。
- 電話帳詳細画面、メール詳細画面からは全コピーはできません。
- メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。
- 電話帳など SD-PIM のデータをコピー中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 「全データ表示」を行わずに「自局番号」のデータを1件コピーしたときは、名前、フリガナ、自局番号、1件目に登録されているメールアドレスのみが電話帳として保存されます。「全データ表示」を行って1件コピーしたときは、登録されているすべてのデータが電話帳として保存されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

●静止画や動画をminiSDメモリーカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、miniSDメモリーカードへのコピーは中断されます。
●サイトやiアプリなどから取得したトルカのデータサイズによっては、コピーできない場合があります。
●保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。

〈SD-PIM〉

miniSDメモリーカードのデータをプレビューする

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
→P.372
miniSDメモリーカードに保存されているデータを表示して、確認できます。
- SD-PIMの起動中やデータの詳細表示中は、ほかの機能を起動することはできません。
- 画像の表示および動画の再生について
→P.345、356

1

「分類一覧表示画面」が表示されます。

分類一覧表示画面
機能メニュー➡P.377

2 項目を選択

「ファイル一覧画面」が表示されます。

ファイル一覧画面
機能メニュー➡P.378

3 ファイルを選択

「データ一覧画面」が表示されます。

データ一覧画面
機能メニュー➡P.378

4 データを選択

「データ詳細画面」が表示されます。

データ詳細画面
機能メニュー➡P.378

おしらせ
●デコメールは、デコレーションが設定されていない状態で表示されます。
●サイト画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示され、フルブラウザ画面で登録したBookmarkには「」のアイコンが表示されます。

分類一覧表示画面の機能メニュー

miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。
本体からコピー※	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 反転表示した項目のデータをminiSDメモリーカードに全コピーします。
miniSDフォーマット	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 miniSDメモリーカードをフォーマットします。
miniSDチェックディスク	miniSDメモリーカードをチェックします。 チェックすることによってminiSDメモリーカードの不具合を修復できる場合もあります。

※：項目から「スケジュール」を選択した場合は、「スケジュール／To Doリスト／全て」の中から選択できます。「Bookmark」を選択した場合は、「iモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の中から選択できます。

おしらせ
<miniSDチェックディスク>
●miniSDチェックディスク中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
●フォーマットされていないminiSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはminiSDチェックディスクできません。
●miniSDチェックディスク中は着信ランプが緑色で点滅します。
●miniSDチェックディスク中に◯［中止］やを押したり、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合は、miniSDチェックディスクは中止され、「」が表示されます。
●miniSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
●miniSDメモリーカード内のデータ量によっては、miniSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
●miniSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。

ファイル一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを編集 反転表示したファイルのタイトルを編集します。 全角文字で15文字、半角文字で31文字まで入力できます。
追加コピー	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 反転表示したファイルに登録されているデータをFOMA端末に追加コピーします。
上書コピー	■電話帳の場合 ▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」▶「YES」または「NO」 ■スケジュール、受信BOX、送信BOX、保存BOX、テキストメモ、Bookmarkの場合 ▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」 反転表示したファイルに登録されているデータをFOMA端末に上書きします。
本体からコピー※	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 その項目のデータをFOMA端末から全件コピーします。
削除	
・1件削除	反転表示したファイルを削除します。
・選択削除	「データを複数選択する」→P.381
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 その項目に保存されているすべてのファイルを削除します。
miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

※：項目から「スケジュール」を選択した場合は、「スケジュール／To Doリスト／全て」の中から選択できます。「Bookmark」を選択した場合は、「iモードブラウザ／フルブラウザ／全て」の中から選択できます。

おしらせ

＜1件削除＞＜選択削除＞＜全削除＞
- パソコンなどで読み取り専用に設定されている場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

データ一覧画面の機能メニュー

追加1件コピー	反転表示したデータをFOMA端末に追加コピーします。
追加全コピー	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 ファイル内のすべてのデータをFOMA端末に追加コピーします。
上書全コピー	■電話帳の場合 ▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」▶「YES」または「NO」 ■スケジュール、受信BOX、送信BOX、保存BOX、テキストメモ、Bookmarkの場合 ▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶「YES」 ファイル内のすべてのデータをFOMA端末にコピーします。
miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

データ詳細画面の機能メニュー

追加1件コピー	表示しているデータをFOMA端末に追加コピーします。
miniSD情報表示	miniSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.372
miniSDメモリーカードに保存されているデータを、FOMA端末に追加コピーしたり、上書きコピーすることができます。
追加コピーには、1件のファイルのデータすべてを追加する「追加コピー」、選択した1件のデータを追加する「追加1件コピー」、すべてのデータを追加する「追加全コピー」があります。
上書きコピーには1件のファイルのデータすべてを上書きする「上書コピー」とすべてのデータを上書きする「上書全コピー」があります。

■ 1件のファイルに保存されているデータを追加する場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「追加コピー」→P.378

■ 選択した1件のデータを追加する場合
「データ一覧画面の機能メニュー」の「追加1件コピー」→P.378
「データ詳細画面の機能メニュー」の「追加1件コピー」→P.378

■ すべてのデータを追加する場合
「データ一覧画面の機能メニュー」の「追加全コピー」→P.378

■ 1件のファイルのデータすべてを上書きする場合
「ファイル一覧画面の機能メニュー」の「上書コピー」→P.378
「データ一覧画面の機能メニュー」の「上書全コピー」→P.378

おしらせ

- 上書コピー、上書全コピーは、コピーする項目のFOMA端末のデータが削除されてコピーしたデータに入れ替わります。上書きする前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
- 取り込み中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。取り込み済みのデータは登録されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

- 電話帳データを追加全コピー、上書全コピーした場合、プッシュトーク電話帳データも全コピーされます。ただし、追加全コピーの場合は、グループリストの登録はされません。
- 電話帳データを追加1件コピーした場合、プッシュトーク電話帳データはコピーされません。
- 以下の場合、電話帳のグループ00に登録されます。
  ・追加全コピー、追加コピーする場合に、miniSDメモリーカードに登録されているグループ番号とグループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号、グループ名と異なるとき
- 送信BOXがいっぱいのとき、送信メールを1件コピーすると、保護されていない最も古いメールに上書きされます。
- 受信BOXがいっぱいのとき、受信メールを1件コピーすると、保護されていない最も古い既読メールに上書きされます。
- 大容量画像や動画が添付されている受信メールまたは送信メールをコピーする場合、メールに添付されている大容量画像および動画はデータBOXに保存されメールと関連付けされます。データBOXに登録できる空き容量がない場合は、添付ファイルが削除されて登録されます。
- 追加コピー、追加全コピーをした場合、以下のデータはコピーされません。
  ・同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュール
  ・同じURLのブックマーク
- 「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」を設定中は、電話帳のデータをコピーすることはできません。
- miniSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- 電話帳などSD-PIMのデータをコピー中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 静止画や動画のコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、コピーは中断されます。

miniSDメモリーカードの管理について

miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.372

miniSDメモリーカードをフォーマットする

※ フォーマットは必ず本FOMA端末で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

miniSDメモリーカードをフォーマットして、FOMA端末で使用できるようにします。

- miniSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。

1 分類一覧表示画面の機能メニュー（P.377）▶「miniSDフォーマット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

- フォーマット中にminiSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、miniSDメモリーカードの故障の原因になります。
- フォーマットを中止した miniSDメモリーカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。
- フォーマット中は着信ランプが緑色で点滅します。
- フォーマット中に○［中止］や📞を押したり、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合はフォーマットが中止され、「SD」が表示されます。そのときは、もう一度フォーマットしてください。

miniSDリーダライタとして使う

miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、miniSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。→P.372

- FOMA端末をminiSDリーダライタとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル（別売）
パソコン	FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）

1 「USBモード設定画面」（P.380）▶「miniSDモード」

「miniSDモード」に設定すると、「SD」が表示されます。

2 FOMA端末とパソコンを、FOMA USB接続ケーブルで接続する

miniSDモード中にminiSDメモリーカードが挿入され、FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続されている場合は、「SD」が表示されます。
パソコンのマイコンピュータに、miniSDメモリーカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。FOMA 端末とminiSDメモリーカードの間でデータの送受信中には、パソコンにリーダライタとして認識されません。
パソコンからFOMA USB接続ケーブル（別売）を取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。
取り付け方法、取り外し方法→P.448

おしらせ

- パソコンとminiSDメモリーカード間でminiSDメモリーカード内のデータの読み込み／書き込み中に本機能を設定することはできません（「設定リセット」によるリセットもされません）。FOMA端末とminiSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中にパソコンからminiSDメモリーカードにアクセスすることはできません。
- パソコンとminiSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中にFOMA端末からminiSDメモリーカードにアクセスすることはできません。

■お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中の着信ランプが点滅している状態では、FOMA USB接続ケーブル（別売）を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

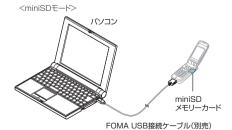
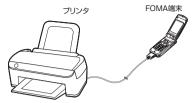
USBモードを設定する〈USBモード設定〉

お買い上げ時 通信モード

パソコンやプリンタなどとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。

- USBモードには、「通信モード」、「miniSDモード」、「プリントモード」があります。

<通信モード>

<miniSDモード>

<プリントモード>

1 MENU▶[各種設定]▶「外部接続」▶「USBモード設定」

「USBモード設定画面」が表示されます。

USBモード設定画面

2 以下の項目から選択

通信モード	外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。 ・「[アイコン]」: FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続していない場合／FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続しているが、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができていない場合 ・「[アイコン]」: FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合
miniSDモード	外部接続端子をminiSD メモリーカードのリーダライタとして使います。 FOMA端末とminiSDメモリーカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません。 FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続していない場合は「[アイコン]」が表示され、接続した場合は「[アイコン]」が表示されます。
プリントモード	外部出力端子をPictBridge印刷用に使います。 ・「[アイコン]」: FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続していない場合／FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続しているが、プリントの準備ができていない場合 ・「[アイコン]」: FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続され、プリントの準備ができている場合

おしらせ

- 電池パックの取り外し／取り付けを行うと、通信モードになります。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

フォルダとデータを操作する

マイピクチャ、iモーション、メロディ、マイドキュメントのフォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。また、マイピクチャとiモーション、メロディ、マイドキュメントのminiSDフォルダ一覧画面にフォルダを追加することもできます。

・マイピクチャのフォルダ一覧画面→P.345
・iモーションのフォルダ一覧画面→P.357
・メロディのフォルダ一覧画面→P.369
・マイドキュメントのフォルダ一覧画面→P.388
・miniSDフォルダ一覧画面→P.346

フォルダを作成／編集／削除する

フォルダ一覧画面の機能メニュー

● iモーション、メロディのプログラムフォルダを反転表示しているときの機能メニューについて→P.361、371

フォルダ追加	▶フォルダ名を入力 フォルダを追加します。 フォルダ名は全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を編集 追加したフォルダのフォルダ名を編集します。 全角文字で10文字、半角文字で20文字まで入力できます。
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 データが保存されているフォルダも削除できます。
全削除※	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 お客様が保存したすべてのデータを削除します。ただし、シークレットフォルダに保管したデータは削除されません。

※：マイピクチャでは「画像全削除」、iモーションでは「動画全削除」、メロディでは「メロディ全削除」が表示されます。

おしらせ

<フォルダ名編集>
● ユーザ作成フォルダのみフォルダ名編集ができます。

<フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除>
● ユーザ作成フォルダのみフォルダ削除ができます。
● 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」、「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
 ・設定されていた画面、着信音、アラームはお買い上げのときの設定に戻ります。
 ・自作アニメ、プログラムは解除されます。
 ・スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面になります。
● メールに添付した画像を「フォルダ削除」または「画像全削除」で削除した場合、メールに添付されている画像は削除されません。ただし、大容量画像の場合、添付されている画像は削除されます。
● メールに添付した動画を「フォルダ削除」で削除した場合、メールに添付されている動画も削除されます。

miniSDフォルダ一覧画面の機能メニュー

トルカの場合は、「トルカフォルダ一覧画面の機能メニュー」（P.333）をご覧ください。

フォルダタイトル編集※1	▶タイトルを編集 フォルダのタイトルを編集します。 全角文字で31文字、半角文字で63文字まで入力できます。※2
フォルダ作成※1	▶タイトルを入力 フォルダを作成します。 フォルダタイトルは全角文字で31文字、半角文字で63文字まで入力できます。※2
フォルダ削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 反転表示したフォルダを削除します。
DPOF印刷※1※3	「保存した画像を印刷する」→P.394

※1：「イメージボックス」のときには表示されません。
※2：「メロディ」のときには全角文字で10文字、半角文字で20文字までの入力となります。
※3：「iモーション」、「メロディ」、「マイドキュメント」のときには表示されません。

おしらせ

<フォルダ作成>
● 「イメージボックス」内のフォルダは、FOMA端末では作成できません。パソコンなどで作成可能です。

<フォルダ削除>
● 以下のフォルダを削除しようとすると、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。
 ・パソコンなどで読み取り専用に設定されているフォルダ
 ・ファイルが含まれているフォルダ

データを複数選択する

複数選択した画像または動画のデータをまとめて削除したり、その項目内のほかのフォルダに移動することができます。

1 画像一覧画面（ピクチャ一覧）などの機能メニュー

■ 削除する場合
▶「削除」▶「選択削除」

■ 移動する場合
▶「フォルダ移動」▶「選択移動」▶移動先のフォルダを選択

■ コピーする場合
▶「コピー」（または「本体へコピー」など）▶「選択コピー」▶コピー先のフォルダを選択
複数選択画面が表示されます。

次ページにつづく

2 で画像を選択▶●▶ ［完了］▶「YES」

タイトル名一覧のときは、で□（チェックボックス）を選択し、●を押します。

複数選択画面

機能メニュー➡P.382

複数選択画面の機能メニュー

全選択	すべての画像や動画が選択されます。
全選択解除	すべての複数選択を解除します。
タイトル名一覧※	ピクチャ一覧／タイトル名一覧を切り替えます。

※：タイトル名一覧のときは「ピクチャ一覧」になります。お買い上げ時はピクチャ一覧です。ピクチャ一覧は「マイピクチャ」の場合にのみ表示されます。また、iモーション、miniSDメモリーカードの「SD-PIM」での複数選択画面では、表示されません。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画を保存しようとした場合や、サイトなどから画像やメロディ、iモーション、キャラ電を保存しようとした場合に、登録するためのメモリ容量が不足しているときや保存件数がいっぱいのときは、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1 確認メッセージで、「YES」

■ 保存しない場合
▶「NO」

2 フォルダを選択▶削除するデータを複数選択

複数選択のしかた→P.40、381

3 ［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで［完了］は表示されません。

おしらせ

● 画面などに設定されている画像、動画、または着信音に設定されているメロディを削除しようとしたときは、設定中の画像、動画またはメロディを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択して削除すると、設定されていた画面や着信音などはお買い上げのときの設定になります。

〈電話帳画像転送〉

電話帳の画像を転送しないように設定する

お買い上げ時 する

赤外線通信機能やminiSDメモリーカードへのコピー、データの送受信（OBEX）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

1 MENU▶生活ツール▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■ 送信する場合
▶「する」

〈赤外線通信／OBEX〉

赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送について

赤外線通信またはケーブル接続で、パソコンやほかのFOMA端末との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送できます。

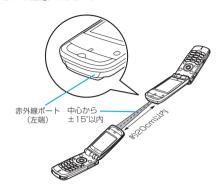
● 赤外線通信機能を搭載したほかのFOMA端末やパソコンなどと赤外線通信して、データを1件ずつまたはまとめて転送できます。赤外線通信中は、ディスプレイに「Ir」が表示されます。
● パソコンと「FOMA USB接続ケーブル（別売）」を使ってケーブル接続し、データ通信用のプロトコルであるOBEXを利用してパソコンからのデータを1件ずつ受信したり、パソコンとFOMA端末の間でデータをまとめて転送できます。ケーブル接続中は、ディスプレイに「」が表示されます。
● 転送できるデータは次のとおりです。

・受信メール
・送信メール
・保存メール
・iモードのブックマーク
・フルブラウザのブックマーク
・電話帳
・ドキュメント（PDFデータ）※
・トルカ※
・自局番号の個人データ
・To Doリスト
・テキストメモ
・スケジュール
・静止画※
・動画（iモーション）※
・メロディ※

※：メロディ、静止画、動画（iモーション）、ドキュメント（PDFデータ）、トルカは赤外線通信で全件送信できません。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

赤外線通信でデータ転送するときは

赤外線通信でデータ転送するときには、次のことにご注意ください。

- 受信側のFOMA端末を先に受信状態にして、送信側FOMA端末と受信側FOMA端末の赤外線ポートを20cm以内に近づけます。
- 机などの安定した台の上に、赤外線ポートが平行に向き合うように置いてください。
- 通信中はFOMA端末を動かさないでください。
- 通信中はFOMA端末の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
- データ転送できなかったときは、FOMA端末の位置を調節して再度通信を行ってください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。

ケーブル接続でデータ転送するときは

ケーブル接続でデータ転送するときには、次のことにご注意ください。

- データ転送には「FOMA N902i データリンクソフト」などの通信ソフトが必要です。
「データ転送ソフトのご紹介」→P.513
- データ転送の前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。
→P.380

■お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。また、N902i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P.449
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全件送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全件送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

データ転送するときのご注意

データ転送を行う前に

- ほかの機能が動作中は、データ転送できません。ほかの機能をすべて終了させてから操作を行ってください。また、データ転送中は、ほかの機能を利用できません。
- 音声通話中やテレビ電話中、プッシュトーク通信中、iモード中、パケット通信中、64Kデータ通信中は、データ転送できません。→P.511
- 「PIMロック」中、「オールロック」中、「セルフモード」中は、データ転送できません。また、「ダイヤル発信制限」中は、電話帳のデータを送受信できません。
- 「指定発信制限」が設定されている場合、電話帳のデータは受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、「自局番号」のデータを送信できます。
- 送信する相手のFOMA端末の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- FOMA端末の赤外線通信およびケーブル接続によるデータ転送機能はIrMC1.1に準拠しています。IrMC1.1に準拠していない端末やパソコンとデータ転送できない場合があります。また、相手の機種やアプリケーションによっては、IrMC1.1に準拠していても転送できないデータがあります。
- 静止画およびメロディ、動画やiモーション、ドキュメント（PDFデータ）、プッシュトーク電話帳、トルカをケーブル接続でデータ転送する場合は、IrMC規格外となるため、FOMA N902iに対応したデータ転送用のソフトが必要です。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）が接続されている場合、赤外線通信ができない場合があります。

データ転送中の動作について

- データ転送中は圏外となり、音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、iモード、iモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。ただし、データ転送を開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データ転送は中止されます。また、データ転送の終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 赤外線通信中、次のようなときは通信が中断されて、続けるかどうかのメッセージが表示されます。
  - ・受信側で約30秒以内にデータの受信がないとき
  - ・送信側で受信側の端末を検出できないとき

  「YES」を選択すると、もう一度通信をやり直すことができます。通信をやめるときは、「NO」を選択します。
  このとき、約30秒以内に操作しないと、自動的に赤外線通信を終了します。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。電話帳を転送するときは、登録されている静止画も転送されるため、転送に時間がかかることがあります。送信の時間を短縮するために、「電話帳画像転送」を「しない」に設定し、電話帳の静止画を送信しないようにできます。

データ転送で送受信されるデータについて

- 本FOMA端末で受信したデータは、次のように登録されます。

データ	保存場所／保存順	
静止画、画像	INBOXフォルダの1番目に登録されます。	
動画・iモーション		
メロディ		
ドキュメント（PDFデータ）		
トルカ	トルカフォルダの1番目に登録されます。	
電話帳※1	電話帳のメモリ番号「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「699」がすべて登録されているときは、「000」～「009」（「ツータッチダイヤル」（P.125））の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。	
自局番号のデータ	電話帳の「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。	
スケジュール	受信したスケジュールの開始日時に従って登録されます。	
To Doリスト	To Doリストの1番目に登録されます。	
受信メール	（1件受信）	受信BOXフォルダに、受信メールの日付の順に登録されます。
	（全件受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダやごみ箱フォルダに格納されます。
送信メール	（1件受信）	送信BOXフォルダに、送信メールの日付の順に登録されます。
	（全件受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダに格納されます。
保存メール	保存BOXに、保存メールの日付の順に登録されます。	
テキストメモ	<未登録>の一番先頭の番号に登録されます。	
iモードのブックマーク	（1件受信）	iモードメニューのBookmarkフォルダの1番目に登録されます。
	（全件受信）	iモードメニューのBookmarkフォルダの送信元と同じ順番で登録されます。※2
フルブラウザのブックマーク	（1件受信）	Internet（フルブラウザ）のBookmarkフォルダの1番目に登録されます。
	（全件受信）	Internet（フルブラウザ）のBookmarkフォルダに送信元と同じ順番で登録されます。※2

※1：赤外線通信、ケーブル接続によるデータ転送では、プッシュトーク電話帳の順番が転送できません。受信した順番にプッシュトーク電話帳を登録するため、メモリ番号順に表示順番が変更されます。
※2：送信元の相手の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。

- ・静止画を全件受信すると、電話帳に登録された静止画もすべて削除されます。
- ・電話帳を全件受信すると、受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」に登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、超えた静止画を削除して電話帳が登録され、静止画を登録できなかった電話帳があることを通知するメッセージが表示されます。
- ・静止画や動画、iモーション、ドキュメント（PDFデータ）のタイトルは、全角で最大9文字、半角で最大18文字を送受信できます。メロディのタイトルは、半角で最大50文字を送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されて登録されます。
- ・メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。

- 次のデータは、送受信できません。
  - ・FOMAカードの電話帳、SMS
  - ・シークレットフォルダ内のデータ
  - ・フレームのデータ（受信のみ可能）やFlash画像
  - ・FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画やiモーション、ドキュメント（PDFデータ）
- 次のデータは、受信できません。
  - ・JPEG、GIF形式以外の静止画
  - ・MP4、3GP形式以外の動画
  - ・本FOMA端末で扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、iモーション、メロディ、ドキュメント（PDFデータ）

● 次の場合は、データを登録できないことを通知するメッセージが表示され、登録できません。
  ・同じURLのブックマークを受信したとき
  ・同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュールのデータを受信したとき
  ・時計設定が行われていないときに、スケジュールまたはTo Doリストのデータを受信したとき
  ・すでにデータの最大保存件数まで保存されていたり、メモリがいっぱいの状態で、同じ種類のデータを受信したとき
● 電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
  ・転送される電話帳のデータは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモ、誕生日、静止画の各データおよびアイコン情報です。電話帳に複数の電話番号およびメールアドレスが登録されているときは、すべてのデータが転送されます。
  ・電話帳のシークレットコードは転送できません。
  ・シークレットデータとして登録された電話帳を赤外線通信で1件送信すると、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」が解除されて転送されます。
  ・全件送信をすると、電話帳はメモリ番号順に送信されます。
  ・電話帳を全件送信すると、「自局番号」のデータが一緒に送信されます。受信側では、「自局番号」に登録されている個人データ（電話番号を除く）が上書きされます。
  ・電話帳に絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。
  ・1件ずつ転送する場合、電話帳のみ転送されます。全件送受信する場合、プッシュトーク電話帳が登録されているときは電話帳とプッシュトーク電話帳が転送されます。
● メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
  ・大容量画像取得情報やiアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、添付されているのが内蔵カメラで撮影した静止画や動画のときや、ケーブル接続で受信したデータ、miniSDメモリーカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
  ・受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量がないときは、ゴミ箱フォルダ内のメールを削除して受信BOXフォルダに登録されます。受信したメールが空き容量より大きいときは、保護されていない既読の受信メールの最も古いものに上書きされます。
  ・送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
  ・メールの全件受信の場合は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
  ・メール連動型iアプリの受信メールフォルダ、送信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダまたは送信BOXフォルダに登録されます。
  ・メールの本文などに絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されないことがあります。
  ・データBOXに登録できる空き容量がない場合は、添付ファイルが削除されて登録されます。
  ・iモードメール本文に、貼り付けデータがある場合は貼り付けデータは引用できません。
  ・トルカ（詳細）は、詳細情報を持たないトルカとして送信されます。受信側では、再度詳細情報を取得することができます。ただし、受信したトルカの内容によっては詳細情報を取得できない場合があります。
  ・サイトやiアプリなどから取得したトルカのデータサイズによっては、データ転送できない場合があります。

データを1件ずつ転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータを1件ずつ転送します。

● ケーブル接続でFOMA端末からパソコンへ1件ずつデータを送信することはできません。
● 通信状況を表すバー表示は送信した容量を目安としてお知らせします。ドキュメント（PDFデータ）を転送すると、データが正しく転送されていてもバー表示が2回表示されることがあります。

赤外線通信でデータを1件ずつ送信する〈赤外線送信〉

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。

● 1回の通信で送信できるのは1件のみです。

<例：電話帳のデータを1件送信するとき>

1 電話帳詳細画面の機能メニュー（P.118）▶「赤外線送信」

電話帳の検索について→P.115

2 赤外線ポートを相手側に向ける ▶「YES」

相手の端末を受信状態にしておきます。
データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ ◯［中止］

赤外線通信でデータを1件ずつ受信する〈赤外線受信〉 MENU 7 9

1 MENU ▶ 生活ツール ▶「赤外線受信」

「赤外線受信画面」が表示されます。

赤外線受信画面

2「受信」▶赤外線ポートを相手側に向ける▶相手のFOMA端末からデータを受信する

データの受信がはじまります。
通信相手によっては、通信状況を示すバーが表示されない場合があります。

3「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

おしらせ
- 相手の端末から全送信された場合は、赤外線全受信できることがあります。その場合は、赤外線全受信の操作となります。
- 赤外線受信画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択して、赤外線受信機能をデスクトップアイコンとして登録することができます。

ケーブル接続でデータを1件ずつ受信する〈1件書き込み〉

- データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンでデータ通信用のソフトを使って、パソコンから1件送信するための操作をする

2 パソコンからデータを送信する

データのサイズによっては通信状況を表すバー表示の進み具合が遅くなることがあります。

3「YES」

受信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。FOMA端末で受信が終わり、約30 秒以内に操作をしないと、受信したデータを破棄して画面を終了します。

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

データをまとめて転送する

パソコンやほかのFOMA端末との間でデータをまとめて転送します。

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやFlash画像、シークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送するとき、送信側と受信側を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードについて→P.386
- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

認証パスワードについて

- 全送信、全受信では、送信側と受信側のFOMA端末を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、全送信、全受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

赤外線通信でデータをまとめて送信する〈赤外線全送信〉

全件送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを全送信するとき>

1 電話帳一覧画面の機能メニュー（P.117）▶「赤外線全送信」

電話帳の検索について→P.115

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

認証パスワードについて→P.386

3 赤外線ポートを相手側に向ける ▶「YES」

相手の端末を全受信状態にしておきます。
データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ ◯［中止］

赤外線通信でデータをまとめて受信する〈赤外線全受信〉

1「赤外線受信画面」(P.386)▶「全受信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

認証パスワードについて→P.386

3 赤外線ポートを相手側に向ける▶「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

4 相手のFOMA端末からデータを全受信

データの全受信がはじまります。

■ 受信中に中止する場合
▶○［中止］

5 上書き確認画面が表示されたら「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

おしらせ

- 赤外線受信画面の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択して、赤外線受信機能をデスクトップアイコンとして登録することができます。

ケーブル接続でデータをまとめて送受信する〈全件書き込み／全件読み出し〉

- データ転送の操作方法は、データ通信用のソフトによって異なります。詳しくは、データ通信用のソフトの取扱説明書をご覧ください。

<例：FOMA端末からパソコンへデータを全件送信する場合>

1 パソコンでデータ通信用のソフトを使って、FOMA端末から全件送信するための操作をする

パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
認証パスワードは4桁の数字を入力してください。

2 FOMA端末で端末暗証番号を入力▶FOMA端末で認証パスワードを入力

データが転送されます。送信を完了すると、通信の完了を通知するメッセージが表示されます。
認証パスワードについて→P.386

赤外線リモコン機能を利用する

- ご使用になりたい製品に該当するソフトをダウンロードしてください。ただし、該当するソフトでもその製品には対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。
- FOMA端末で利用できるリモコンのソフトは、iMenuの中のサイトからダウンロードすることができます。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

- FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面でおおよそ4mですが、周囲の明るさによって変わります。

Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®などを知ることができます。
気になった番組があったらすぐにブックマークができて、携帯電話のスケジュール機能に番組の開始日時を登録して番組開始時にアラームを鳴らすことができます。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。(一部対応していない機種もあります)

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『iモード操作ガイド』をご覧ください。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

〈マイドキュメント〉
ドキュメント（PDFデータ）を表示する

サイトからダウンロード／保存したドキュメント（PDFデータ）をPDF対応ビューアで表示します。また、miniSDメモリーカードに保存されているドキュメントを表示することもできます。

- ダウンロードしたドキュメント、miniSDメモリーカードに保存されているドキュメントは、データBOXのマイドキュメントから表示します。
- サイトからのダウンロードについて→P.226

1 MENU▶データBOX▶「マイドキュメント」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.381

2 フォルダを選択

「ドキュメント一覧画面」が表示されます。

ドキュメント一覧画面

機能メニュー➡P.392

3 ドキュメントを選択

「ドキュメント画面」が表示されます。

ドキュメント画面

機能メニュー➡P.393

■ **パスワード入力画面が表示された場合**

ドキュメントに設定されているパスワードを入力してください。

■ **ダウンロードすることがあるというメッセージが表示された場合**

ページ単位で部分的に取得したドキュメントを開こうとしています。残りのページ（データ）を後から追加でダウンロードできます。
→P.226

■ **残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示された場合**

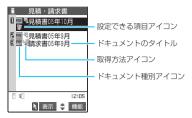
データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかったドキュメントを開こうとしています。残りのデータを追加でダウンロードする必要があります。
→P.226

おしらせ

- ドキュメントによっては、表示に時間がかかることがあります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。
- ページ単位で部分的に取得したドキュメントを表示中に、まだ取得していないページを表示しようとすると、データの取得（ダウンロード）が行われます。残りページを一括でダウンロードすることもできます。
→P.226
- パソコンなどからminiSDメモリーカードにドキュメントを保存する場合は、指定のフォルダ構成、フォルダ名、ファイル名で保存してください。→P.374
フォルダ構成やフォルダ名、ファイル名が異なると、FOMA端末で表示できません。
- PDFデータをiモードメールに添付して送信することはできません。
- パソコンなどから PDF データをメールで送信しても、本FOMA端末で受信することはできません。
- miniSD メモリーカード内のドキュメントを表示中は、着信ランプが点滅し続けます（表示中にFOMA端末を閉じても点滅します）。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

ドキュメント一覧の見かた

保存したドキュメントの状態がアイコンで表示されます。

■ ドキュメント種別アイコン

アイコン	説明
PDF、PDF※1	すべてのページが取得されているドキュメントです。 青色のアイコン（「PDF」、「PDF※1」）で表示されるドキュメントは、ファイルサイズが2Mバイトを超えるドキュメントです。FOMA端末本体に保存することはできません。
PDF※1	ページ単位で部分的に取得したドキュメントです。まだ取得されていないページは、後から追加でダウンロードできます。※2→P.226
PDF※3、PDF※1	データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかったドキュメントです。残りすべてのデータを追加でダウンロードすることで、ドキュメントを表示できるようになります※2（データによっては閲覧可能なドキュメントにならない場合があります）。→P.226

※1：アイコンに「 」がついて表示されるドキュメントはファイル制限が設定されているため、赤外線通信やケーブル接続でデータを転送したり、miniSDメモリーカードにコピーしたりできません。

※2：「PDF」、「PDF」、「PDF」のアイコン表示は、残りすべてのページ（データ）を追加ダウンロードして保存すると、「PDF」や「PDF」のアイコン表示になります。

※3：赤外線通信やケーブル接続によりデータ転送することはできません。

■ 取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールされているドキュメント
	サイトなどからダウンロードしたドキュメント
	miniSDメモリーカード、パソコンなどから取得したドキュメント

■ 設定できる項目アイコン

miniSDメモリーカードでは表示されません。

アイコン	説明
Ir	赤外線送信可能なドキュメント
SD	miniSDメモリーカードにコピー可能なドキュメント

おしらせ

- miniSDメモリーカードのフォルダを表示しているときなどに「PDF」または「PDF」という青色のアイコンで表示されるドキュメントは、本FOMA端末ではご利用できません。

ドキュメント画面の操作について

ドキュメント画面は、スクロールバーとツールバーを使って操作します。

■ スクロールバー

画面にスクロールバーが表示されます。スクロールバーは表示されているページの位置を示します。

■ ツールバー

ツールバーに表示されるアイコンを操作します。画面の倍率を変えて表示したり、表示を回転させるなどの操作ができます。

■ ツールバーのアイコンを操作する場合

▶◯［ツール］

ツールバーのアイコンの操作を解除するには◯［解除］を押します。

ツールバーの各アイコンは◎を押して選択します。

また、ツールバーについて以下の操作が可能です。

- ◎を押すと、ツールバーの表示を切り替えることができます。
- ニューロポインターを使ってツールバーの各アイコンを選択することもできます。

■ ツールバーについて

倍率	倍率が表示されます。倍率を指定すると、指定した倍率で表示します。 ▶◉▶**4桁の数字を入力** たとえば倍率を70%に指定する場合は0070と入力します。
頁	表示中のページ番号が表示されます。表示するページ番号を指定すると、指定したページへ移動します。 ▶◉▶**4桁の数字を入力** たとえば5ページに移動する場合は0005と入力します。
⊖	縮小します。
⊕	拡大します。
	ページ全体を表示します。
	倍率100%に表示します。

次ページにつづく

	ページの幅を画面に合わせて表示します。
	最初のページを表示します。
	前のページを表示します。
	次のページを表示します。
	最後のページを表示します。
	ドキュメントの文字を検索します。
	ページを右に90度回転します。
	ページを左に90度回転します。
	文字列をコピーします。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498 コピーした文字列はテキストメモなどに貼り付けることができます。
	ドキュメントの一部を画像として切り出します。→P.391
	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
	単一でページを表示します。
	見開きでページを表示します。
	しおり一覧画面を表示します。

● お買い上げ時に登録されているドキュメント

本FOMA端末には、「ドラゴンクエストⅡ」（P.319）の「ワールドマップ」のドキュメントがあらかじめ登録されています。

- 「ワールドマップ」は、マイドキュメントのINBOXフォルダに登録されています。

ワールドマップ

おしらせ

- 「ワールドマップ」を削除した場合、元に戻したいときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。
  「みんなNらんど」への接続のしかた→P.212
  ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用しているときは、FOMAカード動作制限機能がかかります。
  →P.43

● NEC モバイルPDFについて

パソコンなどからアップロードしたMicrosoft® Word やMicrosoft® Excel の文書ファイルを、PDFデータ形式に自動的に変換し、指定したFOMA端末に閲覧用のURLを通知するサービスです（N901iS、N902iに対応　2005年11月現在）。

- 「NEC モバイルPDFのご紹介」→P.514

ドキュメント画面で利用できる便利な機能について

ドキュメント画面では、拡大／縮小したり、回転したり、ページの表示のしかたを変更することができます。また、ユーザしおりやマークを設定したり、ページを切り出して保存できます。

- ドキュメント画面の表示の変更は、ツールバーを利用して行うと便利です。
- ボタンを使ってページの表示のしかたを変更することもできます。→P.392
- あらかじめドキュメントに設定されているしおりのほかに、見たいページ・位置へすばやくジャンプできるように、付箋を貼る感覚で設定できる「ユーザしおり」があります。

● スクロールする

■ でスクロールする

ドキュメント画面でを押すとその方向にスクロールします。

■ でスクロールする

ドキュメント画面でを押すと上にスクロールし、を押すと下にスクロールします。

■ ニューロポインターを使ってスクロールする

ドキュメント画面でスクロールしたい方向にニューロポインターを押してスクロールします。8方向にスクロールすることができます。カーソル表示は、ドキュメント中央に固定され、スクロール方向（8方向）が示されます。

おしらせ

- ニューロポインターを使ってスクロールバーを操作することはできません。

● ツールバーとスクロールバーを表示／非表示にする場合

ドキュメント表示画面でを押すとツールバーとスクロールバーの表示／非表示が切り替わります。

データ表示／編集／管理

マイドキュメント

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

● 表示方法を変更する

1「ドキュメント画面」(P.388) ▶ ◯［ツール］▶アイコンを選択

アイコンは ◎ で選択します。

2 それぞれの操作を行う

ツールバーの操作が終わったら ◯［解除］を押します。
ツールバーについて→P.389
ドキュメント画面に戻ります。

● 文字列を検索する

1「ドキュメント画面」(P.388) ▶ ◯［ツール］▶ 🔍 ▶ ◉ ▶検索する文字列を入力

文字列は全角文字で8文字、半角文字で16文字まで入力できます。ただし、一部特殊文字など検索できない場合があります。

2 条件の□（チェックボックス）を選択 ▶ ◯［検索］

検索した文字列が見つかった場合、文字列を含むページが表示されます。
*を押すとページの先頭に向かって同じ条件で検索できます。
#を押すとページの後ろに向かって同じ条件で検索できます。

● しおりを使ってドキュメントを表示する

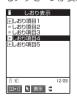
■ あらかじめドキュメントに設定されている「しおり」を使う場合

ドキュメントにあらかじめしおりが設定されている場合は、以下の操作で、しおりが設定されている箇所（ページ）に移動できます。

1「ドキュメント画面」(P.388) ▶ ◯［ツール］▶ 📑 ▶表示したいしおりを選択

選択したしおりが設定されている箇所（ページ）が表示されます。
表示しているドキュメントにしおりが1つも設定されていない場合は、しおりがないことを通知するメッセージが表示されます。

➡

⊞のある項目で ◯［⊞▸⊟］を押すと、その下のしおりが表示されます。

■「ユーザしおり」を使う場合

ユーザしおりは、見たいページ・位置へ素早くジャンプできるように、お客様の好きな位置にしおりを設定する機能です（1つのドキュメントにつき最大10件まで設定できます）。
ユーザしおりを設定した箇所（ページ）に移動するには、以下の操作を行います。

1「ドキュメント画面」(P.388) ▶ ◯［機能］▶「ユーザしおり」▶表示したいユーザしおりを選択

選択したユーザしおりを設定したときの表示状態（倍率など）で、その箇所（ページ）が表示されます。

■ ユーザしおりを追加するとき

▶ ◯［追加］▶「YES」▶ユーザしおりのタイトルを入力

現在の表示状態（表示しているページ、倍率など）がユーザしおりとして登録されます。

■ ユーザしおりのタイトルを変更するとき

▶ ◯［機能］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ ユーザしおりを削除するとき

▶ ◯［機能］▶「削除」▶「YES」

■ ドキュメントに設定されているユーザしおりをすべて削除するとき

▶ ◯［機能］▶「全削除」▶端末暗証番号を入力 ▶「YES」

● ページを切り出す

画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存することができます。

1 切り出したいページを表示させる ▶ ◯［ツール］▶ ▣ ▶ ◉ ▶「YES」▶保存するフォルダを選択

切り出したページが保存されます。

おしらせ

- PDFデータから切り出した画像はメール送信やminiSDメモリーカードへのコピーなど、FOMA端末の外部に出力することはできません。
- コピーが禁止されているドキュメントの場合は、画面の切り出しができない場合があります。

● ボタンを使って表示の変更をする場合

各ボタンに割り当てられた機能については次のとおりです。

ボタン	説明
1	縮小します。
2	ページ全体を表示します。
3	拡大します。
4	前のページを表示します。
5	－
6	次のページを表示します。
7	ドキュメントの文字を検索します。
8	ツールバーとスクロールバーの表示／非表示を切り替えます。→P.390
9	－
0	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
#	次を検索します。→P.391
*	前を検索します。→P.391

ドキュメント一覧画面の機能メニュー

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

機能	説明
タイトル編集	ドキュメントのタイトルを編集します。
ドキュメント表示	
・**前回の続きから**	前回表示したドキュメントのページから表示します。
・**初めから**	表示したいドキュメントの最初のページから表示します。
・**ユーザしおりから**	選んだユーザしおりの箇所のページを表示します。
ドキュメント情報	ドキュメントのファイル名、種別、サイズ、取得元、故障時移行可否などの情報を表示します。 故障時移行可否は、故障時のファイルの移行の可／不可を表示します。
残り全てを取得	部分的に取得したドキュメントの残りすべてのページ（データ）を追加でダウンロードします。→P.226
デスクトップ貼付※1	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
赤外線送信※1	FOMA端末間でドキュメントを送信します。→P.385
miniSDへコピー※1	
・**1件コピー**	ドキュメント1件をminiSDメモリーカードへコピーします。
・**選択コピー**	選択したドキュメントをminiSDメモリーカードへコピーします。
・**全コピー**	すべてのドキュメントをminiSDメモリーカードへコピーします。
フォルダ移動	
・**1件移動**	ドキュメント1件を別のフォルダに移動します。
・**選択移動**	選択したドキュメントを別のフォルダに移動します。
・**全移動**	すべてのドキュメントを別のフォルダに移動します。
保存容量確認	使用している容量と空きの容量を確認します。
ソート※1	指定した条件に従ってドキュメントを並び替えます。
削除	
・**1件削除**	ドキュメント1件を削除します。
・**選択削除**	選択したドキュメントを削除します。
・**全削除**	すべてのドキュメントを削除します。
本体へコピー※2	
・**1件コピー**	ドキュメント1件をINBOXにコピーします。
・**選択コピー**	選択したドキュメントをINBOXにコピーします。
・**全コピー**	すべてのドキュメントをINBOXにコピーします。
コピー※2	
・**1件コピー**	ドキュメント1件を別のフォルダにコピーします。
・**選択コピー**	選択したドキュメントを別のフォルダにコピーします。
・**全コピー**	すべてのドキュメントを別のフォルダにコピーします。

※1：miniSDメモリーカードのドキュメント一覧画面のときは表示されません。
※2：FOMA端末本体のドキュメント一覧画面のときは表示されません。

おしらせ

<miniSDへコピー>
- ページ単位で部分的に取得したドキュメント（「PDF」）やFOMA端末外への出力が禁止されているドキュメントは、コピーできません。

<本体へコピー>
- 2Mバイトを超えるドキュメントはコピーできません。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

ドキュメント画面の機能メニュー

ズームアウト	ページを縮小します。
ズームイン	ページを拡大します。
表示	
・倍率指定	ページの倍率を指定して表示します。
・全体表示	ページを全体が画面に収まる大きさで表示します。
・実際の大きさ	ページを100%（実際の大きさ）で表示します。
・幅にあわせる	ページを画面幅にあわせて表示します。
ページ移動	
・最初のページ	先頭のページを表示します。
・前のページ	1ページ前のページを表示します。
・次のページ	1ページ後のページを表示します。
・最後のページ	最後のページを表示します。
・指定のページ	▶表示したいページを入力 指定したページを表示します。
検索	
・検索	▶文字列を入力▶◯［検索］ 文字列を検索します。→P.391
・前検索	前を検索します。→P.391
・次検索	次を検索します。→P.391
ページレイアウト	
・単一ページ	単一でページを表示します。
・見開きページ	見開きでページを表示します。
リンク表示	URL、電話番号、メールアドレスを選択するとリンク先にアクセスや電話発信およびiモードメール作成ができます。 ドキュメント内にあるリンクを表示させた場合は、画面のスクロールやツールバーの使用ができません。CLRを押すと、通常のドキュメント画面に戻ります。
ツール／スクロールバー非表示※1	ツールバー、スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。→P.390
表示を回転	
・右90度	ページを右に90度回転します。
・左90度	ページを左に90度回転します。
しおり表示	ドキュメントにあらかじめしおりが設定されている場合は、しおりが設定されている箇所（ページ）に移動します。→P.391
コピー	文字列をコピーします。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498 コピーした文字列はテキストメモなどに貼り付けることができます。
ユーザしおり	「ユーザしおり」の設定（追加／削除）を行います。また「ユーザしおり」が設定されている箇所（ページ）に移動します。→P.391
マーク	好きな位置にマークを設定します（最大10件まで）。
・追加	マークを追加します。
・修正	マークを修正します。
・削除	マークを削除します。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 マークをすべて削除します。
画面切り出し	ドキュメントの画像を切り出します。→P.391
デスクトップ貼付※2 ※3	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
残り全てを取得※2	部分的に取得したドキュメントの残りすべてのページ（データ）を追加でダウンロードします。→P.226
保存	取得したドキュメントを保存します。
ヘルプ	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。
プロパティ	ドキュメントのプロパティを表示します。
終了	ドキュメント画面を閉じます。
ドキュメント情報	ドキュメントのファイル名、種別、サイズ、取得元、故障時移行可否などの情報を表示します。 故障時移行可否は、故障時のファイルの移行の可／不可を表示します。
1件削除※3	表示しているドキュメントを削除します。

※1：ツールバー、スクロールバーが非表示に設定されているときは「ツール／スクロールバー表示」となります。お買い上げ時はツールバー、スクロールバーは表示に設定されています。
※2：miniSDメモリーカード内のドキュメントのときは表示されません。
※3：サイトのドキュメントを閲覧しているときは表示されません。

おしらせ
- FOMA端末で設定した「ユーザしおり」や「マーク」をパソコンなどで利用することはできません。

〈PictBridge印刷〉
保存した画像を印刷する

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って、FOMA端末とPictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンタを接続することで、JPEG形式の画像をパソコンなどを使わずにダイレクトプリントすることができます。

"Mobile Printing Ready"（PictBridge、mini-SD）に対応

※この"Mobile Printing Ready"対応製品は、携帯電話からプリンタへの印刷をより簡単にすることを目的に、世界の主要な携帯電話メーカ及びプリンタメーカにて結成された Mobile Imaging and Printing Consortium(MIPC) バージョン 1.0 版の設計ガイドラインに沿った製品です。

- JPEG形式の画像のみ印刷できます（内蔵カメラで撮影した画像はJPEG形式です）。
- 内蔵カメラで撮影した静止画以外の画像を印刷した場合、プリンタによっては正しく印刷されない場合があります。
- 接続する前に、プリンタがPictBridge印刷に対応していることを確認してください。
- miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法をあらかじめ設定しておくこともできます。→P.395
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は印刷できません。
- PictBridge印刷を行うときは、電池を十分充電しておいてください。電池残量が不十分な場合は、印刷できない場合があります。
- プリンタとの通信中にFOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。通信中は「」が表示されます。
- プリンタによっては、FOMA端末で設定した印刷方法（レイアウト、枚数など）どおりに印刷されないことがあります。

1 「USBモード設定画面」（P.380）▶「プリントモード」

「プリントモード」に設定すると、「」が表示されます。
FOMA USB接続ケーブルを接続する前に「プリントモード」に設定しておかないと印刷できない場合があります。

2 FOMA端末とプリンタを、FOMA USB接続ケーブルで接続する

接続する前に、プリンタの電源を入れておいてください。取り付け方法、取り外し方法→P.448

3 「画像一覧画面」（P.345）または「タイトル名一覧画面」（P.346）▶印刷したい画像を反転表示させて［機能］▶「PictBridge印刷」

DPOF印刷をする場合は、miniSDメモリーカード内の「画像一覧画面」または「タイトル名一覧画面」から行ってください。
複数の画像を印刷する場合や、DPOF印刷をする場合は印刷したい画像を反転表示させる必要はありません。

■「マイピクチャ画面」から印刷する場合
「マイピクチャ画面」（P.345）の機能メニューから印刷する場合は1件印刷となります。操作5に進みます。
▶［機能］▶「PictBridge印刷」

4 印刷の種類を選択

「DPOF印刷」を選択した場合は、あらかじめ「DPOF設定」（P.395）で設定しておいたプリント指定と、プリンタ側で設定している用紙サイズ、レイアウトに従って印刷されます（操作5以降は不要です）。

1件印刷	選択している画像を印刷します。
選択印刷	▶で画像を選択▶［完了］ タイトル名一覧のときは、で□（チェックボックス）を選択し、［完了］を押します。 複数の画像を選択して印刷します。
DPOF印刷	miniSDメモリーカードに保存されている画像を、あらかじめ「DPOF設定」で設定しておいたプリント指定に従って印刷します。→P.395

5 印刷方法を設定

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

■ 印刷方法
印刷方法を以下の項目から選択

項目	設定	説明
印刷枚数※	▶印刷枚数（01～99）を入力	
印刷スタイル	・用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを設定します。 ・L判　・A4 ・2L判　・カード ・六切　・プリンタ標準 ・ハガキ
	・レイアウト	印刷時のレイアウトを設定します。
	・全面（フチなし）	1個の画像を、1枚の用紙全面にフチをつけずに印刷します。
	・全面	1個の画像を、1枚の用紙全面にフチをつけて印刷します。
	・2面	2個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に2個印刷します。
	・4面	4個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に4個印刷します。
	・8面	8個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に8個印刷します。
	・16面	16個の画像を、1枚の用紙に分割して印刷します。印刷する画像が1つだけの場合は、その画像を1枚の用紙に16個印刷します。
	・プリンタ標準	プリンタに設定されているレイアウトで印刷します。
日付	日付を付加するかどうかを設定します。	

※：「印刷枚数」は操作4で「1件印刷」を選択したときのみ設定できます。

6 ◯ ［完了］

画像が印刷されます。

● プリンタがエラーになったときは

- 「エラーが発生しました」というメッセージが表示されたときはプリンタ側でエラーが発生している可能性があります。
- プリンタからFOMA USB接続ケーブルを取り外してから、プリンタのエラー復帰操作を行ってください。
- エラー復帰後は、FOMA端末の画面上部に「 」が表示されていることを確認してから、FOMA USB接続ケーブルをプリンタに接続し直してください。

おしらせ

- プリンタのエラー復帰方法についてはプリンタの取扱説明書をご覧ください。
- 選択印刷で一度に選択できる画像は100枚までです。
- 1件印刷および選択印刷の場合、選択できる用紙サイズ、レイアウトは接続するプリンタによって異なります。DPOF印刷の場合は、プリンタ側で設定している用紙サイズ、レイアウトに従って印刷します。
- 日付を付加する設定にすると、撮影日時の情報がある画像は撮影日時が付加されます。撮影日時のない画像の場合は、イメージ情報で表示される「保存日時」が付加されます。ただし、日付を付加する設定にしていても、レイアウトの指定などによっては印字されないことがあります。
- 横または縦の最大が2,304ドットを超える画像、総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像、ファイルサイズが1,200Kバイトを超える画像は印刷できません。また、横640×縦480ドットまたは横480×縦640ドットを超えるプログレッシブJPEG画像は印刷できません。
プログレッシブJPEG画像→P.225
- PictBridge印刷でマルチタスク機能は利用できません。
- 印刷中は圏外と同じ状態になるため、通話、iモードなどはできません。

miniSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する〈DPOF設定〉

miniSDメモリーカードに保存されている画像をDPOF（Digital Print Order Format）設定します。

- DPOF（ディーポフ）とは、デジタルカメラで撮影した静止画を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した静止画をminiSDメモリーカードに保存し、印刷したい静止画とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタやプリントサービスのお店で、指定した情報にそって印刷できます。
- DPOF設定した静止画をPictBridge対応のプリンタで印刷する→P.394

1 「フォルダ一覧画面」（P.345）▶「miniSD」▶「ピクチャ」▶フォルダを選択▶画像を選択▶◯［機能］▶「DPOF設定」▶以下の項目から選択

項目	説明
1件DPOF設定	反転表示した画像の印刷方法を設定します。
選択DPOF設定	▶画像を選択 複数の画像を選択して印刷方法を設定します。

2 「プリント指定」▶「プリント枚数」（01～99の2桁の数字）、「日付」（日付印刷のあり／なし）を選択▶◯［完了］

■ 表示している画像に設定されているプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定解除」

■ 保存されている画像すべてのプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定全解除」

次ページにつづく

おしらせ

- DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
- 横または縦の最大が2,304ドットを超える画像、総ドット数が2,304×1,728ドットを超える画像、ファイルサイズが1,200Kバイトを超える画像には設定できません。
- miniSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- FOMA端末本体に保存されている画像にDPOF設定をすることはできません。
- 設定されている印刷枚数は「イメージ情報」で確認できます。

〈ミュージックプレーヤー〉

ミュージックプレーヤーを利用する

miniSDメモリーカードに登録したAAC形式の音楽データを再生できます。

本体内蔵のステレオスピーカや平型ステレオイヤホンセット（別売）を接続してステレオサウンドで音楽を楽しむことができます。

- イヤホンを接続しているときは、「通知音出力切替」（P.133）の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
- 市販のハンズフリー対応機器によっては接続しているときに、ハンズフリー対応機器からのみ音が聞こえる場合があります。
- miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
  ※ miniSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内で使用することができます。ご利用にあたっては、著作権など第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。

miniSDメモリーカードに音楽データを登録する

「FOMA N902i ミュージックプレーヤーデータ転送ソフト」（P.513）とminiSDメモリーカードのリーダライタを搭載したパソコンを利用した場合を例にして説明します。

- FOMA端末は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってminiSDメモリーカードのリーダライタとして利用することもできます。→P.379
- 「FOMA N902i ミュージックプレーヤーデータ転送ソフト」の使用方法については、ヘルプファイルをご覧ください。

1 FOMA端末で再生したい曲を、市販の変換用ソフトウェアなどを使ってAAC形式の音楽データに変換する

ソフトウェアの使用方法などについては、ソフトウェア提供各社にお問い合わせください。

2「FOMA N902i ミュージックプレーヤーデータ転送ソフト」を使って、プレイリストを作成する

3 音楽データおよび作成したプレイリストをminiSDメモリーカードに転送する

4 miniSDメモリーカードをFOMA端末に挿入する

おしらせ

- FOMA端末本体ではプレイリストの作成やminiSDメモリーカード内のフォルダ／音楽データの移動、コピー、編集などはできません。パソコン側でのみ操作できます。

ミュージックプレーヤーで曲を再生する

1 MENU▶（データBOX）▶「ミュージック」

「プレイリスト一覧画面」が表示されます。

プレイリスト一覧画面

■ すべての曲を再生したい場合

「全曲」を選択

2 プレイリストを選択

「曲名一覧画面」が表示されます。

曲名一覧画面

機能メニュー→P.397

■ プレイリスト内の曲をランダムな順で再生したい場合（ランダム再生）

▶◯［ランダム］

3 曲名を選択▶◉［再生］

ミュージックプレーヤー再生画面が表示されます。

プレイリスト内の曲を表示順に再生します。

ミュージックプレーヤー再生画面

機能メニュー→P.398

■ 繰り返し再生したい場合

▶◯［リピート］

◯を押すたびに、全曲リピート／1曲リピート／リピートOFFに切り替わります。

■ 再生を終了したい場合

▶CLR

再生が終わると「曲名一覧画面」に戻ります。

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

● 再生できるデータ形式および曲数について

ファイル形式	MPEG4-AAC
ビットレート	320kbps以下
サンプリングレート	8kHz, 11.025kHz, 12kHz, 16kHz, 22.05kHz, 24kHz, 32kHz, 44.1kHz, 48kHz
プレイリスト数	20件（全曲プレイリストを含む）※
再生可能な曲数	1,000件

※：パソコン側では21件以上の登録ができますが、FOMA端末側では21件以降の曲の再生および表示ができません。

おしらせ

- イヤホンを接続しているときは、マナーモード中でもイヤホンからは音が聞こえます。マナーモード中にイヤホンを抜くと、曲の再生を一時停止します。
- ハンズフリー対応機器を接続しているときは、ハンズフリー対応機器からのみ音が聞こえます。
- miniSDメモリーカードが装着されていない場合、またはminiSDメモリーカードに再生できる音楽データがない場合は、FOMA端末本体に保存されているデモ曲を再生します。
- 曲の再生中にFOMA端末を折り畳んでも、再生を継続します。このとき、イメージウィンドウには再生中のデータについての情報が表示されます。→P.399
- 再生中に音声電話、テレビ電話またはプッシュトーク、64Kデータ通信、パケット通信の発着信動作が発生した場合、再生を一時停止します。
- メールの「受信表示設定」（P.296）を「通知優先」に設定している場合、再生中にメールやメッセージR、メッセージFなどを受信すると、再生を一時停止します。
- 「アラーム通知設定」（P.406）を「通知優先」に設定している場合、再生中に「スケジュール」、「めざまし時計」または「To Doリスト」のアラームが通知されると、再生を一時停止します。
- ミュージックプレーヤーで再生できないファイルの場合、スキップして再生を続けます。

● ミュージックプレーヤー再生画面の見かた

①プレイリスト名
②トラック番号（プレイリスト内の番号）
③曲名
④曲の長さ（分:秒）
⑤曲の経過時間（分:秒）
⑥アーティスト名

▸PLAY／ⅡPAUSE／▸▸FF／◂◂REW：
再生中／一時停止中／スキップ送り中／スキップ戻し中

MUTE／VOL 1～VOL 20：消音中／現在の音量

WOW 0～WOW 20：「SRS_WOW設定」→P.398

：「イコライザ設定」→P.398

30／60／90：「オフタイマー」→P.397

：ランダム再生中
ランダム再生中以外では表示されません。

：リピート再生中

● ミュージックプレーヤー再生画面の操作について

操作ボタン	動作
◉	再生一時停止／再生を再開
	プレイリスト内の曲を繰り返し再生（リピート／1曲リピート／OFF）→P.396
、[ホーム] 、[メモ/確認]	音量調整
[ホーム]を1秒以上	プレイリスト内の前の曲を再生 ランダム再生時は、プレイリスト内の順序に関係なく、前の曲を再生します。
(または[メモ／確認]を1秒以上)	プレイリスト内の後の曲を再生 ランダム再生時は、プレイリスト内の順序に関係なく、次の曲を再生します。
	曲の先頭から再生
を1秒以上	スキップ戻し
を1秒以上	スキップ送り
CLR	再生を終了

おしらせ

- ミュージックプレーヤー再生画面で設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。

曲名一覧画面の機能メニュー

ミュージック情報	反転表示した曲の情報を表示します。 「ミュージック情報について」→P.398
アーティスト名表示※	曲名一覧画面にアーティスト名を表示するか、タイトル名（曲名）で表示するかを切り替えます。
オフタイマー（お買い上げ時：90分）	音楽ファイルの再生開始から一定時間経過すると再生を停止します。

※：アーティスト名を表示しているときは、「タイトル表示」となります。

●ミュージック情報について

以下の情報が確認できます。

項目	情報内容
タイトル	曲名の表示情報がないときは「不明」と表示されます。
アーティスト	アーティスト名の表示情報がないときは「不明」と表示されます。
コピーライト	ファイルの著作権情報の表示情報がないときは「不明」と表示されます。
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日 時：分）を表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズをKバイト（キロバイト）で表示します。
再生時間	ファイルの再生時間（分：秒）を表示します。
オーディオ	音声の情報「再生可（AAC）／なし／再生不可／再生不可（MP4）」を表示します。表示情報がないときは「不明」と表示されます。

ミュージックプレーヤー再生画面の機能メニュー

● 再生中でも設定を変更できます。

項目	内容
SRS_WOW設定 （お買い上げ時：レベル10）	曲を再生するときの音響効果をレベル0～20の21段階で設定します。
イコライザ設定 （お買い上げ時：OFF）	音質を以下のイコライザ設定から選択します。
・OFF	イコライザ設定を無効にします。
・低音強調	低音を強調して再生します。
・高音強調	高音を強調して再生します。
・音漏れ低減	イヤホンからの音もれを低減します。
・ポップ ・ジャズ ・ロック ・テクノ ・クラシック	それぞれの音楽ジャンルにあったイコライザ設定にします。
・スピーチ	音声再生向けイコライザ設定にします。
リピート設定 （お買い上げ時：OFF）	プレイリスト内の曲を繰り返し再生します。
・OFF	再生中（一時停止中）の曲をリピート再生しません。
・リピート	プレイリスト内の曲を全曲リピート再生します。
・1曲リピート	再生中（一時停止中）の曲をリピート再生します。

おしらせ

●ミュージックプレーヤー再生画面で設定した「SRS_WOW設定」は、iモーション再生の「SRS_WOW設定」（P.130）には反映されません。

アシストキーでミュージックプレーヤーを操作する

「アシストキー」を使ってミュージックプレーヤーを操作することができます。

<例：FOMA端末を閉じた状態でミュージックプレーヤーを起動する場合>

1 FOMA端末を閉じた状態で[アシストキー]（1秒以上）

ミュージックプレーヤーが起動し、曲の再生を開始します。

●ミュージックプレーヤーでのアシストキー操作について

曲を再生中	▶[アシストキー] 一時停止 ▶[アシストキー]（1秒以上） 再生を終了し、ミュージックプレーヤーを終了
一時停止中	▶[アシストキー] 再生を再開 ■他の機能を表示中に再生を再開したい場合 ▶[アシストキー]（1秒以上）
プレイリスト一覧画面表示中	▶[アシストキー]（1秒以上） 再生を開始
曲名一覧画面表示中	▶[アシストキー] 再生を開始 ▶[アシストキー]（1秒以上） 前回再生した曲から再生を開始

●アシストキーを1秒以上押して再生を開始すると

前回再生した曲から再生します。ただし、前回再生時にプレイリストの最後まで再生していたときは先頭曲から再生します。また、前回再生時にランダム再生していたときは、ランダム再生となります。

おしらせ

●プレイリストを変更した場合、アシストキーで曲の再生を開始すると、1番目に登録されたプレイリストの先頭曲から再生されます。

●再生中のイメージウィンドウの表示について

FOMA端末を折り畳んだ状態では、イメージウィンドウで曲の再生状態を確認できます。

①再生中のトラック番号

②全トラック番号

③曲名、アーティスト名（テロップ表示）

MUTE／VOLUME 1～VOLUME 20：
消音中／現在の音量

▶／⏸：再生中／一時停止中

（ランダム）：ランダム再生中
ランダム再生中以外では表示されません

（リピート）／（1曲リピート）：リピート再生中／1曲リピート再生中

（30）／（60）／（90）：「オフタイマー」→P.397

おしらせ

- FOMA端末を折り畳んだ状態で「外部ボタン操作」（P.162）を「閉じた時無効」に設定しているときは、アシストキーを使ってミュージックプレーヤーを起動できません。
- マナーモードの設定中は▯[アシストキー]を1秒以上押しても、ミュージックプレーヤーの起動はできません。ただし、イヤホンを接続しているときは、起動できます。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。
「マルチアクセスの組み合わせについて」→P.510

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、以下の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール	いずれか1回線
パソコンをつないだパケット通信	
SMS	1回線

おしらせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。
- テレビ電話中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの受信のみ同時に使用できます。
- プッシュトーク通信中や64Kデータ通信中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの送受信のみ同時に使用できます。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 ch[MULTI]▶「送受信」をch[MULTI]または⊖で選択して◉

iモードメールの受信結果画面に切り替わります。
タスクの切り替えについて→P.404

➡

2 iモードメールを確認

iモードメールの見かた→P.278

3 ch[MULTI]▶「音声通信」をch[MULTI]または⊖で選択して◉

音声通話中画面に切り替わります。

おしらせ

- 音声通話中にiモードメールやメッセージR、メッセージFを受信した場合、着信音は鳴らずに「メール」、「メッセージR」、「メッセージF」アイコンのうち、対応したアイコンが点滅・点灯して受信をお知らせします。
- 受信結果画面で何も操作しないでいると、通話中の画面に戻ります。

● iモード中／パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

- iモード中／パケット通信中にテレビ電話を受けることはできません。

1

音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。

■ 音声電話に出ないでiモード画面に戻る場合

▶ch[MULTI]▶「閲覧」をch[MULTI]または⊖で選択して◉
相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合

▶ch[MULTI]▶「閲覧」をch[MULTI]または⊖で選択して◉

➡

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。

- マルチアクセス中に画面を切り替えるには、タスクアイコン表示エリアから表示したい機能を選択します。→P.404

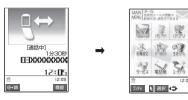
● 音声通話中のiモード接続

音声通話中にMENUを押して、メインメニューのiモードメニューからiモードに接続できます。→P.211

● 音声通話中のiモードメール送信

音声通話中にMENUを押して、メインメニューのメールメニューからiモードメールを作成して送信できます。

1 音声通話中▶(MENU)▶メールメニューを選択

メニューの操作のしかた→P.38

2 iモードメールを作成▶送信

iモードメールの作成／送信のしかた→P.251

3 (ch)[MULTI]▶「音声通信」を(ch)[MULTI]または(◎)で選択して(●)

音声通話中画面に戻ります。

●iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 iモード中▶(MENU)（1秒以上）

待受画面が表示されます。

➡

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.54

3 通話が終了したら(PWR HLD)

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合

▶(ch)[MULTI]▶「閲覧」を(ch)[MULTI]または(◎)で選択して(●)

➡

おしらせ

- iモード中にテレビ電話をかけた場合は、「iモード通信終了」というメッセージが表示され、その後テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、iモード画面に戻ります。
- iモード中にプッシュトークを発信した場合は、iモードを切断するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択するとiモードを切断して発信します。プッシュトークを終了すると、iモード画面に戻ります。

〈マルチタスク〉

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。メインメニューにある以下のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます。
「マルチタスクの組み合わせについて」→P.511

グループ	大項目（タスク）
メールグループ	メール
iモードグループ	iモード
iアプリグループ	iアプリ
設定グループ	各種設定、サービス
ツールグループ	データBOX、生活ツール、電話帳、ユーザデータ

- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。

タスク（機能）の呼び出しかた

1 タスクを起動中▶(MENU)（1秒以上）

待受画面が表示されます。ただし、起動中のタスクによっては待受画面が表示されない場合があります。

2 起動していないグループのタスクを選択

■ メインメニューから呼び出す場合

▶(MENU)▶タスクを選択→P.38

■ メニュー番号から呼び出す場合

▶(MENU)▶呼び出したいタスクのメニュー番号を入力→P.502

■ メールメニューを呼び出す場合

▶◯［MAIL］→P.250

■ iモードメニューを呼び出す場合

▶◯［imode］→P.211

次ページにつづく

おしらせ

- 同じグループのタスクを呼び出そうとすると、編集中のデータがある場合には「XXX編集を終了して切り替えますか?」(XXXはメール、iモードグループ等のタスク名またはグループ名)が表示されます。ここで「YES」を選択すると、編集を終了してタスク切り替えを行います。「NO」を選択すると直前の画面へ戻ります。編集中のデータがない場合にはそのままタスクを呼び出すことができます。
- 以下の場合はメールの閲覧をしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。すでにタスクが3つ起動されている場合に以下の操作を行うと、起動できないことを通知するメッセージが表示されます。起動されているメールグループ以外のタスクを1つ終了してから操作を行ってください。「タスクを終了する」→P.404
  - ・メールメニューからの新規メール作成
  - ・メールメニューからのSMS作成
  - ・テンプレートを利用してデコメール作成
  - ・受信メールの返信／引用返信／転送
  - ・送信メールの再編集
  - ・保存メールの再編集

タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えることができます。

1 複数のタスクを起動中▶ⓒh[MULTI]

タスク切替画面が表示されます。

2 切り替えたいタスクアイコンをⓒh[MULTI]またはⓞで選択して▶◉

おしらせ

- 待受画面でタスクを切り替えるには、ニューロポインターなどでタスクアイコン表示エリアのタスクアイコンを選択してください。

● タスクを終了する

■ **1つずつ終了する場合**

- ・終了したいタスク画面を表示▶ⓟ
- ・タスク切替画面で終了したいタスクアイコンを選択してⓟ▶「YES」

■ **すべてのタスクを終了する場合**

- ・タスク切替画面表示中に▶ⓞ[END ALL]▶「YES」

おしらせ

- FOMA端末の電源を切ると、すべてのタスクが終了します。
- ほかのメニュー機能が動作中にFOMAカード操作、画面デザインなどのメニュー機能を呼び出す操作をすると、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。この場合、ほかのメニュー機能を終了してから、メニュー機能を呼び出す操作をしてください。

〈アシストキー〉

アシストキーを使ってテキストデータを読み上げる

FOMA端末の背面にあるアシストキーを使って、いろいろなテキストデータを音声で読み上げることができます。

- 受信したメール(iモードメール、SMS)／チャットメールを読み上げるときには、音声を選択することができます。→P.296
- FOMA端末を閉じた状態で読み上げる場合は、「外部ボタン操作」(P.162)を「閉じた時有効」に設定しているときのみ有効です。
- メールは、「メール読み上げ設定」の「受信時読み上げ設定」(P.296)を「有効」に設定しているときに読み上げることができます。
- 「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム内容、および「めざまし時計」の現在時刻は、FOMA端末を閉じた状態で読み上げることができます。
- アシストキーを使ってミュージックプレーヤーを操作することもできます。→P.398

メール本文の読み上げ※1	
・メールを受信したとき(新着メール受信、iモード問い合わせによる受信、選択受信)	最新の新着メール本文を読み上げます。
・受信メール詳細画面を表示しているとき	表示中のメール本文を読み上げます。

その他の便利な機能　アシストキー

アラーム通知中の読み上げ	
・めざまし時計のアラーム通知中のとき	アラーム音を停止※2し、現在の時刻を読み上げます。スヌーズ中に現在の時刻を読み上げる場合は、[メモ／確認]を押します。
・スケジュールのアラーム通知中のとき	アラーム音を停止※2し、アラームメッセージ(要約または全角20文字分の内容)を読み上げます。
・To Doリストのアラーム通知中のとき	アラーム音を停止※2し、用件（全角20文字分の内容）を読み上げます。

※1：メール本文の読み上げについて→P.298
※2：アラーム音をとめるには→P.408

おしらせ

- アシストキーを使ってメッセージR、メッセージFを読み上げることはできません。
- 読み上げ中にFOMA端末を開閉しても、メール読み上げ動作を継続します。
- 読み上げ中に[アシストキー]を押すと、読み上げを中止します。
- 以下の場合、メール／チャットメールの読み上げはしません。
  - ・メール連動型iアプリのメール、SMS送達通知の場合
  - ・通話中または通信中の場合（ただし、パケット通信中は読み上げます。）
  - ・マナーモード設定中で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続していない場合
  - ・ミュージックプレーヤー再生中
- 受信BOXにセキュリティが設定されている場合や、メールセキュリティ設定がされたフォルダのメールの場合は、受信メール詳細画面からのみ読み上げ可能です。
- 読み上げの音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」、「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。
- テキストデータを読み上げると音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからご利用ください。

メールの本文を読み上げる

●新着メール／チャットメールを受信したとき

- 「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」のデスクトップアイコンが表示されているときに、[アシストキー]を押してメール本文を読み上げることができます。
- 「バイリンガル」が日本語表示に設定されている場合のみ読み上げます。

1 新着メール／チャットメールを受信

FOMA端末を閉じた状態のときは、イメージウィンドウに新着メールアイコン（）が表示されます。

2 FOMA端末を閉じた状態で[アシストキー]

最新の新着メール／チャットメールの本文を読み上げます。

■一度に複数の新着メール／チャットメールを受信した場合

最新の新着メール1件のみを読み上げます。
受信結果画面が表示されている場合→P.405

おしらせ

- 「確認機能設定」(P.76)を「電子音」または「ボイス」に設定している場合、新着メール／チャットメールの確認動作を行います。確認動作終了後、約10秒以内に[アシストキー]の操作を行うと、読み上げを開始します。
- FOMA端末を開いているときに[アシストキー]を押しても読み上げは行いません。

●受信結果画面または問い合わせ結果画面を表示しているとき

- 「バイリンガル」が日本語表示に設定されている場合のみ読み上げます。

1 「iモード問い合わせ」(P.235)

2 問い合わせ結果を表示中に[アシストキー]

最新の新着メールの本文を読み上げます。

■一度に複数の新着メール／チャットメールを受信した場合

受信日時の新しいメールから順に読み上げます。読み上げ中に[アシストキー]またはを押して、次のメールを読み上げることができます。また、読み上げ完了後、自動的に次のメールを読み上げます。

おしらせ

- 読み上げ中に[アシストキー]またはを押すと、次のメールを読み上げる前に「ピー」という音が鳴ります。読み上げる次のメールがない場合は、「ピピッ」という音が鳴り、メールの読み上げを終了します。
- 受信結果画面表示中に[アシストキー]を押した場合も、問い合わせ結果画面表示中と同様に読み上げを行います。

●受信メール詳細画面を表示しているとき

1 受信メール詳細画面(P.283)▶[アシストキー]

表示中のメール本文を読み上げます。

●送信元が電話帳に登録されている場合

送信元の名前とメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、「○○さんからのメール」という音声通知の後に本文を読み上げます。ただし、受信メール詳細画面では、「○○さんからのメール」は通知されません。

おしらせ

- [アシストキー]による受信メールの読み上げでは、「○○さんからのメール」を音声で通知する場合、メール／チャットメールの区別をしないで、電話帳に登録されている最新のメールの送信者が読み上げられます。

アラーム通知中に時刻やアラーム内容を読み上げる

- FOMA端末を閉じた状態でアラーム内容を読み上げます。

1 めざまし時計／スケジュール／To Doリストのアラーム通知中に▯[アシストキー]

アラーム音が停止します。→P.408

■ めざまし時計のアラーム通知中の場合

現在時刻を読み上げます。

■ スケジュールのアラーム通知中の場合

登録したメッセージ(スケジュールの要約または全角20文字分の内容)を読み上げます。→P.411

■ To Doリストのアラーム通知中の場合

登録した用件(全角20文字分の内容)を読み上げます。→P.414

おしらせ

- シークレットデータとして登録したスケジュールのメッセージは読み上げません。ただし、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときは、登録したメッセージを読み上げます。
- FOMA端末を開いた状態でスケジュールのメッセージやTo Doリストの用件の読み上げはできません。
- スケジュールのメッセージやTo Doリストの用件を読み上げる音声は設定できません。

アシストキーを使った読み上げ方法を設定する

FOMA端末を折り畳んだときのアシストキーの有効／無効を設定する	「外部ボタン操作」→P.162
メールを読み上げる音声を設定する メールの読み上げを有効／無効にするかを設定する	「メール読み上げ設定」→P.296

〈アラーム通知設定〉

アラーム通知のしかたを設定する

お買い上げ時 通知優先

「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定できます。

1 MENU▶[各種設定]▶「時計」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」

■ 操作優先に設定した場合

待受画面表示中のときのみアラームを通知します。

■ 通知優先に設定した場合

FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアラーム通知の設定を示すアイコンが表示されます。設定した時刻になると、それぞれの機能に応じてアラームを通知します。

● アラーム通知を設定すると

「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

■ 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合

「🔔」が表示されます。

■ 明日以降の設定がある場合

「🔔」が表示されます。

● 設定した時刻になると

各機能ごとに以下のような動作でアラームを通知します。

めざまし時計の場合※1

スケジュールの場合※1

To Doリストの場合※1

状態	機能名	
	めざまし時計	スケジュール・To Doリスト
待受画面表示中※2	「スヌーズ通知しない」に設定している場合は、アラーム音が設定された鳴動時間(01～10分)によって繰り返し鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに5回まで繰り返します。ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーション／iモーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーション／iモーションが表示されます。
電源が切れている	「自動電源ON」の設定で「電源ONする」に設定している場合は自動で電源が入りアラームを通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源は入らずアラームを通知しません。電源を入れた後も「🔔アラーム」(未通知アラームあり)のデスクトップアイコンは表示されません。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。ただし設定はそのまま残ります。

その他の便利な機能

アラーム通知設定

状態	機能名	
	めざまし時計	スケジュール・To Doリスト
音声通話中／テレビ電話中／プッシュトーク通信中※3	受話口から時刻アラーム音（ピッピピ…）が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。	
音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信中※3	状態によりアラームを通知する場合と通知しない場合があります。アラーム通知する場合は、アラームが鳴り、ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーションが表示されます。	
iモード中／メール送受信中※3	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
赤外線通信機能またはSD-PIM機能の操作中、OBEXによるデータ送受信中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。データ通信終了後、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.408	
イヤホンマイク接続中※2	■「通知音出力切替」を「イヤホン＋スピーカ」に設定している場合 アラーム音がイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーション／iモーションが表示されます。 ■「通知音出力切替」を「イヤホン(20秒後スピーカ)」に設定している場合 アラーム音がイヤホンから鳴り、約20秒たつとアラーム音がイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーション／iモーションが表示されます。 ■「通知音出力切替」を「イヤホン(イヤホンのみ)」設定している場合 アラーム音がイヤホンから鳴ります。ディスプレイ、イメージウィンドウにはアニメーション／iモーションが表示されます。	
PIN1コード入力設定が「ON」に設定されていて、電源を入れた後のPIN1コード入力画面を表示しているとき※3	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム通知の画面表示を消すと、PIN1コード入力画面に戻ります。	正しいPIN1コードを入力した後にアラームを通知します。
オールロック中／PIMロック中	「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック／PIMロック解除後、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます（P.408）。オールロック中／PIMロック中で電源も切っている場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、オールロック／PIMロック解除後も「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。	「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック／PIMロック解除後、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.408

※1：「スケジュール」および「To Doリスト」のアラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム音にiモーションを設定した場合は、アラーム通知時にその映像が表示されます。
※2：イメージウィンドウにiモーションは表示されません。
※3：「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.408

おしらせ

- 「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 通話中のめざまし時計でのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、アラーム音と振動でお知らせします。
- 「待受時計表示」の「表示方法」を「OFF」に設定した場合や、スケジュール・To Doリストを「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。
- 「アラーム音選択」でiモーションを設定しても、通話中などiモーションを起動できないときは、iモーションは再生されず、時刻アラーム音と設定したアイコンやカテゴリーに応じたアニメーションで、アラーム通知を行います。

<アラーム通知の優先順位>

- 「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。①が最も優先順位が高くなります。
  ①めざまし時計　②To Doリスト　③スケジュール

● アラーム音をとめるには

■ めざまし時計のアラーム音

「スヌーズ通知しない」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

「スヌーズ通知する」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示されます。「スヌーズ中・・・」の表示中は約5分たつと再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」にPWR HLDを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■ スケジュール、To Doリストのアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態で外部ボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■ アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「めざまし時計」のスヌーズも解除されます。

おしらせ

- 以下のようなときは、スヌーズが解除されます。
  - ・音声電話やテレビ電話、プッシュトークの着信があったとき
  - ・「アラーム通知設定」を「通知優先」の場合にめざまし時計、スケジュール、To Doリストのアラームが通知されたとき
- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合、スヌーズ通知の解除音は鳴りません。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認できます。

1 待受画面表示中▶●▶「アラーム」

「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」の未通知アラーム情報が表示されます。

■「アラーム」のデスクトップアイコンを消す場合

▶CLR（1秒以上）

「アラーム」のデスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認▶CLR

待受画面に戻り、「アラーム」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは消えます。

おしらせ

- 「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されていてアラームを通知できなかった場合は、それぞれの未通知アラーム情報が表示されます。

未通知アラーム情報
スケジュール通知
12/19(月) 13:05
プロジェクト会議
めざまし1通知
12/19(月) 13:05
To Doリスト通知
12/19(月) 13:05
企画書提出

〈めざまし時計〉 MENU 4 4

めざまし時計として利用する

お買い上げ時 すべてOFF

- めざまし時計は3件まで登録できます。

めざまし時計を設定する

1 MENU▶生活ツール▶「めざまし時計」

「めざまし時計画面」が表示されます。
以前にめざまし時計を設定したことがある場合は、前回の設定内容が表示されます。

めざまし時計画面

機能メニュー ➡P.409

2 設定する項目を選択▶［編集］

3 それぞれの項目を設定

項目	説明
時刻入力	▶時刻を入力 アラームを鳴らす時刻を入力します。
繰り返し	めざまし時計の繰り返しを設定します。
・設定なし	1回だけアラームを鳴らします。
・毎日（D）	毎日アラームを鳴らします。
・曜日指定（W）	▶でロ（チェックボックス）を選択▶［完了］ 設定した曜日にアラームを鳴らします。
アラーム音選択	アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 「メロディ」の「プリインストール」フォルダから「時刻アラーム音」が選択できます。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128
・メロディ	▶フォルダを選択 着信音やメロディを選択します。

項目	説明
・iモーション	▶フォルダを選択 iモーションを選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.417
・ランダムメロディ	▶フォルダを選択 選択したフォルダ内から着信音が自動的に選択され、アラーム音として設定されます。
・OFF	アラーム音を鳴らしません。
めざまし音量	▶ で音量を調節 アラーム音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.71
スヌーズ通知	スヌーズ（繰り返し）で通知するか設定します。
・スヌーズ通知する	アラーム音が1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに5回まで繰り返します。
・スヌーズ通知しない	▶鳴動時間（01〜10分）を入力 アラーム音が鳴動時間で設定した時間で鳴り続けます。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
自動電源ON	アラーム時刻に自動で電源を入れるか設定します。

4 ［完了］

おしらせ

- 自動的に電源をONにしてめざましを通知する場合、サイトからダウンロードしたメロディやiモーションがアラーム音に設定されているとFOMAカード動作制限機能により「時刻アラーム音」で鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

めざまし時計画面の機能メニュー

項目	説明
編集	めざまし時計を編集します。
詳細表示	一覧表示のときに詳細表示にします。
完了（1件ON）	反転表示しためざまし時計を有効にします。
1件OFF	反転表示しためざまし時計を無効にします。
全件OFF	設定されているめざまし時計をすべて無効にします。

〈スケジュール〉 MENU 4 5

スケジュールや休日、記念日を登録する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーで一目で確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールやTo Doリストの件数や用件が表示されます。定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録しておいたり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定したり、1日に複数のスケジュールを登録したりなど、いろいろな方法でスケジュールを管理できます。

- 2004年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
- スケジュール、休日、記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げのときに登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- スケジュールは1日に複数の件数を登録できます。休日、記念日は1日に1件のみ登録できます。
- スケジュールのアラーム通知について→P.406

1 MENU ▶ ▶「スケジュール」

「スケジュール画面」が表示されます。

スケジュール画面

機能メニュー ➡P.409

スケジュール画面の機能メニュー

項目	説明
新規登録	「スケジュールを登録する」→P.411 「休日や記念日を登録する」→P.410
1週間表示※1	「スケジュールの表示を切り替える」→P.410
アイコン別表示	▶アイコンを選択 スケジュールをアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（Dまたは W）は1件の項目として表示されます。
ユーザアイコン設定	「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.412
To Doリスト切替	To Doリスト画面（P.413）に切り替えます。

その他の便利な機能 スケジュール

次ページにつづく

登録件数確認	スケジュール登録件数、休日登録件数、記念日登録件数を確認することができます。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」では、シークレットで登録された件数も確認することができます。
赤外線全送信	スケジュールをすべて赤外線送信します。「データをまとめて転送する」→P.386
削除	
・選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のスケジュールを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択 削除する項目を選択します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」（スケジュール、休日、記念日をすべて削除）から選択できます。
・前日まで削除※2	選択した日付より前の項目をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」（スケジュール、休日、記念日をすべて削除）から選択できます。
祝日リセット	国民の祝日をお買い上げ時の状態に戻します。

※1：1週間表示のときは「1ヶ月表示」になります。お買い上げ時は1ヶ月表示です。
※2：前日とは、スケジュール画面でカーソルが当たっている日付の前日となります。

おしらせ

- 「全削除」の「休日」や「すべて」を選択した場合、祝日はリセットされてお買い上げのときの登録内容に戻ります。

●スケジュールの表示を切り替える

スケジュールには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。を押して確認したい日付を選択すると、選択した日付に登録されているスケジュールやTo Doリストの件数やアイコンを確認できます。

当日の午前と午後に登録されているスケジュールとTo Doリストの件数とアイコンを表示します。

日付、曜日、アイコン、登録内容を表示します。

青色の日付：土曜日を示します。
赤色の日付：日曜日・祝日・休日を示します。
ピンクの日付：記念日を示します。
＿：当日を示します。
□：午前のスケジュールが登録されていることを示します。
■：午後のスケジュールが登録されていることを示します。
T：To Doリストが登録されていることを示します。

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。（2005年11月現在）

休日や記念日を登録する

＜例：休日を登録する場合＞

1 ▶▶「スケジュール」▶［新規］▶「休日」

■ 記念日を登録する場合
▶「記念日」

2 それぞれの項目を設定

年月日設定	▶年月日を入力 休日、記念日を登録する年月日を入力します。
繰り返し	休日、記念日の繰り返しを設定します。
・設定なし	登録した休日、記念日をその年のみ設定します。
・毎年（Y）	登録した休日、記念日を毎年の休日、記念日として設定します。
内容	▶メッセージを入力 休日、記念日の内容を入力します。メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

3 ［完了］

おしらせ

- 設定した年月日にすでに休日、記念日が登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

スケジュールを登録する

旅行や約束などの用件をスケジュールとして登録しておくと、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

- 設定した日時を過ぎてもスケジュールは自動的に削除されません。101件目のスケジュールを登録しようとした場合は、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。不要なスケジュールを削除して登録し直してください。
- スケジュールを登録する場合は、「内容」を必ず入力してください。「内容」を入力していない場合は、スケジュールの登録ができません。

1 「スケジュール画面」(P.409) ▶ [新規] ▶「スケジュール」

2 それぞれの項目を設定

項目	説明
開始日時※	▶「開始西暦」、「開始月日」、「開始時刻」を入力 スケジュールの開始日時を設定します。
終了日時※	▶「終了西暦」、「終了月日」、「終了時刻」を入力 スケジュールの終了日時を設定します。
繰り返し	スケジュールの繰り返しを設定します。
・設定なし	設定した日時のみの設定になります。
・毎日（D）	毎日の繰り返し設定になります。
・曜日指定（W）	▶ で□（チェックボックス）を選択▶ [完了] 選択した曜日の繰り返し設定になります。
アラーム通知	開始日時になったときのアラームの通知について設定します。
・通知する	開始日時にアラーム通知します。
・事前通知する	▶事前通知時間（01～99分）を入力 開始日時の何分前にアラーム通知するか設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
・通知しない	開始日時になってもアラーム通知しません。
アラーム音選択	アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 「メロディ」の「プリインストール」フォルダから「時刻アラーム音」が選択できます。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128
・メロディ	▶フォルダを選択 着信音やメロディを選択します。
・iモーション	▶フォルダを選択 iモーションを選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.417
・OFF	アラーム音を鳴らしません。
要約	▶メッセージを入力 スケジュールの要約を入力します。要約は全角で20文字、半角で40文字まで入力できます。入力した要約は通知時に画面に表示されます。
内容	▶メッセージを入力▶アイコンを選択 スケジュールの内容を入力します。内容は全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。 要約を入力していないときは、内容が通知時の画面に表示されます。また、要約と内容の両方を設定した場合は要約、内容の順で表示されます。

※：選択すると「日時設定画面」が表示され、開始日時と終了日時を一度に設定できます。

3 [完了]

おしらせ

- 待受画面にカレンダーを設定しているときは、カレンダーからスケジュールの設定ができます。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した日時（開始日時の01～99分前）のみです。スケジュールを設定した日時にはアラーム通知は行われません。
- スケジュールを登録する際、すでに登録されているスケジュールと同じ日時にアラーム通知するように設定した場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- アラーム通知をするタイミングを同じ日時で行うように登録できるのは、「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
- 開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。
- 音声通話中、プッシュトーク通信中にスケジュールを登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。
- シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと表示されません。→P.157

次ページにつづく

■お願い

- 登録したスケジュールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.513）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、スケジュールの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA 端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

お好みの画像をユーザアイコンとして設定する

マイピクチャに登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定できます。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「 」～「 」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。また、イメージウィンドウには「 」が表示されます。

- ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

1 スケジュール画面の機能メニュー（P.409）▶「ユーザアイコン設定」▶「<未登録>」

■すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合
▶すでに設定されている項目を選択

■ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合
▶「全解除」▶「YES」
すでにユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

2 画像が保存されているフォルダを選択

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選択することもできます。
画像の選択→P.345

■スケジュールに登録されているアイコンを解除する場合
▶「ユーザアイコン解除」▶「YES」

■スケジュールに登録されていないアイコンを解除する場合
▶「ユーザアイコン解除」

3 設定したい画像を選択

選択した画像が拡大表示され、しばらくするとユーザアイコン一覧に戻ります。

■プレビュー表示する場合
▶表示したい画像を選択▶ ［デモ］

おしらせ

- スケジュールで使用されているユーザアイコンを変更または解除しようとしたときは、解除するかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを変更または解除したり、マイピクチャから削除したりすると、そのユーザアイコンを使用していたスケジュールのアラーム通知画面は「 」を設定したときの画面に変わります。

スケジュールの内容を確認する

詳細画面を表示して登録したスケジュールの内容を確認できます。

1 「スケジュール画面」（P.409）▶内容を確認したいスケジュールが登録されている日付を選択

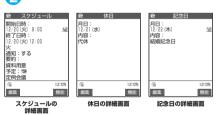
「スケジュール一覧画面」が表示されます。
一覧表示では以下のようなアイコンが表示されます。

スケジュール一覧画面

機能メニュー➡P.412

- ：設定したスケジュールアイコンが表示され、スケジュールが登録されていることを示します。
- ：休日が登録されていることを示します。
- ：記念日が登録されていることを示します。
- ：アラーム通知が設定されていることを示します。
- ：毎日繰り返しが設定されていることを示します。
- ：曜日指定繰り返しが設定されていることを示します。
- ：毎年繰り返しが設定されていることを示します。

2 内容を確認したい項目を選択

スケジュールの詳細画面　休日の詳細画面　記念日の詳細画面

スケジュール一覧画面の機能メニュー

新規登録	「スケジュールを登録する」→P.411 「休日や記念日を登録する」→P.410
編集	スケジュールを編集します。
コピー	スケジュールをコピーします。コピー元のスケジュールに繰り返しの設定があっても、コピー先では解除されます。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

アイコン別表示	▶アイコンを選択 スケジュールをアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件の項目として表示されます。
ユーザアイコン設定	「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.412
To Doリスト切替	To Doリスト画面（P.413）に切り換えます。
シークレット解除	シークレットデータのスケジュールを解除します。 「シークレットデータを通常のデータに戻す」→P.158
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.251
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
赤外線全送信	スケジュールをすべて赤外線送信します。「データをまとめて転送する」→P.386
miniSDへコピー	
・1件コピー	選択したスケジュールをコピーします。
・選択コピー	▶でで□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のスケジュールをコピーできます。
・全コピー	すべてのスケジュールをコピーします。
削除	
・1件削除	選択したスケジュールを削除します。
・選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のスケジュールを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択 削除する項目を選択します。 「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」（スケジュール、休日、記念日をすべて削除）から選択できます。
・前日まで削除	選択した日付より前の項目をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」（スケジュール、休日、記念日をすべて削除）から選択できます。

おしらせ

- 「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げのときに登録されている祝日は削除されません。
- 繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールを1件削除または選択削除しようとした場合、繰り返しの予定を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると繰り返しのスケジュールがすべて削除されます。
- 前日まで削除を行った場合、繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールは、選択した前日までのスケジュールが削除され、選択した日以降のスケジュールは残ります。
- スケジュールをアイコン別に表示した場合、機能メニューから「選択削除」を選択すると、アイコン別表示を行う前の画面で選択していた日付の一覧画面での選択削除画面を表示します。アイコン別表示での選択削除はできません。

〈To Doリスト〉 MENU 9 5

To Doリストを登録する

To Doリストに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでおしらせするように登録することもできます。

- To Doリストには100件まで用件を登録できます。
- To Doリストのアラーム通知について→P.406

用件を確認する

1 MENU▶（生活ツール）▶「To Doリスト」

「To Doリスト画面」が表示されます。

To Doリスト画面

機能メニュー➡P.414

2 確認したい用件を選択

■ 用件を編集する場合

▶［編集］

「用件を登録／編集する」→P.414

To Doリスト内容確認画面

機能メニュー➡P.414

To Doリスト画面／To Doリスト内容確認画面の機能メニュー

新規登録	「用件を登録／編集する」→P.414
編集	
スケジュール切替	スケジュール画面（P.409）に切り換えます。
状態	用件の状態を「予定」、「承諾」、「依頼」、「暫定」、「確認」、「拒否」、「完了」、「代理」から選択します。
カテゴリー別表示	用件を「すべて」、「なし」、「プライベート」、「休日」、「旅行」、「仕事」、「会議」から選択してカテゴリー別に表示します。
ソート／フィルタ	指定した条件に従って用件を並び替えたり、特定の状態の用件のみを表示します。
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
赤外線全送信	用件をすべて赤外線送信します。「データをまとめて転送する」→P.386
miniSDへコピー	
・1件コピー	選択したTo Doリストをコピーします。
・選択コピー	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のTo Doリストをコピーします。
・全コピー	すべてのTo Doリストをコピーします。
削除	
・1件削除	用件を1件削除します。
・選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数の用件を削除できます。
・完了済み削除	完了した用件を削除します。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 用件をすべて削除します。

用件を登録／編集する

● 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していない場合はTo Doリストの登録ができません。

1 MENU▶ ▶「To Doリスト」▶［新規］

■ **すでに用件が登録されているときに用件を追加登録する場合**
▶［機能］▶「新規登録」

■ **すでに登録されている用件を編集する場合**
▶編集する用件を選択▶［編集］

2 それぞれの項目を設定

内容	▶**用件の内容を入力** 用件の内容を入力します。内容は全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
期日	用件の期日を設定します。
・直接入力	▶**年月日、時刻を入力** 直接入力します。
・カレンダーから入力	▶**カレンダーから選択▶時刻を入力** カレンダーで年月日を選択します。
・なし	期日を設定しません。
優先度	用件の優先度を設定します。
・高	優先度を高に設定します。
・低	優先度を低に設定します。
・なし	優先度を設定しません。
カテゴリー	用件のカテゴリーを「なし」、「プライベート」、「休日」、「旅行」、「仕事」、「会議」から選択します。
アラーム通知	設定した期日になったときのアラームの通知について設定します。
・通知する	期日にアラーム通知します。
・事前通知する	▶**事前通知時間（01～99分）を入力** 期日の何分前にアラーム通知するか設定します。 時間は2桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
・通知しない	期日になってもアラーム通知しません。
アラーム音選択	アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。 「メロディ」の「プリインストール」フォルダから「時刻アラーム音」が選択できます。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128
・メロディ	▶**フォルダを選択** 着信音やメロディを選択します。
・iモーション	▶**フォルダを選択** iモーションを選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.417
・OFF	アラーム音を鳴らしません。

その他の便利な機能　To Doリスト

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

完了日※	用件の完了日を設定します。
・直接入力	**▶年月日を入力** 直接入力します。
・カレンダーから入力	**▶カレンダーから選択** カレンダーで年月日を選択します。
・なし	完了日を設定しません。

※： 登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときにのみ表示されます。

3 [完了]

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（To Doリストの01～99分前）のみです。To Doリストを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。
- 音声通話中、プッシュトーク通信中に用件を登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。

■お願い

- 登録したTo Doリストの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト（P.513）とFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、To Doリストの内容をパソコンに保管することもできます。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したTo Doリストの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したTo Doリストの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈自局番号〉

自分の名前や画像を登録する

お買い上げ時 自局番号のみ

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録できます。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外の項目はFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外の項目は登録した内容が表示されます。

個人データを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。

1 「自局番号」

「自局番号画面」が表示されます。
自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、機能メニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

自局番号画面

機能メニュー ➡P.415

自局番号画面の機能メニュー

個人データ編集	個人データを編集します。 「個人データを登録する」→P.416
全データ表示	**▶端末暗証番号を入力▶ で内容を確認**
名前コピー	個人データに登録されている名前をコピーします。 コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498
電話番号コピー※1	個人データに登録されている電話番号をコピーします。 コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
miniSDへコピー	「FOMA端末とminiSDメモリーカード間でコピーできるデータについて」→P.375
電話番号削除※2	個人データに登録されている電話番号を削除します。
個人データ初期化	**▶端末暗証番号を入力▶「YES」** 自局番号以外の個人データを初期化（削除）して、お買い上げのときの状態に戻します。 「全データ表示」で個人データを表示している場合は、端末暗証番号を入力する必要はありません。

※1： 選択している項目によって以下のようになります。
- ・メールアドレスを選択しているときは「メールアドレスコピー」になります。
- ・住所を選択しているときは「住所コピー」になります。
- ・誕生日を選択しているときは「誕生日コピー」になります。
- ・メモを選択しているときは「メモコピー」になります。

※2： 選択している項目によって以下のようになります。
- ・メールアドレスを選択しているときは「メールアドレス削除」になります。
- ・住所を選択しているときは「住所削除」になります。

次ページにつづく

・誕生日を選択しているときは「誕生日削除」になります。
・メモを選択しているときは「メモ削除」になります。
・静止画を選択しているときは「静止画削除」になります。

個人データを登録する

1 MENU▶ユーザデータ▶「自局番号」▶[編集]▶端末暗証番号を入力

2 それぞれの項目を設定

項目	操作・説明
名前	▶名前を入力 お客様の名前を入力します。名前は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。
フリガナ	▶フリガナを入力 お客様の名前のフリガナを入力します。「名前」を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。フリガナは半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力でき、半角で32文字まで入力できます。
電話番号	▶電話番号を入力▶アイコンを選択 自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。 新しく電話番号を登録すると、個人データの編集画面に「 <追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。
メールアドレス	▶メールアドレスを入力▶アイコンを選択 メールアドレスを入力してアイコンを選択します。メールアドレスは半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。 1件目のメールアドレスを登録すると、個人データの編集画面に「 <追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。
住所	▶郵便番号を入力▶住所を入力 郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。
誕生日	▶誕生日を入力 誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。
メモ	▶メモを入力 メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを入力でき、全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。
静止画	個人データで表示される静止画を設定します。
・カメラ撮影	カメラが起動します。撮影した静止画を設定できます。
・静止画選択	▶フォルダを選択 静止画を選択します。
・静止画解除	設定されている静止画を解除します。

3 [完了]

おしらせ
●自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録しても、本機能のメールアドレスは自動的に変更されませんので、本機能のメールアドレスも変更してください。

〈通話中音声メモ／待受中音声メモ〉

相手の声や自分の声を録音する

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。
● 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
● 録音できる時間は約20秒です。
● 録音した音声メモの再生、消去について→P.79

通話中に相手の声を録音する

音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できます。ボタン操作1回で必要な用件をすばやく録音できます。

1 通話中▶[メモ／確認]（1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

音声通話中の場合

■ 録音を途中でやめる場合
▶、CLR、または[メモ／確認]（1秒以上）
を押した場合は、通話も終了します。
ただし、テレビ電話中はCLRを押しても録音を中断することはできません。

おしらせ
●録音中に電話がかかってきたときや「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

● 機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。
● 音声電話を通話中保留にしている場合、次の操作で「通話中音声メモ」を起動して録音できます。
▶MENU▶（生活ツール）▶「通話中音声メモ」

待受中に自分の声を録音する MENU 4 3

1 MENU▶▶「待受中音声メモ」▶「YES」▶音声メモを録音

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「生活ツール」の一覧画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合
▶●、CLRまたはPWR
PWRを押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

■お願い
● 音声メモの内容は、別にメモを取ったりして保管することをおすすめします。
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、録音した音声メモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え録音した音声メモの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

〈おしゃべり機能〉 MENU 9 1

アラーム音や応答保留音を録音／再生する

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定できます。
● 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
● 録音できる時間は約15秒です。
● 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
・着信音
・非通知着信設定の着信音
・マルチナンバーの着信音
・応答保留音
・通話中保留音
・伝言メモの応答メッセージ
・めざまし時計のアラーム通知音
・スケジュールのアラーム通知音
・To Doリストのアラーム通知音
・通話料金通知のアラーム通知音

音声を録音する

1 MENU▶▶「おしゃべり機能」▶録音したい項目を選択▶「YES」

おしゃべり機能画面

2 音声を録音
送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合
▶●、CLRまたはPWR
録音中にPWRを押した場合、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ
● 録音済みの音声がある場合は、録音できません。録音済みのデータを消去すると、録音可能になります。
● 録音中に音声電話、プッシュトークの着信があったときや「めざまし時計」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生

1 MENU▶▶「おしゃべり機能」▶再生したい項目を選択

■ 再生を途中でやめる場合
▶●、CLRまたはPWR

おしゃべり機能画面の機能メニュー

録音	音声を録音します。
再生	録音した音声を再生します。
消去	録音した音声を消去します。

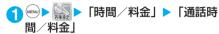
〈通話時間／料金〉 MENU 6 1

通話時間・料金を確認する

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。
● 音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、前回通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、前回通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
● 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間+64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。

次ページにつづく

● 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥**」が表示されます。
● 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。
　※： 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積されますが表示することはできません。
● 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
● 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

1
MENU▶（各種設定）▶「時間／料金」▶「通話時間／料金」

以下の情報が確認できます。

前回通話時間	直前の通話時間の目安を表示 発信、着信どちらの通話でも表示します。
前回通話料金	直前の通話料金の目安を表示 「音声通話」は音声電話の料金、「デジタル」はテレビ電話、64Kデータ通信の料金を表示します。
積算通話時間	前回リセットしたとき（「0秒」に戻したとき）から現在までの積算時間を表示 「音声通話」は音声電話の積算通話時間、「デジタル」はテレビ電話と64Kデータ通信の積算通話時間を表示します。
積算通話料金	前回リセットしたときから現在までの積算通話料金の目安を表示 積算通話料金は音声電話通話料金とデジタル通信通話料金（テレビ電話通話料金＋64Kデータ通信料金）の合計が表示されます。
前回積算時間リセット日時	前回に積算通話時間リセットした日時を表示
前回積算料金リセット日時	前回に積算通話料金リセットをした日時を表示

おしらせ
●前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
●プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『iモード操作ガイド』をご覧ください。
●着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
●電源を切ると、前回通話時間は「0秒」、前回通話料金は「¥**」に戻ります。
●電源を切っても、積算通話時間、積算通話料金の情報は残ります。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする〈積算リセット〉

MENU 6 0

「通話時間／料金」に表示される積算通話時間および積算通話料金をゼロに戻すことができます。

1 **MENU▶（各種設定）▶「時間／料金」▶「積算リセット」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

積算通話時間リセット	積算通話時間をリセットします。
積算通話料金リセット	▶「YES」▶PIN2コードを入力 積算通話料金をリセットします。

積算通話料金の自動リセットを設定する〈積算料金自動リセット〉

お買い上げ時 OFF

毎月1日のAM0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定できます。

1 **MENU▶（各種設定）▶「時間／料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力**

2 **「自動リセット設定」▶以下の項目から選択**

ON	▶PIN2コードを入力 自動リセットを設定します。 PIN2コードについて→P.153
OFF	自動リセットを設定しません。

おしらせ
●パケット通信中でも積算通話料金は自動リセットされます。
●通話中に自動リセットが行われる日時になった場合は、通話が終了したときに自動リセットが行われます。
●電源を切っている間に自動リセットが行われる日時になった場合は、次回電源を入れたときにPIN2コードを入力後、自動リセットが行われます。
●積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
●積算料金自動リセットを「ON」に設定すると、FOMA端末の電源を入れたときにPIN2コードの入力画面が表示されます。
●次の場合は積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
　・FOMAカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
　・PIN2コード入力画面でCLRを押したとき
　・PIN2コードがロックされたとき→P.153
　・FOMAカードに異常があるとき

〈通話料金通知〉

通話料金の上限を設定して知らせる

お買い上げ時	料金上限値：未設定 上限値通知設定：通知しない

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「時間／料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力

2 それぞれの項目を設定

上限料金の設定	10円～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。
通知設定	
・上限値通知設定	通話料金通知を行うかどうかを設定します。 「通知しない」に設定すると通話料金通知をしません。 「通知する」に設定すると、「アラーム音選択」と「アラーム音量」の設定に従って通話料金通知をします。
・アラーム音選択	アラーム音を選択します。お客様が作成したフォルダがあるときは「プリインストール」の項目の次に表示されます。「プリインストール」フォルダから「時刻アラーム音」が選択できます。 「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.128
・INBOX	サイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディをアラーム音に選択します。
・プリインストール	あらかじめ登録されている着信音やメロディからアラーム音を選択します。
・おしゃべり	「おしゃべり機能」に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」からアラーム音を選択します。 「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.417
・OFF	アラーム音を鳴らしません。
・アラーム音量	でアラーム音量を設定します。 「着信音の音量を調節する」→P.71

3 [完了]

おしらせ

- オリジナルマナーモード設定中のアラーム音の音量は、「オリジナルマナー」の「電話着信音量」で設定した音量になります。
- プッシュトーク、iモード通信、パケット通信の通信料金は本機能の対象外です。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『iモード操作ガイド』をご覧ください。

● アラーム通知の動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■ 上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。

アラーム音をとめるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたはを押すと、待受画面に「上限」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが表示されます。

■ 上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「上限」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが表示されます。

●「上限」（通話料金通知）の内容を確認する

待受画面に表示された「上限」（通話料金通知）のデスクトップアイコンを選択すると、通話料金通知の内容を確認できます。

1 待受画面表示中▶●▶「上限」▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」のアラーム情報が表示されます。

2 内容を確認▶●

待受画面に戻り、「上限」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが消えます。

おしらせ

- 「上限料金の設定」で上限料金の金額を変更した場合、「上限」（通話料金通知）のデスクトップアイコンは消えます。
- 「アラーム音選択」を「OFF」に設定している場合、アラーム通知は動作しません。

その他の便利な機能 通話料金通知

次ページにつづく

● 上限料金を積算通話料金より低く設定すると、設定直後の発信または着信した通話の終了後に通話料金通知のアラーム通知が動作します。
● アラーム通知をするとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを「アラーム通知設定」(P.406)で設定できます。

〈電卓〉 MENU 8 5

電卓として使う

FOMA端末で四則演算(+、−、×、÷)を行うことができます。
● 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
● 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 ▶ ▶「電卓」▶計算

入力した数字、計算結果が表示されます。

■「23+57」を計算する場合

2	3	+	5	7	=
2	3	◎	5	7	●

■ 負の数を計算する場合

先頭の数字に「−」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

−	2	3	+	5	7	=
◎	2	3	◎	5	7	●

おしらせ

● CLR(AC または C)は、次のようなときに使います。
・+、−、×、÷、=を押した後は AC の表示となり、CLR を押して計算を最初からやり直すことができます。
・数字や小数点の入力中は C の表示となり、CLR を押して打ち間違えた数字や小数点を消去することができます。

〈テキストメモ〉 MENU 4 2

テキストメモを作成する

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成できます。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。
● テキストメモは10件まで登録できます。
● テキストメモは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。

テキストメモを登録する

1 MENU ▶ 生活ツール ▶「テキストメモ」

「テキストメモ画面」が表示されます。

テキストメモ画面

機能メニュー ➡P.420

2「<未登録>」を反転表示して ◯[編集]

■ すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合
▶変更する項目を選択▶ ◯[編集]

3 内容を入力

おしらせ

●「テキストメモ画面」で「<未登録>」を反転表示して ● を押しても、テキストメモを登録することができます。

■ お願い

● 登録したテキストメモの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(P.513)とFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用して、テキストメモの内容をパソコンに保管することもできます。
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したテキストメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したテキストメモの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いします。

テキストメモの内容を確認する

1 MENU ▶ 生活ツール ▶「テキストメモ」▶内容を確認したい項目を選択▶内容を確認

テキストメモ
すみません。電車のダイヤが乱れているため、少し遅刻します。

テキストメモ画面の機能メニュー

編集	用件を編集します。
iモードメール作成	「iモードメールを作成して送信する」→P.251

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

スケジュール作成	「スケジュールを登録する」→P.411
デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147
赤外線送信	「データを1件ずつ転送する」→P.385
赤外線全送信	「データをまとめて転送する」→P.386
miniSDへコピー	
・1件コピー	選択したテキストメモをコピーします。
・選択コピー	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のテキストメモをコピーします。
・全コピー	すべてのテキストメモをコピーします。
テキストメモ情報	作成日時や分類を確認します。
分類	テキストメモを「なし」、「プライベート」、「休日」、「旅行」、「仕事」、「会議」から選択して分類します。
削除	
・1件削除	テキストメモを1件削除します。
・選択削除	▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」 複数のテキストメモを削除できます。
・全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 テキストメモをすべて削除します。

〈辞典〉

辞典を利用する

● その他の機能から辞典を利用する→P.422

辞典を起動する

1 ▶「辞典」

「辞典画面」が表示されます。

辞典画面

機能メニュー➡P.421

2 以下の項目から選択

直接入力	▶単語を入力 全角で32文字、半角で64文字まで入力できます。
アクセスリーダー	▶「辞典（日本語）」または「辞典（英語）」▶文字を読み取る アクセスリーダーから単語を入力します。 「文字を読み取る」→P.199
検索履歴	以前検索した単語の履歴から検索することができます。 「検索履歴を使う」→P.421

3 辞典の種類を選択

「検索結果画面（一覧）」が表示されます。

■ 前後の一覧を表示させたい場合
▶「検索結果画面（一覧）」▶

➡

検索結果画面（一覧）

機能メニュー➡P.422

4 検索結果の一覧から単語を選択

「検索結果画面（詳細）」が表示されます。

■ 前後の単語を表示させたい場合
▶「検索結果画面（詳細）」▶

検索結果画面（詳細）

機能メニュー➡P.422

辞典画面の機能メニュー

デスクトップ貼付	「デスクトップアイコンを利用する」→P.147

検索履歴を使う

1 「辞典画面」（P.421）▶「検索履歴」

「検索履歴画面」が表示されます。

2 単語を選択

検索履歴画面

機能メニュー➡P.421

検索履歴画面の機能メニュー

1件削除	検索履歴を1件削除します。
全削除	検索履歴をすべて削除します。

検索結果画面（一覧）の機能メニュー

コピー	辞典の検索結果の単語の【】内の文字をコピーします。 コピーした単語は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498
別の辞典で検索	検索した単語を別の辞典で検索します。

検索結果画面（詳細）の機能メニュー

コピー	辞典の検索結果（詳細）で設定した範囲の文字をコピーします。 コピーした文字は、入力画面などで貼り付けることができます。 「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498
結果詳細から検索	「検索結果の詳細画面からさらに検索する」→P.422
別の辞典で検索	検索した単語を別の辞典で検索します。
参照編集	検索結果を見ながら文字編集をすることができます。 辞典が文字編集画面から起動されていて、起動元の文字編集画面が、操作画面と文字編集画面を表示できない場合に表示されます（テキストメモや電話帳の文字編集画面など）。 「操作する画面を切り替える」→P.500

検索結果の詳細画面からさらに検索する

1. 検索結果画面（詳細）の機能メニュー（P.422）▶「結果詳細から検索」
2. ▶検索したい文字のはじめの位置で◉
3. ▶検索したい文字の終わりの位置まで反転表示して◉
4. 辞典の種類を選択
5. 検索結果の一覧から単語を選択

その他の機能から辞典を利用する

以下のそれぞれの画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。

・文字編集画面を表示中
・送信メール、受信メールの詳細画面または新規メール作成の本文入力画面を表示中
・サイトのページまたは画面メモを表示中

■文字編集画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、文字編集画面から調べたい単語を範囲選択することができます。

■送信メール、受信メールの詳細画面または新規メール作成の本文入力画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、送信メールまたは受信メールの本文、新規メール作成中のメールから調べたい単語を範囲選択することができます。

■サイトのページまたは画面メモから辞典を起動すると

「直接入力」「サイト参照入力」「検索履歴」から選択することができます。
「サイト参照入力」を選択すると、サイトのページや画面メモを見ながら調べたい単語を入力することができます。

●辞典の参照画面について

「参照編集」または「サイト参照入力」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。
機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。
ニューロポインターを操作したい画面に移動させても切り替えができます。

■検索結果詳細画面から参照編集を選択した場合

①辞典の詳細画面を表示します。
②文字編集画面を表示します。
③区切り線を表示します。
辞典を終了するときは、①の画面に切り替えて［終了］を押します。

■サイトのページまたは画面メモからサイト参照入力を選択した場合

①サイトのページや画面メモの画面を表示します。
②検索語入力画面を表示します。
③区切り線を表示します。
検索語を入力したら、◉を押します。検索語が入力された辞典選択の画面になります。

その他の便利な機能　辞典

〈スイッチ付イヤホンマイク〉

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを使って電話をかけたり、受けたりします。

- 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P.28
- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、スイッチを押して電話を受けたり電話を切ったときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴っているときに平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、音声電話、プッシュトークを受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

スイッチを使って電話をかける

- スイッチを使って音声電話をかけることができます。

1 待受画面表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「自動発信設定」（P.423）で設定した電話番号に電話がかかります。
FOMA端末を折り畳んだ状態でも、スイッチを1秒以上押すと「自動発信設定」で設定した電話番号に音声電話がかかります。

■ 電話帳一覧画面から電話をかける場合

▶「電話帳一覧画面」▶かけたい電話帳を選択▶スイッチを1秒以上押す

「ピッ」という音が鳴り、電話帳に登録されている1番目の電話番号に電話がかかります。
「リダイヤル／発信履歴画面（一覧）」、「着信履歴画面（一覧）」から電話をかけることもできます。

■ 電話帳詳細画面などから電話をかける場合

▶「電話帳詳細画面」▶かけたい電話番号を選択▶スイッチを1秒以上押す

「ピッ」という音が鳴り、選んだ電話番号に電話がかかります。
「リダイヤル／発信履歴画面（詳細）」、「着信履歴画面（詳細）」から電話をかけることもできます。また、「電話番号入力画面」でスイッチを1秒以上押して電話をかけることもできます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってきたら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

FOMA端末を折り畳んだ状態でスイッチを押してもかかってきた電話を受けることができます。

■ 音声電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。

■ テレビ電話を受ける場合

「ピッ」という音が鳴り、自画像でテレビ電話に出ます。機能メニューから「代替画像切替」を選択すると代替画像に切り替えることができます。

■ プッシュトークに参加する場合

確認音が鳴り、プッシュトークに参加します。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

- 「通知音出力切替」で平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときにイヤホンとスピーカから着信音などが鳴るように設定できます。
- 「着信音量」の「電話」、「テレビ電話」、「プッシュトーク」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、着信音は鳴りません。ただし、マナーモードが「オリジナルマナー」で「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は着信音が鳴ります。
- 「キャッチホン」（P.435）をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり放したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

〈自動発信設定〉

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

お買い上げ時 OFF

通話する相手を設定しておけば、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、スイッチを1秒以上押すだけで音声電話をかけることができます。

- 本機能には、FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている電話番号を設定できます。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でも、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して音声電話をかけることができます。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「発信」▶「自動発信設定」▶「ON」

■ 自動発信をしない場合

▶「OFF」

次ページにつづく

2「電話帳詳細画面」(P.115)▶設定したい電話番号を表示▶◉

電話帳の検索のしかた→P.116

おしらせ

- 電話番号が登録されていない電話帳や、FOMAカードの電話帳、プッシュトーク電話帳は設定できません。
- 本機能に設定した電話帳を削除した場合は、本機能を「ON」に設定しても平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを使った発信ができなくなります。

〈オート着信〉 MENU 9 4

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	オート着信：OFF　呼出時間：6秒

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを自動で受けるように設定できます。

- 音声電話中、テレビ電話中、プッシュトーク通信中、64Kデータ通信中は自動で電話を受けません。
- FOMA端末を折り畳んだ状態でも自動で電話を受けることができます。

1 MENU▶各種設定▶「外部接続」▶「オート着信」▶以下の項目から選択

ON	▶呼出時間（001～120秒）を入力 オート着信を有効にします。着信から呼出時間が経過すると自動で電話を受けます。 時間は3桁で入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉を押します。
OFF	オート着信を無効にします。

おしらせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。テレビ電話中に機能メニューから「自画像切替」を選択して代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。
- オート着信の呼出時間は「伝言メモ」の呼出時間や「遠隔監視設定」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。
- 「留守番電話サービス」(P.432)や「転送でんわサービス」(P.436)を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間がオート着信の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず、オート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

〈イヤホン接続時マイク切替〉

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ

お買い上げ時 イヤホンマイク

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに使うマイクをFOMA端末のマイクにするか、イヤホンマイクのマイクにするかを設定できます。

1 MENU▶各種設定▶「外部接続」▶「イヤホン接続時マイク切替」▶以下の項目から選択

端末マイク	スイッチ付きイヤホンマイクなどを接続した場合、端末側マイクが有効。マイクのないイヤホンを接続する場合は、必ずこちらに設定します。
イヤホンマイク	スイッチ付きイヤホンマイクなどを接続した場合、イヤホン側マイクが有効。

おしらせ

- 「イヤホン接続時マイク切替」を「端末マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

〈ネットワーク接続モード選択〉

利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時 DoCoMo

※ドコモをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

FOMAサービスを提供する通信事業者名を設定できます。

- 2005年11月現在、DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。

1 MENU▶各種設定▶「ネットワーク設定」▶「ネットワーク接続モード選択」▶「マニュアル」▶通信事業者名を選択

〈設定リセット〉 MENU 2 3

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能の設定をお買い上げのときの設定内容に戻すことができます。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。
間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。
→P.428

- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げのときの設定内容に戻りません。
- iモード機能の設定をお買い上げのときの状態に戻すには、「iモード設定リセット」を行ってください。→P.231
- メール機能の設定をお買い上げのときの状態に戻すには、「メール設定リセット」を行ってください。→P.300
- フルブラウザ機能の設定をお買い上げのときの状態に戻すには、「フルブラウザ設定リセット」を行ってください。→P.340

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ リセットしない場合
▶「NO」

設定リセットされる機能一覧

機能名	お買い上げ時の設定
各種設定	
着信	
・**着信音量**	電話：レベル4 テレビ電話：レベル4 プッシュトーク：レベル4 メール：レベル4 チャットメール：レベル4 メッセージR：レベル4 メッセージF：レベル4
・**着信音選択**	電話：着信音1 テレビ電話：着信音1 プッシュトーク：着信音1 メール：着信音2 チャットメール：着信音2 メッセージR：着信音3 メッセージF：着信音3
・**サウンド効果**	サラウンド設定：OFF 3Dサウンド設定：ON SRS_WOW設定：OFF
・**バイブレータ**	電話：OFF テレビ電話：OFF プッシュトーク：OFF メール：OFF チャットメール：OFF メッセージR：OFF メッセージF：OFF
・**着信イルミネーション**	電話：色5 テレビ電話：色5 プッシュトーク：色5 メール：色1 チャットメール：色3 メッセージR：色1 メッセージF：色1 パターン設定：固定パターン カラー名：色1～12 カラー調節：初期値
・**マナーモード選択**	マナーモード （オリジナルマナーの設定：初期値→P.134）
・**電話帳画像着信設定**	ON
・**着信アンサー設定**	エニーキーアンサー
各種設定	
着信	
・**メール/メッセージ鳴動**	メール：ON 鳴動時間設定：5秒 チャットメール：ON 鳴動時間設定：5秒 メッセージR：ON 鳴動時間設定：5秒 メッセージF：ON 鳴動時間設定：5秒
・**呼出時間表示設定**	無音時間設定：OFF 無音時間：1秒 時間内不在着信表示：表示する
・**確認機能設定**	日本語表示のとき：ボイス（名前通知：OFF） 英語表示のとき：ON
・**伝言メモ**	OFF 応答メッセージ：標準 呼出時間：8秒
通話	
・**ノイズキャンセラ**	ON
・**通話品質アラーム**	アラーム高音
・**再接続機能**	アラームなし
・**通話中イルミネーション**	OFF
・**保留音設定**	応答保留音：応答保留音1 通話中保留音：エリーゼのために
・**クローズ動作設定**	終話
発信	
・**サブアドレス設定**	ON
・**プレフィックス設定**	「WORLD CALL」（009130010） ユーザ設定：未登録状態に戻す
・**自動発信設定**	OFF
・**国際ダイヤル設定**	自動付加設定：自動付加 国際電話設定：「WORLD CALL」（009130010） 国番号設定：「アメリカ」（国番号：1） ユーザ設定：未登録状態に戻す
テレビ電話	
・**送信画質設定**	標準
・**画像選択**	応答保留選択：内蔵 通話保留選択：内蔵 代替画像選択：キャラ電（ブンブン（Dimo）） 伝言メモ選択：内蔵 伝言メモ準備選択：内蔵 音声メモ選択：内蔵
・**音声自動再発信**	OFF
・**遠隔監視設定**	対局番号登録：未設定 応答時間設定：5秒 設定：OFF
・**テレビ電話画面設定**	親画面表示：親画面相手画像表示 内側カメラ反転表示：ON

次ページにつづく

機能名	お買い上げ時の設定
各種設定	
テレビ電話	
・ハンズフリー切替	ON
ディスプレイ	
・画面表示設定	待受画面：カクテル ウェイクアップ表示：Flying Airplane ウェイクアップメッセージ：未入力状態に戻す 電話発信：スタンダード 電話着信：スタンダード テレビ電話発信：スタンダード テレビ電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード
・照明設定	通常時：ON（点灯）＋省電（待ち時間5分） 充電時：標準 範囲：液晶＋ボタン 明るさ：レベル2
・画面デザイン	配色パターン：スタンダード 背景パターン1：OFF 背景パターン2：背景色1
・イメージウィンドウ	設定：ON 待受表示固定：OFF 待受画面表示：アナログ時計1（ピクト表示：ON） 背景設定：プリインストール（カクテル） 着信表示：ON（画像＋着信番号） メール表示：OFF 通信中表示：ON（バックライト：OFF） 背面iアプリ：OFF
・フォント設定	文字パターン：フォント1 太さ：中太字
・デスクトップ	フォトモード
・オリジナルメニュー	自局番号 iモード問い合わせ 着信音量 バイブレータ めざまし時計 端末暗証番号変更
・メニュー画面設定	ガイダンス表示：絵と文 メニュー表示：一覧表示 テーマ：レイヤード
・ピクチャ表示設定	ピクチャ一覧
・オート表示	OFF
・表示アイコン設定	ON
時間／料金	
・通話料金通知	料金上限値：未設定 上限値通知設定：通知しない アラーム音選択：時刻アラーム音 アラーム音量：レベル4
・積算料金自動リセット	OFF
・通話中時間表示	ON

機能名	お買い上げ時の設定
各種設定	
時計	
・時計設定	自動時刻補正する
・待受時計表示	表示方法： 日本語表示のとき：日本語 英語表示のとき：ON 表示サイズ：大きく表示 表示時計種別：世界時計なし
・世界時計設定	タイムゾーン：GMT+00（都市名：ロンドン） サマータイム：OFF
・アラーム通知設定	通知優先
ロック／セキュリティ	
・遠隔オールロック	OFF 許可番号：未登録状態に戻す 監視時間：3分 着信回数：5回
・シンプルロック	無効
・ICカードロック	解除
・セルフモード	解除
・ダイヤル発信制限	解除
・登録外着信拒否	許可
・非通知着信設定	すべて許可／通常着信音と同じ
・履歴表示設定	着信履歴：ON リダイヤル／発信履歴：ON
・スキャン機能	スキャン機能設定：ON
アプリケーション通信設定	
・接続待ち時間設定	60秒間
・iモード問い合わせ設定	メール：ON メッセージR：ON メッセージF：ON
・接続先選択	iモード ユーザ指定接続先：未登録状態に戻す
・SMS center設定	ドコモ ユーザ設定：未登録状態に戻す
・証明書	すべて有効
・証明書センター接続設定	ドコモ ユーザ指定接続先：未登録状態に戻す
iアプリ設定	
・ソフト情報表示設定	表示しない
・iアプリ音量	レベル4
トルカ設定	
・外部R/Wからの取得	許可する
・スクロール設定	1行スクロール
外部接続	
・USBモード設定	通信モード

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

機能名	お買い上げ時の設定
各種設定	
外部接続	
・**通知音出力切替**	イヤホン（イヤホンのみ）
・**イヤホン接続時マイク切替**	イヤホンマイク
・**オート着信**	OFF 呼出時間：6秒
その他	
・**ボタン確認音**	ON
・**充電確認音**	ON
・**外部ボタン操作**	閉じた時有効
・**文字入力方式**	入力モード：すべて有効 優先入力方式：モード1（かな方式） ワード予測：ON ガイダンス表示：ON T9変換モード：T9漢字変換モード
・**ニューロポインター設定**	ポインター表示：ON 簡易設定：速度（標準）
生活ツール	
・**カメラ**	フォトモード 画像サイズ選択：CIF（352×288） 画像保存設定：ファイン 画質調整 撮影モード選択：オート ホワイトバランス設定：オート 画像チューニング：自動 シャッター音選択：シャッター音1 画像保存先選択：本体（カメラフォルダ） ムービーモード 画像サイズ選択：QCIF（176×144） 動画容量設定：メール（小） 動画保存設定：標準 画質調整 撮影モード選択：ポートレート ホワイトバランス設定：オート 画像チューニング：自動 動画シャッター音選択：シャッター音1 動画保存先選択：本体（カメラフォルダ）

機能名	お買い上げ時の設定
生活ツール	
・**カメラ**	フォトモード／ムービーモード共通 カメラ設定：外側カメラ セルフタイマー設定：OFF（時間：10秒） 自動保存設定：OFF ファイル制限：なし 表示サイズ設定：等倍表示 手ブレ補正設定：オート （連続撮影の設定→P.183）
・**スケジュール**	1ヶ月表示 ユーザアイコン設定：未登録状態に戻す
・**めざまし時計**	すべてOFF
・**電話帳画像転送**	する
サービス	
・**着信動作選択**	通常着信
・**マルチナンバー**	着信音設定：通常着信音と同じ
電話帳	
電話帳	
・**発着信識別機能**	すべて解除
・**電話帳指定設定**	すべて解除
プッシュトーク電話帳	
・**プッシュトーク設定**	自動応答設定：自動応答なし 呼出時間設定：30秒 番号通知設定：通知しない 発言開始メロディ選択：OFF iモード通信中着信設定：プッシュトーク着信優先 プッシュトーク通信中着信設定：着信拒否
ユーザデータ	
・**定型文**	固定定型文初期化 （フォルダ名はフォルダ1、2）
データBOX	
・**マイピクチャ**	ソート：新しい順 画像表示設定：標準
・**iモーション**	再生音量：レベル4 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末本体）、名前＋画像（miniSD） ソート：新しい順 連続再生設定：OFF 画像表示設定：標準
・**メロディ**	ソート：新しい順 連続再生設定：OFF
・**キャラ電**	キャラ電撮影：フォトモード 代替画像設定：ブンブン（Dimo） 画像表示設定：画面サイズで表示 画像サイズ選択：QCIF（176×144） 撮影種別設定：映像＋音声 動画保存設定：標準 画像保存設定：ファイン 動画容量設定：メール（小）

次ページにつづく

機能名	お買い上げ時の設定
データBOX	
・マイドキュメント	ソート：新しい順
・ミュージック	音量：レベル10 再生モード：通常 一覧表示切替：タイトル表示 オフタイマー：90分 SRS_WOW設定：レベル10 イコライザ設定：OFF リピート設定：OFF
その他の機能	
・受話音量	レベル4
・マナーモード	解除
・公共モード（ドライブモード）	解除
・テレビ電話中の機能メニュー「テレビ電話設定」	明るさ調節：0
・テレビ電話中の機能メニュー「照明設定」	常時点灯
・電話帳検索のラストワン機能※	フリガナ検索

※：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選択していた機能が、次の操作のときにあらかじめ選択されている機能です。

〈端末初期化〉

FOMA端末をお買い上げのときの状態に戻す

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、iアプリ、ドキュメント（PDFデータ）、カメラで撮影した写真（静止画）や動画など、お客様の大切なデータがすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているキャラ電やドキュメント（PDFデータ）を削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- お買い上げ時に戻る設定については、「設定リセット」（P.424）を参照してください。
- 「設定リセット」の対象となる機能と次の機能やデータは、お買い上げ時の状態に戻ります。

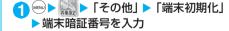
・メールデータ
・メールのフォルダ
・テンプレート
・カラーパレットの履歴
・チャットメールのチャットメンバー
・メール設定
・Bookmark
・画面メモ
・ラストURL
・Internet
・メッセージ
・iモード設定
・ホーム
・フルブラウザ設定
・チャネル一覧
・iチャネルの問い合わせタイマー
・ソフト一覧
・iアプリの自動起動設定
・iアプリ実行情報※1
・通話時間／料金
・時計設定（日付・時刻）
・ポーズダイヤル
・端末暗証番号
・To Doリスト
・テキストメモ
・メモの再生／消去
・動画メモの再生／消去
・音声メモ
・おしゃべり機能
・アクセスリーダー
・バーコードリーダー
・辞典
・追加サービス
・マルチナンバー（電話番号登録）
・電話帳
・プッシュトーク電話帳
・グループ設定
・着信履歴
・リダイヤル／発信履歴
・受信アドレス一覧
・送信アドレス一覧
・メールメンバー
・チャットグループ
・ユーザ辞書
・ダウンロード辞書
・お客様が追加したデータ※2

※1：お買い上げ時に登録されているiアプリ（バージョンアップした場合、一度削除して再度ダウンロードした場合を除く）の実行情報は、お買い上げ時の状態に戻りません。
※2：登録したデータ、ダウンロードしたデータ、iアプリのソフト、カメラで撮影した静止画や動画などです。

- お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げのときの状態に戻ります。
- シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信やメールの受信などもできません。

- 「端末初期化」を行うと、FOMA端末をお買い上げのときの状態に戻ります。
FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、データリンクソフト（P.513）やminiSDメモリーカード（P.372）を利用して保管することをおすすめします。

1 MENU▶各種設定▶「その他」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

＊ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

❷「YES」▶「YES」

端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動します。

■ 端末初期化が正常に終了しなかった場合

▶電源が入った後に「OK」

再度初期化が実行されます。

おしらせ

- 以下の場合、iアプリは端末初期化を行うと削除されます。
  - ・お買い上げ時に登録されているiアプリをバージョンアップした場合
  - ・お買い上げ時に登録されているiアプリを一度削除して再度ダウンロードした場合
  - ・ご購入後にダウンロードしたiアプリ

  お買い上げ時に登録されているiアプリは、「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」のサイトからダウンロードできます。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。→P.212
- 端末初期化を行った場合、iチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ⓒⓗを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- おサイフケータイ対応iアプリとICカード内のデータは削除されません。
- ほかの機能が動作中は、初期化できません。
- FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- 端末初期化によって削除されるデータが多い場合は初期化に時間がかかることがあります。

ネットワークサービス

本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、便利なドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法は以下のようになります。

サービス名称	内容	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス →P.432	お客様に代わって伝言をお預かりします。	必要	有料
キャッチホン →P.435	お客様が通話中でも、新たに別の相手からかかってきた電話を受けることができます。	必要	有料
転送でんわサービス →P.436	あらかじめ登録したほかの電話に転送します。	必要	無料
迷惑電話ストップサービス →P.437	いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの着信を自動的にストップします。	必要	無料
発信者番号通知サービス→P.52	電話をかけたときにお客様のFOMA端末の電話番号を相手にお知らせします。	不要	無料
番号通知お願いサービス→P.438	番号を通知しないで電話をかけてきた相手に、電話番号を通知してかけ直すようお願いするガイダンスで応答します。	不要	無料
公共モード（ドライブモード）→P.73	電話をかけてきた相手に、運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。	不要	無料
デュアルネットワークサービス →P.439	1つの電話番号をFOMA端末とmova端末で共用できます。	必要	有料
英語ガイダンス →P.439	発着信時の音声ガイダンス、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを英語に設定できます。	不要	無料
マルチナンバー →P.442	基本契約番号のほかに、付加番号を登録し、番号を使い分けることができます。	必要	有料
SMS（ショートメッセージ）→P.306	短い文字メッセージを手軽に送受信できます。	不要	無料
iモード →P.206	サイト（番組）接続やiモードメールなどを利用できます。	必要	有料

- 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。
- ネットワークサービスセンターに接続して操作するネットワークサービスの場合は、「圏外」が表示されているところでは操作できません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、新しいサービスをメニューに登録できます（追加サービス）。→P.443

留守番電話サービス

お申し込み必要

留守番電話サービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどに音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
伝言メッセージは、日本全国のどこからでも確認できます。

- 「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から留守番電話サービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」（P.441）で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」（P.152）を利用して留守番電話サービスの操作ができます。
- 留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。

留守番電話サービスについて

伝言メッセージの録音時間は1件あたり約3分間、20件まで録音できます。

- 伝言メッセージは最大72時間保存されます。
- 相手からテレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを「開始」に設定していても、留守番電話サービスセンターに接続されず、留守番電話サービスの呼出時間に設定した時間経過後に切断されます。
- 留守番電話サービスは、「転送でんわサービス」（P.436）を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
- 「番号通知お願いサービス」（P.438）を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合は、番号通知お願いサービスの応答ガイダンスが流れ、伝言メッセージはお預かりできません。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

↓

お客様のFOMA端末に音声電話がかかる

↓

音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

↓

相手が伝言メッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

伝言メッセージを再生する

おしらせ

- 音声電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。「留守番サービス設定」で設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定していても、音声電話をかけたり、受けたりできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話は留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 通話中にかかってきた音声電話も留守番電話サービスセンターに接続できます。→P.440

留守番電話サービスを開始する

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「留守番サービス開始」▶「YES」

2「YES」▶呼出時間（000～120秒）を入力

0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

■ 呼出時間のみ変更する場合

▶「留守番呼出時間設定」▶呼出時間（000～120秒）を入力

■ 留守番電話サービスを停止する場合

▶「留守番サービス停止」▶「YES」

おしらせ

- 「伝言メモ」を同時に設定しているときに留守番電話サービスを優先させるには、留守番電話サービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」（P.167）で設定した無音時間設定が留守番電話サービスの呼出時間より長いと、着信音鳴動を行わず、留守番電話サービスに移行します。着信音鳴動を行ってから留守番電話サービスに移行させるには、留守番電話サービスの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。

留守番電話サービスの設定を確認する

留守番電話サービスの設定内容をセンターに問い合わせて確認できます。また、確認中に設定内容を変更することもできます。

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「留守番設定確認」

「留守番設定確認画面」が表示されます。
現在の留守番電話サービスの設定内容が確認できます。

留守番設定確認画面

機能メニュー➡P.433

留守番設定確認画面の機能メニュー

留守番サービス開始	留守番電話サービスを開始します。
留守番サービス停止	留守番電話サービスを停止します。
呼出時間設定	呼出時間を変更します。

音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更する

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「留守番サービス設定」▶「YES」

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

おしらせ
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0～9、＊、#)を行った場合、電源キーを押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度電源キーを押してください。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るように設定する〈件数増加鳴動設定〉

留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージが増えたとき、着信音を鳴らすことができます。
- 着信音を鳴らすことができるのは、待受画面を表示しているときのみです。
- 件数が増えたときの着信音は、「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「件数増加鳴動設定」▶「YES」

伝言メッセージがあるかどうか確認する〈メッセージ問い合わせ〉

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「メッセージ問い合わせ」

問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、待受画面に「1」(留守番電話アイコン)と「留守」(「留守番電話あり」のデスクトップアイコン)が表示されます。留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「1」、「2」、「3」…「+」(10件以上)と表示が変わります。

おしらせ
- 表示される伝言メッセージの件数は、新しくお預かりした伝言メッセージの件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

伝言メッセージを再生する

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「留守番メッセージ再生」▶「YES」

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

おしらせ
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0～9、＊、#)を行った場合、電源キーを押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度電源キーを押してください。

留守番電話アイコンを消去する

待受画面に表示された「1」(留守番電話アイコン)を消去します。

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「表示消去」▶「YES」

おしらせ
- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

着信通知を開始する

着信通知とはFOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMS（P.308）でお知らせするサービスです。
- 1通のSMSで、最大5件まで履歴が通知されます。
- SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。
- 設定および通知（SMSの受信）にかかる料金は無料です。
- 「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、本機能を設定できます。

1 MENU ▶ サービス ▶「留守番電話」▶「着信通知開始」▶以下の項目から選択

全着信	すべての着信を通知します。
発番号あり	番号を通知している着信のみ通知します。

■ **着信通知を停止する場合**
▶「着信通知停止」▶「YES」

■ **着信通知を確認する場合**
▶「着信通知開始設定確認」

ネットワークサービス
留守番電話サービス

キャッチホン

キャッチホンとは、音声通話中にかかってきた音声電話を受けることができるサービスです。また、通話中の音声電話を保留にして、新たに別の相手へ音声電話をかけることもできます。

- 「圏外」が表示されているところで、FOMA端末からキャッチホンの操作はできません。
- キャッチホンを使用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」（P.440）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- 「番号通知お願いサービス」（P.438）を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない音声電話がかかってきた場合、番号通知お願いサービスの応答ガイダンスが流れ、キャッチホンは動作しません。
- 以下のような場合、キャッチホンは動作しません。
  - ・110番、119番、118番、117番※、104番などの3桁の電話番号と通話しているとき
  - ・ダイヤル発信中および相手を呼び出し中のとき
  - ・1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
  - ・「留守番電話サービス」をご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間

  ※：117番と通話中に音声電話を着信した場合、「ププ...ププ...」という音が聞こえますが、電話に出ることはできません。
- 「キャッチホン」を未契約の場合、通話中に「ププ...ププ...」という音が聞こえても、あとからかかってきた電話には出ることができません。
- キャッチホンを開始し、「着信動作選択」を「通常着信」に設定していれば、音声通話中にテレビ電話の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときに、あとからかかってきた着信に応答することができます。ただし、この場合は通話中の音声電話やテレビ電話を終了する必要があります（現在の通話を保留にすることはできません）。→P.440

キャッチホンを開始する

1 MENU▶サービス▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス開始」▶「YES」

■ キャッチホンを停止する場合
▶「キャッチホンサービス停止」▶「YES」

■ キャッチホンの設定を確認する場合
▶「キャッチホンサービス設定確認」

おしらせ

- 音声電話を通話中保留にしているときに音声電話がかかってくると、保留が解除され通話中の状態になります。「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［発信］または［●］を押すと最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［発信］または［●］

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合
▶［終話］▶［発信］または［●］
あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合
▶［発信］
あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
［発信］を押すたびに通話の相手が切り替わります。
機能メニューから「保留呼切替」を選択しても通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合
▶［機能］▶「保留呼切断」

おしらせ

- 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話中の音声電話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。保留中の音声電話を終了して着信を受けるには、［●］を押し、機能メニューから「保留呼切断」を選択し、［発信］または［●］を押します。通話中の音声電話を終了して着信を受けるには、［●］を押し、［終話］を押した後、［発信］または［●］を押します。

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［終話］

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 ［発信］または［●］

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶(通話キー)

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。
電話帳を検索することもできます。
電話帳の検索のしかた→P.115

2 最初の相手との通話に切り替える

■ **新しくかけた相手との通話を終了する場合**
▶(終話キー)▶(通話キー)または(決定キー)
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ **新しくかけた相手との通話を保留にする場合**
▶(通話キー)
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。
(通話キー)を押すたびに通話の相手が切り替わります。
機能メニューから「保留呼切替」を選択しても通話の相手が切り替わります。

■ **保留中の音声電話を終了する場合**
▶(メニューキー)［機能］▶「保留呼切断」

おしらせ

- 通話中保留のときも電話をかけた方の料金は加算され続けます。
- 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってくると、保留か通話中の音声電話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。保留中の音声電話を終了して着信を受けるには、(決定キー)を押し、機能メニューから「保留呼切断」を選択し、(通話キー)または(決定キー)を押します。通話中の音声電話を終了して着信を受けるには、(決定キー)を押し、(終話キー)を押した後、(通話キー)または(決定キー)を押します。

転送でんわサービス　お申し込み必要

転送でんわサービスとは、「圏外」が表示されているとき、電源が入っていないときなどにかかってきた音声電話やテレビ電話を、ご家庭やオフィスなど、あらかじめ登録しておいた転送先に転送するサービスです。

- 「圏外」が表示されているところで、FOMA端末から転送でんわサービスの操作はできません。あらかじめ「遠隔操作設定」(P.441)で遠隔操作ができるように設定しておくと、FOMA端末から操作できないときにプッシュ式の一般電話や公衆電話などから、「ネットワーク暗証番号」(P.152)を利用して転送でんわサービスの操作ができます。

転送でんわサービスについて

- 転送先は1件登録できます。
- 相手からテレビ電話がかかってきたときは、転送先が3G-324M（P.82）に準拠したテレビ電話対応端末のときのみ転送します。
- 転送でんわサービスは、「留守番電話サービス」を「開始」に設定すると、自動的に「停止」になります。
- 「番号通知お願いサービス」(P.438) を「開始」に設定しているときに電話番号を通知しない電話がかかってきた場合は、番号通知お願いサービスの応答ガイダンスが流れ、転送されません。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

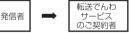
転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

転送でんわサービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者に通話料がかかります。　転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

- 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止、呼出時間設定の通信料は無料です。
- 転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、本機能の通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。
たとえば、転送先として東京の会社の電話番号を登録し、大阪出張の時に大阪で本機能を開始に設定。その後FOMA端末の電源を切ったままにしておくと、転送されるお客様負担分は大阪から東京の会社までとなります。
お出かけ先から戻ってきたら、電源を入れ直してください。位置登録が自動的に行われます。

おしらせ

- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりできます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった音声電話やテレビ電話は転送先に転送します。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

●サービスエリア外や電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者のご負担となります。
●通話中にかかってきた電話も転送できます。→P.440
●転送先からの申し出があり、必要なときには、お客様に代わって転送を中止することがありますのでご了承ください。
●転送でんわサービスを開始（転送中）にしている場合、コレクトコール（料金着信払電話）での転送はできません。

転送でんわサービスを開始する

1 MENU ▶ [サービス] ▶「転送でんわ」▶「転送サービス開始」

■ サービスを停止する場合
▶「転送サービス停止」▶「YES」

■ 転送先のみを変更する場合
▶「転送先変更」▶転送先の電話番号を入力
▶転送でんわサービスを「開始」にしている場合は「転送先変更」、「停止」にしている場合は「転送先変更＋転送開始」

■ サービスの設定を確認する場合
▶「転送サービス設定確認」

転送でんわ
1 転送サービス開始
2 転送サービス停止
3 転送先変更
4 転送先通話中時設定
5 転送サービス設定確認

2 転送先と呼出時間を設定する

■ 転送先を設定する場合
▶「転送先設定」▶転送先の電話番号を入力
設定すると「転送先設定」に「★」がつきます。
を押すと電話帳を検索して入力できます。
電話帳の検索のしかた→P.115

転送でんわ
1 転送先設定
2 呼出時間設定
3 開始

■ 呼出時間を設定する場合
▶「呼出時間設定」▶呼出時間（000～120秒）を入力
設定すると「呼出時間設定」に「★」がつきます。
0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
000～120以外の数字を入力すると、設定できない数値であることを通知するメッセージが表示されます。

3「開始」▶「YES」

おしらせ

●転送でんわサービスを「開始」に設定しても、転送先を3G-324M（P.82）に準拠したテレビ電話に対応した機器に設定していない場合は、かかってきたテレビ電話を転送できません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話を転送している間、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません（電話をかけた側が本FOMA端末の場合は、転送中のメッセージが画面に表示されます）。
●転送先として、フリーダイヤル、110番などの3桁の電話番号、クイックナンバーは指定できません。また、ドコモの携帯電話から発信できない番号も指定できません。
●社内専用電話（PBX）、ポケットベル*、FAXを転送先としたとき、かけてきた相手に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
●すでに転送先が設定されている場合は、「転送先設定」、「呼出時間設定」の操作を省略することができます。
●「伝言メモ」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「伝言メモ」の呼出時間よりも短く設定してください。
●「遠隔監視設定」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視設定」の呼出時間よりも短く設定してください。
●「呼出時間表示設定」で設定した無音時間設定が転送でんわサービスの呼出時間より長いと、着信音鳴動を行わず、転送でんわサービスに移行します。着信音鳴動を行ってから転送でんわサービスに移行させるには、転送でんわサービスの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 待受画面表示中 ▶ 1 4 2 9 ▶
音声ガイダンスに従って設定してください。
詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

転送先が通話中のときに留守番電話サービスセンターに接続する〈転送先通話中時設定〉

転送先が通話中のときに、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続することができます。
●「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

1 MENU ▶ [サービス] ▶「転送でんわ」▶「転送先通話中時設定」▶「YES」

迷惑電話ストップサービス お申し込み必要

迷惑電話ストップサービスとは、いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手からの電話を着信しないように登録できるサービスです。登録後はその相手からの着信をネットワーク上で自動的に拒否し、相手には着信拒否ガイダンスで応答します。
●「圏外」が表示されているところで、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。
●迷惑電話ストップサービスに登録された相手からのテレビ電話着信の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
●最大30件まで拒否登録できます。
●迷惑電話ストップサービスに登録された相手からの着信の場合、他のネットワークサービスはすべて無効となり、相手に着信拒否のガイダンスを流します。
●迷惑電話ストップサービスに登録された相手からのプッシュトーク着信の場合、相手に着信拒否のガイダンスは流れず、切断されます。

＊2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

次ページにつづく

- 迷惑電話ストップサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

最後に着信応答した電話を拒否登録する〈迷惑電話着信拒否登録〉

最後に着信応答した相手の電話番号を拒否登録できます。

- 相手が電話番号を通知してこない電話でも拒否登録できます。
- 国際電話は拒否登録できない場合があります。
- 拒否登録した電話番号の確認や問い合わせはできません。拒否登録した電話番号はメモなどを取っておくことをおすすめします。

1 MENU ▶ サービス ▶「迷惑電話ストップ」▶「迷惑電話着信拒否登録」▶「YES」▶ ◉

■ **すでに 30 件登録済みの場合**

最も古い番号を削除して登録するかどうかのメッセージが表示されます。
新しく登録する場合は、メッセージに従って最も古い番号を削除して最後に着信した迷惑電話を拒否登録してください。

迷惑電話ストップ
1 迷惑電話着信拒否登録
2 電話番号指定拒否登録
3 迷惑電話１登録削除
4 迷惑電話全登録削除
5 拒否登録件数確認

電話帳や着信履歴から電話を拒否登録する〈電話番号指定拒否登録〉

ダイヤル入力、もしくは電話帳、リダイヤル、着信履歴から拒否する電話番号を引用して登録することができます。

1 MENU ▶ サービス ▶「迷惑電話ストップ」▶「電話番号指定拒否登録」▶ 拒否登録する電話番号を入力

■ **電話番号の一部から電話帳を検索して入力する場合**

▶ 電話番号の一部をダイヤル ▶ ⓞ を押して検索

■ **電話番号以外から電話帳を検索して入力する場合**

▶ ⓞ ▶ 電話帳検索画面から検索方法を選択して検索

■ **着信履歴やリダイヤルから検索して入力する場合**

▶ ⓞ ▶ 着信履歴または ⓞ を押してリダイヤルから検索

2「YES」▶ ◉

■ **すでに30件登録済みの場合**

最も古い番号を削除して登録するかどうかのメッセージが表示されます。
新しく登録する場合は、メッセージに従って最も古い番号を削除して拒否登録してください。

おしらせ

- ボタン操作によって電話番号を指定して拒否登録することもできます。この場合は、待受画面から直接「144」に音声電話をかけて、音声ガイダンスの指示に従って登録してください。
- 拒否する電話番号を引用して登録する場合、プッシュトークの着信履歴やリダイヤルは利用できません。

拒否登録した迷惑電話を削除する

1 MENU ▶ サービス ▶「迷惑電話ストップ」

2 拒否登録した電話番号を削除する

■ **最後に拒否登録した電話番号を削除する場合**

▶「迷惑電話１登録削除」▶「YES」▶ ◉

削除できるのは最後に拒否登録をした電話番号のみです。
削除の操作を繰り返しても、それ以前に拒否登録した電話番号は削除できません。

■ **拒否登録した電話番号をすべて削除する場合**

▶「迷惑電話全登録削除」▶「YES」▶ ◉

拒否登録した電話番号数を確認する

1 MENU ▶ サービス ▶「迷惑電話ストップ」▶「拒否登録件数確認」

番号通知お願いサービス お申し込み不要

番号通知お願いサービスとは、電話番号を通知してこない音声電話に対しては音声ガイダンスを流し、テレビ電話に対しては番号通知お願いの映像ガイダンスを表示し、自動的に電話を切るサービスです（プッシュトークに対しては相手にガイダンスを流さず、切断します）。相手がわからないことなどによるトラブルを防ぎ、FOMA端末を安心して活用できます。

- 「圏外」が表示されているところで、番号通知お願いサービスの操作はできません。
- 非通知の理由が、発信者の意志により電話番号を通知しない「非通知設定」のときだけ働きます。「公衆電話」、「通知不可能」は対象外です。
- 番号通知お願いサービスの開始／停止の通信料は無料です。
- ガイダンスにかかわる通話については、発信者に通話料金がかかります。
- 「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」、「公共モード（ドライブモード）」の各ネットワークサービスと番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、番号通知お願いサービスが優先され、かかってきた電話を切ります。
- 「迷惑電話ストップサービス」と番号通知お願いサービスを同時に設定している場合は、「迷惑電話ストップサービス」が優先され、着信を拒否します。
- 「非通知着信設定」（P.166）と番号通知お願いサービスを同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先されます。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを開始する

1 MENU ▶ サービス ▶「番号通知お願いサービス」▶「番号通知お願い開始」▶「YES」▶◉

番号通知お願いｻｰﾋﾞｽ
1 番号通知お願い開始
2 番号通知お願い停止
3 番号通知お願い確認

■ **番号通知をお願いしない場合**
▶「番号通知お願い停止」▶「YES」▶◉

■ **番号通知お願いサービスの設定を確認する場合**
▶「番号通知お願い確認」

おしらせ

- 以下のような場合には、番号通知お願いガイダンスは流れません。
  - ・NTT 公衆電話や海外からの着信などは、電話番号の通知ができないためガイダンスは流れません。
  - ・発信者が「度数表示サービス」や「料金メーター」をご利用の場合は、番号通知お願いガイダンスは流れずに接続します。
  - ・64K データ通信は、番号通知お願いガイダンスは流れません。

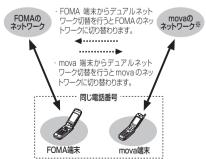
デュアルネットワークサービス

お申し込み必要

デュアルネットワークサービスとは、高品質な通信サービスのFOMA端末と広範囲なサービスエリアのmova端末とを、同じ電話番号で使い分けることができるサービスです。

- 「圏外」が表示されているところで、デュアルネットワークの操作はできません。
- mova 端末からの操作についてなど、詳しくは、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスについて

- デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

※：一部のサービスはご利用できません。

- FOMA 端末と mova 端末の両方を同時にネットワークに接続することはできません。

mova端末からFOMA端末へ切り替える

1 MENU ▶ サービス ▶「デュアルネットワーク」▶「デュアルネットワーク切替」

2「YES」▶ネットワーク暗証番号を入力

ネットワーク暗証番号について→P.152

■ **FOMA端末が利用可能状態であるか確認する場合**
▶「デュアルネットワーク状態確認」

おしらせ

- ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。
- すでに利用可能な状態の端末から切り替えの操作を行うと、利用可能状態であることが通知されます。
- mova端末を利用できるように切り替えるには、mova端末から操作を行ってください。FOMA端末からはmova端末への切り替えの操作はできません。

英語ガイダンス

お申し込み不要

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」など、各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定できます。また、「番号通知お願いサービス」など、お客様へ電話をかけてきた相手へのガイダンスを英語に設定することもできます。
なお、ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、流れるガイダンスは、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。
設定できる言語は以下のとおりです。

	設定	ガイダンスの言語
発信時（各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。

- 「圏外」が表示されているところで、英語ガイダンスの操作はできません。

次ページにつづく

1 MENU ▶ [サービス] ▶「英語ガイダンス」▶「ガイダンス設定」▶以下の項目から選択

■ ガイダンスの設定を確認する場合
▶「ガイダンス設定確認」

英語ガイダンス
1 ガイダンス設定
2 ガイダンス設定確認

発信時＋着信時	発信時のガイダンスを「日本語」、「英語」から、着信時のガイダンスを「日本語」、「日本語＋英語」、「英語＋日本語」から選択します。
発信時	発信時のガイダンスのみを「日本語」、「英語」から選択します。
着信時	着信時のガイダンスのみを「日本語」、「日本語＋英語」または「英語＋日本語」から選択します。

おしらせ

● 本機能の設定、確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、ほかの携帯電話からの遠隔操作はできません。

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ簡単に電話をかけることができます。

1 MENU ▶ [サービス] ▶「サービスダイヤル」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ	故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。
ドコモ総合案内・受付	総合案内・受付へ電話をかけることができます。

おしらせ

● お客様がお使いのFOMAカードによっては、総合お問い合わせ先や故障お問い合わせ先の項目番号が異なる場合や、表示されない場合があります。→P.45
表示されない場合は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先や故障お問い合わせ先を電話帳に登録しておくと便利です。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

● 「キャッチホン」、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」を未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

通話中の着信動作を選択する
〈着信動作選択〉

お買い上げ時 通常着信

1 MENU ▶ [サービス] ▶「着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話	「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
転送でんわ	「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ・ 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ・ 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。→P.441 ・ 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中の着信を設定する
〈通話中着信設定〉

● 「圏外」が表示されているところで、通話中着信設定の操作はできません。

1 MENU ▶ [サービス] ▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択

通話中着信設定開始	通話中着信設定を有効にします。
通話中着信設定停止	通話中着信設定を無効にします。

通話中着信設定確認	現在の設定を確認できます。

おしらせ
- 通話中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合、「留守番電話」や「転送でんわ」に設定していても、着信画面が表示されてから留守番電話サービスセンターに接続、または転送先に転送されることがあります。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答する

● 通話中と着信が同じ種類の場合

＜例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[PWR/HLD]

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合
通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます
▶[●]▶[PWR/HLD]

2 [通話]または[●]

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合
▶パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

＜例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、メッセージ※が表示されたら[●]

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴らず、メッセージが表示されます。

※：通話を終了すれば着信に応答できることを通知するメッセージが表示されます。

2 [ch][MULTI]▶「[テレビ電話アイコン]テレビ電話通信」を[ch][MULTI]または[選択キー]で選択して[●]▶[PWR/HLD]

3 [通話]または[●]

おしらせ
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されていて、「ププ…ププ…」という音が聞こえているうちに呼出時間を経過すると、留守番電話サービスセンターや転送先に接続されます。

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続したりする

＜例：「通話中着信設定開始」、着信動作選択が「通常着信」の場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、[ソフトキー]［機能］

■ 音声通話中に音声電話の着信以外の場合
▶[●]▶[ソフトキー]［機能］

2 かかってきた電話の対応方法を選択

■ かかってきた電話を着信拒否する場合
▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合
▶「転送でんわ」

■ かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合
▶「留守番電話」
いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

〈遠隔操作設定〉

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の操作を、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから行うことができます。

- 「[圏外]」が表示されているところで、遠隔操作の設定はできません。

遠隔操作ができるようにする

公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 [MENU]▶[サービス]▶「遠隔操作設定」▶「遠隔操作開始」▶「YES」

■ 遠隔操作を停止する場合
▶「遠隔操作停止」▶「YES」

■ 遠隔操作の設定を確認する場合
▶「遠隔操作設定確認」

おしらせ
- 本機能の設定、確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、ほかの携帯電話からの遠隔操作はできません。ただし、デュアルネットワークサービス契約時のmova端末からは、設定のみ行うことが可能です。
- 「留守番電話サービス」および「転送でんわサービス」のご契約時には、本機能は「停止」に設定されています。

マルチナンバー

お客様がご契約されている電話番号（基本契約番号）のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を登録し、番号を使い分けることができます。

- 「圏外」が表示されているところで、通常発信番号設定、通常発信番号設定確認の操作はできません。
- 通常発信番号設定を切り替えることにより、設定した番号ですべての発信先に電話をかけることができます。
- 1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信することもできます。→P.443
- 付加番号1および付加番号2に対する音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信を受けることができます。番号ごとに着信音を設定することもできます。→P.443

おしらせ

- 機能メニューから「マルチナンバー」を選択して発信した場合、「マルチナンバー」を未契約であっても、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）には、発信した際に選択した項目（「基本契約番号」、付加番号1または付加番号2の登録名）が表示されます。ただし、機能メニューを利用せずに発信した場合は、「通常発信番号設定」（P.442）を付加番号1または付加番号2に設定していても、リダイヤル／発信履歴の詳細画面には何も表示されません。
- リダイヤルや発信履歴を利用して発信する場合、表示された電話番号（基本契約番号、付加番号1、付加番号2）で発信します。ただし、何も表示されていない場合は、「通常発信番号設定」（P.442）で設定されている番号で発信します。
- 着信履歴を利用して発信する場合、「通常発信番号設定」（P.442）の設定にかかわらず、その着信を受けた番号で発信します。
- 付加番号1または付加番号2に着信した場合、着信画面や着信履歴画面（詳細）に、付加番号1または付加番号2の登録名が表示されます。
- 付加番号1または付加番号2への着信で、かつ転送でんわ着信の場合、機能メニューより「表示切替」が選択可能です。「表示切替」を選択することにより、付加番号1または付加番号2の登録名の表示と、転送元の電話番号（電話帳に登録されている場合は名前）の表示を切り替えます。
- 公共モード（ドライブモード）設定中に、付加番号1および付加番号2に着信した場合、基本契約番号への着信時と同様の動作を行います。→P.73

付加番号を登録する

1 MENU▶サービス▶「マルチナンバー」▶「電話番号設定」

「マルチナンバー電話番号設定画面」が表示されます。
すでに登録済みの項目は、登録されている「登録名」が表示されます。

マルチナンバー電話番号設定画面

2 付加番号を登録（または変更）したい項目を反転表示して◯［編集］

3 登録名を入力

登録名は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。

4 電話番号を入力

電話番号は26桁まで入力できます。

おしらせ

- 操作3で設定した登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選ぶときなどに表示されます。
- FOMAカードを差し替えた場合、FOMA端末へ登録していたマルチナンバーの設定（名前・番号・着信音など）が消去されることがあります。このようなときは再度登録を行ってください。

マルチナンバー電話番号設定画面の機能メニュー

編集	付加番号を設定します。
1件削除	▶YES 登録されている付加番号を削除します。削除しない場合は「NO」を選択します。
全削除	▶YES 登録されているすべての付加番号を削除します。削除しない場合は「NO」を選択します。

発信時に使用する電話番号を設定する〈通常発信番号設定〉

通常発信するときに使用する電話番号を設定します。

1 MENU▶サービス▶「マルチナンバー」▶「通常発信番号設定」▶以下の項目から選択

基本契約番号	ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。
付加番号1※	付加番号で発信するように設定します。
付加番号2※	

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

■ 通常発信番号の設定を確認する場合
▶「通常発信番号設定確認」▶◉

付加番号に着信したときの着信音を設定する

付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定できます。

1 MENU ▶ サービス ▶「マルチナンバー」▶「着信音設定」

2 着信音を設定したい項目を選択

これ以降の詳しい操作手順については、「携帯電話から鳴る着信音を変える」（P.128）を参照してください。

■ 通常の着信音と同じ設定にする場合
▶「通常着信音と同じ」

おしらせ
- 着信音の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.124

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

電話をかけるたびに使用する電話番号を切り替えて発信することができます。

1「電話番号入力画面」（P.54）表示中▶◯[機能]▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号	ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。
付加番号1※	付加番号で発信するように設定します。
付加番号2※	
発番号設定消去	設定を解除し、「通常発信番号設定」の設定した内容になります。

※：登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。

おしらせ
- 電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などの機能メニューからも、同様の操作で電話番号を切り替えて発信できます。
- 機能メニューから「マルチナンバー」を選択して電話をかけると、発信画面で発信先の電話番号の末尾に基本契約番号の場合は「✗590#」、付加番号1の場合は「✗591#」、付加番号2の場合は「✗592#」が付加されて表示されます。

〈追加サービス〉

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたとき、FOMA端末に新しいネットワークサービスを登録できます。
新しいネットワークサービスが提供されると、そのネットワークサービスを利用するための「特番」または「サービスコード」が通知されます。FOMA端末には「特番」または「サービスコード」とサービス名を登録してください。
- 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。
- 「サービスコード」は追加サービス登録画面の「USSD」という項目に入力します。

新しいサービスを登録する

1 MENU ▶ サービス ▶「追加サービス」▶「追加サービス」

「追加サービス画面」が表示されます。

追加サービス画面

機能メニュー➡P.444

2「<未登録>」を反転表示する

3 ◯［機能］▶「設定追加」

4 サービス名を入力

サービス名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

5 接続方法を選択

特番	▶番号を入力▶「YES」 特番で接続します。番号は20桁まで入力できます。
USSD	▶番号を入力▶「YES」 サービスコードで接続します。番号は40桁まで入力できます。

おしらせ
- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

登録したサービスを利用する

1 MENU ▶ [サービス] ▶「追加サービス」▶「追加サービス」

2 サービスを選択 ▶ ◉

追加サービス画面の機能メニュー

設定追加	設定を追加します。
設定変更	設定を変更します。
1件削除	反転表示したサービスを削除します。
全削除	すべてのサービスを削除します。

応答メッセージを登録する

登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録できます。

- 応答メッセージは最大10件まで登録できます。

1 MENU ▶ [サービス] ▶「追加サービス」▶「応答メッセージ設定」

「応答メッセージ設定画面」が表示されます。

応答メッセージ設定画面

機能メニュー ➡P.444

2「<未登録>」を反転表示する

3 ◯［機能］▶「設定追加」

4 コマンドを入力

コマンドは20桁まで入力できます。

5 応答メッセージを入力 ▶「YES」

応答メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

応答メッセージ設定画面の機能メニュー

設定追加	設定を追加します。
設定変更	設定を変更します。
1件削除	反転表示した応答メッセージを削除します。
全削除	すべての応答メッセージを削除します。

●データ通信

● **Windows XPの操作手順について**
本章では、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

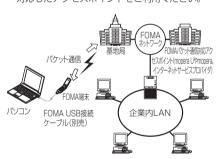
FOMA端末から利用できるデータ通信について

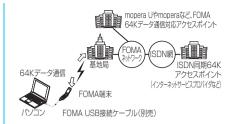
パケット通信と64Kデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

- パケット通信
  受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータを送受信します。パケット通信は通信時間や距離に関係なく、送受信されたデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。
- 64Kデータ通信
  64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。

■パケット通信をするには

パケット通信はFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

■64Kデータ通信をするには

64Kデータ通信は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

・DoPaのアクセスポイントには接続できません。
・PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合があります。その場合は、同梱のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM 内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS	・Windows 98※1、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ	・Windows 98、Windows Me：32Mバイト以上※2 ・Windows 2000：64Mバイト以上※2 ・Windows XP：128Mバイト以上※2
ハードディスク容量	・5Mバイト以上の空き容量※2

※1：FirstPass PCソフトは、Windows 98に対応しておりません（Windows 98SEには対応しております）。
※2：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

- FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続してデータ通信を行う場合、「musea」や「sigmarion Ⅱ」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
・FOMA USB接続ケーブル（別売）
・添付CD-ROM「FOMA N902i用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■ 添付の「FOMA N902i用CD-ROM」について

- N902i通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。
- N902i通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。N902i通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
  FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

パソコンとの接続／N902i通信設定ファイル（ドライバ）のインストール

・パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続します。→P.448
・N902i通信設定ファイルをインストールします。→P.449

<FOMA PC設定ソフトを使って接続先の設定をする場合>

FOMA PC設定ソフトのインストール

・FOMA PC設定ソフトを使えるようにします。「FOMA PC設定ソフトをインストールする」→P.453

<パケット通信をする場合>

設定する

・mopera U、mopera※ →P.454
・その他のプロバイダ→P.455

<64Kデータ通信をする場合>

設定する

・mopera U、mopera※ →P.457
・その他のプロバイダ→P.458

接続と切断

・接続します。→P.458
・切断します。→P.459

<FOMA PC設定ソフトを使わない場合>

設定する

・FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をします。→P.463

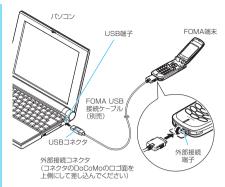
接続と切断

・接続します。→P.472
・切断します。→P.473

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続や国際ローミング等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

取り付け方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

● 取り付ける前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。→P.380

1 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける**

2 **FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する**

3 **FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む**

FOMA USB接続ケーブルを接続するとFOMA端末の「 」が「 」に変わります。

おしらせ

● FOMA端末に表示される「 」は、N902i通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。N902i通信設定ファイルのインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」が表示されたままになります。

取り外し方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り外し方法について説明します。

1 FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く

2 パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

3 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA USB接続ケーブルの取り付け･取り外しを連続して行う場合、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断・誤動作・データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA USB接続ケーブルの取り外しは行わないでください。

パソコンの設定をする

ここでは、パソコンとの接続から、N902i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールするまでの手順を説明します。

FOMA端末とパソコンを接続する

1 FOMA USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する

2 Windows を起動して、「FOMA N902i用CD-ROM」をパソコンにセットする

3 「終了」をクリックして、「FOMA N902iご利用にあたって」画面を終了させる

この画面は、「FOMA N902i用CD-ROM」をパソコンにセットすると自動的に表示されます。表示されない場合は、そのまま操作5へ進みます。N902i通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「終了」をクリックします。

4 「終了」をクリックして、「お問い合わせ先」画面を終了させる

5 FOMA端末の電源を入れて、パソコンと接続したFOMA USB接続ケーブルをFOMA端末に接続する

Windows 98、Windows Meの場合
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される

Windows 2000、Windows XPの場合
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示される

N902i通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- Windows 2000またはWindows XPでN902i通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- N902i通信設定ファイルのインストール手順は、OSによって異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明を参照してください。
Windows 98、Windows Meの場合は下記を参照してください。
Windows 2000の場合はP.450へ、Windows XPの場合はP.451へ進みます。

● Windows 98／Windows Meの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.449）の操作5でFOMA USB接続ケーブル（別売）をFOMA端末に接続すると、自動的に「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されます。

Windows 98の場合
「次へ」をクリックする

次ページにつづく

2「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックする

Windows 98の場合
　「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

3「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「検索場所の指定」をチェックし、「参照」をクリックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>：¥USB Driver¥Win98」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

Windows 98の場合
　「検索場所の指定」をチェックしてフォルダを指定し「次へ」をクリックする
　「更新されたドライバ（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA N902i」と表示されます。

5「新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら、「完了」をクリックする

Windows 98の場合
　「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。

6ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～5を参考にして、残りの6つのドライバ（P.452）をすべてインストールします。操作5の終了後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.451）に進みます。

● Windows 2000の場合

1FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.449）の操作5でFOMA USB接続ケーブル（別売）をFOMA端末に接続すると、自動的に下の画面が表示されます。

2「次へ」をクリックする

3「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする

5検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする

フォルダは、「<CD-ROMドライブ名>：¥USB Driver¥Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

6ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA N902i」と表示されます。

7「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

8ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～7を参考にして、残りの3つのドライバ（P.452）をすべてインストールします。操作7の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.451）に進みます。

● Windows XPの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブルを接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」(P.449) の操作5でFOMA USB接続ケーブル(別売)をFOMA端末に接続すると、自動的に下の画面が表示されます。

2 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

フォルダは「<CD-ROMドライブ名>: ¥USB Driver¥Win2000」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。この画面ではCD-ROMドライブ名が「E」です。
ドライバはWindows 2000と共通です。

5 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

6 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～5を参考にして、残りの3つのドライバ（P.452）をすべてインストールします。操作5の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなればドライバのインストールは終了です。
すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というメッセージが数秒間表示されます。「インストールしたドライバを確認する」(P.451) に進みます。

インストールしたドライバを確認する

N902i通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsのコントロールパネルを開く

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合
「スタート」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システム」を開く

Windows Meの場合
コントロールパネルに「システム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックする

Windows XPの場合
「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

3 デバイスマネージャを開く

Windows 98、Windows Meの場合
「デバイスマネージャ」タブをクリックする

Windows 2000、Windows XPの場合
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

次ページにつづく

❹ 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラ」、「モデム」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。
ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」（P.452）へ進みます。

（Windows XP）

デバイス名	ドライバ名
ポート（COM／LPT）	・FOMA N902i Command Port ・FOMA N902i OBEX Port
モデム	・FOMA N902i
ユニバーサルシリアルバス（USB）コントローラ、またはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ	・FOMA N902i ・FOMA N902i Command※ ・FOMA N902i Modem※ ・FOMA N902i OBEX※

※：Windows 98/Meのみ

おしらせ

- 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合や、間違って違うOS用の通信設定ファイルをインストールした場合は、アンインストール（P.452）の手順に従ってN902i通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

N902i通信設定ファイルをアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（Windowsをバージョンアップした場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XP を例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末を接続している状態で「プログラムの追加と削除」を実行した場合は、FOMA端末が接続されているというメッセージが表示され、アンインストールを実行できません。
- Windows2000またはWindowsXPでN902i通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

❶ FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブルで接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

❷ Windowsの「プログラムの追加と削除」を起動する

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

❸ 「FOMA N902i USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

❹ 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

❺ 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムの追加と削除」に「FOMA N902i USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ②CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択
  ③CD-ROM内の「USB Driver」→「Win98」または「Win2000」フォルダを開く
  ④「n902i_un.exe」※をダブルクリックする
  ※お使いのパソコンの設定によっては「n902i_un」と表示されることがあります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。→P.463

FOMA端末とパソコンとの接続については、P.448を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを行います。

W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定
パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。moperaについてはAPN: mopera.ne.jpがcidの1番、mopera UについてはAPN: mopera.netがcidの3番に登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
cid [Context Identifier]…FOMA端末に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

おしらせ

- 「通信設定」を「COMポート指定」で利用する場合、N902i通信設定ファイルの確認でFOMA端末が以下の範囲外で認識されているときは、APNの設定の際、APN情報の取得・書き込みができません。
  Windows 2000、Windows XPの場合：COM 1〜99
  Windows 98、Windows Meの場合　：COM 1〜9
  その場合は「ハイパーターミナル」を使って設定します。
  「接続先（APN）を設定する」→P.465

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- インストールする前に動作環境を確認してください。→P.447
- Windows 2000またはWindows XPで「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- 902iシリーズより前に発売されたFOMA端末に添付の「FOMA PC設定ソフト」をインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットし、「FOMA PC設定ソフトのインストール」をクリックする

「FOMA N902iご利用にあたって」画面が自動的に表示されます。CD-ROMが自動再生されない場合は、「マイコンピュータ」からCD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択し、「start. exe」をダブルクリックします。次に「FOMA PC設定ソフトのインストール」をクリックします。

2 「次へ」をクリックする

セットアップをはじめる前に、現在使用中または常駐しているほかのプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
旧W-TCP設定ソフトおよび旧APN設定ソフトがインストールされているという画面が出た場合は、P.454を参照してください。

3 「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする

「いいえ」をクリックし、「はい」をクリックすると、インストールは中止されます。

4 「次へ」をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」常駐の可否を選択できます。
「W-TCP通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
とくに問題がない場合は「タスクトレイに常駐する」を☑にしたまま「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」、「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
（参考）：「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

デスクトップ右下のタスクトレイに表示されます。

5 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックします。
ハードディスクスペースの問題などで、違うドライブにインストールすることもできますが、そのままお進みください。

6 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、「次へ」をクリックします。

次ページにつづく

7「完了」をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

<旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合>

・「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から旧W-TCP設定ソフトを削除してください。

<旧APN設定ソフトがインストールされている場合>

・「はい」をクリックすると、旧APN設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

<FOMA PC設定ソフトがすでにインストールされている場合>

・「OK」をクリックすると、インストールが中止されます。すでにインストールされている「FOMA PC設定ソフト」を「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」からアンインストールして、インストールし直してください。
・古いバージョンの「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合も同様の操作を行ってください。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>

・インストールを継続する場合は「いいえ」を、意図的に中止する場合は、「はい」をクリックします。

各種設定の方法

通信設定をする前に、FOMA 端末が FOMA USB接続ケーブル（別売）によりご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上に通信設定ファイルが正しく認識されている必要があります。

● 「通信設定」を「COMポート指定」で利用する場合、N902i通信設定ファイルの確認でFOMA端末が以下の範囲外で認識されているときは、「FOMA PC設定ソフト」は動作しません。
Windows 2000、Windows XPの場合：COM 1～99
Windows 98、Windows Meの場合　：COM 1～9

1「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

Windows XPの場合
「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

FOMA PC設定ソフトを起動すると下図の操作画面が表示されます。

かんたん設定「mopera U または mopera を利用したパケット通信設定方法」

● 最大 384kbps のパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。パケット通信：受信最大 384kbps、送信最大 64kbps（一部機種を除く）のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。
● ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。
● 「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1「かんたん設定」をクリックする

2「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3「[mopera U] への接続」または「[mopera] への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.455を参照してください。

4「OK」をクリックする

パソコンに接続された FOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力し、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<> ｜ ”（半角のみ）は使用できません。

6 ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera接続の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも構いません。

（Windows 2000、Windows XP）

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をします。
「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。

7「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

9「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.458

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

1「かんたん設定」をクリックする

2「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
しばらくお待ちください。

次ページにつづく

5 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。
「接続先（APN）の選択」欄には標準でmopera Uに接続するためのAPN:mopera.netとmoperaに接続するためのAPN:mopera.ne.jpが設定されています。

6「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10番に接続先（APN）を設定してください。
「追加」をクリックして表示される「接続先（APN）の追加」画面で、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックします。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

7 接続先を選択し、「OK」をクリックする

操作5の画面に戻ります。
「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した接続先（APN）が表示されます。

8「接続先（APN）の選択」で接続先（APN）を確認し、「次へ」をクリックする

<高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合>
「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

9 ユーザー名･パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

（Windows 2000、Windows XP）

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。

10「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作11に進みます。

11 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

12「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.458

かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用した64K通信設定方法」

- 通信速度64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスが実現できます。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「[mopera U]への接続」または「[mopera]への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.458を参照してください。

4 接続名の入力とモデムを選択し、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信設定」画面になります。現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使う場合、モデム名は「FOMA N902i」を選択します。

5 ユーザー名･パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera接続の場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄でも構いません。

（Windows 2000、Windows XP）

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.458

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64K通信設定方法」

1「かんたん設定」をクリックする

2「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のISDN同期64Kアクセスポイントを持つサービスプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、以下の項目を登録します。
- 接続名（任意）
- モデムの選択（FOMA N902i）
- 電話番号

接続名は、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。

プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
電話番号は、大文字・小文字等に注意し、半角文字で正確に入力します。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

<高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合>

「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

5 ユーザー名･パスワードを設定し、「次へ」をクリックする

Windows 2000およびWindows XPの場合はユーザーの選択をしてください。
「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

（Windows 2000、Windows XP）

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字等に注意し、正確に入力します。

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.458

設定した通信を実行する

- FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ通信をする場合、ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要となります。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows 98／Windows Meの場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」→接続先を開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→接続先を開く

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」→接続先を開く

2「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

mopera Uまたはmoperaを選択した場合は「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でも構いません。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、接続先によって指示された「ユーザー名」・「パスワード」を入力します。
「パスワードを保存する」をチェックすると、次回からは入力の必要がなくなります。

3 接続されたことを確認し、「OK」をクリックする

通常の状態で、ダイヤルアップを接続すると、以下のような接続画面が表示されます。
以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にしてあると、この画面は表示されません。

- パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送信中）
（通信中、データ受信中）
（通信中、データ送受信なし）
（発信中、または切断中）
（着信中、または切断中）

- 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2「切断」をクリックする

おしらせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

- ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA N902i」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境（P.447）を満たしているかを確認してください。 ・N902i通信設定ファイルがインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・USBモード設定（P.380）が「通信モード」になっているか確認してください。

次ページにつづく

現　象	チェックする箇所
相手先に接続できない	・ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・接続先の APN が正しいかどうかを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

FOMA PC設定ソフトのアンインストール手順を説明します。

● Windows 2000またはWindows XPで「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 アンインストールを実行する前に

「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

(1) タスクトレイに常駐している「W-TCP設定」を常駐させないようにする
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」を右クリックして「常駐させない」をクリックする

右クリック

クリック

(2) 起動中のプログラムを終了させる
「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、次のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を起動する

Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックする
Windows 98、Windows Meの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックする

3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「変更と削除」をクリックする

「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して

ここをクリック

4 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

アンインストールが開始されます。

5 「OK」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

- 「W-TCP最適化」の解除
  「W-TCP最適化」がされている場合は下の画面が出ます。アンインストールする場合は、通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

W-TCP最適化の解除は再起動後に行われます。

W-TCPの設定

「W-TCP設定」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP／IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

<Windows XPの場合>
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合
プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

左クリック

2 以下の操作を行う

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。再起動した後、システム設定の最適化が有効になります。

(1) システム設定が最適化されていない場合
「最適化を行う」をクリックする
「W-TCP(ダイヤルアップ)設定」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択して「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

(2) システム設定が最適化されている場合
「W-TCP(ダイヤルアップ)設定」画面が表示される。
内容の変更等がある場合は設定を行ってください。

(3) 最適化を解除する場合
「システム設定」をクリックする
「W-TCP設定」画面が表示されます。
「最適化を解除する」をクリックしてください。

<Windows 98、Windows Me、Windows 2000の場合>

1 プログラムを起動する

(1)「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合
プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

左クリック

次ページにつづく

❷以下の操作を行う

(1) **最適化されていない場合**
「W-TCP設定」画面で「最適化を行う」をクリックし、最適化設定を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

(2) **最適化されている場合**
「W-TCP設定」画面で「現在、最適化されています。」と表示される。
FOMA端末以外での通信等の理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックします。最適化解除を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定でき、cid（登録番号）の1～10に登録して管理します。

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- PC上のAPNを継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。
- お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先(APN)「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先(APN)「mopera.net」が登録されていますので、cidを設定するときは、cid2または4～10に接続先（APN）を設定します。

❶「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

❷FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。
FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

❸接続先（APN）の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
「接続先(APN)設定」画面で、対象の接続先(APN)を一覧から選択して「削除」をクリックする
cid1とcid3に登録されている接続先（APN）は削除できません（cid3に登録されている接続先(APN)を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先(APN)設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「接続先（APN）設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先(APN)設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能

「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックします。接続先（APN）への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「アカウント・パスワードの設定」をクリックします。
ユーザー名とパスワードを入力して（Windows 2000、Windows XPの場合は使用可能ユーザーの選択をして）「OK」をクリックします。mopera Uまたはmoperaの場合、ユーザー名、パスワードについては空欄でも構いません。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックします。
設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。
- 64Kデータ通信を行う場合はダイヤルアップネットワークの設定は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」(P.467)に進んでください。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、N902i通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA N902i」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.465）で使用します。

接続先について＜APN/cid＞

- パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPN（P.465）を設定して接続します。
- APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmopera.ne.jp、cid3にはmopera.netが設定されていますので、cidを設定するときは、2番または4～10番に設定します。※1
- APNは「cid（1～10までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊＜cid番号＞#」とするとcid番号の接続先に接続します。
- moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
- APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		―	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○（FOMA PC設定ソフトなどを使用）	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		―	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。

※2：ほかのインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cid番号の2番または4番以降に登録してください。APNの設定と登録方法について→P.465

● Windows 98/MeでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「モデム」を開く

コントロールパネルに「モデム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。

3 「FOMA N902i」がセットアップされていることを確認し、「検出結果」タブをクリックする

次ページにつづく

4「FOMA N902i」が設定されているCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は接続先（APN）の設定（P.465）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

4「モデム」タブをクリックして「FOMA N902i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.465）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N902i」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.465）で使用します。

プロパティ画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp cid3：mopera.net cid2、4～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号cid1～cid10（P.463）を付けて管理します。
- cid1にはmoperaに接続するための接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uに接続するための接続先（APN）「mopera.net」があらかじめ設定されていますので、cidを設定するときは、2または4～10に設定します。
- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows Me、Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

Windows 98の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開いた後、「Hypertrm.exe」をダブルクリックする

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」から「FOMA N902i」を選択し、［OK］をクリックする

「FOMA N902i」のCOMポートを選択できる場合
COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする
ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N902i」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」（P.463）を参照して確認してください。

「FOMA N902i」のCOMポートを選択できない場合
「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

次ページにつづく

（1） 「ファイル」→「プロパティ」を選択
（2） 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N902i」を選択
（3） 「国／地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
（4） 「OK」をクリックする

7 接続先（APN）を入力し、↵を押す

AT+CGDCONT=＜cid＞,“PPP”,“APN”の形式で入力する

＜cid＞： 2、4～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

“PPP”： そのまま“PPP”と入力します。

“APN”： 接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
↵と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「“sample”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- P.465の操作6以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが見えないことがあります。このようなときは、ATE1 ↵と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。

ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合

・リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2、4～10の設定は未登録となります。

＜入力方法＞

AT＋CGDCONT= ↵（すべてのcidをリセットする場合）

AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）

ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合

・ 現在の設定内容を表示させます。

＜入力方法＞

AT＋CGDCONT? ↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

お買い上げ時 設定なし

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.475）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1 ↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2 ↵
と入力する

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

おしらせ

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップの設定を行う

- ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
- パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」、moperaでは「＊9601」を接続先の電話番号に入力してください。

Windows 98、Windows Meでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」の順に開く

2 「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

この画面はダイヤルアップネットワークをはじめて起動したときのみ表示されます。「次へ」をクリックして操作4に進んでください。
2回目以降は、この画面は表示されず、操作3の「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ダイヤルアップネットワーク内の「新しい接続」をダブルクリックする

4 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

「モデムの選択」欄が「FOMA N902i」になっていることを確認します。「FOMA N902i」になっていない場合は、「FOMA N902i」を選択します。

5 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

「市外局番」欄には何も入力しません。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

次ページにつづく

6 接続名（任意の名前）を確認し、「完了」をクリックする

7 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

8「全般」タブで「電話番号」および「接続方法」を確認する

「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外す

「接続方法」欄が「FOMA N902i」になっていることを確認します。「FOMA N902i」になっていない場合は、「FOMA N902i」を選択します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

9「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」を選択する

「使用できるネットワークプロトコル」欄は「TCP／IP」のみをチェックします。

Windows 98の場合

「サーバーの種類」タブをクリックして各種設定を行う
「ダイヤルアップサーバーの種類」欄には「PPP：インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を選択してください。
「使用できるネットワークプロトコル」欄は「TCP／IP」のみをチェックします。

10「セキュリティ」タブをクリックして設定を確認、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄でも構いません。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、下画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

Windows 98の場合

「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。
2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

6「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

9「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA N902i」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

「FOMA N902i」になっていない場合は、「FOMA N902i」を選択する

「FOMA N902i」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

11「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

データ通信 ダイヤルアップの設定を行う

次ページにつづく

⑭「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄でも構いません。mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、下画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

⑮「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

⑯「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

⑰「完了」をクリックする

⑱作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックする

⑲「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N902i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

⑳「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP／IP）」のみをチェックします。

㉑「設定」をクリックする

㉒すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

㉓操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

2. 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3. 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4. 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5. 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

6. 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデムーFOMA N902i (COM x)」を選択し、「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
(COMx) は、「COMポートを確認する」(P.463) で表示されるCOM ポートの番号です。

7. 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8. 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

9. 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄でも構いません。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、下画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10. 「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

次ページにつづく

⑪「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

⑫作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

⑬「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N902i」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

⑭「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択する

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル(TCP／IP)」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

⑮「設定」をクリックする

⑯すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

⑰操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

<例：Windows Meの場合>

1 FOMA USB接続ケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.448

2「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択し、「ダイヤルアップネットワーク」を開く

3 接続先のアイコンを選択し、「接続」を開く

4 各項目を確認し、「接続」をクリックする

「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。

接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄でも構いません。

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

＜接続中の状態を示す画面が表示されます＞
この間にユーザー名、パスワードの確認やログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

＜例：Windows XPの場合＞

1「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

P.471の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して、「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックする

3 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

以下の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaに接続する場合、ユーザー名とパスワードについては空欄でも構いません。

＜接続中の状態を示す画面が表示されます＞
この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞
接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、次のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
この画面が表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。
通信状態については、P.459を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows XPを例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

インターネット接続の状態画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2「切断」をクリックする

おしらせ
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

● ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[＆F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[＆W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N902i（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*＝0：CDは常にON *n*＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n*	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*＝0：無線区間通信速度を表示する *n*＝1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*＝0：DRは常にON（初期値） *n*＝1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W＝? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外 1：FOMA端末の電波の受信レベルが1本 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*=0：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*=1：着信拒否設定を有効にする *n*=2：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*=1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*=0：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*=1：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.466）。	*n*=0：APNをそのまま使用する（初期値） *n*=1：APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*=2：APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	－	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.483）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.481	P.481
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］（P.481） AT+CGEQMIN=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQMIN? ：現在の設定値を表示する	P.481
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］（P.482） AT+CGEQREQ=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQREQ? ：現在の設定値を表示する	P.482

次ページにつづく

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*＝0： 通知なし（初期値） *n*＝1： 通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG:<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CLIP=*n*	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*＝0： リザルトを出さない(初期値) *n*＝1： リザルトを出す リザルト：+CLIP(*n*, *m*) *m*＝0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*＝1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*＝2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0,1) OK (+CLIP=1設定時に着信) RING +CLIP: "090XXXXXXXX",177,"123",136
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*＝0： CLIRサービスの契約に従う *n*＝1： 通話相手に番号発信しない *n*＝2： 通話相手に番号発信する(初期値) リザルト：+CLIR(*n*, *m*) *m*=0：CLIRは起動していない（常時通知） *m*＝1：CLIRは起動している（常時非通知） *m*＝2：不明 *m*＝3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*＝4：CLIRテンポラリーモード（ 通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*＝0： ERRORリザルトを用いる(初期値) *n*＝1：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*＝2 ：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	number：電話番号 type ： 129または145 129 ： 国際アクセスコード+を含まない 145 ： 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ： AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドは AT+CPIN? を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1 コード、PIN2 コードおよびPIN ロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PIN コード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1 コード、PIN2 コード PIN1 ロック解除コード、PIN2 ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1 入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1 ロック状態 （PIN1 ロック解除コード入力可） +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態 （PIN2 ロック解除コード入力可） 右記は PIN コード「1234」、PIN ロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUKが応答される状態 :PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0： 表示しない（初期値） *n*=1： 表示する <serv> ： パケット通信を意味する "GPRS" のみ表示する （回線種別により "SYNC"，"AV32K"，"AV64K" を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0： +CRINGを使用しない（初期値） *n*=1： +CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおり +CRING：SYNC +CRING：AV64K ：GPRS "PPP",,, "<APN>" AT+CRC? ： 現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING ：GPRS "PPP" ,,," 〈APN〉"

次ページにつづく

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 ● OSによっては設定できない場合があります。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG：<*n*>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：音声圏外 1：音声圏内 4：不明 5：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+GMI	メーカ名（NEC）を表示します。	－	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMA N902i）を表示します。	－	AT+GMM FOMA N902i OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n*,*m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n*：DCE by DTE *m*：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n*,*m*=2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2)，(0,1,2) OK
AT+WS46=*n* [&F] [&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	*n*=22：W- CDMA（Wideband CDMA）のみ指定可能（初期値）	AT+WS46=22 OK
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	－	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	*n*=0：拡張リザルトコードを使用しない（初期値） *n*=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid># ：パケット通信 <cid> 1 ～ 10：＋CGDCONT 設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD＜電話番号＞ ：64K通信 AT+CBST=131,1,0設定時 ATD＜電話番号＞ ：AV32K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD＜電話番号＞ ：AV64K通信	<パケット通信> ATD＊99＊＊＊1# CONNECT <64K通信> AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT <AV32K通信> AT+CBST=131,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT <AV64K通信> AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*=0 ：エコーバックなし *n*=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	*n*=0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*=0：「NTT DoCoMo」を表示する *n*=1：製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*=2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） *n*=3：ACMP信号の各要素を表示する *n*=4：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMAN902i OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*=0 ：リザルトコードを表示する（初期値） *n*=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*=0 ：自動着信しない（初期値） *n*=1-255：指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43 ：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2? ：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13 ：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3? ：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10 ：初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4? ：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8　：初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5?：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作は致しません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*=0：不活動タイマオフ(初期値) *n*=0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：＊ *n*=1：/（初期値） *n*=2：￥（￥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：# *n*=1：%（初期値） *n*=2：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0：リザルトコードを数値で返送する *n*=1：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	−	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	−	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※：1～10

<APN>※：任意

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての <cid> に対し初期値を設定します。

+CGDCONT=<cid>：指定された <cid> を初期値に設定します。

+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。

+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）

AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"

OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※　：1～10

<Maximum bitrate UL>※：なし（初期値）または64

<Maximum bitrate DL>※：なし（初期値）または384

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

次ページにつづく

- **パラメータを省略した場合の動作**
  +CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
  +CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
- **コマンド実行例**
  以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。
  （1） 上り / 下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2
  OK
  (2) 上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,64,384
  OK
  (3) 上り 64kbps/ 下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
  AT+CGEQMIN=5,,64
  OK
  (4) 上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
  AT+CGEQMIN=6,,,384
  OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

- **概要**
  PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
  設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
  本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。
- **書式**
  +CGEQREQ=[<cid>]
- **パラメータ説明**
  <cid>※：1～10
  ※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
- **パラメータを省略した場合の動作**
  +CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
  +CGEQREQ=<cid>：指定された <cid> を初期値に設定します。
- **コマンド実行例**
  以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
  上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQREQ=2
  OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.465）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、［&W］がついているコマンドについては、設定後に
AT&W
と入力することにより保存できます。このとき、［&W］がついているほかの設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、
ATZ
と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
121	CONNECT 32000	FOMA端末－基地局間速度32,000bpsで接続しました。
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。

数字表示	文字表示	意　味
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）[32K]で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

- ATV*n*コマンド（P.480）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥V*n*コマンド（P.478）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET <接続先APN> / <上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度> / <下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大64kbps、受信最大384kbpsで接続したことを表します。

文字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800
PACKET mopera.ne.jp /64/384

数字表示例：　ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

リクエストの内容に関する切断理由は、以下のとおりです。

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

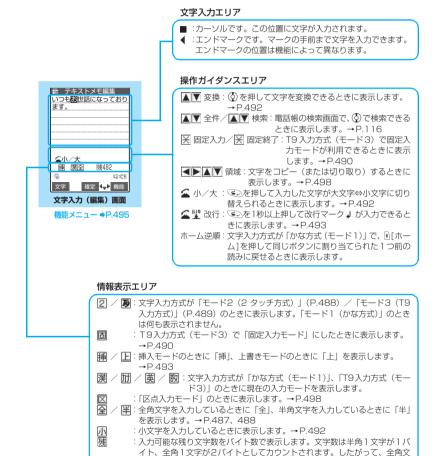
値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

●文字入力

文字を入力する

FOMA端末ではダイヤルボタンのほかに、アクセスリーダー、バーコードリーダーを呼び出して文字を入力できます。

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアで構成されています。文字入力エリアには入力中の文字やカーソル、エンドマークなどが表示されます。操作ガイダンスエリアには漢字変換や検索、範囲指定など、そのときに操作できる内容が表示されます。情報表示エリアには文字入力方式や入力モード、入力可能な残り文字数などの情報が表示されます。

おしらせ

● iモードメールの本文を入力するときは、ダイヤルボタンを押すと文字入力（編集）画面が表示され、区点入力、ワード予測などの機能が使用できます。

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 全角文字は、半角文字2文字分になります。
  全角：あいうえお
  　　5文字（カウントは10バイト）
  半角：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺ
  　　10文字（カウントは10バイト）

■文字の組み合わせについて

文字入力の際は、文字の組み合わせに注意してください。

<例>「ﾄﾞｺﾓ」を半角カナ入力モードで、「の携帯電話」を漢字ひらがな入力モードで入力したとき

ﾄﾞｺﾓの携帯電話　（画面に表示される文字数が9文字）
1 1 1 1 2 2 2 2 2　（カウントは14バイト、半角文字14文字分）

- 半角文字の濁点「ﾞ」と半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、で行単位、[メモ／確認]、[ホーム]でページ単位のスクロールができます。
漢字変換の候補リスト表示画面では、で行単位、または[メモ／確認]、[ホーム]でページ単位のスクロールができます。

文字入力方式を選択する

MENU 3 5

お買い上げ時	入力モード：すべて有効 優先入力方式：モード1（かな方式）

文字入力方式には、次の3種類があります。

- モード1（かな方式）→P.487
  1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が替わる方式
- モード2（2タッチ方式）→P.488
  2つの数字の組み合わせで文字を入力する方式
- モード3（T9入力方式）→P.489
  1つのボタンを押すごとに、そのボタンに割り当てられた文字の候補が表示され、その中から選択する方式

1 MENU▶（各種設定）▶「その他」▶「文字入力方式」▶「入力モード」▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］

少なくとも2つのモードを選択してください。

2 優先的に使うモードを選択

操作1で選択しなかったモードは、ここでは選択できません。

●文字の入力中に文字入力方式を切り替える

文字入力（編集）画面が表示されたときは、優先的に使用する文字入力方式が設定されています。文字入力（編集）画面でほかの文字入力方式に切り替えるには2つの方法があります。
文字入力方式の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、優先的に使用する文字入力方式に戻ります。

- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

■機能メニューから切り替える

文字入力（編集）画面の機能メニューの「入力モード切替」→P.496

■［文字］を1秒以上押す

［文字］を1秒以上押すごとに「かな方式（モード1）」→「2タッチ方式（モード2）」→「T9入力方式（モード3）」の順で文字入力方式が切り替わります。

モード1（かな方式）での入力について

●入力モードを切り替える

1「文字入力（編集）画面」（P.486）▶［文字］

［文字］を押すたびに「漢字ひらがな（漢全）」→「カタカナ（ｶﾅ半）」→「英字（英半）」→「数字（数半）」の順に入力モードが切り替わります（機能メニューから「全角切替」を選択すると全角で切り替わります）。

●全角／半角を切り替える

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「全角切替」／「半角切替」

「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。
「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

■モード1で入力できる文字

<例>「う」を入力するには、「漢字ひらがな入力モード」にして1を3回押します。
「B」を入力するには、「英字入力モード」にして2を2回押します。

文字入力

文字を入力する

次ページにつづく

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ
2	かきくけこ	カキクケコ
3	さしすせそ	サシスセソ
4	たちつてとっ	タチツテトッ
5	なにぬねの	ナニヌネノ
6	はひふへほ	ハヒフヘホ
7	まみむめも	マミムメモ
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ
9	らりるれろ	ラリルレロ
0	わをんーゎ	ワヲンーヮ※1
*	―――※2	―――
#	゛゜、。?!・※3	゛゜、。?!・※3

ボタン	英字入力モード	数字入力モード
1	?!-/¥&*()#゛゜ ♥☎※4	1
2	ABCabc	2
3	DEFdef	3
4	GHIghi	4
5	JKLjkl	5
6	MNOmno	6
7	PQRSpqrs	7
8	TUVtuv	8
9	WXYZwxyz	9
0	―――	0+※5
*	.ne.jp .co.jp .ac.jp ※6 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp	* .ne.jp .co.jp .ac.jp ※6 www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp
#	.@/?!(),-_:' ˜※7&¥	#.@/?!(),-_:' ˜※7&¥

※1：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。
※2：「漢字ひらがな入力モード」で*を押すと「区点入力モード」に切り替わります。
※3：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、その前の文字に「゛」「゜」をつけることができるときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「?」「!」「・」は入力できません。
※4：SMS 本文入力時のみ有効です。SMS 本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「♥」「☎」は入力できます。また、記号は半角文字として表示されますが、「♥」「☎」は常に全角文字として表示されます。
※5：「+」は、SMS宛先入力時に1秒以上押して入力できます。
※6：全角に切り替えた場合は表示されません（数字入力モードの「*」は除く）。
※7：「全角入力モード」のときは「￣」となります。
（網掛け）：小文字は以下の2つの方法で入力できます。
・大文字で入力した後に ◯ で小文字に変換する。
・機能メニューで「小文字切替」を行った後に入力する。

モード2（2タッチ方式）での入力について

● 入力モードを切り替える

1「文字入力（編集）画面」（P.486）▶◯［文字］

◯［文字］を押すたびに「全角（全）」と「半角（半）」が切り替わります。

● 全角／半角を切り替える

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「全角切替」／「半角切替」

「全角」に切り替えると情報表示エリアに「全」が、「半角」に切り替えると「半」が表示されます。

■ モード2で入力できる文字

<例>「う」を入力するには、「全角入力モード」にして 1 3 と押します。
全角の「B」を入力するには、「全角入力モード」にして 1 7 と押します。
半角の「B」を入力するには、「半角入力モード」にして 1 7 と押します。

■ 全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	?	!	―	／
	7	ま	み	む	め	も	¥	&		※2 ☎	
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	#		※2 ♥	※1
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ ゎ	を	ん	※3 ゛ 、	※3 ゜ 。	6	7	8	9	0

■ 半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※2 ☎	
	8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※2 ♥	※1
	9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
	0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：8 0を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に⊡を押して小文字に切り替えることもできます。

※2：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。

※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」をつけることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。

▒：スペースが入力されます。

おしらせ

- 一部、モード2の入力が利用できない場合があります。その場合はモード1で入力してください。

モード3（T9入力方式）での入力について

このモードを利用すると、少ないボタン操作で文字の入力ができます。
たとえば"あした"という読みを入力するとき、モード1（かな方式）では1を1回、3を2回、4を1回押して入力しますが、モード3（T9入力方式）では、1 3 4と入力したい行のボタンをそれぞれ1回押します。
1つのボタンに行の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに読み候補が表示され、その中から読み候補を選択して入力します。
モード3での入力を手助けする機能に、「読み編集」と「固定入力」があります。
「読み編集」は入力した読み候補を編集するときに使います。「固定入力」は入力したい読みをダイレクトに入力するときに使います。また、モード3（T9入力方式）とワード予測（P.491）を連動させると入力の手間が省けます。

● 入力モードを切り替える

1 「文字入力（編集）画面」（P.486）▶◯［文字］

◯［文字］を押すたびに「漢字ひらがな（漢全）」→「カタカナ（ｶﾅ半）」→「英字（英半）」→「数字（数半）」の順に入力モードが切り替わります（機能メニューから「全角切替」を選択すると全角で切り替わります）。
モード3（T9入力方式）が働くのは「漢字ひらがな（漢全）」、「カタカナ（ｶﾅ全）」、「カタカナ（ｶﾅ半）」モードです。
「英字（英全）」、「英字（英半）」、「数字（数全）」、「数字（数半）」モードでは自動的にモード1となります。

■ モード3で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード
1	あ行、1	ア行、1
2	か行、2	カ行、2
3	さ行、3	サ行、3
4	た行、4	タ行、4
5	な行、5	ナ行、5
6	は行、6	ハ行、6
7	ま行、7	マ行、7
8	や行、8	ヤ行、8
9	ら行、9	ラ行、9
0	わ を ん ゎ ー、0	ワ ヲ ン ヮ※3 ー、0
#	※1、※2	※1、※2

・「英字入力モード」、「数字入力モード」の文字割当ては「かな方式（モード1）」の文字割当てを参照してください。
・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。

※1：読み入力中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）がついた変換候補の切り替えを行います。

次ページにつづく

※2：読みおよび文字の確定後は、かな方式（モード1）と同じように「、」「。」「?」「!」「・」「゛」「゜」が表示されます。ただし、「゛」「゜」（濁点、半濁点）は、半角のカナ入力モードを除き、その前の文字につけることができるときだけ表示されます。
※3：「ワ」の小文字は全角入力のみ入力できます。

● 文字を入力する

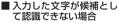
<例：T9漢字変換モードで「戸田」と入力する場合>

1 ［文字］▶「漢字ひらがな入力モード」

2 変換したい文字を入力

4（た行）、4（た行）、#（濁点）

「ただ」から予測できる変換候補が表示されます。

■ **ボタンを押し間違えた場合**
▶CLRで文字を削除▶もう一度ボタンを押す

■ **入力した文字が候補として認識できない場合**
▶認識できない文字がグレーで表示される
▶で変換候補の範囲を変更

■ **変換候補の表示（漢字／かな）を切り替える場合**
▶

3 ▶で変換候補を選択

文字入力エリアに選択した変換候補が表示されます。

■ **変換したい文字の入力に戻る場合**
▶CLR

■ **表示された変換候補以外の文字に直接変換したい場合**
▶［変換］▶で候補を選択

● 変換候補を編集する

<例：「らわらわた」と入力したときに「爛々と」と変換したい場合>

1 変換したい文字を入力

9（ら行）、0（わ行）、9（ら行）、0（わ行）、4（た行）

「らわらわた」から予測できる変換候補が表示されます。この場合「らんらんと」という候補は表示されません。

2 ［読み］

候補編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。変換候補の表示エリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合1（ら）を押します。文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して変換候補を修正します。

■ **変換候補を修正しない場合**
▶で次に修正する文字にカーソルを移動

■ **途中で編集を終了する場合**
▶［戻る］
終了するまでに修正した文字が変換候補として表示されます。

4 で「爛々と」を選択

次回から「らわらわた」と入力すると、「爛々と」が変換候補の先頭に表示されます。

● 固定入力で変換候補を入力する

<例：「はためく」という読みを入力する場合>

1 *（固定入力）

固定入力モードになり、情報表示エリアの「予」が「固」に変わります。

2 入力したい文字が割り当てられている行のボタンを押す

この場合6を押します。変換候補の表示エリアには、「は行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合①(は)を押します。同じように操作して読みを入力します。

4 ＊(固定終了)

＊(固定終了)を押すと変換候補が表示され、◎を押して◯［変換］を押すと漢字、カタカナなどに変換できます。

● T9変換モードを設定する

T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」▶「T9変換モード」▶以下の項目から選択

T9漢字変換モード（お買い上げ時）	入力した文字を漢字に変換します。
T9かな変換モード	入力した文字をかなに変換します。

ワード予測を使う　お買い上げ時 ON

ワード予測とは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、その後同じ読みの文字を入力したときに、記憶した文字列や定型文の候補の中から選択できる機能です。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」▶「ワード予測」▶「ON」

■ ワード予測を無効にする場合
▶「OFF」

● ワード予測を利用して文字を入力する

ワード予測とは、過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示する機能です。

1 読みを入力

予測候補がガイダンスエリアに表示されます。

2 ◎（1秒以上）

ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。

■ 読みの入力に戻る場合
▶ CLR

■ 予測候補が表示されない、または入力したい文字が予測候補にない場合
▶そのまま読みを入力

■ 予測候補を削除したい場合
▶ CLR（1秒以上）

3 予測候補を選択

文字を確定すると、その文字に続く履歴候補が表示されます。

4 履歴候補を選択

■ 履歴候補が表示されない、または入力したい文字が履歴候補にない場合
そのまま次の文字を入力する

ガイダンスを表示する　お買い上げ時 ON

文字入力（編集）画面のガイダンス（P.486）を表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」▶「ガイダンス表示」▶「ON」

■ ガイダンスを表示しない場合
▶「OFF」

文字を入力する

<例：「戸田」と入力する場合>

1 「文字入力（編集）画面」（P.486）▶ひらがなを入力

■ **ボタンを押し間違えた場合**
▶CLRで文字を削除▶もう一度ボタンを押す

■ **ボタンを押す回数を間違えた場合**
▶[ホーム]
同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ **続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合**
▶またはもう一度そのボタンを1秒以上押す
カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

■ **ひらがなで確定する場合**
▶

<モード1のとき>

4を5回、を1回、4を1回、
と　1文字移動　た

#を1回
゛(濁点)

<モード2のとき>

4 5　4 1　0 4
と　た　゛(濁点)

モード2の場合、1桁のみ入力して確定してもその文字は消去されます。
2桁で入力してください。

<モード3のとき>

モード3の場合、目安の文字が候補に出るよう選択範囲をで反転表示させたり、*を押して読み編集に切り替えたりします。

2 で漢字に変換

最初の文節の漢字候補が反転表示され、残りの文節の漢字候補はアンダーライン（＿）で表示されます。

■ **漢字候補が目的の漢字の場合**
▶
漢字が確定され、次の文節が反転表示されます。

■ **変換範囲を変更する場合**
▶で変換範囲を変更
変換した範囲に応じて漢字候補も変更されます。その範囲で変換できる漢字がない場合はひらがなが表示されます。

3 で変換候補を表示

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

■ **変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合**
数字も変換候補として表示されます。

4 入力したい漢字を選択

おしらせ

- 漢字に変換できる読み（ひらがな）は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
- 希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。
- 一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.498
- 複雑な漢字は一部を変型もしくは省略しています。
- 変換後の文字が入力可能な文字数を超えた場合は、入力可能な文字数までを確定するかどうかの確認画面が表示されます。

● 小文字／大文字を切り替える

小文字／大文字を切り替えるには、2つの方法があります。

■ **入力後の文字をを押して切り替える**

1 「文字入力（編集）画面」（P.486）▶切り替えたい文字にカーソルを合わせて、

押すたびに、小文字と大文字が切り替わります。
操作ガイダンスに「 小／大」が表示されている場合のみ操作できます。

■ 入力前に機能メニューから切り替える

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「小文字切替」／「大文字切替」

「小文字」に切り替えると情報表示エリアに「小」が表示されます。「大文字」の場合は何も表示されません。

● 挿入モード／上書きモードを切り替える

「挿入モード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字と文字の間に新たに入力した文字を挿入します。「上書きモード」で文字を入力すると、すでに入力されている文字に新たに入力した文字を上書きします。

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「上書きモード」／「挿入モード」

「挿入モード」に切り替えると情報表示エリアに「挿」が、「上書きモード」に切り替えると「上」が表示されます。
文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

● 文字を挿入する

「挿入モード」にしてから◎で挿入したい位置の1つ右の文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、文字はカーソルの位置に挿入されます。

● 文字を上書きする

「上書きモード」にしてから◎で上書きしたい文字にカーソルを合わせます。文字を入力すると、カーソル上の文字が上書きされます。

● スペース（空白）を挿入する

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「スペース入力」

全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入されます。

おしらせ

- スペース（空白）は、全角（半角）1文字分として文字数にカウントされます。

● 文章を改行する

改行マーク「↲」を入力して、文章を改行できます。改行マーク「↲」を入力するには、以下のような方法があります。

■ [キー]を1秒以上押す

1「文字入力（編集）画面」（P.486）▶改行したい位置にカーソルを合わせて、[キー]（1秒以上）

改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

■ 機能メニューから入力する

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「改行入力」

改行マーク「↲」が入力され、カーソルが次の行に移動します。

おしらせ

- 改行マークは文字と同じように削除したり上書きできます。
- 改行マークは、全角1文字分として文字数にカウントされます。ただし、SMS本文入力では改行のカウント方法が異なります。→P.306
- iモードのテキストボックスでは、改行マークを入力できない場合があります。
- 「テキストメモ」（P.420）では、改行マークを入力できません。

●記号を入力する

カッコやギリシャ文字、単位などの記号を入力できます。
メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「記号入力」▶入力する記号を選択

「記号・特殊文字一覧」→P.504

おしらせ

- 半角のみ入力できるときには、半角記号のみが表示されます。

●顔文字を入力する

登録されている顔文字を一覧表示した中から選択して入力できます。

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「顔文字入力」▶入力する顔文字を選択

「顔文字一覧」→P.505

おしらせ

- 「ダウンロード辞書」で顔文字のダウンロード辞書を選択した場合は、ダウンロード辞書に登録されている顔文字も一覧表示されます。
- 選択した顔文字は、次回顔文字を一覧表示したときに最初に表示されます。

●文字変換で記号や顔文字を入力する

「漢字ひらがな入力モード」で記号や顔文字の読みを入力して変換すると、その読みに該当する記号や顔文字が入力できます。

■記号の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「きごう」と入力して変換すると、記号の候補が表示されます。また「かっこ」、「さんかく」などの記号名を入力して変換しても、記号を入力できます。
「変換記号」→P.504

■顔文字の入力

「漢字ひらがな入力モード」で「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、顔文字の候補が表示されます。また、「ありがとう」、「さよなら」などの顔文字の意味を入力して変換しても、顔文字を入力できます。
「顔文字一覧」→P.505

●絵文字を入力する

iモードメールの本文やテキストメモ、定型文などの文字入力（編集）画面で顔や天気、動物などの絵文字を入力できます。

- 絵文字1と絵文字2のそれぞれで、過去に入力した絵文字が12個まで記憶されます。記憶された絵文字は、絵文字1と絵文字2のそれぞれの画面の先頭の行に表示されます。「絵文字記号連続入力」で入力したときも記憶されます。

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「絵文字入力」▶絵文字を選択

「絵文字一覧」→P.505

●記号や絵文字を連続入力する

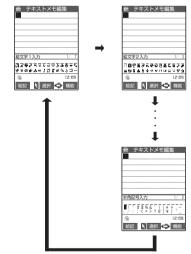
記号や絵文字の候補画面を表示して、候補画面を消すまで記号や絵文字を連続で入力できます。

- 入力できる記号について→P.504
- 絵文字について→P.505

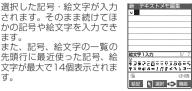
1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「絵文字記号連続入力」

絵文字1の候補がガイダンスエリアに表示されます。ガイダンスエリアの右上には「現在のページ／全体のページ数」が表示されます。

2 ◯［絵記］で候補画面を切り替える

◯［絵記］を押すたびに「絵文字1入力」→「絵文字2入力」→「全角記号入力」→「特殊記号入力」→「半角記号入力」の順に切り替わります。

❸ 記号・絵文字を選択

選択した記号・絵文字が入力されます。そのまま続けてほかの記号や絵文字を入力できます。
また、記号、絵文字の一覧の先頭行に最近使った記号、絵文字が最大で14個表示されます。

❹ 入力が終わったらCLR

絵文字・記号の連続入力が終了します。

● 文字を削除する

で削除したい文字にカーソルを合わせ、CLRを短く（1秒未満）押します。カーソル上の文字が削除されます。

■ カーソル上に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

■ CLRを1秒以上押した場合

カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

■ カーソルより右側に文字がないときにCLRを1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

● 入力中、編集中のデータを守ります

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■ 電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。
電話帳の再編集について→P.113

■ PWR HLDを押した場合

文字の入力中にPWR HLDを押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終わる場合>
「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。
PWR HLDを押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。
<文字の入力を続ける場合>
「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。
CLRを押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■ 音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。音声通話中に ch [MULTI]でタスク切替画面を表示させて、通話しながら文字入力（編集）画面に戻ることもできます。
→P.404

文字入力(編集)画面の機能メニュー

絵文字記号連続入力	「記号や絵文字を連続入力する」→P.494
顔文字入力	「顔文字を入力する」→P.494
小文字切替※1	「小文字／大文字を切り替える」→P.492
半角切替※2	「全角／半角を切り替える」→P.487、488
コピー	「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.498
切り取り	
貼り付け	
定型文入力	「定型文を入力する」→P.496
スペース入力	「スペース（空白）を挿入する」→P.493
改行入力	「文章を改行する」→P.493
記号入力	「記号を入力する」→P.494
絵文字入力	「絵文字を入力する」→P.494
区点入力	「区点入力」→P.498
上書きモード※3	文字を入力したとき、カーソル上の文字を上書きするかカーソル位置に挿入するかを選択します。→P.493
データ引用	
・電話帳	「電話帳や個人データを引用して入力する」→P.496
・個人データ	
・アクセスリーダー	「アクセスリーダー」で取得した文字情報を貼り付けます。「文字を読み取る」→P.199
・バーコードリーダー	「バーコードリーダー」で取得した文字データを貼り付けます。「バーコードリーダーを利用する」→P.196
辞典検索	辞典を起動します。「辞典を利用する」→P.421
ワード予測OFF※4	過去に入力した文字から予測候補と履歴候補を表示するワード予測機能を利用する／しないを設定します。

次ページにつづく

入力モード切替	文字入力モードを「モード1（かな方式）」、「モード2（2タッチ方式）」、「モード3（T9入力方式）」に切り替えます。
T9かな変換モード※5	T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するかを設定します。また、文字入力中の切り替えはその文字入力（編集）画面のみ有効です。文字入力を終了して次に文字入力（編集）画面を表示すると、「文字入力方式」で設定した状態に戻ります。
JUMP	カーソルを文頭または文末へすばやく移動させます。
ウィンドウ切替	各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているとき、操作する画面を切り替えます。「操作する画面を切り替える」→P.500

※1：小文字切替のときは「大文字切替」になります。
※2：半角切替のときは「全角切替」になります。
※3：上書きモードのときは「挿入モード」になります。
※4：ワード予測OFFのときは「ワード予測ON」になります。
※5：T9かな変換モードのときは「T9漢字変換モード」になります。

● 定型文を入力する

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「定型文入力」▶フォルダを選択

定型文一覧→P.497

2 定型文を選択▶◉

おしらせ

- 定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
  - ・テキストメモ　・iモードメールの署名
  - ・定型文　・iモードメールの引用符
  - ・定型文のフォルダ名　・自動振分け設定の題名入力
  - ・スケジュール　・メール検索の題名入力
  - ・To Doリスト
  - ・ウェイクアップのメッセージ
  - ・iモードのテキストボックスでの編集
  - ・iモードメールの題名　・iアプリでの文字編集
  - ・iモードメールの本文　・辞典
  - ・iモードメールの冒頭文
- 固定定型文は入力モードによって表示される内容（表現）が以下のように異なります。なお、変更した固定定型文および自作定型文は入力モードにかかわらず登録された内容（表現）で表示されます。
  - ・モード1、モード3：
    漢字ひらがな入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
    漢字ひらがな入力モード以外のときは、半角カタカナで表示されます。
  - ・モード2：
    全角入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
    半角入力モードのときは、半角カタカナで表示されます。

● 電話帳や個人データを引用して入力する

メールの本文や「テキストメモ」などの文字入力（編集）画面で、「電話帳」および「自局番号」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモを引用して入力できます。

- 一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「データ引用」▶「電話帳」または「個人データ」

■「電話帳」を選択した場合
▶「グループ検索」、「行検索」または「全検索」を選択▶引用したい電話帳を検索
電話帳の検索のしかた→P.116

■「個人データ」を選択した場合
▶端末暗証番号を入力

2 引用したい項目を選択

電話帳引用の場合

3 ◯［完了］

おしらせ

- 住所を引用する場合は、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

文字入力
文字を入力する

定型文を修正／登録する

定型文をあらかじめ登録しておくと、文字入力（編集）画面で呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。フォルダ1～2にはあらかじめ登録されている固定定型文がそれぞれ10件保存されています。固定定型文の内容は変更できます。フォルダ3～5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。また、フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

新しい定型文を作成する

1 ▶ ▶「定型文」

「定型文フォルダー一覧画面」が表示されます。

定型文フォルダー一覧画面

機能メニュー ➡P.497

2 フォルダを選択

「定型文一覧画面」が表示されます。

定型文一覧画面

機能メニュー ➡P.497

3「<未登録>」を反転表示して◯［編集］▶定型文を入力

おしらせ
- 定型文は全角で64文字､半角で128文字まで入力できます。
- メールの題名、本文、冒頭文、署名、引用符に使用する自作の定型文を作成するときは、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります（iモードメールどうしでは絵文字を使うことができます）。
- 固定定型文は、文字入力方式がモード1（かな方式）またはモード3（T9入力方式）の「漢字ひらがな入力モード」、モード2（2タッチ方式）の「全角入力モード」のときに「漢字ひらがな表現」で呼び出され、それ以外のときは「半角カタカナ表現」で呼び出されます。

定型文フォルダー一覧画面の機能メニュー

フォルダ名編集	▶フォルダ名を変更 選択したフォルダ名を変更します。フォルダ名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
フォルダ名初期化	お買い上げのときのフォルダ名に戻ります。

おしらせ
- フォルダ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げのときのフォルダ名になります。

定型文一覧画面の機能メニュー

編集	▶定型文を編集 選択した定型文を編集します。
1件削除	反転表示した定型文を削除します。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 定型文をすべて削除します。

おしらせ
- 固定定型文を削除した場合は、お買い上げのときの内容に戻ります。

■ フォルダ1（固定定型文）

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■ フォルダ2（固定定型文）

No	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	iモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

文字のコピー／切り取り／貼り付け

● コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「コピー」または「切り取り」

ドキュメント画面の機能メニュー（P.393）でもコピーできます。

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字を反転表示▶◉

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶◉

選択した範囲の文字が記憶されます。全角で5,000文字、半角で10,000文字まで記憶できます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

■ 文字が入力されていない部分を選択した場合

全角入力モード時は2つの半角スペースとして、半角入力モード時は1つの半角スペースとしてそれぞれ記憶されます。

文字を貼り付ける

コピーまたは切り取った文字は、ほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで何度でも貼り付けることができます。

1 文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.495）▶「貼り付け」

■ 貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

区点入力

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

● 区点コードおよび区点コードで入力できる文字について→P.506

● 画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1「文字入力（編集）画面」（P.486）▶ ＊

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区点」が表示されます。

■ 文字入力方式が「T9入力方式（モード3）」の場合

▶文字入力（編集）画面▶◯［機能］▶「区点入力」

2 区点コード 2 3 3 6 を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

おしらせ

● 文字入力方式が「かな方式（モード1）」または「2タッチ方式（モード2）」の場合でも、機能メニューから「区点入力」を選択して区点入力モードに切り替えることができます。

〈ユーザ辞書〉 MENU 8 2

よく使う単語をあらかじめ登録しておく

お買い上げ時 未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録しておくと、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換したときに登録した単語が表示されます。

- 絵文字、改行、定型文は単語および読みに入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。
- 読みに濁点、半濁点以外の記号（、。・！？）は登録できません。

新しい単語を登録する

1 MENU ▶ ユーザデータ ▶「ユーザ辞書」

「ユーザ辞書画面」が表示されます。

ユーザ辞書画面

機能メニュー ➡P.499

2「<新規登録>」▶単語を入力▶読みを入力

おしらせ

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

単語の内容を確認する

1   ▶「ユーザ辞書」

2 確認したい単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合

▶変更したい単語を選択▶ ［編集］

ユーザ辞書画面の機能メニュー

編集	登録した単語を編集します。
1件削除	反転表示した単語を削除します。
選択削除	▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］▶「YES」 複数のユーザ辞書を削除できます。
全削除	▶端末暗証番号を入力▶「YES」 ユーザ辞書をすべて削除します。

〈学習履歴クリア〉

学習履歴を初期状態に戻す

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「文字入力方式」▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

T9／ワード予測／絵文字記号	「T9入力方式（モード3）」、「ワード予測」、「絵文字」および「記号」で蓄積した学習履歴をクリアします。
かな漢字変換／顔文字	かな漢字変換で蓄積した学習履歴および顔文字入力画面の並び順がクリアされます。

〈ダウンロード辞書〉

使用する辞書を設定する

お買い上げ時 未登録

iモードのサイトなどからダウンロードした日本語変換用の辞書を変換用辞書として設定できます。

- ダウンロード辞書は5件まで登録でき、5件を有効にできます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.228

1 MENU ▶ ユーザデータ ▶「ダウンロード辞書」

「ダウンロード辞書画面」が表示されます。

ダウンロード辞書画面

機能メニュー ➡P.500

次ページにつづく

❷ 設定したい辞書を選択

設定した辞書には「★」がつきます。

■ **設定されている辞書を解除する場合**

▶「★」がついている辞書を選択

設定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

- 顔文字のダウンロード辞書を設定すると、文字入力時に機能メニューから「顔文字入力」を選択したときの顔文字入力画面に最大550件（内蔵50件を含む）まで表示させることができます。
- 顔文字のダウンロード辞書を2件登録し、2件とも有効にした場合、最初に有効にしたダウンロード辞書の顔文字が一覧表示されます。

ダウンロード辞書画面の機能メニュー

タイトル編集	▶**タイトルを変更** 選択したダウンロード辞書のタイトルを変更します。タイトルは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
辞書ファイル設定	ダウンロード辞書を設定または設定を解除します。ダウンロードしたときは設定された状態になります。
辞書情報	選択したダウンロード辞書の情報を表示します。
1件削除	反転表示したダウンロード辞書を削除します。
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶「YES」 ダウンロード辞書をすべて削除します。

おしらせ

- ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。

操作する画面を切り替える

スケジュールの参照登録など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

iモード画面からのスケジュール参照登録

- 以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
  - ・iモード画面からのスケジュール参照登録
  - ・iモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力
  - ・チャットメールのチャット画面
  - ・文字編集から辞典検索を実行後の参照編集

操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、操作する画面を切り替えることができます。操作する画面を切り替えるには、以下の2つの方法があります。

■ **機能メニューを選択する**

機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面が切り替わります。

■ **ポインターで操作する画面を選択する**

ニューロポインターボタンをスライドしてポインターを表示させ、操作する画面を選択します。

おしらせ

- 操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。
- 読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。ただし、英字入力モードで、[*]を押して「http://」などを入力する場合は、操作する画面の切り替えが可能です。そのとき、入力中の文字列が自動確定されます。
- 編集画面の表示中にiモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。
- チャットメールのチャット画面では、画面の切り替えはできません。

付録／外部機器連携／困ったときには

■困ったときには

メニュー機能一覧

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
メール			―	P.250
iモード			―	P.211
iアプリ			―	P.314
各種設定	着信	着信音量	MENU 5 0	P.71
		着信音選択	MENU 1 3	P.128
		サウンド効果	MENU 6 4	P.130
		バイブレータ	MENU 5 4	P.130
		着信イルミネーション	MENU 8 9	P.144
		マナーモード選択	MENU 2 0	P.134
		電話帳画像着信設定	―	P.139
		着信アンサー設定	MENU 5 8	P.67
		メール／メッセージ鳴動	MENU 6 8	P.132
		呼出時間表示設定	MENU 9 0	P.167
		確認機能設定	MENU 6 5	P.76
		伝言メモ	MENU 5 5	P.77
	通話	ノイズキャンセラ	MENU 7 6	P.65
		通話品質アラーム	MENU 7 5	P.132
		再接続機能	MENU 7 7	P.64
		通話中イルミネーション	―	P.145
		保留音設定	―	P.72
		クローズ動作設定	MENU 1 8	P.68
	発信	ポーズダイヤル	MENU 8 4	P.60
		サブアドレス設定	―	P.64
		プレフィックス設定	―	P.61
		自動発信設定	―	P.423
		国際ダイヤル設定	―	P.63
	テレビ電話	送信画質設定	―	P.90
		画像選択	―	P.90
		音声自動再発信	―	P.90
		遠隔監視設定	―	P.94
		テレビ電話画面設定	―	P.92
		テレビ電話切替通知	―	P.93
		ハンズフリー切替	―	P.92
各種設定	ディスプレイ	画面表示設定	MENU 5 6	P.136
		照明設定	MENU 7 0	P.140
		画面デザイン	MENU 8 6	P.141
		イメージウィンドウ	MENU 9 3	P.139
		フォント設定	MENU 6 6	P.146
		デスクトップ	MENU 6 3	P.147
		バイリンガル	MENU 1 5	P.146
		オリジナルメニュー	MENU 5 2	P.143
		メニュー画面設定	MENU 5 7	P.141
		ピクチャ表示設定	―	P.348
		オート表示	MENU 4 7	P.125
		表示アイコン説明	MENU 3 6	P.31
		表示アイコン設定	―	P.149
	時間／料金	通話時間／料金	MENU 6 1	P.417
		通話料金通知	―	P.419
		積算リセット	MENU 6 0	P.418
		積算料金自動リセット	―	P.418
		通話中時間表示	MENU 4 8	P.145
	時計	時計設定	MENU 3 1	P.51
		待受時計表示	MENU 3 9	P.146
		世界時計設定	―	P.51
		アラーム通知設定	―	P.406
	ロック／セキュリティ	オールロック	―	P.155
		遠隔オールロック	MENU 9 9	P.155
		PIMロック	―	P.161
		シンプルロック	―	P.162
		ICカードロック	―	P.334
		セルフモード	―	P.168
		ダイヤル発信制限	―	P.162
		登録外着信拒否	―	P.167
		非通知着信設定	MENU 1 0	P.166
		履歴表示設定	―	P.163
		端末暗証番号変更	MENU 2 9	P.153
		PIN設定	―	P.153
		シークレットモード	MENU 4 0	P.157

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
各種設定	ロック／セキュリティ	シークレット専用モード	MENU 4 1	P.157
		スキャン機能	－	P.531
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	－	P.231
		iモード問い合わせ設定	－	P.297
		接続先選択	MENU 8 1	P.231
		SMS center設定	－	P.310
		証明書	－	P.237
		証明書センター接続設定	－	P.240
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	－	P.316
		待受画面終了	－	P.323
		iアプリ音量	－	P.318
	トルカ設定	外部R/Wからの取得	－	P.334
		スクロール設定	－	P.334
	外部接続	USBモード設定	－	P.380
		通知音出力切替	MENU 5 1	P.133
		イヤホン接続時マイク切替	－	P.424
		オート着信	MENU 9 4	P.424
	ネットワーク設定	ネットワーク接続モード選択	－	P.424
	その他	ボタン確認音	MENU 3 0	P.131
		充電確認音	－	P.132
		電池残量	MENU 7 1	P.49
		外部ボタン操作	MENU ＊ 長押	P.162
		文字入力方式	MENU 3 5	P.487
		ニューロポインター設定	－	P.144
		設定リセット	MENU 2 3	P.424
		端末初期化	－	P.428
		ソフトウェア更新	－	P.526
データBOX	マイピクチャ		MENU 4 6	P.345
	iモーション		－	P.356
	メロディ		MENU 1 6	P.369
	キャラ電		－	P.365
	マイドキュメント		－	P.388
	ミュージック		－	P.396
生活ツール	バーコードリーダー		－	P.196
	赤外線受信		MENU 7 9	P.386、387
	トルカ		－	P.331
	ICカード一覧		－	P.330
	SD-PIM		－	P.377

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	参照ページ
生活ツール	カメラ		－	P.178、188
	スケジュール		MENU 4 5	P.409
	めざまし時計		MENU 4 4	P.408
	To Doリスト		MENU 9 5	P.413
	テキストメモ		MENU 4 2	P.420
	電卓		MENU 8 5	P.420
	メモの再生／消去		[メモ／確認]	P.79
	動画メモの再生/消去		－	P.80
	待受中音声メモ		MENU 4 3	P.417
	おしゃべり機能		MENU 9 1	P.417
	FOMAカード（UIM）操作		－	P.120
	電話帳画像転送		－	P.382
	アクセスリーダー		－	P.199
	辞典		－	P.421
サービス	発信者番号通知		MENU 1 7	P.52
	留守番電話		－	P.432
	キャッチホン		－	P.435
	転送でんわ		－	P.436
	迷惑電話ストップ		－	P.437
	番号通知お願いサービス		－	P.438
	着信動作選択		－	P.440
	通話中着信設定		－	P.440
	遠隔操作設定		－	P.441
	デュアルネットワーク		－	P.439
	英語ガイダンス		－	P.439
	追加サービス		－	P.443
	サービスダイヤル		－	P.440
	マルチナンバー		－	P.442
	規制※		－	－
電話帳	電話帳		－	P.111、115
	プッシュトーク電話帳		－	P.103、105
ユーザデータ	自局番号		MENU 0	P.52、415
	着信履歴		MENU 2 4	P.69
	発信履歴		－	P.57
	メールメンバー		MENU 9 7	P.268
	チャットグループ		－	P.303
	定型文		MENU 3 8	P.497
	ユーザ辞書		MENU 8 2	P.499
	ダウンロード辞書		－	P.499

※： 本端末ではご利用になれません。

記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

　、。，．・：；？！゛゜
´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝
々〆〇ー―‐／＼～∥｜…
‥‘’“”（）〔〕［］｛
｝〈〉《》「」『』【】＋
－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴
♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃
＆＊＠§☆★○●◎◇◆□
■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫
√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†
‡¶◯ゎゐゑヮヰヱヴヵヶ

ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜ
ΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩ
αβγδεζηθικλμ
νξοπρστυφχψω
АБВГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦ
ЧШЩЪЫЬЭЮЯабв
гдеёжзийклмн
опрстуфхцчшщ
ъыьэюя─│┌┐┘└
├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣
┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥
┸╂

■ 特殊記号

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫
⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣ
ⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧
㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝
㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤
㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼≒≡
∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

■ 半角記号

! " # $ % & ' ( ) * +
, - . / : ; < = > ? @ [
¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣
､ ･ ｰ ﾞ ﾟ

■ 変換記号

「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示され、そこから記号を入力することができます。また、以下のような記号名をひらがなで入力して記号に変換することもできます。

記号名(入力文字)	記号
あっと､あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】“”“” () 〈〉 [] {} 「」

記号名(入力文字)	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
しめ	〆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

記号名(入力文字)	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

絵文字一覧

■ 絵文字1

■ 絵文字2

おしらせ

- メールの本文などに絵文字を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字が正しく表示されないことがあります。また、受信側がiモード端末であっても、絵文字2の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。

顔文字一覧

■ 顔文字

「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると顔文字の候補が表示され、そこから顔文字を入力することができます。また、以下のような意味をひらがなで入力して顔文字に変換することもできます。

意味（入力文字）	顔文字
あせあせ	(;^_^A
あは	(o^o^o)
ありがと ありがとう	m(_ _)m
いかり	(`´)
いたた	(>_<)
いっぷく	(^!^)y~
いっぷく	(^.^)y-~~~
ういんく	(^_-)
うん	(゜_゜)(。_。)
え	(@_@;)
えーん	(;_;)
えへん	(￣^￣)
おーい	(^O^)／
がーん	(￣□￣;)!!
がんば	p(^^)q
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
きこえない	|(-_-)|

意味（入力文字）	顔文字
ぎゃはは	(^Q^)/^
きらーん	(☆。☆)
こあら	(−Q−)
こそこそ	(･_･|
こまったもんだ	(￣～￣)ξ
さよなら	(^_^)/~
さよなら	(T_T)/~
じーっ	(-_-)
しくしく	(T_T)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
どき	(◎-◎;)
ども	＼(^_^)(^_^)／
なぜ	(?_?)
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
ね	(^.^)b

意味（入力文字）	顔文字
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(^o^)／
はてな	(・・?)
ばんざい	＼(^O^)／
びくっ	(*_*)
ひやあせ	(^o^;
ぶい	(^^)v
ぶたー	)^o^(
ほし	☆彡
ぽりぽり	(^^ゞ
む	(−_−メ)
むか	(;-_-+
めがてん	(・・;)
めも	φ(..)
わーい	(^O^)
わくわく	o(^-^)o

おしらせ

- 顔文字は、文字入力（編集）画面の機能メニューの「顔文字入力」からも入力できます。

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

次ページにつづく

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵

区点1~3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせについて

新たに発生した通信 ＼ 現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		iモードを利用※7	iアプリを利用	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信			送信	受信
音声通話中	△※1	△※2	×	△※3	○	×	○	○
テレビ電話中	×	△※3	－	△※3	×	×	×	×※4
iモード中※7	○	○	○※5	×	－	○	○	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	×	×	×	△※6	×	×※4
64Kデータ通信中	×	△※3	×	△※3	×	×	×	×※4
プッシュトーク通信中	×	△※10	×	×	×	×	×	×※4

新たに発生した通信 ＼ 現在の通信状態	SMS		パケット通信		64Kデータ通信		プッシュトーク	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信	発信	着信
音声通話中	○	○	○	○	×	△※3	×	×
テレビ電話中	×	○	×	×	×	△※3	×	×
iモード中※7	○	○	×	×	×	×	△※8	△※9
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	－	－	×	×	×	×
64Kデータ通信中	○	○	×	×	×	△※3	×	×
プッシュトーク通信中	○	○	×	×	×	×	×	×

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。　－：機能的に実現しない組み合わせです。

※1　：「キャッチホン」をご契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信することができます。
※2　：「キャッチホン」をご契約されていれば、現在の音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されていれば、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.440
※3　：「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」をご契約されていれば、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.440
※4　：iモードメールやメッセージR、メッセージFは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージR、メッセージFは通信終了後、「iモード問い合わせ」を行うと受信できます。
※5　：iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※6　：iアプリのソフトの通信はできません。
※7　：フルブラウザ、トルカでの通信を含みます。
※8　：iモード接続を切断してからプッシュトーク発信を行います。
※9　：「プッシュトーク設定」（P.106）の「iモード通信中着信設定」でプッシュトーク着信優先に設定すれば、iモード通信を切断してからプッシュトーク着信を行います。
※10：プッシュトーク通信中着信設定が通常着信に設定されていれば音声着信が可能となります。

マルチタスクの組み合わせについて

利用する機能／現在の状態	メール	iモードメニュー/iチャネル一覧	iアプリ	各種設定	データBOX	生活ツール	サービス	電話帳	ユーザデータ	オリジナルメニュー
メールグループ起動中	○※1	○	○	○※3	○	○※5	○	○※10	○	○
iモードグループ起動中	○	×	○	○※3	○	○※5	○	○※10	○	○
iアプリグループ起動中	○	○	×	○※3	○	○※5	○	○※10	○	○
設定グループ起動中	○	○	○	×	○	○※5	×	○※10	○	○
ツールグループ起動中※15	○	○	○※14	○※3	×	×	○	×	×	○
音声通話中	○※2	○※2	×	×※4	×	×※7	○※2※9	○※2※10	○※2※11	○※2
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×※6	×	×	×	×
プッシュトーク通信中	○	○	×	○※3	×	○※3	○※9	○	○※3	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	○	○※3	○※13	○※5	○	○※10	○	○
64Kデータ通信中	○	○	×	×※4※12	×	×※8	○※9	○※10	○※11	○

○：起動できます。　×：起動できません。

※1　：「iモードメール作成」および「SMS作成」を同時に利用することはできません。
※2　：通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えている間は利用できません。
※3　：機能によっては利用できません。
※4　：「ボタン確認音」、「ポーズダイヤル」のみ利用できます。
※5　：「おしゃべり機能」、「赤外線受信」、「FOMAカード（UIM）操作」、「SD-PIM」は利用できません。
※6　：[メモ／確認]を1秒以上押した場合のみ「通話中音声メモ」が利用できます。ただし、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えている間は利用できません。
※7　：「バーコードリーダー」、「トルカ」、「カメラ」、「スケジュール」、「To Doリスト」、「テキストメモ」、「電卓」、「通話中音声メモ」、「アクセスリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は読み取りデータ一覧およびその詳細までは表示できますが、新規読み取りを行うことはできません。また、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連続撮影」のみとなります。
※8　：「バーコードリーダー」、「トルカ」、「カメラ」、「スケジュール」、「To Doリスト」、「テキストメモ」、「電卓」、「アクセスリーダー」、「辞典」のみ利用できます。ただし、「アクセスリーダー」、「バーコードリーダー」は読み取りデータ一覧およびその詳細までは表示できますが、新規読み取りを行うことはできません。また、「カメラ」のうち使用できるのは「フォトモード」と「連続撮影」のみとなります。
※9　：「留守番電話」の再生はできません。また、特番（P.443）に発信する操作はできません（USSDを利用しての操作はできます）。
※10：「電話帳指定設定」は利用できません。
※11：「定型文」、「ユーザ辞書」、「ダウンロード辞書」は利用できません。
※12：「テレビ電話切替通知」のみ利用できます。
※13：「ミュージック」は利用できません。
※14：「ミュージックプレーヤー」で曲を再生しているときはiアプリを起動できません。
※15：「赤外線受信」、「FOMAカード（UIM）操作」、「SD-PIM」のときは利用できません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2005年11月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2005年11月現在）
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
・ステレオイヤホンセット P001※1
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
・平型ステレオイヤホンセット P01
・FOMA USB接続ケーブル
・FOMA ACアダプタ 01
・FOMA DCアダプタ 01
・卓上ホルダ N07
・電池パック N11
・リアカバー N09
・車載ハンズフリーキット 01※2
・FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
・キャリングケース N08
・データ通信アダプタ N01
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01
・FOMA室内用補助アンテナ
・車内ホルダ 01※3
・FOMA乾電池アダプタ 01

※1：FOMA N902iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。
※2：FOMA N902iと接続するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※3：FOMA N902iを車内ホルダに取り付ける際は、「車内ホルダ01　取扱説明書」に記載されている使用方法②の表「4段目」に取り付けてください。

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

データ転送ソフトのご紹介

NECのインターネットホームページから、FOMA N902i専用のデータリンクソフトおよびミュージックプレーヤーデータ転送ソフトをダウンロードしてご利用いただけます。

・NEC「ワイワイもばいる」
http://www.n-keitai.com/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページ、またはデータリンクソフトおよびミュージックプレーヤーデータ転送ソフトのヘルプをご覧ください。

（FOMA端末のサイト機能ではダウンロードできません。ダウンロードするにはパソコンをお使いください。また使用料金は無料です。ダウンロード時に別途通信料が必要となります）

■ ご使用にあたって

・日本電気株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に対し、許諾プログラムにおける一切の動作保証、使用目的への適合性の保証、使用結果に関わる的確性や信頼性の保証をせず、かついかなる内容の瑕疵担保義務も負いません。また、許諾プログラムに関し発生する問題はお客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
・弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償責任に基づく損害について一切責任を負いません。又、お客様は弊社に対し、何らの請求も行わないものとします。

データリンクソフト・ミュージックプレーヤーデータ転送ソフトに関するお問い合わせ
NEC（NEC NTTドコモターミナル営業本部）
0120-102-001
受付時間：平日 午前 9:00～12:00 午後 1:00～5:00
（土･日･祝日･NEC所定の休日を除く）
※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

データリンクソフトについて

「FOMA N902iデータリンクソフト」を使って電話帳、スケジュール、メール、メロディ、静止画、動画やｉモーションなどのデータをFOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。

■ 動作環境および注意事項

パソコンとの接続には「FOMA USB接続ケーブル（別売）」が必要となります。赤外線通信では使用できません。その他の動作環境・対応OSについては、ダウンロードページの「ソフトウェアのご紹介」【動作環境】を参照してください。
また、データリンクソフトは、データ転送にOBEX（Object Exchange）を使用しておりますので、「赤外線通信／ケーブル接続によるデータ転送について」（P.382）もあわせてご覧ください。
なお、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでもFOMA端末外に転送することができません。また、FOMA端末外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

■ 対応OS

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
※上記OSが動作するPC/AT互換機

ミュージックプレーヤーデータ転送ソフトについて

「FOMA N902iミュージックプレーヤーデータ転送ソフト」を使ってAAC形式の音楽データをminiSDメモリーカードに登録することができます。登録した音楽データはミュージックプレーヤーで再生することができます。→P.396

■ 動作環境および注意事項

パソコンとの接続には「FOMA USB接続ケーブル（別売）」またはminiSDメモリーカードのリーダライタが必要となります。赤外線通信では使用できません。その他の動作環境・対応OSについては、ダウンロードページの「ソフトウェアのご紹介」【動作環境】を参照してください。

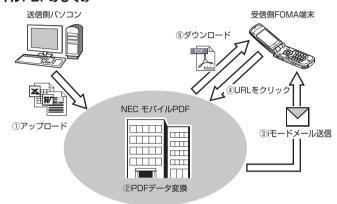
■ 対応OS

Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
※上記OSが動作するPC/AT互換機

NEC モバイルPDFのご紹介

パソコンなどからアップロードしたMicrosoft® WordやMicrosoft® Excelの文書ファイルを､PDFデータ形式に自動的に変換し、指定したFOMA端末に閲覧用のURLを通知するサービスです。
(N901iS、N902iに対応　2005年11月現在)

● ファイルの種類や内容によっては、PDFデータに変換できないものがあります。
● 本サービスは予告なく終了する場合があります。

NEC モバイルPDFのしくみ

サービスの詳細や操作方法については、下記のホームページをご参照ください。
NEC「ワイワイもばいる」
http://www.n-keitai.com/

NEC モバイルPDFに関するお問い合わせ
NEC(NEC NTTドコモターミナル営業本部)
0120-102-001
受付時間：平日 午前 9:00～12:00 午後 1:00～5:00
（土･日･祝日･NEC所定の休日を除く）
※ダイヤル番号をよくご確認の上､お間違いのないようおかけください｡

動画再生ソフトのご紹介

● パソコンで動画（MP4 形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）の QuickTime Player（無料）ver. 6.4以上（またはver. 6.3+3GPP）が必要です。
● QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
・ ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
・ 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

● まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアを更新する→P.526

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● 電池切れになっていませんか。	P.45 P.49
右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている	● 電池が切れました。充電してください。 電池充電してください	P.49
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 圏外 12/20(火) 12:05	P.50
ダイヤルボタンを押しても発信できない	● ダイヤル発信制限設定中ではありませんか。 ● 指定発信制限設定中ではありませんか。	P.162 P.164
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ● 市外局番を忘れていませんか。 ● 「圏外」の表示が出ていませんか。 ● 「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	P.54 P.54 P.50
着信できない または 着信音が鳴らない	● 以下の機能を設定していませんか。 電話帳指定設定 ・指定着信拒否　・指定着信許可 ・指定転送でんわ　・指定留守番電話 呼出時間表示設定 ・無音時間設定 登録外着信拒否 非通知着信設定 ・通知不可能拒否　・公衆電話拒否 ・非通知設定拒否 ● マナーモード設定中ではありませんか。 ● 公共モード（ドライブモード）設定中ではありませんか。 ● オールロック設定中ではありませんか。 ● セルフモード設定中ではありませんか。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。 ● 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。 ● デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。 ● 着信音量を「消去」に設定していませんか。	P.164 P.167 P.167 P.166 P.133 P.73 P.155 P.168 P.433 P.437 P.438 P.439 P.71
メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話やプッシュトークがかかってきたときの着信音が鳴らない	● 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	P.167
発信履歴／着信履歴、リダイヤル、受信アドレス一覧／送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう	● 「ダイヤル発信制限」を設定しませんでしたか。 ● 「PIMロック」を設定しませんでしたか。	P.162 P.161
ニューロポインターの動きがにぶくなった	● スライド調整を行ってください。	P.144
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。	P.124
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される	● 各機能の着信の設定が重なった場合、画像は優先順位に従って動作します。	P.124

次ページにつづく

現象	チェックする箇所	参照ページ
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンで着信ランプが動作する	● 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合、着信ランプは優先順位に従って動作します。	P.124
メール送信中に切断され、SMSを受信した。もう一度操作しようとするとメッセージが表示される	● 通話時間／通信量が多いと切断されSMSで通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージにしたがってください。	―
ドキュメント（PDF）データが正しく表示されない	● PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメント（PDFデータ）の場合、正しく表示されないことがあります。	―
ドキュメント（PDF）データの表示に時間がかかる	● サイズが大きいドキュメント（PDFデータ）などの場合、表示に時間がかかることがあります。	―
ドキュメント（PDF）データをFOMA端末にコピーできない	● ドキュメント（PDFデータ）のサイズが2Mバイトを超えていませんか。	P.389
ドキュメント（PDF）データをminiSDメモリーカードにコピーできない	● ページ単位で取得したドキュメントではありませんか。	P.389
着信画面や着信音がお買い上げ時の設定で動作する	● 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。	―
メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信したとき、チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定していますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定の着信音設定が有効となります。	P.124 P.124 P.123
画像やiモーションの替わりに文字が表示される	● 以下の表示がされた場合は、利用している機能で選択できない画像やiモーションです。以下の表示がされていない画像やiモーションを選択してください。 「Not available」、「Expired file」、「No preview data」 ● 「ASF」が表示された場合、プレビュー画面は表示されませんが、再生はできます。	P.345 P.356 P.344
メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションの色と違う色で点滅する	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信ランプは優先順位に従って点滅します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されているメール着信設定のイルミネーション設定に従って着信ランプが点滅します。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定していますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定のイルミネーション設定が有効となります。	P.124 P.124 P.123
メール着信音は鳴っているが、新着メールを受信していない	● 「件数増加鳴動設定」を設定していませんか。圏外または電源が切れているときに留守番電話の件数が増えた場合、再び圏内になるか、電源を入れると留守番電話の件数が増えたことを「着信音選択」の「メール」でお知らせします。	P.434

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

現象	チェックする箇所	参照ページ
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない）	● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● アダプタのプラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか）。	P.45 P.47 P.48
ボタン確認音が出ない	●「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。 ● マナーモード設定中ではありませんか。	P.131 P.133
エニーキーアンサーで音声電話、テレビ電話、プッシュトークに出ることができない	●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	P.67
通話中、相手の声が聞こえにくい	● 受話口と耳の位置がずれていませんか。 ● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。 ●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.28 P.71
通話中、相手の声が大きすぎる	●「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.71
FOMA端末を折り畳んでいるときに、外部ボタンを押しても操作できない	●「外部ボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.162
FOMA端末を折り畳んでいるときに、▯[アシストキー]を押しても不在着信などの確認ができない	●「確認機能設定」を「OFF」に設定していませんか。 ●「外部ボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.76 P.162
日付が英語で表示されている	● 時計表示を「英語」に設定していませんか。	P.146
ディスプレイが暗い	● バックライトの明るさの設定を「レベル1」に設定していませんか。	P.140
ディスプレイ、イメージウィンドウ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない	● バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。 ● 5を1秒以上押してバックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。 メールの作成中などにも、5を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。	P.140
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう	● 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	−
▯を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	● 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	P.122
ディスプレイに何も表示されず、▯、▯が点滅する	● 省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。	P.140
着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われません。	P.167
積算通話料金が増えない	● 上限値に達していると増えません。「積算リセット」を行ってください。	P.418
SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない	● 電話帳の電話番号欄（▯）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。	P.111
メールが自動振り分けされない	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメイン名まですべて登録しないと振り分けされません。	P.287
メールを自動で受信しない	● メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。	P.272
N902i通信設定ファイル（ドライバ）のインストールやデータ通信ができない	● USBモード設定を「miniSDモード」や「プリントモード」に設定していませんか。「通信モード」に設定してください。	P.380
iモード、iモードメール、iアプリ、iチャネルに接続できない	●「接続先選択」を「iモード」以外に設定していませんか。 ● iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.231 −

次ページにつづく

現象	チェックする箇所	参照ページ
メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、着信ランプの点灯）が行われない	●「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。 ●「受信表示設定」を「操作優先」に設定していませんか。	P.132 P.296
送信したメールが送信BOXに残らない	● メール連動型iアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。 メール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.279 P.287
受信したメールが受信BOXに残らず、「 」が消えない	● 受信BOXの中のメール連動型iアプリのフォルダに「 」が表示されていませんか。またはメール連動型iアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。 該当するメール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.279 P.287 P.314
メールに［添付ファイル削除］と表示される	● iモードメールに対応していない添付ファイルの受信はできません。iモードセンターで自動的に添付ファイルを削除し、本文のみをお届けします。	P.248
メール送信中に切断され、SMSを受信した もう一度操作しようとするとメッセージが表示される	● 一定時間内に著しく大量のデータ通信が多いと切断されSMSで通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージにしたがってください。	－
パソコンなどから送信されたメールの添付ファイルが削除された	● FOMA端末以外から送信されたメールに添付された画像ファイルがGIF形式の場合、10,000バイトまでしか受信できません。	－
外側カメラで撮影すると画像がちらつく	● 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「画像チューニング」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減することができる場合があります。	P.191
外側カメラで撮影した静止画や動画が白っぽくなる	●「画像チューニング」の設定を「モード1（50Hz地域）」または「モード2（60Hz地域）」に変更したまま屋外などの明るい場所で撮影していませんか。「画像チューニング」の設定を「自動」に戻してください。	P.191
撮影した静止画や動画がぼやけてしまう	● 撮影する場面に合ったモードを設定してください。	P.190
画像表示しようとすると「 」が表示される または デモやプレビューで「 」が表示される	● 画像データが壊れている場合は「 」が表示されることがあります。	－
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、miniSDリーダライタ機能で容量の大きいデータをやりとりしたときなどに起こる場合があります。	－
チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる	● チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。	－

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

こんな表示が出たら

● iモードエラーメッセージの中の（数字）については、iモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているiアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。	P.43
「FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージRまたはメッセージFを選択して実行しようとしたときに表示されます。	P.43
「FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているiアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.43
「FOMAカード（UIM）読み込み中です　起動できません」	● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。	－
「FOMAカード（UIM）を挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.42
「iアプリTo設定されていません」	● サイト、メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカードからソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できない場合に表示されます。	P.322
「iアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」	● iアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してiアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択し、通信を行わない場合は「通信しない」を選択します。iアプリのご利用を中止する場合は「iアプリ終了」を選択します。	－
「iアプリ利用を継続し、通信を行いますか？」	● 「iアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」と表示されたときに「通信しない」または「iアプリ終了」を選択した場合に表示されます。継続してiアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択します。iアプリのご利用を中止する場合は「iアプリ終了」を選択します。	－
「iモード問い合わせがすべて無効に設定されています」	● 「iモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためiモード問い合わせができません。 「iモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。	P.297
「miniSDが挿入されていません」	● miniSDメモリーカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。miniSDメモリーカードがFOMA端末に正しく取り付けられているか確認してください。	P.372
「miniSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」	● miniSDメモリーカードのチェックディスクを行ってください。	P.377
「PIN1コードがロックされています」	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。◉を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P.154
「PINロック解除コードがロックされています」	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.153
「SSL通信が切断されました」	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。	－
「SSL通信が無効です」	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	－
「SSL通信が無効に設定されています」	● 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.237
「TLS/SSL通信が無効です」	● TLS／SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	－

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「TLS/SSL通信が無効に設定されています」	● 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.237
「URLが長すぎて登録できません」	● URLが半角256文字を超えるため、ブックマークやホームURLへの登録ができません。	－
「URLに誤りがあります」	● 「URL入力」や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。	P.219 P.231 P.337
「1件コピーできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいminiSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	－
「応答がありませんでした(408)」	● サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してみてください。	－
「該当するデータはありません」	● 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	P.115
「画像に誤りがあり正しく動作しません」	● 画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。	－
「切替できません」	● 音声電話中にテレビ電話に切り替えようとしたとき、相手側がパケット通信中（iモード含む）などの理由で切り替えできない場合に表示されます。相手側の状況を確認して再度切り替え操作を行ってください。	P.56
「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します」	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。	P.215
「圏外です」	● サービスエリア外や電波が届かないところで、iモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「Yıll」が表示されるところまで移動してiモードのサービスをご利用ください。	P.211
「このiモーションは再生可能回数が終了しました」	● 再生回数が終了したiモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「このiモーションは再生期限が切れました」	● 再生期間または再生期限が終了したiモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「このiモーションを再生するためにはiモーションタイプ設定を変更してください」	● 「iモーションタイプ設定」を「標準タイプ」に設定しているときに、ストリーミングタイプのiモーションを取得しようとした場合に表示されます。	P.243
「このカードは使用できません」	● 本FOMA端末に対応していないminiSDメモリーカードです。対応しているminiSDメモリーカードを使用してください。	P.372
「このカードは認識できません」	● 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.42
「このサイトとのSSL通信は無効です」	● 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL通信できません。	－
「このサイトとのTLS/SSL通信は無効です」	● 書き換えられたTLS／SSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはTLS／SSL通信できません。	－
「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」	● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	P.237
「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● 「時計設定」が行われていない場合にSSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。	P.237 P.51
「このスケジュールは登録できません」	● すでに設定されている日付、時刻に対するスケジュールと同じ日付、時刻のスケジュールを「追加1件コピー」したときや、赤外線またはケーブル接続で受信したときに表示されます。	－

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」	● 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。	P.237 P.214
「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」	● SSL証明書のCN（名前）が一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	P.237
「このデータは再生できない可能性があります」	● MP4（Mobile MP4）形式以外のiモーションを取得したときに表示されます。	－
「これ以上機能を起動できません」	● ほかの機能を終了してから操作をしてください。	－
「サービス未契約です」	● iモードをご契約いただいていないため、iモードのサービスをご利用になれません。iモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● iモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	－
「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」	● 再生回数が終了したiモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、そのiモーションは削除されます。	－
「再生可能期限が切れたため再生できません」	● iモーションの再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため再生できません。	－
「再生可能期限が切れました　削除しますか？」	● 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているiモーションを再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、そのiモーションは削除されます。	－
「最大サイズを超えたので中断しました」	● サイト（iモード、フルブラウザ）やインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書、キャラ電などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	－
「最大サイズを超えています　受信できません（452）」	● 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。	－
「最大フレーム数を越えたので中断しました」	● フルブラウザで表示できるフレーム数を超えているため、インターネットホームページを表示できません。	－
「サイトが移動しました（301）」	● サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークやデスクトップアイコン、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。	P.147 P.220 P.231 P.337
「サイトに接続できませんでした(403)」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	－
「削除される添付ファイルがあります」	● 転送するiモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。◉を押すと、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが削除されます。	－
「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」	● 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。	－
「指定サイトがみつかりません(404)」	● サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。	－
「指定サイトに表示データがありません(204)」	● 接続したサイトなどに表示するデータがない場合に表示されます。	－
「指定されたソフトがありません」	● 削除されたiアプリのソフトのデスクトップアイコンを選択して起動しようとしたときに表示されます。 ● メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカードからのiアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	－
「指定したサイトへは接続できませんでした(504)」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	－

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「指定の宛先には送信できません」	● 宛先に「,」が含まれているため送信できません。「,」を削除してください。 ● 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。 ● 数字と「#」「*」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「#」「*」以外の文字やスペースを削除してください。	−
「指定発信制限設定中です」	● 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.164
「しばらくお待ちください」	● 発信規制中です。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、iモードをご利用ください。 なお、110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	−
「すでに他の機能が起動中です 起動できません」 「すでに他の機能が起動中です 設定できません」	● ほかの機能が起動しているときに、利用できない操作をしようとしたときに表示されます。	−
「セキュリティエラーのため iアプリ待受画面を解除しました」 「セキュリティエラーのため終了しました」	● 許可されていない動作を起動しようとしたため、iアプリやiアプリ待受画面（iアプリDXを含む）が終了したときに表示されます。	P.318 P.323
（赤外線通信中に） 「接続相手が見つかりません 続けますか？」	● 接続相手を発見／認識できません。赤外線ポートを向かい合わせて置いてください。「YES」を選択し、◉を押すともう一度やり直すことができます。	P.383
「接続が中断されました」	● 電波が弱いため、iモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからiモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く「Yıl」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	P.211 −
「接続できません」	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。アプリケーション通信設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でiモードに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。	P.231 −
「接続できませんでした」	● 「発信者番号通知」を「通知する」に設定しておかけ直しください。	P.52
「設定時間内に接続できませんでした」	● 「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。	P.231
「全コピーできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいminiSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	−
「送信できない宛先があります」	● 複数の宛先にiモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。	−
「ソフトに誤りがあります」 「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」	● ソフトのデータが不正のため、ダウンロードやバージョンアップができないときに表示されます。	−
「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」	● ソフト起動中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。	−
「対応機種ではありません」	● 取得しようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできないときに表示されます。	−
「対応していないコンテンツがあります」	● バーコードリーダーで読み取った情報に、本FOMA端末で対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。	−
「対応ソフトが削除されています フォルダ内表示を参照してください」	● 選択したメールフォルダに対応するメール連動型iアプリが削除されているため、ソフトを起動できません。機能メニューからフォルダ内のメールを参照してください。	P.279 P.286
「ダイヤル発信制限設定中です」	● ダイヤル発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.162
「ダウンロードできませんでした」	● メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書をダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。	−

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい」	● iモードパケット定額サービスをご利用の場合、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからiモードをご利用ください。	−
「端末暗証番号が違います」 「端末暗証番号は4～8桁です」	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.153
「チャネル情報取得失敗のため表示できませんでした」	● お買い上げ後はじめてチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、またはiチャネルの接続先URLの変更、端末初期化、FOMAカードの差し替えの操作を行った後にチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、iチャネルの情報が取得できなかった場合に表示されます。「(アンテナ)」が表示されるところまで移動して、もう一度チャネル一覧画面を表示してください。	P.327
「通信回数が多くなっています クリアボタンを押して確認を行ってください」	● iアプリ待受画面からの通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。CLRを押すと、iアプリ待受画面からの通信を許可する、許可しない、あるいはiアプリ待受画面を終了させるかを選択することができます。	P.323
「通話中です起動できません」 「通話中です操作できません」	● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。	P.403 P.510 P.511
「データ取得できませんでした」	● 通信によりデータを取得しようとしたときに、データ不正や通信エラーが起きた場合などに表示されます。	−
「転送先番号を設定してください」	● 転送でんわサービスをご契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。	P.436
「添付ファイルが削除されます」	● 受信したiモードメールを引用返信しようとしたときに、元のiモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。また、転送するiモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのみ添付されている場合にも表示されます。●を押すと、添付ファイルが削除されます。	−
「添付ファイルを登録できません」	● 赤外線通信、ケーブル接続の通信、miniSDメモリーカードからのコピーで登録できない添付ファイルつきメールを受信したときに表示されます。	−
「同時に通話できる人数4人を超えています」	● 同時に発信できる相手は4人までです。	−
「入力データまたはURLが長すぎます」	● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。	P.216
「入力データをご確認ください(205)」	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。●を押すと入力した文字や設定が取り消されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。	−
「認証タイプに未対応です(401)」	● 認証できないときに表示されます。●を押すと元のページに戻ります。	−
「認証を中止しました(401)」	● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。	−
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。	P.152
「パスワードをご確認ください(401)」	● 「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選択します。	−
「パスワードが違います　再入力してください」	● ドキュメント（PDFデータ）を表示するときや、ダウンロードするときに、パスワード入力画面で誤ったパスワードを入力したときに表示されます。	P.388
「非対応データのため取得できません」	● iモーション以外のデータや非対応のiモーションを取得しようとしたときに表示されます。	−
「編集中のため削除できません」	● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。	−
「本機で使用できるフォーマットがされていません」	● miniSDメモリーカードが初期化されていないなどの異常です。miniSDメモリーカードを初期化し直してください。	P.379
「本文編集できません」	● 添付したファイルが全角5,000文字分のため本文の編集ができません。	P.266
「無効なデータを受信しました(XXX)」 「無効なデータを受信しました」	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。	−

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「メールセキュリティ設定中です　削除できません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型iアプリで利用しているフォルダにセキュリティがかかっているため、メール連動型iアプリとメール連動型iアプリが利用しているフォルダを削除できません。メール連動型iアプリとメール連動型iアプリのフォルダを削除する場合は、メールのセキュリティを解除してください。 メール連動型iアプリのみ削除する場合は、iアプリ削除時に、対応するメール連動型iアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されたら「NO」を選択します。	P.163
「メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型iアプリで利用しているフォルダにセキュリティがかかっているため、メール連動型iアプリをダウンロードやバージョンアップできません。メール連動型iアプリをダウンロードやバージョンアップする場合には、メールのセキュリティを解除してください。	P.163
「メモリ番号：XXX書き換えできません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● オート表示に設定されている電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。◉を押すと、再び電話帳編集画面に戻るので「No」を選択し、空いているメモリ番号を入力、または⊙を押して自動登録を選択してから登録し直してください。	P.157 P.119
「メモリ不足です」	● メモリが不足したため、ソフトを起動できないときに表示されます。	－
「メモリ不足です　iモードメニューに戻ります」	● メモリが不足したため処理を中断します。◉を押すとiモードメニューに戻ります。	－
「メモリ不足です　フルブラウザメニューに戻ります」	● メモリが不足したため、処理を中断します。◉を押すとフルブラウザメニューに戻ります。	－
「メモリ不足です　メール作成画面に戻り　再編集してください」	● デコメールには最大10件の画像を挿入できますが、操作によっては画像を10件挿入できないことがあり、その場合に表示されます。「YES」を選択するとメール本文入力画面は終了します。	－
「メモリ不足です　終了します」	● メモリが不足したため処理を中断します。iモードメール作成時の場合、タスクの起動数、文字の種類の組み合わせなどによっては全角5,000文字分まで入力できないことがあります。	－
「文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません」	● iモードメール転送時に、冒頭文／署名を貼り付けると全角5,000文字分を超えてしまうため、冒頭文／署名が自動貼り付けされなかったときに表示されます。	－
「文字数がオーバーします作成可能サイズまで本文を削除してください」	● 引用返信するiモードメールの本文と引用符の合計が全角5,000文字分を超えるため全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	－
「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」	● 本文と署名の合計が全角5,000文字分を超えるため貼り付けできません。	－
「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」	● 本文と冒頭文の合計が全角5,000文字分を超えるため貼り付けできません。	－
「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」	● ユーザ証明書がダウンロードされていません。「YES」を選択することでサイトを表示することができますがサイトによっては継続できないことがあります。	P.238
「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されましたが有効期限が切れています。「YES」を選択することで継続できる場合がありますが、新しくユーザ証明書をダウンロードすることをおすすめします。	P.238
「ユーザ証明書を送信します　よろしいですか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されました。ユーザ証明書を送付する場合は「YES」を、しない場合は「NO」を選択してください。	－
「容量不足です　移動できません」	● シークレットフォルダのデータを出し入れした場合、移動先のフォルダの容量がいっぱいのときに表示されます。保存先のデータを消去してから移動し直してください。	P.158
「読み込みできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいminiSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	－
「履歴表示OFF設定中です」	● 「履歴表示設定」が「OFF」に設定されているため、「着信履歴」、「リダイヤル／発信履歴」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」を利用することができません。「履歴表示設定」を「ON」に設定すると利用できます。	P.163

* miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P.372

おしらせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（P.513）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理等を行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後 6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

次ページにつづく

■お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - ・改造（部品の交換・改造・塗装等）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：ニューロポインターボタン、スピーカ、受話口部
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はiモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えします（一部移し替えできないコンテンツもあります。また故障の程度によっては移し替えができない場合があります。）。

〈ソフトウェア更新〉

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびiMenuの「お知らせ＆ヘルプ」でご案内いたします。

- ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の2種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- iモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効。設定方法は→P.237）。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の着信やメールの受信などが行われません。

● 以下の場合はソフトウェアを更新できません。

・FOMAカードの未挿入
・FOMAカードの不正
・PINロック中
・PINロック解除コードロック中
・日付・時刻の未設定
・着信中
・メール／SMS／メッセージ受信中
・音声通話中
・テレビ電話中
・プッシュトーク通信中
・iモード通信中
・64Kデータ通信中
・パケット通信中
・オールロック中
・セルフモード中
・PIMロック中
・圏外
・パケット発信規制中
・デュアルネットワークサービスでmova端末利用中
・miniSDリーダライタ利用中
・その他機能を利用中

● ソフトウェア更新中は、ほかの機能を使用できません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。
● すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
● ソフトウェア更新後、表示されていたiモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
● ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
● ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。
● 必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。
● ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

おしらせ

● ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
● お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。「更新」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新が必要かチェックする

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶ 端末暗証番号を入力

2 注意事項を確認 ▶ ソフトウェア更新が必要かチェック

このとき、携帯電話端末固有の情報をサーバに送信する必要があります。

付録／外部機器連携／困ったときには

ソフトウェア更新

次ページにつづく

3 チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

▶「今すぐ更新」または「予約」

すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.528
ソフトウェアを更新する日時を予約して後から更新する場合は「予約」を選択します。→P.529

チェック結果画面

■「更新は必要ありません」と表示された場合

▶◉

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉

1 「チェック結果画面」(P.528)▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら◉

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
◉を押さなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 ダウンロードが終了し「ダウンロードしました　ソフトウェアを書換えます」と表示されたら◉

ソフトウェアの更新を開始します。
◉を押さなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら◉を押します。これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- サーバが混みあっている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。

日時を予約してソフトウェアを更新する〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

<例：１２月21日（水）７：30に予約する場合>

1 「チェック結果画面」（P.528）▶「予約」▶希望日時を選択

■ 希望する日時が見つからない場合

▶「その他の日時」→P.530

2 選択した日時を確認▶「YES」

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 希望日時を選択し直す場合

▶「NO」

予約時刻になると右の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>」（P.528）と同じです。

おしらせ

- 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ほかの機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- 通話中、通信中、着信中やメールなどを受信しているときに予約時刻になった場合は、通話終了後やメール受信後にソフトウェア更新を起動します。
- 予約が完了した後に「端末初期化」（P.428）を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

●「その他の日時」を選択した場合

P.529の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

1 希望日を選択

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

2 時間帯を選択

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を選択

選択した日時を確認して「YES」を選択すると、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

●予約を確認する

＜例：予約を確認した後、予約を取り消す場合＞

1 MENU ▶ [各種設定] ▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

2「取消」

■予約した日時でよい場合
▶「OK」

■予約した日時を変更する場合
▶「変更」
携帯電話端末固有の情報をサーバに送信した後、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.530

3「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」

このとき携帯電話端末固有の情報をサーバに送信します。
なお、当社に送信されたお客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号）を第三者に公表・転用することはありません。
「予約を取消しました」と表示されたら、◉を押します。これで予約の取り消しは完了です。

〈スキャン機能〉

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやiモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.531
- スキャン機能は、サイトやインターネットホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 自動更新設定、パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

スキャン機能を設定する〈スキャン機能設定〉

お買い上げ時 ON

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 MENU ▶ 各種設定 ▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」

「スキャン機能画面」が表示されます。

スキャン機能画面

2「スキャン機能設定」▶「ON」

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合

▶「YES」

※スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P.532

パターンデータを更新する〈パターンデータ更新〉

1「スキャン機能画面」（P.531）▶「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」

➡

※パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

- 更新情報がネットワークから通知された場合、以下のときはパターンデータを自動更新できません。
  - ・ 他の機能が起動しているとき
  - ・ iモード中、パケット通信中のとき
  - ・ オールロック中、PIMロック中のとき

自動でパターンデータを更新する〈自動更新設定〉

1「スキャン機能画面」（P.531）▶「自動更新設定」▶「有効」▶「YES」▶「YES」

スキャン結果の表示について

■ スキャンされた問題要素の表示について

以下の問題を検出しました
問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5
他XXXX件
戻る

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧をレベルの高いものから順に5件まで表示されます。問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。
問題要素名が省略された残りの件数（6件目以降の件数）は次のように表示されます。
1～9998件の場合：件数がそのまま表示されます。
9999件以上の場合：すべて「他9999件」と表示されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない場合があります OK 詳細	正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ YES NO 詳細	正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ YES NO 詳細	正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細
OK･･･動作を継続します。	YES･･動作を中止し、終了します。 NO･･･動作を継続します。	OK･･･動作を中止し、終了します。	YES･･データを削除し、終了します。 NO･･･動作を中止し、終了します。	OK･･･データを削除し、終了します。

パターンデータのバージョンを確認する〈バージョン表示〉

1 「スキャン機能画面」（P.531）▶「バージョン表示」

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA N902iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA N902iのSARの値は0.984W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html

ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/

NECのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup/

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

●索引／クイックマニュアル

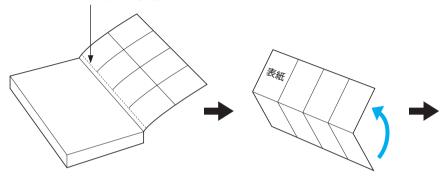
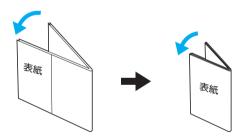
索　引

ナ

ハ

数字

■クイックマニュアルの使いかた

- クイックマニュアルでは、本FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。
- 本書から切り離し、折り曲げたりして利用できます。
- 切り離すときは、ほかのページを切らないように1ページずつ切り離してください。切り離す場合はケガなどに十分ご注意ください。

※２枚目のクイックマニュアルの場合は、「メニュー機能一覧」（16ページ）が表紙になるように折り畳んでお使いください。

NTT DoCoMo

FOMA® N902i クイックマニュアル

○お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)151(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

○調子が悪い場合

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)113(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

電話帳に登録する

電話帳登録 1/2
戸田△司
ﾄﾀﾞ △ｼﾞ
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
〈未登録〉
12:CS
完了 選択 機能

名前
フリガナ
グループ
電話番号
メールアドレス
住所
誕生日
メモ
静止画
キャラ電

1 **待受画面表示中→◎→◯[機能]→「電話帳登録」**

●着信履歴から登録する場合
待受画面表示中→◎→着信履歴を選択→◯[機能]→「電話帳登録」

●リダイヤルから登録する場合
待受画面表示中→◎→リダイヤルを選択→◯[機能]→「電話帳登録」

2 **「本体」または「FOMAカード(UIM)」→名前を入力→名前のフリガナを確認**

3 **項目を選択してそれぞれ入力**

■グループの設定(00〜19)
<未登録>→グループを選択

■電話番号の設定(4件まで)
<未登録>→電話番号を入力→アイコンを選択

■メールアドレスの設定(3件まで)
<未登録>→メールアドレスを入力→アイコンを選択

■住所の設定
<未登録>→郵便番号を入力→住所を入力

■誕生日の設定
<未登録>→誕生日を入力

■メモの設定
<未登録>→メモを入力

■静止画の設定
<未登録>→静止画を選択

■キャラ電の設定
<未登録>→キャラ電を選択

■メモリ番号の設定(000〜699)
→メモリ番号を入力

4 **◯[完了]**

FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

電話帳を修正・削除する

●電話帳を修正する

1 **電話帳を検索して呼び出す→◯[機能]→「電話帳編集」**
必要な項目を修正→◯[完了]

2 **本体の場合→「YES」**
FOMAカードの場合→「上書き登録」→「YES」

●電話帳を削除する
電話帳一覧画面を表示する→◯[機能]→「電話帳削除」→「1件削除」→「YES」(電話帳によってはさらに「YES」)

入力方式と入力モード

■文字入力画面

テキストメモ編集
いつもお世話になっております。
小/大
漢 漢全 482
12:05
文字 確定 機能

文字入力エリア
操作ガイダンスエリア
情報表示エリア

■入力文字

漢 … 漢字ひらがな
数 … 数字
カナ … カタカナ
区 … 区点コード
英 … 英字

■文字入力方式の選択

MENU→(各種設定)→「その他」→「文字入力方式」→「入力モード」→

●モード1(かな方式)の□(チェックボックス)を選択
●モード2(2タッチ方式)の□(チェックボックス)を選択
●モード3(T9入力方式)の□(チェックボックス)を選択

→◯[完了]→優先的に使うモードを選択

■濁点、半濁点、句読点の入力
#(数回)

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切り替え
◯[文字](数回)

■絵文字の入力
◯[機能]→「絵文字入力」→絵文字を選択

■記号の入力
◯[機能]→「記号入力」→記号を選択

■絵文字記号の連続入力
◯[機能]→「絵文字記号連続入力」→絵文字または記号を選択→入力が終わったらCLR

■文字の消去
◎で削除したい文字にカーソルを合わせる→CLR

■スペースの入力
◯[機能]→「スペース入力」

■大文字/小文字の切り替え
◯[機能]→「大文字切替」または「小文字切替」

キリトリ線

テキストメモに「鈴木」を入力

■文字入力（編集）画面の表示

MENU→（生活ツール）→「テキストメモ」→［編集］→［文字］（数回）→「漢字ひらがな入力モード」にする→

す → 3を3回、→
ず → 3を3回、#
き → 2を2回

■文字の変換

→または→変換候補「鈴木」を選択

カメラ

■静止画撮影

MENU→（生活ツール）→「カメラ」→「フォトモード」→●または［📷］→●

■連続撮影

MENU→（生活ツール）→「カメラ」→「フォトモード」→［機能］→「カメラモード切替」→「連続撮影」→「オート」または「マニュアル」→●または［📷］→［機能］→保存する方法を選択

■動画撮影

MENU→（生活ツール）→「カメラ」→「ムービーモード」→●または［📷］→●または［📷］→●

静止画、動画やメロディを再生する

■静止画再生

MENU→（データBOX）→「マイピクチャ」→フォルダを選択→静止画を選択

■動画再生

MENU→（データBOX）→「iモーション」→フォルダを選択→動画を選択

■メロディ再生

MENU→（データBOX）→「メロディ」→フォルダを選択→メロディを選択

音楽を再生する

■ミュージックプレーヤーで曲を再生する

MENU→（データBOX）→「ミュージック」→プレイリストを選択→曲を選択

■アシストキーでミュージックプレーヤーを操作する

FOMA端末を折り畳んだ状態で［アシストキー］（1秒以上）

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力→［TV電話］→通話が終了したら

■テレビ電話を受ける

着信音が鳴り、着信ランプが点滅したら［TV電話］またはもしくは●→通話が終了したら

［TV電話］：自分のカメラ映像を相手に送信またはする
●：代替画像を相手に送信する

■通話中の動作

：ハンズフリーの切り替えと解除
●：カメラの切り替え（内側カメラ／外側カメラ）

iモードメール

iモードメールの作成・送信

新規メール
To〈宛先参照／入力〉
Subject
〈新規入力〉
12:00
送信　選択　機能

宛先
題名
本文

■作成画面を表示

MENU→（メール）→「新規メール作成」

■宛先を入力

「To」→宛先の入力方法を選択

■題名を入力

「Subject」→題名を入力

■本文を入力

「 」→本文を入力

■メールを送信

［送信］→送信完了後●

ファイルの添付

■画像添付

新規メール作成画面を表示→［機能］→「添付ファイル追加」→「イメージ添付」→フォルダを選択→画像を選択

■iモーション添付

新規メール作成画面を表示→［機能］→「添付ファイル追加」→「iモーション添付」→フォルダを選択→iモーションを選択

■メロディ添付

新規メール作成画面を表示→［機能］→「添付ファイル追加」→「メロディ添付」→フォルダを選択→メロディを選択

■トルカ添付

新規メール作成画面を表示→［機能］→「添付ファイル追加」→「トルカ添付」→フォルダを選択→トルカを選択

iモードメールの受信

「 （青色）」が点滅→受信結果画面が表示→

「 メール」を選択→表示したいiモードメールを選択

その他のメール機能

■メールの返信

返信したいメールを表示→［返信］→「 」→本文を入力→［送信］→送信完了後●

■メールの転送

転送したいメールを表示→［機能］→「転送」→「To」→宛先の入力方法を選択→［送信］→送信完了後●

iモード問い合わせ

MENU→（メール）→「iモード問い合わせ」

キリトリ線

メニュー機能一覧

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
メール	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	新規メール作成	
	チャットメール	
	SMS作成	
	iモード問い合わせ	
	メール選択受信	
	SMS問い合わせ	
	テンプレート	
	メール設定	
iモード	iMenu	
	Bookmark	
	画面メモ	
	ラストURL	
	Internet	
	iチャネル	
	メッセージ	
	iモード問い合わせ	
	ユーザ証明書操作	
	iモード設定	
	Internet（フルブラウザ）	
iアプリ	ソフト一覧	
	自動起動設定	
	iアプリ実行情報	

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	着信	着信音量（MENU 5 0）
		着信音選択（MENU 1 3）
		サウンド効果（MENU 6 4）
		バイブレータ（MENU 5 4）
		着信イルミネーション（MENU 8 9）
		マナーモード選択（MENU 2 0）
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定（MENU 5 8）
		メール／メッセージ鳴動（MENU 6 8）
		呼出時間表示設定（MENU 9 0）
		確認機能設定（MENU 6 5）
		伝言メモ（MENU 5 5）
	通話	ノイズキャンセラ（MENU 7 6）
		通話品質アラーム（MENU 7 5）
		再接続機能（MENU 7 7）
		通話中イルミネーション
		保留音設定
		クローズ動作設定（MENU 1 8）
	発信	ポーズダイヤル（MENU 8 4）
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定
		自動発信設定
		国際ダイヤル設定

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	テレビ電話	送信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話画面設定
		テレビ電話切替通知
		ハンズフリー切替
	ディスプレイ	画面表示設定（MENU 5 6）
		照明設定（MENU 7 0）
		画面デザイン（MENU 8 6）
		イメージウィンドウ（MENU 9 3）
		フォント設定（MENU 6 6）
		デスクトップ（MENU 6 3）
		バイリンガル（MENU 1 5）
		オリジナルメニュー（MENU 5 2）
		メニュー画面設定（MENU 5 7）
		ピクチャ表示設定
		オート表示（MENU 4 7）
		表示アイコン説明（MENU 3 6）
		表示アイコン設定
	時間／料金	通話時間／料金（MENU 6 1）
		通話料金通知
		積算リセット（MENU 6 0）

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	時間／料金	積算料金自動リセット
		通話中時間表示（MENU 4 8）
	時計	時計設定（MENU 3 1）
		待受時計表示（MENU 3 9）
		世界時計設定
		アラーム通知設定
	ロック／セキュリティ	オールロック
		遠隔オールロック（MENU 9 9）
		PIMロック
		シンプルロック
		ICカードロック
		セルフモード
		ダイヤル発信制限
		登録外着信拒否
		非通知着信設定（MENU 1 0）
		履歴表示設定
		端末暗証番号変更（MENU 2 9）
		PIN設定
		シークレットモード（MENU 4 0）
		シークレット専用モード（MENU 4 1）
		スキャン機能
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定
		iモード問い合わせ設定

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
各種設定	アプリケーション通信設定	接続先選択（MENU 8 1）
		SMS center設定
		証明書
		証明書センター接続設定
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定
		待受画面終了
		iアプリ音量
	トルカ設定	外部R/Wからの取得
		スクロール設定
	外部接続	USBモード設定
		通知音出力切替（MENU 5 1）
		イヤホン接続時マイク切替
		オート着信（MENU 9 4）
	ネットワーク設定	ネットワーク接続モード選択
	その他	ボタン確認音（MENU 3 0）
		充電確認音
		電池残量（MENU 7 1）
		外部ボタン操作（MENU ＊ 長押）
		文字入力方式（MENU 3 5）
		ニューロポインター設定
		設定リセット（MENU 2 3）
		端末初期化
		ソフトウェア更新

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
データBOX	マイピクチャ（MENU 4 6）	
	iモーション	
	メロディ（MENU 1 6）	
	キャラ電	
	マイドキュメント	
	ミュージック	
生活ツール	バーコードリーダー	
	赤外線受信（MENU 7 9）	
	トルカ	
	ICカード一覧	
	SD-PIM	
	カメラ	
	スケジュール（MENU 4 5）	
	めざまし時計（MENU 4 4）	
	To Doリスト（MENU 9 5）	
	テキストメモ（MENU 4 2）	
	電卓（MENU 8 5）	
	メモの再生／消去（[メモ／確認]）	
	動画メモの再生／消去	
	待受中音声メモ（MENU 4 3）	
	おしゃべり機能（MENU 9 1）	
	FOMAカード（UIM）操作	

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
生活ツール	電話帳画像転送	
	アクセスリーダー	
	辞典	
サービス	発信者番号通知（MENU 1 7）	
	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	迷惑電話ストップ	
	番号通知お願いサービス	
	着信動作選択	
	通話中着信設定	
	遠隔操作設定	
	デュアルネットワーク	
	英語ガイダンス	
	追加サービス	
	サービスダイヤル	
	マルチナンバー	
	規制（本端末では、ご利用になれません）	
電話帳	電話帳	
	プッシュトーク電話帳	
ユーザデータ	自局番号（MENU 0）	
	着信履歴（MENU 2 4）	

MENUメニュー

大項目	中項目	小項目
ユーザデータ	発信履歴	
	メールメンバー（MENU 9 7）	
	チャットグループ	
	定型文（MENU 3 8）	
	ユーザ辞書（MENU 8 2）	
	ダウンロード辞書	

<その他の機能>

●マナーモード　＃ 長押（押すたびに設定／解除）

●公共モード（ドライブモード）　＊ 長押（押すたびに設定／解除）

キリトリ線

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始

MENU→（サービス）→「留守番電話」→「留守番サービス開始」→「YES」→「YES」→呼出時間（秒）を入力

■留守番サービス停止

MENU→（サービス）→「留守番電話」→「留守番サービス停止」→「YES」

■留守番メッセージ再生

MENU→（サービス）→「留守番電話」→「留守番メッセージ再生」→「YES」→音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始

MENU→（サービス）→「キャッチホン」→「キャッチホンサービス開始」→「YES」

■キャッチホンサービス停止

MENU→（サービス）→「キャッチホン」→「キャッチホンサービス停止」→「YES」

■通話中にかかってきた電話に出る

通話中に着信があったら または◉

を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

転送でんわサービス

■転送サービス開始

MENU→（サービス）→「転送でんわ」→「転送サービス開始」→メニューから行いたい操作を選択

■転送サービス停止

MENU→（サービス）→「転送でんわ」→「転送サービス停止」→「YES」

番号通知お願いサービス

MENU→（サービス）→「番号通知お願いサービス」→メニューから行いたい操作を選択

FOMA端末から利用できるサービス

サービス	番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）※1	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報※2	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報※2	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

※1 電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません。

※2 おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

主なアイコン表示

12/20〔火〕 12:05

アイコン表示エリア

:電池残量表示

:オールロック中

（青色）:未読メールあり

（緑色）:未読メッセージRあり

（紫色）:未読メッセージFあり

（青色）:iモードセンターにメールあり

:電波の受信レベル

:iモード中

:SSL対応ページを表示中

:通信モード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器未接続時

:赤外線通信中

:miniSDメモリーカード取り付け時

:音声通話中

:ICカードロック中

:バイブレータ設定中

:着信音量を「消去」に設定中

:マナーモード設定中

:公共モード（ドライブモード）設定中

:アラーム通知機能を設定中

～ :伝言メモ設定中

～ 、 :留守番電話の伝言メッセージあり

:バックライトを「OFF」に設定中

:外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定中

～ :伝言メモ（テレビ電話伝言メモ）設定中

○お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

○調子が悪い場合

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　　・病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード）をご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】→P.133、134

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。ただし、マナーモード/オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF)】→P.73、75

電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレータ】→P.130

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】→P.77

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.432）、転送でんわサービス（P.436）などのオプションサービスが利用できます。

「ドコモeサイト」では、住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから	i Menu ⇒ 料金＆お申込 ⇒ ドコモeサイト	パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（https://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）	

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」 および「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

 （局番なしの） **151** （無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

 （局番なしの） **113** （無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

古紙配合率100％再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'06.4（4.1版）
MDT-000061-JAA0

ドラゴンクエストII 前編を起動する

① (メニューボタン)を押し、(iアプリ)→「ソフト一覧」→「ドラゴンクエスト2 前編」の順に選択します

タイトル画面が表示されます。

②「START」を選んで⦿を押します

冒険をはじめる

「冒険の書」を作る

はじめて冒険をするときは、「冒険の書」を作ります。

①「ぼうけんのしょをつくる」から作りたい冒険の書を選びます

②主人公の名前を入力し、「おわる」を選択します

③「ひょうじそくど」と「おとのおおきさ」を設定します

冒険がはじまります。

※「ひょうじそくど」と「おとのおおきさ」はあとから変更することもできます。

冒険の記録

「冒険の書」には主人公たちの強さや持ちものなど、そのときの状態が記録されます。

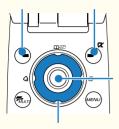
▶冒険の書に記録する

お城の王様に話しかけると、「冒険の書」に記録することができます。記録したい「冒険の書」を選んでください。

▶冒険を再開する

「ぼうけんをする」から再開したい「冒険の書」を選択すると、記録したところから冒険が再開します。

■「中断の書」について

冒険の途中で[オプション]ボタンを押して、「ちゅうだんのしょ」を選択すると「中断の書」に記録することができます。どこでも記録することができるので、急に冒険を中断しなくてはならなくなったときに便利です。
ただし、「冒険の書」とは異なり、「中断の書」は一時的な記録なので、冒険を再開すると、その記録は削除されます。

操作方法

① [コマンド／キャンセル]ボタン

コマンドを選択するためのウィンドウが表示されます。
ウィンドウが表示されているときは選択しているコマンドをキャンセルしたり、表示しているウィンドウを閉じたりします。

② [オプション]ボタン

「中断の書」に記録したり、ゲームの設定を変更したりします。

③ [便利／決定]ボタン

話したり、扉を開けたり、足もとを調べたりします。
ウィンドウが表示されているときは、カーソルで選んでいる項目を選択します。

④ [移動]ボタン

主人公たちを移動させたり、ウィンドウでカーソルを移動させたりします。

後編アプリのダウンロードについて

ゲームスタートから後編アプリへ切り替わるまでの流れ

▶冒険をはじめる

▶前編を進める

前編アプリをある程度まで進めると後編アプリのダウンロードに関する案内が表示されます。

▶特設サイトへ

画面の指示に従って特設サイトへアクセスします。

▶アプリをダウンロード

特設サイトから後編アプリをダウンロードします。

▶後編アプリで冒険を続ける

- ドラゴンクエストⅡは大容量のため、前編アプリと後編アプリの２つのアプリに分割されています。
- ドラゴンクエストⅡ 後編は特設サイトから無料でダウンロードしておたのしみいただけます。
  ※特設サイトへのアクセスと、後編アプリをダウンロードするためのパケット通信料は別途必要になります。
- 特設サイトへは、前編アプリの最後に表示される指示に従っていただくか、前編アプリのタイトル画面で「後編ダウンロードへ」を選択してアクセスしてください。
  ※特設サイトでの後編アプリのダウンロードサービスは予告なく終了する場合があります。
- 後編アプリをおたのしみいただくためには、前編アプリで作成した「引き継ぎの書（セーブデータ）」が必要となります。
- 後編アプリのダウンロードは電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに行うことをおすすめします。
- 電波の受信状態やサーバーの混み具合によって、後編アプリのダウンロードに時間がかかる場合があります。
  ※ダウンロードに失敗した場合のパケット通信料等については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

後編アプリのダウンロード後でも前編アプリは削除しないでください。後編アプリプレイ中でも特定の場所に移動したりすると前編アプリが起動することがあります。

困ったときは

**Q：「ソフト一覧」に「前編」しかありません。
後編アプリはどこで手に入るのでしょうか？**

A：後編アプリの入手方法については「後編アプリのダウンロードについて」をご覧ください。

Q：あそびかたを詳しく教えてくれる説明書のようなものはないでしょうか？

A：ゲーム中の「オプション」メニューから「たびのこころえ」を選択してください。ゲームの基本的な知識を学ぶことができます。
また、特設サイトには冒険のヒントを示したPDFファイルも用意されているので、ぜひアクセスしてみてください。

Q：いつになったら後編になるのでしょうか？

A：冒険が一定のポイントまで進めば自動的に後編アプリに関する案内が表示されます。もうしばらく冒険を続けてみてください。

Q：冒険が後編アプリに移ったのですが、前編アプリはもう不要でしょうか？

A：前編アプリは削除しないでください。
後編アプリをおたのしみいただくためには、前編アプリで記録した「引き継ぎの書（セーブデータ）」が必要となります。また、後編アプリをプレイ中でも特定の場所に移動したりすると前編アプリが起動することがあります。

Q：前編アプリを削除してしまったときはどうすればよいですか？

A：前編アプリは、「みんなＮらんど」か特設サイトから再ダウンロードできます。後編アプリがダウンロードされている場合は、後編アプリのタイトル画面から特設サイトに接続できます。後編アプリが無い場合は、下記の「お買い上げ時に登録されているソフトについて」をご覧になり、「みんなＮらんど」へアクセスしてください。

Q：前編アプリと後編アプリのどちらで遊んでいるのかわからなくなりました。

A：試しに両方のアプリを起動してみてください。古い記録が残っているアプリを起動すると、画面に警告のメッセージが表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従って正しい方のアプリを起動してください。
また、冒険の書のレベル表示を比較することでもどちらが新しいか見分けることができます。

Q：「引き継ぎの書」とは何でしょうか？

A：「引き継ぎの書」は、前編アプリと後編アプリの間で冒険の記録を引き継ぐときだけに作られる専用のセーブデータです。「中断の書」のように、記録したその場から冒険を再開することはできず、記録の引き継ぎしかできませんので注意してください。

Q：後編アプリを開始すると前編アプリの「冒険の書」はどうなってしまうのでしょうか？

A：冒険の舞台が後編アプリに移っても、前編アプリで記録した「冒険の書」は以前のまま残っています。前編アプリを再度起動して、以前の冒険の続きを楽しむこともできます。

■お買い上げ時に登録されているソフトについて

お買い上げ時にあらかじめ登録されているソフトを削除した場合、「みんなＮらんど」からダウンロードして元に戻すことができます。

※ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、ダウンロードしたソフトを起動することはできません。
※ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

アクセス方法

「iMenu」→「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなＮらんど」

簡単アクセス→

ドラゴンクエストII　ワールドマップ

使用上のご注意

- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、ゲームの記録などが消失した場合でも、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 歩行中や運転中はプレイしないでください。
- プレイするときは健康のため、1時間ごとに約15分の休憩を取ってください。
- 疲れているときや睡眠不足のときはプレイを避けてください。
- プレイするときは、部屋を明るくしてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がいます。こうした経験のある方は事前に必ず医師と相談してください。
  また、プレイ中の画面を見ていてこのような症状やめまい、吐き気、疲労感、乗り物酔いに似た症状などを感じた場合は、すぐにプレイを中止し、医師の指示を受けてください。

■お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

※ ゲームの内容に関するお問い合わせには一切お答えできません。またゲームの内容以外のお問い合わせの場合でも、内容によってはお答えできませんのでご了承ください。

● ドコモの携帯電話、PHS からの場合

(局番なしの)151(無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

● 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

05.6(1版)
MDT-000059-JJA0